

春日部市公共施設白書

平成 27 年 3 月

春日部市

□■目次■□

1. 公共施設白書について	1
1.1. 背景・目的	1
1.2. 対象施設等の整理	3
(1) 対象とする施設の分類	3
(2) 対象施設の分類	4
1.3. 白書の構成	7
1.4. データや出典等の整理	12
1.5. 用語集	15
2. 市勢概要	17
2.1. 市の概況	17
(1) 位置・地勢・気候	17
(2) 市の沿革	18
(3) 土地利用	20
2.2. 人口動向	21
(1) 総人口・総世帯数の推移	21
(2) 年齢3階層別人口の推移	22
(3) 将来人口の見通し	23
(4) 地区別人口	25
2.3. 財政状況	28
(1) 歳入及び歳出の推移	28
(2) 財政指標の状況	29
3. 施設状況	33
3.1. 公共施設等の状況	33
(1) 建築物系施設の現状	33
(2) インフラ系施設の現状	41
3.2. 建築物系施設の状況	43
(1) 市民文化系施設	44
(2) コミュニティ系施設	56
(3) スポーツ系施設	81
(4) 学校系施設	93
(5) その他教育系施設	114
(6) 保健福祉系施設	140
(7) 医療系施設	192
(8) 商工業・交通施設	199

(9) 行政系施設	213
(1 0) 住宅系施設	237
(1 1) 環境施設	247
(1 2) 一部事務組合施設	259
(1 3) 大規模公園	265
(1 4) 屋外スポーツ施設	268
(1 5) 交通施設	274
3. 3. インフラ系施設の状況	278
(1) 道路・橋りょう	278
(2) 河川	284
(3) 上水道施設	286
(4) 下水道施設	289
(5) 公園	292

1. 公共施設白書について

1.1. 背景・目的

本市では、昭和 40 年代から 50 年代にかけて急激な人口増加や都市化に伴う行政需要の増大に応じて、小中学校、市立病院、庁舎、市営住宅などの建築物系施設や道路、橋りょう、上水道などのインフラ系施設を集中的に建設し、市民の生活基盤、地域コミュニティの拠点などとして大きな役割を果たしてきました。

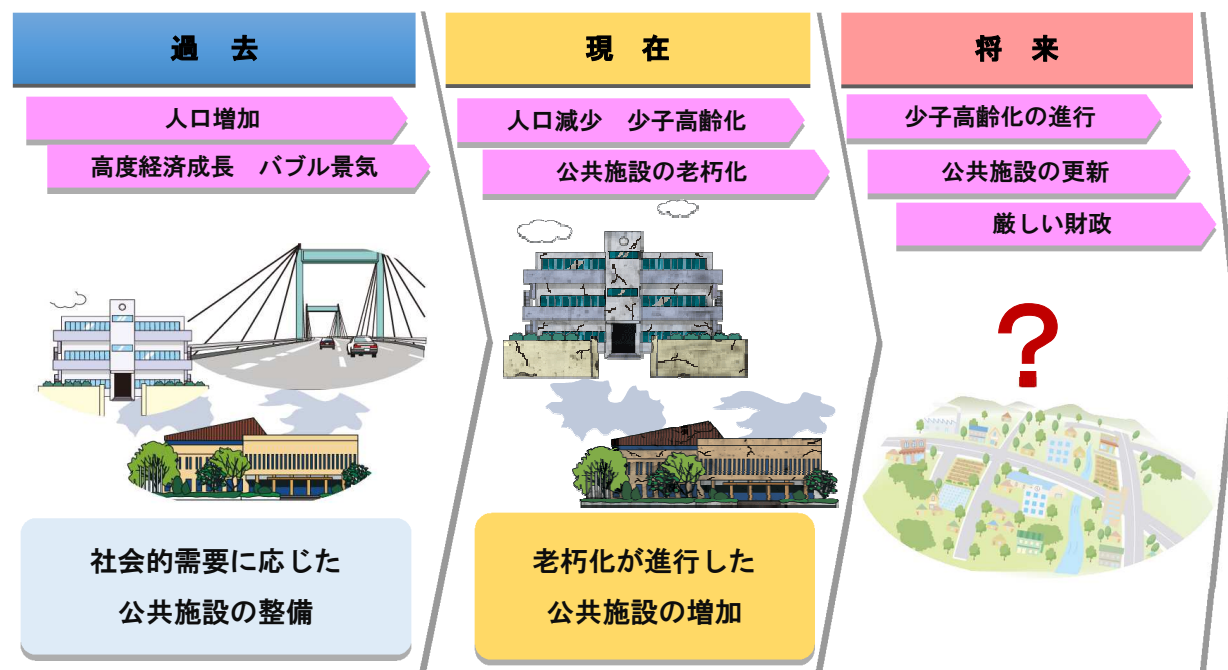
しかし、これら大量に建設された公共施設等は、老朽化の進行や更新時期の集中、人口減少や少子・高齢化の進行に伴う市民ニーズの変化、東日本大震災などを教訓とした大規模災害等への対応、低炭素社会や循環型社会への転換などにより、取り巻く環境は大きく変化しており、これらへの対応が迫られています。

今後、本市の公共施設等の改修や更新については、将来のまちづくりと財政シミュレーションに基づき、適切な時期に適切な方法で進めていく必要があります。

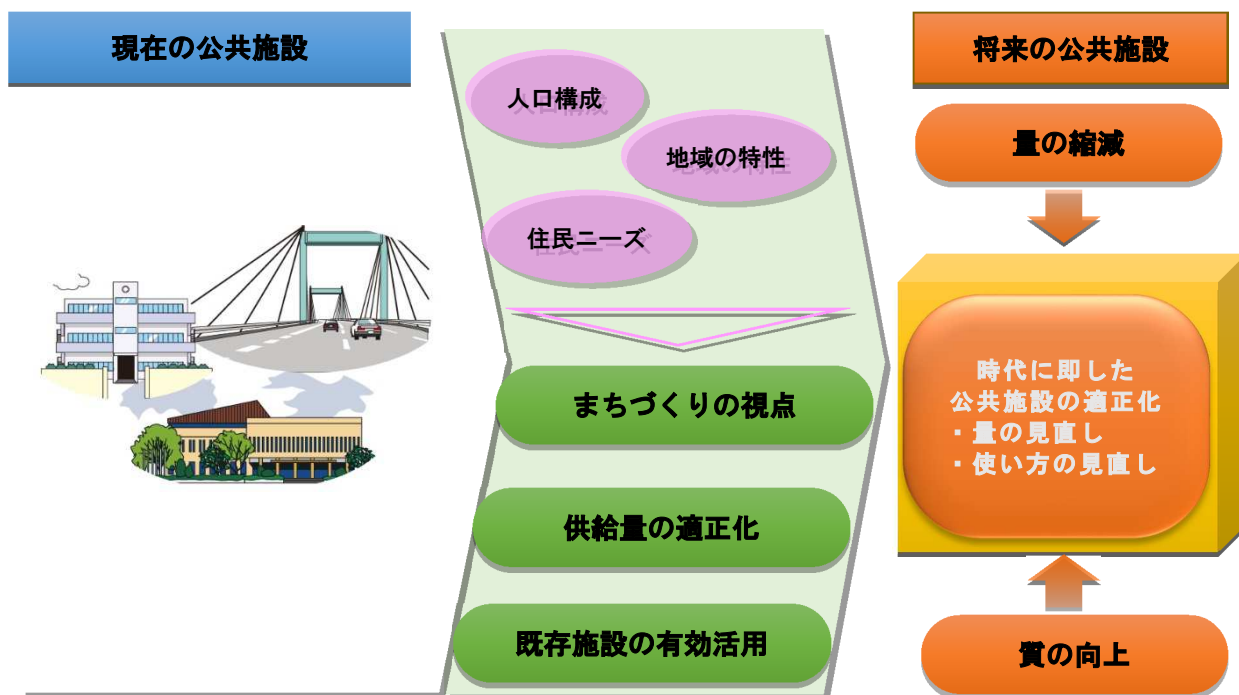
まちづくりの面では、都市の郊外化が中心市街地の空洞化を招き、持続可能な自治体運営を目指すうえで大きな課題となっており、例えばコンパクトシティの推進や公共施設等の有効活用、適正配置などによる公共施設等の再構築・再編成が必要となっています。

一方、財政面では、人口減少に伴う税収の伸び悩みや社会福祉関連経費の増大に伴う財政の逼迫が懸念されます。

そのため、これまでと同様の水準で公共施設等への投資を継続していくことは困難になると予想され、公共施設等の管理・運営にあたっては、その方針を大きく転換させる必要があります。



また、公共施設等の適正な管理・運営にあたっては、「まちづくりの視点」、「供給量の適正化」、「既存施設の有効活用」などの観点から公共施設のあり方を検討し、公共施設の最適化に向けた取組を進めていくことが重要です。



公共施設の最適化に向けた取組を行ううえで、春日部市が保有、管理する公共施設等に関し、現状の把握と課題の整理を目的として、本市の公共施設白書（以下、白書）を作成するものです。



1.2. 対象施設等の整理

(1) 対象とする施設の分類

本市が保有する公共施設のうち、建築物系施設、インフラ系施設を対象とします。

建築物系施設については、市民文化系施設、コミュニティ系施設、スポーツ系施設、学校系施設、その他教育系施設、保健福祉系施設、医療系施設、商工業・交通施設、行政系施設、住宅系施設、環境施設、一部事務組合施設の12類型に、屋外施設としての大規模公園、屋外スポーツ施設、交通施設の3類型を加えた15類型を対象とします。

インフラ系施設については、道路・橋りょう、河川、上水道施設、下水道施設、公園の5類型を対象とします。

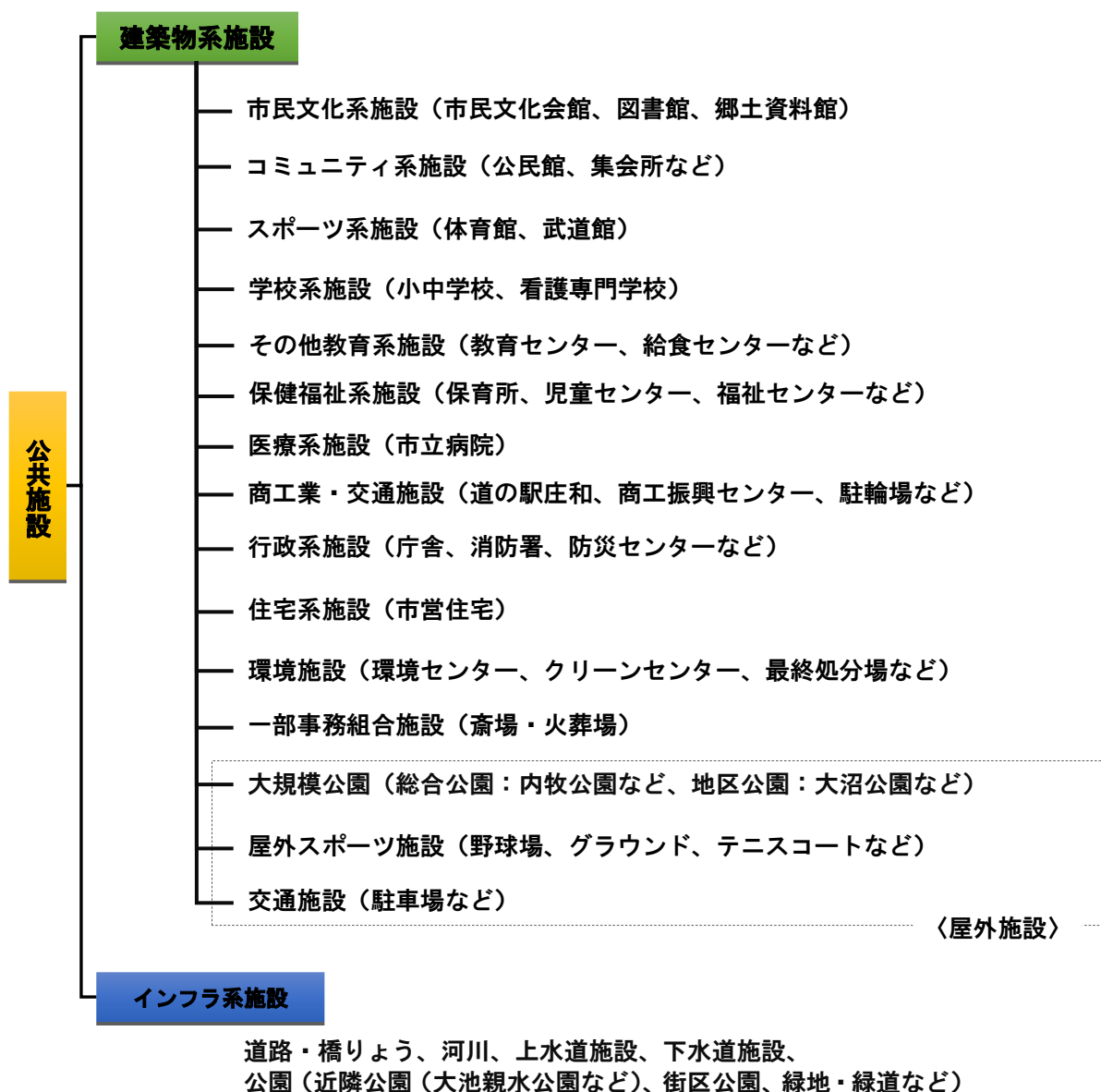


図 1-1 対象とする施設の分類

(2) 対象施設の分類

対象とする施設の分類は次のとおりです。

建築物系施設	市民文化系施設	市民文化施設	図書館	博物館等
				
		【市民文化会館】	【中央図書館】	【郷土資料館（教育センター内）】
	コミュニティ系施設	地域センター	公民館	集会所
				
		【春日部コミュニティセンター】	【中央公民館】	【武里地区集会所】
	スポーツ系施設	体育施設		
				
		【総合体育館】	【市民武道館】	
	学校系施設	小中学校	各種学校	
				
		【粕壁小学校】	【春日部中学校】	【看護専門学校】
	その他教育系施設	教育関連施設		
				
		【教育センター（視聴覚センター、教育相談センター、郷土資料館）】		

※主な施設を掲載しています。

建築物系施設	保健福祉系施設	児童福祉施設	高齢者福祉施設	障がい者福祉施設
				
		【庄和第1保育所】	【高齢者福祉センター幸楽荘】	【ふじ支援センター】
		その他の福祉施設	保健センター	公衆便所
				
		【総合福祉センター】	【庄和保健センター】	【春日部駅東口公衆便所】
	医療系施設	病院		
				
		【市立病院】		
	商工業・交通施設	商工業施設	交通施設	
				
		【道の駅 庄和】	【春日部駅西口自転車駐車場】	
行政系施設		庁舎	保安防災施設	防災施設
				
		【本庁舎】	【消防本部】	【防災センター】
		その他		
				
		【旧庁舎（文化財整理室）】		

※主な施設を掲載しています。

建築物系施設	住宅系施設	市営住宅		
				
	環境施設	環境センター	クリーンセンター	資源選別センター
				
		【環境センター】	【クリーンセンター】	【資源選別センター】
	一部事務組合施設	一部事務組合施設		
				
	大規模公園	大規模公園		
				
	屋外スポーツ施設	屋外スポーツ施設		
				
	交通施設	駐車場		
				
		【粕壁二丁目自動車駐車場】		

※主な施設を掲載しています。

図 1-2 対象施設の分類と主な施設例

1.3. 白書の構成

白書の構成は以下のとおりです。

2. 市勢概要

2.1 市の概況

- (1) 位置・地勢・気候
- (2) 市の沿革
- (3) 土地利用

2.2 人口動向

- (1) 総人口・総世帯数の推移
- (2) 年齢3階層別人口の推移
- (3) 将来人口の見通し
- (4) 地区別人口

(7地区：粕壁、内牧、幸松、豊野、武里、豊春、庄和)

2.3 財政状況

- (1) 歳入及び歳出の推移
- (2) 財政指標の状況

3. 施設状況

3.1 公共施設等の状況

- (1) 建築物系施設の現状
- (2) インフラ系施設の現状

3.2 建築物系施設の状況

- (1) 市民文化系施設

⋮

- (12) 一部事務組合施設

- (13) 大規模公園

⋮

- (15) 交通施設

3.3 インフラ系施設の状況

- (1) 道路・橋りょう

⋮

- (5) 公園

【3.2 建築物系施設の状況の記載内容】

i) 概要

施設類型ごとに、個別施設の名称、所在地、施設形態（単独施設又は複合施設）等を表で整理しています。また、施設の所在地を位置図で示しています。

【表 施設概要一覧】施設名称、所在地、施設形態等を表で示しています。

【図 位置図】各施設の名称及び位置を位置図で示しています。

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

各施設の延床面積を表で整理しています。また、分類ごとの延床面積の割合を図で示しています。

【表 延床面積の状況】施設名称、延床面積等を表で示しています。

【図 延床面積の割合】各施設の延床面積等を図で示しています。

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

各施設の建築年、経過年数及び建物構造並びに防災に関する情報等を表で整理するとともに、施設別の経過年数を図で示しています。

【表 建築年、建物構造、防災拠点等の状況】

建築年、経過年数、建物構造、防災拠点、避難場所の指定状況、旧耐震基準の建築物の有無を表で示しています。旧耐震基準の建築物については、耐震改修済みの建築物を含んでいます。

【図 建築年別の延床面積】建築年別、施設別の延床面積を図で示しています。

【図 施設別の経過年数】施設別の経過年数を図で示しています。

iii) 利用状況

市民が利用する施設については、平成 23 年から平成 25 年までの利用者数及び 3 か年平均利用者数を表及び図で示しています。

【表 利用者数の推移】施設別の利用者数、児童数等の推移を表で示しています。

【図 利用者数の推移】施設別の利用者数、児童数等を図で示しています。

iv) 運営状況

年間の開館日数や利用可能時間、運営に係る職員数などを表で整理しています。

【表 運営状況】施設別の開館日数や利用可能時間、職員数等を表で示しています。

v) コスト状況

施設別の維持管理・運営にかかるコストを整理するとともに、単位床面積当たりのコスト、稼働日一日当たりのコスト及び利用者一人当たりのコストを図で示しています。

【表 コスト状況】

施設別の維持管理・運営にかかるコスト、単位床面積当たりのコスト、稼働日一日当たりのコスト及び利用者一人当たりのコストを表で示しています。

【図 単位床面積当たりのコスト】

施設別の単位床面積当たりのコストを図で示しています。

【図 一日当たりのコスト】稼働日一日当たりのコストを図で示しています。

【図 利用者一人当たりのコスト】利用者一人当たりのコストを図で示しています。

vi) 更新等費用の推計

施設別に、将来にかかる大規模改修・更新等の費用を推計し、図で示しています。なお、大規模改修は建築後 30 年、更新は建築後 60 年として推計しています。

【図 改修・更新等にかかる費用の推計】

施設別の大規模改修・更新等にかかるコストの推計結果を図で示しています。

vii) 施設のパターン

次ページ以降に示す方法で、「安全性」、「機能性」、「環境性」を考慮して、建築物系施設の特徴をパターンとして設定しています。

【表 施設のパターン】施設別のパターンを示しています。

viii) 施設類型の課題と今後の方向性

これまでの検討を踏まえ、施設類型ごとに施設のあり方について課題と今後の方向性を整理しています。

【施設の 패턴の設定方法】

建築物系施設（屋外施設を除く）を対象にして、建築物系施設の特徴等を考慮し、下表の項目により、建築物系施設の 패턴を設定しました。

建築物系施設の 패턴は、大きく「安全性」、「機能性」、「環境性」に区分しています。

なお、一部施設については、施設の特徴や運営形態などを考慮し、 패턴設定を行っていない場合があります。

表 1-1 パ턴の設定方法

区分	項目	小項目	内容	設定方法
安全性	耐震性	耐震性	建築年、耐震診断結果、耐震改修状況	施設管理者へのアンケート調査、施設管理台帳により設定する。耐震診断、耐震改修の実績があれば考慮する。無い場合は建築年から想定する。
	老朽化	老朽化	建築年	建築年より設定する。
	外側の構造の劣化	外壁	外壁の劣化	施設管理者へのアンケート調査、施設管理台帳により設定する。
		屋根・屋上	屋根・屋上の劣化	施設管理者へのアンケート調査、施設管理台帳により設定する。
	防災性	防災性	消防検査等による指摘事項	施設管理者へのアンケート調査、施設管理台帳により設定する。
機能性	設備の劣化	冷暖房設備	冷暖房設備	施設管理者へのアンケート調査、施設管理台帳により設定する。
		給排水	給排水設備	施設管理者へのアンケート調査、施設管理台帳により設定する。
	バリアフリー	バリアフリー	バリアフリー対応状況	施設管理者へのアンケート調査、施設管理台帳により設定する。
環境性	省エネルギー	省エネルギー	省エネルギー対策	施設管理者へのアンケート調査、施設管理台帳により設定する。

建築物系施設のパターンは、設定方法に基づき、項目ごとにⅠ（優）、Ⅱ（良）、Ⅲ（不良）を設定します。なお、1つの項目に対し複数の小項目がある場合は、施設管理者へのアンケート調査や施設管理台帳の結果から総合的に判断し設定しています。各項目の設定値をもとに表 1-2 のパターンに分類します。

施設名	安全性					耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災									
			外壁	屋根・屋上										
〇〇公民館	I	III	II	I	III	I	III	I	III	III	II	III	E	
□□公民館	I	II	II	III	I	I	II	II	I	III	II	I	C	

外壁：II
屋根・屋上：III

総合的な判断
で設定

図 1-3 1つの項目に対し複数の小項目がある場合の判断例

表 1-2 パターンの分類

パターン	分類	施設の特徴
A	下記以外に設定された施設	現状特に問題がない施設
B	下記以外でバリアフリー、省エネルギー対策がⅡ、Ⅲと設定された施設	バリアフリー、省エネルギー対策が必要な施設
C	下記以外で防災性、設備の劣化がⅢと設定された施設	冷暖房設備、給排水等の内側の修繕等が必要な施設
D	下記以外で外側の構造の劣化がⅢと設定された施設	外壁、屋根・屋上等の外側の修繕等が必要な施設
E	下記以外で老朽化がⅢと設定された施設	老朽化が進行している施設
F	耐震性、老朽化がⅢと設定された施設	耐震性が確保されておらず、老朽化が進行している施設

1.4. データや出典等の整理

白書作成にあたり、公共施設等に関するデータや数字の端数処理などについては、以下のような整理をしています。

①データ等の時点について

- ・白書で対象とする施設は、基本的に平成 26 年度末時点で存在している公共施設等です。
- ・白書で取り扱うデータは、平成 23 年度から平成 25 年度（前年度）の実績に基づいて作成されています。

②数字の端数処理及び表示方法について

- ・表や図に使用している数字は、端数処理の関係でその合計が合わない場合があります。
- ・コスト状況のコストは、表は基本的に千円単位で表記しているため、文章中ではコストに約がついています。

③情報やデータの出典について

- ・各施設の数値、金額等は、公有財産台帳等を参考に各施設の所管部署へ調査を行い、得られた回答を基に記載しています。
- ・白書に用いた情報やデータの出典等は、以下のとおりです。

表 1-3 情報やデータの出典

項目	出典等
地目別土地利用面積	・春日部市統計書（平成 26 年版）資産税課
総人口・総世帯数の推移	・総務省 「国勢調査」
年齢 3 階層別人口の推移	・総務省 「国勢調査」
将来人口の見通し	・実績値：総務省 「国勢調査」 ・推計値：国立社会保障 人口問題研究所 「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）市区町村」
地区別人口	・実績値（平成 17 年、26 年）：春日部市 住民基本台帳 ・推計値（平成 42 年、52 年）：春日部市 住民基本台帳より推計
財政指標	・地方公共団体の主要財政指標一覧（総務省） ・全市町村の主要財政指標（総務省）

④建築年次について

- ・施設毎の建築年次としています。
- ・複数棟ある施設については、最も古い建築年次としています。

⑤避難場所及び防災拠点について

- ・避難場所及び防災拠点は、所在地で指定されているため、同一所在地に複数の施設が立地している場合は、すべての施設に対して記載しています。ただし、学校敷地内にある給食室、学校プールは避難場所及び防災拠点の対象から除いています。

⑥利用状況について

- ・白書に用いた利用状況の対象は、以下のとおりです。
- ・一般利用がない施設及び利用状況の把握が困難な施設については、利用状況の記載対象外としています。
- ・施設の全てが記載対象外となっている行政系施設、大規模公園、交通施設については、利用状況の項目を省略しています。
- ・一部の施設が記載対象外となっている場合は、利用者数等を「－」で表記しています。

表 1-4 施設分類別の利用状況の対象

施設分類			利用状況の対象 (利用者数等)
市民文化系施設	市民文化施設		・年間利用者数
	図書館		・年間利用者数
	博物館等		・年間利用者数
コミュニティ系施設	地域センター		・年間利用者数
	公民館		・年間利用者数
	集会所		・年間利用者数
スポーツ系施設	体育施設		・年間利用者数
学校系施設	小中学校	小学校	・児童数
		中学校	・生徒数
	各種学校	専門学校	・生徒数
その他教育系施設	教育関連施設	教育センター	※利用状況の把握が困難なため対象外
		視聴覚センター	・年間利用者数
		給食センター	・給食センターを利用している小学校、中学校の児童数・生徒数
		給食室	※学校に付随する施設であり一般利用がないため対象外
		学校プール	
		教育相談センター	・年間利用者数
保健福祉系施設	児童福祉施設	保育所	・児童数
		児童センター	・年間利用者数
		子育て支援センター	・年間利用者数
		児童クラブ	・児童数
		児童発達支援センター	・通所者数
	高齢者福祉施設		・年間利用者数
	障がい者福祉施設		・通園者数
	その他の福祉施設		・年間利用者数
	保健センター		・年間利用者数
医療系施設	公衆便所		※利用状況の把握が困難なため対象外
	病院		・年間利用者数
商工業・交通施設	商工業施設		・年間利用者数
	交通施設		・年間一時利用台数、定期利用台数
行政系施設	庁舎		※利用状況の把握が困難なため対象外
	保安防災施設		※一般利用がない施設のため対象外
	防災施設		※一般利用がない施設のため対象外
	その他		※一般利用がない施設のため対象外
住宅系施設	市営住宅		・入居戸数
環境施設	環境センター		・可燃ごみ、し尿・浄化槽汚泥の搬入量等
	クリーンセンター		・不燃ごみ、粗大ごみの搬入量等
	資源選別センター		・資源物の搬入量等
	最終処分場		・焼却灰の搬入量等
	清掃事務所		・可燃ごみの搬入量等
	植木剪定枝葉チップ化施設		※休止中のため対象外
一部事務組合施設	一部事務組合施設		・年間火葬件数
大規模公園	公園（総合公園、地区公園）		※利用状況の把握が困難なため対象外
屋外スポーツ施設	屋外スポーツ施設		・年間利用者数
交通施設	駐車場など		※利用状況の把握が困難なため対象外

⑦運営状況について

- ・24 時間利用が可能な施設については、利用可能開始時刻を 0 : 00、利用可能終了時刻を 24 : 00、利用可能時間を 24 時間 00 分と表記しています。
- ・職員数（直営）の「職員」については、施設の管理、運営にかかわった職員の数としています。
- ・職員数（直営）の「その他」については、施設の管理、運営にかかわった再任用、嘱託、臨時職員等の数としています。
- ・職員数（指定管理者）の「職員」については、指定管理者の常勤職員数としています。
- ・職員数（指定管理者）の「その他」については、指定管理者が採用した非常勤職員数としています。

⑧コスト状況について

- ・施設の維持管理・運営にかかるコストとしています。
- ・維持管理・運営にかかるコストとは、光熱水費、施設修繕費など毎年度継続的に支出される経費と人件費、指定管理者委託料などの施設の運営、貸出及び実施する事業に要する経費の合計としています。ただし、工事請負費は除きます。（※有料屋外スポーツ施設は計上しています。）
- ・複合施設で個別のコストが算出困難なものは、床面積比による按分で算出しています。ただし、学校系施設の複合施設は除いています。
- ・指定管理の施設については、指定管理者の支出金額と市支出金額の合計としています。また、市支出以外のものについては把握できない場合があります。
- ・各施設で人件費を支出していない職員については、人件費単価を設定し、施設に関わった職員の労力等に基づき加算しています。
- ・単位床面積当たり、一日当たり、利用者一人当たりのコストの算出に当たっては、実数（一円単位）で計算しています。従って、各表中、千円単位で表示されている施設の維持管理・運営にかかるコストを使って計算した場合は数値が異なる場合があります。
- ・武里南保育所、道の駅「庄和」、春日部駅東口第 1 自転車駐車場、防災備蓄倉庫（藤塚小）、防災備蓄倉庫（小湊小）、防災備蓄倉庫（東中）、クリーンセンター庄和（塵芥処理施設）、植木剪定枝葉チップ化施設については、現在の施設の稼動状況などを考慮し、コスト状況を除いています。

1.5. 用語集

【か】	
コンパクトシティ	都市の中心部や交通結節点等に行政、商業、住宅などさまざまな都市機能を集約し、効率的な都市構造を形成していくという考え方です。
【さ】	
財政指標	地方公共団体では1年間のお金の出入りを決算として公表しています。その決算を使って、財政状況を分析するため様々な分析指数があり、これらを総称して「財政指標」といいます。
施設の更新	現状存在する施設や設備の全部または一部を撤去し、新しい施設や設備を設置することです。例えば建築物系施設の建替えや、上下水道管の敷設替えが該当します。
指定管理者制度	地方自治体やその外郭団体に限定していた公の施設（体育館、文化施設、社会福祉施設など）の管理を、多様化する住民ニーズに対応するため、民間事業者などのノウハウを積極的に活用することで、住民サービスの向上と経費の節減を目的とする制度です。
【た】	
大規模改修	建物の主要な構造部等（壁、屋根、設備等）の一種以上において、全体の過半を超えて改修等を実施することです。
耐震基準	耐震基準（たいしんきじゅん）とは、建築物や土木構造物を設計する際に、それらの構造物が最低限度の耐震能力を持っていることを保証し、建築を許可する基準です。昭和56年6月1日に建築基準法の改正によって新しい耐震基準が施行され、同日以降に建築確認を受けた建物については「新耐震基準」が適用されています。また、同日以前に建築確認を受けた建物は「旧耐震基準」となっています。旧耐震基準では中規模程度（震度5程度）を想定して規定されているのに対し、新耐震基準では大規模の地震（震度6強以上）でも倒壊・崩壊しないことが求められています。
投資的経費	道路や学校等公共施設の建設・整備など、将来にわたる資産の形成のための工事や用地取得にかかる経費のことをいいます。

【な】	
延床面積	建築物の各階の床面積の合計のことをいいます。
【は】	
複合施設	複数の施設が集まっている施設の総称です。市内では、市民活動センターや保健センター、県施設であるパスポートセンターなどが設置されている「東部地域振興ふれあい拠点施設」（ふれあいキューブ）などの複合施設があります。
扶助費	社会保障制度の一環として、児童や高齢者などを援助するために要する経費のことです。児童手当、介護保険などが該当します。
【や】	
予防保全	定期的な点検で早期に損傷を発見し、事故や大規模補修等に至る前の、軽微な段階で部品の交換や補修を実施し、施設を長く使うことです。

2. 市勢概要

2.1. 市の概況

(1) 位置・地勢・気候

本市は埼玉県東部に位置し、その市域は南北約 12km、東西約 11km に広がっており、面積は 66.0km² で県内市町村の中では 14 番目の行政区域規模となっています。

位置は関東平野のほぼ中央、都心から 35km 圏にあり、北は宮代町、杉戸町、南は越谷市、松伏町、西はさいたま市、白岡市、東は江戸川を挟んで千葉県野田市と接しています。

市内の南北方向には東武伊勢崎線と国道 4 号及び国道 4 号バイパスが縦断しており、これらと交差して東西方向には、東武野田線と国道 16 号が横断しており、広域交通の要衝となっています。

地形的には埼玉県南部に広がる大宮台地と千葉県北部から広がる下総台地、そして両台地に挟まれた中川低地にあり、台地部分の標高は 8m から 15m ほどで、低地部分では 5m から 6m ほどです。

また、大落古利根川、中川、江戸川などの河川に恵まれ、肥沃な土壌と豊かな水利は、米、野菜、果樹などの栽培に適し、穀倉地帯を形成しています。

このようなことから、本市は都心への通勤圏であるにもかかわらず、水田や屋敷林が広がる水と緑の豊かな都市として、美しい景観と恵まれた自然環境を有しています。

本市の年間の平均気温は、おおむね 15℃から 16℃で、夏は蒸し暑く、冬は乾燥が厳しい内陸性の太平洋岸気候区に属し、年間総降雨量は約 1,300mm、強風や豪雪などによる気象災害の少ない地域です。



図 2-1 春日部市位置図

（２）市の沿革

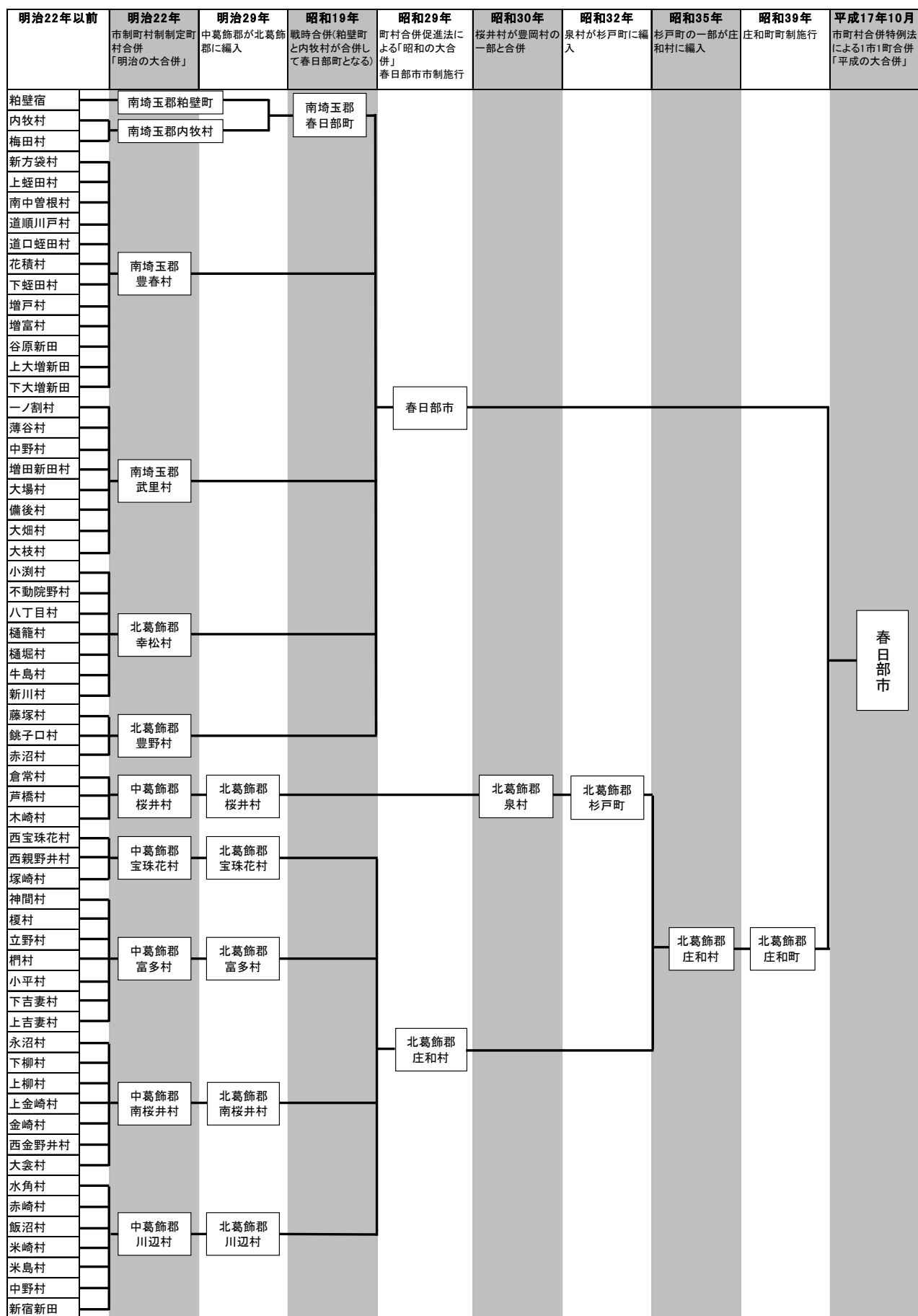
本市は、江戸時代に日光街道第四の宿場として設置された粕壁宿として栄え、発展を遂げてきました。また、かつては利根川の本流であった大落古利根川や江戸時代に開削された江戸川などは河川交通の要衝でもあり、特に江戸川の河岸であった西宝珠花は、水上交通の要として発展するなど水陸両面における交通の拠点をもつ地域でした。

また、明治 32 年には現在の東武伊勢崎線が開通、粕壁駅（現 春日部駅）が開業し、その後、昭和初期には野田線が開通するなど、現在の公共交通体系が形成されました。そして、東京の近郊都市として昭和 40 年代初頭から人口が急増し、鉄道駅周辺での住宅団地開発等市街地が大きく広がり、ベッドタウンとして成長を遂げてきました。その後も広域幹線道路の整備や商業・業務機能等の集積等、埼玉県東部地域の中心都市として発展してきました。

旧春日部市は、昭和 29 年、南埼玉郡春日部町と同郡豊春村、武里村、北葛飾郡幸松村と同郡豊野村の 1 町 4 村の合併により市制を施行、春日部市となりました。

旧庄和町は、昭和 29 年、北葛飾郡の宝珠花村と同郡富多村、南桜井村、川辺村の 4 村の合併により庄和村が誕生し、昭和 35 年には杉戸町の一部が庄和村に編入、その後、昭和 39 年に町制を施行しました。

平成 17 年 10 月には旧春日部市と旧庄和町が合併し、新しい春日部市として、それぞれの個性を守り活かしながら、県東部の中心都市としてさらなる発展が期待されています。平成 20 年 4 月には、県内 5 番目の特例市に移行し、より一層の市政の充実を図ることとしています。



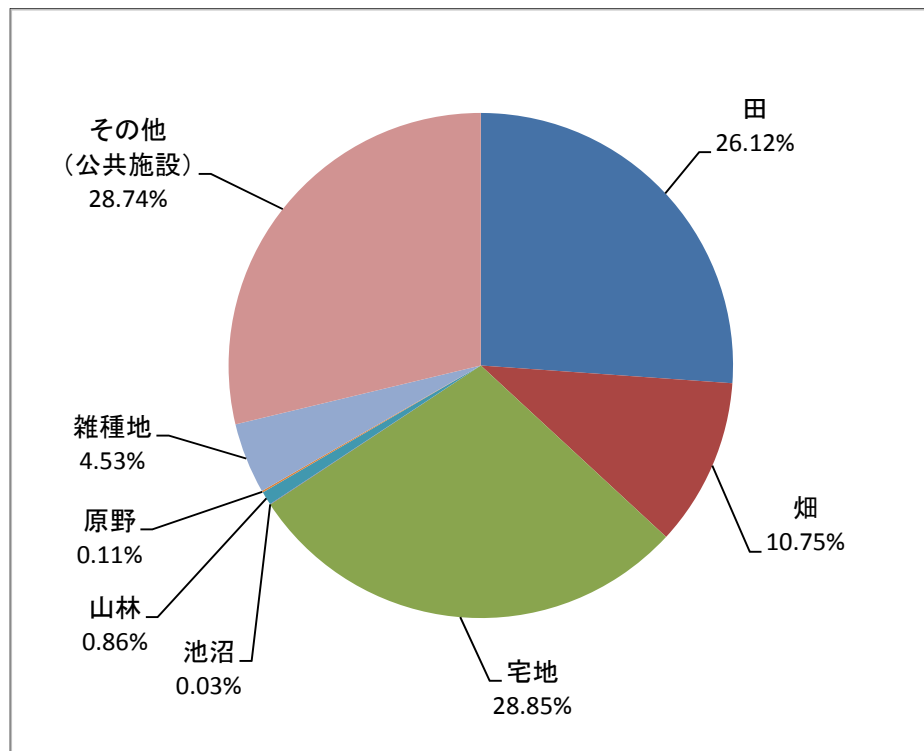
出典：春日部市総合振興計画

図 2-2 春日部市の成り立ち

（３）土地利用

平成25年度における地目別土地利用面積比率をみると、宅地が28.85%、田が26.12%、畑が10.75%、道路や排水路を含むその他公共施設が28.74%となっています。

地目別土地利用面積の推移をみると、田や畑が減少する一方で、宅地とその他公共施設が増加しています。



出典：春日部市統計書

図 2-3 地目別土地利用面積と構成比（平成25年）

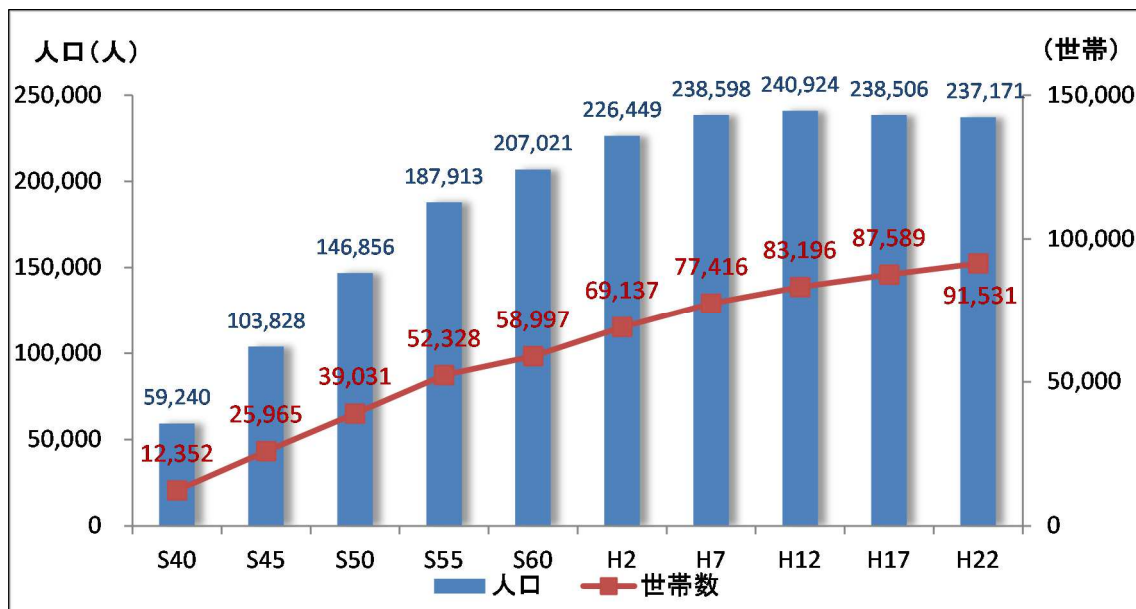
表 2-1 地目別土地利用面積の推移

種別 年	田 (ha)	畑 (ha)	宅地 (ha)	池沼 (ha)	山林 (ha)	原野 (ha)	雑種地 (ha)	その他 (公共施設) (ha)
平成21年	1,765	758	1,842	2	61	8	273	1,889
平成22年	1,748	736	1,851	2	61	8	299	1,893
平成23年	1,742	730	1,869	2	60	8	297	1,890
平成24年	1,729	715	1,887	2	59	7	307	1,892
平成25年	1,723	709	1,903	2	57	7	299	1,896

2.2. 人口動向

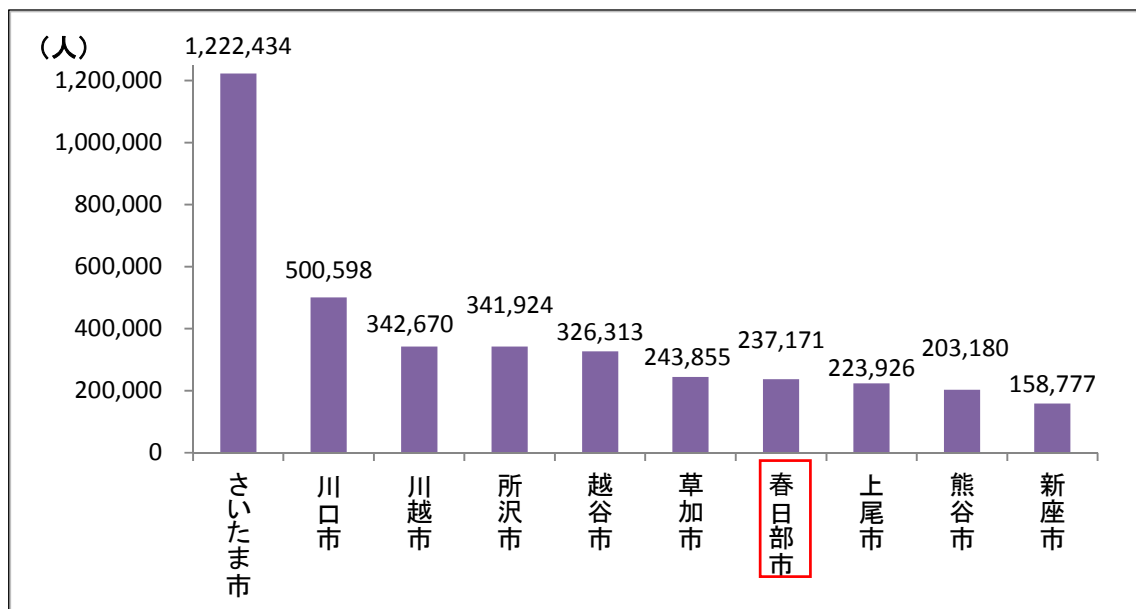
(1) 総人口・総世帯数の推移

国勢調査によると、本市の人口は平成 22 年で 237,171 人となっており、県内市の中では 7 番目に人口が多い市となっています。昭和 40 年代、50 年代に急速に人口が増加しましたが、平成 12 年の 240,924 人をピークに平成 17 年以降は、やや減少傾向となっています。世帯数は平成 22 年で 91,531 世帯となっており、昭和 40 年以降増加傾向にあります。



出典：国勢調査（昭和 40 年～平成 22 年）

図 2-4 人口・世帯数の推移



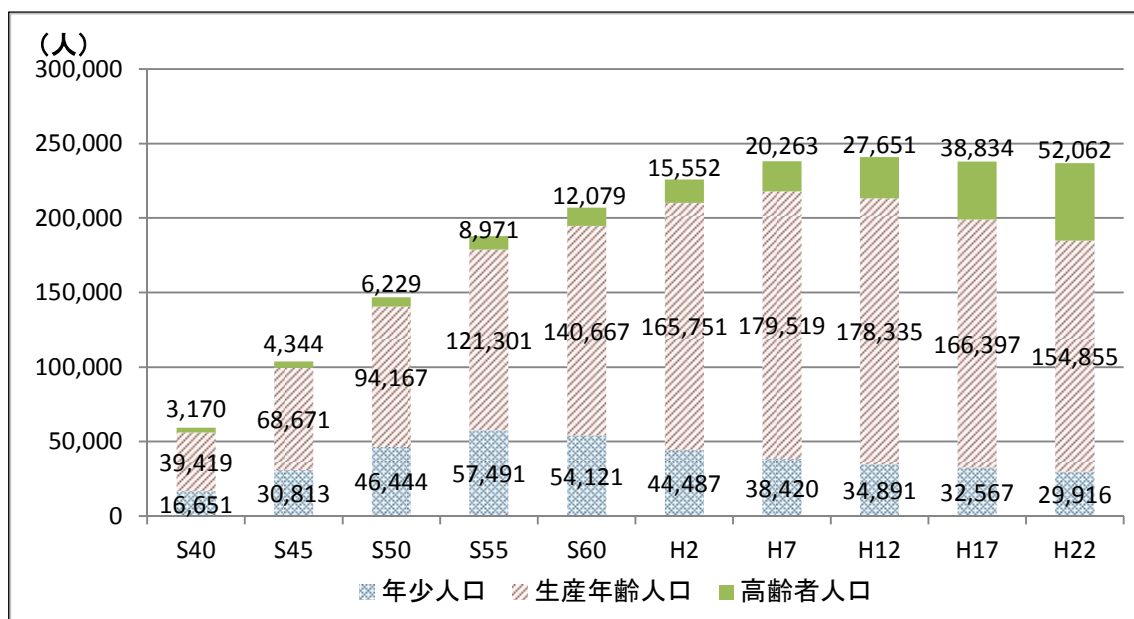
出典：国勢調査（平成 22 年）

図 2-5 埼玉県内市人口上位 10 市

(2) 年齢3階層別人口の推移

年少人口（15歳未満）は、昭和55年の57,491人（人口構成比30.6%）をピークに減少傾向にあり、平成22年では29,916人（人口構成比12.6%）となっています。

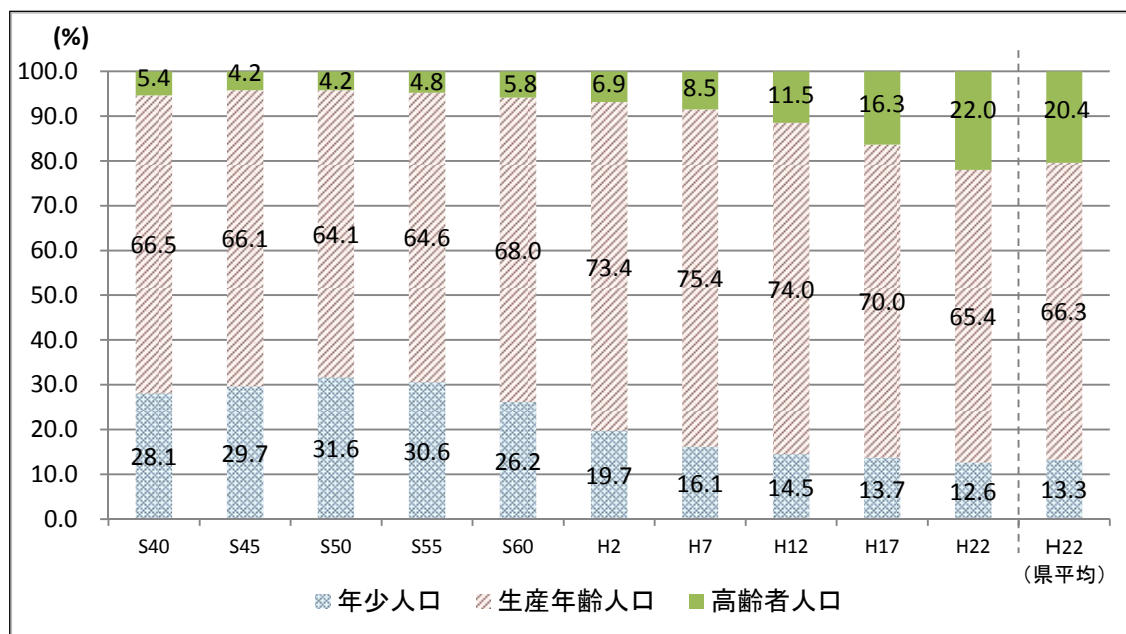
高齢者人口（65歳以上）は増加傾向にあり、平成22年で52,062人（人口構成比22.0%）となっており、高齢化が進行しています。また、平成22年における県平均との比較でも、年少人口比率が低く、高齢者人口比率が高くなっています。



(注) 年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15歳～64歳）、高齢者人口（65歳以上）

出典：国勢調査（昭和40年～平成22年）

図 2-6 年齢3階層別人口の推移



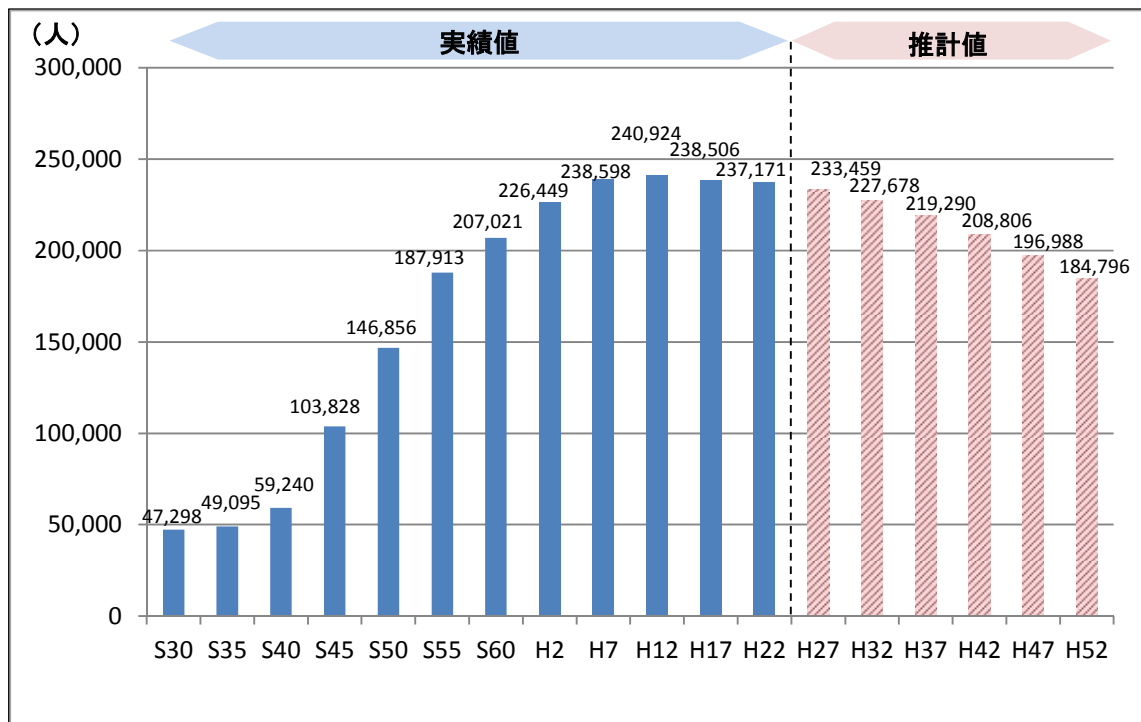
出典：国勢調査（昭和40年～平成22年）

図 2-7 年齢3階層別人口比率の推移

(3) 将来人口の見通し

(ア) 総人口の見通し

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、本市の総人口は平成 47 年には 20 万人を下回るものと推計されています。



出典：昭和 30 年～平成 22 年は「国勢調査」、平成 27 年～平成 52 年は「日本の市区町村別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

図 2-8 総人口の推移と見通し

表 2-2 平成 22 年以降の将来人口の見通し

	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52
総人口	237,171	233,459	227,678	219,290	208,806	196,988	184,796
増減数	－	▲3,712	▲5,781	▲8,388	▲10,484	▲11,818	▲12,192
増減率	－	▲1.6%	▲2.5%	▲3.7%	▲4.8%	▲5.7%	▲6.2%

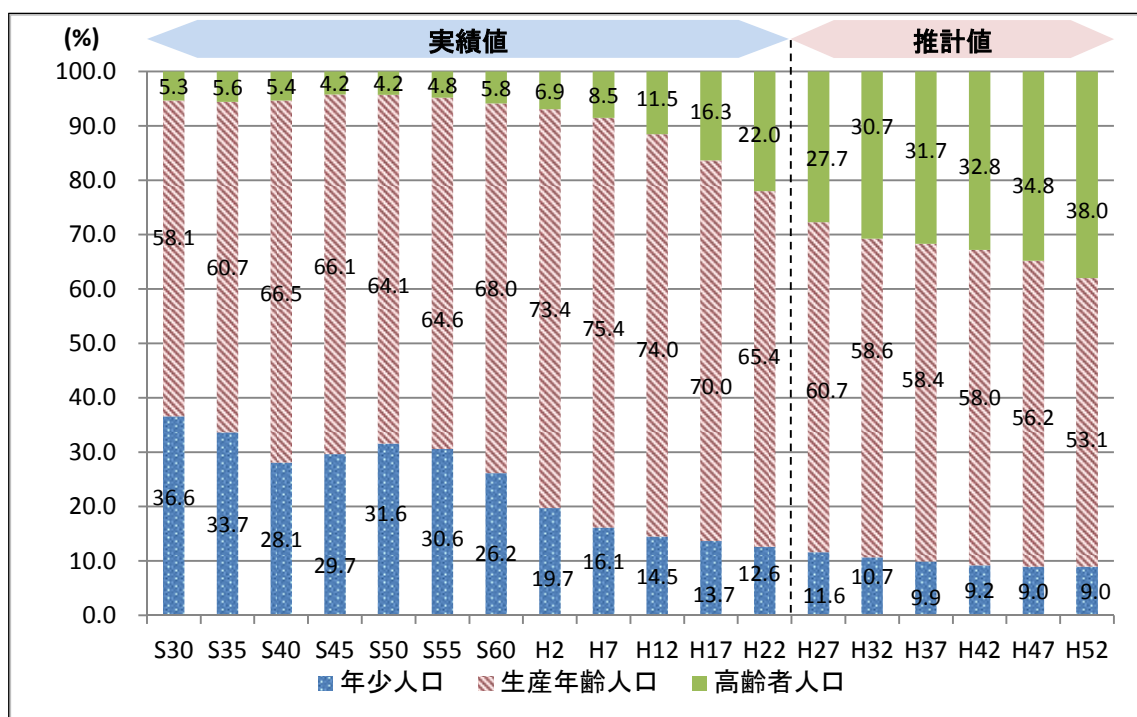
単位（人）

（注）▲はマイナスを示しています。

(イ) 年齢3階層別人口比率の見通し

本市の年齢3階層別人口比率は、高齢者人口比率が増加傾向、年少人口が減少傾向で、少子高齢化が進行しています。今後においてもその傾向が一層顕著となり、平成32年には高齢者人口比率が30%を超え、平成52年には生産年齢人口比率が53.1%まで減少するものと推計されています。

○例えば、人口ピーク時の平成12年当時においては、市民10人のうち働き世代が7人、子どもが2人、お年寄りが1人だった社会から、平成52年（今から約25年後）には、10人中、働き世代5人、子ども1人、お年寄り4人という社会に大きく変化することを示しています。



(注) 年齢不詳を除いています。

年少人口 (15歳未満)、生産年齢人口 (15歳～64歳)、高齢者人口 (65歳以上)

出典：昭和30年～平成22年は「国勢調査」、平成27年～平成52年は「日本の市区町村別将来推計人口（平成25年3月推計）」(国立社会保障・人口問題研究所)

図 2-9 年齢3階層別人口比率の推移と見通し

表 2-3 平成22年以降の年齢3階層別人口の見通し

		H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52
推計値	年少人口	29,916	27,055	24,331	21,712	19,266	17,683	16,548
	生産年齢人口	154,855	141,728	133,381	128,075	121,116	110,774	98,042
	高齢者人口	52,062	64,676	69,966	69,503	68,424	68,531	70,206
増減数	年少人口	—	▲2,861	▲2,724	▲2,619	▲2,446	▲1,583	▲1,135
	生産年齢人口	—	▲13,127	▲8,347	▲5,306	▲6,959	▲10,342	▲12,732
	高齢者人口	—	12,614	5,290	▲463	▲1,079	107	1,675

単位 (人)

(注) ▲はマイナスを示す。H22は年齢不詳を除いています。

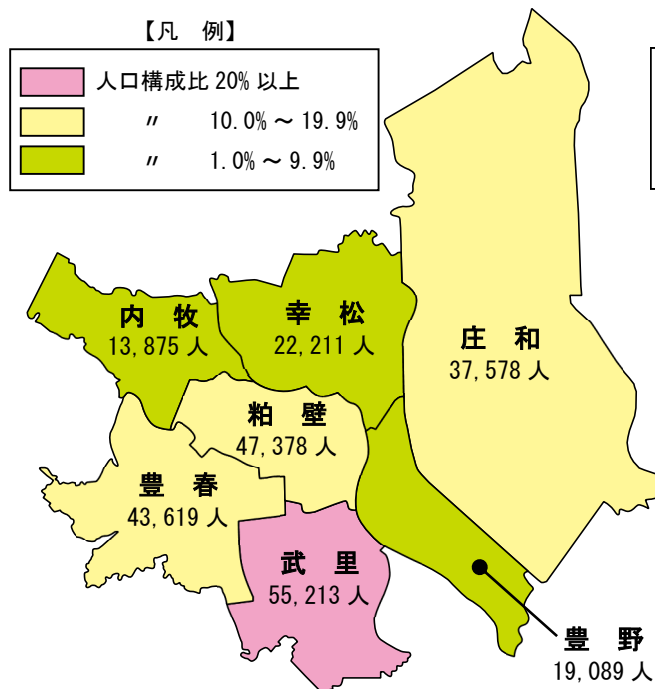
(4) 地区別人口

(ア) 地区別人口の内訳

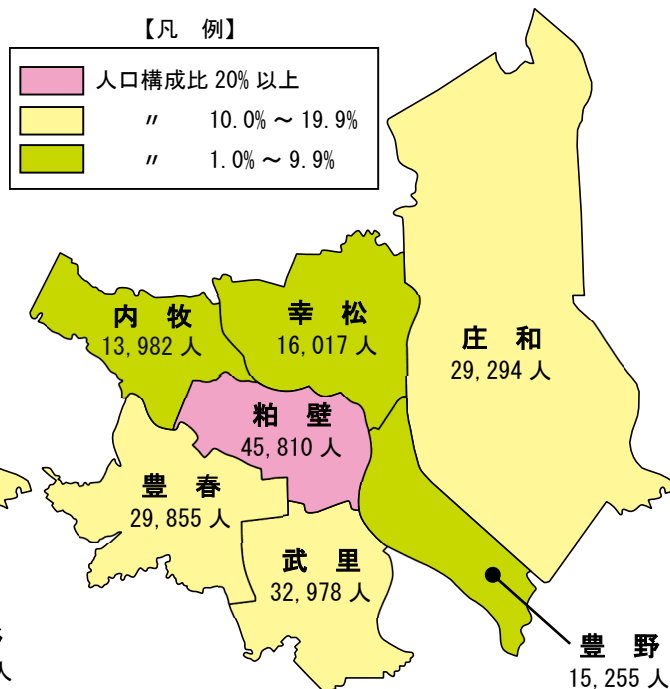
本市の7つの地区ごとの人口をみると、平成26年において最も人口が多いのは武里地区の55,213人(23.1%)であり、以下、粕壁地区47,378人(19.8%)、豊春地区43,619人(18.3%)、庄和地区37,578人(15.7%)の順となっています。

また、平成52年では、最も人口が多いのは粕壁地区の45,810人(25.0%)であり、以下、武里地区の32,978人(18.0%)、豊春地区29,855人(16.3%)と推計されます。

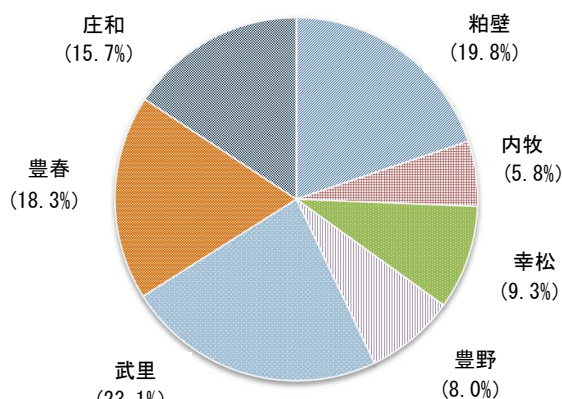
【地区別人口 (H26)】



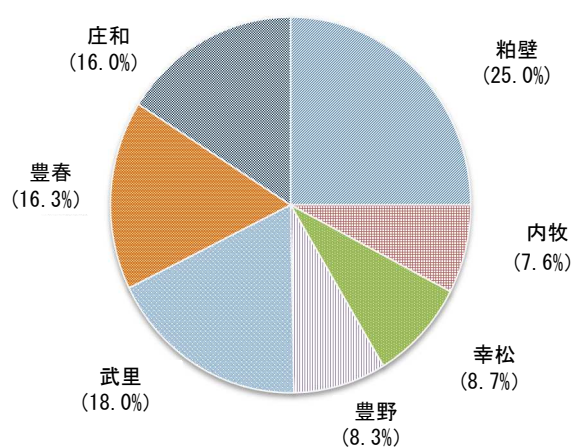
【地区別人口 (H52)】



【地区別人口構成 (H26)】



【地区別人口構成 (H52)】



(注) 平成52年人口は、住民基本台帳の平成17年、平成22年の人口を基に算出した推計値のため、P23の推計値とは相違があります。なお、小数点以下の処理の関係で合計が100%になりません。

出典：住民基本台帳 平成26年1月1日現在

図 2-10 地区別人口の内訳と構成比

(イ) 地区別人口の推移

地区別人口の推移と見通しをみると、平成 17 年から平成 26 年の間において人口が減少したのは 4 地区でしたが、平成 26 年から平成 52 年までの間では内牧地区以外のすべての地区で減少となるものと推計されます。ただし、内牧地区においても他地区同様に減少傾向で推移していくものと推計されます。

武里地区は、平成 26 年から平成 52 年までの間で 22,235 人（40.3%減）という大幅な減少になるものと推計されます。

表 2-4 地区別人口の推移

	粕壁	内牧	幸松	豊野	武里	豊春	庄和	合計
平成 17 年	46,018	13,182	22,435	19,155	59,500	43,692	37,274	241,256
平成 26 年	47,378	13,875	22,211	19,089	55,213	43,619	37,578	238,963
(推計人口) 平成 42 年	48,573	15,057	19,588	17,784	42,100	37,163	34,321	214,586
(推計人口) 平成 52 年	45,810	13,982	16,017	15,255	32,978	29,855	29,294	183,191
増減数(H17-26)	1,360	693	▲ 224	▲ 66	▲ 4,287	▲ 73	304	▲ 2,293
増減率(H17-26)	3.0%	5.3%	▲ 1.0%	▲ 0.3%	▲ 7.2%	▲ 0.2%	0.8%	▲ 1.0%
増減数(H26-52)	▲ 1,568	107	▲ 6,194	▲ 3,834	▲ 22,235	▲ 13,764	▲ 8,284	▲ 55,772
増減率(H26-52)	▲ 3.3%	0.8%	▲ 27.9%	▲ 20.1%	▲ 40.3%	▲ 31.6%	▲ 22.0%	▲ 23.3%

単位（人）

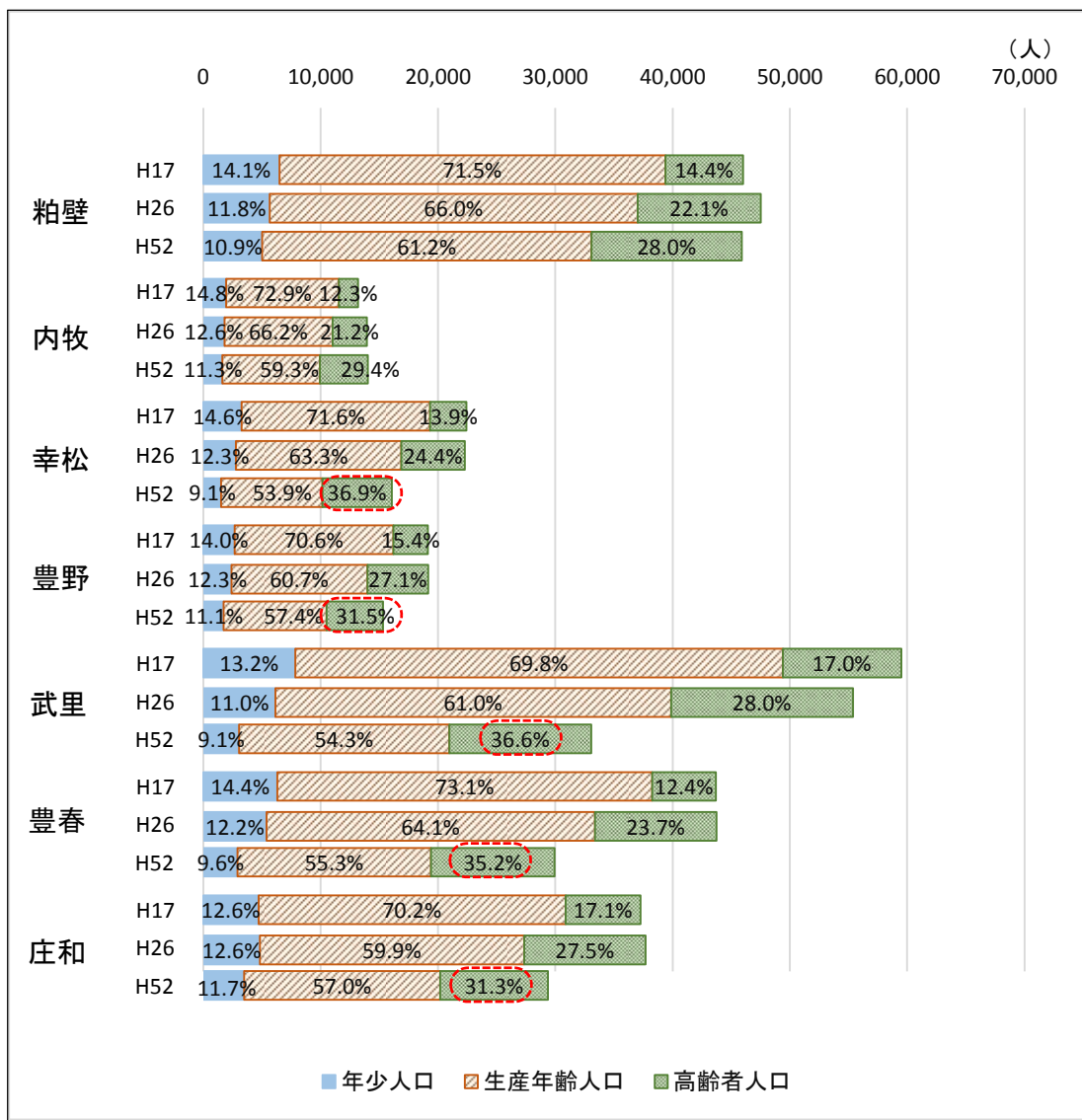
(注) ▲はマイナスを示しています。

(注) 推計人口：住民基本台帳の平成 17 年、平成 22 年の人口を基に算出した推計値のため、P23 の推計値とは相違があります。

出典：住民基本台帳 各年 1 月 1 日現在

(ウ) 地区別年齢 3 階層別人口の推移と見通し

地区別の年齢 3 階層別人口の推移と見通しをみると、平成 52 年においては、幸松地区、豊野地区、武里地区、豊春地区、庄和地区で高齢者人口比率が 30%以上になるものと推計されます。



(注) 小数点以下の処理の関係で合計が 100% になりません。

出典：住民基本台帳 各年 1 月 1 日現在

図 2-11 地区別人口の推移

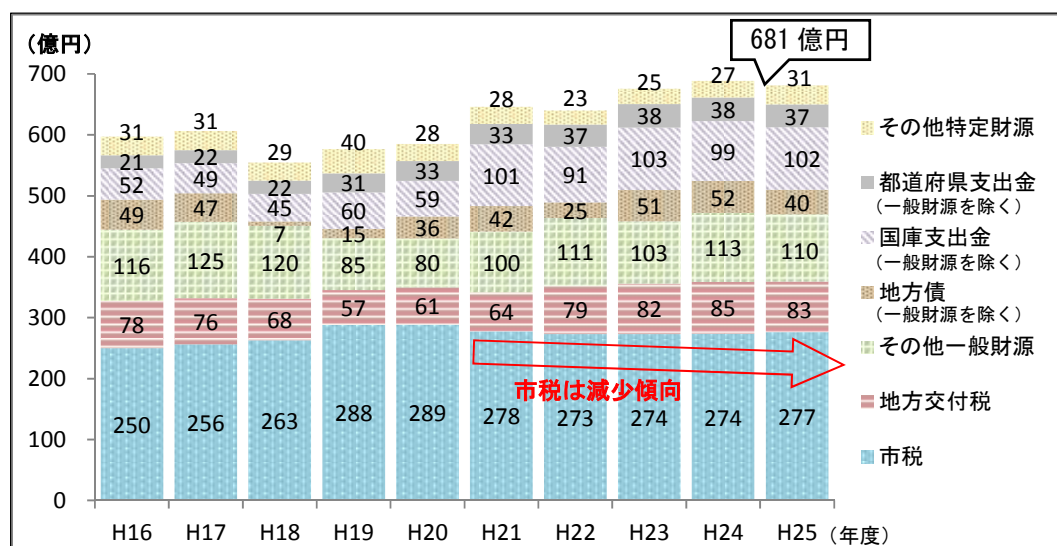
2.3. 財政状況

(1) 歳入及び歳出の推移

平成 25 年度の歳入は 681 億円であり、そのうち市税は 277 億円で全体の約 4 割を占めていますが、近年は減少傾向となっており、主たる納税者である生産年齢人口の減少が予測されていることから、今後もその傾向は続くものと想定されます。

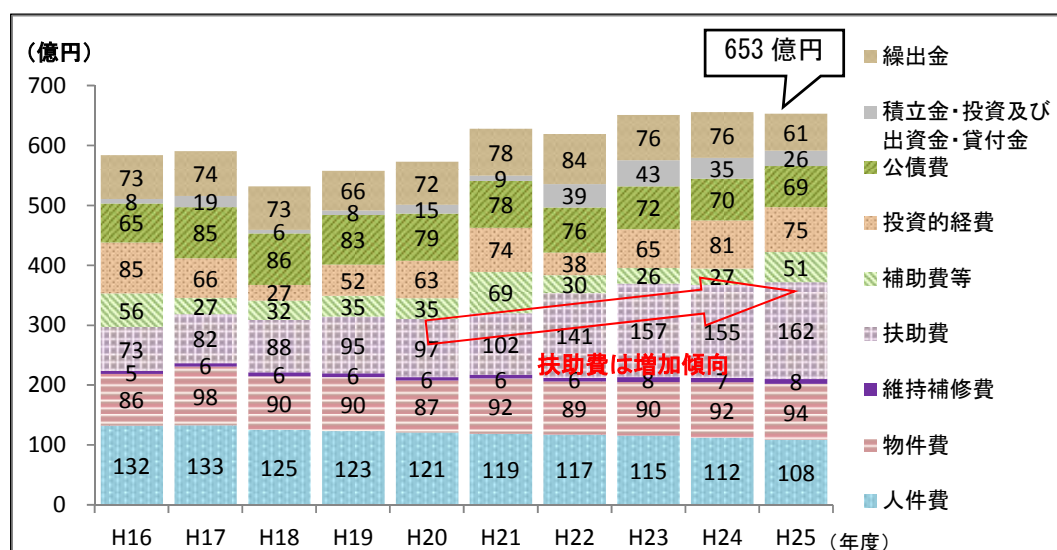
平成 25 年度の歳出は 653 億円であり、そのうち扶助費は全体の約 2 割を占め、高齢化社会の進行に伴い、今後とも増加するものと想定されます。また公共施設等の整備の財源となる投資的経費については 75 億円、維持補修費は 8 億円となっています。

今後は、市税の減少や扶助費の増加に伴い、市の財政状況は厳しさを増すことが想定され、投資的経費及び維持補修費に充当される財源の確保が出来なくなることが見込まれます。



(注) 金額は普通会計決算形式。億円未満を四捨五入しているため、合計値は合いません。

図 2-12 歳入の推移



(注) 金額は普通会計決算形式。億円未満を四捨五入しているため、合計値は合いません。

図 2-13 歳出の推移

(2) 財政指標の状況

(ア) 財政力指数^{※1}

平成 25 年度の財政力指数は 0.77 で前年度と同様となり、類似団体^{※2}（全国の特例市（40 都市））平均（0.81）を 0.04 ポイント下回っています。また、類似団体内順位は 25 位となっています。

なお、財政力指数の全国平均は 0.49、埼玉県平均は 0.77 となっています。

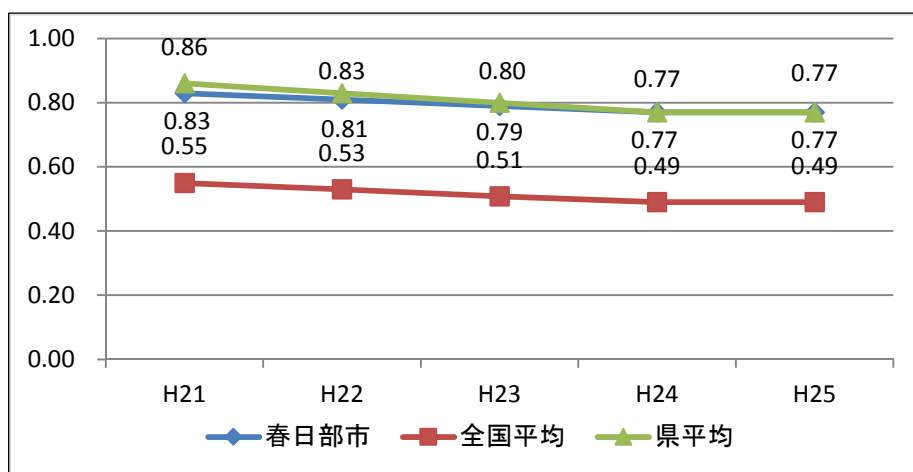
※1 財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去 3 年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。財政力指数が「1」を超えると、地方交付税が交付されない団体（不交付団体）となります。

※2 類似団体：全国の特例市（平成 26 年 4 月 1 日現在で 40 市）を類似団体としています。

【特例市】（要件：人口 20 万人以上）

八戸市、山形市、水戸市、つくば市、伊勢崎市、太田市、川口市、所沢市、越谷市、草加市、春日部市、熊谷市、小田原市、大和市、平塚市、厚木市、茅ヶ崎市、長岡市、上越市、福井市、甲府市、松本市、沼津市、富士市、春日井市、一宮市、四日市市、吹田市、茨木市、八尾市、寝屋川市、岸和田市、明石市、加古川市、宝塚市、鳥取市、松江市、呉市、佐世保市、佐賀市

（注）主要財政指標の全国数値及び順位は、「全市町村の主要財政指標」（総務省）より算出



出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（総務省）（平成 21 年度～平成 25 年度）

図 2-14 財政力指数の推移

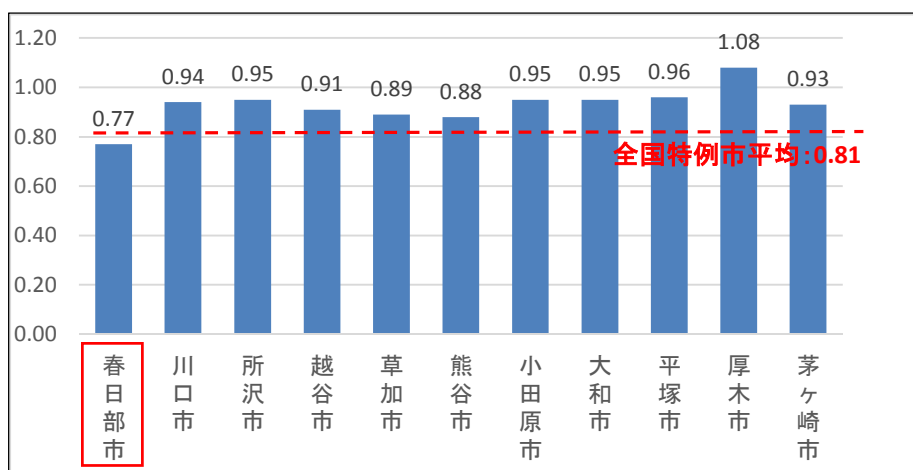


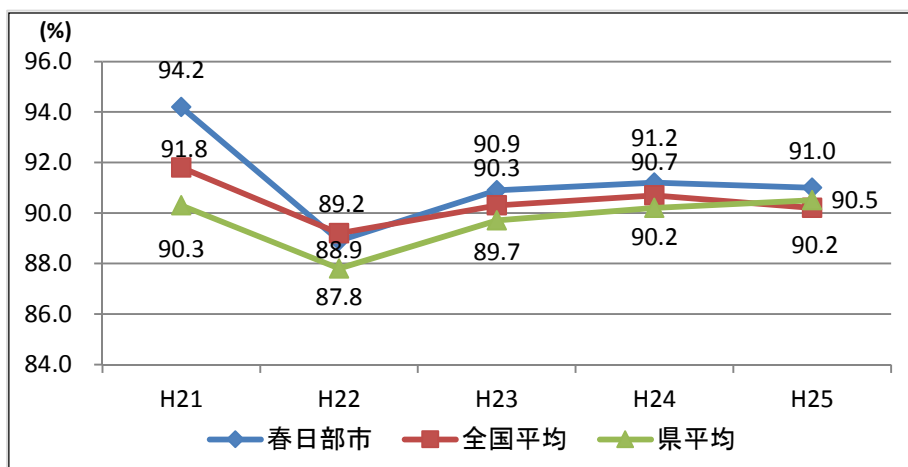
図 2-15 近隣の特例市との比較（平成 25 年度）

(イ) 経常収支比率※3

平成 25 年度の経常収支比率は 91.0%で、前年度と比較して 0.2 ポイントの減となり、類似団体（全国の特例市（40 都市））平均（90.4%）を 0.6 ポイント上回っています。また、類似団体内順位は 22 位となっています。

なお、経常収支比率の全国平均は 90.2%、埼玉県平均は 90.5%となっています。

※3 経常収支比率：人件費（職員等に支払われる経費）、扶助費（社会保障制度の一環として支出している経費）、公債費（市が借り入れた借金の元利償還金など）のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に対して、市税や普通交付税など毎年度経常的に収入される一般財源がどの程度使われているかを示す割合です。財政構造の弾力性を示す指標で、この比率が高いほど、普通建設事業費等の臨時的な経費に使うことができる財源に余裕がなく、財政構造の硬直化が進んでいることになります。



出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（総務省）（平成 21 年度～平成 25 年度）

図 2-16 経常収支比率の推移

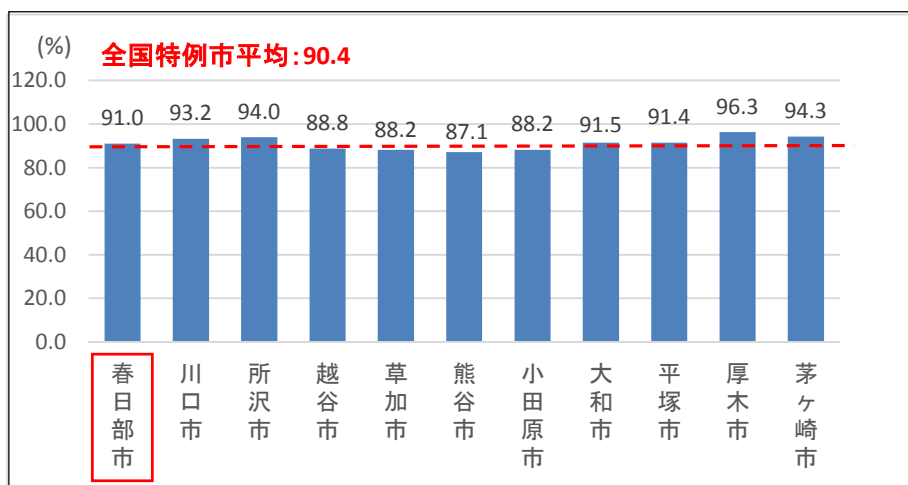


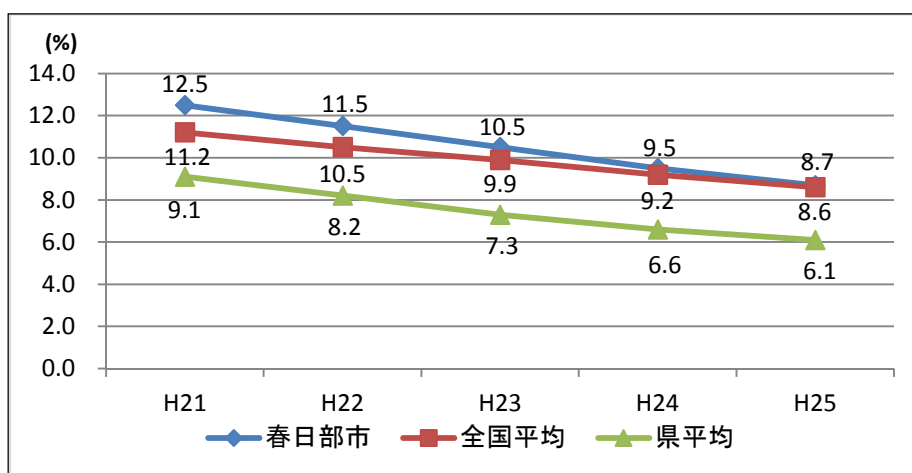
図 2-17 近隣の特例市との比較（平成 25 年度）

(ウ) 実質公債費比率※4

平成 25 年度の実質公債費比率は 8.7%で、前年度と比較して 0.8 ポイントの減となり、類似団体（全国の特例市（40 都市））平均（7.8%）を 0.9 ポイント上回っています。また、類似団体内順位は 26 位となっています。

なお、実質公債費比率の全国平均は 8.6%、埼玉県平均は 6.1%となっています。

※4 実質公債費比率：地方自治体の収入に対する実質的な借金の比率。一般会計等が負担する借入金の返済額及びこれに準ずる額（特別会計や企業会計、一部事務組合への繰出金・負担金のうち借入金の返済に使われた額など）の大きさを指標化したもの。元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、資金繰りの危険度を示します。低いほど返済の負担が軽いことを意味しています。



出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（総務省）（平成 21 年度～平成 25 年度）

図 2-18 実質公債費比率の推移

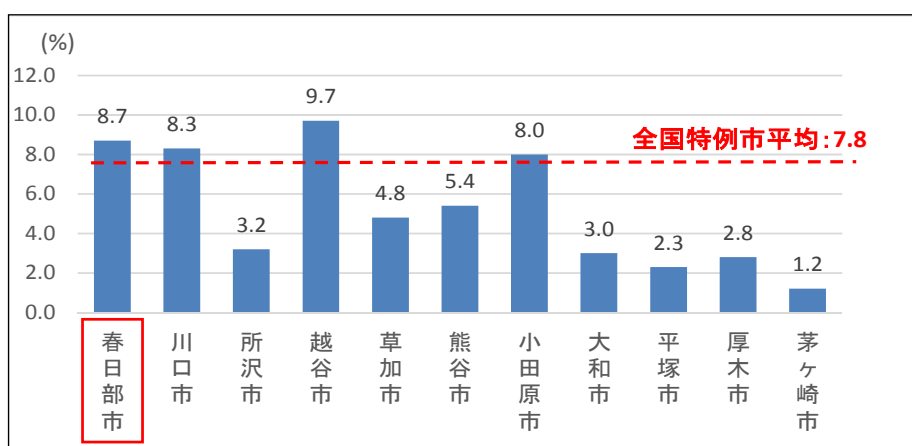


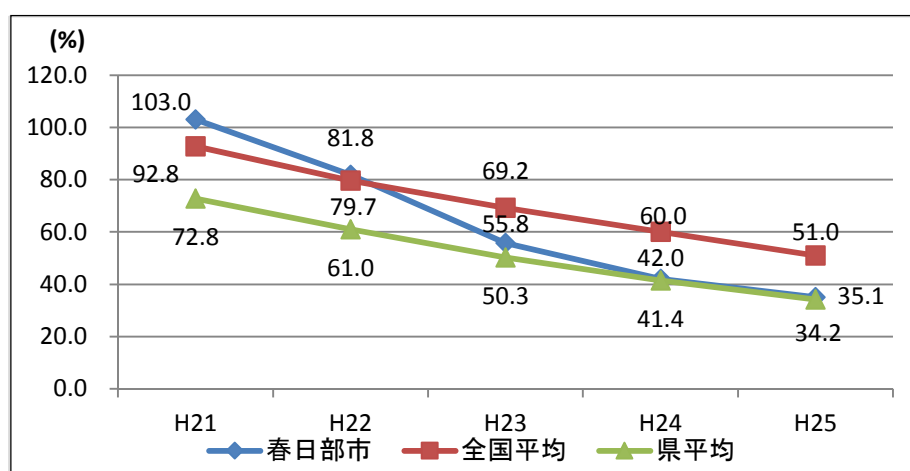
図 2-19 近隣の特例市との比較（平成 25 年度）

(エ) 将来負担比率※5

平成 25 年度の将来負担比率は 35.1%で、前年度と比較して 6.9 ポイントの減となり、類似団体（全国の特例市（40 都市））平均（64.4%）を 29.3 ポイント下回っています。また、類似団体内順位は 14 位となっています。

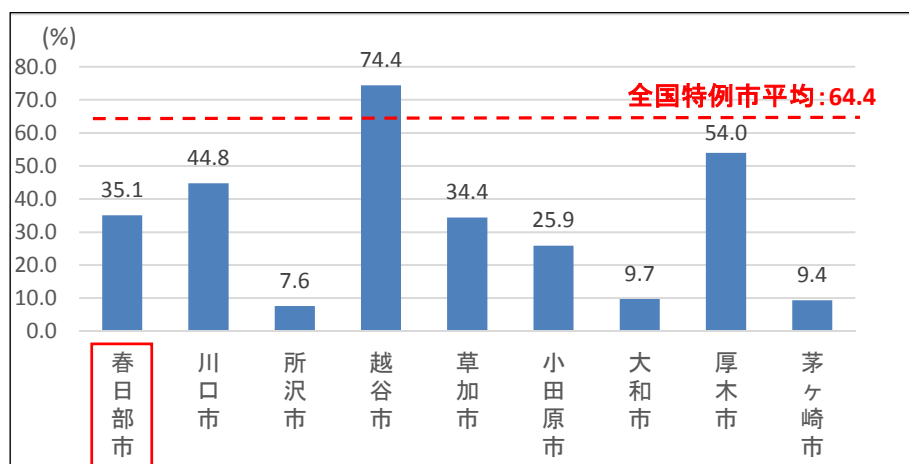
なお、将来負担比率の全国平均は 51.0%、埼玉県平均は 34.2%となっています。

※5 将来負担比率：一般会計等が負担する借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化したもの。将来的に支出しなければならない実質的な財政負担の標準財政規模に対する比率で、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。



出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（総務省）（平成 21 年度～平成 25 年度）
市町村財政比較分析表（埼玉県）（平成 21 年度）

図 2-20 将来負担比率の推移



（注）熊谷市及び平塚市は、将来負担額を将来負担に充当可能な財源が上回るため、将来負担率は算定されません。

図 2-21 近隣の特例市との比較（平成 25 年度）

3. 施設状況

3.1. 公共施設等の状況

(1) 建築物系施設の現状

(ア) 延床面積の状況

本市の建築物系施設の総棟数は485棟であり、床面積の合計は約50万㎡となっています。延床面積の内訳は、学校系施設が50.9%、次いで行政系施設の8.4%、コミュニティ系施設の6.5%となっています。

表 3-1 建築物系施設（中分類）の施設数、棟数、延床面積

分類	施設数	棟数	延床面積	
市民文化系施設	5施設	3棟	16,463㎡	3.3%
コミュニティ系施設	37施設	36棟	32,675㎡	6.5%
スポーツ系施設	4施設	4棟	22,260㎡	4.4%
学校系施設	38施設	124棟	255,060㎡	50.9%
その他教育系施設	70施設	60棟	17,787㎡	3.5%
保健福祉系施設	62施設	47棟	31,545㎡	6.3%
医療系施設	1施設	7棟	20,071㎡	4.0%
商工業・交通施設	9施設	14棟	10,622㎡	2.1%
行政系施設	45施設	60棟	42,053㎡	8.4%
住宅系施設	15施設	104棟	24,480㎡	4.9%
環境施設	10施設	24棟	23,621㎡	4.7%
一部事務組合施設	1施設	2棟	4,785㎡	1.0%
合計	297施設	485棟	501,422㎡	100.0%

平成26年3月31日現在

(注) 複合施設等における棟数は、施設管理台帳での主用途の棟数に計上しています。

(注) 屋外施設については、次頁にて整理しています。

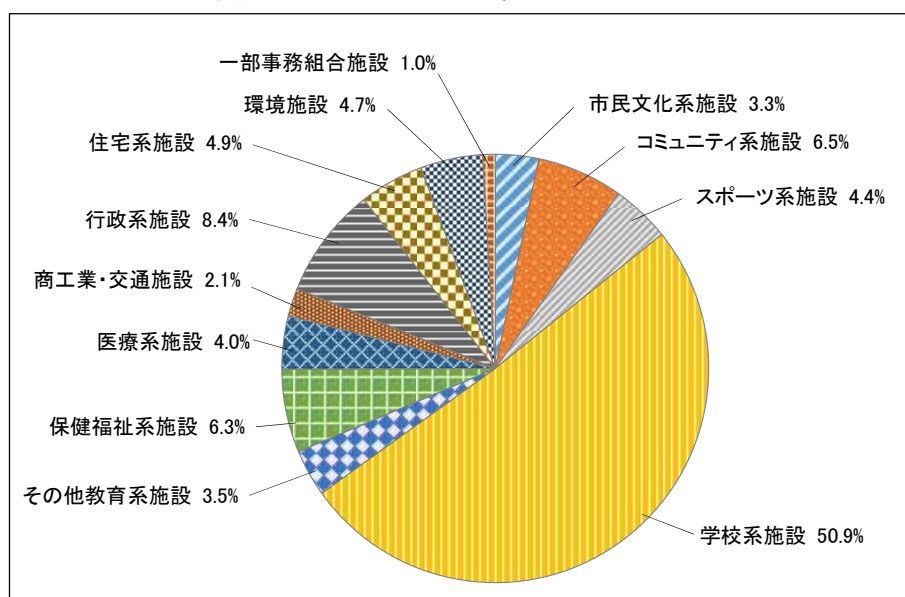


図 3-1 建築物系施設の床面積割合

建築物系施設の屋外施設は、大規模公園、屋外スポーツ施設、交通施設であり、総合公園 228,325 m²、地区公園 124,356 m²、野球場 5 施設、グラウンド 9 施設、テニスコート 5 施設、自動車駐車場 2 施設、自転車駐車場 5 施設となっています。

表 3-2 建築物系施設（屋外施設）

分類	種別	施設数等
大規模公園	総合公園	2 施設 228,325 m ²
	地区公園	2 施設 124,356 m ²
屋外スポーツ施設	野球場	5 施設
	グラウンド	9 施設
	テニスコート	5 施設
交通施設	自動車駐車場	2 施設
	自転車駐車場	5 施設

平成 26 年 3 月 31 日現在

i) 人口一人当たりの延床面積

本市の人口一人当たりの建築物系施設の延床面積は、2.10 m²/人となっており、県内の6つの特例市の平均値（2.05 m²/人）をやや上回り、6特例市中3番目に多い状況となっています。

また、全国の25万人以上の都市の平均と比べてみると、本市が0.18ポイント上回っています。

表 3-3 他都市との比較

		人口(H26) (人)	建築物系施設の 総延床面積 (㎡)	人口一人当たり 延床面積 (㎡/人)	備考
県 内 の 特 例 市	春日部市	238,963	501,422	2.10	
	川口市	583,989	1,352,428	2.32	川口市施設白書
	所沢市	342,797	627,622	1.83	所沢市公共施設マネジメント白書
	越谷市	333,736	557,615	1.67	越谷市公共施設等総合管理計画 基本方針
	草加市	244,289	415,660	1.70	草加市公共施設マネジメント白書2014
	熊谷市	202,155	538,936	2.67	熊谷市市有施設の現状について（更新費用の推計）
	平均	-	-	2.05	上記の平均
さいたま市		1,253,582	2,199,727	1.75	平成25年度さいたま市公共施設マネジメント白書
25万人以上の 都市の平均		-	-	1.92	総務省「全国平均値及び人口区分別平均値」
10～25万人未満の 都市の平均		-	-	2.89	総務省「全国平均値及び人口区分別平均値」

(注) 特例市：日本の地方公共団体のうち地方自治法第252条の26の3第1項に定める政令による特別指定を受けた市

出典：住民基本台帳 平成26年1月1日現在

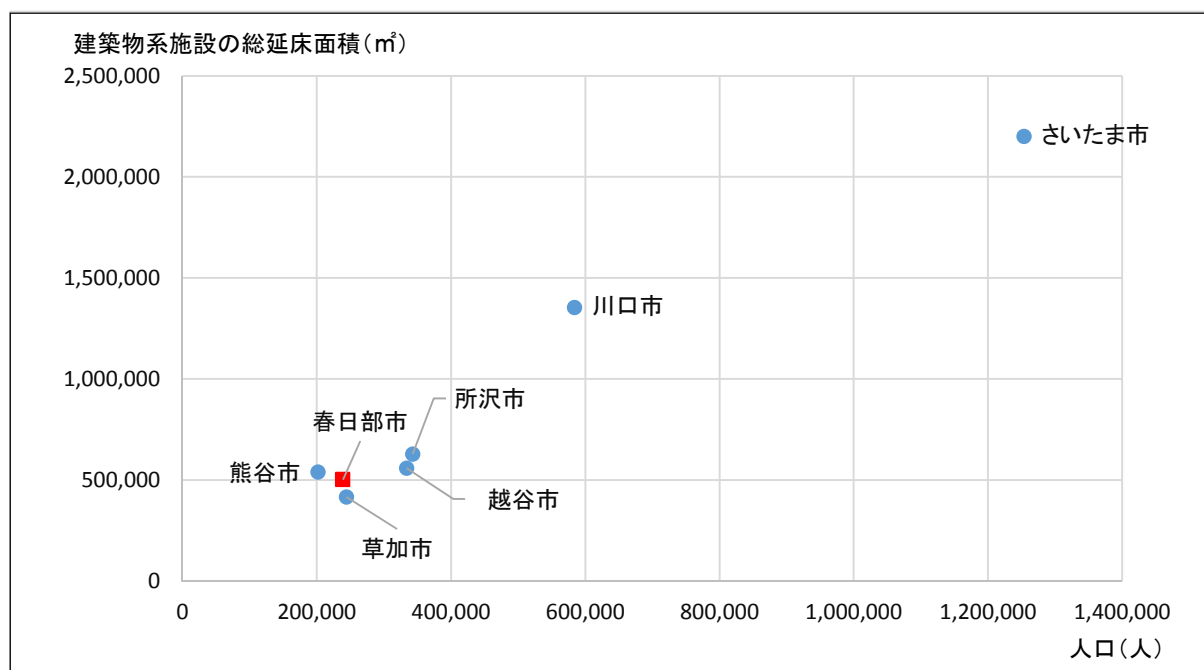


図 3-2 人口と建築物系施設の延床面積

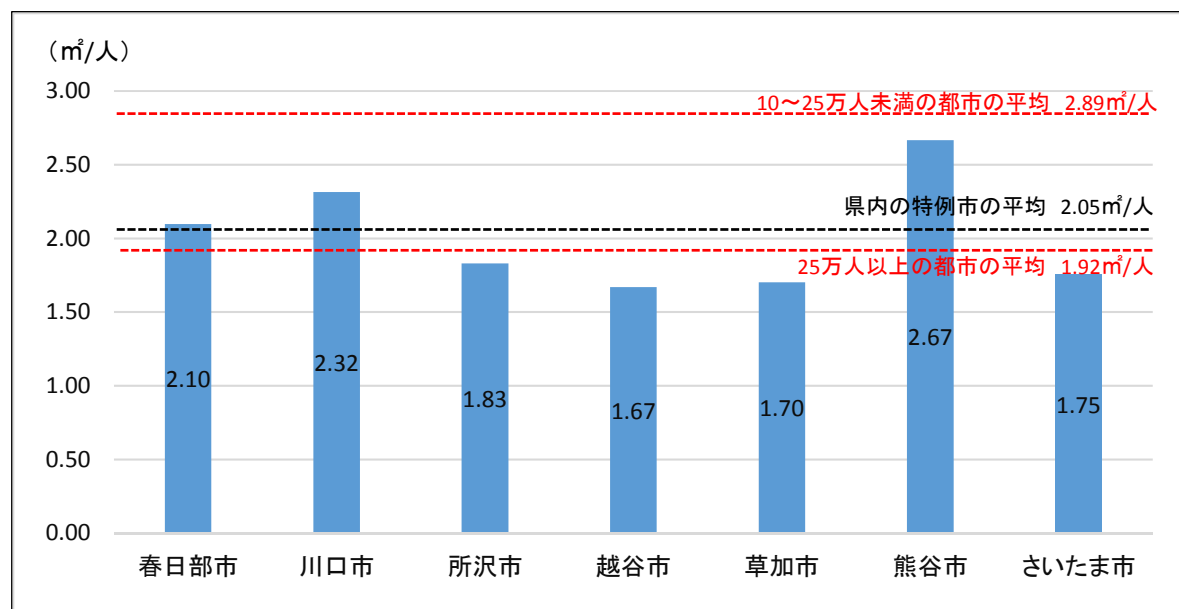


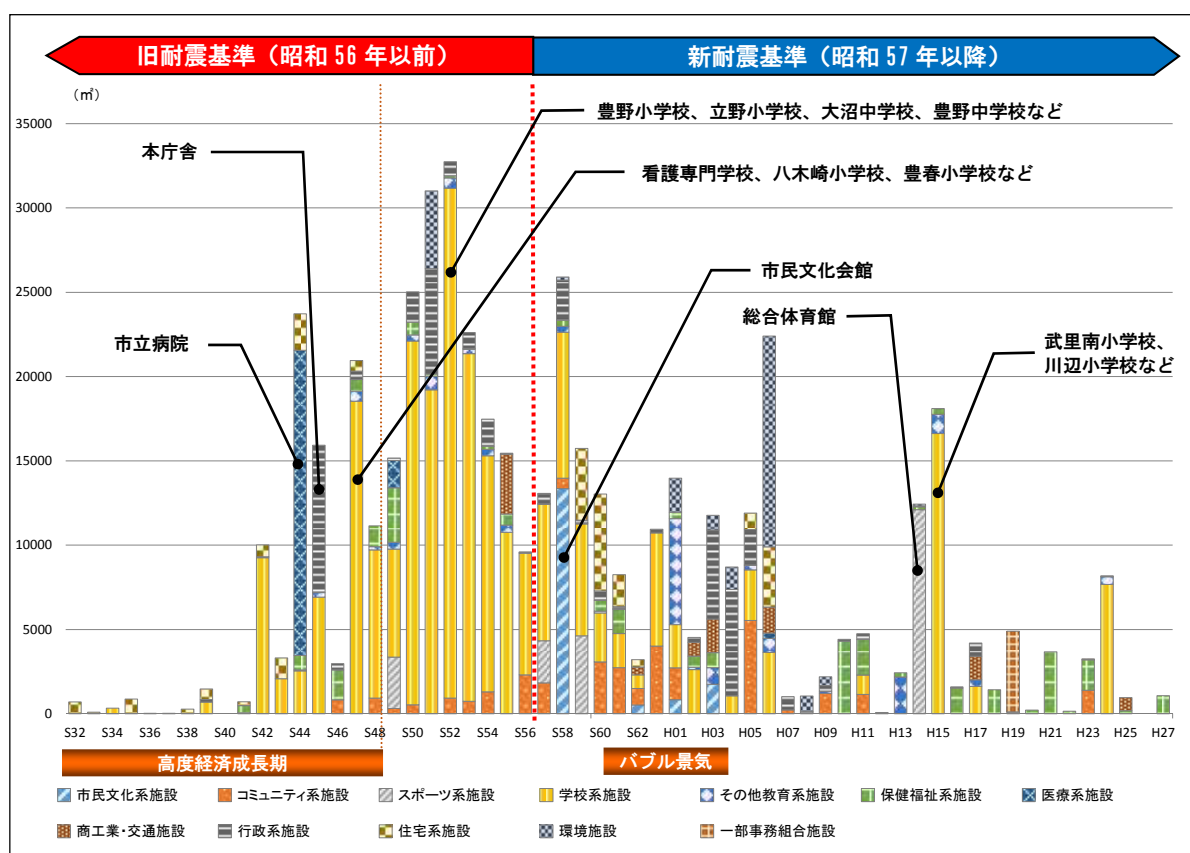
図 3-3 県内特例市及びさいたま市の人口一人当たりの延床面積

ii) 建築年別の状況

施設の多くは、昭和 40 年代から昭和 50 年代にかけて整備されており、昭和 56 年（1981 年）以前に建設された旧耐震基準の施設は全体の 52.2%を占めています。

一般に、鉄筋コンクリート造の建築物の場合は、築 30 年程度が経つと大規模改修が、築 60 年程度が経つと建替えが必要となるといわれています。

今後は、古い施設から老朽化の状況に応じて順次大規模改修や建替えが必要となり、特に昭和 40 年代から昭和 50 年代に整備された施設の、大規模改修・建替えの集中する大きな波が押し寄せると想定されます。



(注) H27 の値は、平成 27 年開所の武里南保育所

図 3-4 建築物系施設の建築年別延べ床面積

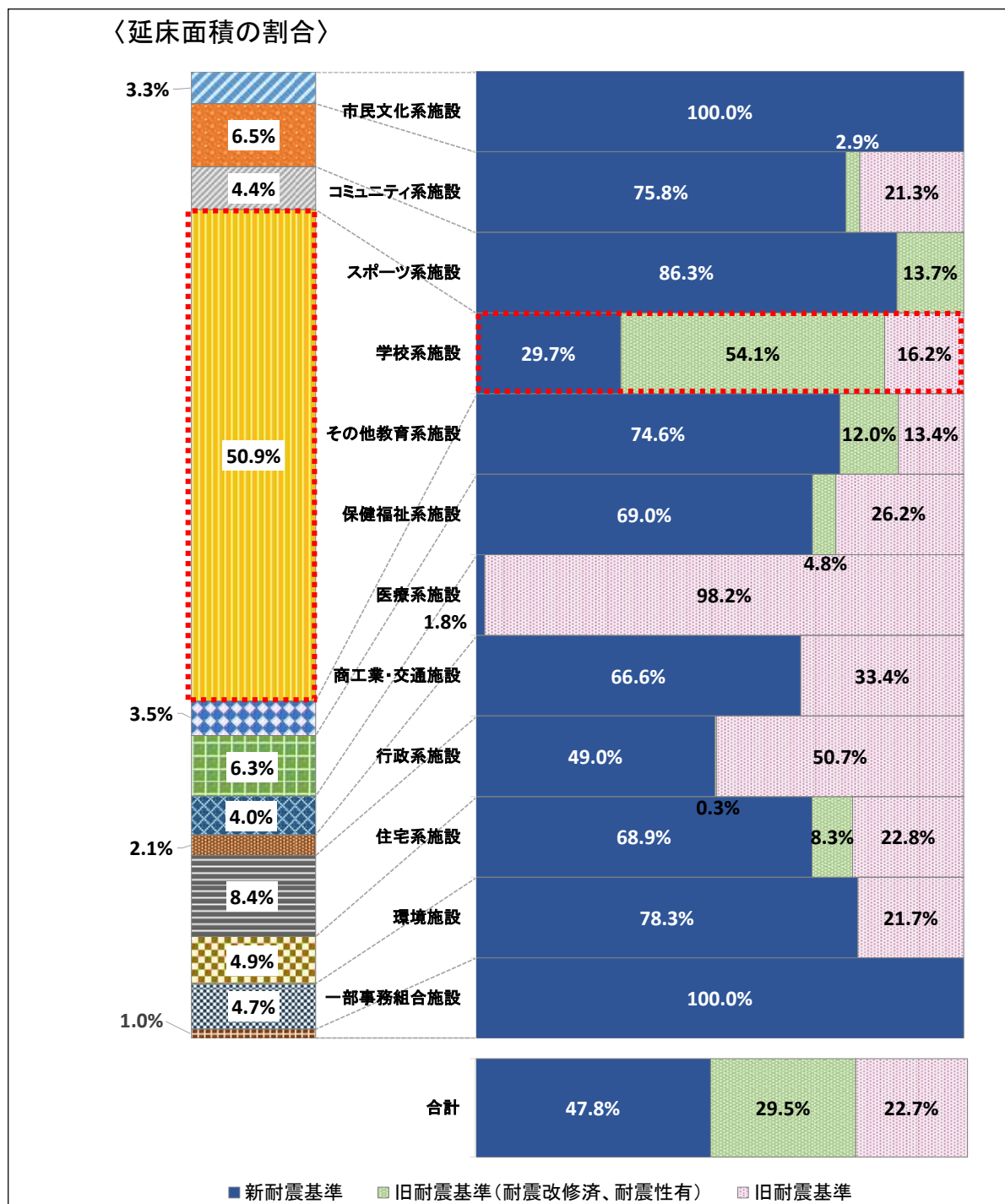
iii) 老朽化の状況及び耐震基準別の延床面積の状況

旧耐震基準で建設され、老朽化が著しい施設は、医療系施設、学校系施設、行政系施設であり、その中でも学校系施設については、棟数、延床面積も大きい施設となっていることから、多くの改修費用がかかることが想定されます。

なお、学校系施設については、旧耐震基準の建築物のうち、約 77%※が耐震改修済、耐震性有となっています。

※倉庫などを含む学校施設全体の建物を対象に算出した値であり、文部科学省の定め（2階以上又は200㎡を越える建物が対象）による校舎や体育館などの耐震化率とは異なります。

$$54.1\% \div (54.1\% + 16.2\%) \times 100 \approx 77\%$$



平成 26 年 3 月 31 日現在

図 3-5 耐震基準別の延床面積比率

(イ) 建築物系施設の更新等費用の推計

i) 標準ケースでの更新等費用の推計

今後 30 年間に、建築物系施設の改修・更新・修繕等にかかる費用は約 1,756 億円と推計され、年間（年平均）にかかる費用は約 59 億円と想定されます。平成 25 年度から過去 5 年間の大規模改修・更新等の費用の平均は約 27 億円であることや、一時期に集中して改修・更新等の費用がかかることによる財政への負担が懸念されることから、このままの状態では改修・更新等を行っていくと多額の財源不足に陥る状況にあります。

また、平成 41 年以降では年平均を大きく上回る年が多く見られることから、改修・更新等の費用の平準化に向けた取組が必要となります。

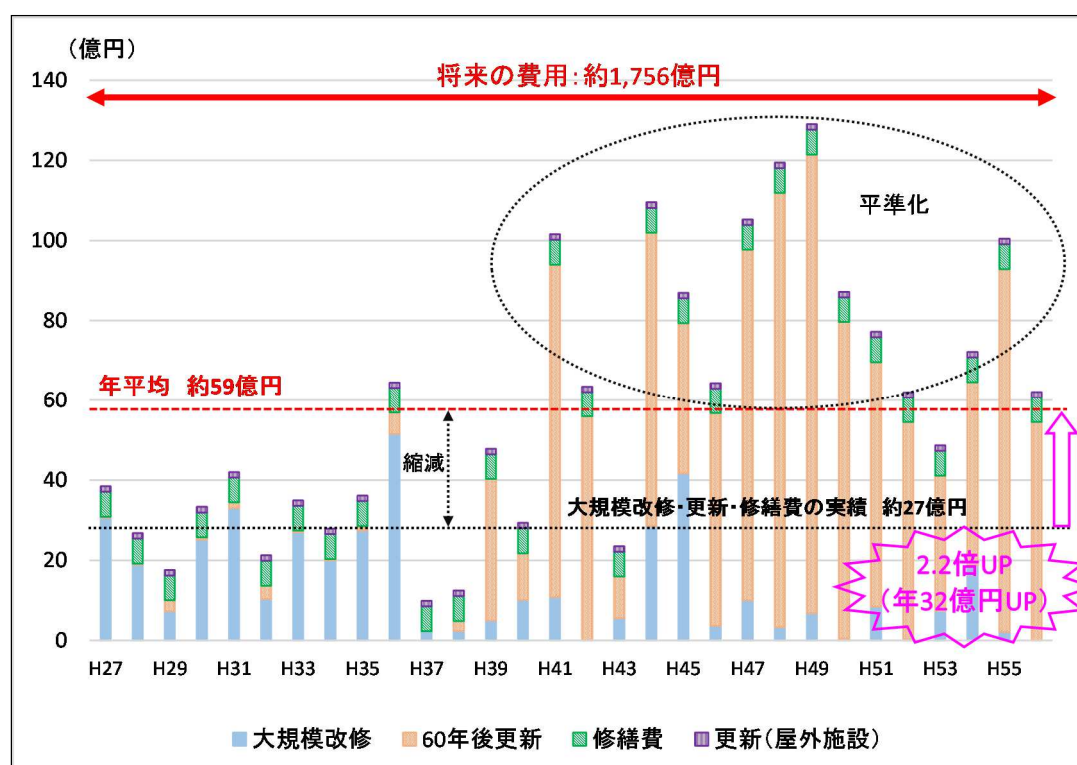


図 3-6 建築物系施設の改修・更新等にかかる費用の推計

注）試算条件

- ・今後新たな建設は行わないものと仮定する。
- ・物価変動による改修時、更新時の再調達価格の変動は考慮しないものとする。
- ・建設後 60 年で更新（建替え）を実施する。更新費用は建設費と同額とする。
- ・建設後 30 年で大規模改修を実施する。
- ・更新（建替え）費用の単価は、昭和 57 年以降に建設された施設の工事費の平均とする。
- ・大規模改修は、更新費用試算ソフト（財団法人 地域総合整備財団）における設定（建設費の 6 割）と同様とする。
- ・一部事務組合施設の更新費用は、当該施設の総延床面積に過去 3 年平均の市負担金割合を乗じて算出している。
- ・修繕費は、本市の平成 21 年～平成 25 年の施設修繕費の 5 か年の平均の費用とし、今後、毎年この費用がかかることとする。
- ・公園については、施設修繕費、業務委託料の合計の 3 か年の平均の費用に大規模公園（総合公園、地区公園）の公園面積の比率を乗じた値を毎年更新していくものと想定する。
- ・屋外スポーツ施設については、平成 23 年～平成 25 年の補修費等の 3 か年の平均の費用とし、今後、毎年この費用がかかることとする。

ii) 建築物を長寿命化したケースでの更新等費用の推計

建築物の長寿命化を図った場合の更新等の費用の推計を行います。試算条件は、基本的に標準ケースと同様の条件としていますが、長寿命化の効果により、更新（建替え）時期を標準ケースの 60 年から 80 年とし、長寿命化を図るために、大規模改修・修繕等の費用が増加することを想定しています。

今後 30 年間に、建築物系施設の改修・更新・修繕等の費用は約 959 億円と推計され、年間（年平均）にかかる費用は約 32 億円と想定されます。平成 25 年度から過去 5 年間の大規模改修・更新等の費用の平均の約 27 億円を年間約 5 億円上回ります。

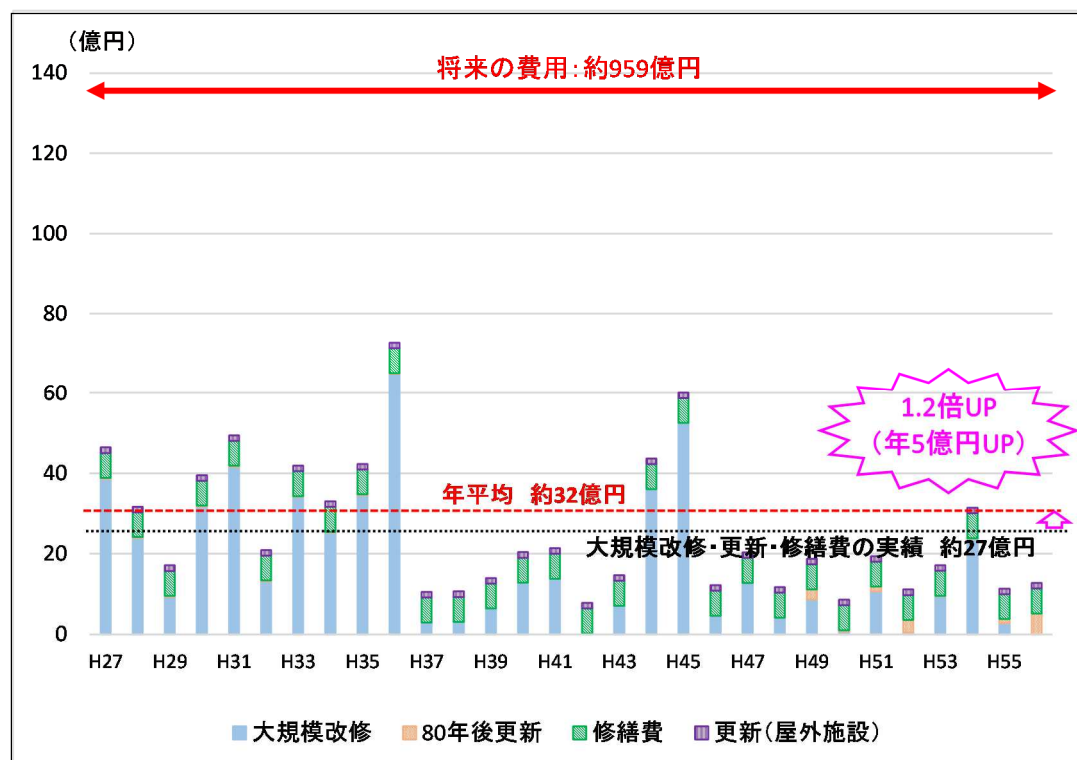


図 3-7 建築物系施設の改修・更新等にかかる費用の推計
(建築物を長寿命化したケース)

注) 試算条件

- ・今後新たな建設は行わないものと仮定する。
- ・物価変動による改修時、更新時の再調達価格の変動は考慮しないものとする。
- ・建設後 80 年で更新（建替え）を実施する。更新費用は建設費と同額とする。
- ・建設後 30 年で大規模改修（長寿命化のための改修を含む）を実施する。
- ・更新（建替え）費用の単価は、昭和 57 年以降に建設された施設の工事費の平均とする。
- ・大規模改修は、建設費の 8 割と想定する。
- ・一部事務組合施設の更新費用は、当該施設の総延床面積に過去 3 年平均の市負担金割合を乗じて算出している。
- ・修繕費は、標準ケースの場合の 2 倍と想定する。
- ・公園については、施設修繕費、業務委託料の合計の 3 か年の平均の費用に大規模公園（総合公園、地区公園）の公園面積の比率を乗じた値を毎年更新していくものと想定する。
- ・屋外スポーツ施設については、平成 23 年～平成 25 年の補修費等の 3 か年の平均の費用とし、今後、毎年この費用がかかることとする。

(2) インフラ系施設の現状

(ア) インフラ系施設の概要

インフラ系施設は、道路・橋りょう、河川、上水道施設、下水道施設、公園であり、道路は、一般道路約 1,048km、自転車歩行者道約 3.6km、橋りょう約 3.9km、河川約 972km、上水道施設管路等約 844km、下水道施設管路等約 606 km、公園約 71 万㎡となっています。

表 3-4 インフラ系施設の概要

分類		種別	施設数等		
道路・橋りょう	道路	一般道路	1,047.78 km		
			5,673,940 ㎡		
		自転車歩行者道	3.64 km		
			10,996 ㎡		
	橋りょう	橋りょう	601 橋	3.94 km	
				27,296 ㎡	
河川	河川	準用河川	9 河川	29.65	km
		普通河川（水路）		942.33	km
	施設	ポンプ場・排水機場・調整池等		60	施設
上水道施設	上水道施設	管路		844.24	km
		浄水場		5	施設
		配水池	13 施設	56,000	立方メートル
		混和池、着水井等		8	施設
下水道施設	下水道施設	管路		605.91	km
		ポンプ施設		2	施設
公園	公園	近隣公園	14 施設	175,024	㎡
		街区公園	197 施設	203,654	㎡
		その他の公園	65 施設	41,920	㎡
		緑地・緑道等	101 施設	284,893	㎡

平成 26 年 3 月 31 日現在

(イ) インフラ系施設の更新等費用の推計

今後 30 年間に、インフラ系施設の改修・更新等の費用は約 2,305 億円と推計され、年間（年平均）にかかる費用は約 77 億円と想定されます。インフラ系施設も建築物系施設と同様に、更新等の費用を縮減、平準化することが必要となっています。

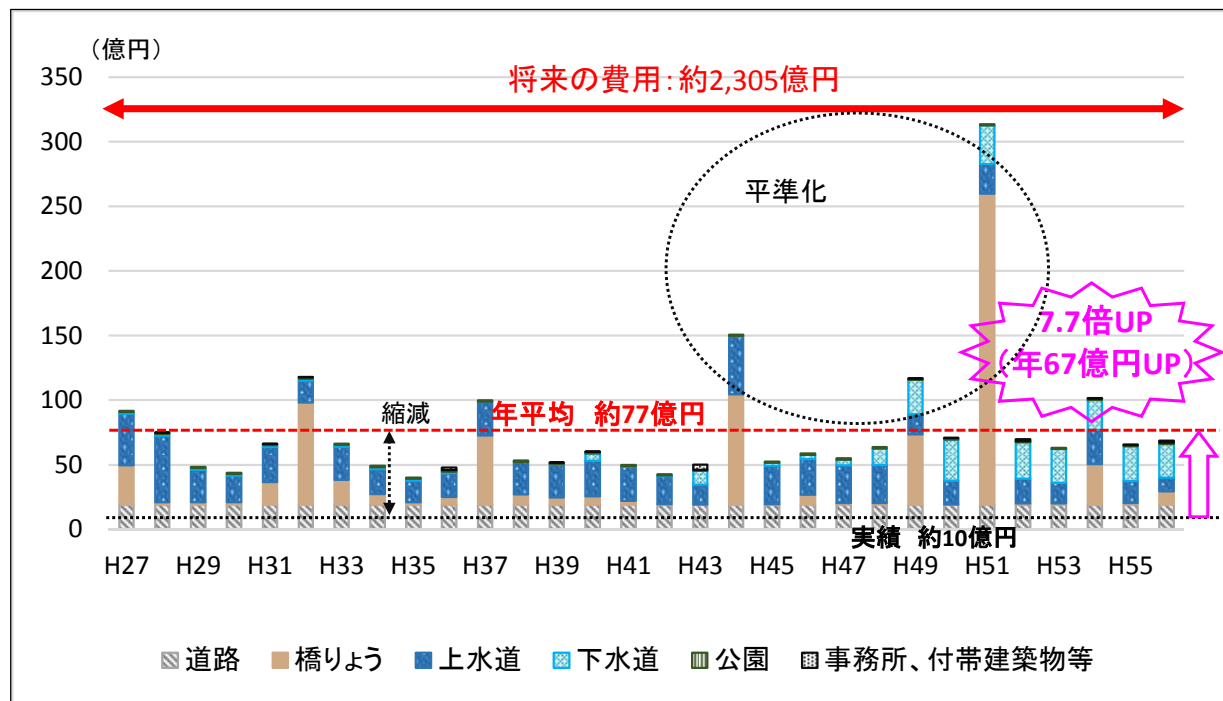


図 3-8 インフラ系施設の更新等にかかる費用の推計

(注) 試算条件

- ・ 今後新たな建設は行わないものと仮定する。
- ・ 物価変動による改修時、更新時の再調達価格の変動は考慮しないものとする。

<道路>

- ・ 道路の更新単価については、「道路統計年報」で示されている舗装補修事業費（決算額）を舗装補修事業量で割って算出する。
- ・ 自転車歩行車道は、道路単価に道路打換え工の単価（土木工事積算基準単価）の比率を乗じたものを単価とする。
- ・ 道路の耐用年数は、打換えについて算定することが現実的と考えられることから、更新費用試算ソフト（財団法人 地域総合整備財団）で設定している 15 年とし、全整備面積を耐用年数の 15 年で割った面積を毎年更新していくものと想定している。

<橋りょう>

- ・ 「橋りょう長寿命化修繕計画」の対症療法型の数値を使用している。

<上水道>

- ・ 「アセットマネジメント手法を活用した水道施設長期更新計画」の法定耐用年数で更新した場合の数値を使用している。
- ・ 構造物及び設備と管路の更新需要を計上している。

<下水道>

- ・ 単純改築（標準耐用年数 50 年で改築）を想定している。
- ・ 更新単価は、本市の新規整備分の 5 年間の平均単価とする。

<公園>

- ・ 公園については、施設修繕費、業務委託料の合計に近隣公園、街区公園、その他の公園、緑地・緑道等の公園面積の比率を乗じた値を毎年更新していくものと想定する。

<事務所、付帯建築物等>

- ・ 建築物系施設と同様に算出している。

<河川>

- ・ 河川については、耐用年数が無限大（平成 17 年国土交通白書）とされていることから、更新の概念がないものとして対象外としている。

3.2. 建築物系施設の状況

建築物系施設は、主に大分類の6種類、中分類の15種類に分類しています。次頁以降では、中分類ごとに建築物系施設の状況を把握しています。

表 3-5 建築物系施設の分類

大分類		中分類		小分類	
1	市民利用施設	(1)	市民文化系施設	1	市民文化施設
				2	図書館
				3	博物館等
		(2)	コミュニティ系施設	1	地域センター
				2	公民館
				3	集会所
		(3)	スポーツ系施設	1	体育施設
		(4)	学校系施設	1	小中学校
				2	各種学校
		(5)	その他教育系施設	1	教育関連施設
		(6)	保健福祉系施設	1	児童福祉施設
				2	高齢者福祉施設
				3	障がい者福祉施設
				4	その他の福祉施設
				5	保健センター
		(7)	医療系施設	6	公衆便所
				1	病院
		(8)	商工業・交通施設	1	商工業施設
				2	交通施設
2	行政施設	(9)	行政系施設	1	庁舎
				2	保安防災施設
				3	防災施設
				4	その他
3	住宅施設	(10)	住宅系施設	1	市営住宅
4	環境施設	(11)	環境施設	1	環境センター
				2	クリーンセンター
				3	資源選別センター
				4	最終処分場
				5	清掃事務所
				6	植木剪定枝葉チップ化施設
5	一部事務組合施設	(12)	一部事務組合施設	1	一部事務組合施設
6	屋外施設	(13)	大規模公園	1	公園(総合公園、地区公園)
		(14)	屋外スポーツ施設	1	屋外スポーツ施設
		(15)	交通施設	1	駐車場など

(1) 市民文化系施設

i) 概要

市民文化系施設は、市民文化施設、図書館、博物館等に分類しています。

市民文化施設には市民文化会館があり、大ホール、小ホール、展示室、会議室などの多目的施設となっています。

図書館には中央図書館、武里図書館、庄和図書館があり、図書や視聴覚資料を所蔵し、貸出等を行っています。武里図書館と庄和図書館は、他の施設との複合施設となっており、庄和図書館は指定管理者による運営となっています。

博物館等は郷土資料館であり、郷土春日部の歴史と文化を紹介する施設です。また、教育センター等との複合施設となっています。

表 3-6 市民文化系施設の概要

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態		貸出対象 室数 (室)	所蔵数 (点)
市民文化施設	市民文化会館	粕壁東2-8-61	直営	単独施設	-	14	-
図書館	中央図書館	粕壁東2-8-61	直営	単独施設	-	-	464,393
	武里図書館	大枝89 2-1	直営	複合施設	武里大枝公民館	-	123,579
	庄和図書館	金崎839-1	指定管理者	複合施設	庄和総合支所など	-	101,920
博物館等	郷土資料館	粕壁東3-2-15	直営	複合施設	教育センターなど	-	-

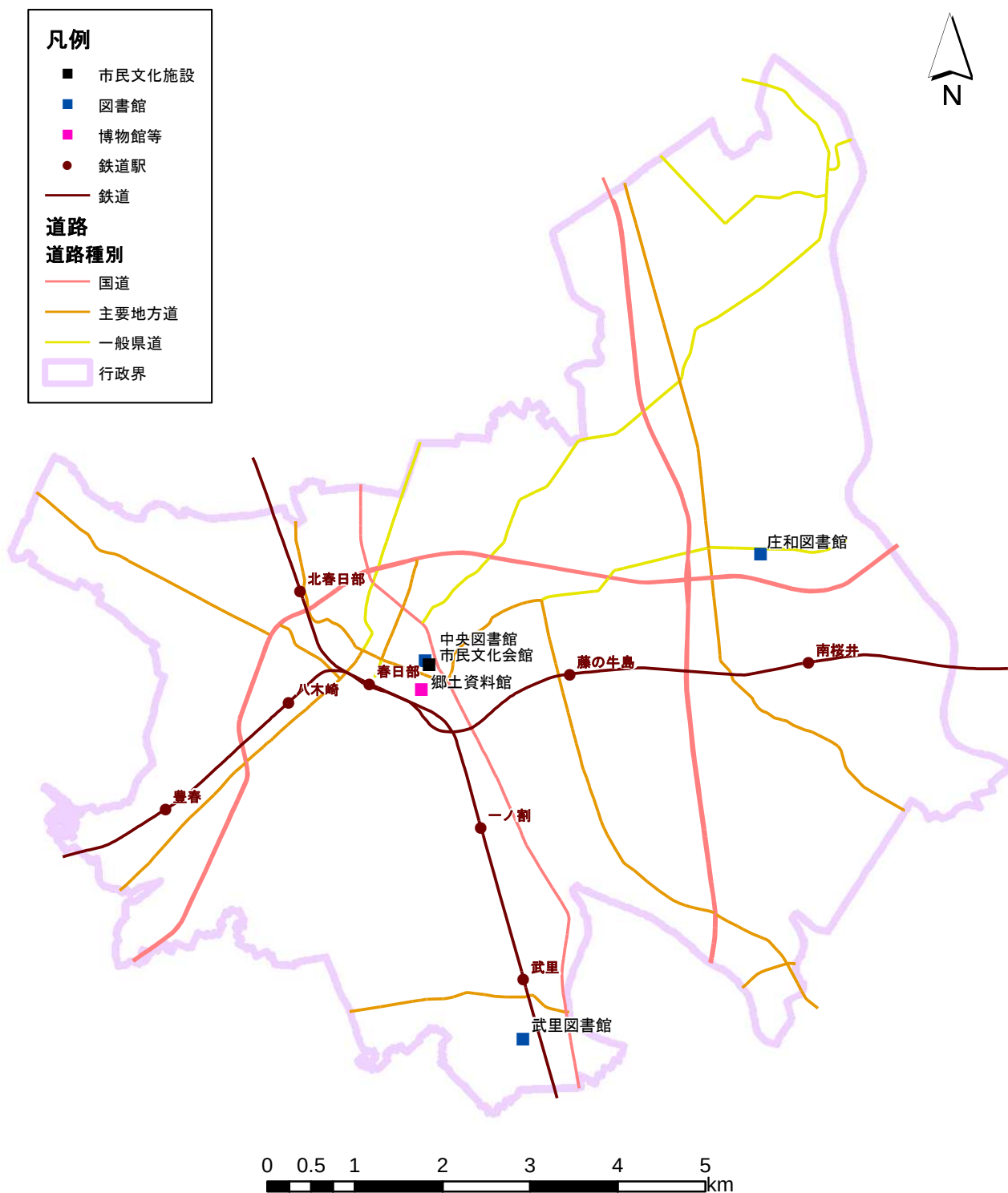


図 3-9 市民文化系施設位置図

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

市民文化会館の延床面積は 11,289 m²であり、市民文化系施設全体の 68.6%を占めています。

図書館の延床面積は、3 館合わせると 4,390 m²であり、市民文化系施設全体の 26.7%を占めています。そのうち中央図書館が 2,122 m²で市民文化系施設全体の 12.9%を占めており、次いで庄和図書館が 1,742 m²、10.6%となっています。

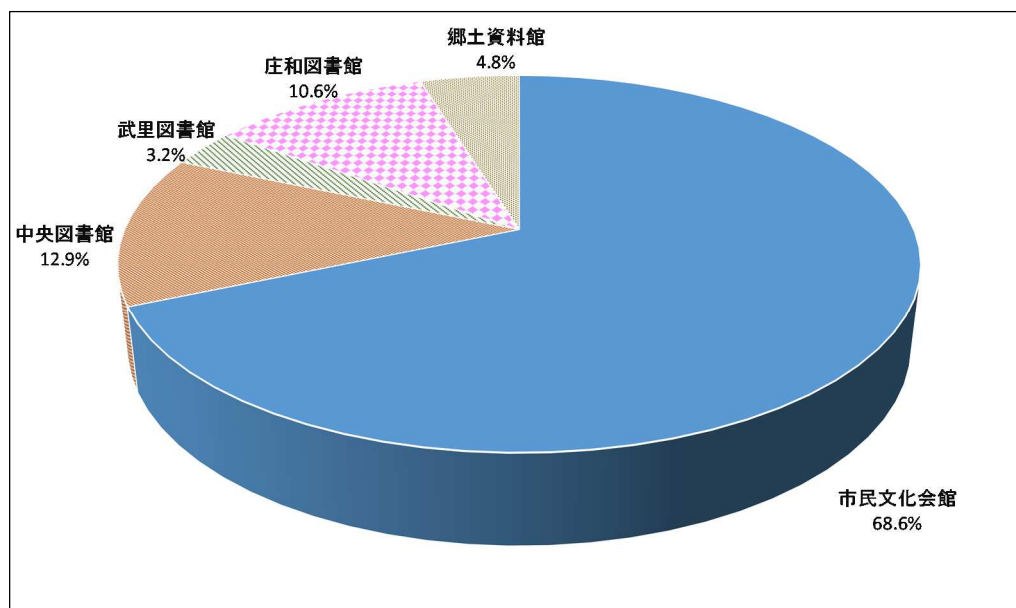


図 3-10 市民文化系施設の延床面積の割合

表 3-7 市民文化系施設の延床面積の状況

分類	名称	延床面積	
		(m ²)	(%)
市民文化施設	市民文化会館	11,289	68.6
図書館	中央図書館	2,122	12.9
	武里図書館	526	3.2
	庄和図書館	1,742	10.6
博物館等	郷土資料館	785	4.8
市民文化施設	小計	11,289	68.6
図書館	小計	4,390	26.7
博物館等	小計	785	4.8
合計		16,463	100.0

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

市民文化系施設の建築年をみると、すべての施設が昭和 58 年（1983 年）以降に建設されており、新耐震基準の建築物となっています。

建物構造別にみると、概ね鉄筋コンクリート造の建築物となっていますが、経過年数は概ね 30 年前後の施設が多い状況です。

武里図書館、庄和図書館は防災拠点、市民文化会館、中央図書館、武里図書館は避難場所に指定されており、防災上重要な施設となっています。

表 3-8 市民文化系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
市民文化施設	市民文化会館	昭58	32	RC 一部S SRC	-	○	無
図書館	中央図書館	昭58	32	RC 一部S SRC、S	-	○	無
	武里図書館	昭62	28	RC	◎	○	無
	庄和図書館	平03	24	RC 一部SRC	◎	-	無
博物館等	郷土資料館	平元	26	RC 一部S	-	-	無
市民文化施設	平均	-	32	-	-	-	-
図書館	平均	-	28	-	-	-	-
博物館等	平均	-	26	-	-	-	-
平均		-	28	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、一該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、一該当せず

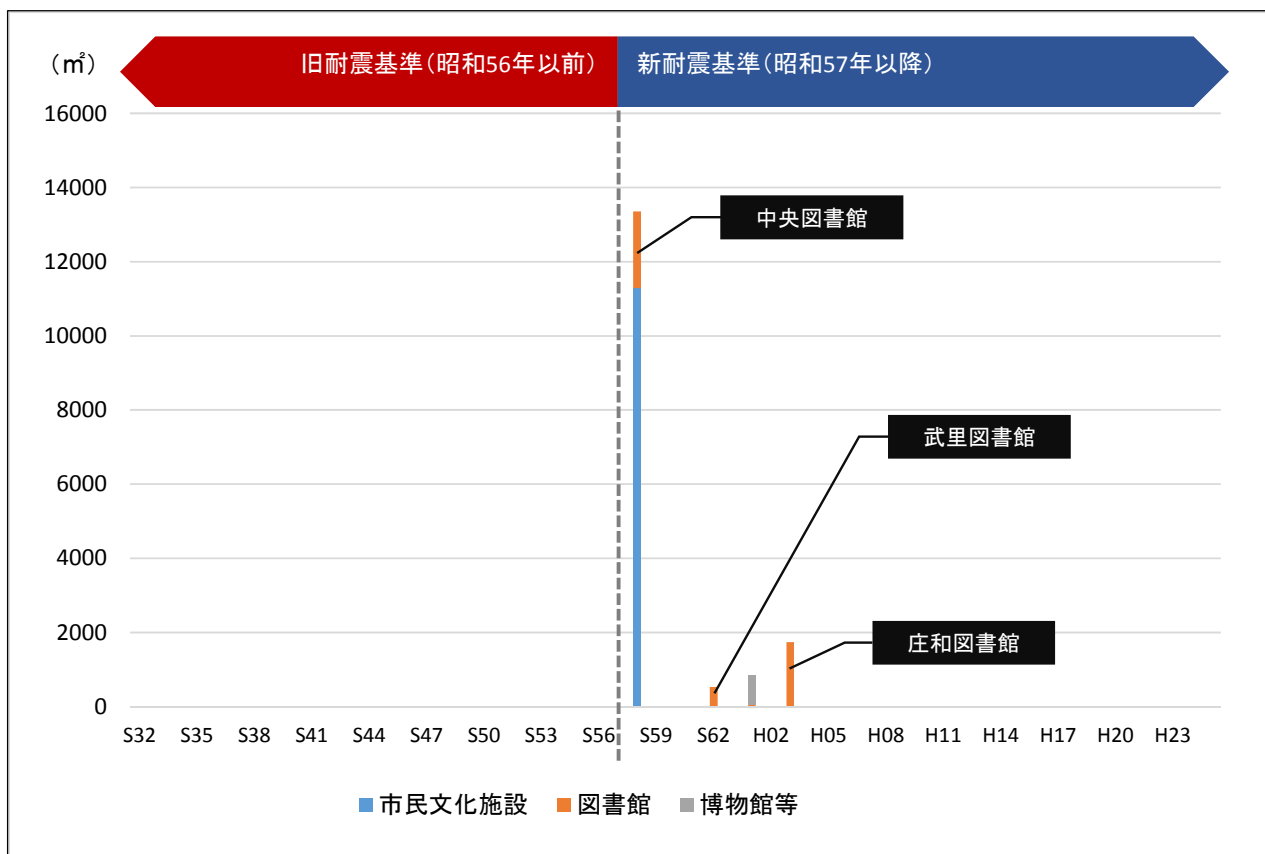


図 3-11 市民文化系施設の建築年別の延床面積

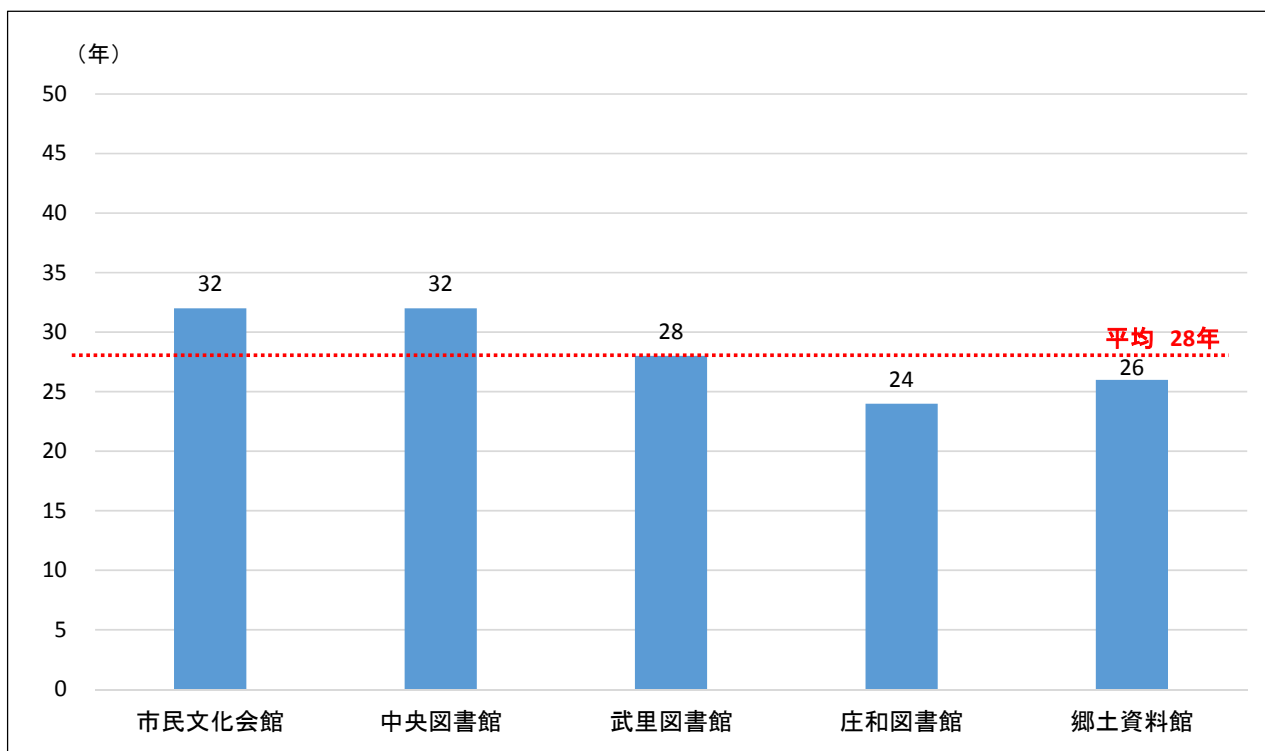


図 3-12 市民文化系施設の建築物の経過年数

iii) 利用状況

市民文化系施設の利用状況をみると、平成 25 年度では年間約 86 万 400 人に利用されています。

図書館をみると、平成 25 年度の利用者数が最も多いのは、中央図書館で約 26 万 4,100 人、次いで、庄和図書館の約 24 万 6,300 人となっています。

平成 23 年度から平成 25 年度の利用者数の推移をみると、庄和図書館を除く施設では、減少傾向にあります。

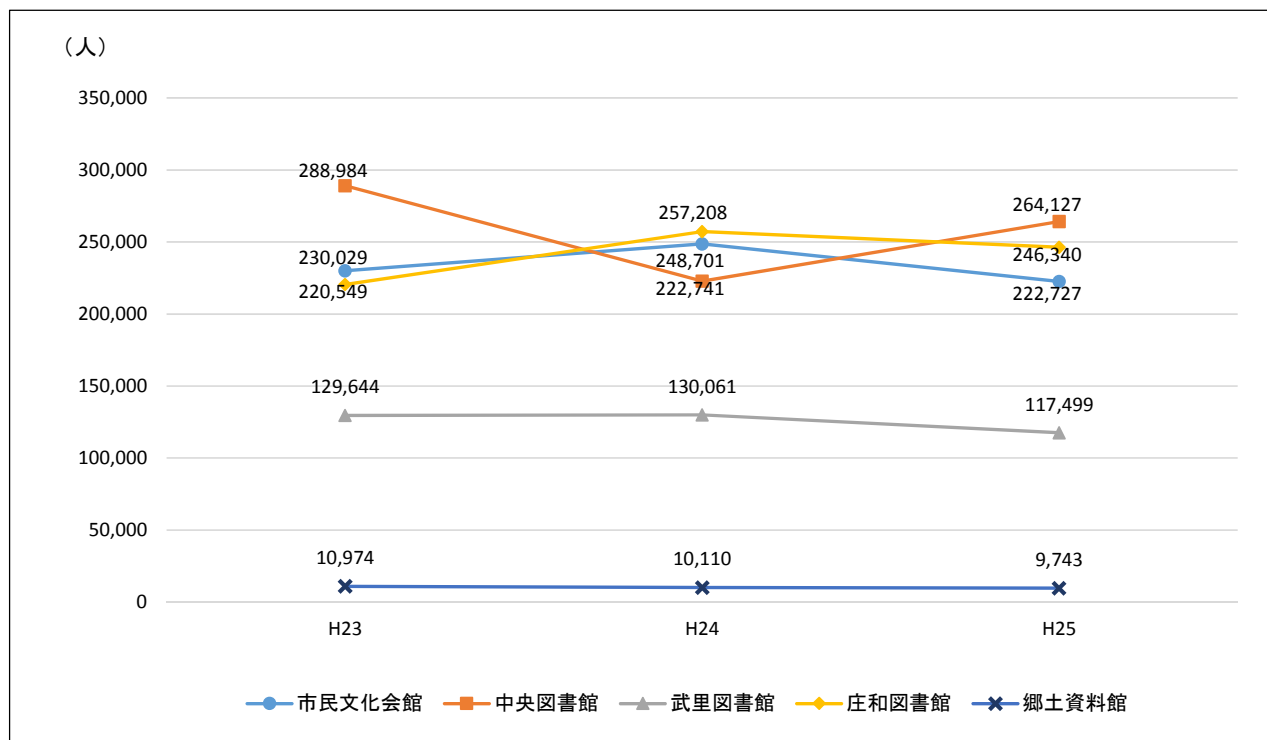
表 3-9 市民文化系施設の利用者数の推移

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
市民文化施設	市民文化会館	230,029	248,701	222,727	233,819
図書館	中央図書館	288,984	222,741	264,127	—
	武里図書館	129,644	130,061	117,499	125,735
	庄和図書館	220,549	257,208	246,340	241,366
博物館等	郷土資料館	10,974	10,110	9,743	10,276
市民文化施設	小計	230,029	248,701	222,727	233,819
図書館	小計	639,177	610,010	627,966	—
博物館等	小計	10,974	10,110	9,743	10,276
合計		880,180	868,821	860,436	—

※中央図書館の平成 24 年度の利用者数は平成 24 年 9 月 1 日から 11 月 30 日まで改修工事のため閉館しており、その期間の利用者数等は含まれておりません。

※中央図書館は閉館期間があるため、3 か年平均を「—」で表記しています。

※合計の 3 か年平均は除外している施設があるため、「—」で表記しています。



※中央図書館の平成 24 年度の利用者数は平成 24 年 9 月 1 日から 11 月 30 日まで改修工事のため閉館しており、その期間の利用者数等は含まれておりません。

図 3-13 市民文化系施設の利用者数の推移

iv) 運営状況

市民文化系施設の運営状況をみると、開館日数は 277 日から 348 日と施設によって違いがあります。利用可能開始時刻は 9 時と共通していますが、利用可能終了時刻は 16 時 45 分から 21 時 30 分までと施設によって違いがあります。

図書館では、指定管理者により運営されている庄和図書館が他の図書館に比べて、利用可能終了時刻が 19 時と遅くなっており、一日当たりの利用可能時間も 10 時間と長くなっています。年間開館日数も庄和図書館は、他の図書館に比べて多くなっています。

また、年間貸出数で最も多いのは中央図書館の 64 万点、次いで庄和図書館、武里図書館の順となっています。

表 3-10 市民文化系施設の運営状況

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	年間 貸出数 (点)	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
							職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
市民文化施設	市民文化会館	307	9:00	21:30	12時間30分	-	4.0	3.0	7.0	0.0	0.0	0.0
図書館	中央図書館	277	9:00	17:00	8時間00分	642,837	19.0	5.0	24.0	0.0	0.0	0.0
	武里図書館	277	9:00	17:00	8時間00分	200,654	4.0	2.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	庄和図書館	348	9:00	19:00	10時間00分	275,308	0.0	0.0	0.0	11.0	24.0	35.0
博物館等	郷土資料館	288	9:00	16:45	7時間45分	-	2.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0
市民文化施設	小計	-	-	-	-	-	4.0	3.0	7.0	0.0	0.0	0.0
図書館	小計	-	-	-	-	1,118,799	23.0	7.0	30.0	11.0	24.0	35.0
博物館等	小計	-	-	-	-	-	2.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0
合計		-	-	-	-	1,118,799	29.0	13.0	42.0	11.0	24.0	35.0

※職員数(直営)及び(指定管理者)の値は平成 25 年度時点のものです。

v) コスト状況

市民文化系施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストの総額は約 4 億 8,500 万円となっています。

市民文化系施設の単位床面積当たりのコストの平均は約 2 万 9,500 円/㎡となっており、中央図書館、武里図書館、庄和図書館は平均値を上回っています。

市民文化系施設の日当たりのコストの平均は約 32 万 4,100 円/日となっており、市民文化会館、中央図書館は平均値を上回っています。

市民文化会館の利用者一人当たりのコストは約 660 円/人となっています。

図書館の利用者一人当たりのコストは約 500 円/人となっています。

郷土資料館の利用者一人当たりのコストは約 2,370 円/人となっています。

表 3-11 市民文化系施設のコスト状況

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
市民文化施設	市民文化会館	147,389	13.1	480.1	0.66
図書館	中央図書館	171,184	80.7	618.0	0.65
	武里図書館	43,216	82.2	156.0	0.37
	庄和図書館	100,352	57.6	288.4	0.41
博物館等	郷土資料館	23,057	29.4	80.1	2.37
市民文化施設	小計	147,389	13.1	480.1	0.66
図書館	小計	314,752	71.7	348.9	0.50
博物館等	小計	23,057	29.4	80.1	2.37
合計		485,198	29.5	324.1	0.56

平均

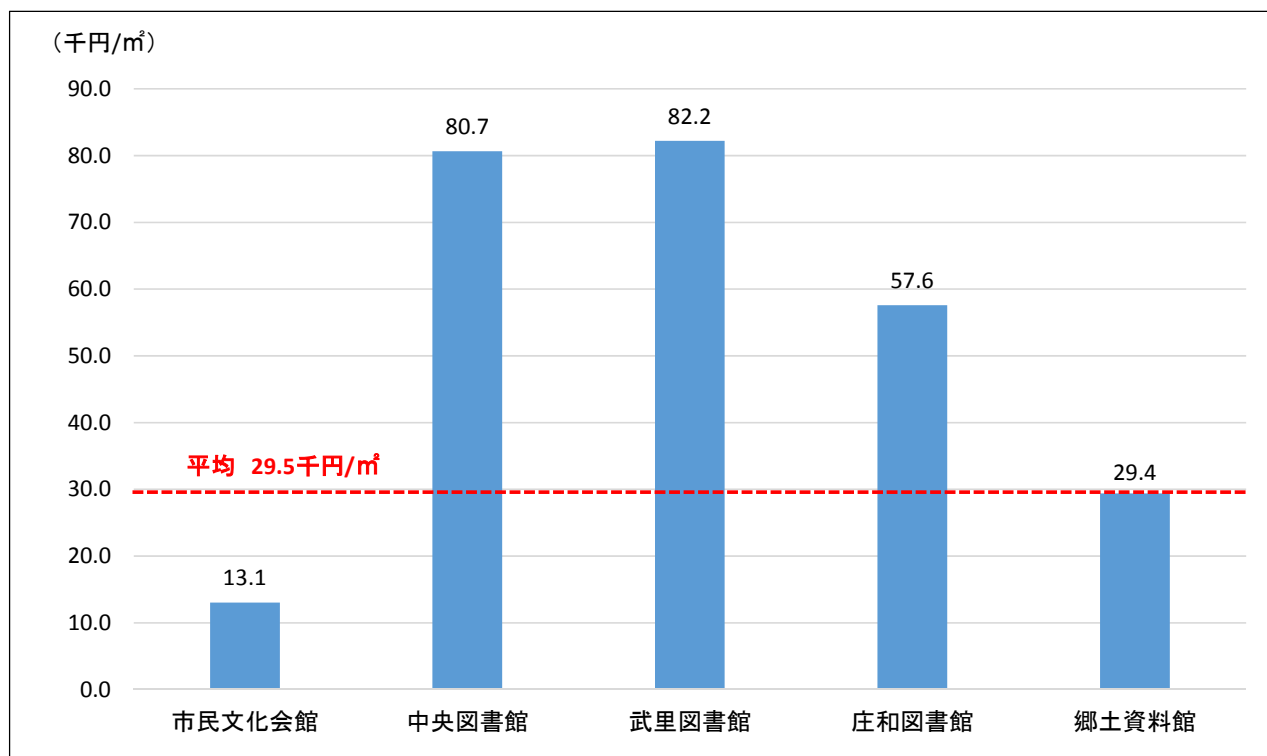


図 3-14 市民文化系施設の単位床面積当たりのコスト

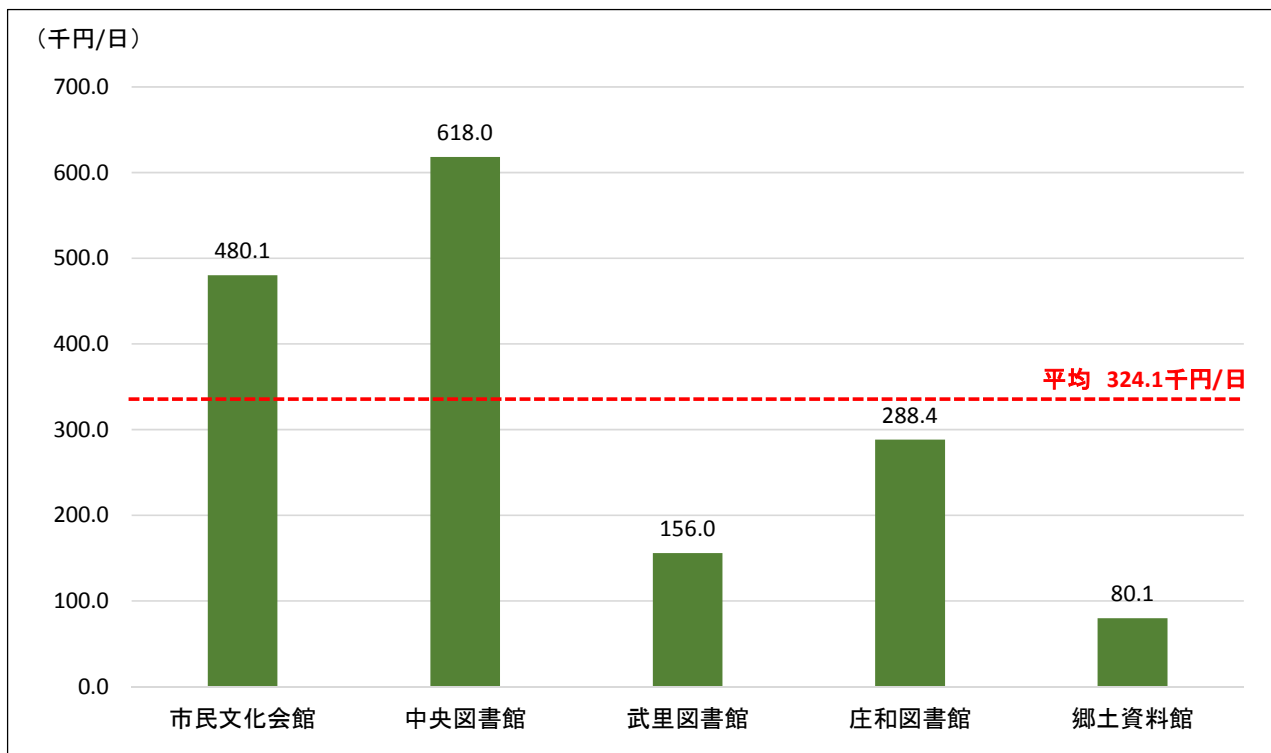
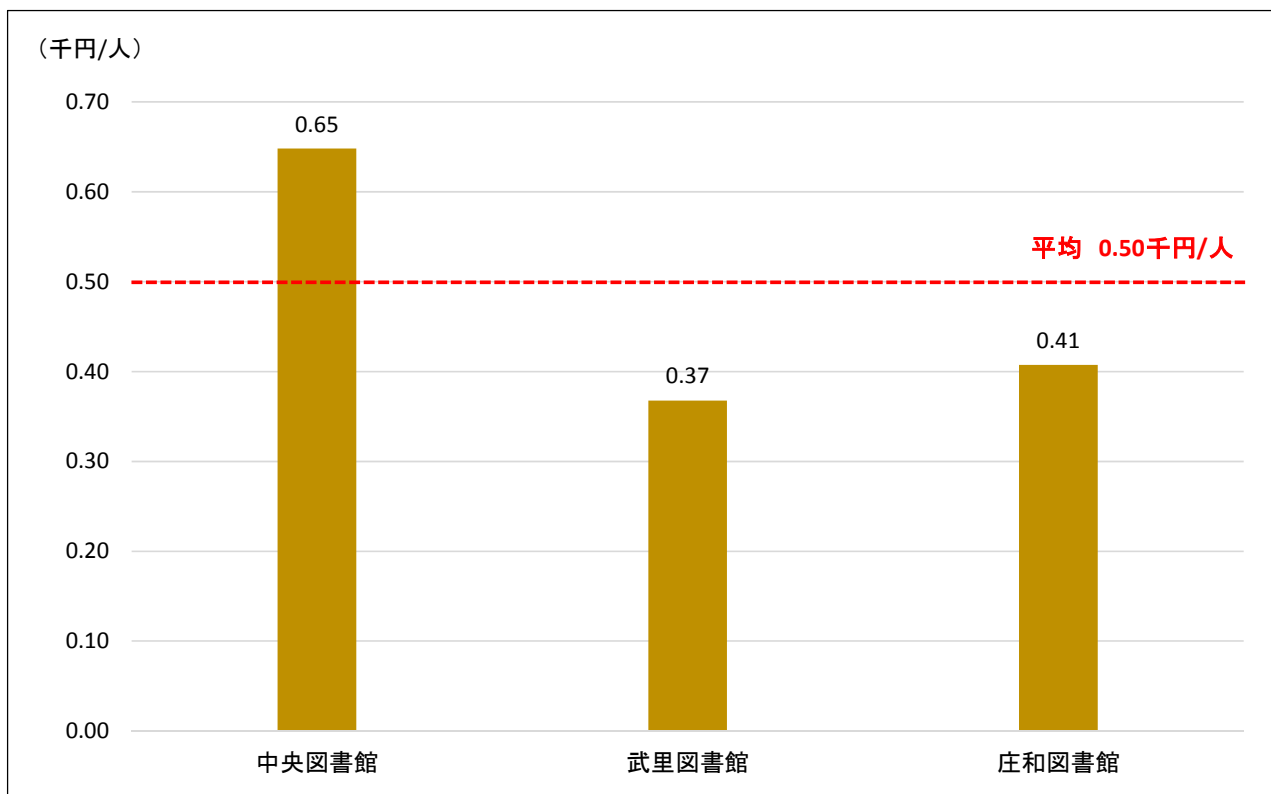


図 3-15 市民文化系施設の日当たりのコスト



※市民文化会館及び郷土資料館は、比較対象となる施設がないため、対象外としています。

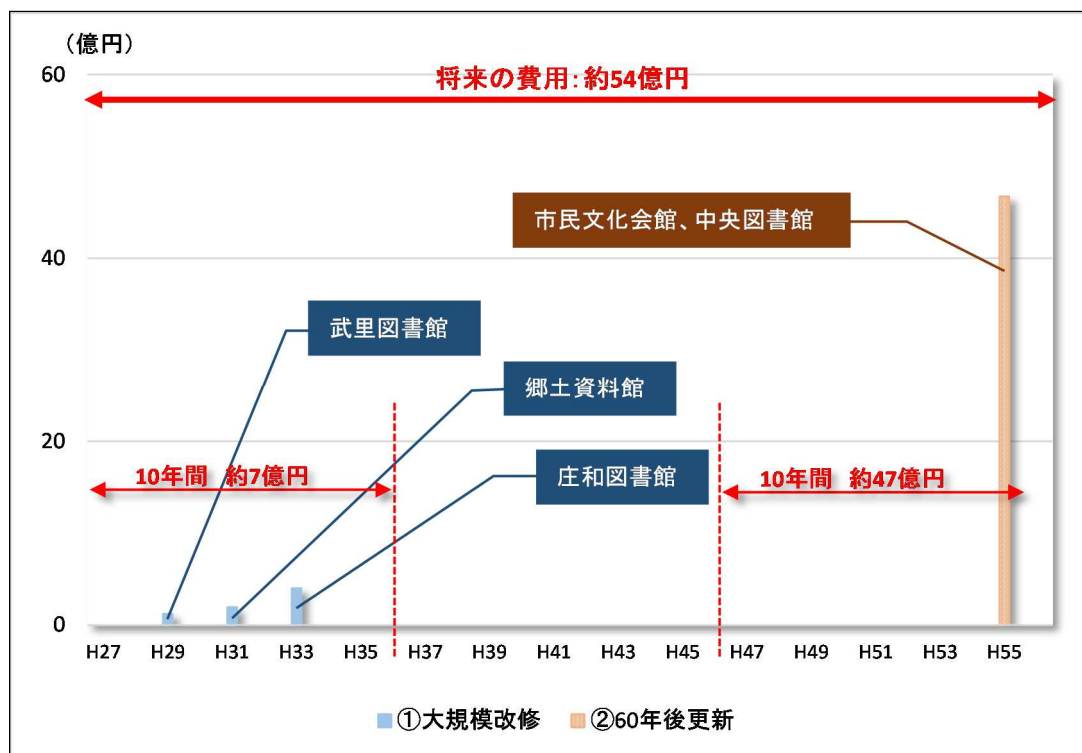
図 3-16 図書館の利用者一人当たりのコスト

vi) 更新等費用の推計

市民文化系施設では、平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間に武里図書館、郷土資料館、庄和図書館の大規模改修により約 7 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間では、市民文化会館、中央図書館の更新等により約 47 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間で市民文化系施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 54 億円と想定されます。



※この更新等の費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。（一定の試算条件については P39 参照）従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期（建設後 30 年）を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後 60 年が経過した後に更新（建替え）を行う想定として算出しています。

図 3-17 市民文化系施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vii) 施設のパターン

① 市民文化施設

市民文化施設は、老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-12 施設のパターン（市民文化施設）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
市民文化会館	I	III	II	I	III	III	II	III	III

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
I	III	I	III	III	III	III	E

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

② 図書館

中央図書館は、老朽化が進行していることからEパターンとなっています。武里図書館は外側の修繕が必要なDパターン、庄和図書館はバリアフリー対策が必要なBパターンとなっています。

表 3-13 施設のパターン（図書館）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
中央図書館	I	III	III	II	III	III	III	III	III
武里図書館	I	II	II	III	II	II	II	II	I
庄和図書館	I	II	II	III	I	III	II	II	I

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
I	III	II	III	III	III	III	E
I	II	III	II	II	II	I	D
I	II	II	I	II	II	I	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

③ 博物館等

郷土資料館は、複合施設であり、バリアフリー対策が必要なBパターンとなっています。

表 3-14 施設のパターン（博物館等）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
郷土資料館	I	II	III	II	I	I	I	III	I

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
I	II	II	I	I	III	I	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

viii) 市民文化系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・市民文化系施設では、すべて新耐震基準の建築物ですが、そのうち市民文化会館と中央図書館は建築後 30 年以上が経過しており、避難場所に指定されていることから、老朽化への対応が必要となっています。
- ・平成 23 年度から平成 25 年度の利用者の推移をみると、おおむね横ばいから減少傾向となっています。市民文化系施設は、市民の文化活動を支えるうえで中枢となる施設であることから、利用者の拡大や多世代利用に対応するため、バリアフリー対応、開館日数や利用時間帯の拡大などが必要となっています。
- ・単位床面積当たりのコストは中央図書館、武里図書館が多く、一日当たりのコストは市民文化会館、中央図書館が多く、一人当たりのコストは図書館の分類の中では中央図書館が多くなっています。それぞれ集客・利便性の向上など利用方法の効率化や運営方法の見直しなどが必要となっています。



【今後の方向性】

- 予防保全の推進等により老朽化への対応を検討します。
- 老朽化への対応と併せ、より多くの市民が利用しやすい施設整備を検討します。
- 維持管理・運営にかかるコストの適正化を検討します。

表 3-15 市民文化系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
5	1.7%	16,463	3.3%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
2 40.0%	3 60.0%	860	485,198	29.5	0.56	54

※ 2 段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

(2) コミュニティ系施設

i) 概要

コミュニティ系施設は、地域センター、公民館、集会所に分類しています。

地域センターには、春日部コミュニティセンター、庄和コミュニティセンター、市民活動センター、及び男女共同参画推進センターがあり、地域振興の活動拠点の施設となっています。男女共同参画推進センターを除いた 3 施設が複合施設であり、このうち市民活動センターは、東部地域振興ふれあい拠点施設内にあり、県施設（県パスポートセンター、多目的ホール）及び春日部市保健センターとの複合施設となっています。

公民館には、中央公民館、内牧地区公民館等 17 施設があり、地区の住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する施設となっています。このうち粕壁南公民館などの 6 施設は複合施設となっています。

集会所には、武里地区集会所、谷中小記念館（旧谷中小体育館）、西部第三土地区画整理記念館等 16 施設があり、地域活動の場として気軽に利用できる施設となっています。また、集会所はいずれも単独施設となっています。

表 3-16 コミュニティ系の施設概要一覧

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態		貸出対象 室数 (室)
地域センター	春日部コミュニティセンター	南1-12-23	直営	複合施設	粕壁南公民館	4
	庄とコミュニティセンター	大倉307-1	直営	複合施設	庄と勤労福祉センターなど	10
	市民活動センター	南1-1-7 4階	直営	複合施設	東部地域振興ふれあい拠点施設	13
	男女共同参画推進センター	緑町3-3-17	直営	単独施設		7
公民館	中央公民館	粕壁6918-1	直営	単独施設		13
	粕壁南公民館	南1-12-23	直営	複合施設	春日部コミュニティセンター	3
	内牧地区公民館	内牧4398	直営	単独施設		7
	内牧南公民館	内牧1498	直営	単独施設		5
	豊春地区公民館	上蛭田101-2	直営	単独施設		10
	豊春第二公民館	豊町5-14-1	直営	単独施設		7
	武里地区公民館	備後西1-13-2	直営	複合施設	高齢者福祉センター寿楽荘	12
	武里東公民館	備後東7-38-16	直営	単独施設		5
	幸松地区公民館	牛島667-1	直営	単独施設		9
	幸松第二公民館	小淵73-1	直営	単独施設		4
	豊野地区公民館	銚子口999	直営	単独施設		7
	藤塚公民館	藤塚1670-1	直営	単独施設		6
	武里南地区公民館	大枝89 7-5	直営	複合施設	大枝高齢者憩いの家	6
	武里大枝公民館	大枝89 2-1	直営	複合施設	武里図書館	5
	庄和地区公民館	大倉307-1	直営	複合施設	庄とコミュニティセンターなど	10
	庄和南公民館	米崎357	直営	複合施設	教育相談センター庄和分館	12
	粕壁地区公民館の旧建物	粕壁6615-1	-	単独施設		-
集会所	武里地区集会所	大場1397-2	直営	単独施設		3
	赤沼地区集会所	赤沼770-1	貸付	単独施設		2
	銚子口地区集会所	銚子口1361	貸付	単独施設		2
	豊春地区集会所	上大増新田170-3	直営	単独施設		3
	幸松地区集会所	小淵607-6	直営	単独施設		3
	八丁目山中集会所	八丁目482-7	直営	単独施設		3
	谷中小記念館(旧谷中小体育館)	大場656-1	直営	単独施設		2
	西部第三土地区画整理記念館	浜川戸2-9-1	直営	単独施設		2
	八木崎区画整理記念館	中央3-11-4	直営	単独施設		3
	内谷区画整理記念館	中央7-34	直営	単独施設		2
	上谷原区画整理記念館	谷原2-12-1	直営	単独施設		3
	第六区画整理記念館	大沼4-110	直営	単独施設		3
	一ノ割区画整理記念館	大沼5-139	直営	単独施設		3
	大沼区画整理記念館	大沼7-51	直営	単独施設		3
	内牧栄町会館	栄町2-212	直営	単独施設		3
	梅田土地区画整理記念館	梅田3-196	直営	単独施設		3
地域センター	小計	-	-	-	-	34
公民館	小計	-	-	-	-	121
集会所	小計	-	-	-	-	43
合計		-	-	-	-	198

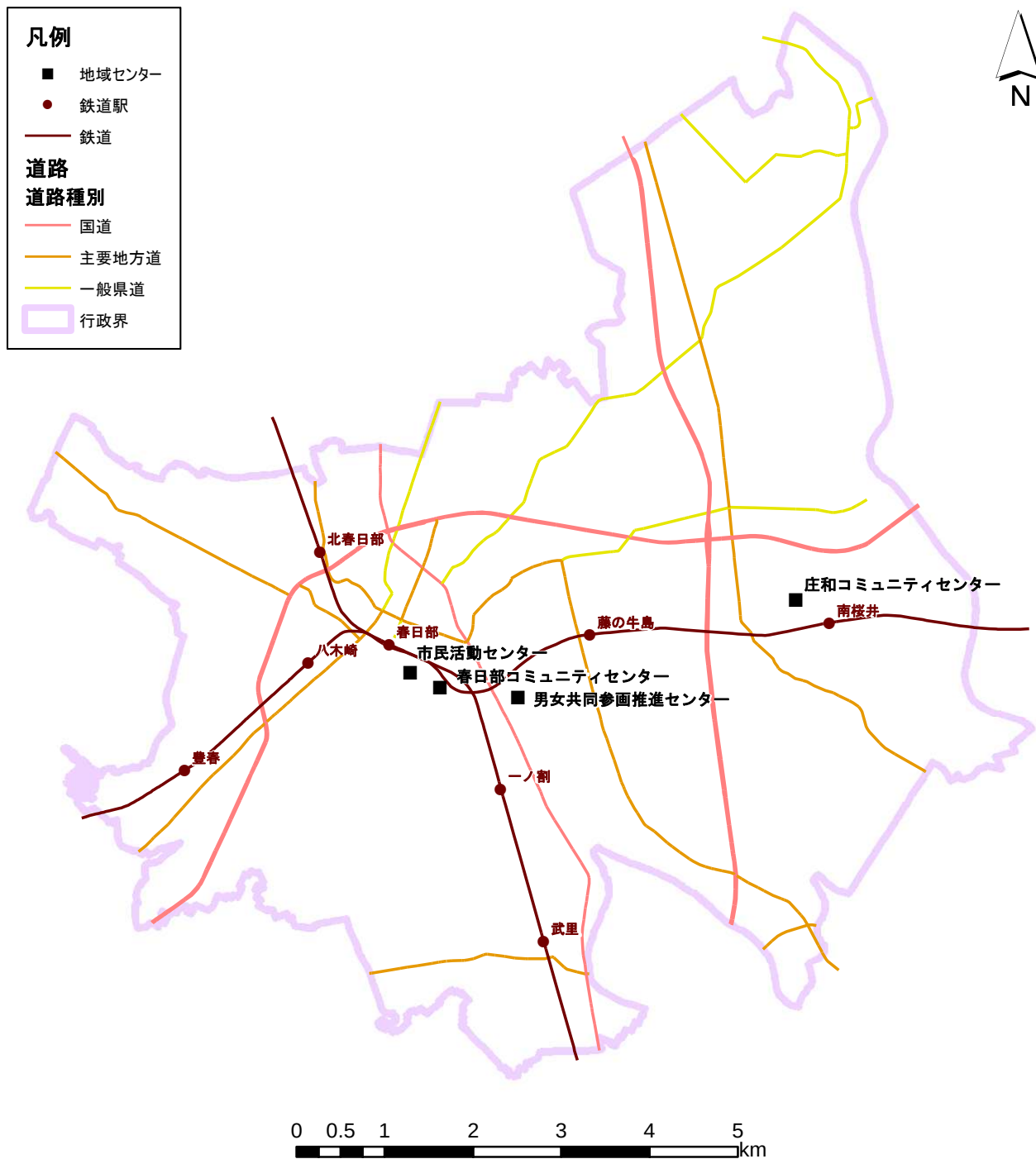
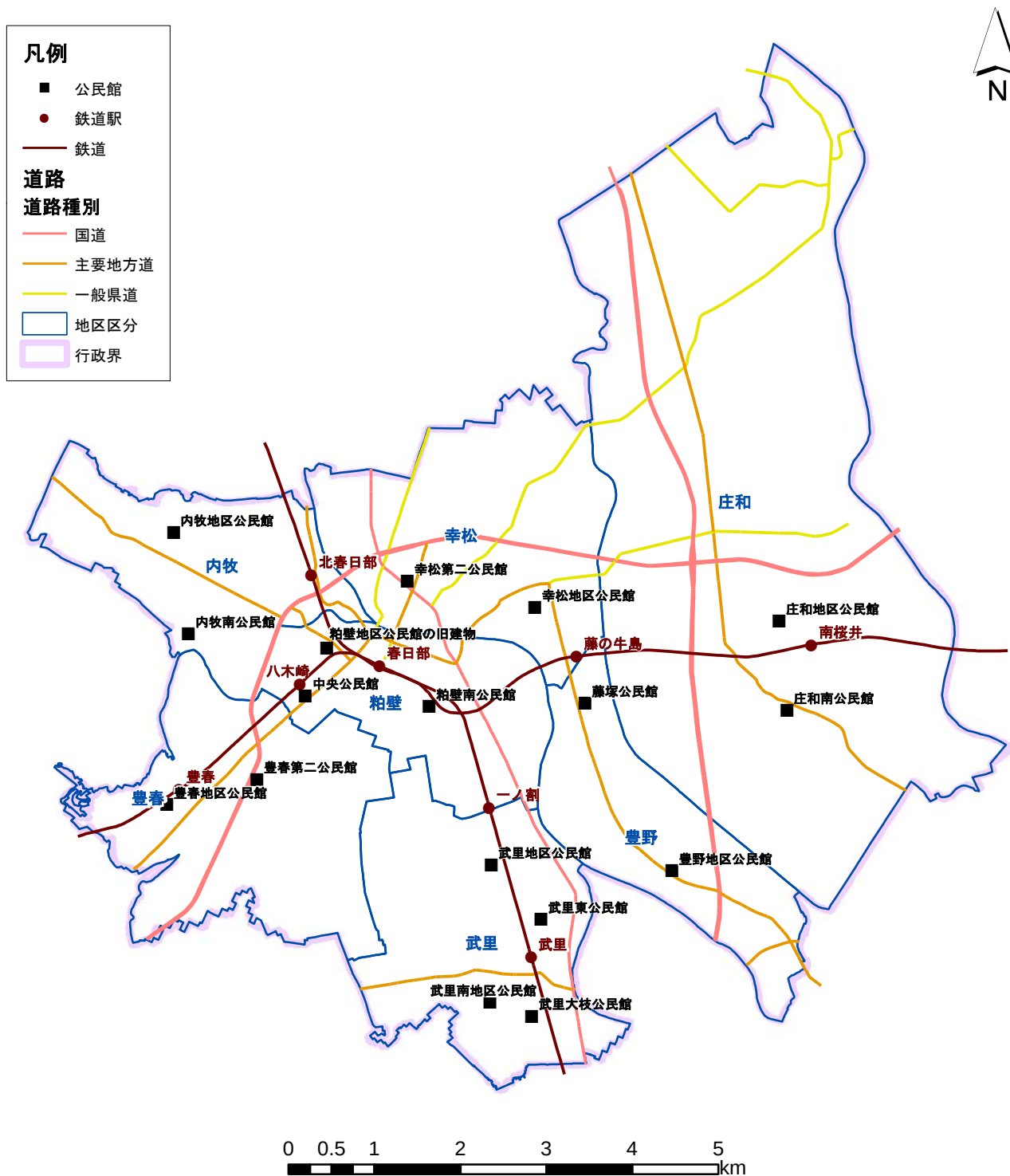
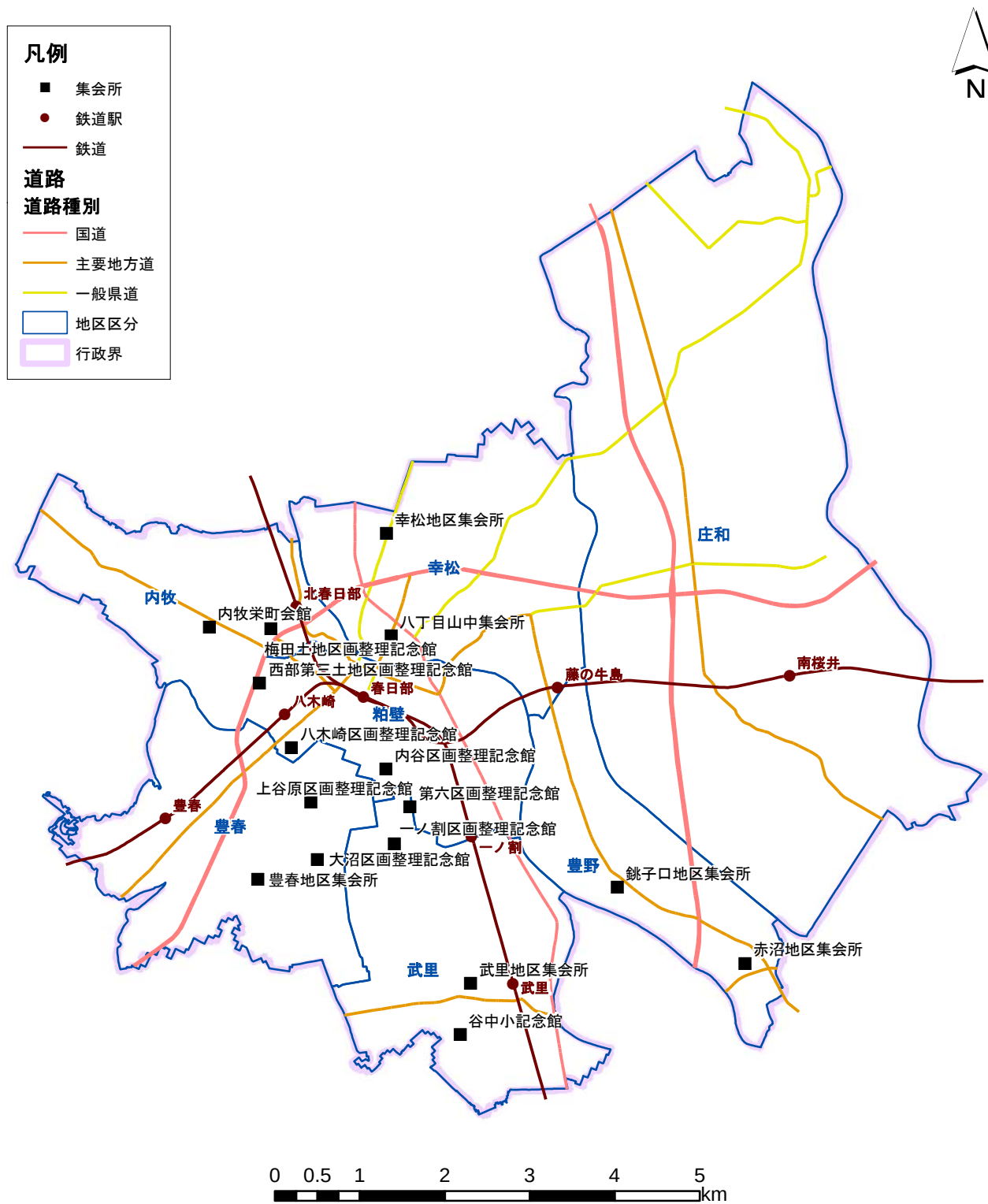


図 3-18 コミュニティ系施設位置図（地域センター）





ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

地域センターの延床面積は、4 施設を合わせると 4,353 m²であり、コミュニティ系施設の 13.3%を占めています。そのうち市民活動センターが 1,402 m²でコミュニティ系施設全体の 4.3%を占めています。

公民館の延床面積は、17 施設を合わせると 23,423 m²であり、コミュニティ系施設全体の 71.7%を占めています。そのうち中央公民館が 5,542 m²でコミュニティ系施設全体の 17.0%を占めています。

集会所の延床面積は、16 施設を合わせると 4,899 m²であり、コミュニティ系施設全体の 15.0%を占めています。そのうち谷中小記念館（旧谷中小体育館）が 936 m²でコミュニティ系施設全体の 2.9%を占めています。

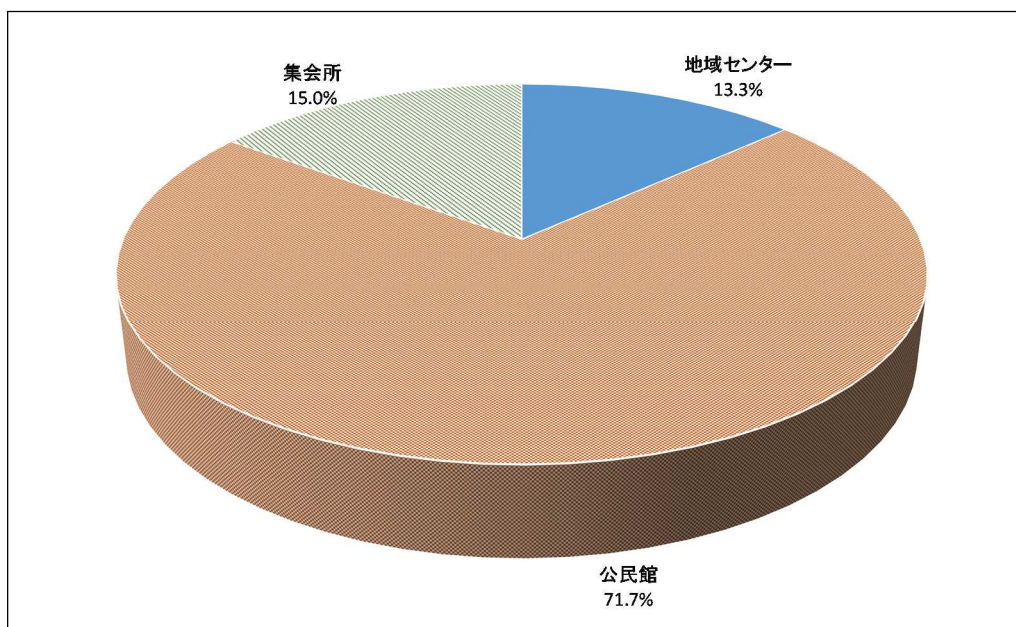


図 3-21 コミュニティ系施設の延床面積の割合

表 3-17 コミュニティ系施設の延床面積の状況

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
地域センター	春日部コミュニティセンター	773	2.4
	庄和コミュニティセンター	1,033	3.2
	市民活動センター	1,402	4.3
	男女共同参画推進センター	1,146	3.5
公民館	中央公民館	5,542	17.0
	粕壁南公民館	332	1.0
	内牧地区公民館	1,886	5.8
	内牧南公民館	620	1.9
	豊春地区公民館	2,006	6.1
	豊春第二公民館	1,213	3.7
	武里地区公民館	1,625	5.0
	武里東公民館	600	1.8
	幸松地区公民館	2,008	6.2
	幸松第二公民館	631	1.9
	豊野地区公民館	1,114	3.4
	藤塚公民館	600	1.8
	武里南地区公民館	532	1.6
	武里大枝公民館	978	3.0
	庄和地区公民館	2,052	6.3
	庄和南公民館	1,281	3.9
	粕壁地区公民館の旧建物	404	1.2
集会所	武里地区集会所	177	0.5
	赤沼地区集会所	219	0.7
	銚子口地区集会所	186	0.6
	豊春地区集会所	171	0.5
	幸松地区集会所	172	0.5
	八丁目山中集会所	237	0.7
	谷中小記念館(旧谷中小体育館)	936	2.9
	西部第三土地区画整理記念館	424	1.3
	八木崎区画整理記念館	248	0.8
	内谷区画整理記念館	207	0.6
	上谷原区画整理記念館	316	1.0
	第六区画整理記念館	283	0.9
	一ノ割区画整理記念館	284	0.9
	大沼区画整理記念館	283	0.9
	内牧栄町会館	472	1.4
	梅田土地区画整理記念館	283	0.9
地域センター	小計	4,353	13.3
公民館	小計	23,423	71.7
集会所	小計	4,899	15.0
合計		32,675	100.0

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

地域センターでは、春日部コミュニティセンターと庄和コミュニティセンターは建築後 30 年以上経過しています。

公民館では、武里南地区公民館と粕壁地区公民館の旧建物が建築後 40 年以上経過しているほか、建築後 30 年以上 40 年未満の建築物は 7 施設あります。

集会所については、八丁目山中集会所が建築後 20 年で最も新しく、その他の施設はすべて建築後 30 年以上経過しています。

公民館のうち、防災拠点に指定されている施設は、中央公民館をはじめとした 7 施設であり、谷中小記念館(旧谷中小体育館)については、旧耐震基準の建築物ですが耐震改修済みの施設となっています。

表 3-18 コミュニティ系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
地域センター	春日部コミュニティセンター	昭56	34	S	-	○	有
	庄和コミュニティセンター	昭60	30	RC	-	○	無
	市民活動センター	平23	4	S 一部W	-	-	無
	男女共同参画推進センター	平11	16	RC 一部S	-	○	無
公民館	中央公民館	平05	22	RC 一部S	◎	○	無
	粕壁南公民館	昭56	34	S	-	○	有
	内牧地区公民館	平元	26	RC 一部SRC	◎	○	無
	内牧南公民館	昭58	32	RC	-	○	無
	豊春地区公民館	昭63	27	RC 一部S	◎	○	無
	豊春第二公民館	昭57	33	RC	-	○	無
	武里地区公民館	昭61	29	SRC RC 一部S	◎	○	無
	武里東公民館	昭56	34	RC	-	○	有
	幸松地区公民館	昭63	27	RC 一部S	◎	○	無
	幸松第二公民館	昭57	33	RC	-	○	無
	豊野地区公民館	昭61	29	SRC	◎	○	無
	藤塚公民館	昭56	34	RC	-	○	有
	武里南地区公民館	昭50	40	RC	-	○	有
	武里大枝公民館	昭62	28	RC	◎	○	無
	庄和地区公民館	昭60	30	RC	-	○	無
	庄和南公民館	平09	18	RC 一部S、W	-	-	無
	粕壁地区公民館の旧建物	昭46	44	S	-	-	有
集会所	武里地区集会所	昭53	37	W	-	-	有
	赤沼地区集会所	昭52	38	W	-	-	有
	銚子口地区集会所	昭52	38	W	-	-	有
	豊春地区集会所	昭54	36	W	-	-	有
	幸松地区集会所	昭54	36	W	-	-	有
	八丁目山中集会所	平07	20	S	-	-	無
	谷中小記念館(旧谷中小体育館)	昭48	42	S	-	○	有
	西部第三土地区画整理記念館	昭46	44	RC	-	-	有
	八木崎区画整理記念館	昭52	38	RC	-	-	有
	内谷区画整理記念館	昭54	36	RC	-	-	有
	上谷原区画整理記念館	昭49	41	S	-	-	有
	第六区画整理記念館	昭52	38	RC	-	-	有
	一ノ割区画整理記念館	昭53	37	RC	-	-	有
	大沼区画整理記念館	昭53	37	RC	-	-	有
	内牧栄町会館	昭54	36	RC	-	-	有
	梅田土地区画整理記念館	昭54	36	RC	-	-	有
地域センター	平均	-	21	-	-	-	-
公民館	平均	-	31	-	-	-	-
集会所	平均	-	37	-	-	-	-
平均		-	32	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

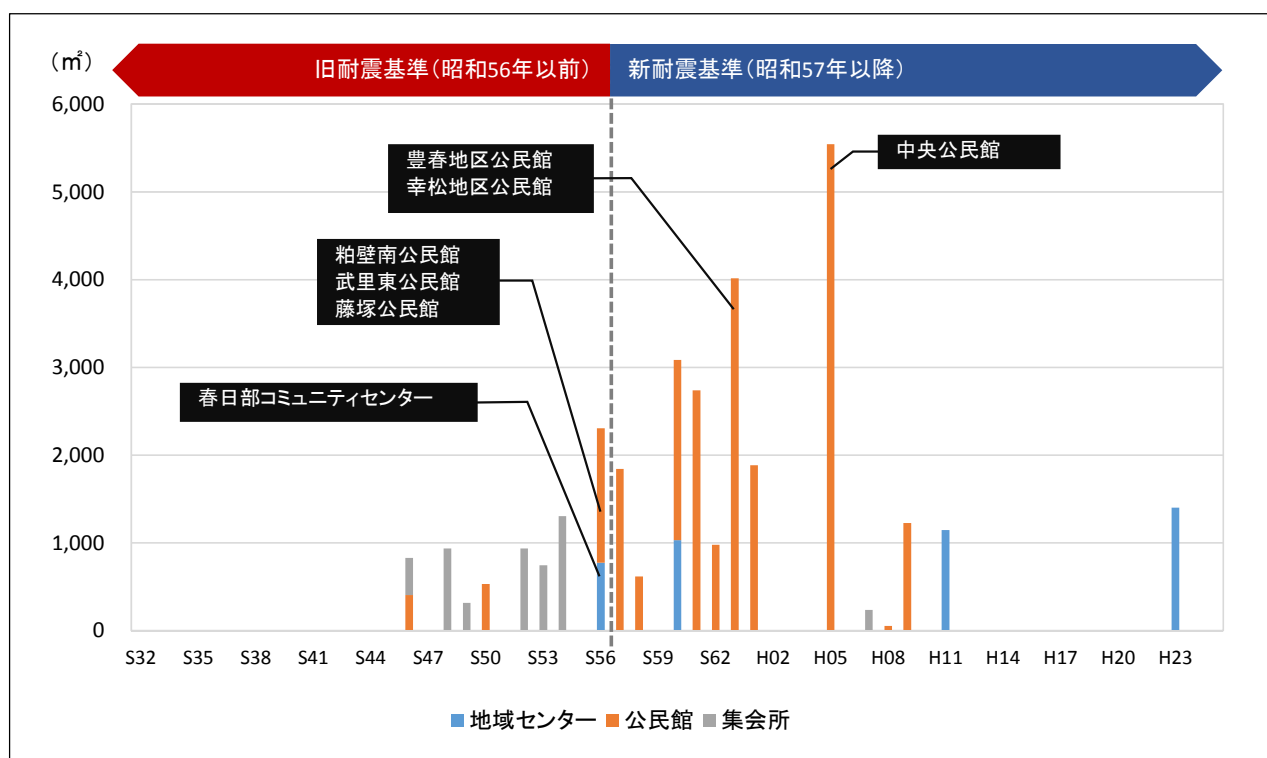


図 3-22 コミュニティ系施設の建築年別の延床面積

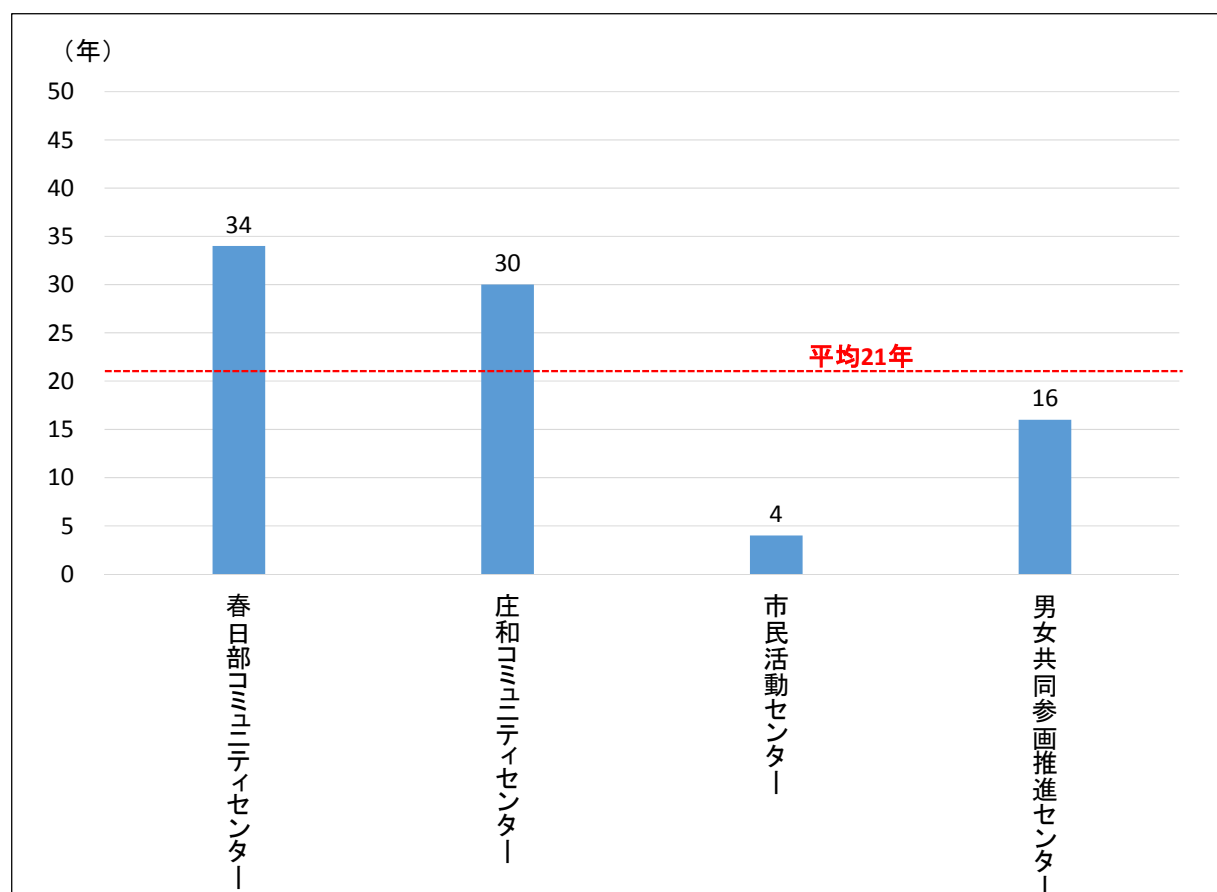


図 3-23 コミュニティ系施設の建築物の経過年数 (地域センター)

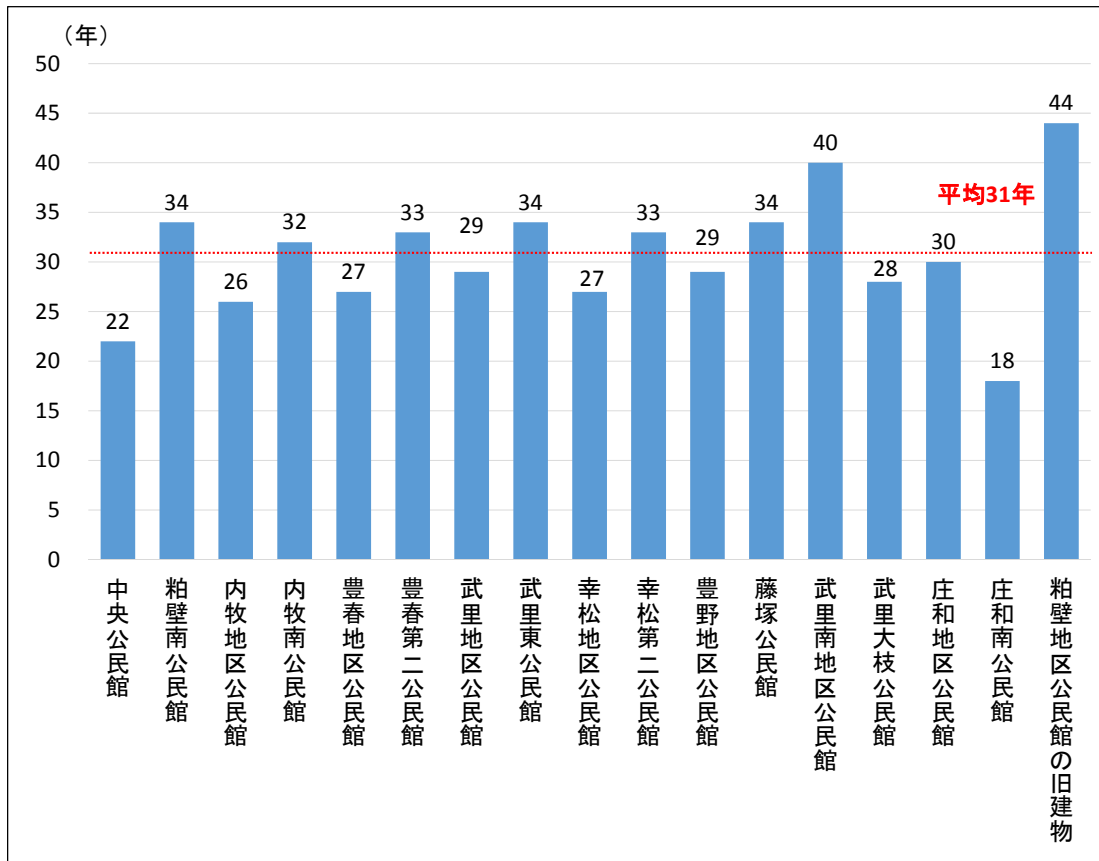


図 3-24 コミュニティ系施設の建築物の経過年数（公民館）

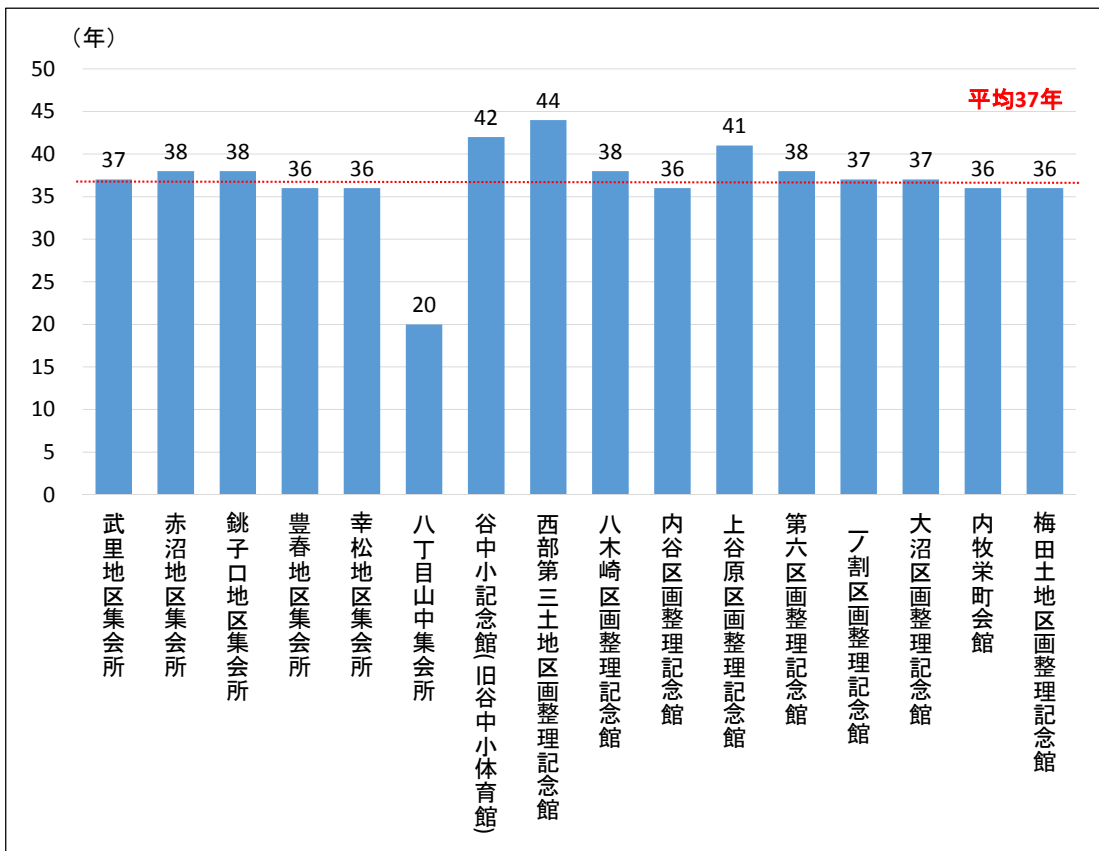


図 3-25 コミュニティ系施設の建築物の経過年数（集会所）

iii) 利用状況

コミュニティ系施設の利用状況をみると、平成 25 年度では年間約 94 万 4,600 人に利用されています。

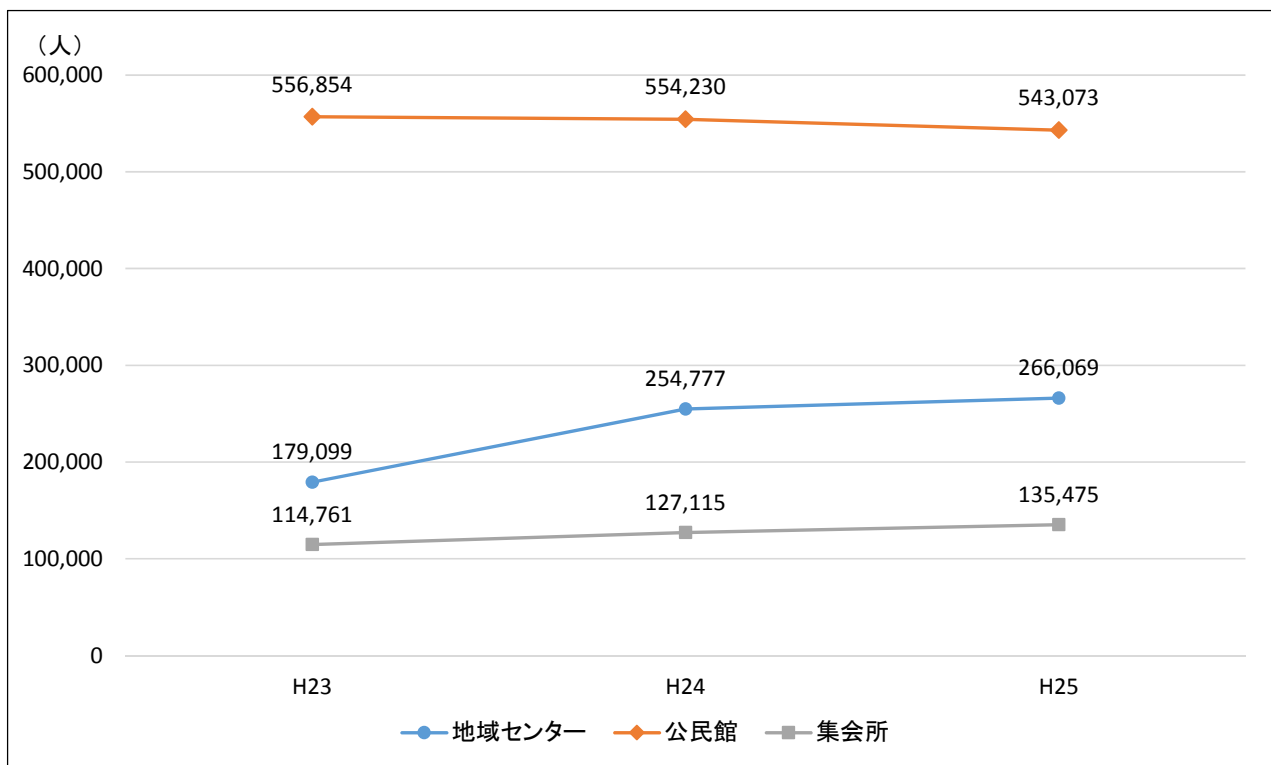
3 か年平均利用者数を分類別でみると、公民館で最も多いのは中央公民館の約 10 万 6,700 人であり、集会所では谷中小記念館（旧谷中小体育館）の約 1 万 9,400 人となっています。

なお、公民館の粕壁地区公民館の旧建物は、本来の目的で使用されなくなった施設のため、利用者はありません。

表 3-19 コミュニティ系施設の利用者数の推移

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3か年平均 (人)
地域センター	春日部コミュニティセンター	31,889	31,237	30,318	31,148
	庄和コミュニティセンター	50,649	36,264	31,174	39,362
	市民活動センター	30,539	123,110	142,736	—
	男女共同参画推進センター	66,022	64,166	61,841	64,010
公民館	中央公民館	107,062	109,042	103,938	106,681
	粕壁南公民館	13,146	13,134	12,659	12,980
	内牧地区公民館	27,706	25,215	27,147	26,689
	内牧南公民館	11,697	13,964	11,888	12,516
	豊春地区公民館	57,908	53,968	51,895	54,590
	豊春第二公民館	34,470	35,872	35,860	35,401
	武里地区公民館	63,906	61,769	59,554	61,743
	武里東公民館	26,481	24,562	23,014	24,686
	幸松地区公民館	43,435	41,352	39,699	41,495
	幸松第二公民館	21,476	19,855	18,421	19,917
	豊野地区公民館	20,664	21,542	20,985	21,064
	藤塚公民館	27,048	27,792	26,643	27,161
	武里南地区公民館	14,475	14,528	14,286	14,430
	武里大枝公民館	26,931	29,132	29,474	28,512
	庄和地区公民館	28,231	28,508	34,802	30,514
	庄和南公民館	32,218	33,995	32,808	33,007
	粕壁地区公民館の旧建物	—	—	—	—
集会所	武里地区集会所	5,455	6,470	9,560	7,162
	赤沼地区集会所	1,825	2,010	1,943	1,926
	銚子口地区集会所	1,425	1,580	1,500	1,502
	豊春地区集会所	1,542	2,025	1,642	1,736
	幸松地区集会所	4,285	4,482	6,345	5,037
	八丁目山中集会所	7,940	9,200	7,820	8,320
	谷中小記念館(旧谷中小体育館)	14,867	18,745	24,578	19,397
	西部第三土地区画整理記念館	8,209	8,490	8,328	8,342
	八木崎区画整理記念館	7,460	8,433	8,017	7,970
	内谷区画整理記念館	9,741	9,615	9,662	9,673
	上谷原区画整理記念館	16,332	18,213	18,698	17,748
	第六区画整理記念館	13,287	13,071	13,168	13,175
	一ノ割区画整理記念館	4,754	3,846	4,789	4,463
	大沼区画整理記念館	6,123	6,992	6,912	6,676
	内牧栄町会館	5,752	7,577	7,513	6,947
	梅田土地区画整理記念館	5,764	6,366	5,000	5,710
地域センター	小計	179,099	254,777	266,069	—
公民館	小計	556,854	554,230	543,073	551,386
集会所	小計	114,761	127,115	135,475	125,784
合計		850,714	936,122	944,617	—

※平成 23 年度における市民活動センターの利用者数は、開所後の 11 月以降の利用者です。
 ※市民活動センターの平成 23 年度の利用者数は、開所後の 11 月以降の利用者のため、3 か年平均を「—」で表記しています。
 ※合計の 3 か年平均は除外している施設があるため、「—」で表記しています。



※平成 23 年度の地域センター利用者のうち、市民活動センターの利用者数は、開所後の 11 月以降の利用者数です。

図 3-26 コミュニティ系施設の利用者数の推移

iv) 運営状況

コミュニティ系施設の利用開始時刻は 8:30 又は 9:00、終了時刻は 21:00～21:30 と全体的に 12 時間程度の利用可能時間となっています。

表 3-20 コミュニティ系施設の運営状況

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
地域センター	春日部コミュニティセンター	295	8:30	21:00	12時間30分	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	庄和コミュニティセンター	335	8:30	21:00	12時間30分	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	市民活動センター	308	9:00	21:30	12時間30分	6.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	男女共同参画推進センター	293	8:30	21:30	13時間00分	3.0	2.0	5.0	0.0	0.0	0.0
公民館	中央公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	6.0	2.0	8.0	0.0	0.0	0.0
	粕壁南公民館	295	8:30	21:00	12時間30分	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	内牧地区公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	内牧南公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	豊春地区公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	豊春第二公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	武里地区公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	武里東公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	幸松地区公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
	幸松第二公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	0.2	2.0	2.2	0.0	0.0	0.0
	豊野地区公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
	藤塚公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	0.3	2.0	2.3	0.0	0.0	0.0
	武里南地区公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	1.0	4.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	武里大枝公民館	293	8:30	21:00	12時間30分	3.0	1.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	庄和地区公民館	335	8:30	21:30	13時間00分	2.0	1.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	庄和南公民館	335	8:30	21:00	12時間30分	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	粕壁地区公民館の旧建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
集会所	武里地区集会所	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	赤沼地区集会所	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	銚子口地区集会所	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	豊春地区集会所	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	幸松地区集会所	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	八丁目山中集会所	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	谷中小記念館(旧谷中小体育館)	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	西部第三土地区画整理記念館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	八木崎区画整理記念館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	内谷区画整理記念館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	上谷原区画整理記念館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	第六区画整理記念館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	一ノ割区画整理記念館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	大沼区画整理記念館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	内牧栄町会館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	梅田土地区画整理記念館	353	9:00	21:00	12時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
地域センター	小計	-	-	-	-	11.0	2.0	13.0	0.0	0.0	0.0
公民館	小計	-	-	-	-	32.0	24.0	56.0	0.0	0.0	0.0
集会所	小計	-	-	-	-	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
合計		-	-	-	-	44.6	26.0	70.6	0.0	0.0	0.0

※職員数(直営)及び(指定管理者)の値は平成25年度時点のものです。

v) コスト状況

コミュニティ系施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストの総額は約 4 億 6,400 万円となっています。

コミュニティ系施設の単位床面積当たりのコストの平均は約 1 万 4,200 円/㎡であり、地域センターが平均を大きく上回り、公民館はほぼ平均値となっています。

コミュニティ系施設の日当たりのコストの平均は約 3 万 9,800 円/日となっており、地域センター、公民館は平均値を上回っています。

コミュニティ系施設の利用者一人当たりのコストの平均は約 490 円/人となっており、公民館は平均値を上回っています。

表 3-21 コミュニティ系施設のコスト状況

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト	単位床面積 当たりのコスト	一日当たりの コスト	利用者一人 当たりのコスト
		H25 (千円)	H25 (千円/㎡)	H25 (千円/日)	H25 (千円/人)
地域センター	春日部コミュニティセンター	9,550	12.4	32.4	0.31
	庄和コミュニティセンター	12,609	12.2	37.6	0.40
	市民活動センター	36,680	26.2	119.1	0.26
	男女共同参画推進センター	35,024	30.6	119.5	0.57
公民館	中央公民館	75,073	13.5	256.2	0.72
	粕壁南公民館	8,846	26.6	30.0	0.70
	内牧地区公民館	28,328	15.0	96.7	1.04
	内牧南公民館	7,465	12.0	25.5	0.63
	豊春地区公民館	28,002	14.0	95.6	0.54
	豊春第二公民館	9,935	8.2	33.9	0.28
	武里地区公民館	35,363	21.8	120.7	0.59
	武里東公民館	8,632	14.4	29.5	0.38
	幸松地区公民館	29,475	14.7	100.6	0.74
	幸松第二公民館	7,966	12.6	27.2	0.43
	豊野地区公民館	25,480	22.9	87.0	1.21
	藤塚公民館	6,944	11.6	23.7	0.26
	武里南地区公民館	5,664	10.6	19.3	0.40
	武里大枝公民館	24,056	24.6	82.1	0.82
	庄和地区公民館	32,112	15.7	95.9	0.92
	庄和南公民館	13,147	10.3	39.2	0.40
	粕壁地区公民館の旧建物	102	0.3	-	-
集会所	武里地区集会所	1,091	6.2	3.1	0.11
	赤沼地区集会所	674	3.1	1.9	0.35
	銚子口地区集会所	603	3.2	1.7	0.40
	豊春地区集会所	1,867	10.9	5.3	1.14
	幸松地区集会所	1,439	8.4	4.1	0.23
	八丁目山中集会所	1,474	6.2	4.2	0.19
	谷中小記念館(旧谷中小体育館)	1,732	1.9	4.9	0.07
	西部第三土地区画整理記念館	2,388	5.6	6.8	0.29
	八木崎区画整理記念館	1,196	4.8	3.4	0.15
	内谷区画整理記念館	2,039	9.9	5.8	0.21
	上谷原区画整理記念館	1,797	5.7	5.1	0.10
	第六区画整理記念館	1,472	5.2	4.2	0.11
	一ノ割区画整理記念館	1,438	5.1	4.1	0.30
	大沼区画整理記念館	992	3.5	2.8	0.14
	内牧栄町会館	2,024	4.3	5.7	0.27
	梅田土地区画整理記念館	1,469	5.2	4.2	0.29
地域センター	小計	93,863	21.6	76.2	0.35
公民館	小計	346,589	14.8	72.6	0.64
集会所	小計	23,693	4.8	4.2	0.17
合計		464,145	14.2	39.8	0.49

平均

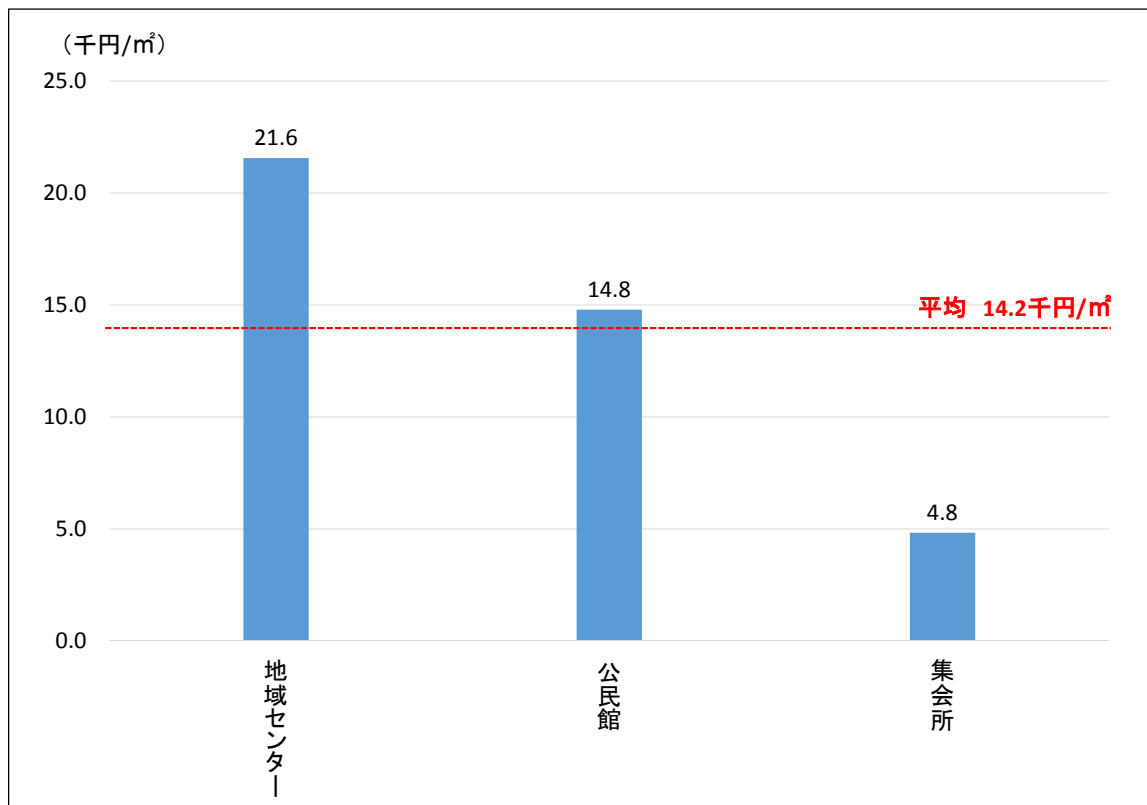


図 3-27 コミュニティ系施設の単位床面積当たりのコスト

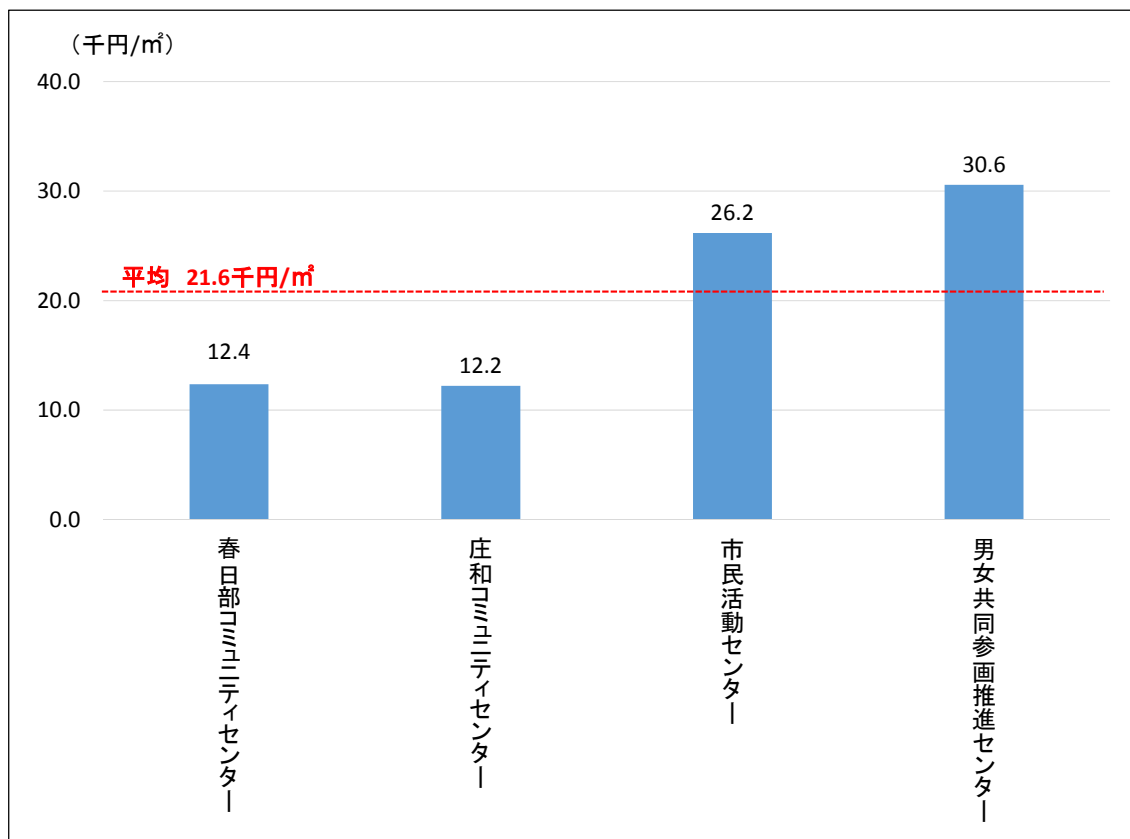


図 3-28 コミュニティ系施設の単位床面積当たりのコスト（地域センター）

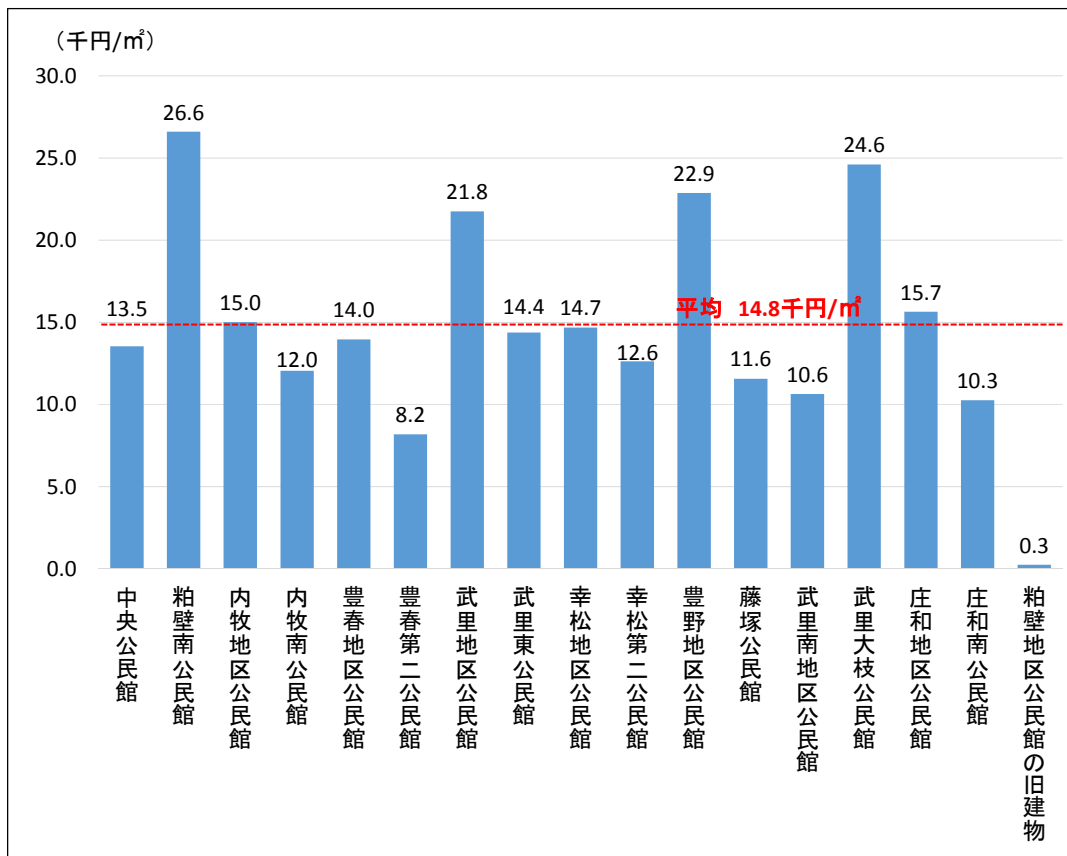


図 3-29 コミュニティ系施設の単位床面積当たりのコスト（公民館）

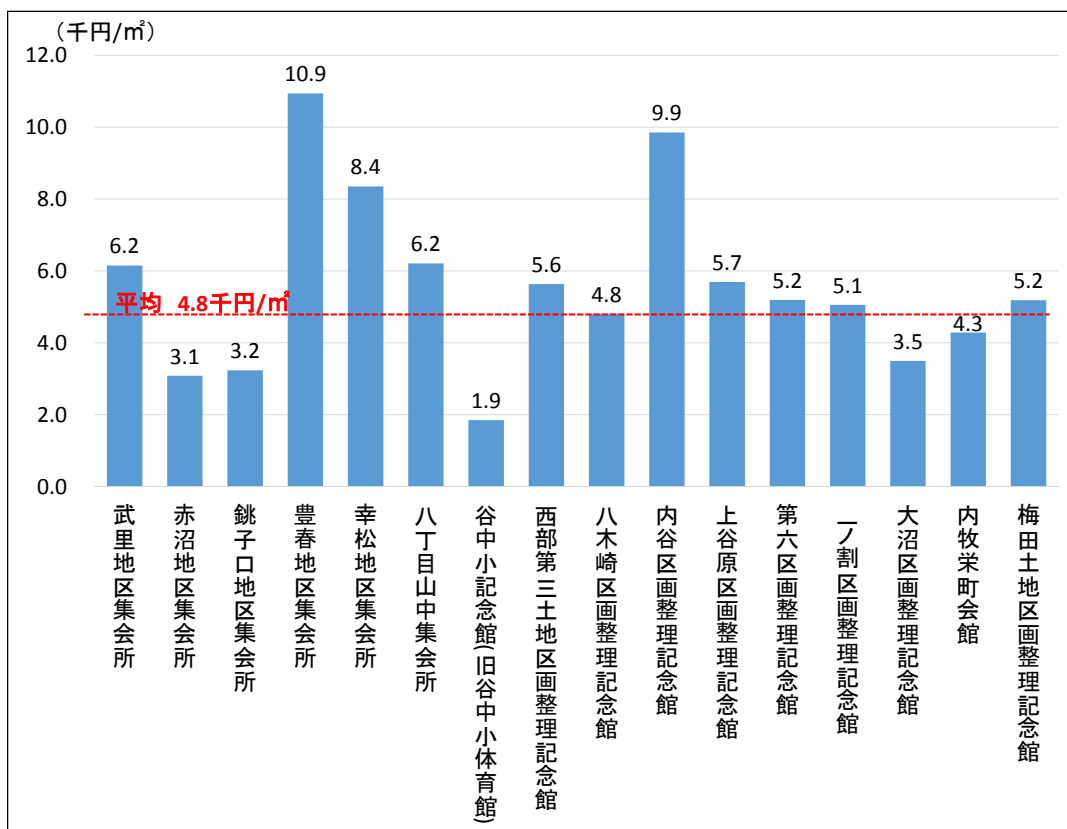


図 3-30 コミュニティ系施設の単位床面積当たりのコスト（集会所）

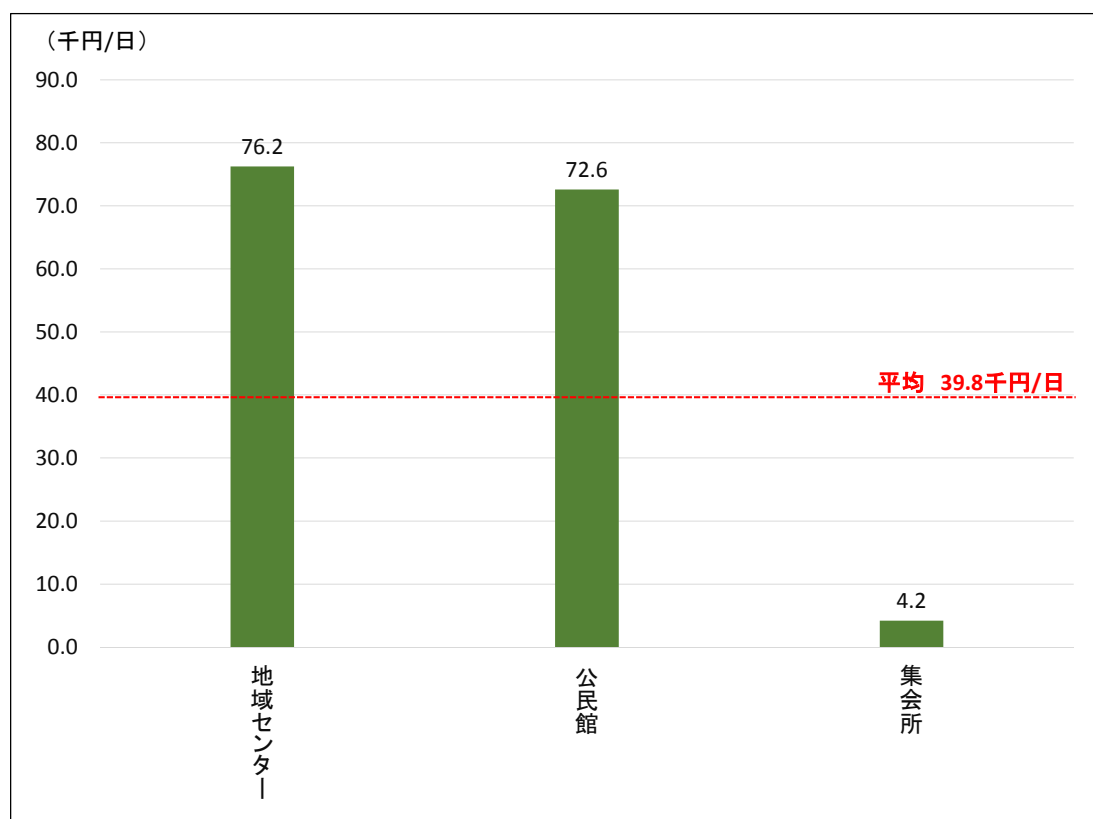


図 3-31 コミュニティ系施設の日当たりのコスト

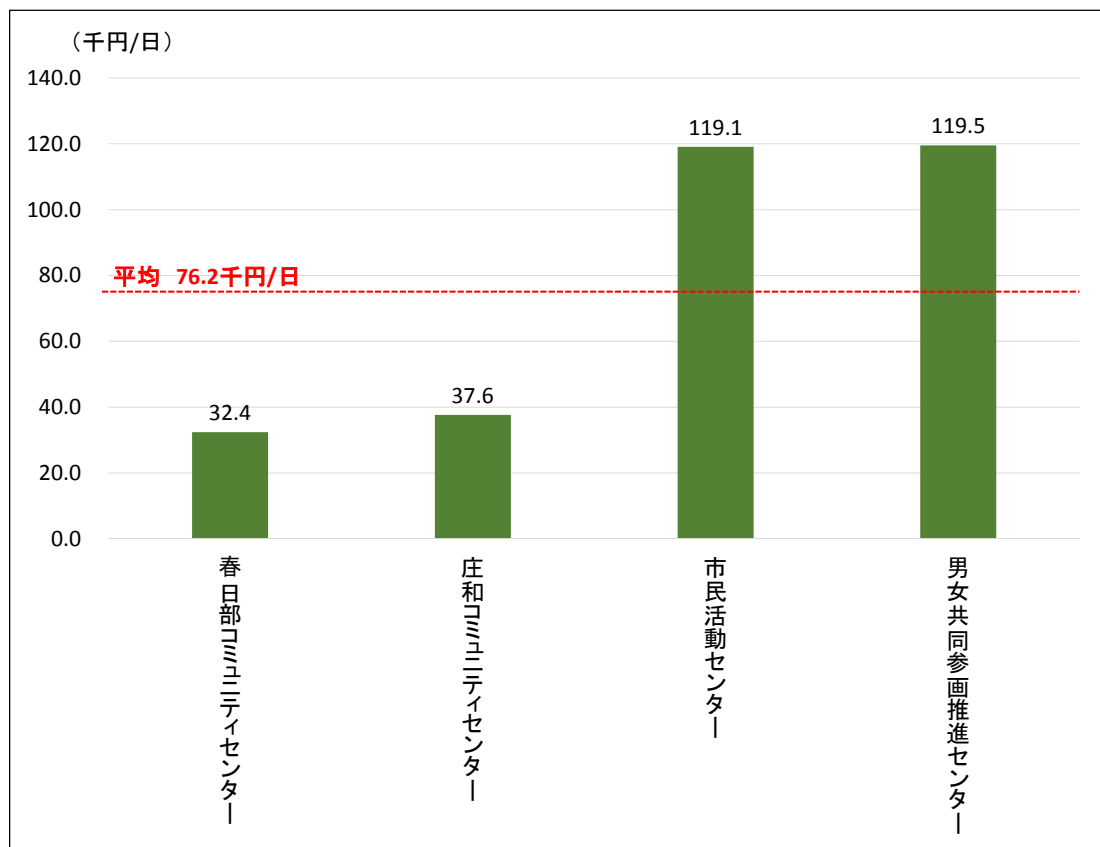


図 3-32 コミュニティ系施設の日当たりのコスト（地域センター）

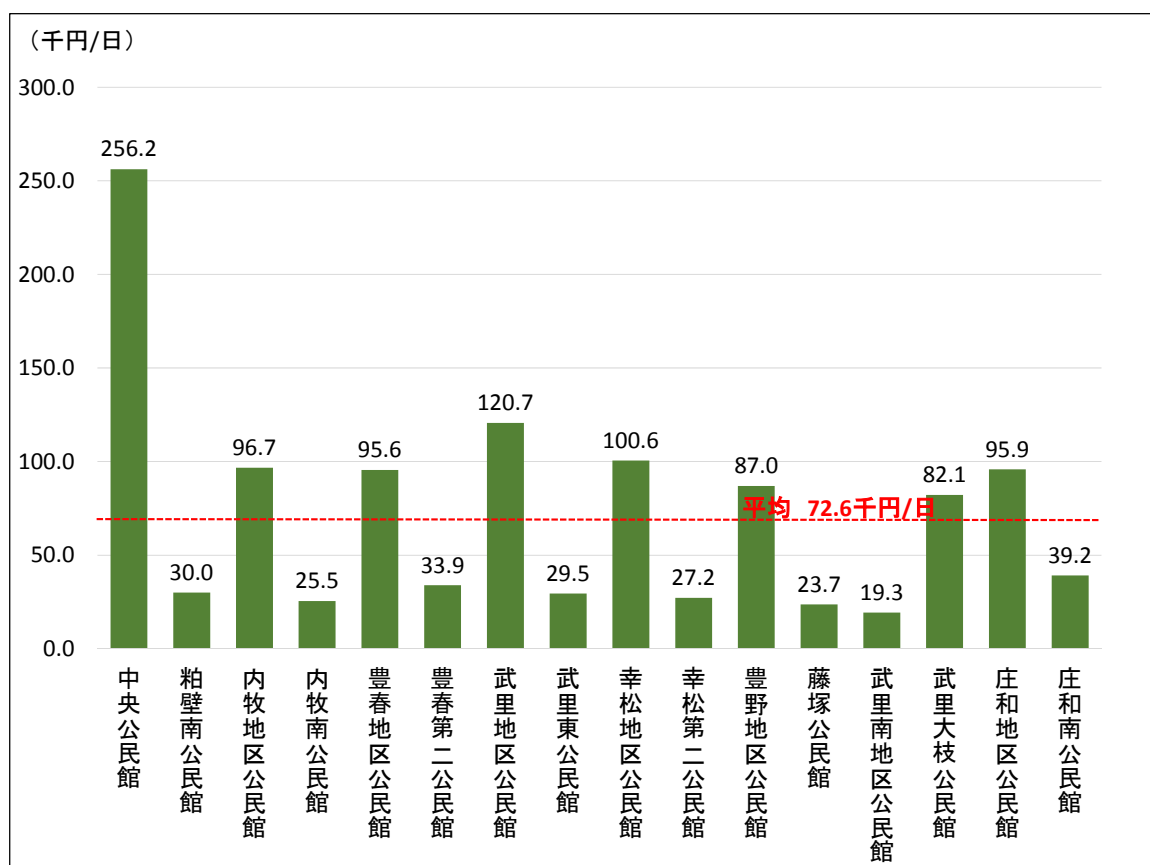


図 3-33 コミュニティ系施設の一日当たりのコスト（公民館）

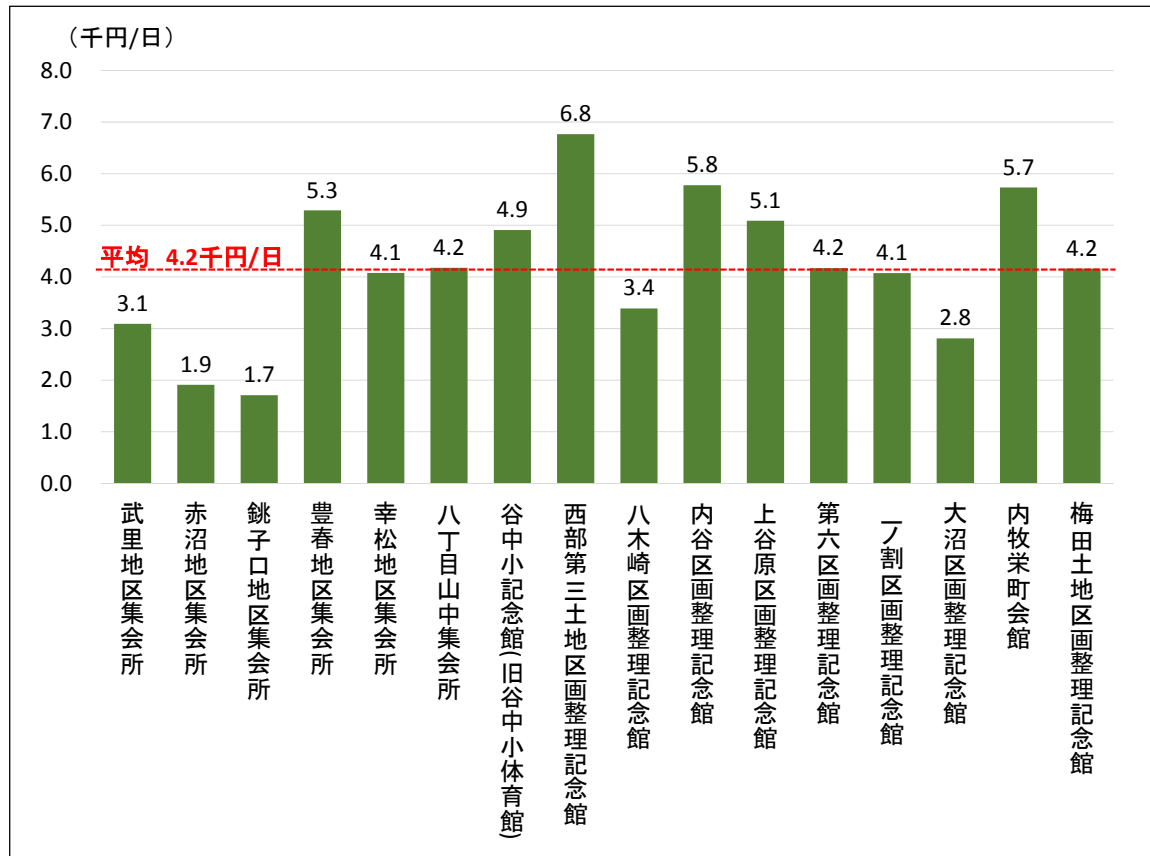


図 3-34 コミュニティ系施設の一日当たりのコスト（集会所）

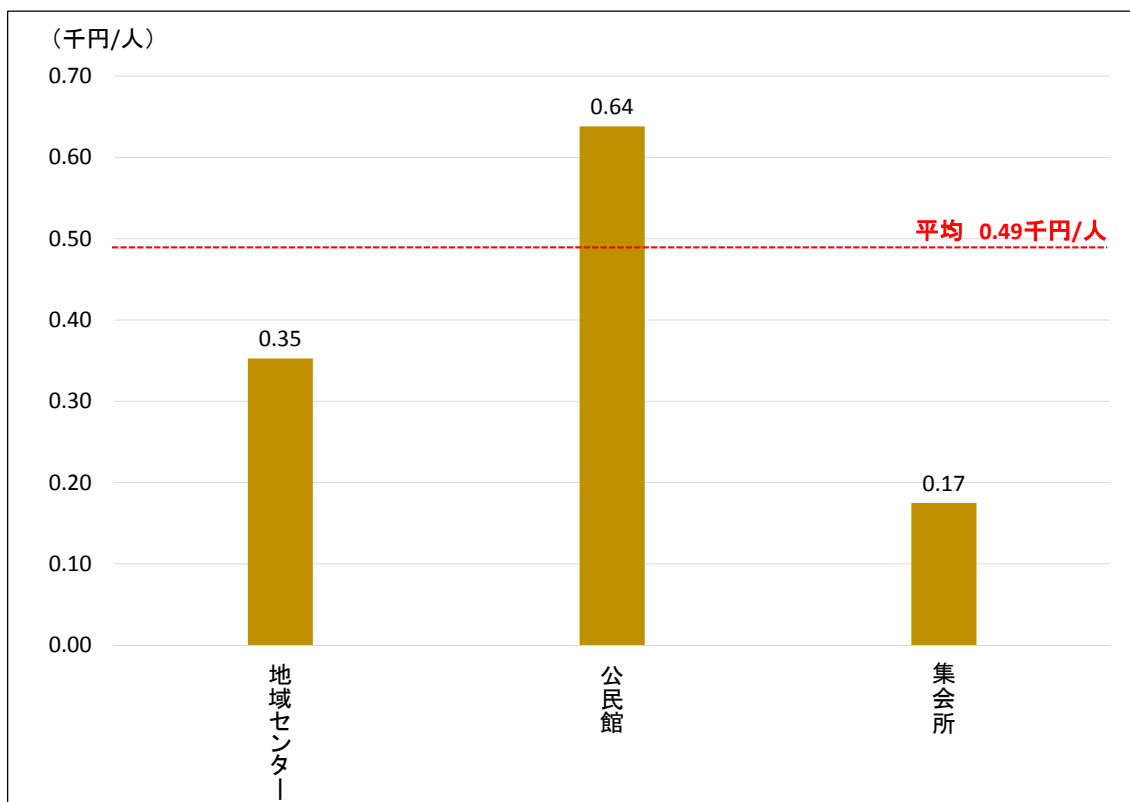


図 3-35 コミュニティ系施設の利用者一人当たりのコスト

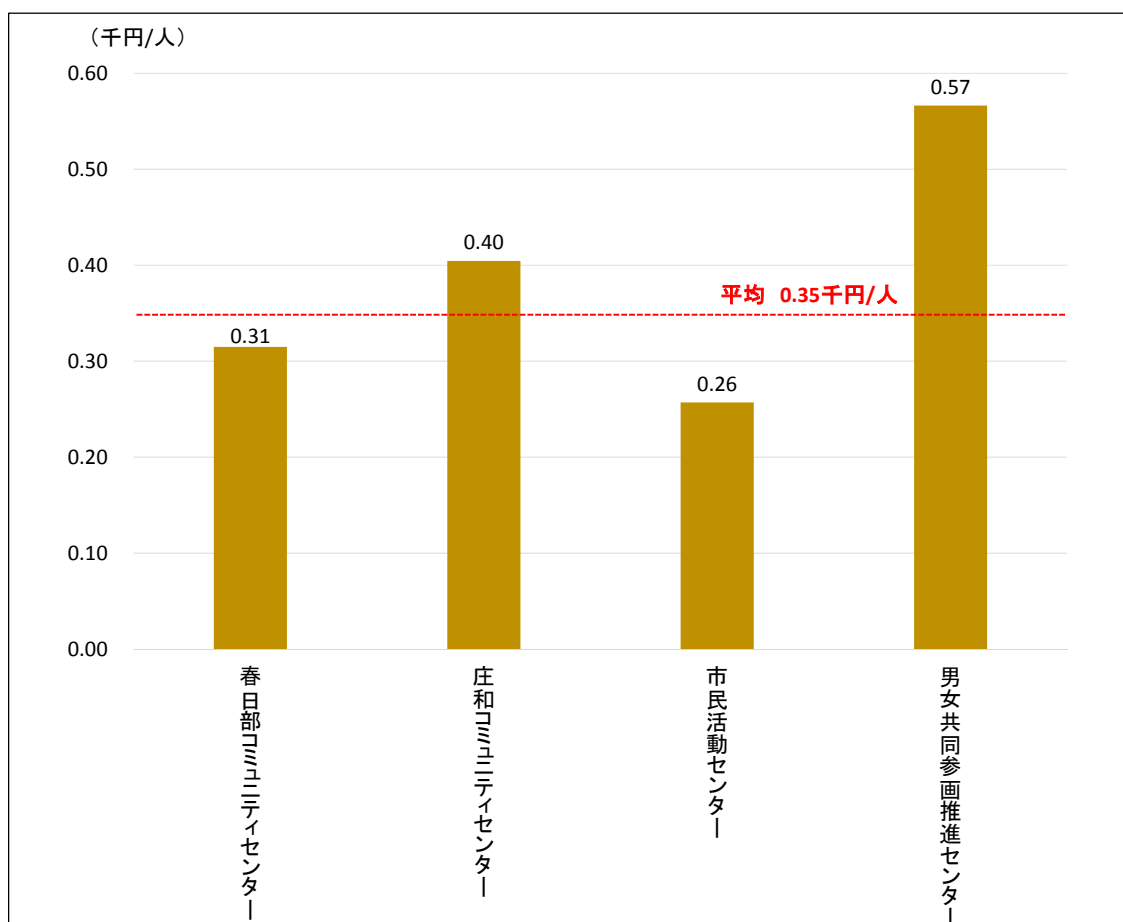


図 3-36 コミュニティ系施設の利用者一人当たりのコスト（地域センター）

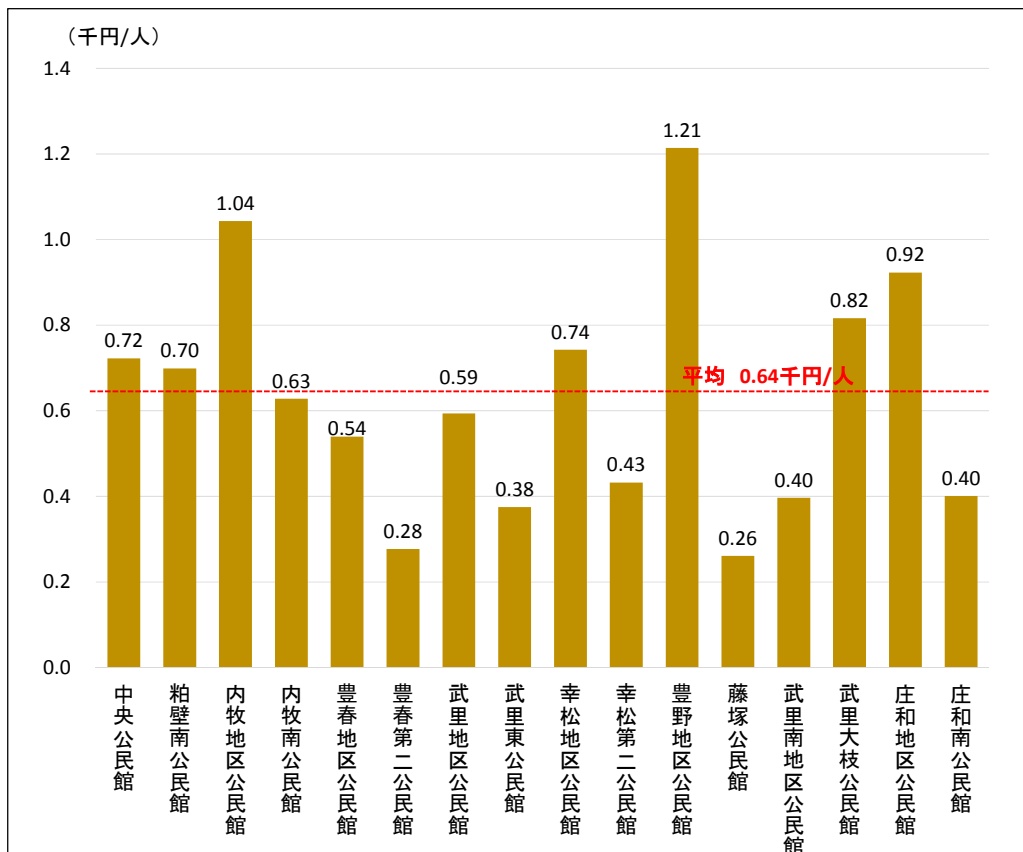


図 3-37 コミュニティ系施設の利用者一人当たりのコスト（公民館）

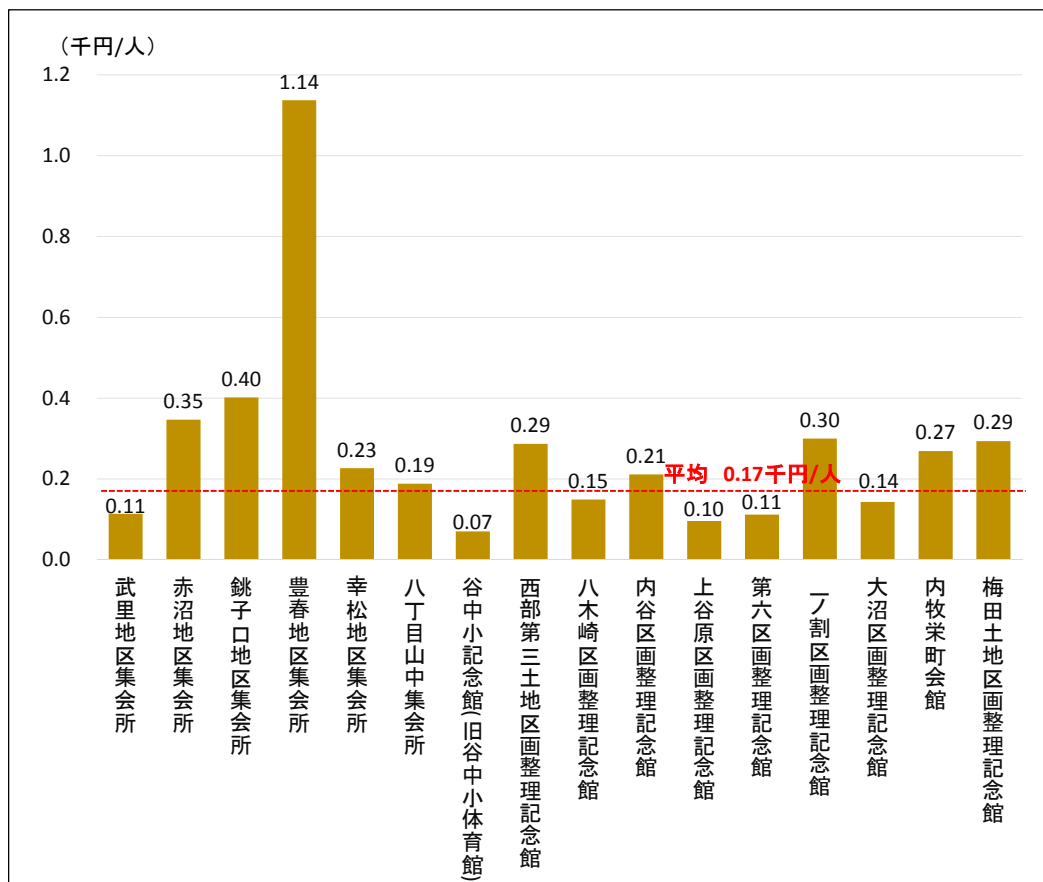


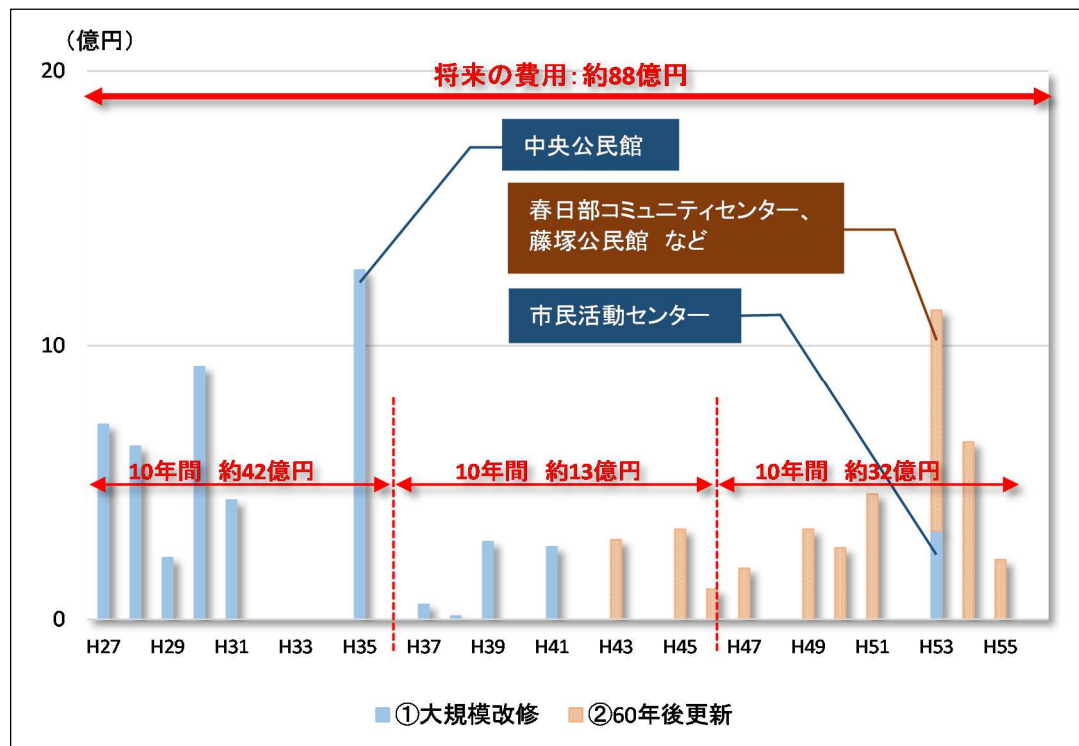
図 3-38 コミュニティ系施設の利用者一人当たりのコスト（集会所）

vi) 更新等費用の推計

コミュニティ系施設では、平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間に中央公民館の大規模改修により約 42 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間では、春日部コミュニティセンター、藤塚公民館などの更新等により約 32 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間でコミュニティ系施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 88 億円と想定されます。



※この更新等の費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。(一定の試算条件についてはP39 参照) 従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期(建設後30年)を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後60年が経過した後に更新(建替え)を行う想定として算出しています。

図 3-39 コミュニティ系施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vii) 施設のパターン

① 地域センター

春日部コミュニティセンターは耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることからFパターンとなっています。

表 3-22 施設のパターン（地域センター）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
春日部コミュニティセンター	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ
庄和コミュニティセンター	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ
市民活動センター	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
男女共同参画推進センター	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	F
Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	C
Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	A
Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

②公民館

16 施設中 4 施設は耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから F パターンとなっています。

表 3-23 施設のパターン（公民館）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
中央公民館	I	II	II	II	II	III	II	II	II	I	II	II	II	III	II	II	C
粕壁南公民館	III	III	III	III	I	III	III	III	II	III	III	III	I	III	III	II	F
内牧地区公民館	I	II	II	III	II	III	II	III	I	I	II	III	II	III	III	I	D
内牧南公民館	I	III	II	III	II	III	II	III	II	I	III	II	II	II	III	II	E
豊春地区公民館	I	II	II	II	II	III	III	III	III	I	II	II	II	III	III	III	C
豊春第二公民館	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
武里地区公民館	I	II	III	III	III	I	II	II	III	I	II	III	III	II	II	III	D
武里東公民館	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	III	II	III	III	F
幸松地区公民館	I	II	II	III	II	III	III	III	II	I	II	III	II	III	III	II	D
幸松第二公民館	I	III	II	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
豊野地区公民館	I	II	II	III	III	III	II	III	III	I	II	II	III	III	III	III	C
藤塚公民館	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	F
武里南地区公民館	III	III	II	II	II	III	III	III	III	III	III	II	II	III	III	III	F
武里大枝公民館	I	II	II	III	II	II	II	II	I	I	II	III	II	II	II	I	D
庄和地区公民館	I	II	II	III	II	III	II	III	III	I	II	II	II	III	III	III	C
庄和南公民館	I	II	II	II	I	II	II	II	III	I	II	II	I	II	II	III	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※粕壁地区公民館の旧建物は、本来の目的で使用されなくなった施設のため、除外しており、総施設数を16施設としています。

※庄和南公民館は、分館も含めて判断しています。

③集会所

集会所は、八丁目山中集会所、谷中小記念館（旧谷中小体育館）以外は耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから、Fパターンとなっています。

表 3-24 施設のパターン（集会所）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
武里地区集会所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
赤沼地区集会所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
銚子口地区集会所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
豊春地区集会所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
幸松地区集会所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
八丁目山中集会所	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	B
谷中小記念館(旧谷中小体育館)	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	E
西部第三土地区画整理記念館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
八木崎区画整理記念館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
内谷区画整理記念館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
上谷原区画整理記念館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
第六区画整理記念館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
一ノ割区画整理記念館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
大沼区画整理記念館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
内牧栄町会館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
梅田土地区画整理記念館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

viii) コミュニティ系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・旧耐震基準の施設は、地域センターでは春日部コミュニティセンター、公民館では武里東公民館など5施設、集会所は、八丁目山中集会所以外の15施設となっています。また、平均経過年数は公民館が31年、集会所が37年となっており、老朽化した施設も多くなっています。また、これらの施設の中には防災拠点や避難場所に指定されている施設もあることから、安全性の確保や老朽化への対応が必要となっています。
- ・コミュニティ系施設では、利用可能時間は全体的に12時間程度であり、利用者数は地域センターと集会所で微増傾向を示しております。全体的に利便性に配慮した運営がされていると考えられ、今後の多世代利用に対応するために、バリアフリー対応や運営方法の改善などが必要となっています。
- ・単位床面積当たり、一日当たり、利用者一人当たりのコストについては、施設の大小によってもばらつきがありますが、各施設分類の平均を大きく上回る施設（例えば利用者一人当たりのコストが他施設に比べて特に高い豊野地区公民館や豊春地区集会所等）については、施設管理体制や運営方法の見直しなどを検討する必要があります。



【今後の方向性】

- 施設の利用状況や今後の各地区の人口動向等を考慮し、利用状況に応じバリアフリー化や施設の適正配置、集約化・複合化等を検討します。
- 長寿命化を図る必要がある施設については老朽化への対応を検討します。
- 住民との協働による施設の管理・運営について検討します。

表 3-25 コミュニティ系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
37	12.5%	32,675	6.5%	34	0	3
				91.9%	0.0%	8.1%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
26	11	945	464,145	14.2	0.49	88
70.3%	29.7%					

※2段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

(3) スポーツ系施設

i) 概要

スポーツ系施設の分類は、体育施設としています。

体育施設には、総合体育館他3館あり、総合体育館は、メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、大・中会議室、ランニングトラック等を備えている施設となっています。

市民体育館は、アリーナ、談話室を備えている施設となっています。

庄和体育館は、アリーナ、格技室、卓球室、トレーニング室、会議室、研修室を備えている施設となっています。

市民武道館は、第1道場、第2道場、弓道場を備えている施設となっています。

スポーツ系施設の全ての施設は指定管理者による運営施設となっています。

表 3-26 スポーツ系施設の施設概要

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
体育施設	総合体育館	谷原新田1557-1	指定管理者	単独施設	—
	市民体育館	大沼7-12	指定管理者	単独施設	—
	市民武道館	大沼2-107	指定管理者	単独施設	—
	庄和体育館	金崎616	指定管理者	単独施設	—

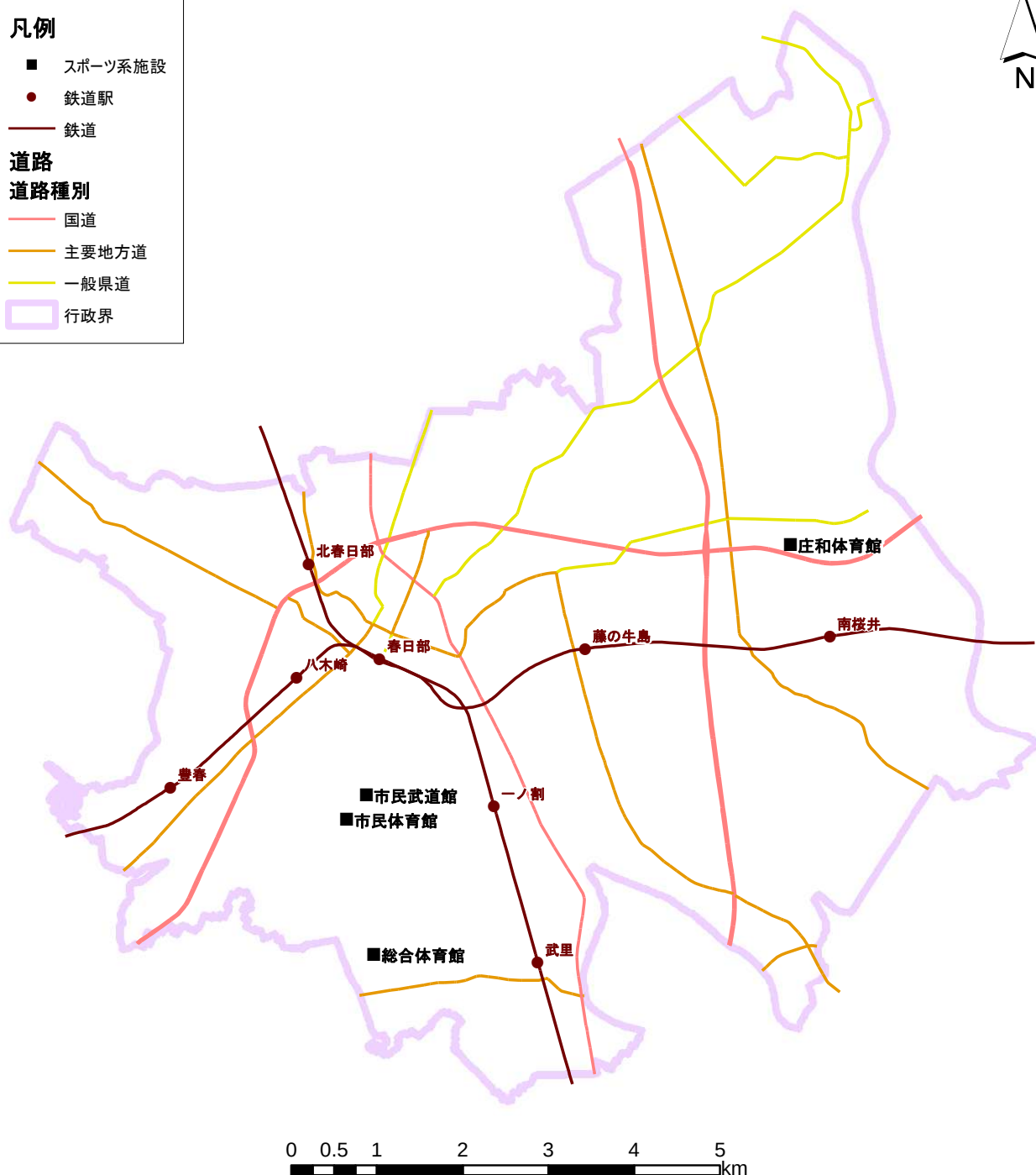
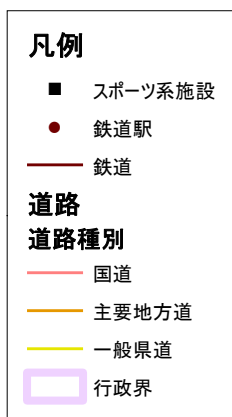


図 3-40 スポーツ系施設位置図

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

スポーツ系施設の延床面積では、総合体育館が最も大きく、全体の 54.4%を占めています。

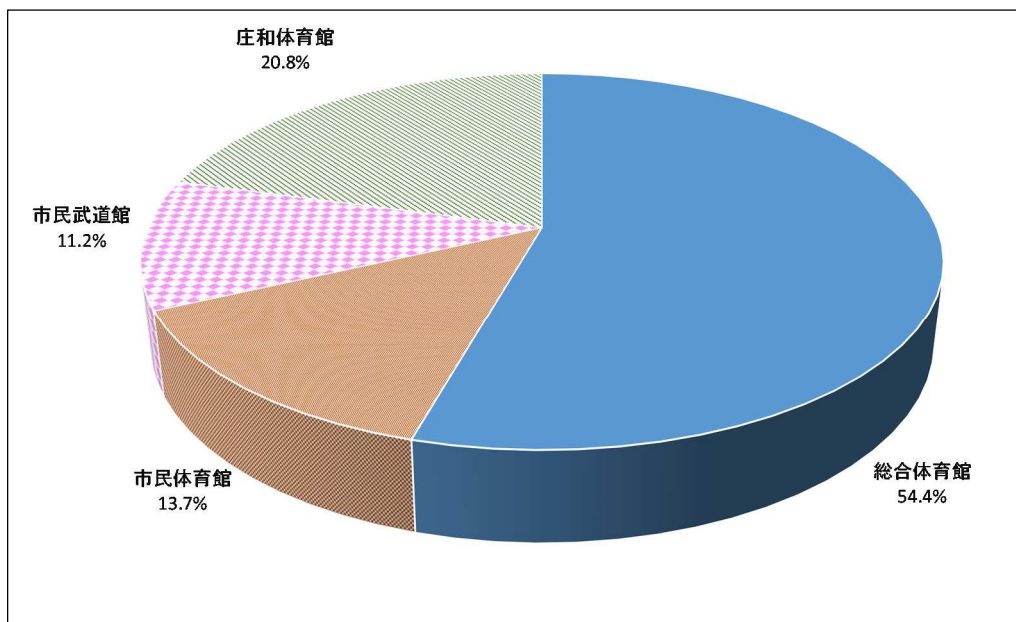


図 3-41 スポーツ系施設の延床面積の割合

表 3-27 スポーツ系施設の延床面積の状況

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
体育施設	総合体育館	12,106	54.4
	市民体育館	3,043	13.7
	市民武道館	2,487	11.2
	庄和体育館	4,624	20.8
合計		22,260	100.0

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

スポーツ系施設を建築年別にみると、市民体育館が旧耐震基準で建築後 41 年を経過していますが、その他の施設は新耐震基準の建築物となっています。

旧耐震基準の市民体育館は平成 23 年に耐震改修を実施しています。

建物構造は、主として鉄筋コンクリート造となっています。

スポーツ系施設の全ての施設が避難場所、総合体育館は広域避難場所に指定されており、防災上重要な施設となっています。

表 3-28 スポーツ系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
体育施設	総合体育館	平14	13	RC S	—	◎	無
	市民体育館	昭49	41	RC 一部S	—	○	有
	市民武道館	昭57	33	SRC RC	—	○	無
	庄和体育館	昭59	31	SRC 一部S	—	○	無
平均			30	—	—	—	—

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、—該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、—該当せず

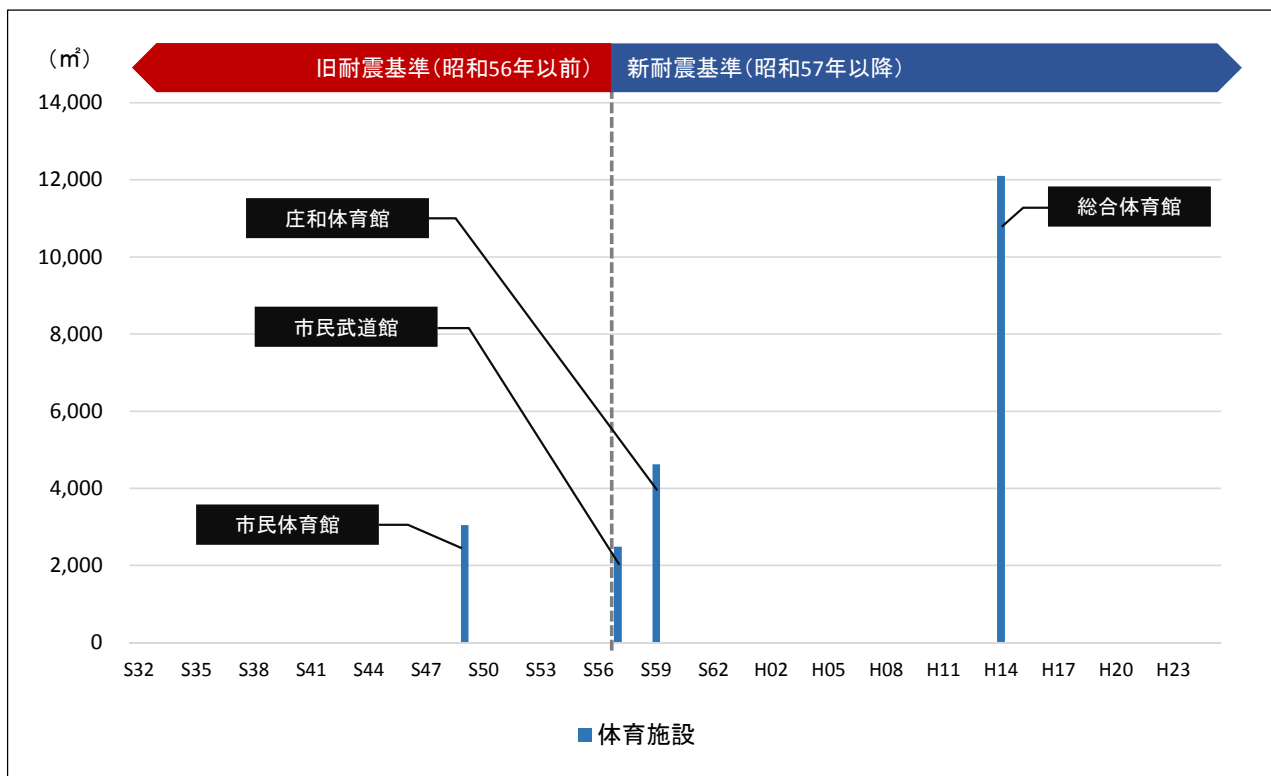


図 3-42 スポーツ系施設の建築年別の延床面積

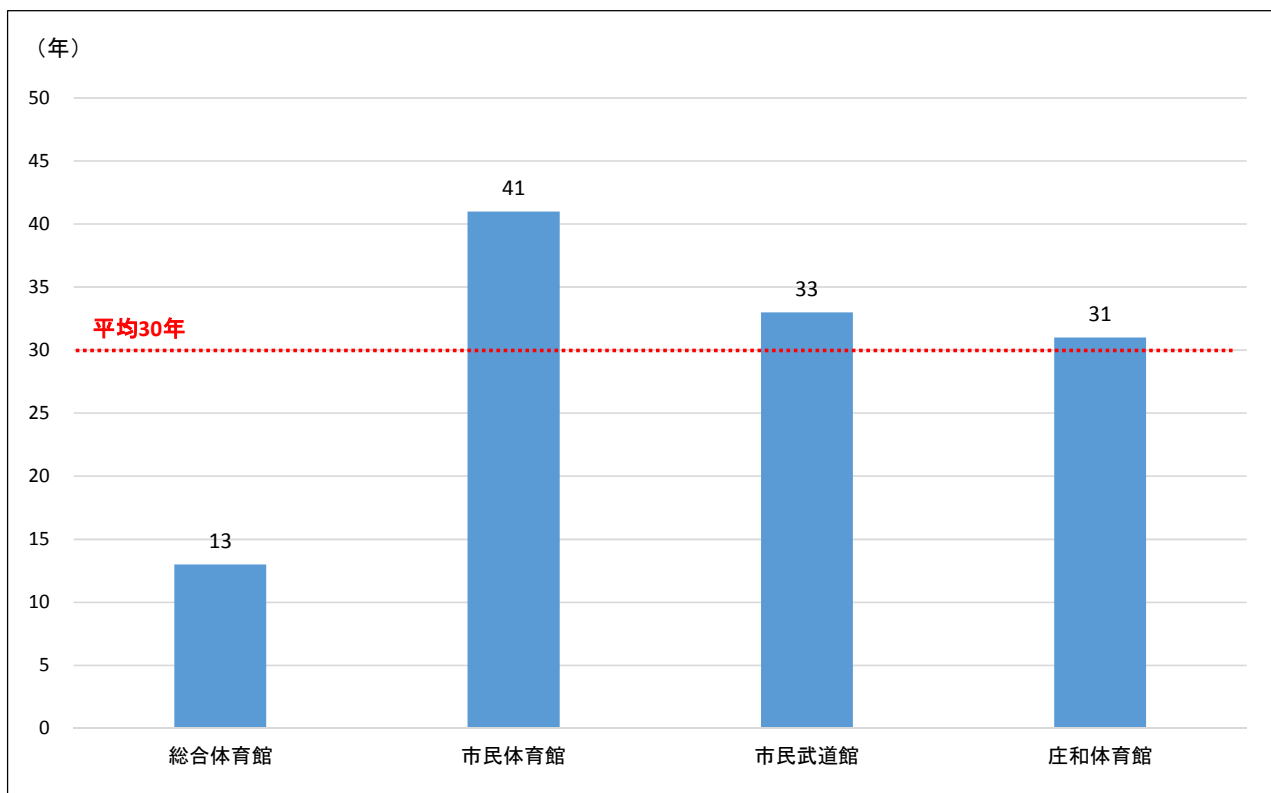


図 3-43 スポーツ系施設の建築物の経過年数

iii) 利用状況

スポーツ系施設の利用状況をみると、平成 25 年度では年間約 54 万 4,300 人に利用されています。

表 3-29 スポーツ系施設の利用者数の推移

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	2ヵ年平均 (人)
体育施設	総合体育館	187,510	266,298	269,057	267,678
	市民体育館	60,092	77,693	78,692	78,193
	市民武道館	48,106	95,364	96,338	95,851
	庄和体育館	84,419	100,408	100,214	100,311
合計		380,127	539,763	544,301	542,032

※体育施設の平成 23 年度の数值は、11 月以降の利用者数であるため、平均利用者数は、平成 24 年度、平成 25 年度の 2 時点の平均としています。

※総合体育館及び庄和体育館は、トレーニング室、会議室を含んでいます。

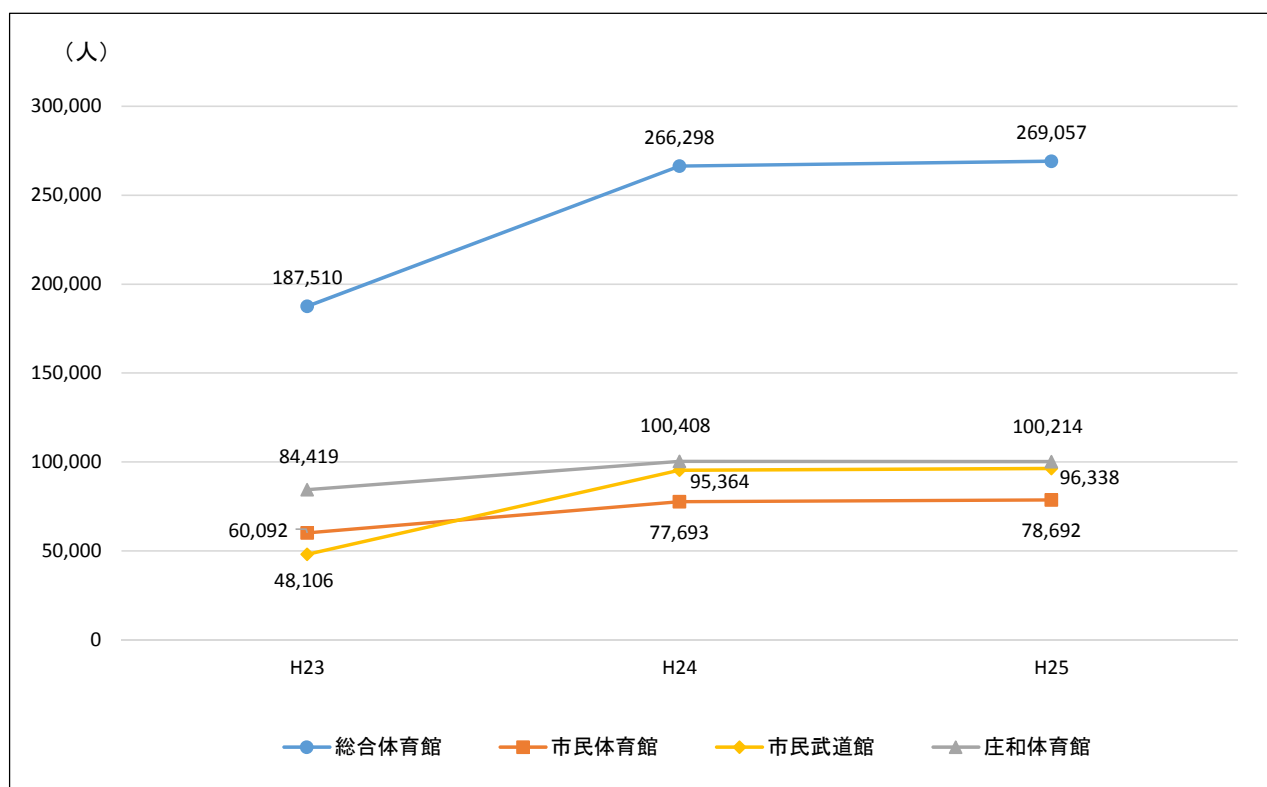


図 3-44 スポーツ系施設の利用者数の推移

iv) 運営状況

スポーツ系施設の一日当たりの利用可能時間をみると、総合体育館が 13 時間で、その他の施設は 12 時間となっています。

表 3-30 スポーツ系施設の運営状況

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
体育施設	総合体育館	360	9:00	22:00	13時間00分	0.0	0.0	0.0	7.0	19.0	26.0
	市民体育館	360	9:00	21:00	12時間00分	0.0	0.0	0.0	1.0	6.0	7.0
	市民武道館	360	9:00	21:00	12時間00分	0.0	0.0	0.0	1.0	6.0	7.0
	庄和体育館	360	9:00	21:00	12時間00分	0.0	0.0	0.0	2.0	8.0	10.0
合計		-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	11.0	39.0	50.0

※職員数(直営)及び(指定管理者)の値は平成 25 年度時点のものです。

v) コスト状況

スポーツ系施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは約 1 億 8,100 万円となっています。

スポーツ系施設の単位床面積当たりのコストの平均は約 8,100 円/㎡、一日当たりのコストの平均は約 12 万 5,600 円/日、利用者一人当たりのコストの平均は約 330 円/人となっています。

表 3-31 スポーツ系施設のコスト状況

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト	単位床面積 当たりのコスト	一日当たりの コスト	利用者一人 当たりのコスト
		H25 (千円)	H25 (千円/㎡)	H25 (千円/日)	H25 (千円/人)
体育施設	総合体育館	125,312	10.4	348.1	0.47
	市民体育館	17,784	5.8	49.4	0.23
	市民武道館	9,713	3.9	27.0	0.10
	庄和体育館	27,994	6.1	77.8	0.28
合計		180,803	8.1	125.6	0.33
		平均			

※施設の維持管理・運営にかかるコストは、指定管理者の支出金額と市としての支出金額の合計です。

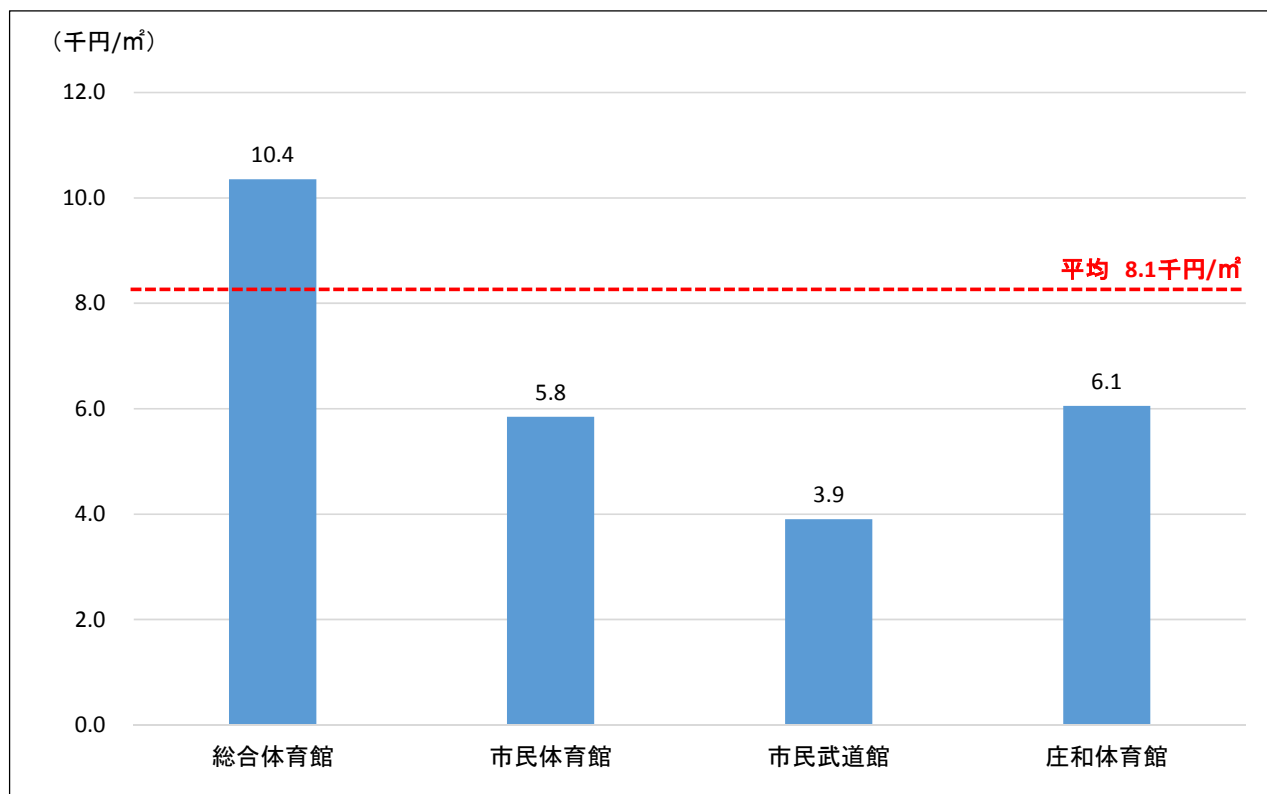


図 3-45 スポーツ系施設の単位床面積当たりのコスト

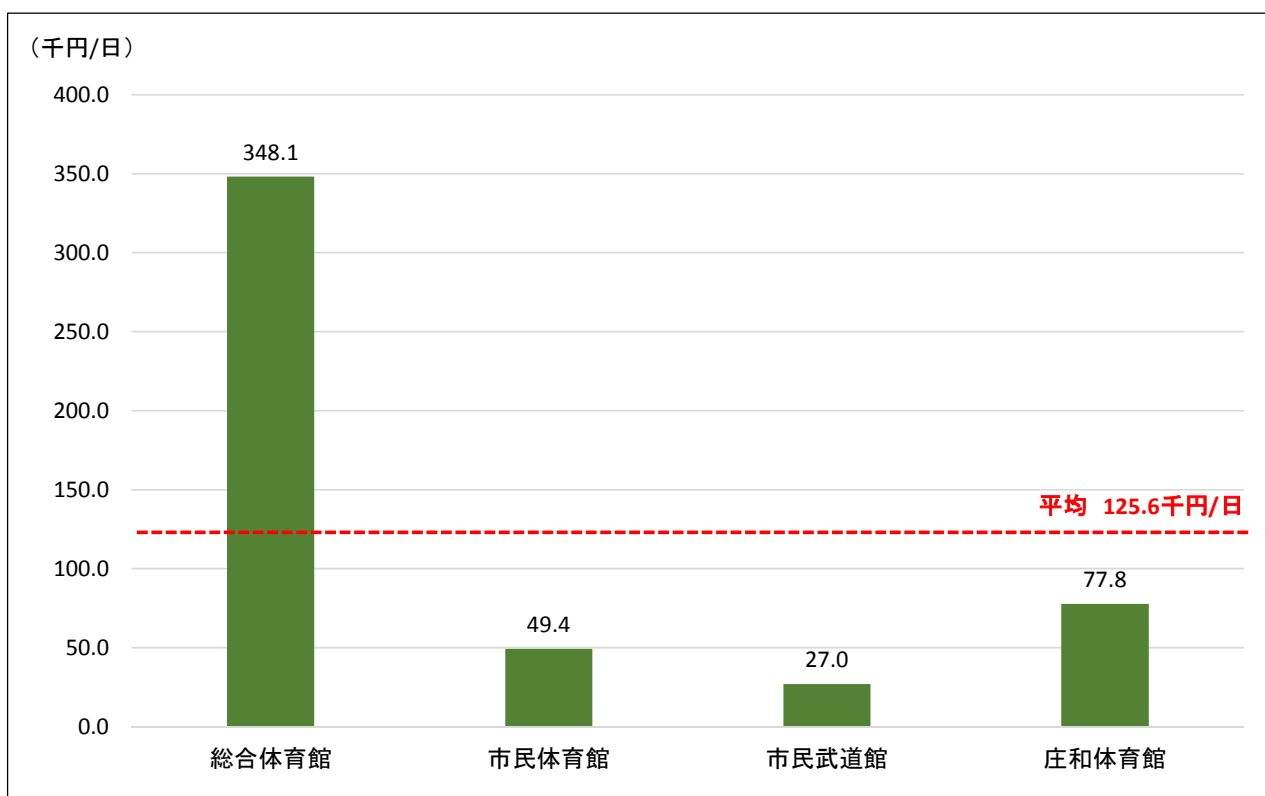


図 3-46 スポーツ系施設の日当たりのコスト

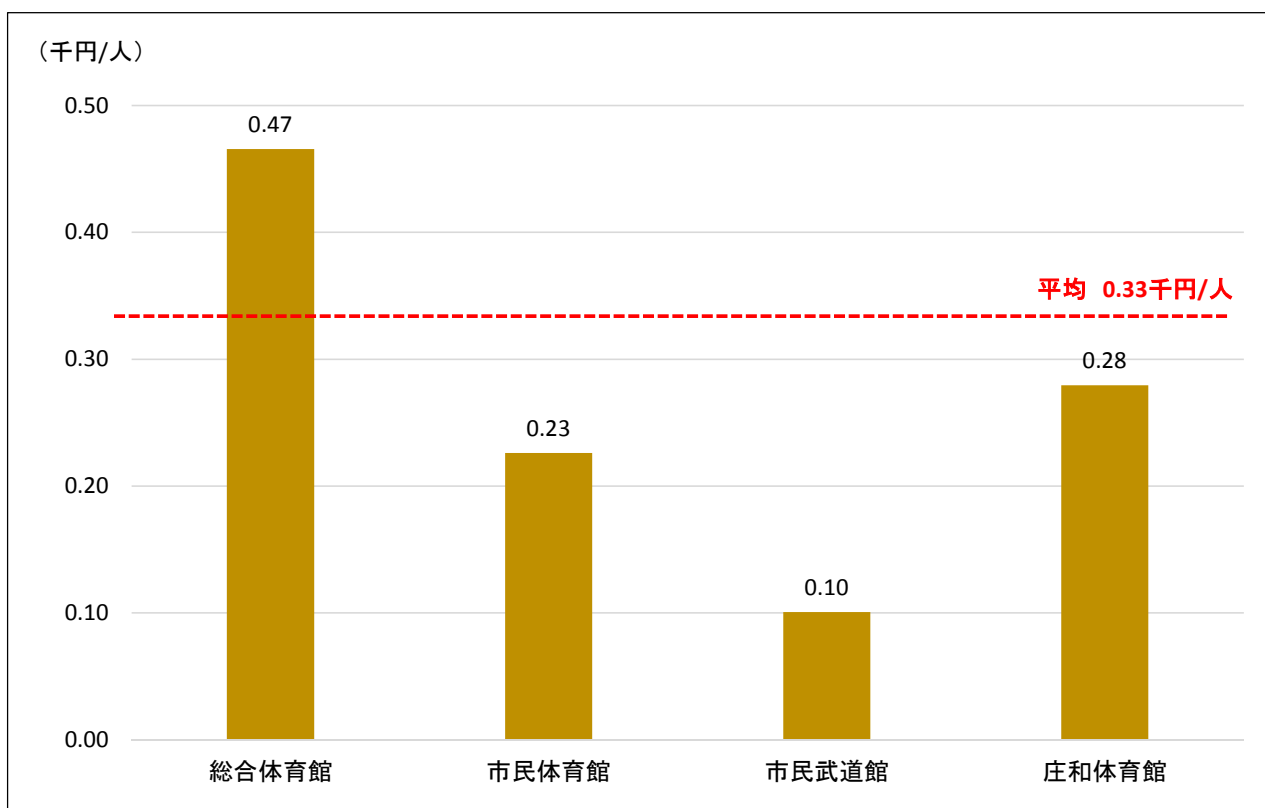


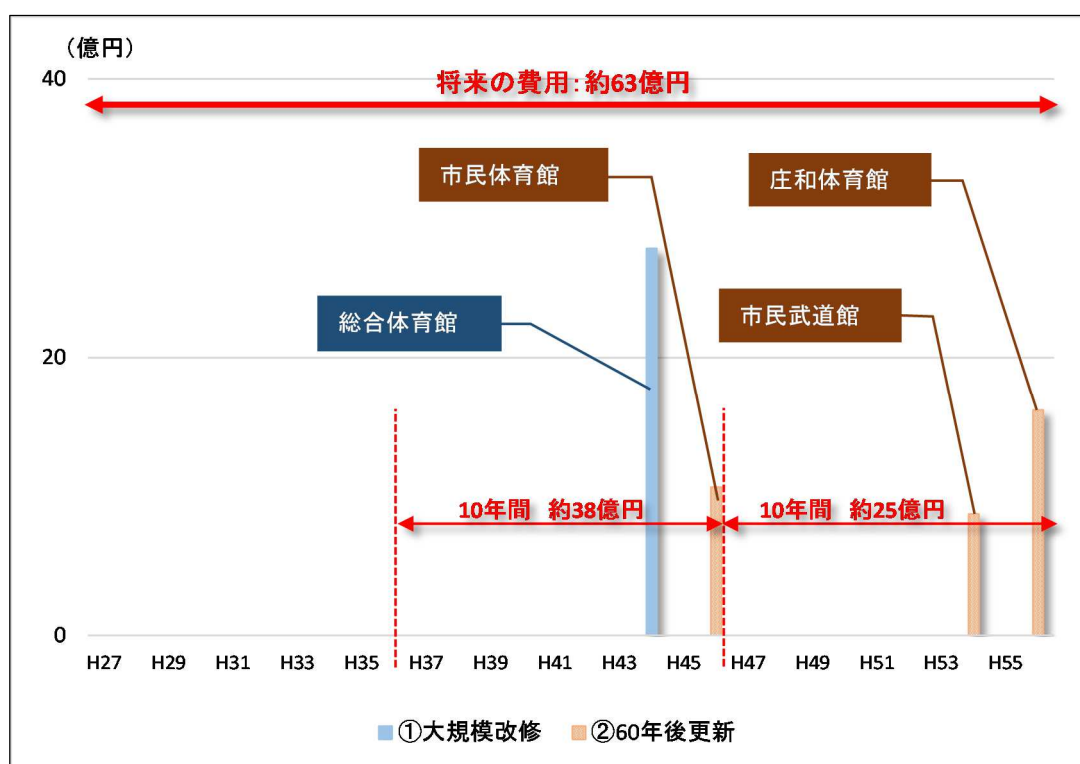
図 3-47 スポーツ系施設の利用者一人当たりのコスト

vi) 更新等費用の推計

スポーツ系施設では、平成 37 年から平成 46 年までの 10 年間に、総合体育館の大規模改修及び市民体育館の更新等により約 38 億円の大規模改修・更新等の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間では、市民武道館及び庄和体育館の更新等により、約 25 億円の大規模改修・更新等の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間でスポーツ系施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 63 億円と想定されます。



※この更新等の費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。（一定の試算条件については P39 参照）従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期（建設後 30 年）を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後 60 年が経過した後に更新（建替え）を行う想定として算出しています。

図 3-48 スポーツ系施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vii) 施設のパターン

総合体育館はバリアフリー対策が必要なBパターンとなっています。他3施設は老朽化が進行していることからEパターンとなっています。

表 3-32 施設のパターン（屋内体育施設）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
総合体育館	I	I	I	II	I	I	I	II	I
市民体育館	I	III	I	I	III	I	I	III	III
市民武道館	I	III	III	III	II	III	III	III	III
庄和体育館	I	III	III	III	III	III	II	III	III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

viii) スポーツ系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・スポーツ系施設は、すべての施設が避難場所に指定されています。総合体育館は平成 14 年の建築であり、市民体育館は平成 23 年に耐震等の大規模な改修を実施していますが、それ以外の施設である市民武道館、庄和体育館は建築後 30 年以上が経過していることから、老朽化への対応が必要となっています。
- ・総合体育館が約 27 万人と最も多く利用され、他の施設は、ほぼ横ばい傾向であり、全体的に施設利用の拡大方法の検討が求められます。スポーツ系施設は、市民の保健体育活動を支えるうえで中枢となる施設であることから、バリアフリー化やスポーツプログラムの提供や体調管理、憩い施設の付加などの機能の多様化が求められ、施設整備と合わせ、多様化するニーズへの対応が必要となっています。
- ・単位床面積当たりのコスト、一日当たりのコスト、一人当たりのコストはともに総合体育館が最も高く、運営方法の見直し等による維持管理・運営コストの縮減が課題となっています。



【今後の方向性】

- スポーツニーズの多様化に対応するために、機能の複合化等による効率的な施設配置の適正化を検討します。
- 予防保全の推進等による施設の長寿命化を検討します。
- 利用の拡大方法に向け、民間活力の導入の検討や民間に設備投資や運営の実施やネーミングライツなど財源負担の軽減化等を検討します。

表 3-33 スポーツ系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
4	1.3%	22,260	4.4%	0	4	0
				0.0%	100.0%	0.0%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
3	1	544	180,803	8.1	0.33	63
75.0%	25.0%					

※ 2 段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

(4) 学校系施設

i) 概要

学校系施設は、小学校、中学校、専門学校に分類しています。

小学校は、24校、中学校は13校です。また、専門学校は看護専門学校の1校です。

運営形態は、すべての施設が直営施設となっています。

施設形態は、一部の小学校では放課後児童クラブを併設した複合施設となっています。また、藤塚小学校、小淵小学校、東中学校は防災備蓄倉庫との複合施設となっています。

表 3-34 学校系施設の施設概要一覧

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態
小学校	粕壁小学校	粕壁東3-2-19	直営	単独施設
	内牧小学校	内牧2415-2	直営	単独施設
	豊春小学校	道順川戸37-1	直営	単独施設
	武里小学校	備後西5-5-2	直営	単独施設
	幸松小学校	八丁目353-1	直営	単独施設
	豊野小学校	銚子口1087	直営	単独施設
	備後小学校	備後西3-2-1	直営	単独施設
	八木崎小学校	中央4-1	直営	単独施設
	牛島小学校	牛島1080	直営	複合施設
	緑小学校	緑町5-4-1	直営	単独施設
	上沖小学校	大沼5-44	直営	単独施設
	正善小学校	備後東6-2-1	直営	複合施設
	立野小学校	南中曽根1074	直営	単独施設
	宮川小学校	新方袋1090	直営	複合施設
	藤塚小学校	藤塚82-2	直営	複合施設
	小淵小学校	小淵905-1	直営	複合施設
	武里南小学校	大枝89 2-1	直営	単独施設
	武里西小学校	大場822-1	直営	単独施設
	宝珠花小学校	西宝珠花593	直営	単独施設
	富多小学校	神間872	直営	単独施設
	南桜井小学校	下柳3	直営	単独施設
	川辺小学校	米島756	直営	複合施設
	桜川小学校	大倉496-1	直営	単独施設
	中野小学校	東中野654	直営	複合施設
中学校	春日部中学校	粕壁4-4-15	直営	単独施設
	東中学校	樋堀181-1	直営	複合施設
	豊春中学校	南中曽根107-2	直営	単独施設
	武里中学校	薄谷3	直営	単独施設
	谷原中学校	谷原新田1507	直営	単独施設
	大沼中学校	大沼6-75	直営	単独施設
	豊野中学校	銚子口130	直営	単独施設
	中野中学校	武里中野746	直営	単独施設
	緑中学校	緑町5-9-38	直営	単独施設
	大増中学校	上大増新田140	直営	単独施設
	江戸川中学校	上吉妻1	直営	単独施設
	葛飾中学校	永沼2250-1	直営	単独施設
	飯沼中学校	飯沼180	直営	単独施設
専門学校	看護専門学校	粕壁6686	直営	単独施設



図 3-49 学校系施設位置図（小学校）

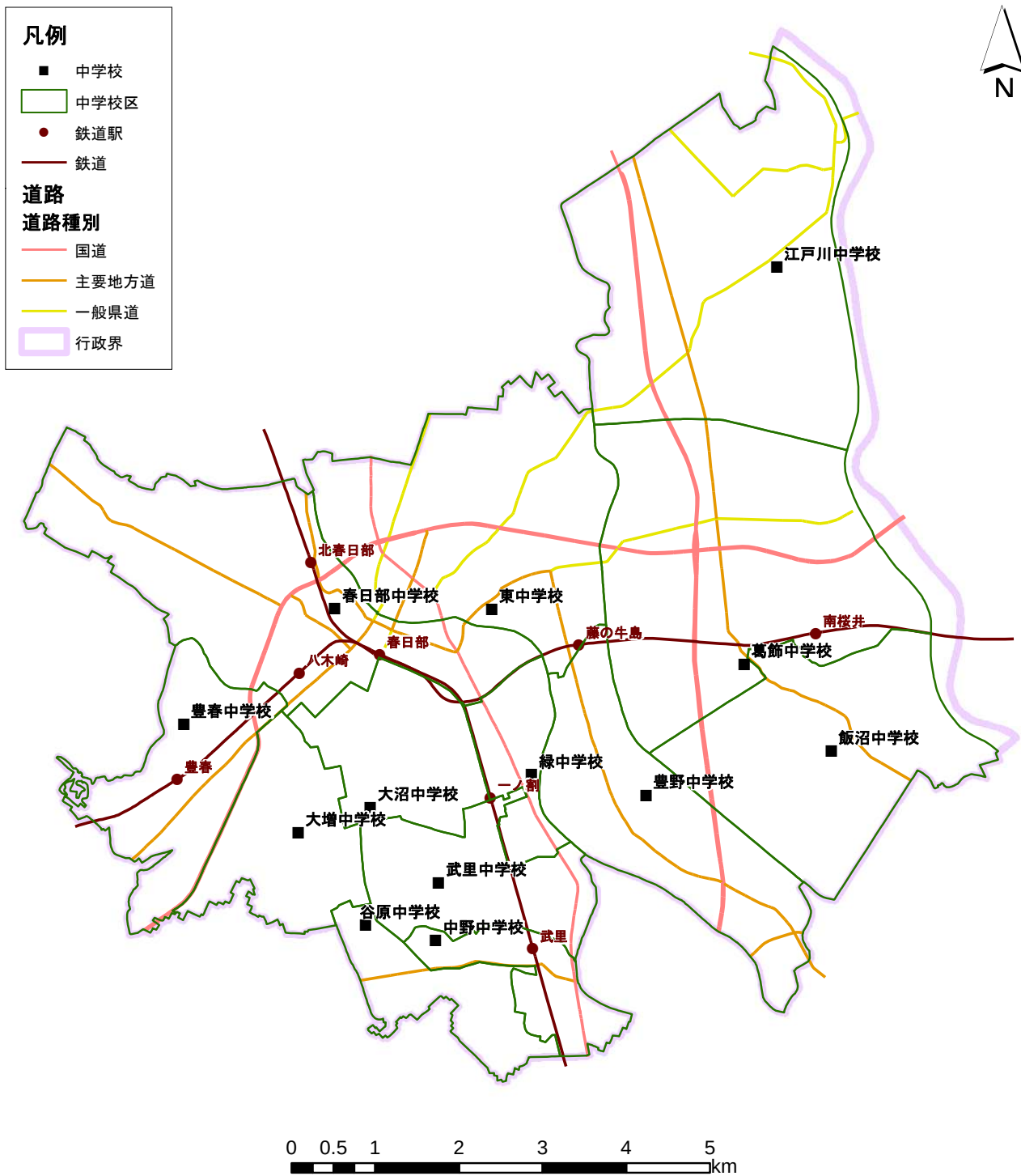


図 3-50 学校系施設位置図（中学校）

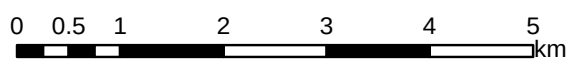
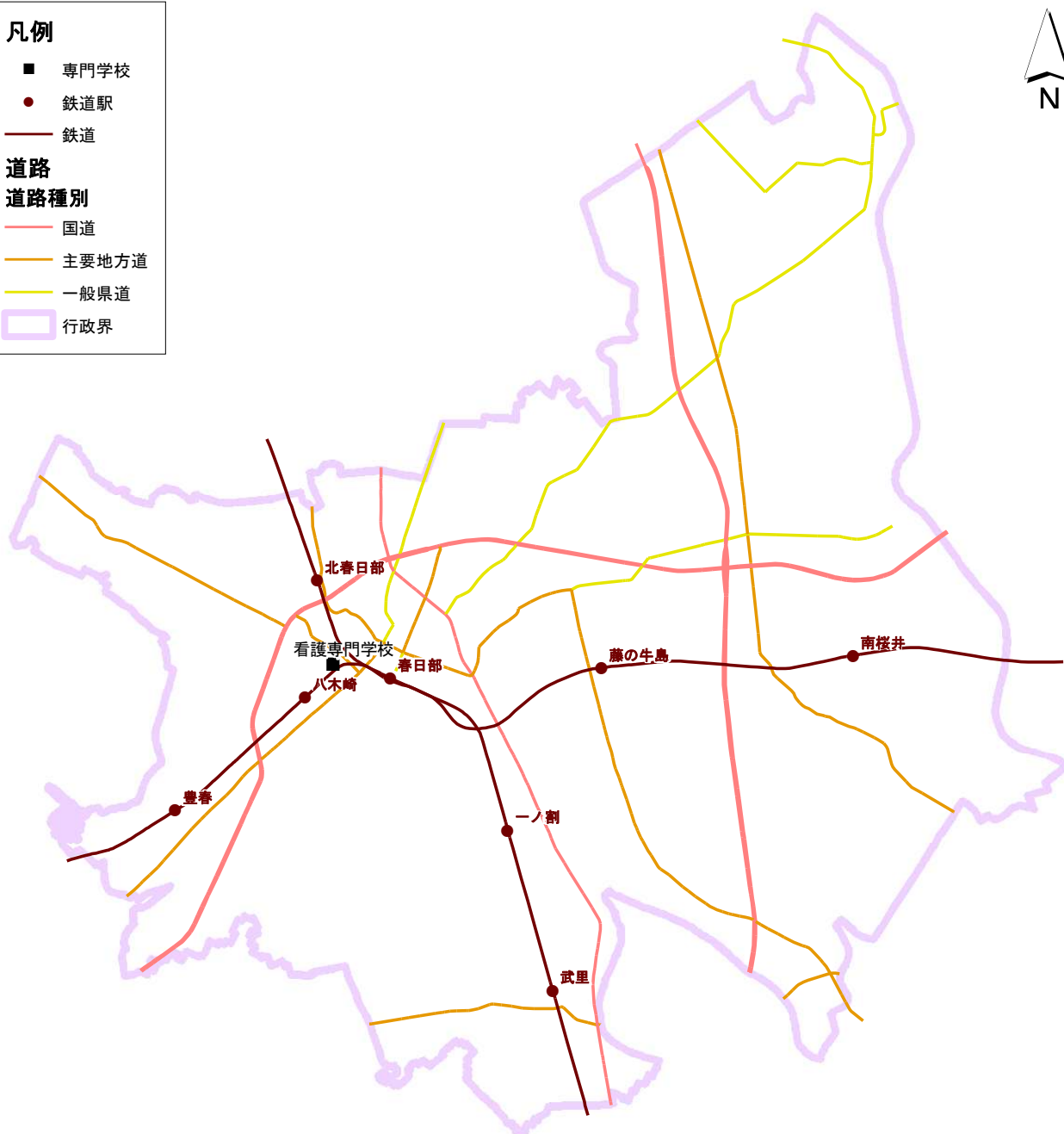
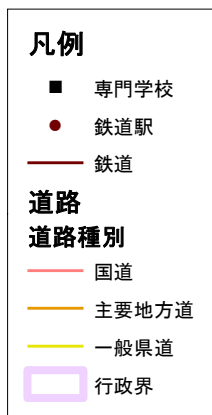


図 3-51 学校系施設位置図（専門学校）

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

学校系施設の延床面積では、小学校では武里南小学校が 8,778 m²で最も大きく、以下、武里西小学校が 8,244 m²、牛島小学校が 8,059 m²となっています。中学校では東中学校が 10,294 m²で最も大きく、以下、春日部中学校が 9,549 m²、武里中学校が 8,714 m²となっています。また、看護専門学校は、1,284 m²となっています。

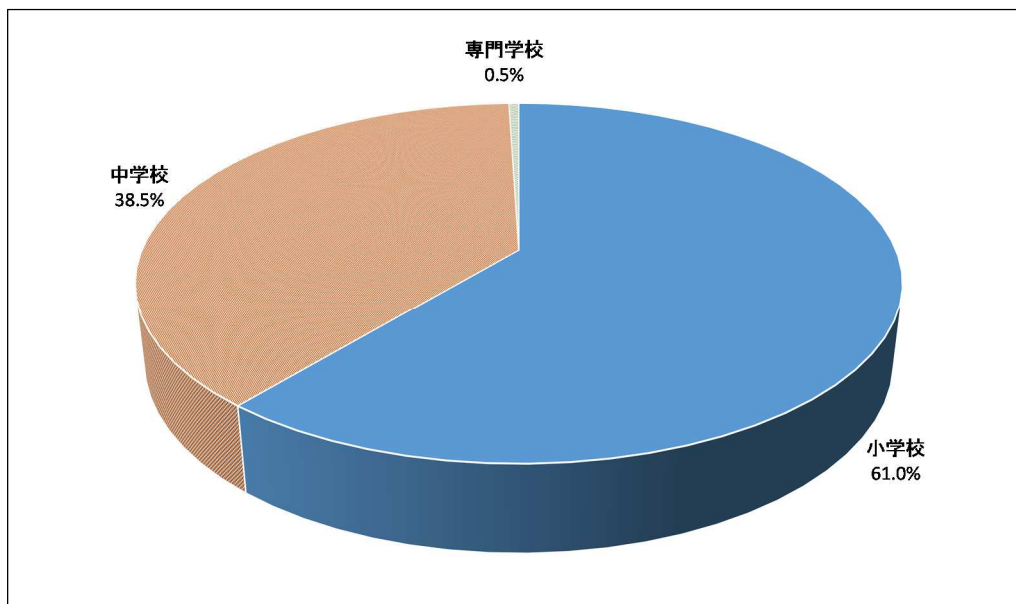


図 3-52 学校系施設の延床面積の割合

表 3-35 学校系施設の延床面積の状況

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
小学校	粕壁小学校	7,026	2.8
	内牧小学校	6,949	2.7
	豊春小学校	6,783	2.7
	武里小学校	5,639	2.2
	幸松小学校	6,111	2.4
	豊野小学校	7,161	2.8
	備後小学校	5,684	2.2
	八木崎小学校	7,520	3.0
	牛島小学校	8,059	3.2
	緑小学校	6,816	2.7
	上沖小学校	7,663	3.0
	正善小学校	7,545	3.0
	立野小学校	7,765	3.0
	宮川小学校	5,993	2.4
	藤塚小学校	6,281	2.5
	小淵小学校	6,176	2.4
	武里南小学校	8,778	3.4
	武里西小学校	8,244	3.2
	宝珠花小学校	3,446	1.4
	富多小学校	3,647	1.4
	南桜井小学校	5,491	2.2
	川辺小学校	5,507	2.2
	桜川小学校	6,992	2.7
	中野小学校	4,351	1.7
中学校	春日部中学校	9,549	3.7
	東中学校	10,294	4.0
	豊春中学校	6,588	2.6
	武里中学校	8,714	3.4
	谷原中学校	8,459	3.3
	大沼中学校	8,381	3.3
	豊野中学校	8,005	3.1
	中野中学校	7,620	3.0
	緑中学校	6,814	2.7
	大増中学校	6,924	2.7
	江戸川中学校	3,841	1.5
	葛飾中学校	7,658	3.0
専門学校	飯沼中学校	5,302	2.1
	看護専門学校	1,284	0.5
小学校	小計	155,627	61.0
中学校	小計	98,149	38.5
専門学校	小計	1,284	0.5
合計		255,060	100.0

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

学校系施設を建築年別にみると、新耐震基準の施設は7校のみであり、その他は旧耐震基準の建築物を有していますが、随時耐震化が進められています。また、春日部中学校と幸松小学校には、築後50年以上経過している建築物があります。

建物構造は、校舎は主として鉄筋コンクリート造となっており、体育館は主として鉄骨造となっています。

看護専門学校以外の施設はすべて避難場所となっており、小学校では内牧小学校などの4校、中学校では春日部中学校などの11校は防災拠点に指定されています。

表 3-36 学校系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
小学校	粕壁小学校	昭45	45	RC、S	-	○	有
	内牧小学校	昭47	43	RC、S	○	○	有
	豊春小学校	昭45	45	RC、S	-	○	有
	武里小学校	昭42	48	RC	-	○	有
	幸松小学校	昭39	51	RC	-	○	有
	豊野小学校	昭44	46	RC、S	-	○	有
	備後小学校	昭47	43	RC、S	-	○	有
	八木崎小学校	昭47	43	RC、S	-	○	有
	牛島小学校	昭50	40	RC、S	-	○	有
	緑小学校	昭51	39	RC、S	-	○	有
	上沖小学校	昭51	39	RC	-	○	有
	正善小学校	昭51	39	RC、S	-	○	有
	立野小学校	昭52	38	RC、S	-	○	有
	宮川小学校	昭53	37	RC、S	-	○	有
	藤塚小学校	昭54	36	RC、S	-	○	有
	小淵小学校	昭55	35	RC、S	-	○	有
	武里南小学校	平15	12	RC	○	○	無
	武里西小学校	昭47	43	RC、S	-	○	有
	宝珠花小学校	昭63	27	RC	-	○	無
	富多小学校	平06	21	RC	-	○	無
	南桜井小学校	昭55	35	RC、S	-	○	有
	川辺小学校	昭52	38	RC、S	○	○	有
	桜川小学校	昭42	48	RC、S	○	○	有
	中野小学校	昭54	36	RC、S	-	○	有
中学校	春日部中学校	昭34	56	RC、S	○	○	有
	東中学校	平02	25	RC	○	○	無
	豊春中学校	昭45	45	RC、S	○	○	有
	武里中学校	昭42	48	RC、S	○	○	有
	谷原中学校	昭50	40	RC、S	○	○	有
	大沼中学校	昭52	38	RC、S	○	○	有
	豊野中学校	昭52	38	RC、S	○	○	有
	中野中学校	昭53	37	RC、S	○	○	有
	緑中学校	昭58	32	S	○	○	無
	大増中学校	昭59	31	RC、S	○	○	無
	江戸川中学校	昭45	45	RC、S	○	○	有
	葛飾中学校	昭50	40	RC、S	-	○	有
専門学校	看護専門学校	昭47	43	RC	-	-	有
	平均	-	39	-	-	-	-
小学校	平均	-	39	-	-	-	-
中学校	平均	-	39	-	-	-	-
専門学校	平均	-	43	-	-	-	-
平均		-	39	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

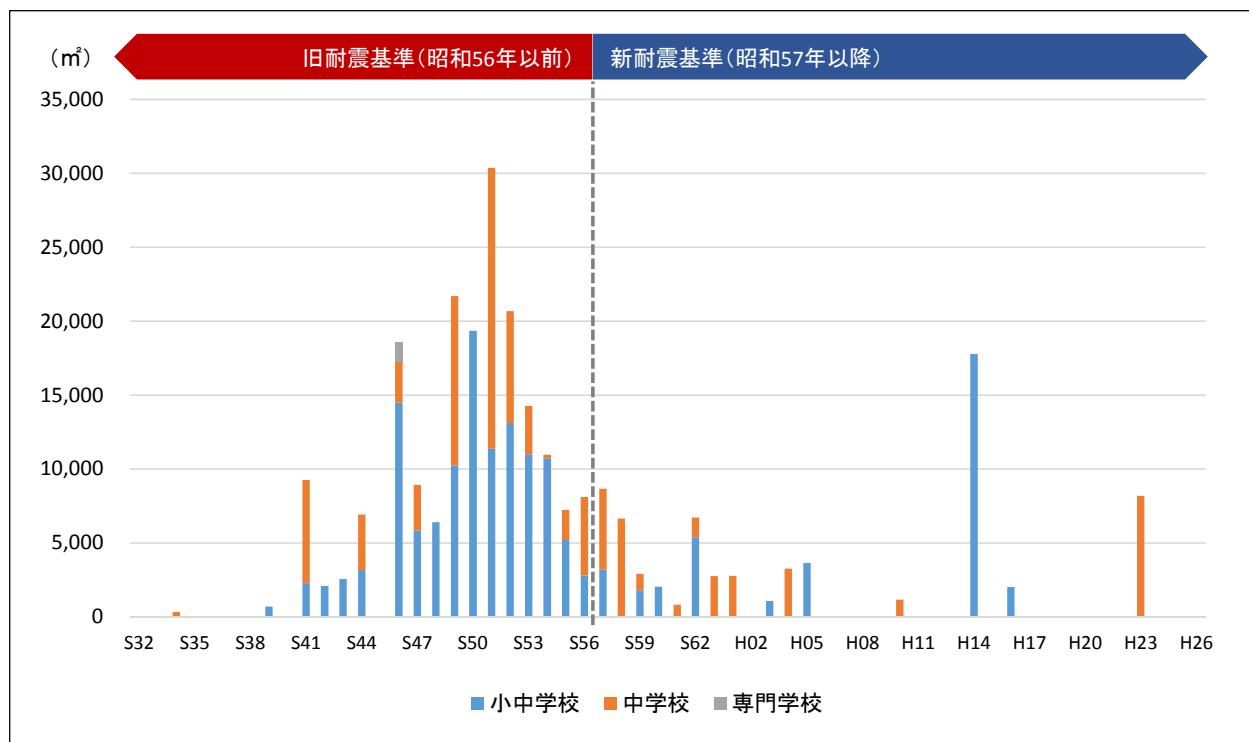


図 3-53 学校系施設の建築年別の延床面積

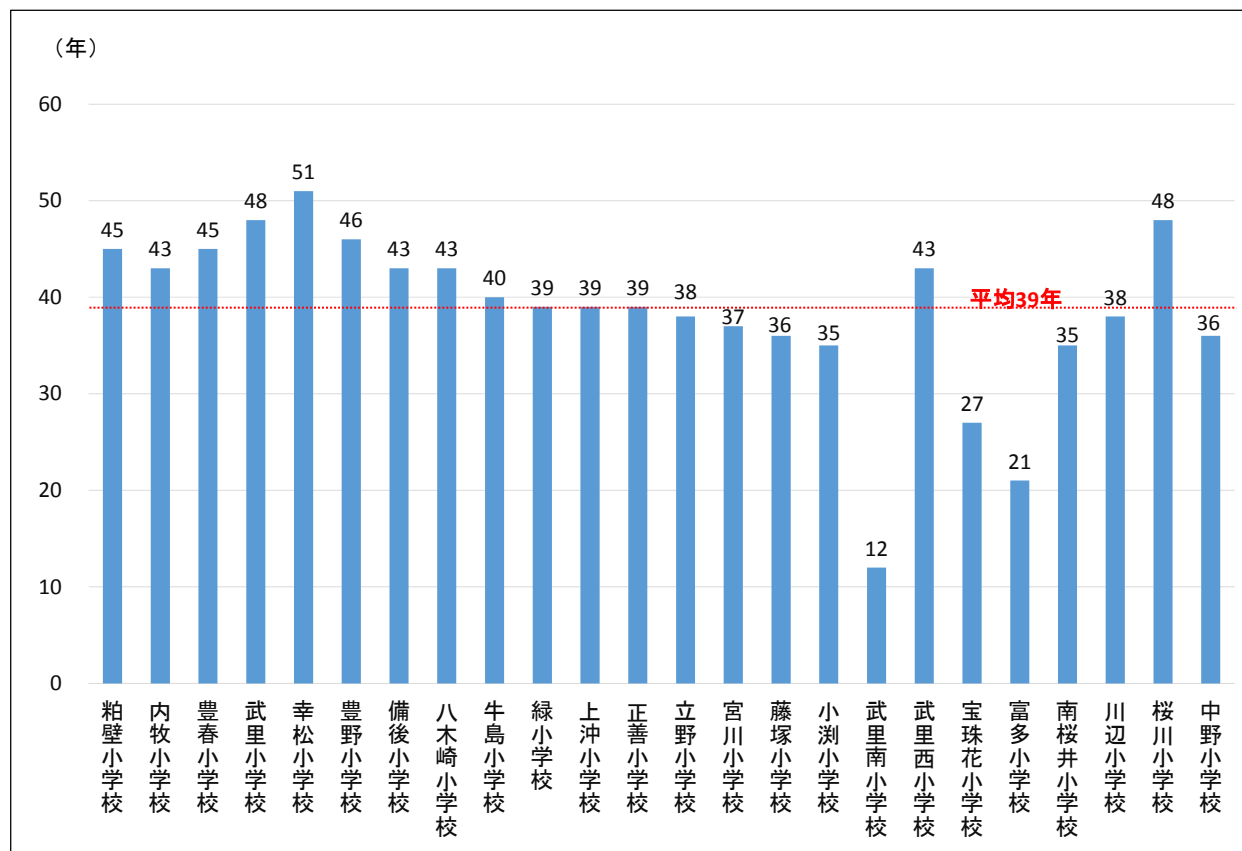


図 3-54 学校系施設の建築物の経過年数（小学校）

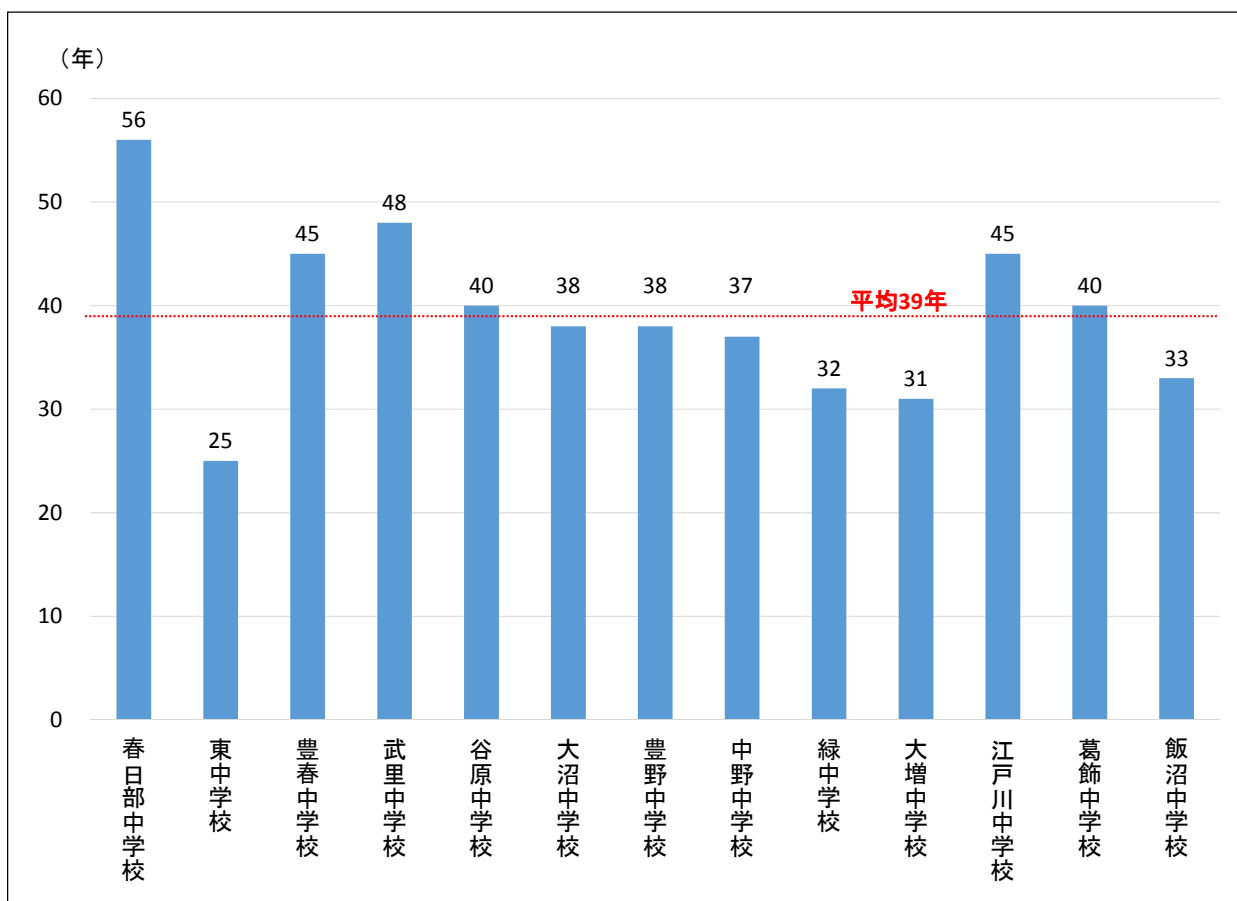


図 3-55 学校系施設の建築物の経過年数（中学校）

iii) 利用状況

学校系施設の利用状況（児童・生徒数）をみると、平成 25 年度では約 1 万 7,800 人となっており、平成 23 年度からの 3 か年の平均では約 1 万 8,200 人となっています。また、3 か年の推移をみると、児童数、生徒数ともに減少傾向となっています。

学校別にみると、小学校では平成 25 年度の児童数が最も多いのは粕壁小学校の 874 人、最も少ないのが富多小学校の 65 人となっています。中学校では生徒数が最も多いのは、春日部中学校で 1,025 人、最も少ないのは江戸川中学校の 112 人となっており、学校の立地によって大きな開きがあります。なお、看護専門学校の生徒数は 120 人となっています。

表 3-37 学校系施設の児童・生徒数の推移

分類	名称	児童・生徒数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3か年平均 (人)
小学校	粕壁小学校	888	873	874	878
	内牧小学校	608	570	577	585
	豊春小学校	713	699	684	699
	武里小学校	456	422	386	421
	幸松小学校	507	510	509	509
	豊野小学校	477	450	448	458
	備後小学校	361	342	317	340
	八木崎小学校	786	750	749	762
	牛島小学校	583	580	563	575
	緑小学校	505	487	476	489
	上沖小学校	925	878	839	881
	正善小学校	533	543	520	532
	立野小学校	708	693	677	693
	宮川小学校	245	236	221	234
	藤塚小学校	296	315	319	310
	小淵小学校	355	354	355	355
	武里南小学校	558	518	500	525
	武里西小学校	621	601	593	605
	宝珠花小学校	74	75	74	74
	富多小学校	84	79	65	76
	南桜井小学校	409	399	416	408
	川辺小学校	469	499	493	487
	桜川小学校	716	699	693	703
	中野小学校	219	216	217	217
中学校	春日部中学校	1,049	1,067	1,025	1,047
	東中学校	625	587	588	600
	豊春中学校	519	485	491	498
	武里中学校	678	645	642	655
	谷原中学校	259	234	199	231
	大沼中学校	610	600	591	600
	豊野中学校	579	541	515	545
	中野中学校	401	405	416	407
	緑中学校	433	393	384	403
	大増中学校	437	386	358	394
	江戸川中学校	146	119	112	126
	葛飾中学校	509	509	503	507
	飯沼中学校	281	281	304	289
専門学校	看護専門学校	120	120	120	120
小学校	小計	12,096	11,788	11,565	11,816
中学校	小計	6,526	6,252	6,128	6,302
専門学校	小計	120	120	120	120
合計		18,742	18,160	17,813	18,238

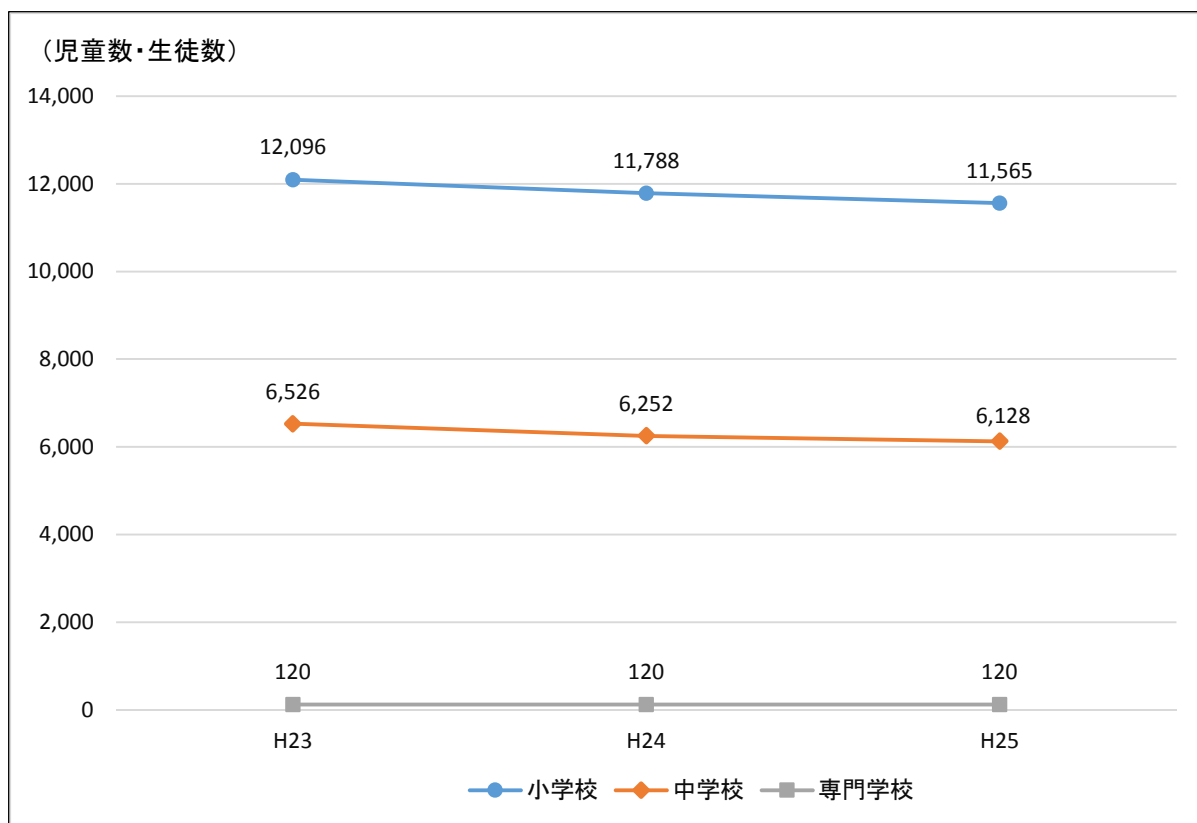


図 3-56 学校系施設の児童数・生徒数の推移

iv) コスト状況

単位床面積当たりのコストをみると、小学校の平均は約 3,600 円/㎡、中学校の平均は約 3,900 円/㎡、看護専門学校は約 8 万 4,500 円/㎡となっています。

一日当たりのコストをみると、小学校の平均は約 6 万 3,800 円/日、中学校の平均は約 8 万 1,200 円/日、看護専門学校は約 29 万 7,100 円/日となっています。

児童・生徒一人当たりのコストをみると、小学校の平均は約 4 万 8,330 円/人、中学校の平均は約 6 万 2,870 円/人、看護専門学校は約 90 万 3,810 円/人となっています。また、児童・生徒数が少ない学校では、児童・生徒一人当たりのコストが高くなってしまいう傾向となっています。

表 3-38 学校系施設のコスト状況

分類	名称	施設の維持管理・運営に係るコスト	単位床面積当たりのコスト	一日当たりのコスト	児童・生徒一人当たりのコスト
		H25 (千円)	H25 (千円/㎡)	H25 (千円/日)	H25 (千円/人)
小学校	粕壁小学校	27,790	4.0	76.1	31.80
	内牧小学校	26,596	3.8	72.9	46.09
	豊春小学校	24,493	3.6	67.1	35.81
	武里小学校	19,261	3.4	52.8	49.90
	幸松小学校	20,097	3.3	55.1	39.48
	豊野小学校	35,863	5.0	98.3	80.05
	備後小学校	45,034	7.9	123.4	142.06
	八木崎小学校	23,811	3.2	65.2	31.79
	牛島小学校	23,358	2.9	64.0	41.49
	緑小学校	22,124	3.2	60.6	46.48
	上沖小学校	28,175	3.7	77.2	33.58
	正善小学校	20,517	2.7	56.2	39.46
	立野小学校	25,889	3.3	70.9	38.24
	宮川小学校	19,956	3.3	54.7	90.30
	藤塚小学校	25,678	4.1	70.4	80.49
	小淵小学校	24,030	3.9	65.8	67.69
	武里南小学校	24,213	2.8	66.3	48.43
	武里西小学校	25,274	3.1	69.2	42.62
	宝珠花小学校	14,153	4.1	38.8	191.26
	富多小学校	14,494	4.0	39.7	222.99
	南桜井小学校	15,886	2.9	43.5	38.19
	川辺小学校	18,681	3.4	51.2	37.89
	桜川小学校	18,317	2.6	50.2	26.43
	中野小学校	15,221	3.5	41.7	70.14
中学校	春日部中学校	25,035	2.6	68.6	24.42
	東中学校	42,704	4.1	117.0	72.63
	豊春中学校	30,508	4.6	83.6	62.13
	武里中学校	29,322	3.4	80.3	45.67
	谷原中学校	43,477	5.1	119.1	218.48
	大沼中学校	29,306	3.5	80.3	49.59
	豊野中学校	28,286	3.5	77.5	54.93
	中野中学校	41,962	5.5	115.0	100.87
	緑中学校	24,302	3.6	66.6	63.29
	大増中学校	24,047	3.5	65.9	67.17
	江戸川中学校	19,805	5.2	54.3	176.83
	葛飾中学校	22,978	3.0	63.0	45.68
	飯沼中学校	23,528	4.4	64.5	77.39
専門学校	看護専門学校	108,457	84.5	297.1	903.81
小学校	小計	558,910	3.6	63.8	48.33
中学校	小計	385,259	3.9	81.2	62.87
専門学校	小計	108,457	84.5	297.1	903.81
合計		1,052,626	4.1	75.9	59.09
		平均			

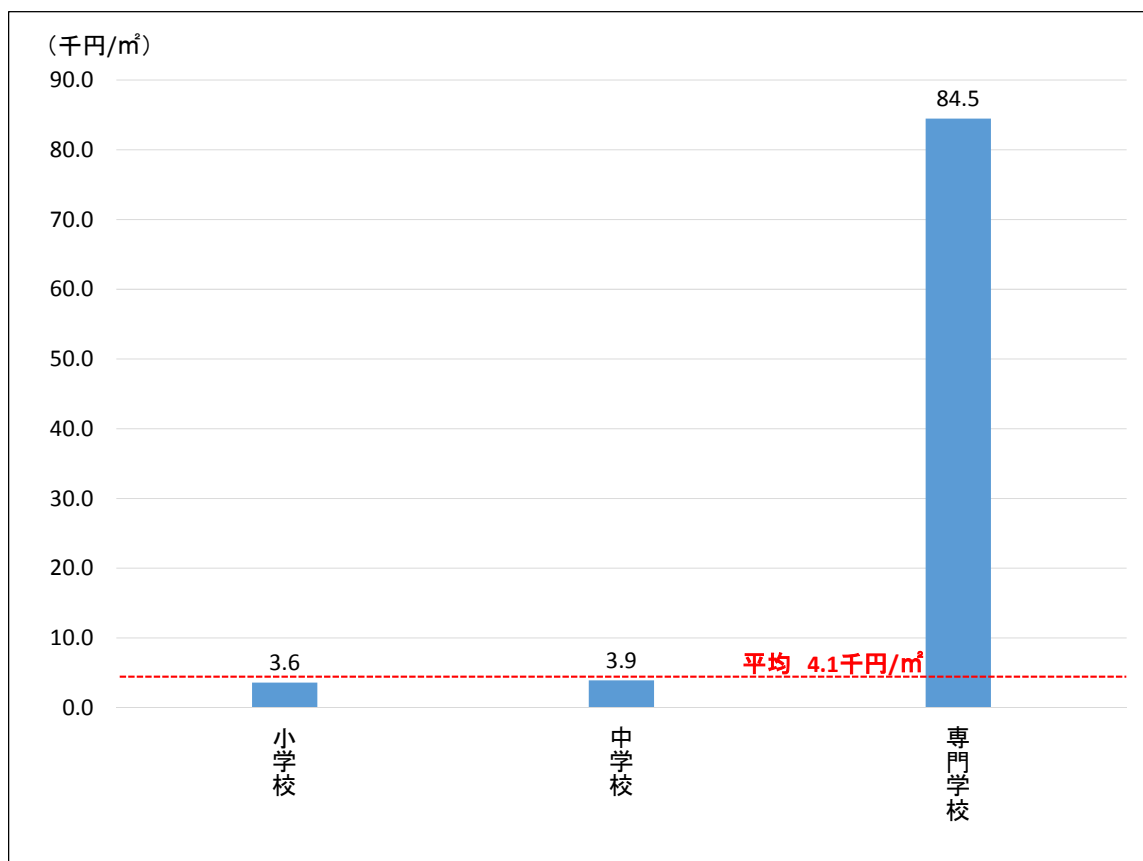


図 3-57 学校系施設の単位床面積当たりのコスト

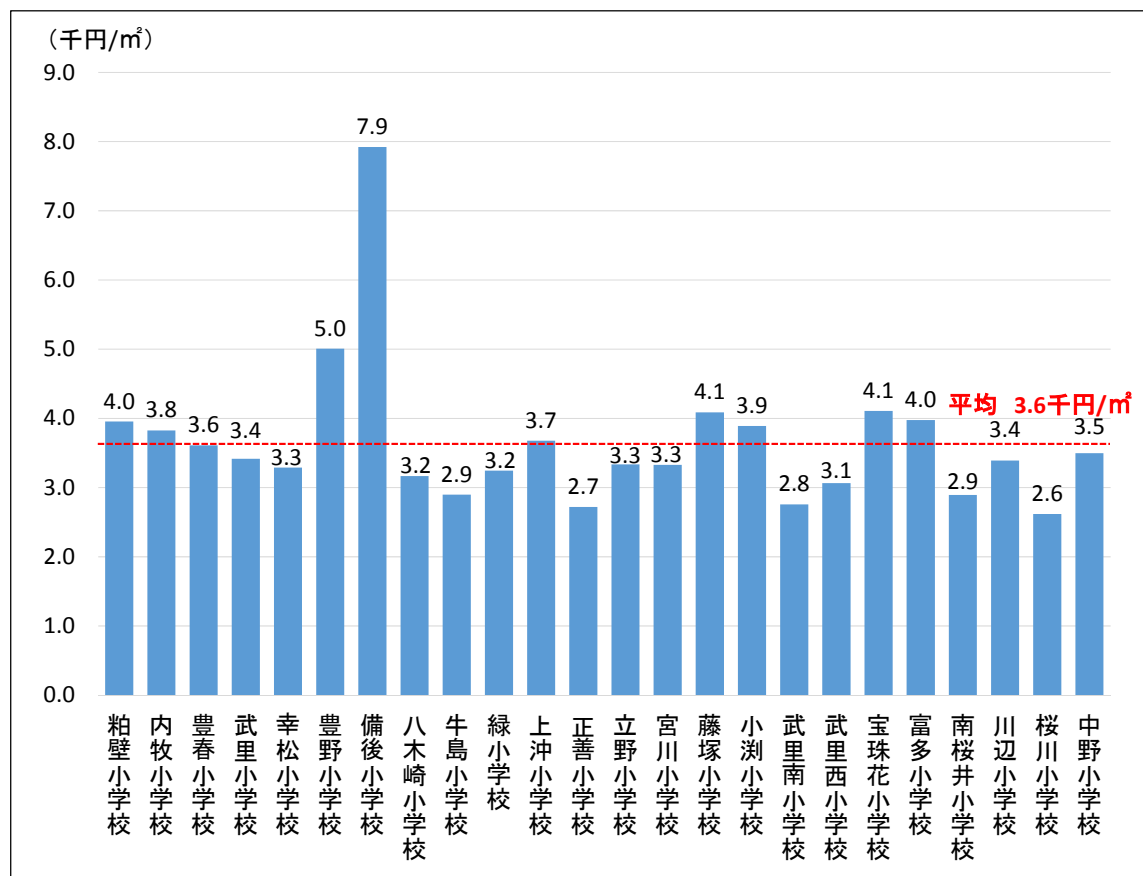


図 3-58 学校系施設の単位床面積当たりのコスト (小学校)

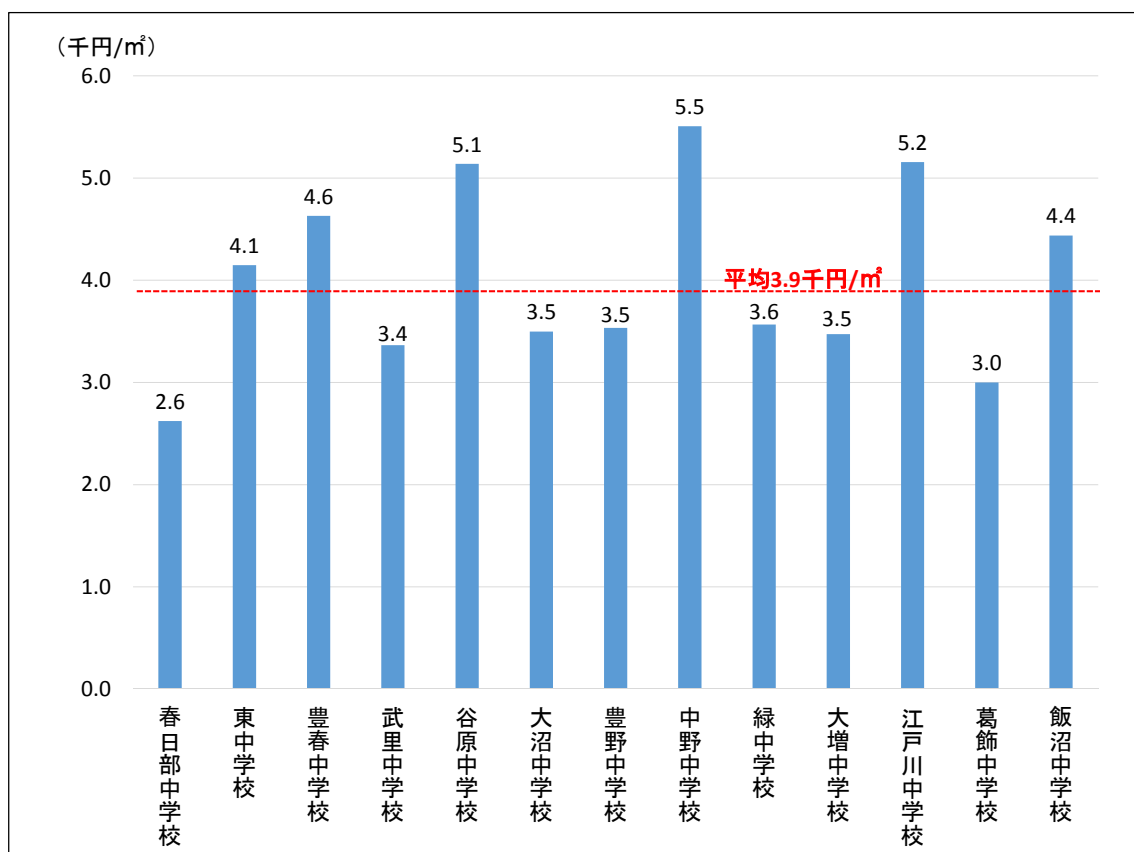


図 3-59 学校系施設の単位床面積当たりのコスト（中学校）

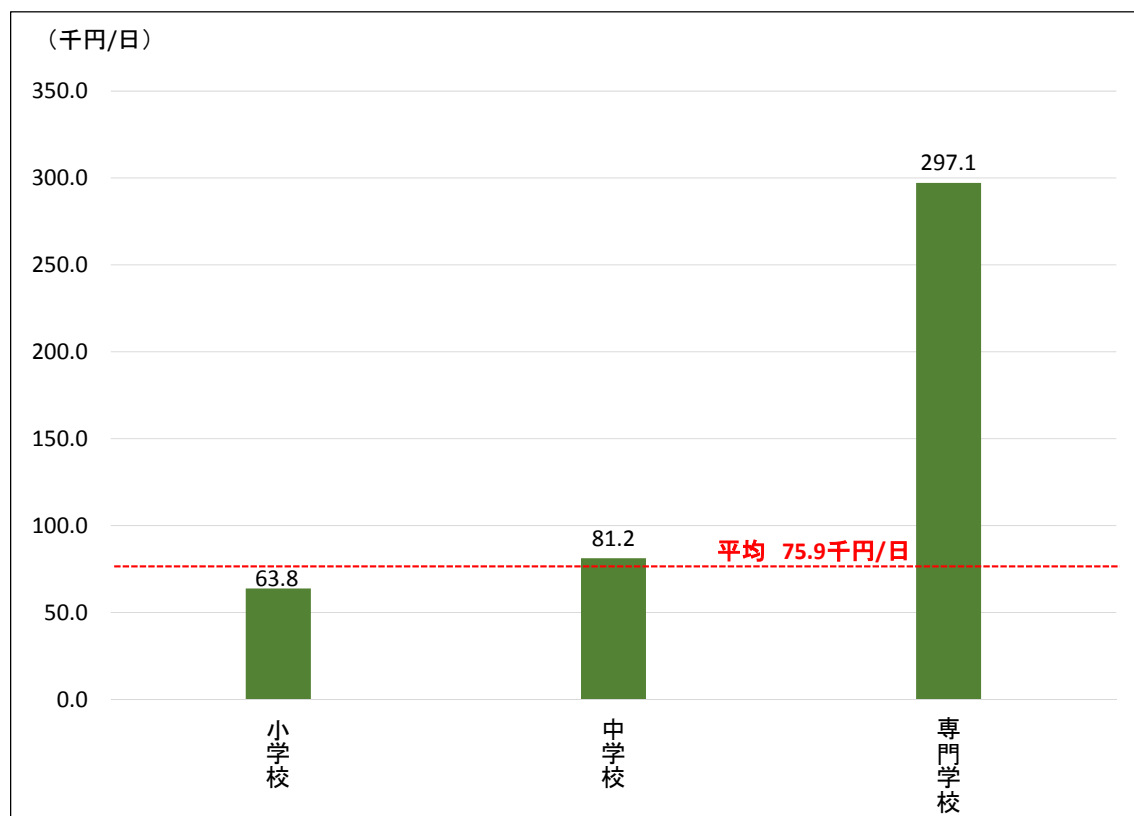


図 3-60 学校系施設の日当たりのコスト

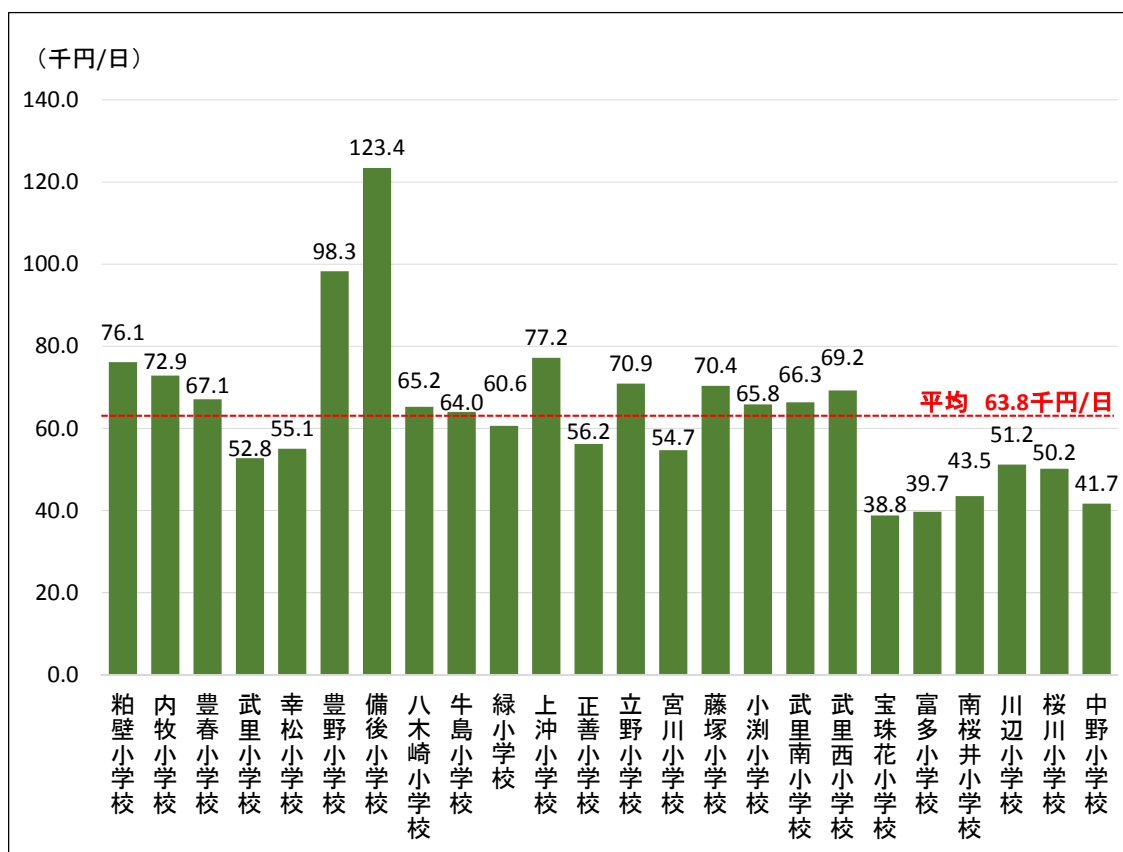


図 3-61 学校系施設の日当たりのコスト (小学校)

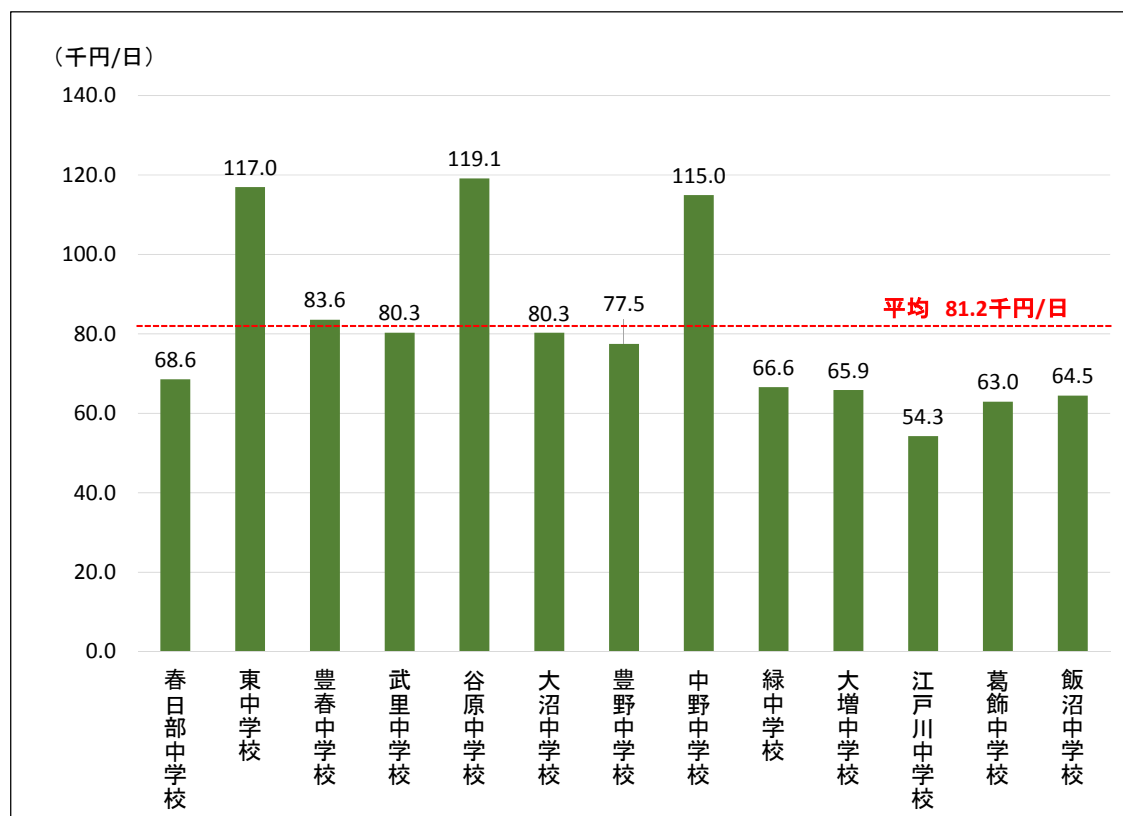


図 3-62 学校系施設の日当たりのコスト (中学校)

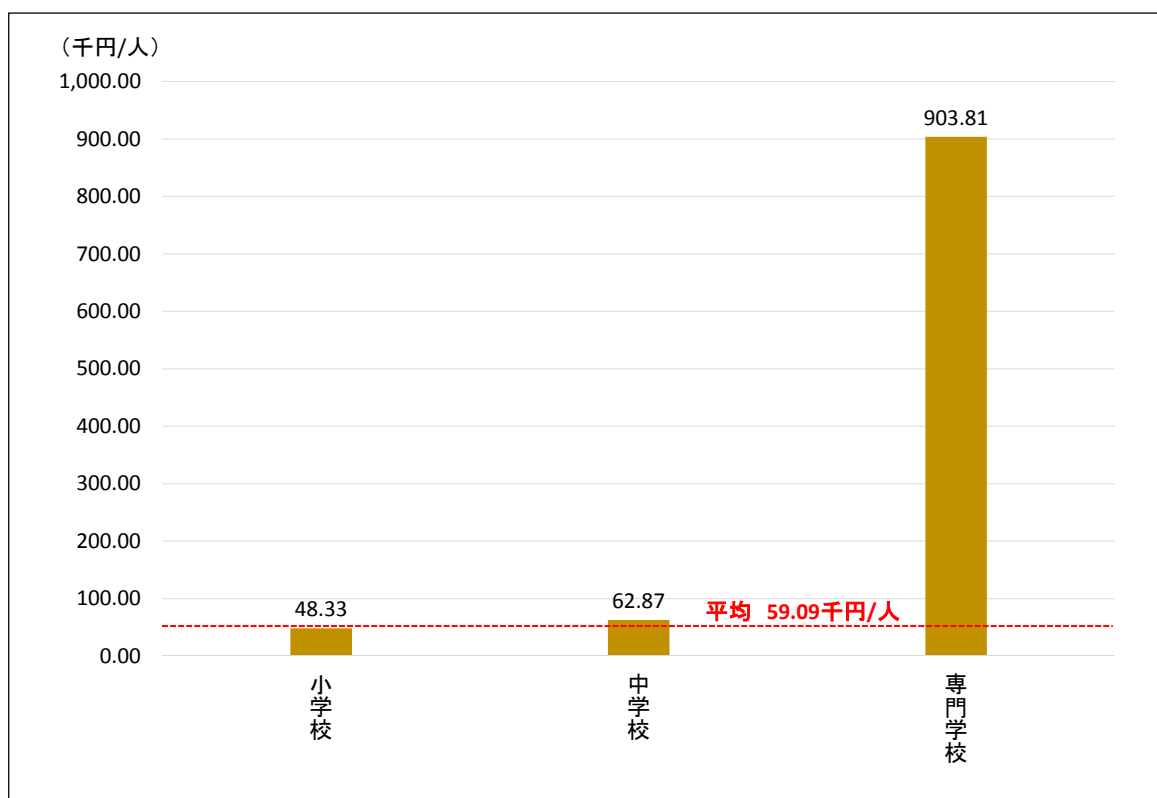


図 3-63 学校系施設の児童・生徒一人当たりのコスト

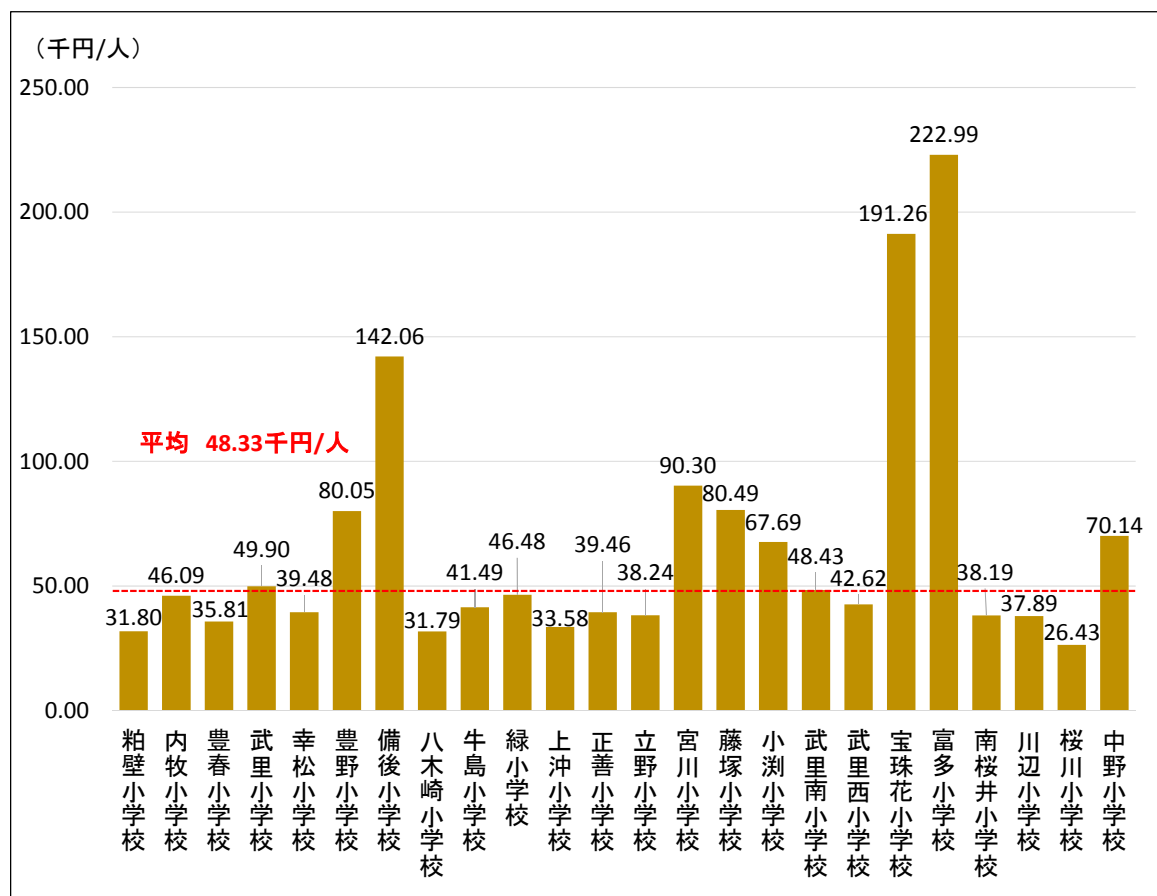


図 3-64 学校系施設の児童一人当たりのコスト (小学校)

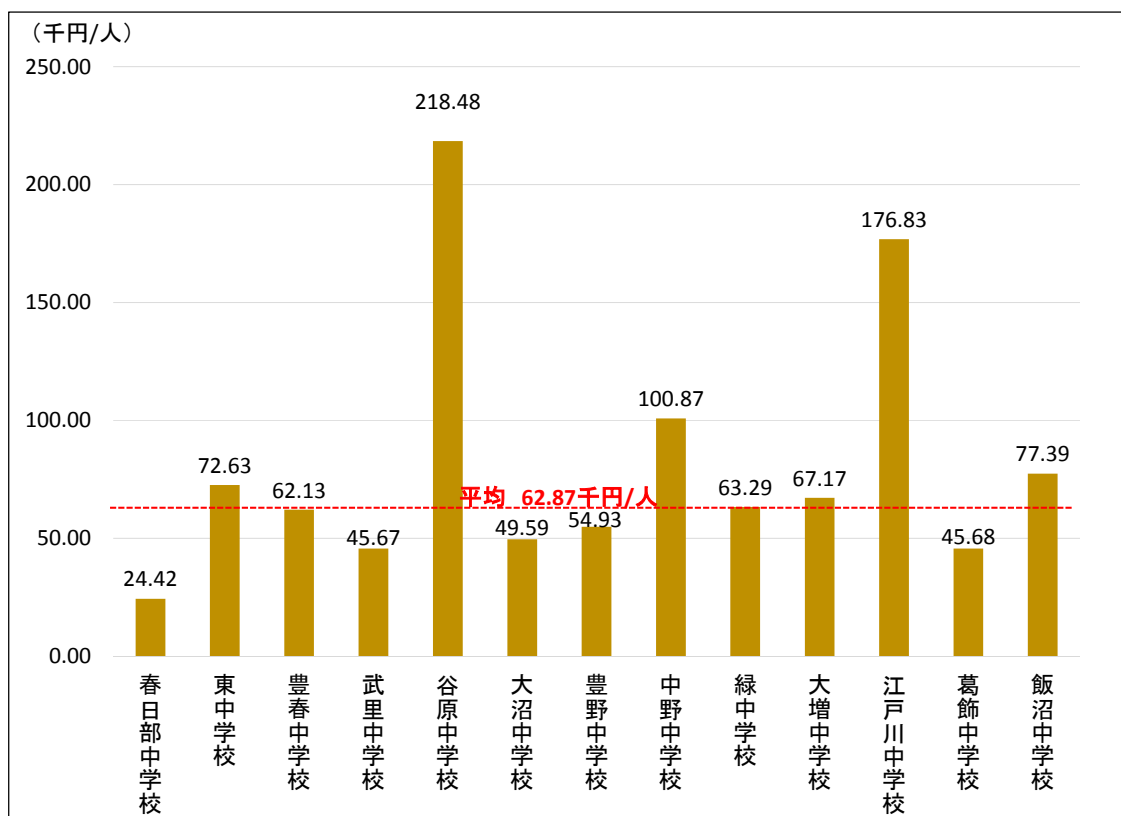


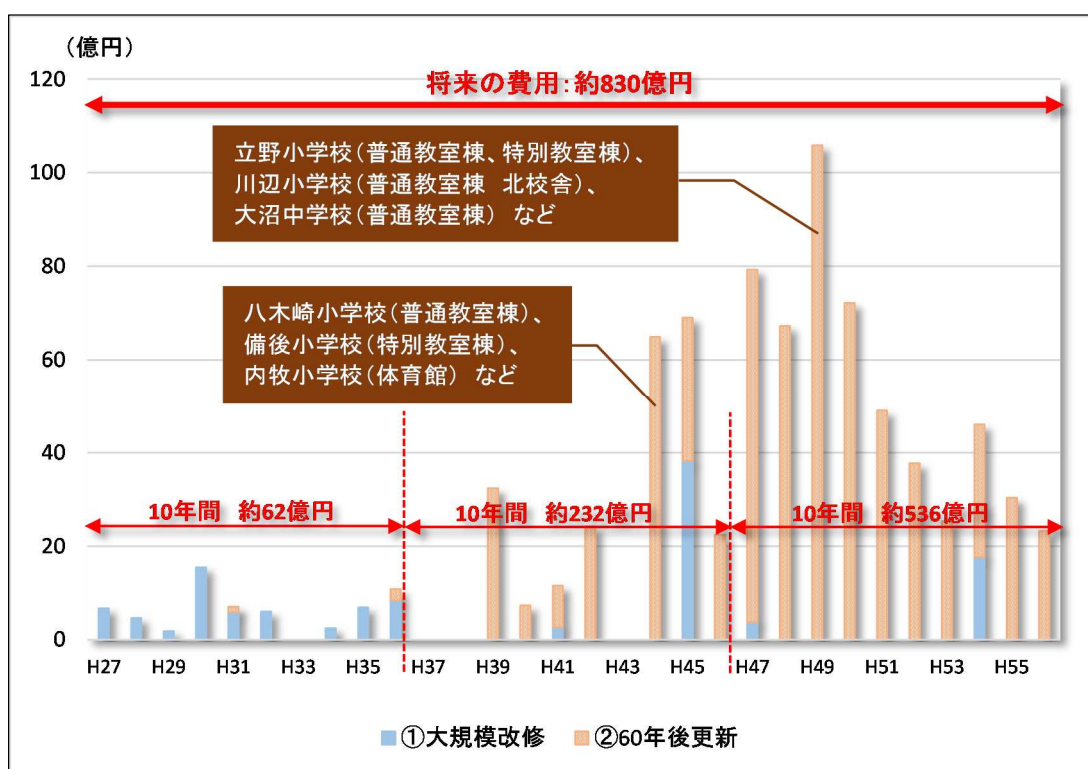
図 3-65 学校系施設の生徒一人当たりのコスト (中学校)

v) 更新等費用の推計

学校系施設では、平成 37 年から平成 46 年までの 10 年間に八木崎小学校（普通教室棟）、備後小学校（特別教室棟）、内牧小学校（体育館）等の更新等により約 232 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間では、立野小学校（普通教室棟、特別教室棟）、川辺小学校（普通教室棟 北校舎）、大沼中学校（普通教室棟）等の更新等により約 536 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間で学校系施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 830 億円と想定されます。



※この更新等の費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。（一定の試算条件についてはP39 参照）従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期（建設後 30 年）を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後 60 年が経過した後に更新（建替え）を行う想定として算出しています。

図 3-66 学校系施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vi) 施設のパターン

①小学校

24 施設中 21 施設は老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-39 施設のパターン（小学校）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
粕壁小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
内牧小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
豊春小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
武里小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
幸松小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
豊野小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
備後小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
八木崎小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
牛島小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
緑小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
上沖小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
正善小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
立野小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
宮川小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
藤塚小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
小淵小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
武里南小学校	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ
武里西小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
宝珠花小学校	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
富多小学校	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
南桜井小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
川辺小学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
桜川小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
中野小学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※パターンについては、学校敷地内にある校舎、体育館、倉庫など複数棟を対象として判断しています。

②中学校

13 施設中 12 施設は老朽化が進行していることから、E パターンが多くなっています。

表 3-40 施設のパターン（中学校）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
春日部中学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
東中学校	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	C
豊春中学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
武里中学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
谷原中学校	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	F
大沼中学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
豊野中学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
中野中学校	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
緑中学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
大増中学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
江戸川中学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
葛飾中学校	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
飯沼中学校	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※パターンについては、学校敷地内にある校舎、体育館、倉庫など複数棟を対象として判断しています。

③専門学校

看護専門学校は耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから F パターンとなっています。

表 3-41 施設のパターン（専門学校）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
看護専門学校	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

vii) 学校系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・施設の経過年数は、小学校と中学校とも平均経過年は39年であるとともに、看護専門学校以外の施設はすべて避難場所であり、さらに防災拠点に指定されている小学校は内牧小学校などの4校、中学校では春日部中学校などの11校となっています。学校系施設は教育面に加えて地域の安全・安心の中核機能として、今後の継続した老朽化対策が必要となっています。
- ・現状で余剰傾向のある学校においては、地域における様々な機能と複合化するなど、余裕施設の有効活用の検討が必要となります。
- ・各学校において、単位床面積当たりのコスト、一日当たりのコスト、一人当たりのコストがそれぞれ高い施設も見られます。それらの施設については、各施設をとりまく状況を踏まえながら、維持管理・運営費用の縮減等による効率的な施設運営が必要となっています。



【今後の方向性】

- 小中一貫教育の推進や学校規模の適正化による再編の推進と、余剰施設の状況を把握し、まちづくりとしての学校再編の視点から複合利用及び一部転用などを検討します。
- 長寿命化、維持補修の平準化を図る必要がある施設については、予防保全の推進などにより老朽化への対応を検討します。
- 教育面だけで学校の維持管理を負担せずに、地域中核の多機能施設とすることで、他の類似機能の維持管理でも学校運営の負担を分担して維持管理費用の適正化や管理・運営方法について検討します。

表 3-42 学校系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
38	12.8%	255,060	50.9%	38	0	0
				100.0%	0.0%	0.0%

築年数		児童・生徒数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	児童・生徒1人 当り (千円/人)	
34	4	18	1,052,626	4.1	59.09	830
89.5%	10.5%					

※2段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

（５）その他教育系施設

i) 概要

その他教育系施設は、教育センター、視聴覚センター、給食センターの他、各学校の給食室及び学校プール、教育相談センターに分類しています。

教育センター、視聴覚センター、給食センターは各 1 施設であり、給食室は 28 施設、学校プールは 37 施設、教育相談センターは 2 施設となっています。

その他教育系施設は、市の直営による運営となっています。

教育センターは、教育委員会の事務局、視聴覚センター、教育相談センター、郷土資料館（「市民文化系施設」に分類）が 1 つの建物に入っている複合施設で、教育相談センター庄和分室は、庄和南公民館との複合施設となっています。

表 3-43 その他教育系施設の概要（教育センター）

分類		名称	所在地	運営形態	施設形態		貸出対象 室数 (室)
教育関連施設	教育センター	教育センター	粕壁東3-2-15	直営	複合施設	視聴覚センターなど	2

表 3-44 その他教育系施設の概要（視聴覚センター）

分類		名称	所在地	運営形態	施設形態		貸出対象 室数 (室)
教育関連施設	視聴覚センター	視聴覚センター	粕壁東3-2-15	直営	複合施設	教育相談センターなど	7

表 3-45 その他教育系施設の概要（給食センター）

分類		名称	所在地	運営形態	施設形態	
教育関連施設	給食センター	給食センター	神間647	直営	単独施設	

表 3-46 その他教育系施設の概要（給食室）

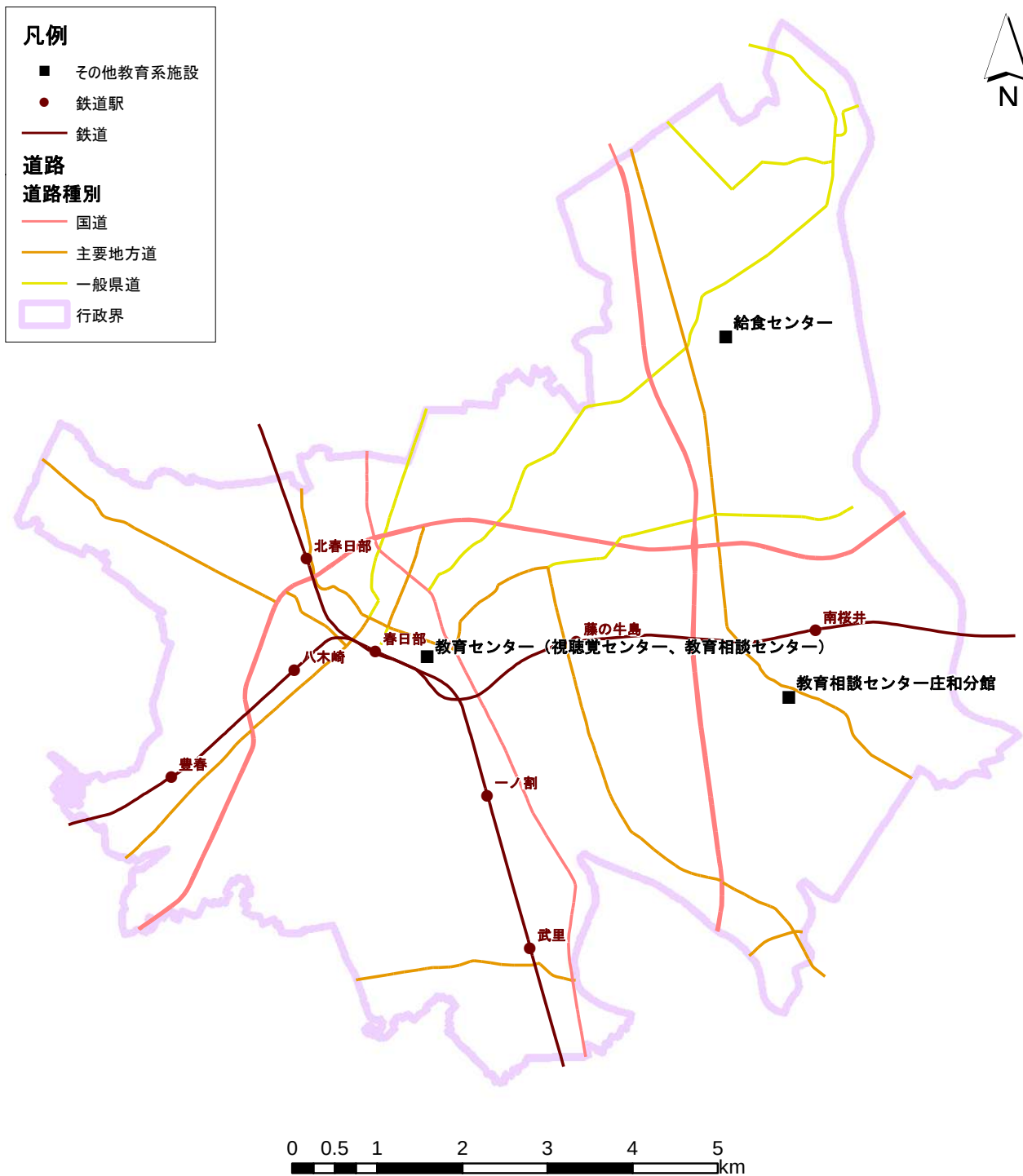
分類		名称	所在地	運営形態	施設形態	
教育関連施設	給食室	粕壁小学校給食室	粕壁東3-2-19	直営	単独施設	
		内牧小学校給食室	内牧2415-2	直営	単独施設	
		豊春小学校給食室	道順川戸37-1	直営	単独施設	
		武里小学校給食室	備後西5-5-2	直営	単独施設	
		幸松小学校給食室	八丁目353-1	直営	単独施設	
		豊野小学校給食室	銚子口1087	直営	単独施設	
		備後小学校給食室	備後西3-2-1	直営	単独施設	
		八木崎小学校給食室	中央4-1	直営	単独施設	
		牛島小学校給食室	牛島1080	直営	単独施設	
		緑小学校給食室	緑町5-4-1	直営	単独施設	
		上沖小学校給食室	大沼5-44	直営	単独施設	
		正善小学校給食室	備後東6-2-1	直営	単独施設	
		立野小学校給食室	南中曽根1074	直営	単独施設	
		宮川小学校給食室	新方袋1090	直営	単独施設	
		藤塚小学校給食室	藤塚82-2	直営	単独施設	
		小淵小学校給食室	小淵905-1	直営	単独施設	
		武里南小学校給食室	大枝89 2-1	直営	単独施設	
		武里西小学校給食室	大場822-1	直営	単独施設	
		春日部中学校給食室	粕壁4-4-15	直営	単独施設	
		東中学校給食室	樋堀181-1	直営	単独施設	
		豊春中学校給食室	南中曽根107-2	直営	単独施設	
		武里中学校給食室	薄谷3	直営	単独施設	
		谷原中学校給食室	谷原新田1507	直営	単独施設	
		大沼中学校給食室	大沼6-75	直営	単独施設	
		豊野中学校給食室	銚子口130	直営	単独施設	
		中野中学校給食室	武里中野746	直営	単独施設	
		緑中学校給食室	緑町5-9-38	直営	単独施設	
		大増中学校給食室	上大増新田140	直営	単独施設	

表 3-47 その他教育系施設の概要（学校プール）

分類		名称	所在地	運営形態	施設形態	
教育関連施設	学校プール	粕壁小学校プール	粕壁東3-2-19	直営	単独施設	
		内牧小学校プール	内牧2415-2	直営	単独施設	
		豊春小学校プール	道順川戸37-1	直営	単独施設	
		武里小学校プール	備後西5-5-2	直営	単独施設	
		幸松小学校プール	八丁目353-1	直営	単独施設	
		豊野小学校プール	銚子口1087	直営	単独施設	
		備後小学校プール	備後西3-2-1	直営	単独施設	
		八木崎小学校プール	中央4-1	直営	単独施設	
		牛島小学校プール	牛島1080	直営	単独施設	
		緑小学校プール	緑町5-4-1	直営	単独施設	
		上沖小学校プール	大沼5-44	直営	単独施設	
		正善小学校プール	備後東6-2-1	直営	単独施設	
		立野小学校プール	南中曽根1074	直営	単独施設	
		宮川小学校プール	新方袋1090	直営	単独施設	
		藤塚小学校プール	藤塚82-2	直営	単独施設	
		小淵小学校プール	小淵905-1	直営	単独施設	
		武里南小学校プール	大枝89 2-1	直営	単独施設	
		武里西小学校プール	大場822-1	直営	単独施設	
		宝珠花小学校プール	西宝珠花593	直営	単独施設	
		富多小学校プール	神間872	直営	単独施設	
		南桜井小学校プール	下柳3	直営	単独施設	
		川辺小学校プール	米島756	直営	単独施設	
		桜川小学校プール	大倉496-1	直営	単独施設	
		中野小学校プール	東中野654	直営	単独施設	
		春日部中学校プール	粕壁4-4-15	直営	単独施設	
		東中学校プール	樋堀181-1	直営	単独施設	
		豊春中学校プール	南中曽根107-2	直営	単独施設	
		武里中学校プール	薄谷3	直営	単独施設	
		谷原中学校プール	谷原新田1507	直営	単独施設	
		大沼中学校プール	大沼6-75	直営	単独施設	
		豊野中学校プール	銚子口130	直営	単独施設	
		中野中学校プール	武里中野746	直営	単独施設	
		緑中学校プール	緑町5-9-38	直営	単独施設	
		大増中学校プール	上大増新田140	直営	単独施設	
		江戸川中学校プール	上吉妻1	直営	単独施設	
		葛飾中学校プール	永沼2250-1	直営	単独施設	
		飯沼中学校プール	飯沼180	直営	単独施設	

表 3-48 その他教育系施設の概要（教育相談センター）

分類		名称	所在地	運営形態	施設形態	
教育関連施設	教育相談センター	教育相談センター	粕壁東3-2-15	直営	複合施設	教育センターなど
		教育相談センター庄和分館	米崎357	直営	複合施設	庄和南公民館



※学校敷地内にある給食室、プールについては、学校系施設の位置と同様のため、省略しています。

図 3-67 その他教育系施設位置図

ii -1) 延床面積の状況

施設名	割合
給食室	50.9%
給食センター	12.3%
視聴覚センター	13.7%
教育センター	3.2%
教育相談センター	2.5%
プール	17.5%
給食室	50.9%

図 3-68 その他教育系施設の延床面積の割合

分類		名称	延床面積	
			(㎡)	(%)
教育関連施設	教育センター	教育センター	562	3.2

分類		名称	延床面積	
			(㎡)	(%)
教育関連施設	視聴覚センター	視聴覚センター	2,431	13.7

分類		名称	延床面積	
			(㎡)	(%)
教育関連施設	給食センター	給食センター	2,183	12.3

表 3-52 その他教育系施設の延床面積の状況（給食室）

分類		名称	延床面積	
			(㎡)	(%)
教育関連施設	給食室	粕壁小学校給食室	879	4.9
		内牧小学校給食室	237	1.3
		豊春小学校給食室	827	4.7
		武里小学校給食室	187	1.1
		幸松小学校給食室	229	1.3
		豊野小学校給食室	187	1.1
		備後小学校給食室	283	1.6
		八木崎小学校給食室	190	1.1
		牛島小学校給食室	215	1.2
		緑小学校給食室	226	1.3
		上沖小学校給食室	235	1.3
		正善小学校給食室	216	1.2
		立野小学校給食室	274	1.5
		宮川小学校給食室	245	1.4
		藤塚小学校給食室	240	1.4
		小淵小学校給食室	256	1.4
		武里南小学校給食室	450	2.5
		武里西小学校給食室	464	2.6
		春日部中学校給食室	302	1.7
		東中学校給食室	453	2.6
		豊春中学校給食室	302	1.7
		武里中学校給食室	317	1.8
		谷原中学校給食室	322	1.8
		大沼中学校給食室	308	1.7
		豊野中学校給食室	306	1.7
		中野中学校給食室	307	1.7
		緑中学校給食室	300	1.7
		大増中学校給食室	305	1.7
合計			9,062	50.9

表 3-53 その他教育系施設の延床面積の状況（学校プール）

分類		名称	延床面積	
			(㎡)	(%)
教育関連施設	学校プール	粕壁小学校プール	41	0.2
		内牧小学校プール	46	0.3
		豊春小学校プール	46	0.3
		武里小学校プール	46	0.3
		幸松小学校プール	58	0.3
		豊野小学校プール	46	0.3
		備後小学校プール	118	0.7
		八木崎小学校プール	39	0.2
		牛島小学校プール	46	0.3
		緑小学校プール	46	0.3
		上沖小学校プール	46	0.3
		正善小学校プール	46	0.3
		立野小学校プール	46	0.3
		宮川小学校プール	46	0.3
		藤塚小学校プール	46	0.3
		小淵小学校プール	46	0.3
		武里南小学校プール	392	2.2
		武里西小学校プール	227	1.3
		宝珠花小学校プール	78	0.4
		富多小学校プール	66	0.4
		南桜井小学校プール	53	0.3
		川辺小学校プール	54	0.3
		桜川小学校プール	132	0.7
		中野小学校プール	78	0.4
		春日部中学校プール	194	1.1
		東中学校プール	143	0.8
		豊春中学校プール	39	0.2
		武里中学校プール	253	1.4
		谷原中学校プール	46	0.3
		大沼中学校プール	46	0.3
		豊野中学校プール	46	0.3
		中野中学校プール	46	0.3
		緑中学校プール	46	0.3
		大増中学校プール	53	0.3
		江戸川中学校プール	67	0.4
		葛飾中学校プール	186	1.1
		飯沼中学校プール	55	0.3
合計			3,108	17.5

表 3-54 その他教育系施設の延床面積の状況（教育相談センター）

分類		名称	延床面積	
			(㎡)	(%)
教育関連施設	教育相談センター	教育相談センター	329	1.9
		教育相談センター庄和分館	113	0.6
合計			442	2.5

ii -2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

教育センター、視聴覚センター、給食センターは、いずれも新耐震基準となっており、平均経過年数は 22 年となっています。また、給食室の平均経過年数は 30 年、学校プールの平均経過年数は 36 年となっています。

表 3-55 その他教育系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（教育センター）

分類		名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
教育関連施設	教育センター	教育センター	平元	26	RC 一部S	-	-	無

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、一該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、一該当せず

表 3-56 その他教育系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（視聴覚センター）

分類		名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
教育関連施設	視聴覚センター	視聴覚センター	平元	26	RC 一部S	-	-	無

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、一該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、一該当せず

表 3-57 その他教育系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（給食センター）

分類		名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
教育関連施設	給食センター	給食センター	平13	14	S	-	-	無

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、一該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、一該当せず

表 3-58 その他教育系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（給食室）

分類		名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造
教育関連施設	給食室	粕壁小学校給食室	平03	24	RC
		内牧小学校給食室	昭58	32	RC
		豊春小学校給食室	平06	21	RC
		武里小学校給食室	昭49	41	S
		幸松小学校給食室	昭49	41	S
		豊野小学校給食室	昭48	42	S
		備後小学校給食室	昭47	43	RC
		八木崎小学校給食室	昭47	43	S
		牛島小学校給食室	昭50	40	RC
		緑小学校給食室	昭51	39	RC
		上沖小学校給食室	昭51	39	RC
		正善小学校給食室	昭51	39	RC
		立野小学校給食室	昭52	38	RC
		宮川小学校給食室	昭53	37	RC
		藤塚小学校給食室	昭54	36	RC
		小淵小学校給食室	昭55	35	RC
		武里南小学校給食室	平15	12	RC
		武里西小学校給食室	平15	12	RC
		春日部中学校給食室	平元	26	RC
		東中学校給食室	平24	3	RC
		豊春中学校給食室	平元	26	RC
		武里中学校給食室	平元	26	RC
		谷原中学校給食室	平元	26	RC
		大沼中学校給食室	平元	26	RC
		豊野中学校給食室	平元	26	RC
		中野中学校給食室	平元	26	RC
		緑中学校給食室	平元	26	RC
		大増中学校給食室	平元	26	RC
平均			-	30	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、一該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、一該当せず

表 3-59 その他教育系施設の建築年別の状況（学校プール）

分類		名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造
教育関連施設	学校プール	粕壁小学校プール	昭47	43	W
		内牧小学校プール	昭60	30	S
		豊春小学校プール	昭50	40	S
		武里小学校プール	昭55	35	S
		幸松小学校プール	昭42	48	S
		豊野小学校プール	昭54	36	S
		備後小学校プール	平03	24	RC
		八木崎小学校プール	昭47	43	W
		牛島小学校プール	昭50	40	S
		緑小学校プール	昭51	39	S
		上沖小学校プール	昭51	39	S
		正善小学校プール	昭51	39	S
		立野小学校プール	昭52	38	S
		宮川小学校プール	昭54	36	S
		藤塚小学校プール	昭55	35	S
		小淵小学校プール	昭56	34	S
		武里南小学校プール	平17	10	RC
		武里西小学校プール	平15	12	RC
		宝珠花小学校プール	昭45	45	S
		富多小学校プール	昭45	45	S
		南桜井小学校プール	昭58	32	S
		川辺小学校プール	昭44	46	S
		桜川小学校プール	昭45	45	S
		中野小学校プール	昭55	35	RC
		春日部中学校プール	平元	26	RC
		東中学校プール	平02	25	RC
		豊春中学校プール	昭47	43	S
		武里中学校プール	平05	22	RC
		谷原中学校プール	昭50	40	S
		大沼中学校プール	昭52	38	S
		豊野中学校プール	昭52	38	S
		中野中学校プール	昭54	36	S
		緑中学校プール	昭59	31	S
		大増中学校プール	昭60	30	S
		江戸川中学校プール	昭41	49	S
		葛飾中学校プール	昭52	38	RC
		飯沼中学校プール	昭58	32	S
平均			-	36	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

表 3-60 その他教育系施設の建築年別の状況（教育相談センター）

分類		名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
教育関連施設	教育相談センター	教育相談センター	平元	26	RC 一部S	-	-	無
		教育相談センター庄和分館	平09	18	RC 一部S	-	-	無
	平均		-	22	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

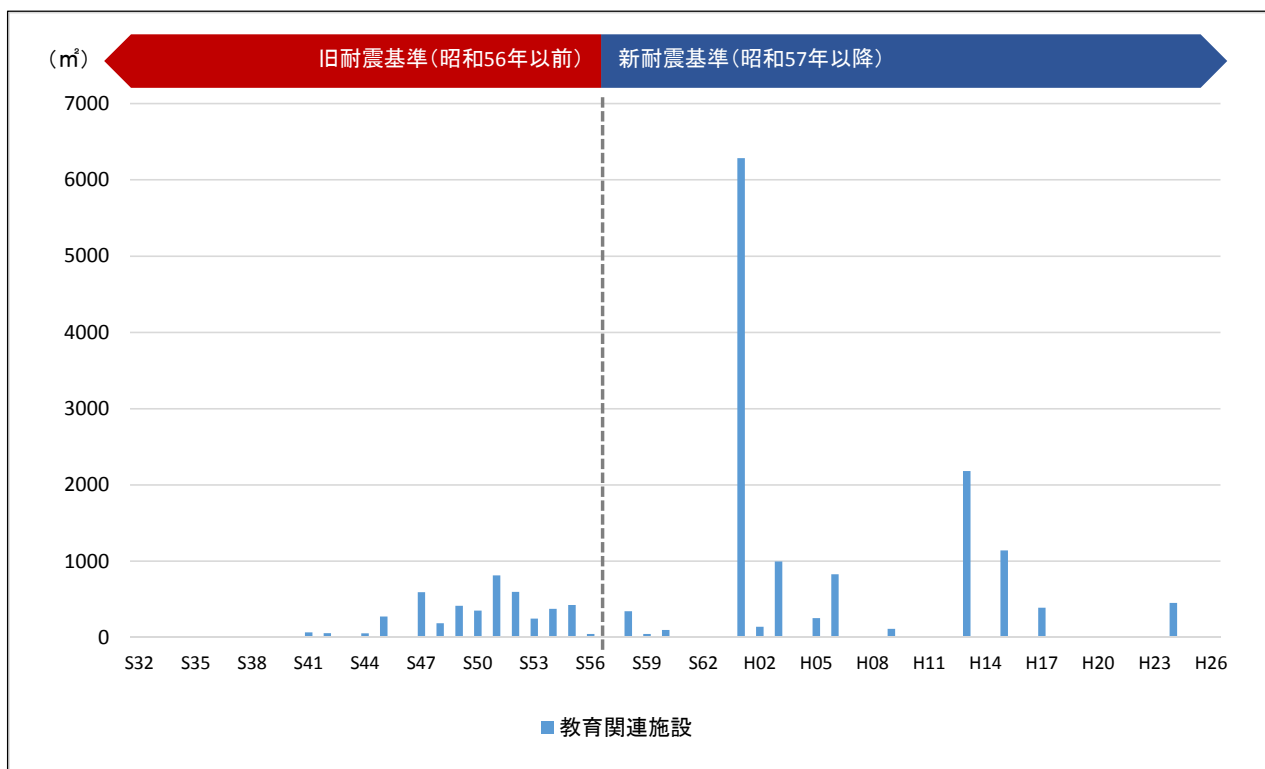


図 3-69 その他教育系施設の建築年別の延床面積

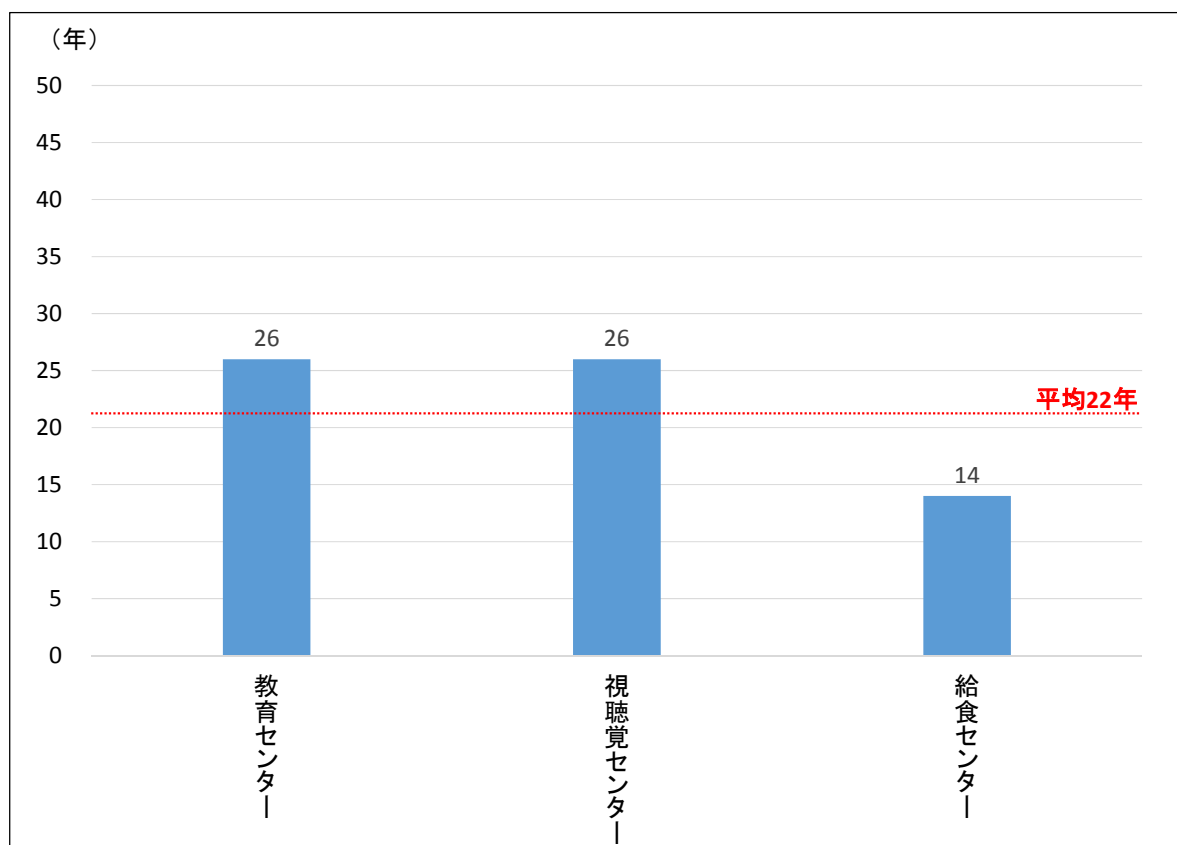


図 3-70 その他教育系施設の建築物の経過年数
(教育センター、視聴覚センター、給食センター)

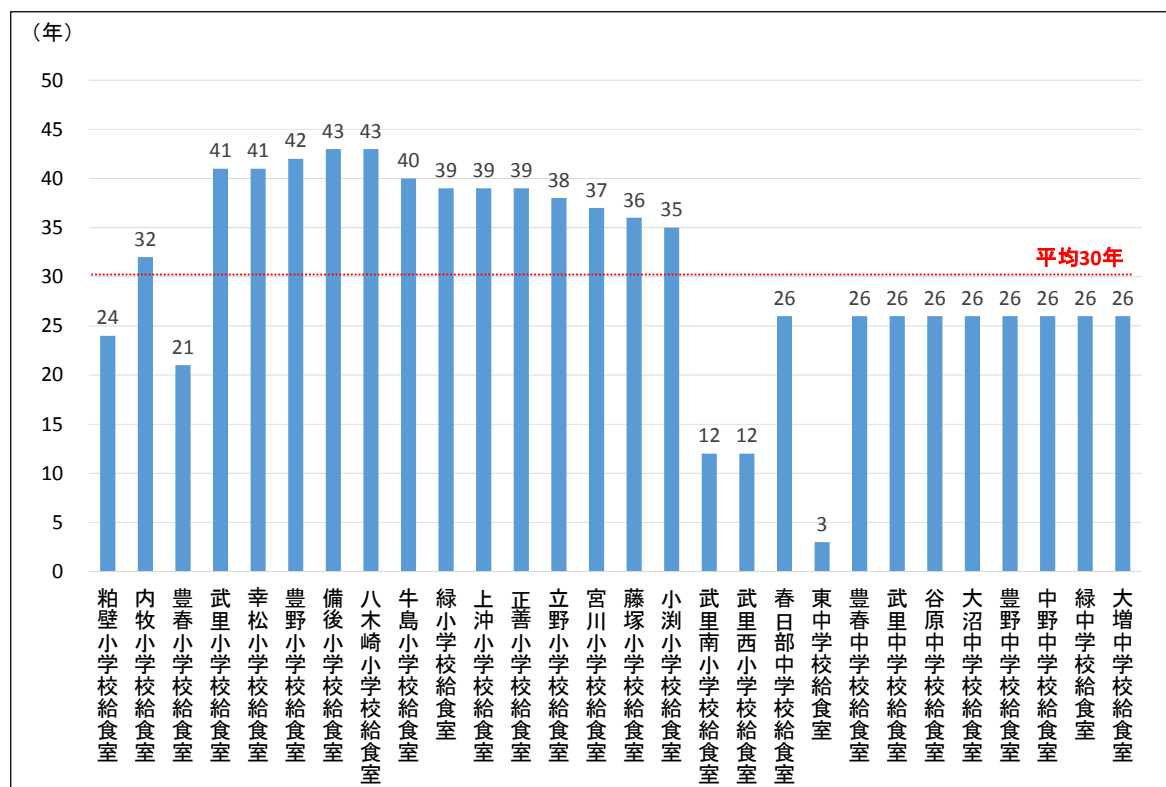


図 3-71 その他教育系施設の建築物の経過年数 (給食室)

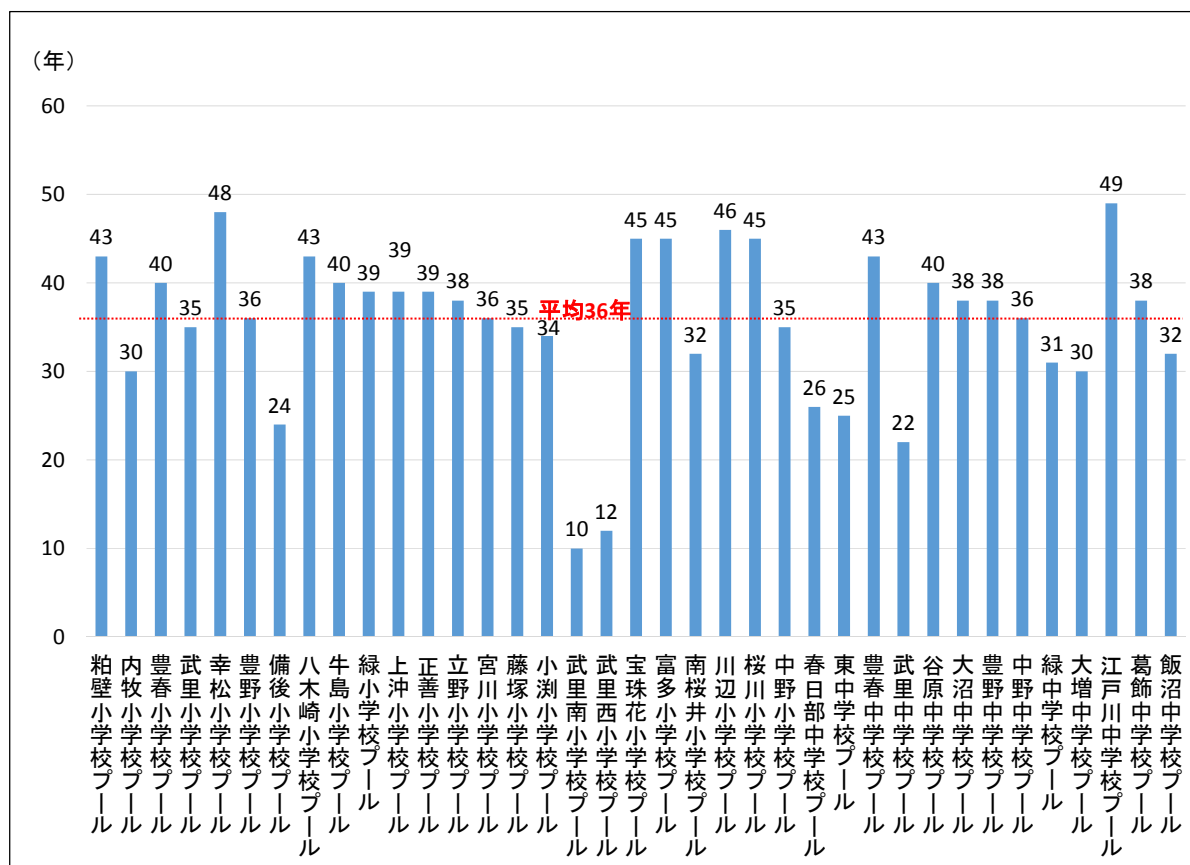


図 3-72 その他教育系施設の建築物の経過年数（プール）

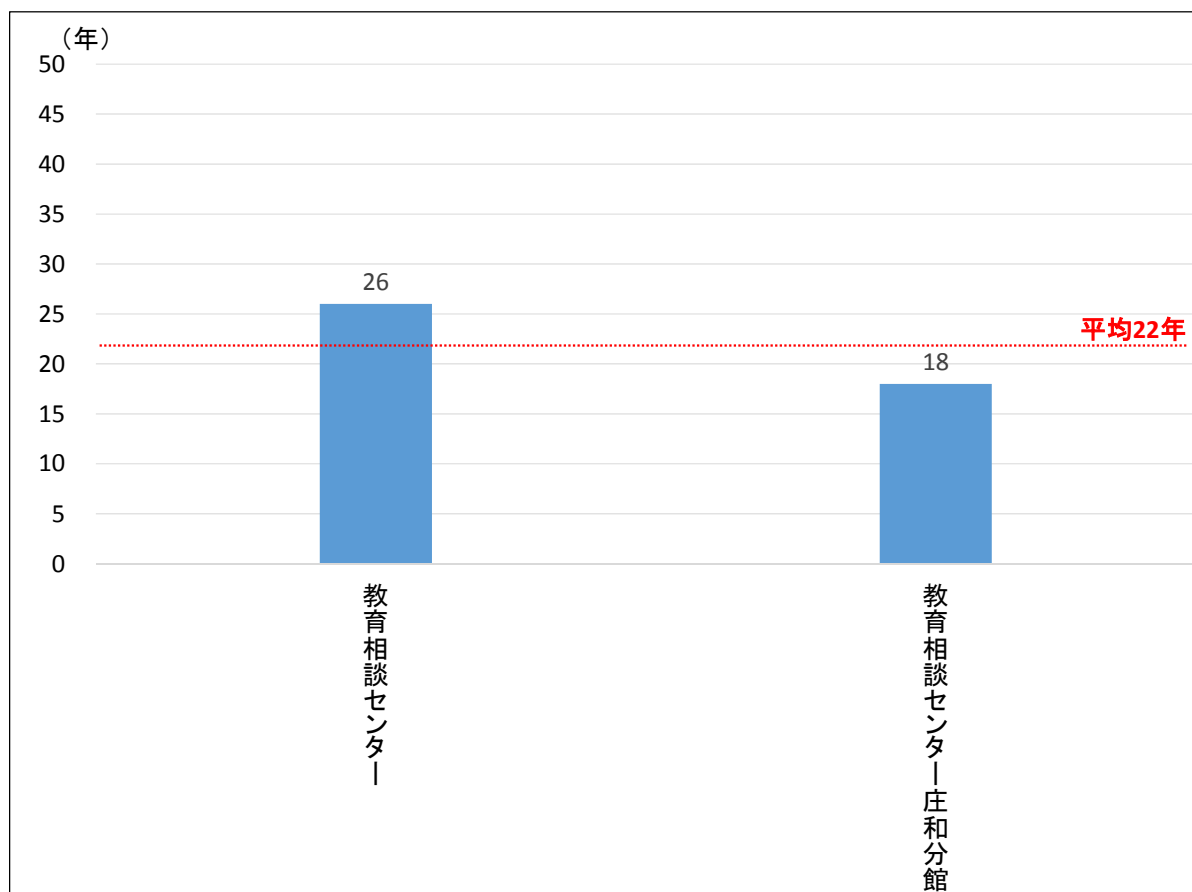


図 3-73 その他教育系施設の建築物の経過年数（教育相談センター）

iii) 利用状況

その他教育系施設の利用状況をみると、平成 25 年度では年間約 6 万 6,200 人に利用されています。また、平成 23 年度からの 3 か年の平均利用者数は約 6 万 1,000 人となっています。

各施設別にみると、平成 25 年度の利用者数は、視聴覚センターで約 6 万 3,000 人が最も多く、教育相談センターが約 2,200 人、教育相談センター庄和分館が約 1,000 人となっています。

表 3-61 その他教育系施設の利用者数の推移

分類	名称	利用者数等			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
教育関連施設	教育センター	—	—	—	—
	視聴覚センター	53,232	58,613	62,983	58,276
	教育相談センター	1,665	1,743	2,246	1,885
	教育相談センター庄和分館	825	677	1,020	841
合計		55,722	61,033	66,249	61,001

※教育センターは利用状況の把握が困難なため、「—」で表記しています。

※学校敷地内にある施設で基本的には一般利用のない給食室及び学校プールについては省略しています。

表 3-62 その他教育系施設の利用者数の推移

分類	名称	児童数・生徒数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
教育関連施設	給食センター	2,907	2,876	2,877	2,887

※給食センターの利用者数等は、センターを利用している小学校、中学校の児童数・生徒数としています。

※利用状況を考慮し、給食センターは別に示しています。

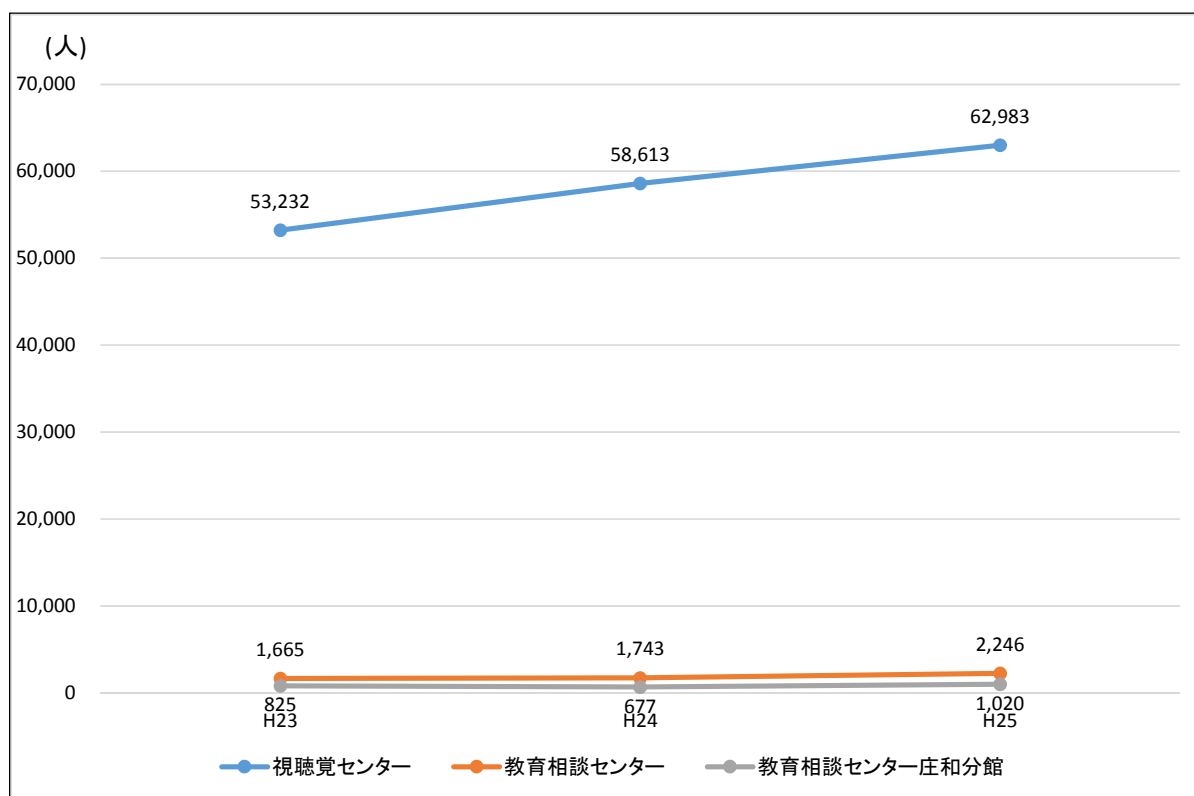


図 3-74 その他教育系施設の利用者数の推移

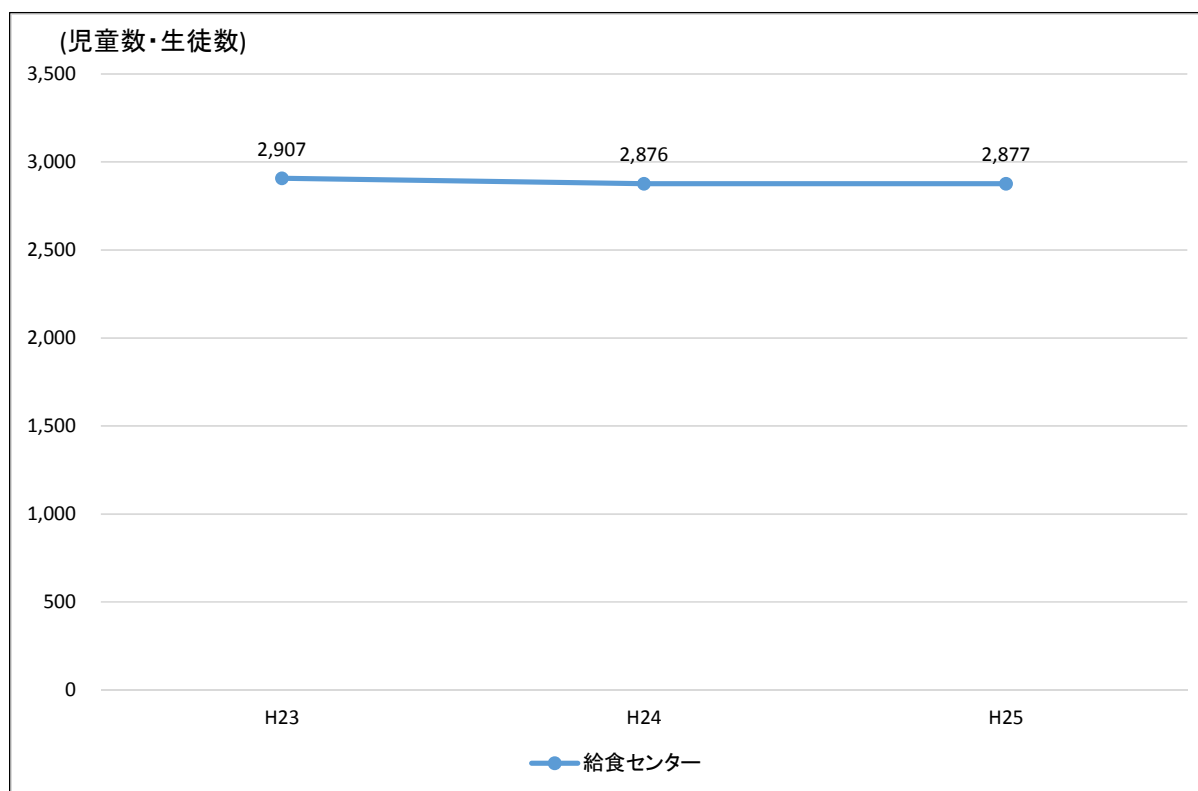


図 3-75 その他教育系施設の利用者数の推移

iv) 運営状況

その他教育系施設の一日当たりの利用可能時間をみると、概ね 8 時間程度となっています。また、職員数の合計は 14 人となっています。

表 3-63 その他教育系施設の運営状況

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
教育関連施設	教育センター	244	8:30	17:15	8時間45分	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	視聴覚センター	289	9:00	17:00	8時間00分	3.0	1.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	給食センター	243	-	-	-	2.0	1.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	教育相談センター	289	9:00	17:00	8時間00分	1.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	教育相談センター庄和分館	253	9:00	17:00	8時間00分	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
合計		-	-	-	-	7.0	7.0	14.0	0.0	0.0	0.0

※職員数(直営)及び(指定管理者)の値は平成 25 年度時点のものです。

※給食センターは、基本的には一般利用がないため利用可能時間を「-」で表記しています。

※給食室及び学校プールについては、学校敷地内にある施設のため、省略しています。

※教育センターの職員数は施設の維持管理に関わった職員数であり、窓口受付業務などの人数は含みません。

v) コスト状況

その他教育系施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは約 10 億 3,000 万円となっています。

その他教育系施設の単位床面積当たりのコストは約 7 万 200 円/㎡、一日当たりのコストは約 8 万 9,300 円/日となっています。

表 3-64 その他教育系施設のコスト状況

施設用途	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
教育センター	教育センター	10,569	18.8	43.3	-
視聴覚センター	視聴覚センター	52,656	21.7	182.2	0.84
給食センター	給食センター	297,639	136.4	1,224.9	103.45
給食室	粕壁小学校給食室	34,630	39.4	94.9	39.62
	内牧小学校給食室	23,361	98.6	64.0	40.49
	豊春小学校給食室	27,290	33.0	74.8	39.90
	武里小学校給食室	17,645	94.4	48.3	45.71
	幸松小学校給食室	21,143	92.3	57.9	41.54
	豊野小学校給食室	19,571	104.7	53.6	43.69
	備後小学校給食室	14,858	52.5	40.7	46.87
	八木崎小学校給食室	29,605	155.8	81.1	39.53
	牛島小学校給食室	24,628	114.6	67.5	43.75
	緑小学校給食室	20,701	91.6	56.7	43.49
	上沖小学校給食室	34,315	146.0	94.0	40.90
	正善小学校給食室	22,628	104.8	62.0	43.52
	立野小学校給食室	26,961	98.4	73.9	39.82
	宮川小学校給食室	14,455	59.0	39.6	65.41
	藤塚小学校給食室	15,084	62.8	41.3	47.29
	小淵小学校給食室	15,578	60.9	42.7	43.88
	武里南小学校給食室	21,821	48.5	59.8	43.64
	武里西小学校給食室	25,559	55.1	70.0	43.10
	春日部中学校給食室	42,609	141.1	116.7	41.57
	東中学校給食室	25,910	57.2	71.0	44.06
	豊春中学校給食室	22,202	73.5	60.8	45.22
	武里中学校給食室	29,887	94.3	81.9	46.55
	谷原中学校給食室	11,778	36.6	32.3	59.19
	大沼中学校給食室	27,736	90.1	76.0	46.93
	豊野中学校給食室	23,181	75.8	63.5	45.01
	中野中学校給食室	20,596	67.1	56.4	49.51
	緑中学校給食室	18,053	60.2	49.5	47.01
	大増中学校給食室	18,214	59.7	49.9	50.88
教育相談センター	教育相談センター	14,648	44.5	50.7	6.52
	教育相談センター庄和分館	4,920	43.5	19.4	4.82
教育センター	小計	10,569	18.8	43.3	-
視聴覚センター	小計	52,656	21.7	182.2	0.84
給食センター	小計	297,639	136.4	1,224.9	103.45
給食室	小計	650,001	71.7	63.6	43.87
教育相談センター	小計	19,569	44.2	36.1	5.99
合計		1,030,433	70.2	89.3	-

平均

※教育センターの利用者一人当たりのコストは、利用者数の把握が困難なため、「-」で表記しています。

※給食センターの利用者一人当たりのコストは、給食センターを利用している小学校、中学校の児童数・生徒数で算出しています。

※学校プールについては、学校敷地内にある施設のため、対象外としています。

※給食室の利用者一人当たりのコストは、その学校の児童・生徒数を用いて算出しています。

※利用者一人当たりのコストの合計は、各施設で利用者の計上方法が異なるため、「-」で表記しています。

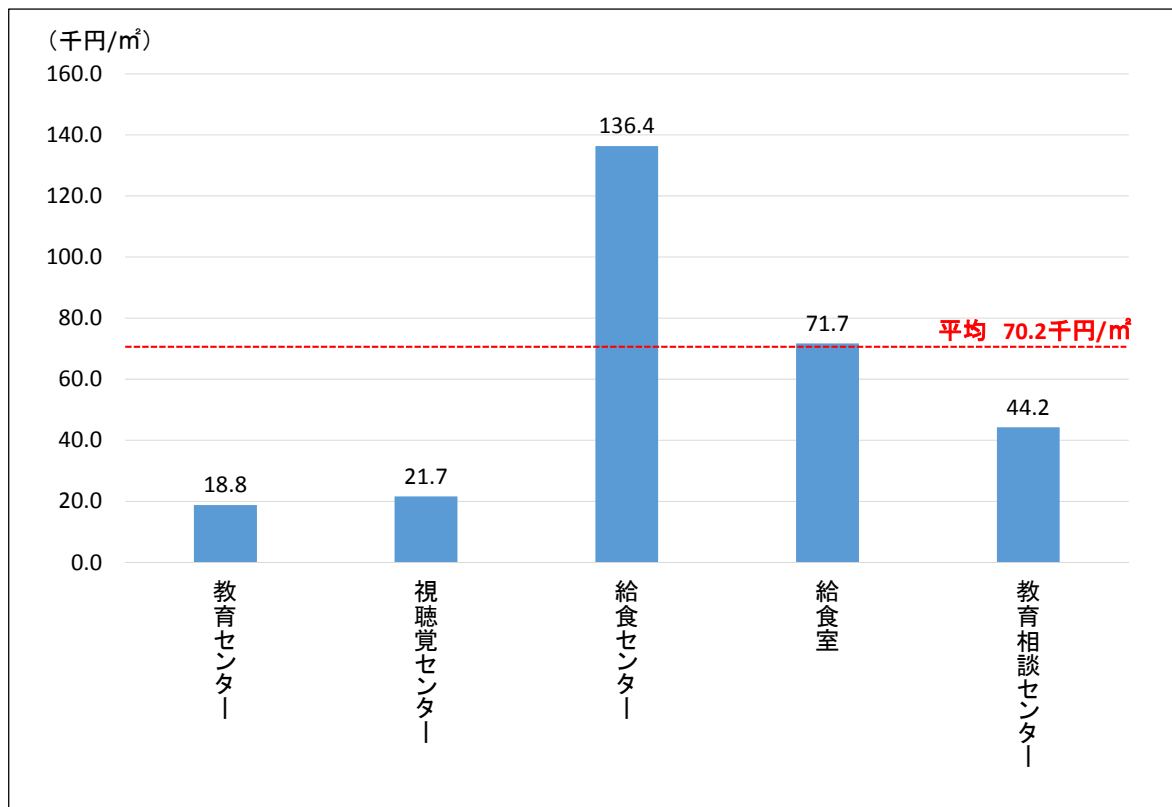


図 3-76 その他教育系施設の単位床面積当たりのコスト

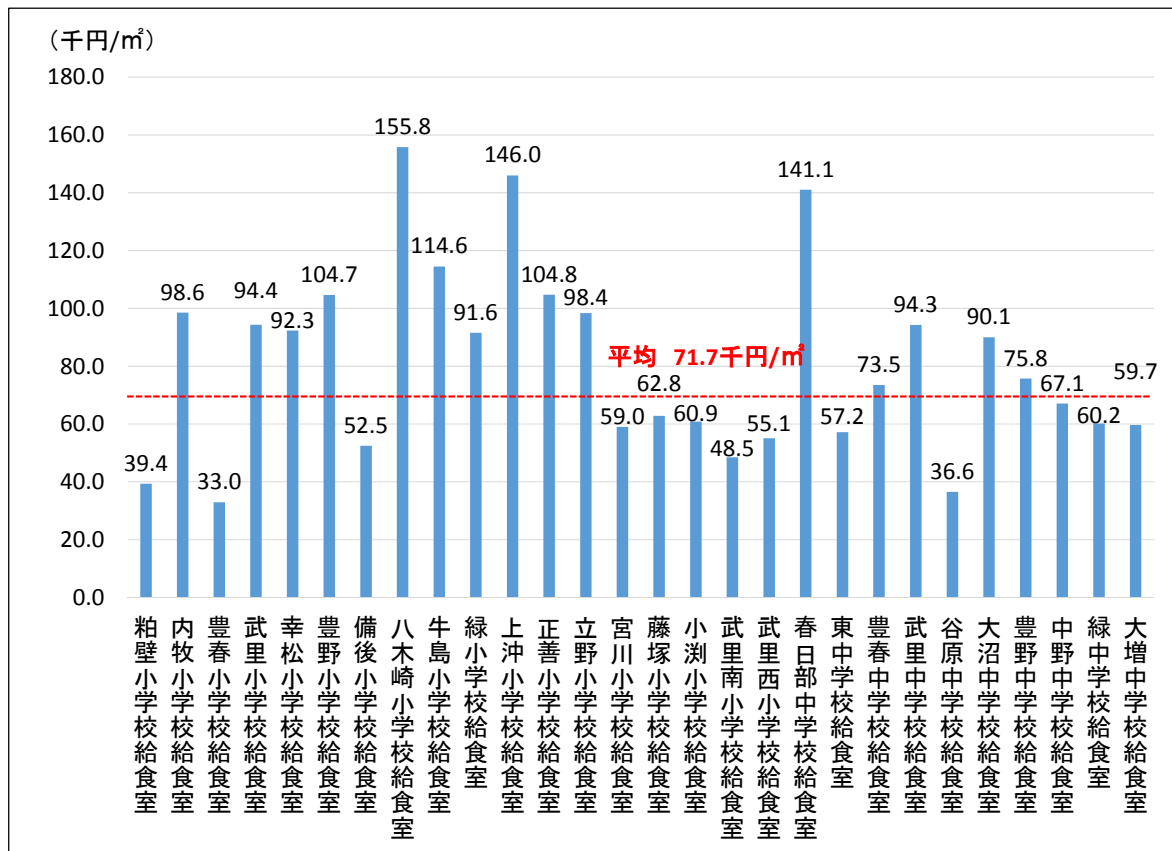


図 3-77 その他教育系施設の単位床面積当たりのコスト（給食室）

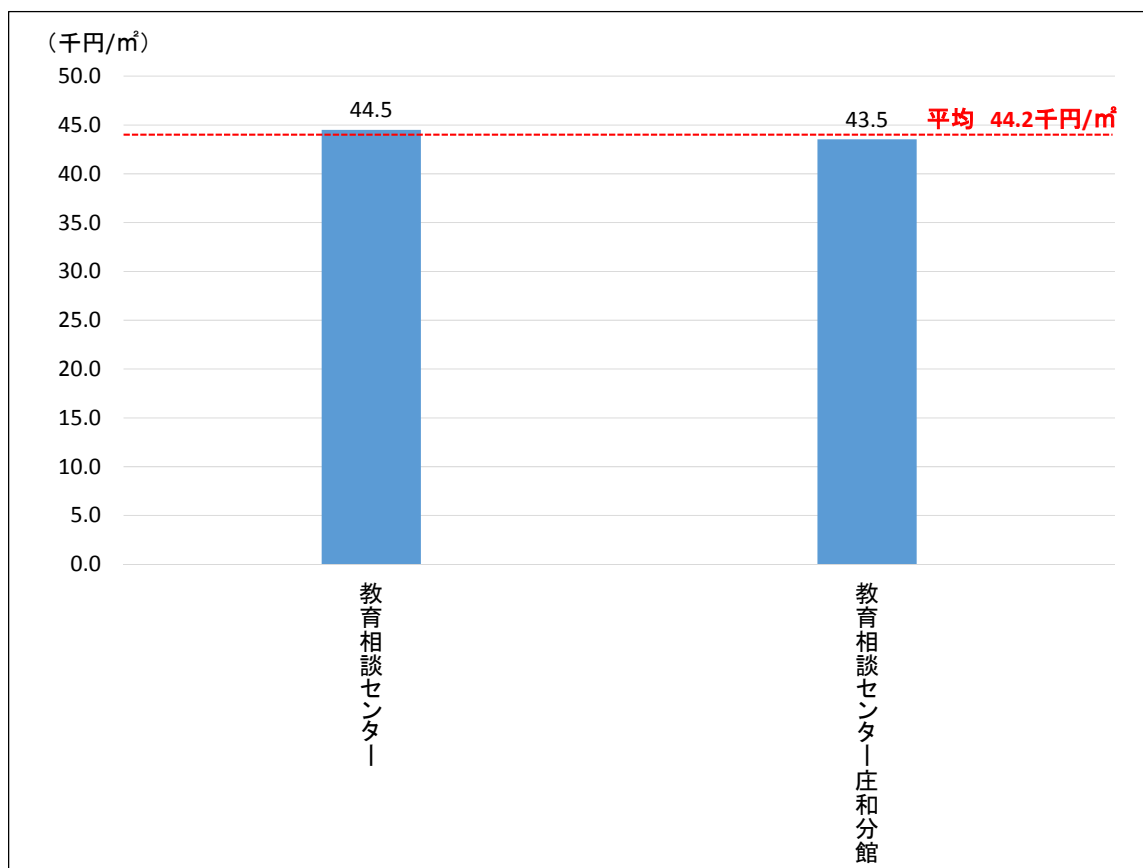


図 3-78 その他教育系施設の単位床面積当たりのコスト（教育相談センター）

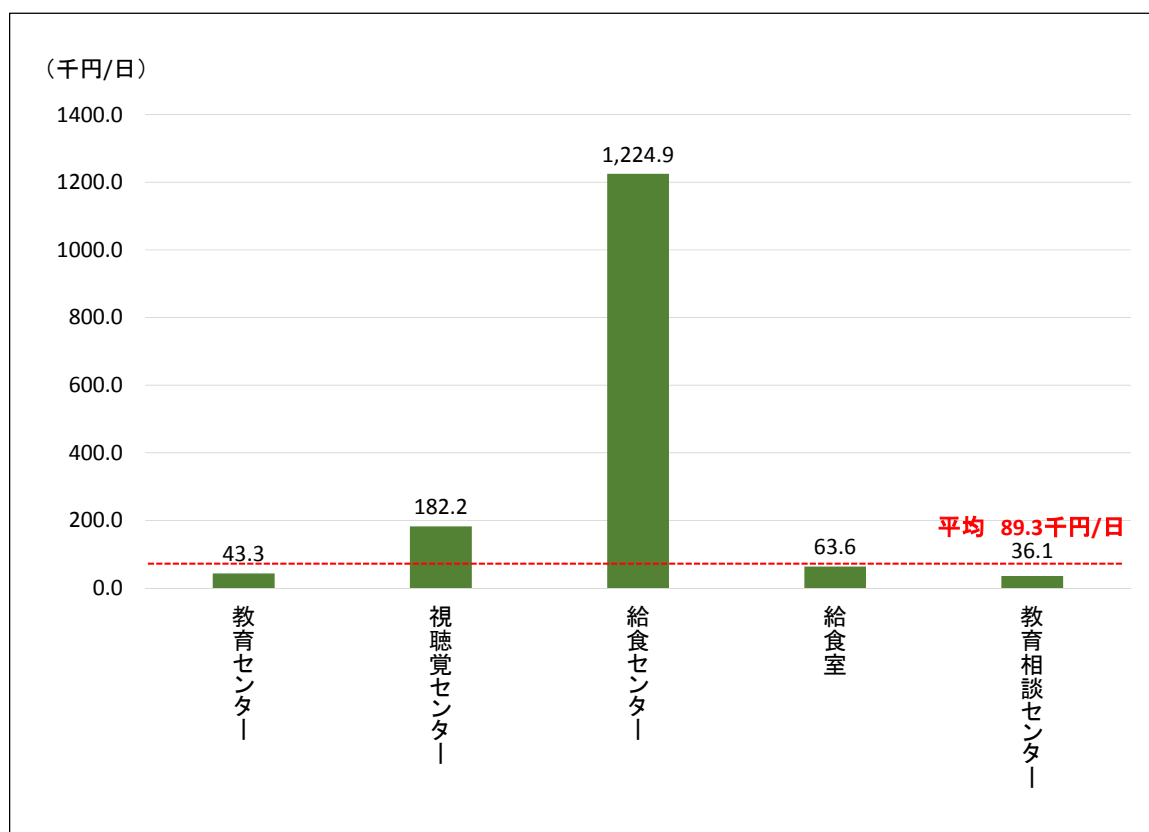


図 3-79 その他教育系施設の日当たりのコスト

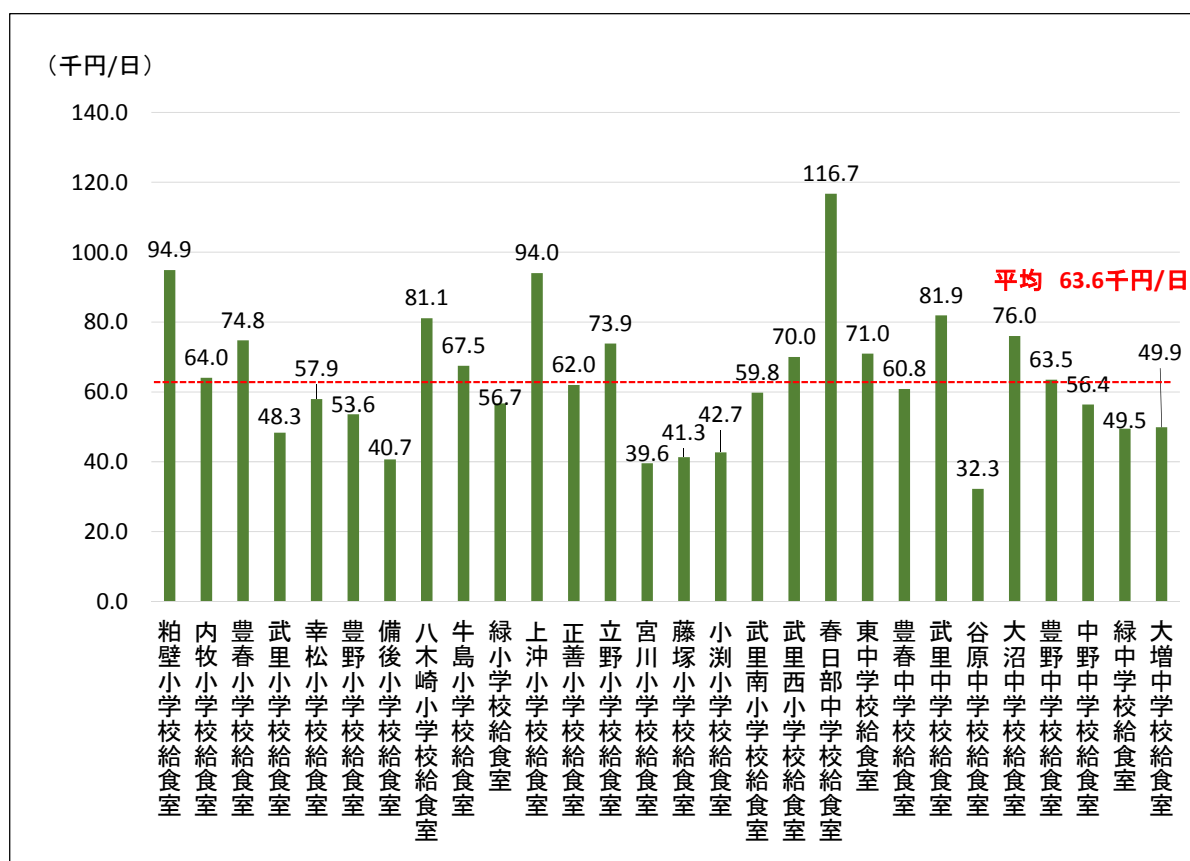


図 3-80 その他教育系施設の一日当たりのコスト（給食室）

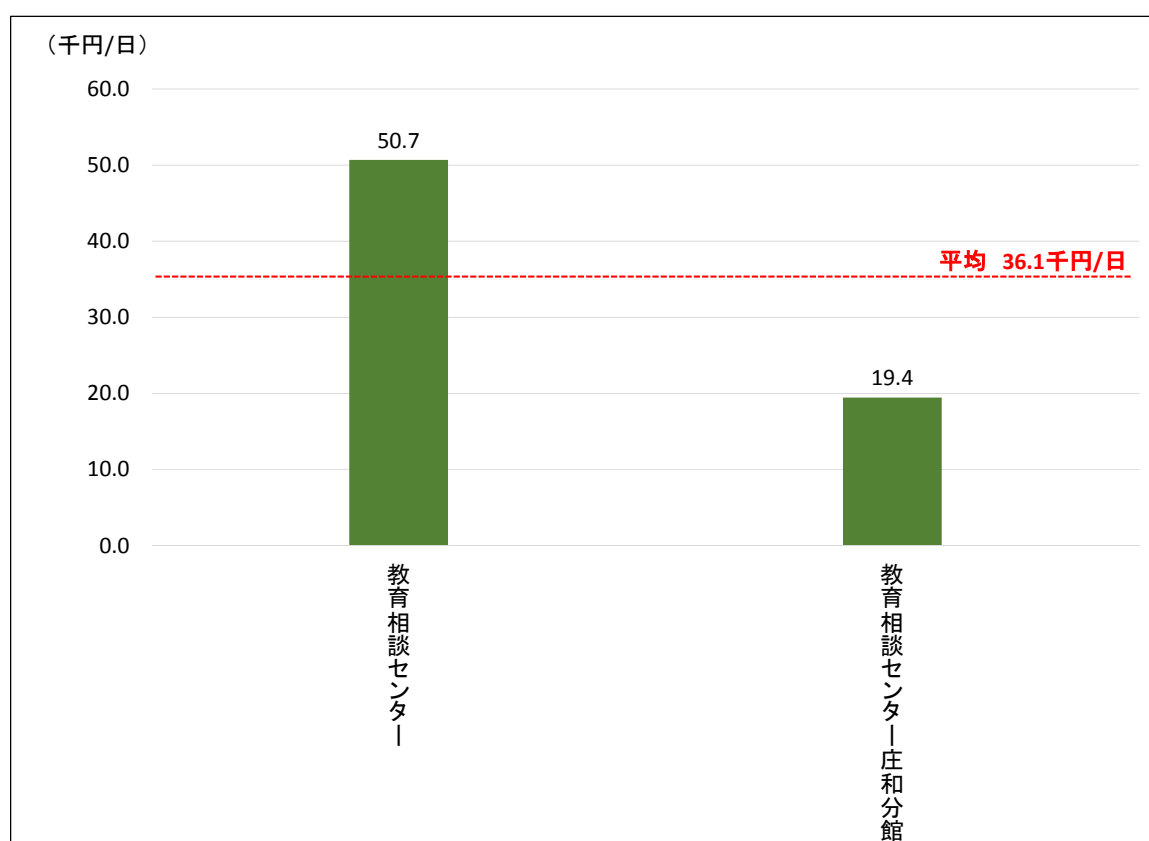


図 3-81 その他教育系施設の一日当たりのコスト（教育相談センター）

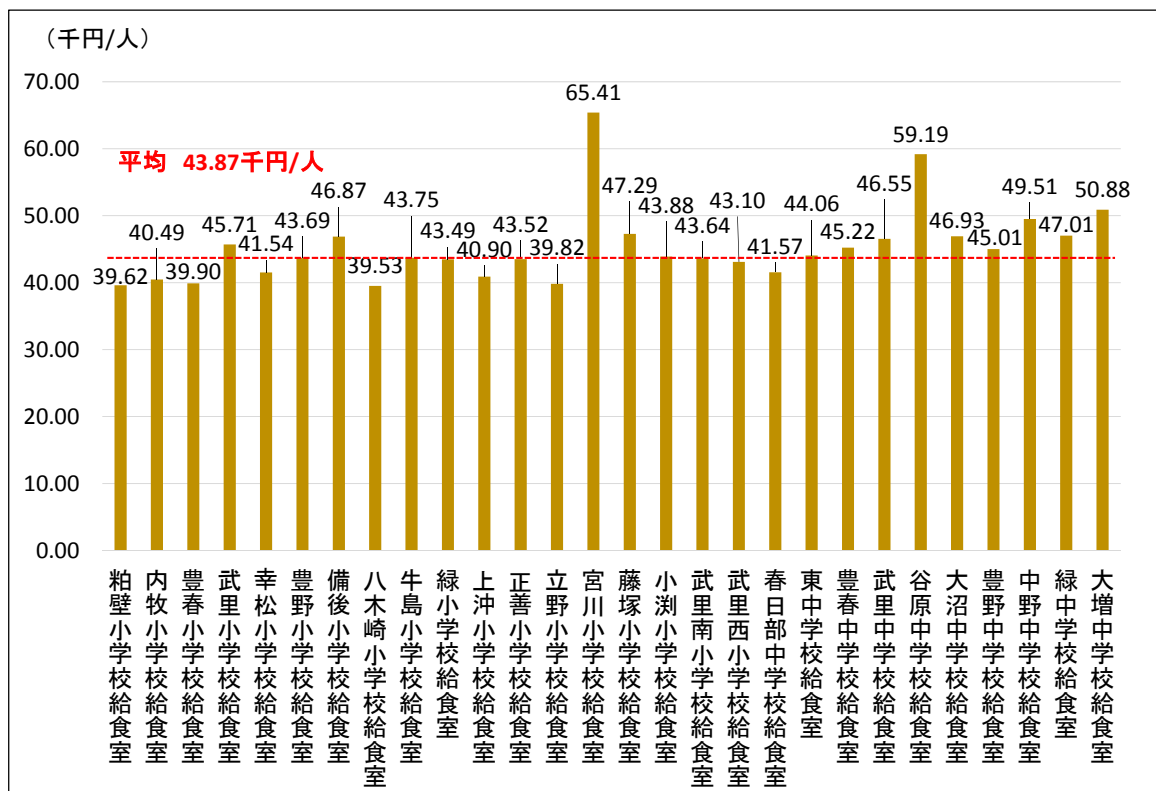


図 3-82 その他教育系施設の利用者一人当たりのコスト（給食室）

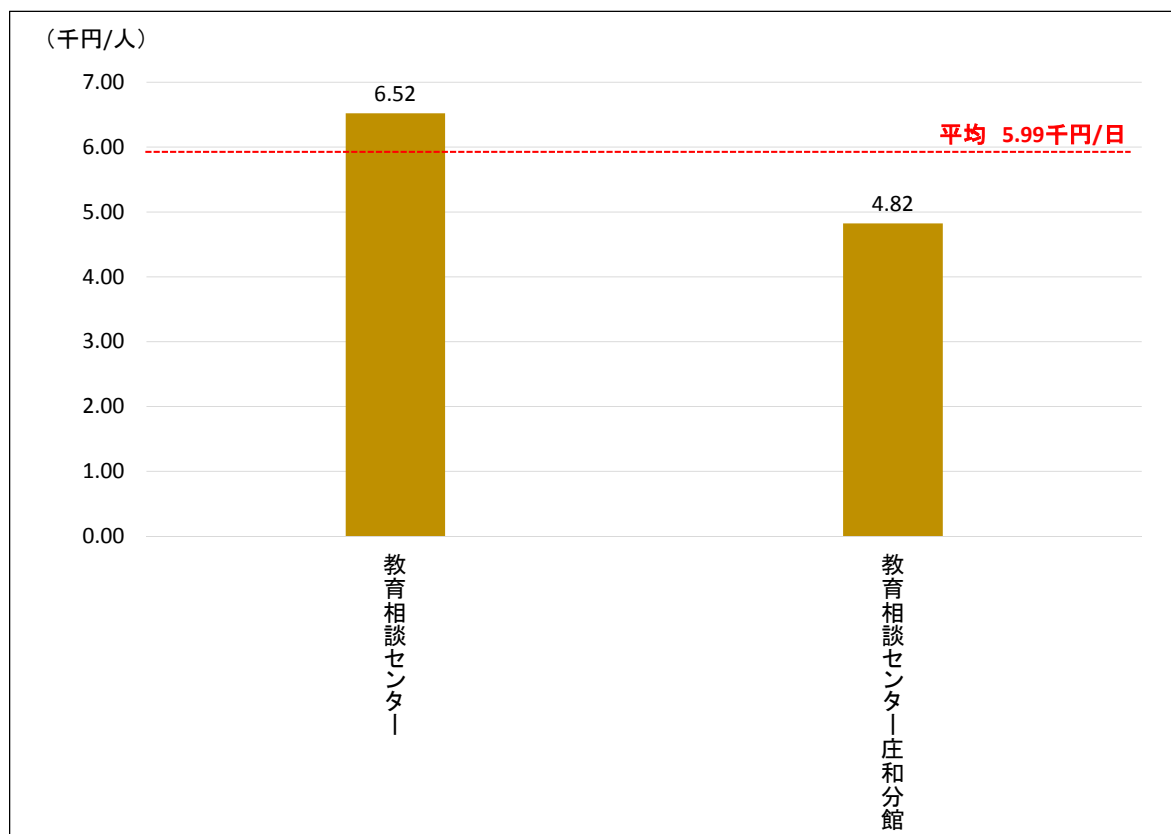


図 3-83 その他教育系施設の利用者一人当たりのコスト（教育センター）

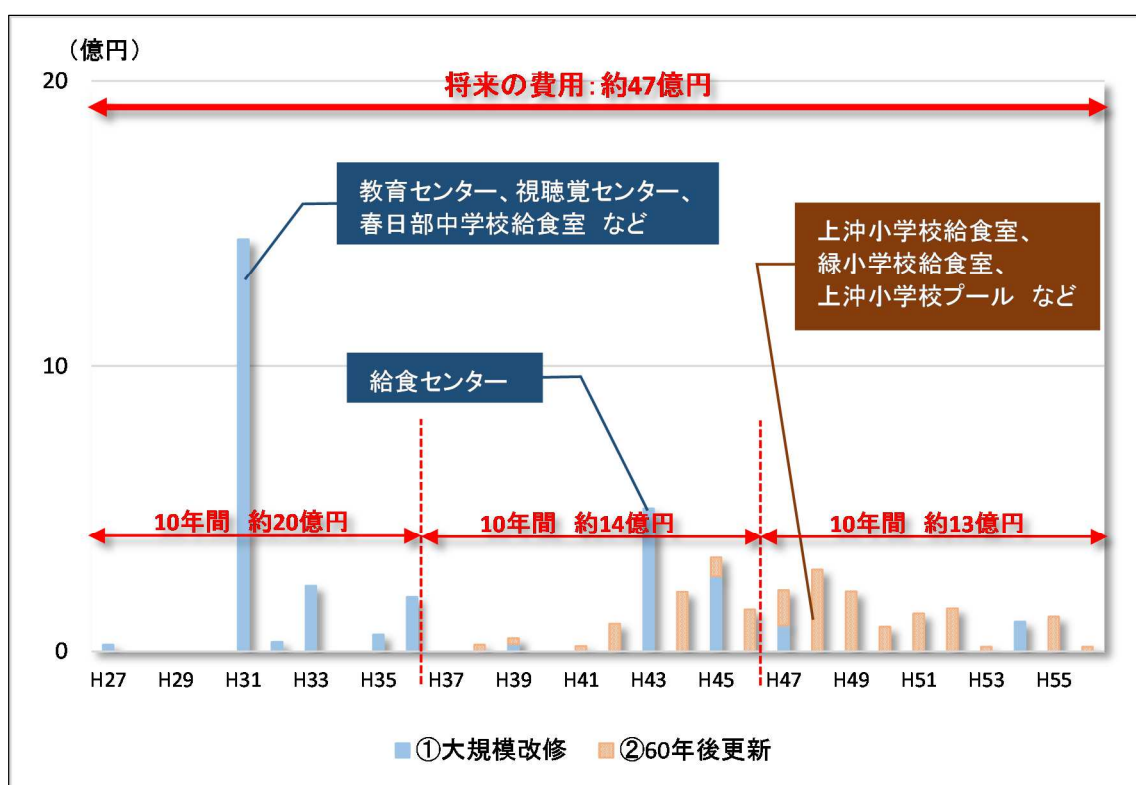
vi) 更新等費用の推計

その他教育系施設では、平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間に教育センター、視聴覚センター、春日部中学校給食室等の大規模改修により約 20 億円の費用がかかることが想定されます。

また、平成 37 年から平成 46 年までの 10 年間では、給食センターの大規模改修等により約 14 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間では、上沖小学校給食室、緑小学校給食室、上沖小学校プールなどの更新等により約 13 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間でその他教育系施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 47 億円と想定されます。



※この更新等の費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。（一定の試算条件についてはP39参照）従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期（建設後30年）を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後60年が経過した後に更新（建替え）を行う想定として算出しています。

図 3-84 その他教育系施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vii) 施設のパターン

① 教育センター

教育センターは、バリアフリー対策が必要なBパターンとなっています。

表 3-65 施設のパターン（教育センター）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
教育センター	I	II	III	II	I	I	I	III	I

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
I	II	II	I	I	III	I	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

② 視聴覚センター

視聴覚センターは、教育センター同様バリアフリー対策が必要なBパターンとなっています。

表 3-66 施設のパターン（視聴覚センター）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
視聴覚センター	I	II	III	II	I	I	I	III	I

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
I	II	II	I	I	III	I	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

③ 給食センター

給食センターは、バリアフリー、省エネルギー対策が必要なBパターンとなっています。

表 3-67 施設のパターン（給食センター）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
給食センター	I	I	I	II	I	II	II	III	III

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
I	I	I	I	II	III	III	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

④ 給食室

給食室は、外側の修繕が必要なDパターンや、老朽化が進行していることからEパターンが多くなっています。

表 3-68 施設のパターン（給食室）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
粕壁小学校給食室	I	II	III	III	III	III	I	III	III	I	II	III	III	II	III	III	D
内牧小学校給食室	I	III	III	III	III	I	III	III	III	I	III	III	III	II	III	III	E
豊春小学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
武里小学校給食室	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	III	II	III	III	F
幸松小学校給食室	II	III	I	I	III	III	III	III	III	II	III	I	III	III	III	III	E
豊野小学校給食室	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	F
備後小学校給食室	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	F
八木崎小学校給食室	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	F
牛島小学校給食室	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
緑小学校給食室	I	III	III	III	III	I	I	III	III	I	III	III	III	I	III	III	E
上沖小学校給食室	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
正善小学校給食室	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
立野小学校給食室	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
宮川小学校給食室	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
藤塚小学校給食室	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
小淵小学校給食室	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	E
武里南小学校給食室	I	I	I	I	II	I	I	II	I	I	I	I	II	I	II	I	B
武里西小学校給食室	I	I	I	I	II	I	I	II	III	I	I	I	II	I	II	III	B
春日部中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
東中学校給食室	I	I	I	I	III	I	I	I	I	I	I	I	III	I	I	I	C
豊春中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
武里中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
谷原中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
大沼中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
豊野中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
中野中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
緑中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D
大増中学校給食室	I	II	III	III	III	III	III	III	III	I	II	III	III	III	III	III	D

※パターンの分類については、11 ページを参照

※学校の校舎内に入っている施設については、学校のパターンにより判断しています。

⑤ 教育相談センター

教育相談センター、教育相談センター庄和分館はバリアフリー、省エネルギー対策が必要な施設であるBパターンとなっています。

表 3-69 施設のパターン（教育相談センター）

施設名	安全性					機能性		環境性	
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
教育相談センター	I	II	III	II	I	I	I	III	I
教育相談センター庄和分館	I	II	II	II	I	II	II	II	III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

viii) その他の教育系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・給食室の平均経過年数は 30 年、学校プールの平均経過年数は 36 年であり、今後の老朽化対策が必要となっています。
- ・給食室の単位床面積当たりのコストは、学校により大きな開きがあることから、施設の維持管理・運営にかかるコストの見直しなどが必要となっています。



【今後の方向性】

- 児童・生徒数の減少傾向を踏まえ、官民の連携や効率的な施設利用を検討します。
- 長寿命化を図る必要がある施設については、老朽化への対応を検討します。
- 学校系施設の複合化による管理負担の分担と同様に多機能化複合化などによる負担の軽減化を図り、維持管理費用の適正化を検討するとともに、民間活力の導入や民間による施設の管理・運営について検討します。

表 3-70 その他教育系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
70	23.6%	17,787	3.5%	70	0	0
				100.0%	0.0%	0.0%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
45	25	-	1,030,433	70.2	-	47
64.3%	35.7%					

※ 2 段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

※利用者数および利用者一人当たりのコストについては、各施設での利用者の計上方法が異なるため、「－」で表記しています。

(6) 保健福祉系施設

i) 概要

保健福祉系施設の分類は、児童福祉施設、高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、その他の福祉施設、保健センター、公衆便所に分類しています。

児童福祉施設は、40 施設となっており、30 施設は指定管理による運営となっています。また、小学校や保育所等との複合施設が多くなっています。

高齢者福祉施設は、6 施設となっており、全て市による直営となっています。また、高齢者福祉センター寿楽荘、大枝高齢者憩いの家は、公民館との複合施設になっています。

障がい者福祉施設は 4 施設となっており、3 施設は指定管理による運営となっています。

その他の福祉施設は 4 施設となっており、全て市による直営となっています。

保健センターは 2 施設となっており、春日部市保健センターは、東部地域振興ふれあい拠点施設内にあり、県施設（コンベンションホール、パスポートセンター等）との複合施設となっています。

公衆便所は 6 施設となっており、全て市による直営となっています。

表 3-71 保健福祉系施設の施設概要（児童福祉施設）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
児童福祉施設	武里南保育所	大枝89 9-16	直営	単独施設	
	第1保育所	大枝89 7-3	直営	単独施設	
	第3保育所	粕壁6823	直営	単独施設	
	第4保育所	備後西1-13-1	直営	単独施設	
	第5保育所	藤塚428-1	直営	単独施設	
	第6保育所	牛島1276	直営	単独施設	
	第7保育所	米町3-166	直営	単独施設	
	第8保育所	上蛭田82-1	直営	単独施設	
	第9保育所	粕壁3-8-1	指定管理者	複合施設	春日部子育て支援センターなど
	庄和第1保育所	西金野井256-1	指定管理者	複合施設	庄和子育て支援センター
	庄和第2保育所	東中野1152	直営	単独施設	
	粕壁放課後児童クラブ1, 2	粕壁東3-2-19	指定管理者	単独施設	
	内牧放課後児童クラブ	内牧2415-2	指定管理者	単独施設	
	豊春放課後児童クラブ1, 2	道順川戸37-1	指定管理者	単独施設	
	武里放課後児童クラブ	備後西5-3-15	指定管理者	単独施設	
	幸松放課後児童クラブ1, 2	八丁目353-1	指定管理者	単独施設	
	豊野放課後児童クラブ	銚子口1087	指定管理者	複合施設	豊野小学校
	備後放課後児童クラブ	備後西3-2-1	指定管理者	単独施設	
	八木崎放課後児童クラブ1, 2	中央4-1	指定管理者	単独施設	
	牛島放課後児童クラブ	牛島1080	指定管理者	複合施設	牛島小学校
	緑放課後児童クラブ	緑町5-4-1	指定管理者	単独施設	
	上沖放課後児童クラブ1	大沼5-44	指定管理者	単独施設	
	上沖放課後児童クラブ2	大沼5-44	指定管理者	単独施設	
	正善放課後児童クラブ	備後東6-2-1	指定管理者	複合施設	正善小学校
	立野放課後児童クラブ1, 2	南中曽根1074	指定管理者	単独施設	
	宮川放課後児童クラブ	新方袋1090	指定管理者	複合施設	宮川小学校
	藤塚放課後児童クラブ	藤塚82-2	指定管理者	複合施設	藤塚小学校など
	小淵放課後児童クラブ	小淵905-1	指定管理者	複合施設	小淵小学校など
	武里南放課後児童クラブ	大枝89 2-1	指定管理者	単独施設	
	武里西放課後児童クラブ1, 2	大場822-1	指定管理者	単独施設	
	南桜井放課後児童クラブ	下柳17-2	指定管理者	単独施設	
	川辺放課後児童クラブ1, 2	米島756	指定管理者	複合施設	川辺小学校
	桜川放課後児童クラブ1, 2	大倉496-1	指定管理者	単独施設	
	中野放課後児童クラブ	東中野654	指定管理者	複合施設	中野小学校
	ふじ学園	牛島1289	直営	単独施設	
	春日部第1児童センター	牛島371-1	指定管理者	単独施設	
	春日部第2児童センター	粕壁3-8-1	指定管理者	複合施設	第9保育所など
	庄和児童センター	金崎839-1	指定管理者	複合施設	庄和総合支所など
	春日部子育て支援センター	粕壁3-8-1	指定管理者	複合施設	第9保育所など
	庄和子育て支援センター	西金野井256-1	指定管理者	複合施設	庄和第1保育所

※武里南保育所は平成 27 年 4 月開所

※第 1 保育所は平成 27 年 3 月閉所

表 3-72 保健福祉系施設の施設概要（高齢者福祉施設）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
高齢者福祉施設	高齢者福祉センター幸楽荘	小淵2159	直営	単独施設	
	高齢者福祉センター寿楽荘	備後西1-13-2	直営	複合施設	武里地区公民館
	薬師沼憩いの家	赤沼475	直営	単独施設	
	大池憩いの家	南5-7-13	直営	単独施設	
	大枝高齢者憩いの家	大枝89 7-5	直営	複合施設	武里南地区公民館
	庄和高齢者憩いの家	西金野井1053	直営	単独施設	

表 3-73 保健福祉系施設の施設概要（障がい者福祉施設）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
障がい者福祉施設	リサイクルショップ	樋堀369-1	直営	単独施設	
	ふじ支援センター	牛島1289	指定管理者	単独施設	
	ゆりのき支援センター	谷原新田2229-1	指定管理者	単独施設	
	ひまわり園	大倉496-455	指定管理者	単独施設	

表 3-74 保健福祉系施設の施設概要（その他の福祉施設）

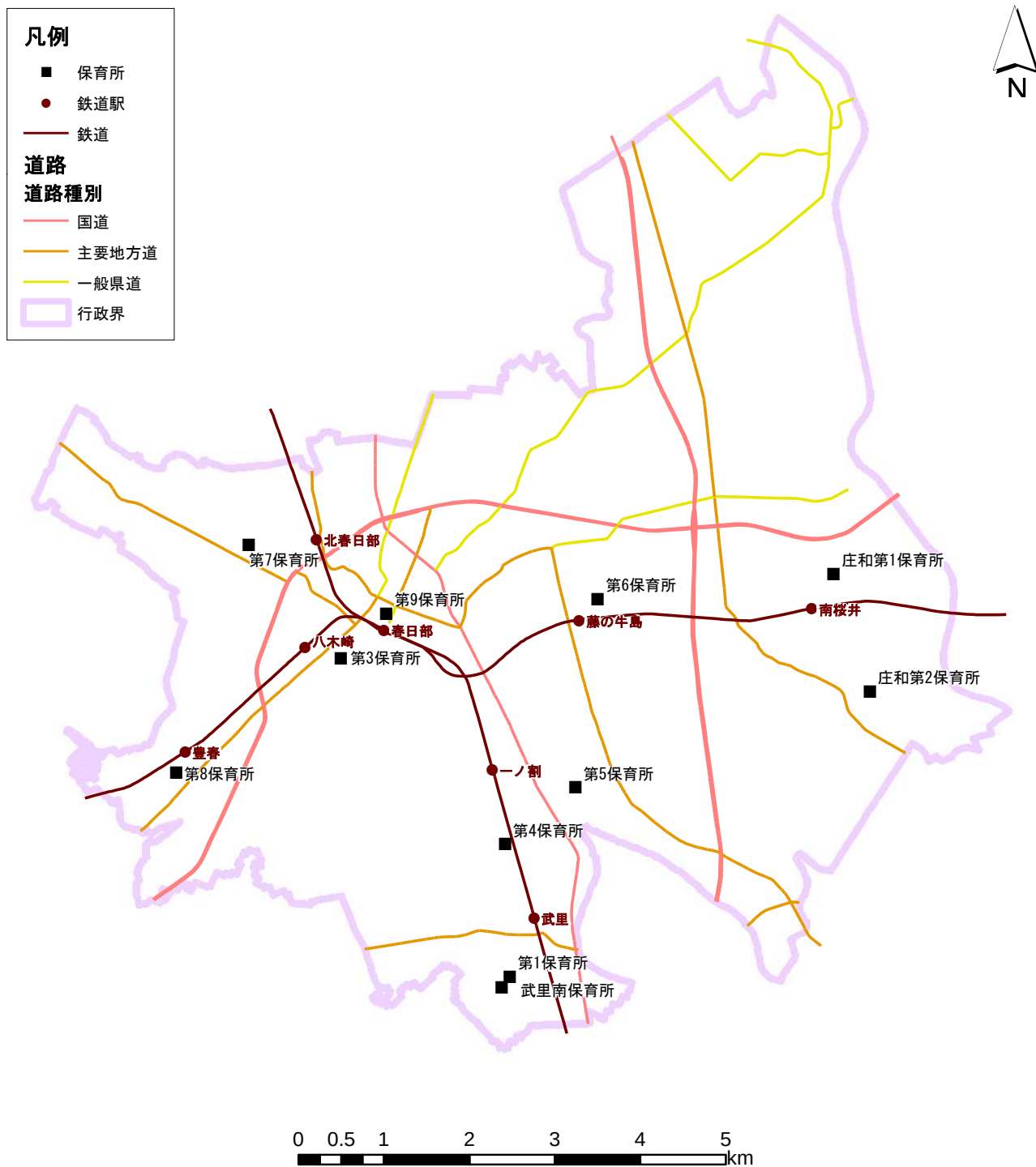
分類	名称	所在地	運営形態	施設形態		貸出対象 室数 (室)
その他の福祉施設	総合福祉センター	中央2-24-1	直営	単独施設		-
	勤労者会館	粕壁6615-7	直営	単独施設		5
	庄和勤労福祉センター	大倉307-1	直営	複合施設	庄和コミュニティセンターなど	4
	健康福祉センター	大枝89 7-4	直営	複合施設	武里出張所	-
合計			-	-	-	9

表 3-75 保健福祉系施設の施設概要（保健センター）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
保健センター	春日部市保健センター	南1-1-7 6階	直営	複合施設	東部地域振興ふれあい拠点施設
	庄和保健センター	大倉496-1	直営	単独施設	

表 3-76 保健福祉系施設の施設概要（公衆便所）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
公衆便所	せせらぎ公衆便所	粕壁2-8	直営	単独施設	
	春日部駅西口公衆便所	中央1-42	直営	単独施設	
	春日部駅東口公衆便所	粕壁1-4370-5	直営	単独施設	
	南桜井駅北口公衆トイレ	大倉496-463	直営	複合施設	南桜井駅自転車駐車場
	武里駅西口公衆便所	大場450	直営	単独施設	
	北春日部駅西口公衆便所	梅田本町2-1	直営	単独施設	



※武里南保育所は平成 27 年 4 月開所
 ※第 1 保育所は平成 27 年 3 月閉所

図 3-85 保健福祉系施設位置図（児童福祉施設 保育所）

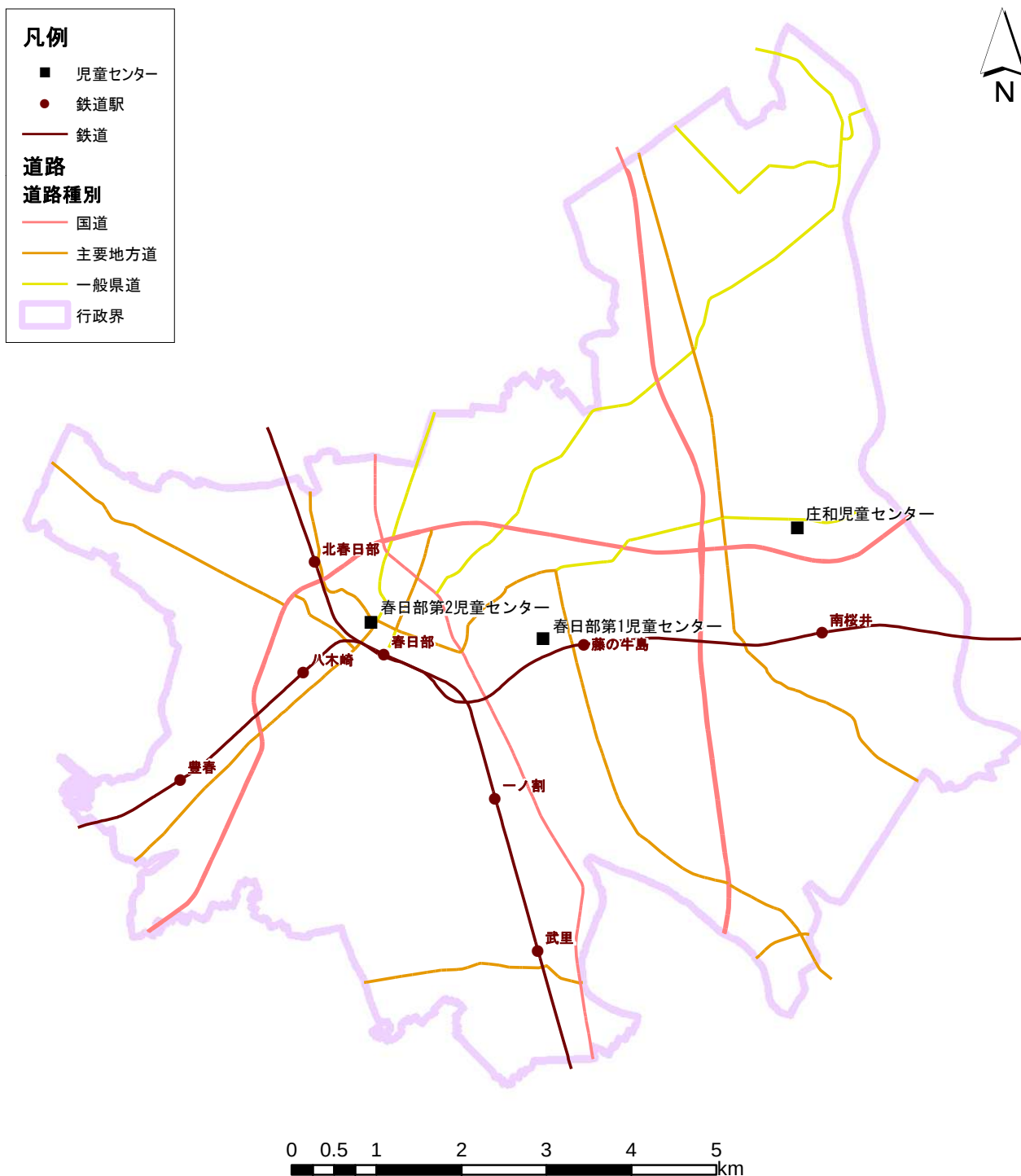


図 3-86 保健福祉系施設位置図（児童福祉施設 児童センター）

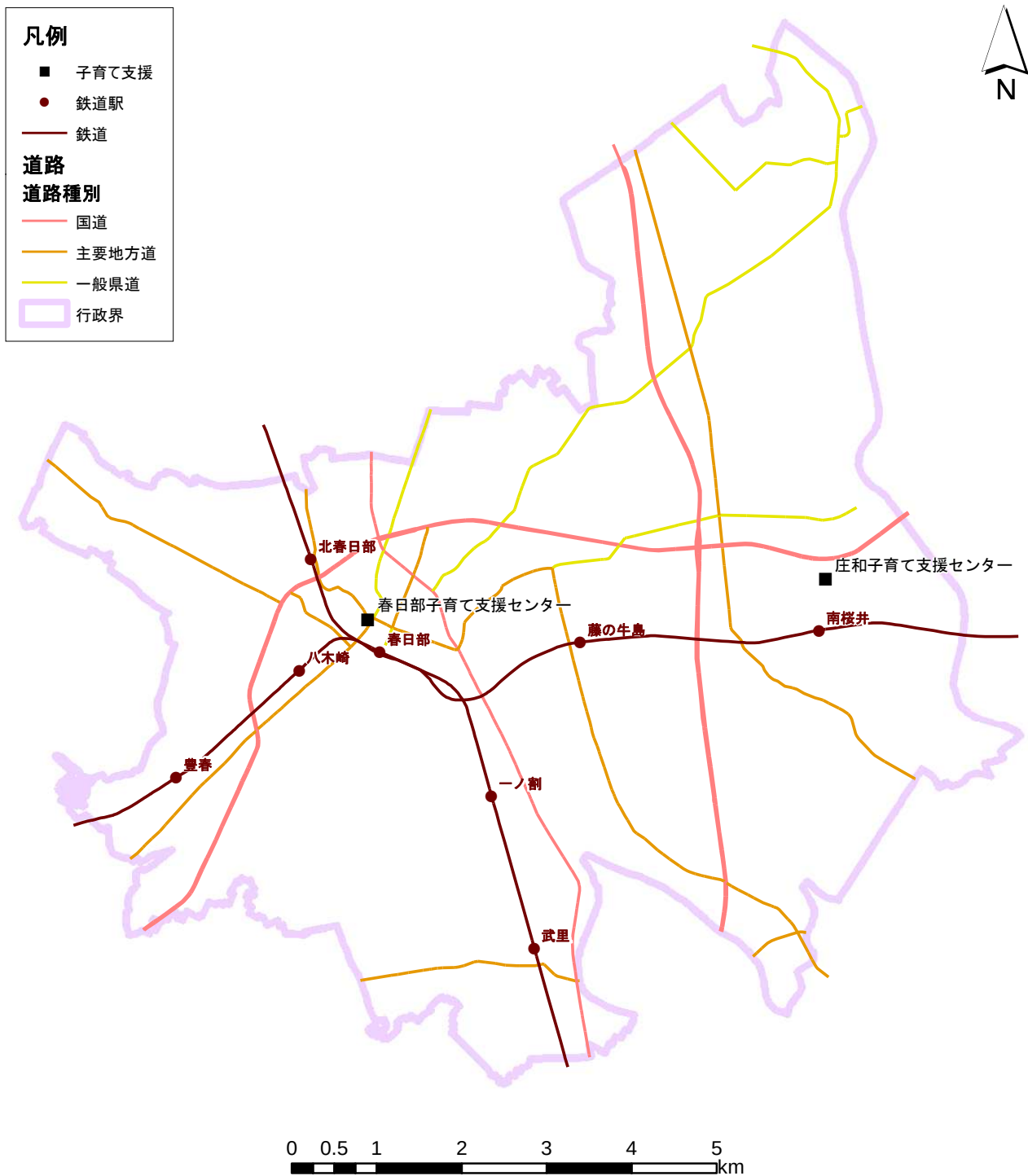


図 3-87 保健福祉系施設位置図（児童福祉施設 子育て支援センター）

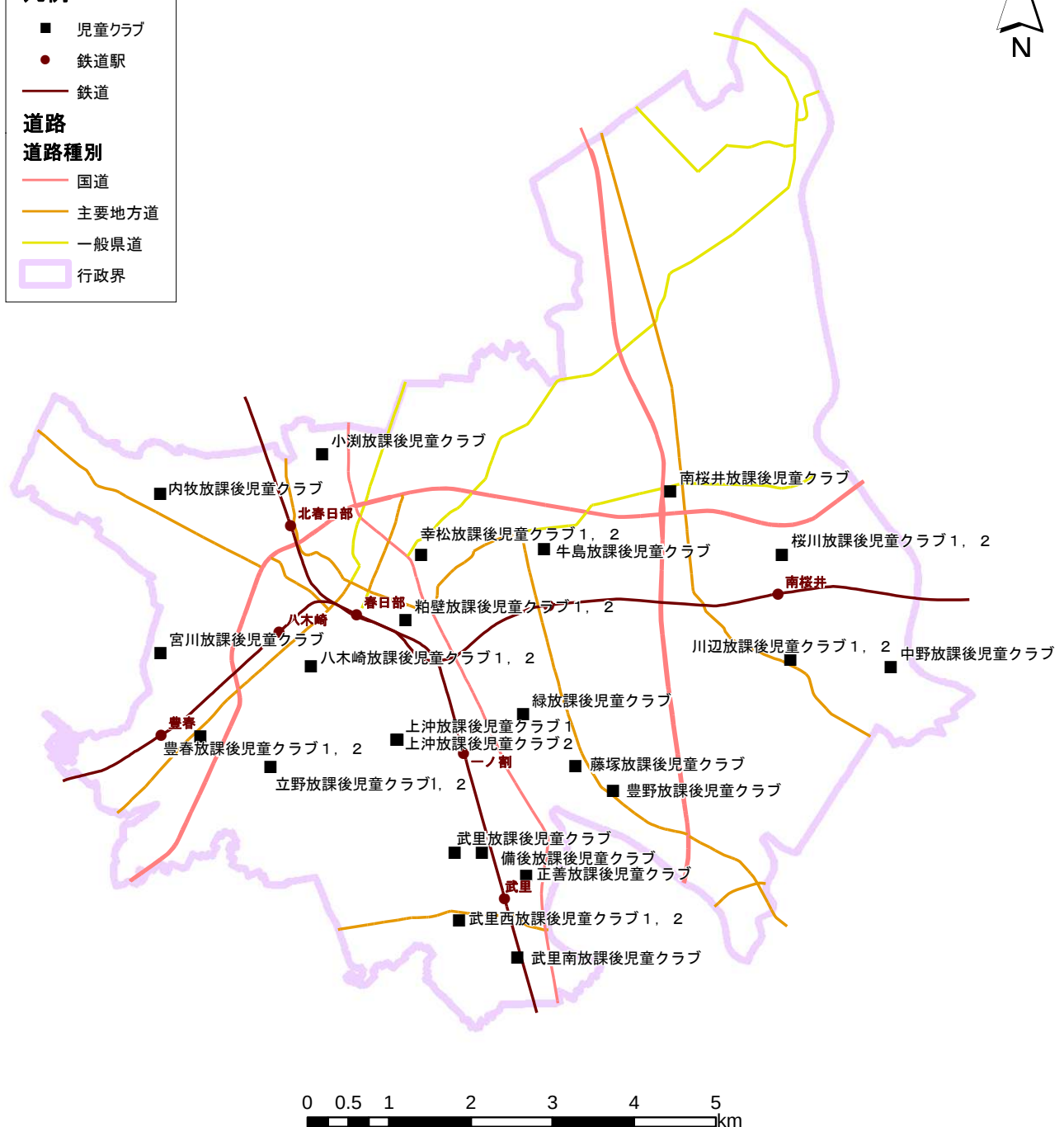


図 3-88 保健福祉系施設位置図 (児童福祉施設 児童クラブ)

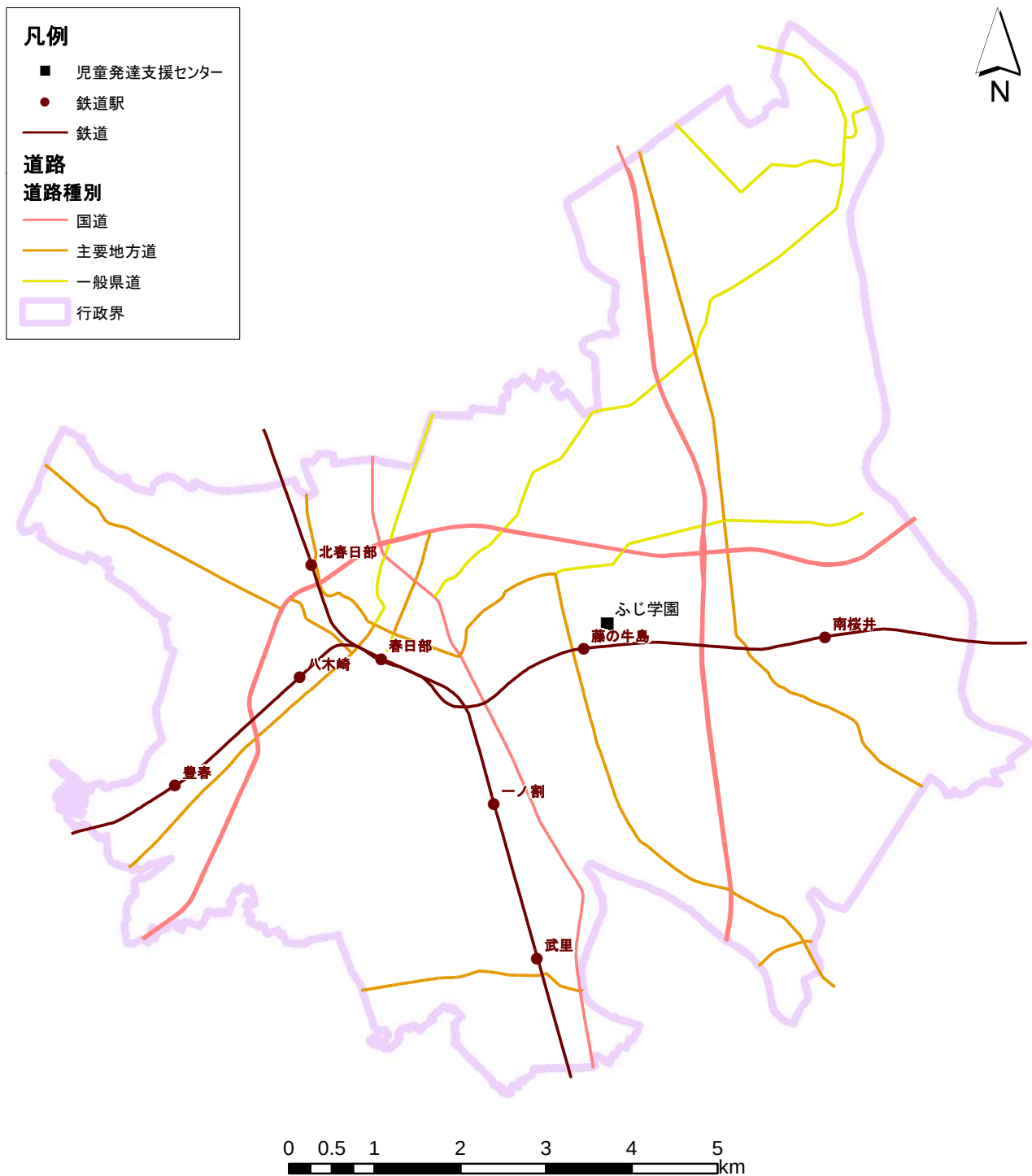


図 3-89 保健福祉系施設位置図（児童福祉施設 児童発達支援センター）

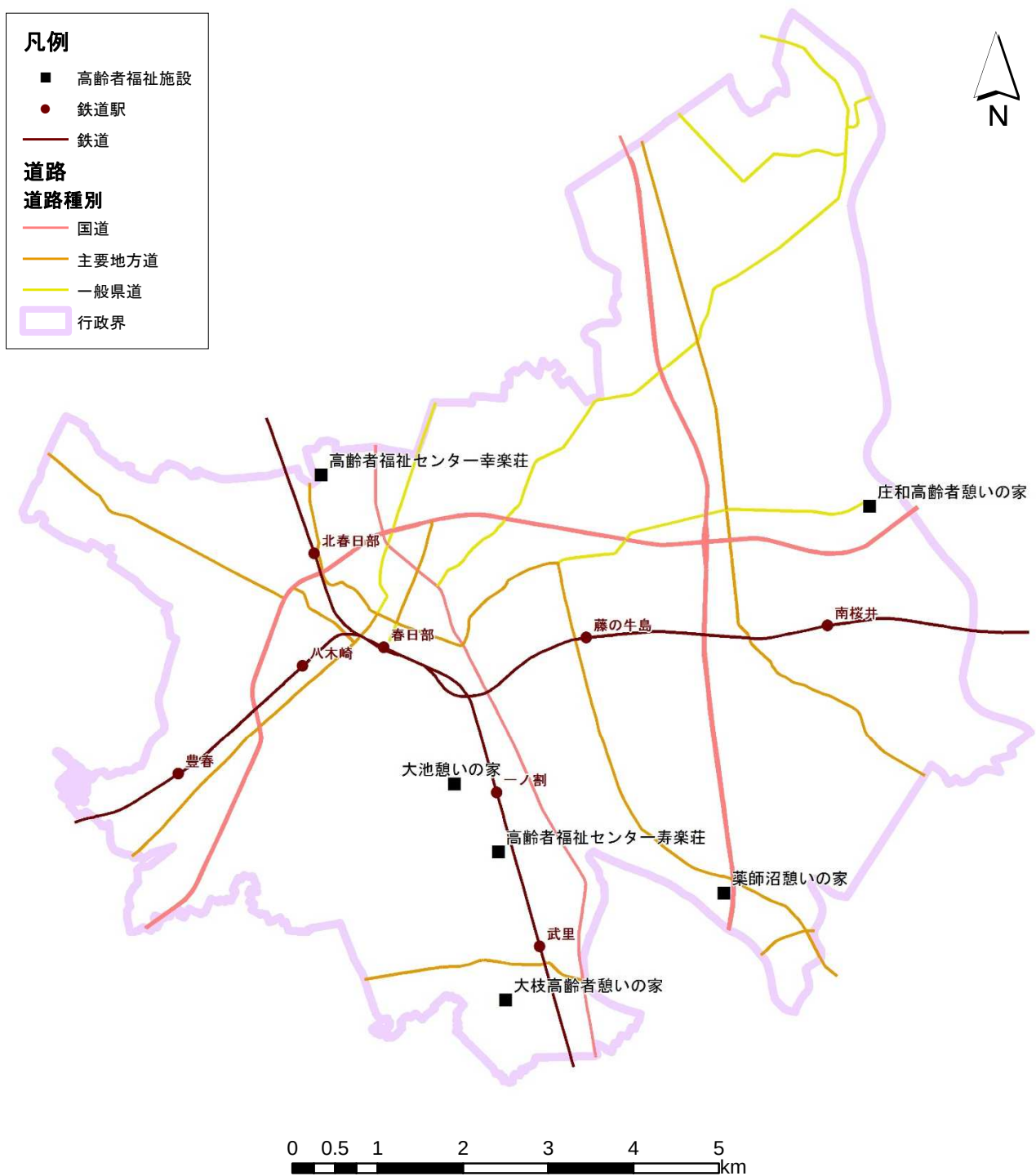


図 3-90 保健福祉系施設位置図（高齢者福祉施設）

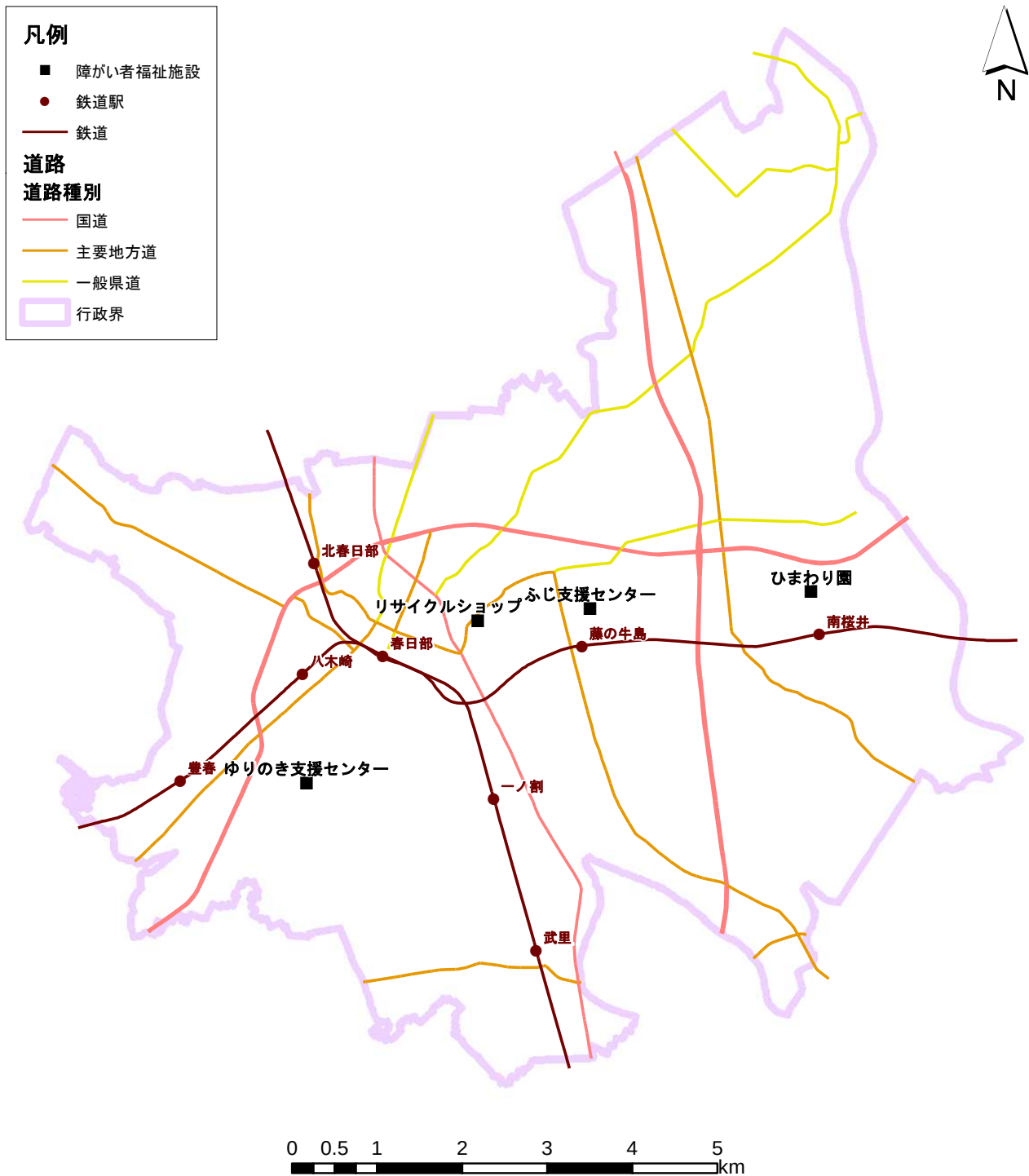


図 3-91 保健福祉系施設位置図（障がい者福祉施設）

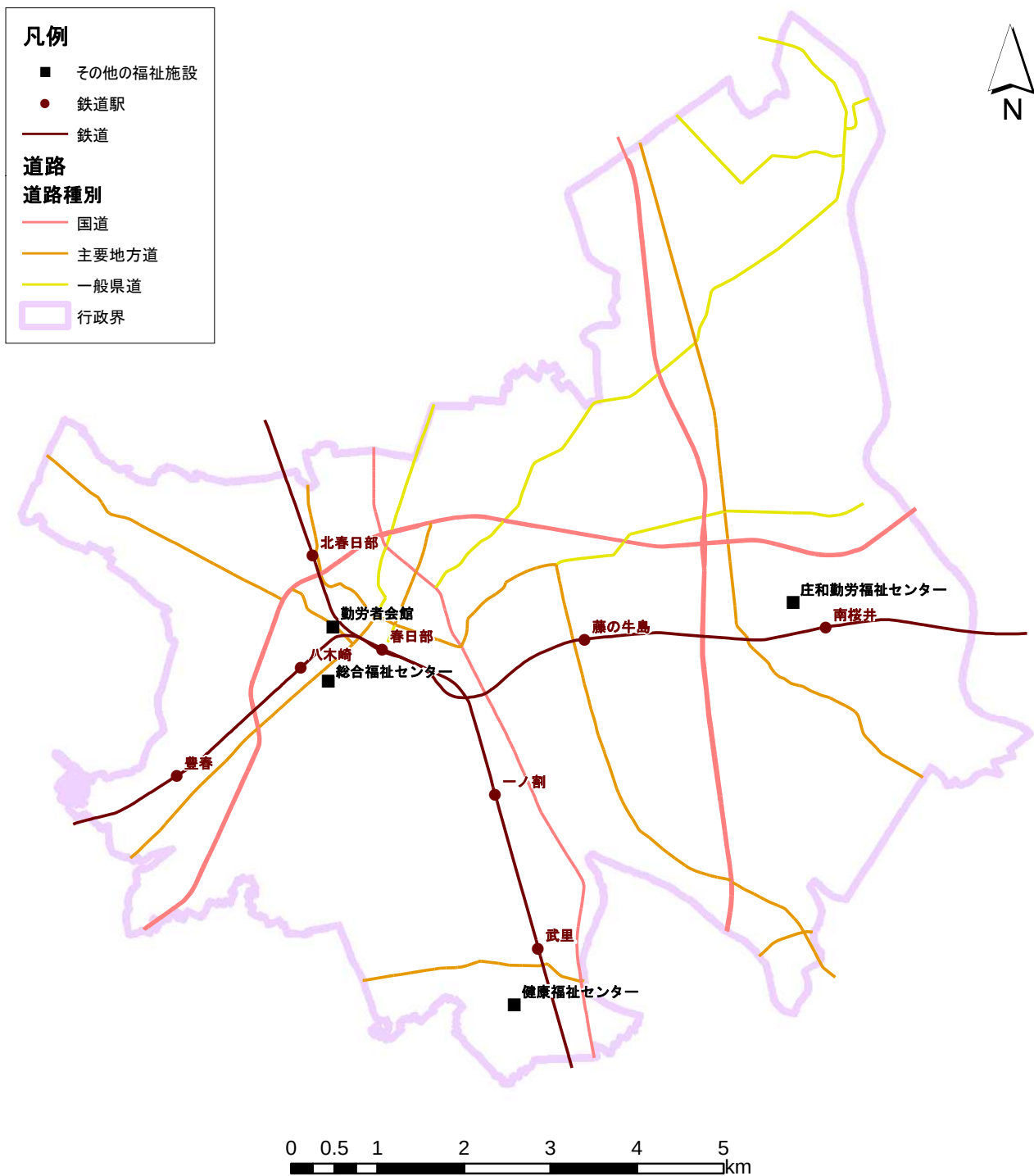
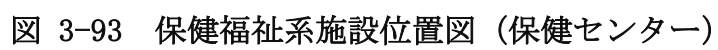


図 3-92 保健福祉系施設位置図（その他の福祉施設）



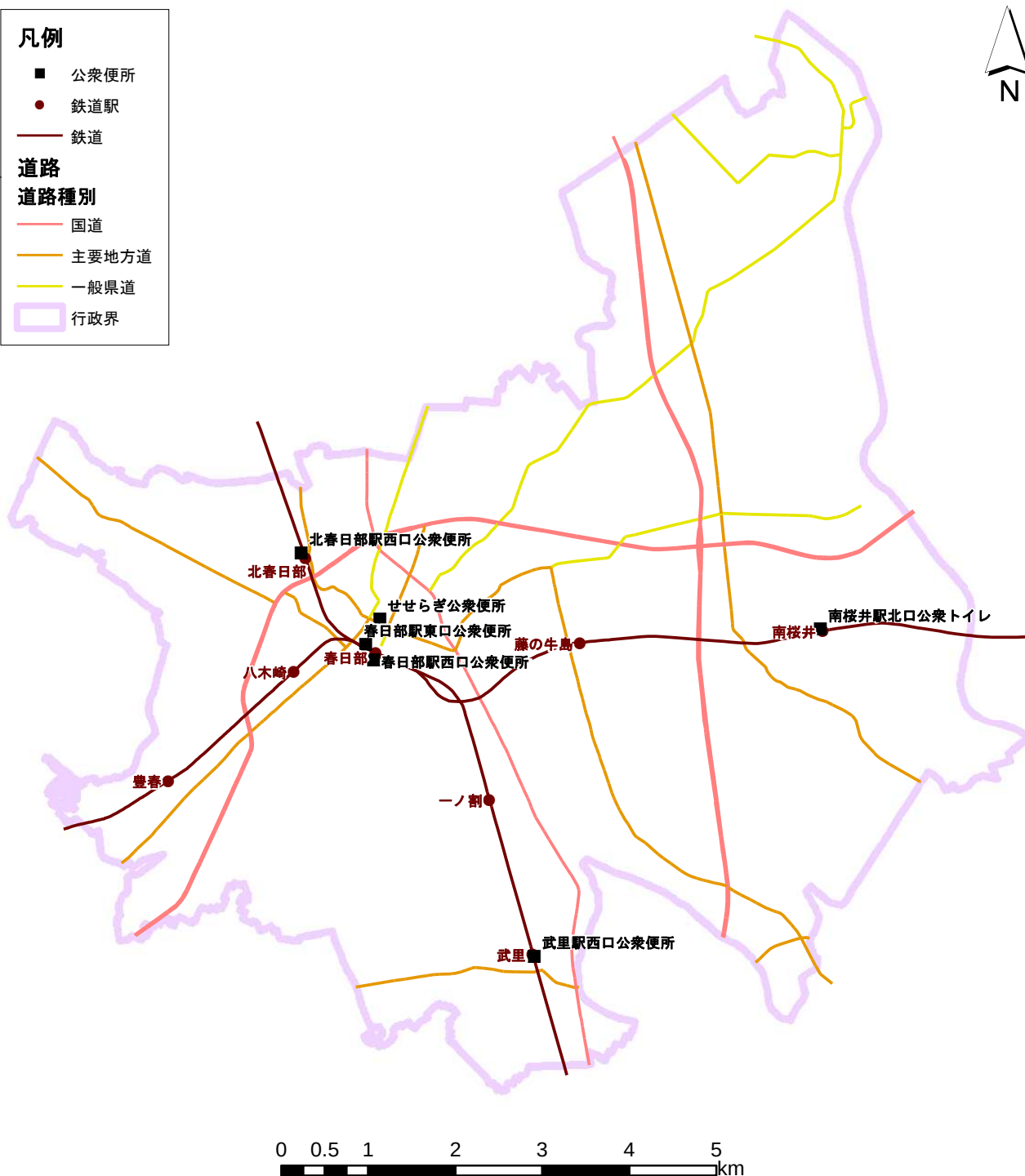
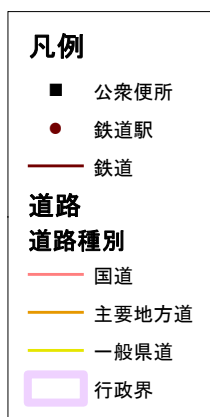


図 3-94 保健福祉系施設位置図（公衆便所）

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

児童福祉施設の延床面積は、40 施設合わせると 17,233 ㎡であり、保健福祉系施設全体の 54.6%を占めています。そのうち第 9 保育所が 1,736 ㎡で保健福祉系施設全体の 5.5%を占めています。

高齢者福祉施設の延床面積は、6 施設を合わせると 3,516 ㎡であり、保健福祉系施設全体の 11.1%を占めています。そのうち高齢者福祉センター寿楽荘が 1,088 ㎡で保健福祉系施設全体の 3.4%を占めています。

障がい者福祉施設の延床面積は、4 施設を合わせると 1,571 ㎡であり、保健福祉系施設全体の 5.0%を占めています。そのうちリサイクルショップが 544 ㎡で、保健福祉系施設全体の 1.7%を占めています。

その他の福祉施設の延床面積は、4 施設を合わせると 6,381 ㎡であり、保健福祉系施設全体の 20.2%を占めています。そのうち総合福祉センターが 2,997 ㎡で保健福祉系施設全体の 9.5%を占めています。

保健センターの延床面積は、2 施設を合わせると 2,660 ㎡であり、保健福祉系施設全体の 8.4%を占めています。そのうち春日部市保健センターが 1,800 ㎡で、保健福祉系施設全体の 5.7%を占めています。

公衆便所の延床面積は、6 施設を合わせると 185 ㎡であり、保健福祉系施設全体の 0.6%を占めています。

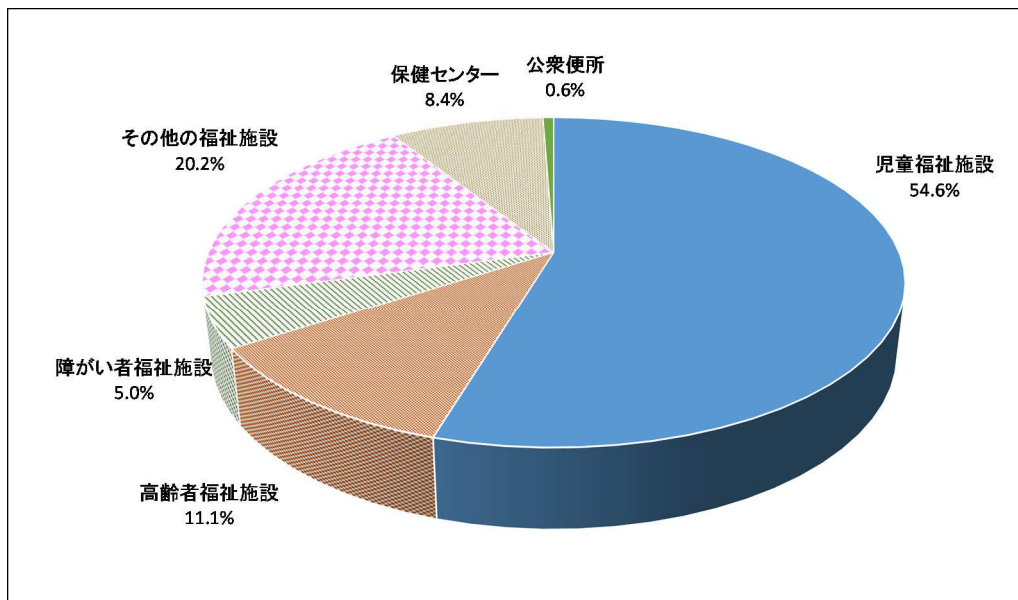


図 3-95 保健福祉系施設の延床面積の割合

表 3-77 保健福祉系施設の延床面積の状況（児童福祉施設）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
児童福祉施設	武里南保育所	1,078	3.4
	第1保育所	422	1.3
	第3保育所	858	2.7
	第4保育所	729	2.3
	第5保育所	690	2.2
	第6保育所	735	2.3
	第7保育所	684	2.2
	第8保育所	702	2.2
	第9保育所	1,736	5.5
	庄和第1保育所	1,012	3.2
	庄和第2保育所	540	1.7
	粕壁放課後児童クラブ1, 2	168	0.5
	内牧放課後児童クラブ	100	0.3
	豊春放課後児童クラブ1, 2	183	0.6
	武里放課後児童クラブ	170	0.5
	幸松放課後児童クラブ1, 2	195	0.6
	豊野放課後児童クラブ	126	0.4
	備後放課後児童クラブ	146	0.5
	八木崎放課後児童クラブ1, 2	146	0.5
	牛島放課後児童クラブ	126	0.4
	緑放課後児童クラブ	149	0.5
	上沖放課後児童クラブ1	146	0.5
	上沖放課後児童クラブ2	159	0.5
	正善放課後児童クラブ	126	0.4
	立野放課後児童クラブ1, 2	161	0.5
	宮川放課後児童クラブ	63	0.2
	藤塚放課後児童クラブ	126	0.4
	小瀬放課後児童クラブ	126	0.4
	武里南放課後児童クラブ	170	0.5
	武里西放課後児童クラブ1, 2	169	0.5
	南桜井放課後児童クラブ	106	0.3
	川辺放課後児童クラブ1, 2	128	0.4
	桜川放課後児童クラブ1, 2	221	0.7
	中野放課後児童クラブ	64	0.2
	ふじ学園	500	1.6
	春日部第1児童センター	1,201	3.8
	春日部第2児童センター	1,491	4.7
	庄和児童センター	878	2.8
	春日部子育て支援センター	452	1.4
	庄和子育て支援センター	251	0.8
合計		17,233	54.6

表 3-78 保健福祉系施設の延床面積の状況（高齢者福祉施設）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
高齢者福祉施設	高齢者福祉センター幸楽荘	972	3.1
	高齢者福祉センター寿楽荘	1,088	3.4
	薬師沼憩いの家	346	1.1
	大池憩いの家	650	2.1
	大枝高齢者憩いの家	100	0.3
	庄和高齢者憩いの家	361	1.1
	合計	3,516	11.1

表 3-79 保健福祉系施設の延床面積の状況（障がい者福祉施設）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
障がい者福祉施設	リサイクルショップ	544	1.7
	ふじ支援センター	373	1.2
	ゆりのき支援センター	383	1.2
	ひまわり園	271	0.9
合計		1,571	5.0

表 3-80 保健福祉系施設の延床面積の状況（その他の福祉施設）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
その他の福祉施設	総合福祉センター	2,997	9.5
	勤労者会館	624	2.0
	庄和勤労福祉センター	652	2.1
	健康福祉センター	2,107	6.7
合計		6,381	20.2

表 3-81 保健福祉系施設の延床面積の状況（保健センター）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
保健センター	春日部市保健センター	1,800	5.7
	庄和保健センター	860	2.7
合計		2,660	8.4

表 3-82 保健福祉系施設の延床面積の状況（公衆便所）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
公衆便所	せせらぎ公衆便所	17	0.1
	春日部駅西口公衆便所	24	0.1
	春日部駅東口公衆便所	42	0.1
	南桜井駅北口公衆トイレ	40	0.1
	武里駅西口公衆便所	28	0.1
	北春日部駅西口公衆便所	35	0.1
	合計	185	0.6

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

保健福祉系施設を建築年別にみると、24 施設が旧耐震基準で建築後 33 年以上経過しています。

庄和児童センター、川辺放課後児童クラブ 1, 2、高齢者福祉センター寿楽荘等は防災拠点、中野放課後児童クラブ、大枝高齢者憩いの家、総合福祉センター、等は避難場所に指定されており、防災上重要な施設となっています。

表 3-83 保健福祉系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（児童福祉施設）

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
児童福祉施設	武里南保育所	平27	0	S	-	-	無
	第1保育所	昭41	49	RC	-	-	有
	第3保育所	昭44	46	S	-	-	有
	第4保育所	昭46	44	S	-	-	有
	第5保育所	昭47	43	S	-	-	有
	第6保育所	昭48	42	S	-	-	有
	第7保育所	昭49	41	S	-	-	有
	第8保育所	昭49	41	S	-	-	有
	第9保育所	平21	6	S	-	-	無
	庄和第1保育所	平18	9	W	-	-	無
	庄和第2保育所	昭50	40	W	-	-	有
	粕壁放課後児童クラブ1, 2	平14	13	S	-	○	無
	内牧放課後児童クラブ	平10	17	S	○	○	無
	豊春放課後児童クラブ1, 2	平10	17	S	-	○	無
	武里放課後児童クラブ	平18	9	S	-	-	無
	幸松放課後児童クラブ1, 2	平10	17	S	-	○	無
	豊野放課後児童クラブ	昭48	42	RC	-	○	有
	備後放課後児童クラブ	平25	2	W	-	○	無
	八木崎放課後児童クラブ1, 2	平10	17	S	-	○	無
	牛島放課後児童クラブ	昭50	40	RC	-	○	有
	緑放課後児童クラブ	平13	14	S	-	○	無
	上沖放課後児童クラブ1	平10	17	S	-	○	無
	上沖放課後児童クラブ2	平22	5	W	-	○	無
	正善放課後児童クラブ	昭51	39	RC	-	○	有
	立野放課後児童クラブ1, 2	平10	17	S	-	○	無
	宮川放課後児童クラブ	昭53	37	RC	-	○	有
	藤塚放課後児童クラブ	昭54	36	RC	-	○	有
	小淵放課後児童クラブ	昭55	35	RC	-	○	有
	武里南放課後児童クラブ	平15	12	S	-	○	無
	武里西放課後児童クラブ1, 2	平15	12	S	-	○	無
	南桜井放課後児童クラブ	平13	14	S	-	-	無
	川辺放課後児童クラブ1, 2	昭52	38	RC	○	○	有
	桜川放課後児童クラブ1, 2	平20	7	S	○	○	無
	中野放課後児童クラブ	昭54	36	RC	-	○	有
	ふじ学園	昭49	41	S	-	-	有
	春日部第1児童センター	平16	11	RC	-	-	無
	春日部第2児童センター	平21	6	S	-	-	無
	庄和児童センター	平03	24	RC 一部SRC	◎	-	無
	春日部子育て支援センター	平21	6	S	-	-	無
	庄和子育て支援センター	平18	9	W	-	-	無
平均		-	24	-	-	-	-

※武里南保育所は平成 27 年 4 月開所

※第 1 保育所は平成 27 年 3 月閉所

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、一該当せず
避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、一該当せず

表 3-84 保健福祉系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（高齢者福祉施設）

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
高齢者福祉施設	高齢者福祉センター幸楽荘	昭49	41	RC	-	-	有
	高齢者福祉センター寿楽荘	昭61	29	SRC RC 一部S	◎	○	無
	薬師沼憩いの家	昭61	29	W	-	○	無
	大池憩いの家	平02	25	RC	-	○	無
	大枝高齢者憩いの家	昭50	40	RC	-	○	有
	庄和高齢者憩いの家	昭49	41	W	-	-	有
平均		-	34	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

表 3-85 保健福祉系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（障がい者福祉施設）

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
障がい者福祉施設	リサイクルショップ	昭46	44	S	-	-	有
	ふじ支援センター	昭58	32	S	-	-	無
	ゆりのき支援センター	平元	26	S	-	-	無
	ひまわり園	平10	17	S	-	-	無
平均		-	30	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

表 3-86 保健福祉系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（その他の福祉施設）

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
その他の福祉施設	総合福祉センター	平10	17	RC	-	○	無
	勤労者会館	昭46	44	RC	-	-	有
	庄和勤労福祉センター	昭60	30	RC	-	○	無
	健康福祉センター	平11	16	RC 一部SRC	-	○	無
平均		-	27	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

表 3-87 保健福祉系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（保健センター）

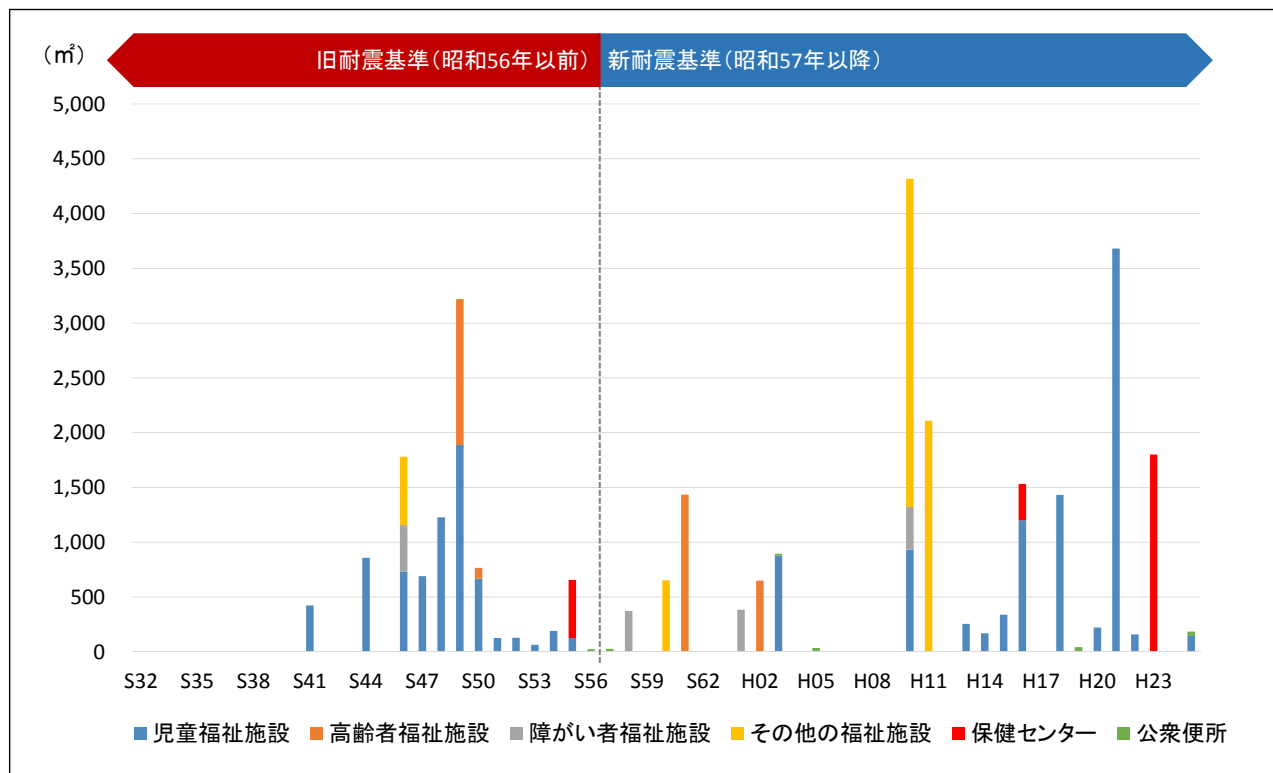
分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
保健センター	春日部市保健センター	平23	4	S造 一部W	-	-	無
	庄和保健センター	昭55	35	RC、S	-	-	有
	平均	-	20	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

表 3-88 保健福祉系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（公衆便所）

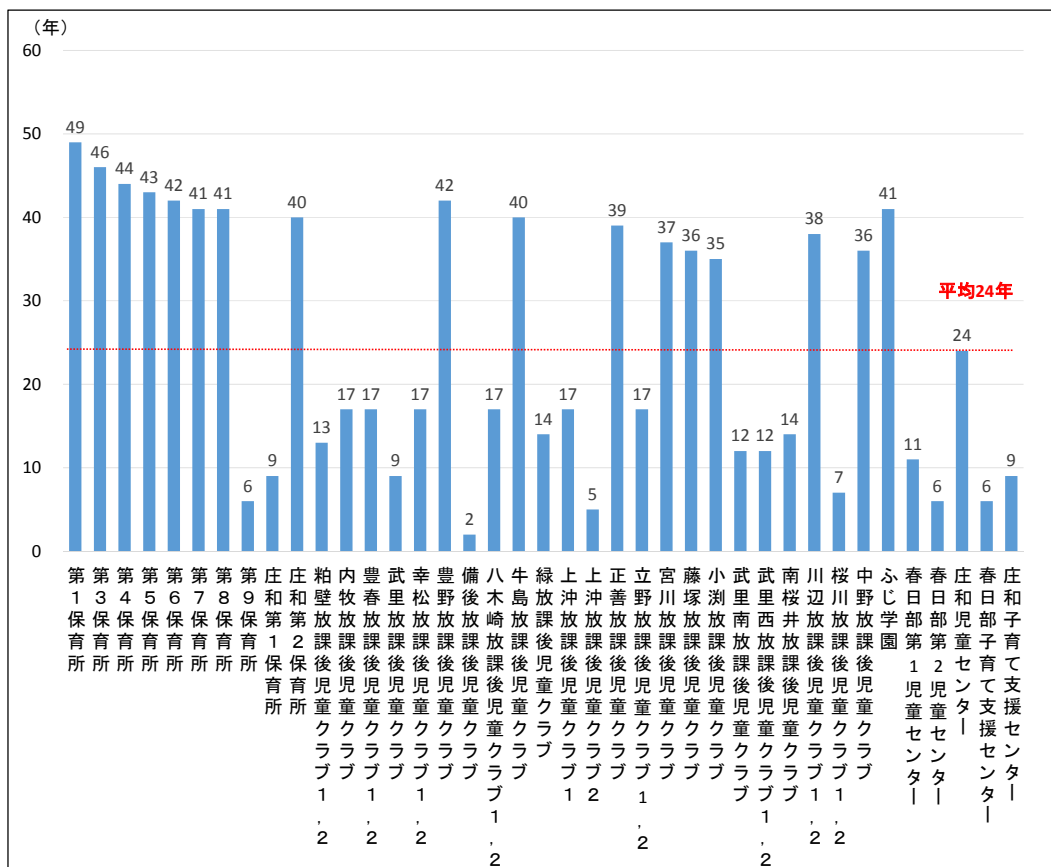
分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
公衆便所	せせらぎ公衆便所	平03	24	W	-	-	無
	春日部駅西口公衆便所	昭56	34	CB	-	-	有
	春日部駅東口公衆便所	平19	8	S	-	-	無
	南桜井駅北口公衆トイレ	平25	2	S	-	-	無
	武里駅西口公衆便所	昭57	33	CB	-	-	無
	北春日部駅西口公衆便所	平05	22	S	-	-	無
	平均	-	21	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず



※H27 の値は、平成 27 年開所の武里南保育所

図 3-96 保健福祉系施設の建築年別の延床面積



※武里南保育所は平成27年4月開所のため、対象外としています。

図 3-97 保健福祉系施設の建築物の経過年数（児童福祉施設）

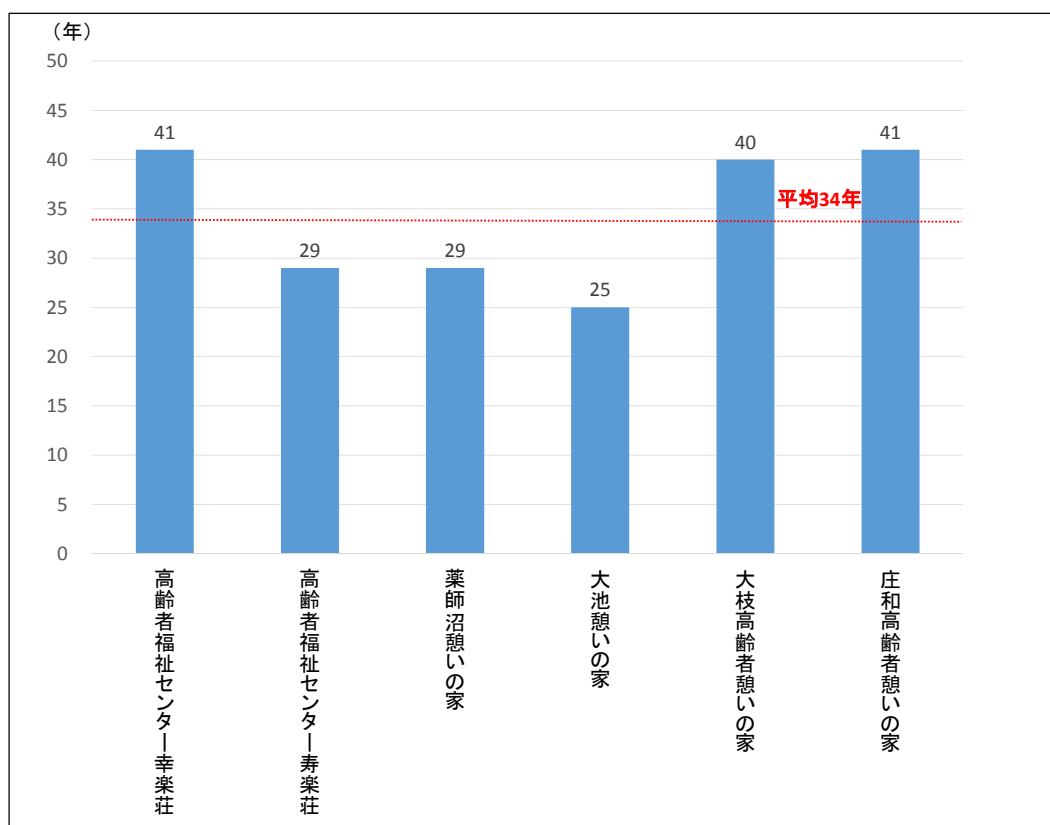


図 3-98 保健福祉系施設の建築物の経過年数（高齢者福祉施設）

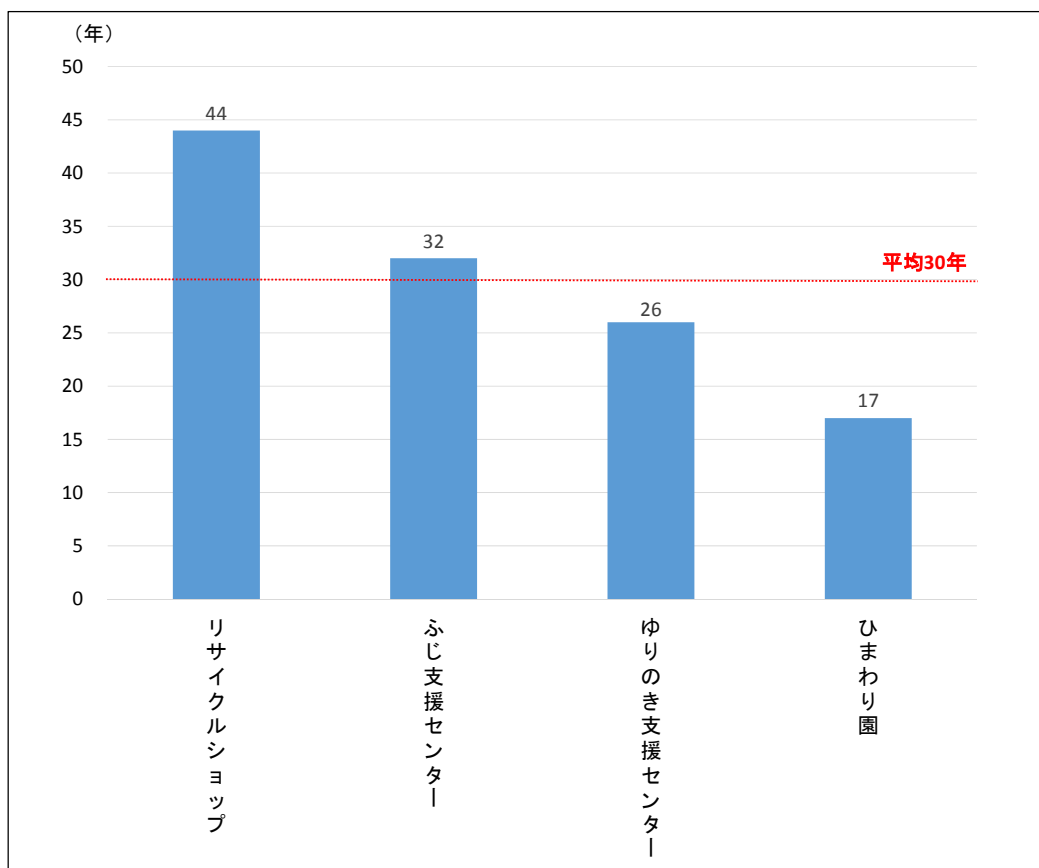


図 3-99 保健福祉系施設の建築物の経過年数（障がい者福祉施設）

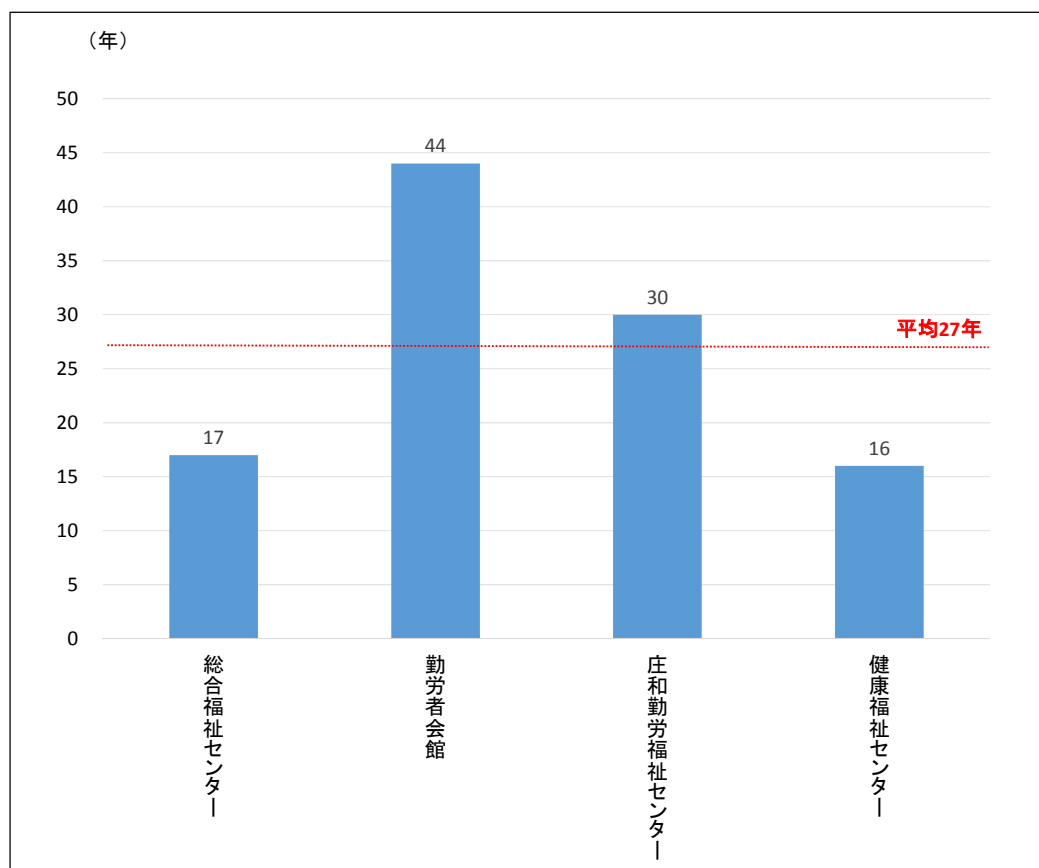


図 3-100 保健福祉系施設の建築物の経過年数（その他の福祉施設）

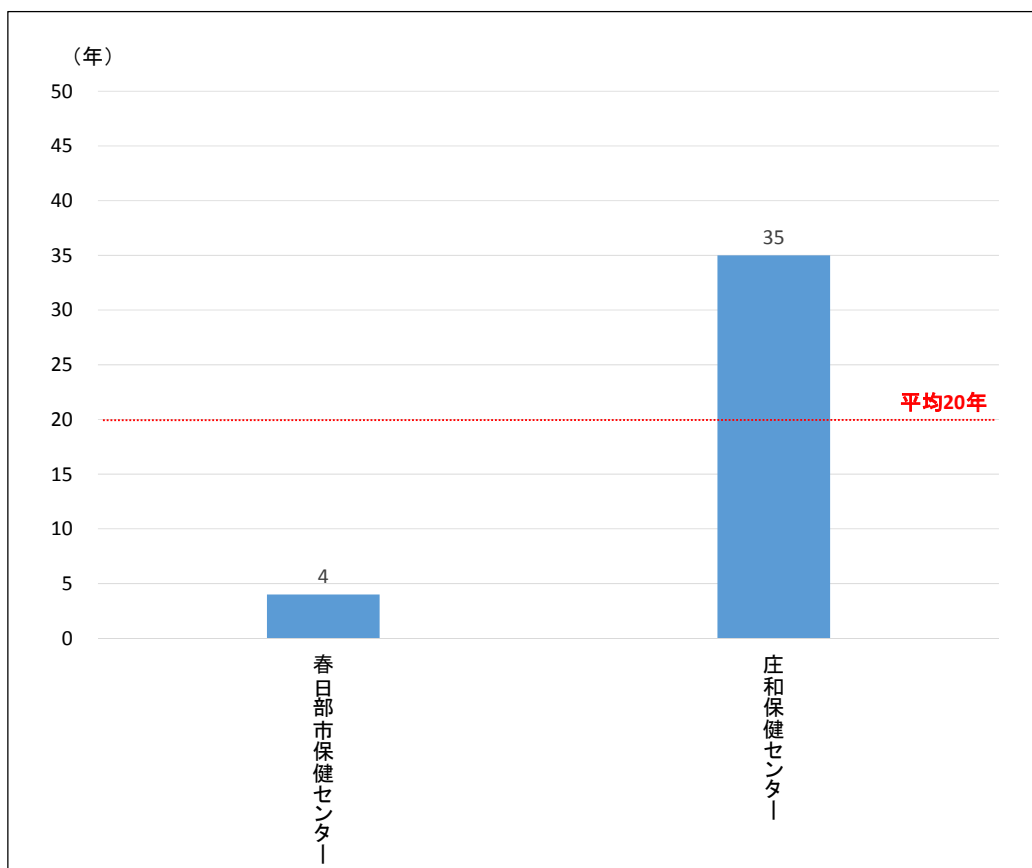


図 3-101 保健福祉系施設の建築物の経過年数（保健センター）

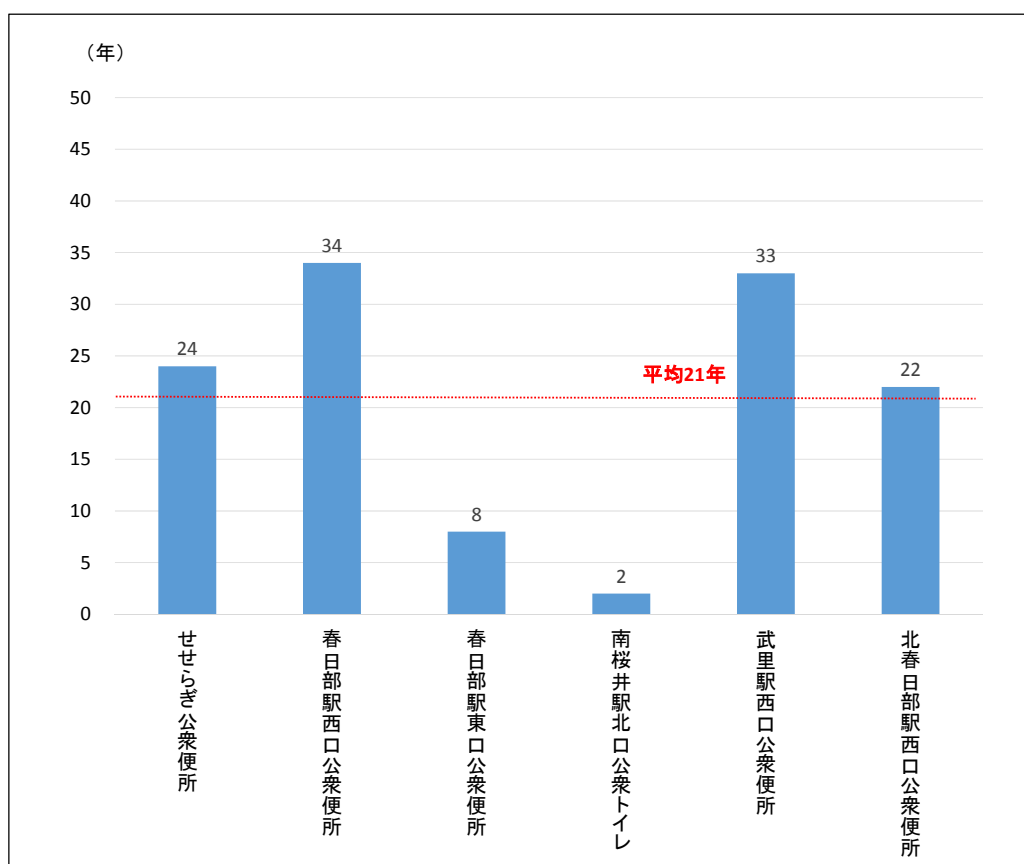


図 3-102 保健福祉系施設の建築物の経過年数（公衆便所）

iii) 利用状況

児童福祉施設の3か年平均の利用者数は、保育所は約800人（児童数）、児童センター及び子育て支援センターは約30万500人（年間利用者数）となっています。各分類で平成25年度の利用者数が最も多いのは、保育所では第4保育所の103人、児童クラブでは八木崎放課後児童クラブ1, 2の88人、児童センターでは、春日部第1児童センターの約12万4,700人、子育て支援センターでは春日部子育て支援センターの約2万100人となっています。

高齢者福祉施設の3か年平均の利用者数（年間利用者数）は約14万6,100人であり、平成25年度の利用者数が最も多いのは高齢者福祉センター寿楽荘の約4万5,000人となっています。

障がい者福祉施設の3か年平均の利用者数（通園者数）は93人であり、平成25年度の通園者数が最も多いのは、ゆりのき支援センターの28人となっています。

その他の福祉施設の3か年平均の利用者数（年間利用者数）は約10万4,300人であり、平成25年度の利用者数が最も多いのは、庄和勤労福祉センターの約3万2,000人となっています。

保健センターの3か年平均の利用者数（年間利用者数）は約2万1,400人であり、平成25年度の利用者数が最も多いのは、春日部市保健センターの約1万6,400人となっています。

公衆便所は、不特定多数の人に利用されています。

表 3-89 保健福祉系施設の利用者数の推移（児童福祉施設）

分類		利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3か年平均 (人)
児童福祉施設	保育所	839	818	809	822
	児童クラブ等	1,286	1,256	1,354	—
	児童センター、支援センター	288,175	308,644	304,538	300,452
合計		290,300	310,718	306,701	—

※児童クラブ等・合計の3か年平均は除外している施設があるため、「—」で表記しています。

表 3-90 保健福祉系施設の利用者数の推移（児童福祉施設 保育所、児童クラブ等）

分類	名称	児童数等			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3か年平均 (人)
児童福祉施設	武里南保育所	—	—	—	—
	第1保育所	88	91	86	88
	第3保育所	98	89	96	94
	第4保育所	103	100	103	102
	第5保育所	97	100	96	98
	第6保育所	65	59	57	60
	第7保育所	66	66	62	65
	第8保育所	49	50	52	50
	第9保育所	97	104	99	100
	庄和第1保育所	99	94	95	96
	庄和第2保育所	77	65	63	68
	粕壁放課後児童クラブ1, 2	79	79	80	79
	内牧放課後児童クラブ	53	52	58	54
	豊春放課後児童クラブ1, 2	68	64	72	68
	武里放課後児童クラブ	47	40	46	44
	幸松放課後児童クラブ1, 2	72	68	68	69
	豊野放課後児童クラブ	53	51	49	51
	備後放課後児童クラブ	—	—	30	—
	八木崎放課後児童クラブ1, 2	92	88	88	89
	牛島放課後児童クラブ	43	43	58	48
	緑放課後児童クラブ	56	48	51	52
	上沖放課後児童クラブ1	44	42	41	42
	上沖放課後児童クラブ2	45	42	41	43
	正善放課後児童クラブ	66	65	70	67
	立野放課後児童クラブ1, 2	56	69	70	65
	宮川放課後児童クラブ	32	34	50	39
	藤塚放課後児童クラブ	40	40	39	40
	小淵放課後児童クラブ	53	54	53	53
	武里南放課後児童クラブ	49	59	62	57
	武里西放課後児童クラブ1, 2	81	69	80	77
	南桜井放課後児童クラブ	44	44	44	44
	川辺放課後児童クラブ1, 2	64	72	68	68
	桜川放課後児童クラブ1, 2	87	69	68	75
	中野放課後児童クラブ	37	39	42	39
	ふじ学園	25	25	26	25
合計		2,125	2,074	2,163	—

※保育所、児童クラブは児童数、ふじ学園は通所者数を計上しています。

※武里南保育所は平成27年4月開所のため、「—」で表記しています。

※備後放課後児童クラブは平成25年4月開所のため、平成23年度、平成24年度、3か年平均を「—」で表記しています。

※合計の3か年平均は除外している施設があるため、「—」で表記しています。

表 3-91 保健福祉系施設の利用者数の推移
(児童福祉施設 児童センター、子育て支援センター)

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
児童福祉施設	春日部第1児童センター	126,681	131,050	124,703	127,478
	春日部第2児童センター	82,486	90,029	93,277	88,597
	庄和児童センター	51,229	59,031	60,046	56,769
	春日部子育て支援センター	20,026	20,854	20,081	20,320
	庄和子育て支援センター	7,753	7,680	6,431	7,288
合計		288,175	308,644	304,538	300,452

※児童センター、子育て支援センターは年間利用者数を計上しています。

表 3-92 保健福祉系施設の利用者数の推移 (高齢者福祉施設)

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
高齢者福祉施設	高齢者福祉センター幸楽荘	22,860	20,706	20,234	21,267
	高齢者福祉センター寿楽荘	47,282	46,586	44,964	46,277
	薬師沼憩いの家	20,642	20,693	19,458	20,264
	大池憩いの家	38,290	44,447	44,677	42,471
	大枝高齢者憩いの家	4,547	4,538	4,060	4,382
	庄和高齢者憩いの家	11,582	11,963	10,828	11,458
合計		145,203	148,933	144,221	146,119

※高齢者福祉施設は年間利用者数を計上しています。

表 3-93 保健福祉系施設の利用者数の推移 (障がい者福祉施設)

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
障がい者福祉施設	リサイクルショップ	16	19	19	18
	ふじ支援センター	26	27	27	27
	ゆりのき支援センター	28	28	28	28
	ひまわり園	20	20	21	20
合計		90	94	95	93

※障がい者福祉施設は通園者数を計上しています。

表 3-94 保健福祉系施設の利用者数の推移 (その他の福祉施設)

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
その他の福祉施設	総合福祉センター	33,479	32,492	29,633	31,868
	勤労者会館	24,136	24,254	24,137	24,176
	庄和勤労福祉センター	34,344	30,607	31,058	32,003
	健康福祉センター	18,882	15,059	14,928	16,290
合計		110,841	102,412	99,756	104,336

※その他の福祉施設は年間利用者数を計上しています。

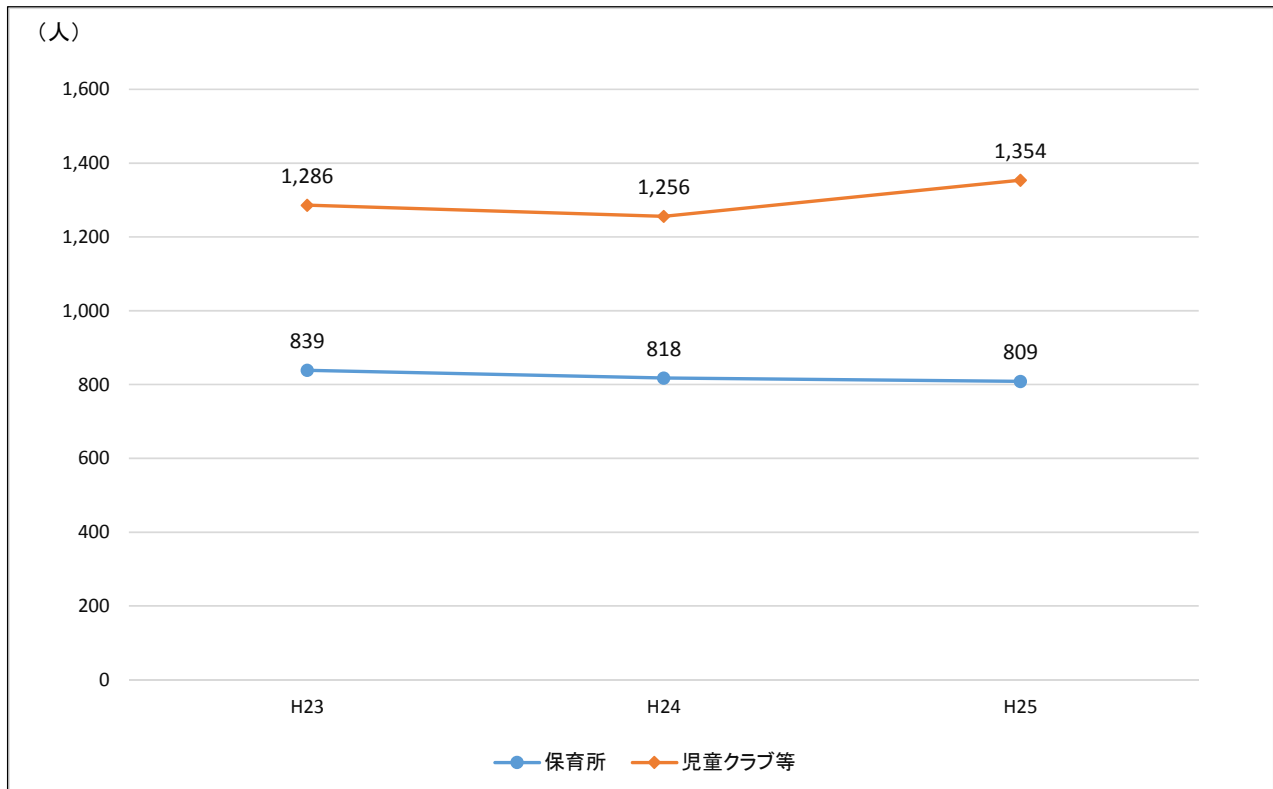
表 3-95 保健福祉系施設の利用者数の推移（保健センター）

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	2か年平均 (人)
保健センター	春日部市保健センター	7,078	18,501	16,378	17,440
	庄和保健センター	4,232	4,122	3,804	3,963
合計		11,310	22,623	20,182	21,403

※保健センターは年間利用者数を計上しています。

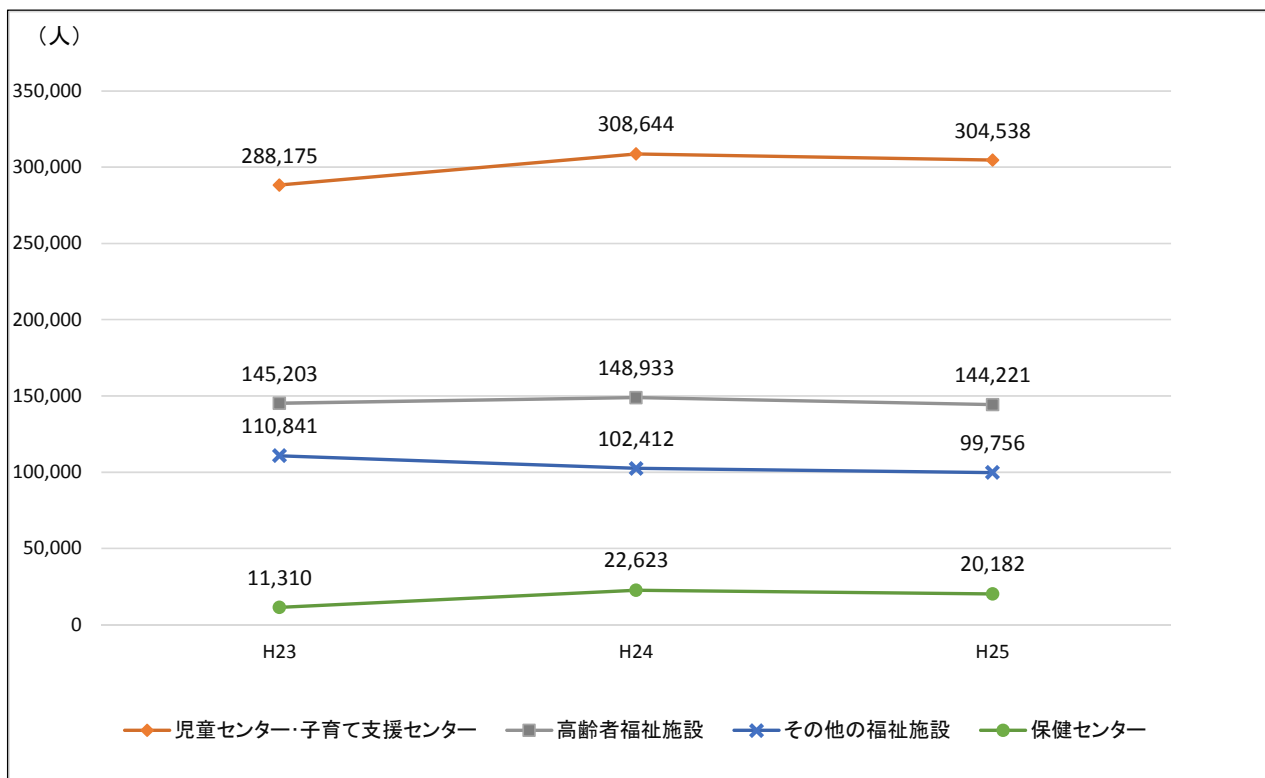
※平成 23 年度における春日部市保健センターの利用者数は、開所後の 11 月以降の人数のため、平均利用者数は、平成 24 年度、平成 25 年度の 2 時点の平均としています。

※合計の 2 か年平均は、平成 24 年度、平成 25 年度の 2 時点の平均としています。



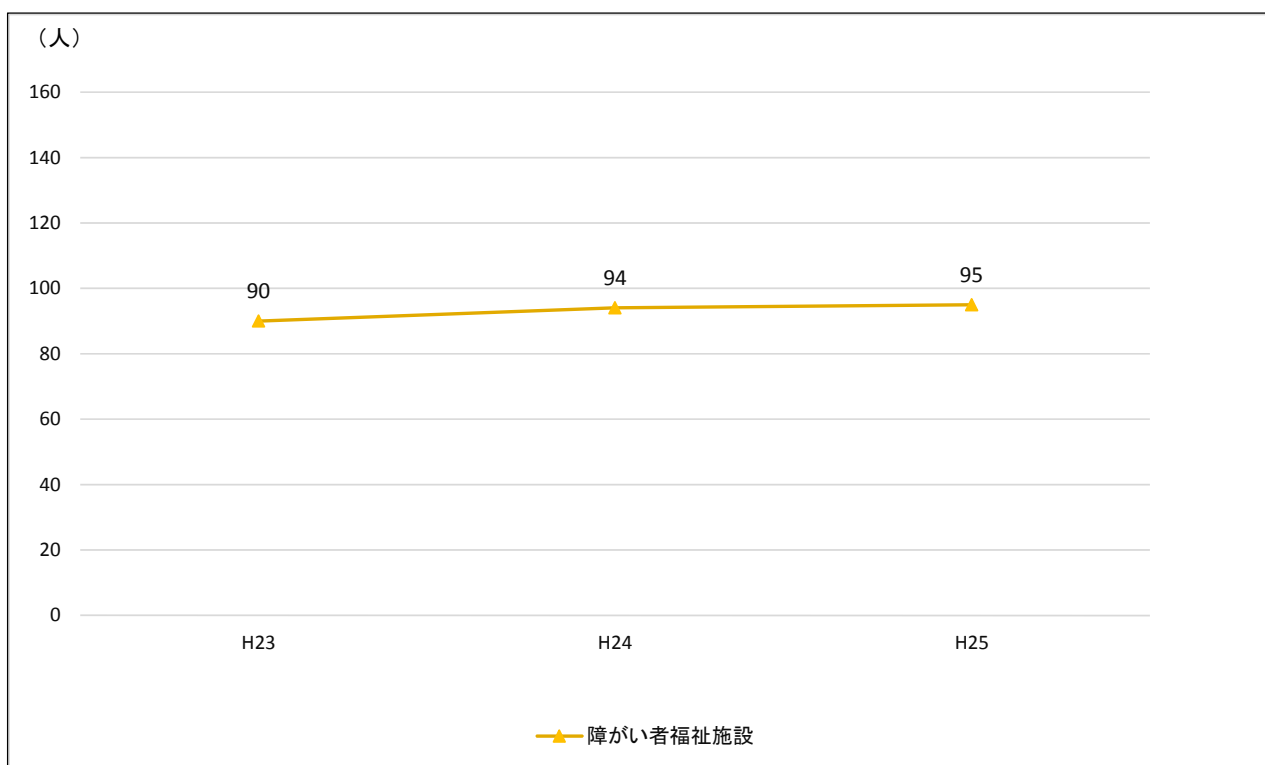
※利用状況を考慮し、「児童数等を計上している施設」及び「年間利用者数を計上している施設」を分けてグラフに示しています。
 ※児童数等を計上している施設：保育所、児童クラブ等（ふじ学園を含む）

図 3-103 保健福祉系施設の利用者数の推移



※利用状況を考慮し、「児童数等を計上している施設」及び「年間利用者数を計上している施設」を分けてグラフに示しています。
 ※利用者数等を計上している施設：児童センター・子育て支援センター、高齢者福祉施設、その他の福祉施設、保健センター

図 3-104 保健福祉系施設の利用者数の推移



※利用状況を考慮し、「通園者を計上している施設」を分けてグラフに示しています。
 ※通園者数を計上している施設：障がい者福祉施設

図 3-105 保健福祉系施設の通園者数の推移

iv) 運営状況

保健福祉系施設の運用状況をみると、開館日数は公衆便所が 365 日となっています。その他の施設は 229 日から 359 日と施設によって違いがあります。

利用可能時間は公衆便所が 24 時間で、その他の施設は 5 時間から 12 時間 30 分と開館日数と同様に施設によって違いがあります。

表 3-96 保健福祉系施設の運営状況（児童福祉施設）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
児童福祉施設	武里南保育所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第1保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	7.0	5.0	12.0	0.0	0.0	0.0
	第3保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	第4保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	9.0	12.0	21.0	0.0	0.0	0.0
	第5保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	11.0	9.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	第6保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	9.0	6.0	15.0	0.0	0.0	0.0
	第7保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	8.0	7.0	15.0	0.0	0.0	0.0
	第8保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	7.0	9.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	第9保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	0.0	0.0	0.0	14.0	4.0	18.0
	庄和第1保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	0.0	0.0	0.0	24.0	2.0	26.0
	庄和第2保育所	294	7:00	19:00	12時間00分	9.0	5.0	14.0	0.0	0.0	0.0
	粕壁放課後児童クラブ1, 2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0
	内牧放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	6.0
	豊春放課後児童クラブ1, 2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0
	武里放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	7.0
	幸松放課後児童クラブ1, 2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	7.0
	豊野放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	6.0
	備後放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	八木崎放課後児童クラブ1, 2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0
	牛島放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	6.0
	緑放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	7.0
	上沖放課後児童クラブ1	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	上沖放課後児童クラブ2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	正善放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	7.0
	立野放課後児童クラブ1, 2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0
	宮川放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	6.0
	藤塚放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	小淵放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	7.0
	武里南放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0
	武里西放課後児童クラブ1, 2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0
	南桜井放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	川辺放課後児童クラブ1, 2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0
	桜川放課後児童クラブ1, 2	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0
	中野放課後児童クラブ	294	11:30	18:30	7時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	ふじ学園	229	10:00	15:00	5時間00分	10.0	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0
	春日部第1児童センター	358	10:00	18:00	8時間00分	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	12.0
	春日部第2児童センター	359	10:00	20:00	10時間00分	0.0	0.0	0.0	7.0	6.0	13.0
	庄和児童センター	358	10:00	18:00	8時間00分	0.0	0.0	0.0	8.0	3.0	11.0
	春日部子育て支援センター	294	8:30	17:15	8時間45分	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	3.0
	庄和子育て支援センター	294	8:30	17:15	8時間45分	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	3.0
合計		11,594	-	-	-	80.0	68.0	148.0	68.0	174.0	242.0

※職員数(直営)及び(指定管理者)の値は平成 25 年度時点のものです。

※武里南保育所は平成 27 年 4 月開所のため、「-」で表記しています。

表 3-97 保健福祉系施設の運営状況（高齢者福祉施設）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
高齢者福祉施設	高齢者福祉センター幸楽荘	293	9:00	16:30	7時間30分	0.3	1.0	1.3	0.0	0.0	0.0
	高齢者福祉センター寿楽荘	291	9:00	16:30	7時間30分	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	薬師沼憩いの家	293	9:00	16:30	7時間30分	0.2	1.0	1.2	0.0	0.0	0.0
	大池憩いの家	293	9:00	16:30	7時間30分	0.2	1.0	1.2	0.0	0.0	0.0
	大枝高齢者憩いの家	293	9:00	16:30	7時間30分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	庄和高齢者憩いの家	294	9:00	16:30	7時間30分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
合計		1,757	-	-	-	1.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0

※職員数（直営）及び（指定管理者）の値は平成25年度時点のものです。

表 3-98 保健福祉系施設の運営状況（障がい者福祉施設）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
障がい者福祉施設	リサイクルショップ	333	9:00	16:00	7時間00分	3.0	2.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	ふじ支援センター	246	9:00	16:00	7時間00分	0.0	0.0	0.0	5.0	4.0	9.0
	ゆりのき支援センター	246	9:00	16:00	7時間00分	0.0	0.0	0.0	5.0	3.0	8.0
	ひまわり園	246	9:00	16:00	7時間00分	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	8.0
合計		1,071	-	-	-	3.0	2.0	5.0	13.0	12.0	25.0

※職員数（直営）及び（指定管理者）の値は平成25年度時点のものです。

表 3-99 保健福祉系施設の運営状況（その他の福祉施設）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
その他の福祉施設	総合福祉センター	343	8:30	17:00	8時間30分	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	勤労者会館	343	9:00	20:30	11時間30分	2.0	1.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	庄和勤労福祉センター	335	8:30	21:00	12時間30分	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	健康福祉センター	343	8:30	17:00	8時間30分	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
合計		1,364	-	-	-	4.0	3.0	7.0	0.0	0.0	0.0

※職員数（直営）及び（指定管理者）の値は平成25年度時点のものです。

表 3-100 保健福祉系施設の運営状況（保健センター）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
保健センター	春日部市保健センター	345	8:30	17:15	8時間45分	25.0	5.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	庄和保健センター	244	8:30	17:15	8時間45分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		589	-	-	-	25.0	5.0	30.0	0.0	0.0	0.0

※職員数（直営）及び（指定管理者）の値は平成25年度時点のものです。

表 3-101 保健福祉系施設の運営状況（公衆便所）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
公衆便所	せせらぎ公衆便所	365	0:00	24:00	24時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	春日部駅西口公衆便所	365	0:00	24:00	24時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	春日部駅東口公衆便所	365	0:00	24:00	24時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	南桜井駅北口公衆トイレ	365	0:00	24:00	24時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	武里駅西口公衆便所	365	0:00	24:00	24時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	北春日部駅西口公衆便所	365	0:00	24:00	24時間00分	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
合計		2,190	-	-	-	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0

※職員数（直営）及び（指定管理者）の値は平成25年度時点のものです。

v) コスト状況

保健福祉系施設の単位床面積当たりのコストをみると、保健福祉系施設全体の平均は約 6 万 200 円/㎡となっており、児童福祉施設及び保健センターが平均を上回っています。

保健福祉系施設の日当たりのコストは、保健福祉系施設全体の平均で約 9 万 8,800 円/日となっており、児童福祉施設及び保健センターが平均を上回っています。

保健福祉系施設の利用者一人当たりのコストは、児童福祉施設のうち、保育所は約 100 万 3,830 円/人、児童クラブ等は約 28 万 9,320 円/人、児童センター、子育て支援センターは約 630 円/人となっています。また、高齢者福祉施設は約 480 円/人、障がい者福祉施設は約 49 万 3,740 円/人、その他の福祉施設は約 1,100 円/人、保健センターは約 9,550 円/人となっています。

表 3-102 保健福祉系施設のコスト状況（全体）

分類	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
児童福祉施設	1,396,570	86.4	120.5	4.55
高齢者福祉施設	69,166	19.7	39.4	0.48
障がい者福祉施設	33,086	27.8	40.1	493.74
その他の福祉施設	109,696	17.2	80.4	1.10
保健センター	192,685	72.4	327.1	9.55
公衆便所	8,805	47.7	4.0	-
合計	1,810,008	60.2	98.8	-
平均				

※利用者一人当たりのコストについては、各施設で利用者数の計上方法が異なるため、対象外としています。

表 3-103 保健福祉系施設のコスト状況（児童福祉施設 保育所）

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
児童福祉施設	第1保育所	62,074	147.2	211.1	721.79
	第3保育所	97,978	114.3	333.3	1,020.60
	第4保育所	97,747	134.1	332.5	949.00
	第5保育所	99,585	144.4	338.7	1,037.34
	第6保育所	66,306	90.2	225.5	1,163.26
	第7保育所	70,348	102.8	239.3	1,134.65
	第8保育所	65,949	93.9	224.3	1,268.25
	第9保育所	94,157	54.2	320.3	951.08
	庄和第1保育所	85,350	84.3	290.3	898.42
	庄和第2保育所	72,606	134.5	247.0	1,152.48
	合計	812,100	100.2	276.2	1,003.83
平均					

※保育所の利用者数は児童数を計上しています。

※武里南保育所は平成 27 年 4 月開所のため、対象外としています。

表 3-104 保健福祉系施設のコスト状況（児童福祉施設 児童クラブ等）

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
児童福祉施設	粕壁放課後児童クラブ1, 2	25,053	149.4	85.2	313.16
	内牧放課後児童クラブ	12,760	127.3	43.4	220.01
	豊春放課後児童クラブ1, 2	16,705	91.1	56.8	232.01
	武里放課後児童クラブ	9,687	57.1	33.0	210.60
	幸松放課後児童クラブ1, 2	16,671	85.5	56.7	245.16
	豊野放課後児童クラブ	12,385	98.3	42.1	252.76
	備後放課後児童クラブ	8,578	58.9	29.2	285.93
	八木崎放課後児童クラブ1, 2	21,391	146.1	72.8	243.08
	牛島放課後児童クラブ	12,426	98.6	42.3	214.24
	緑放課後児童クラブ	12,824	86.0	43.6	251.45
	上沖放課後児童クラブ1	8,567	58.6	29.1	208.96
	上沖放課後児童クラブ2	8,616	54.2	29.3	210.15
	正善放課後児童クラブ	12,628	100.2	43.0	180.40
	立野放課後児童クラブ1, 2	21,241	131.7	72.2	303.45
	宮川放課後児童クラブ	12,666	201.0	43.1	253.32
	藤塚放課後児童クラブ	8,305	65.9	28.2	212.95
	小淵放課後児童クラブ	12,368	98.2	42.1	233.36
	武里南放課後児童クラブ	12,840	75.5	43.7	207.10
	武里西放課後児童クラブ1, 2	16,943	100.3	57.6	211.79
	南桜井放課後児童クラブ	8,788	83.0	29.9	199.73
	川辺放課後児童クラブ1, 2	16,894	132.0	57.5	248.44
	桜川放課後児童クラブ1, 2	19,452	88.0	66.2	286.06
	中野放課後児童クラブ	8,395	131.2	28.6	199.88
	ふじ学園	75,551	151.0	329.9	2,905.80
合計		391,735	103.8	56.0	289.32
		平均			

※児童クラブの利用者数は児童数、ふじ学園の利用者は通所者数を計上しています。

表 3-105 保健福祉系施設のコスト状況
(児童福祉施設 児童センター、子育て支援センター)

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
児童福祉施設	春日部第1児童センター	54,612	45.5	152.5	0.44
	春日部第2児童センター	79,110	53.1	220.4	0.85
	庄和児童センター	41,040	46.7	114.6	0.68
	春日部子育て支援センター	8,575	19.0	29.2	0.43
	庄和子育て支援センター	9,396	37.5	32.0	1.46
合計		192,734	45.1	115.9	0.63
		平均			

※児童センター、子育て支援センターの利用者は年間利用者数を計上しています。

表 3-106 保健福祉系施設のコスト状況（高齢者福祉施設）

分類	名称	施設の維持管理・運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
高齢者福祉施設	高齢者福祉センター幸楽荘	19,439	20.0	66.3	0.96
	高齢者福祉センター寿楽荘	8,747	8.0	30.1	0.19
	薬師沼憩いの家	13,866	40.1	47.3	0.71
	大池憩いの家	19,425	29.9	66.3	0.43
	大枝高齢者憩いの家	2,425	24.2	8.3	0.60
	庄和高齢者憩いの家	5,265	14.6	17.9	0.49
合計		69,166	19.7	39.4	0.48
		平均			

※高齢者福祉施設の利用者は年間利用者数を計上しています。

表 3-107 保健福祉系施設のコスト状況（障がい者福祉施設）

分類	名称	施設の維持管理・運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
障がい者福祉施設	リサイクルショップ	33,025	60.7	99.2	1,738.16
	ふじ支援センター	56	0.1	0.2	2.06
	ひまわり園	5	-	-	0.25
合計		33,086	27.8	40.1	493.74
		平均			

※障がい者福祉施設の利用者は通園者数を計上しています。

※ゆりのき支援センターは市の支出が無いため、対象外としています。

※ひまわり園の単位床面積当たりのコスト、一日当たりのコストは微小のため、「-」で表示しています。

表 3-108 保健福祉系施設のコスト状況（その他の福祉施設）

分類	名称	施設の維持管理・運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
その他の福祉施設	総合福祉センター	46,706	15.6	136.2	1.58
	勤労者会館	19,851	31.8	57.9	0.82
	庄和勤労福祉センター	10,097	15.5	30.1	0.33
	健康福祉センター	33,042	15.7	96.3	2.21
合計		109,696	17.2	80.4	1.10
		平均			

※その他の福祉施設の利用者は年間利用者数を計上しています。

表 3-109 保健福祉系施設のコスト状況（保健センター）

分類	名称	施設の維持管理・運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
保健センター	春日部市保健センター	188,123	104.5	545.3	11.49
	庄和保健センター	4,562	5.3	18.7	1.20
合計		192,685	72.4	327.1	9.55
		平均			

※保健センターの利用者は年間利用者数を計上しています。

表 3-110 保健福祉系施設のコスト状況（公衆便所）

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
公衆便所	せせらぎ公衆便所	1,286	77.7	3.5	-
	春日部駅西口公衆便所	1,437	60.0	3.9	-
	春日部駅東口公衆便所	1,961	46.5	5.4	-
	南桜井駅北口公衆トイレ	1,147	29.0	3.1	-
	武里駅西口公衆便所	1,396	50.5	3.8	-
	北春日部駅西口公衆便所	1,578	45.3	4.3	-
合計		8,805	47.7	4.0	-
			平均		

※利用状況の把握が困難なため、利用者一人当たりのコストを「-」で表記しています。

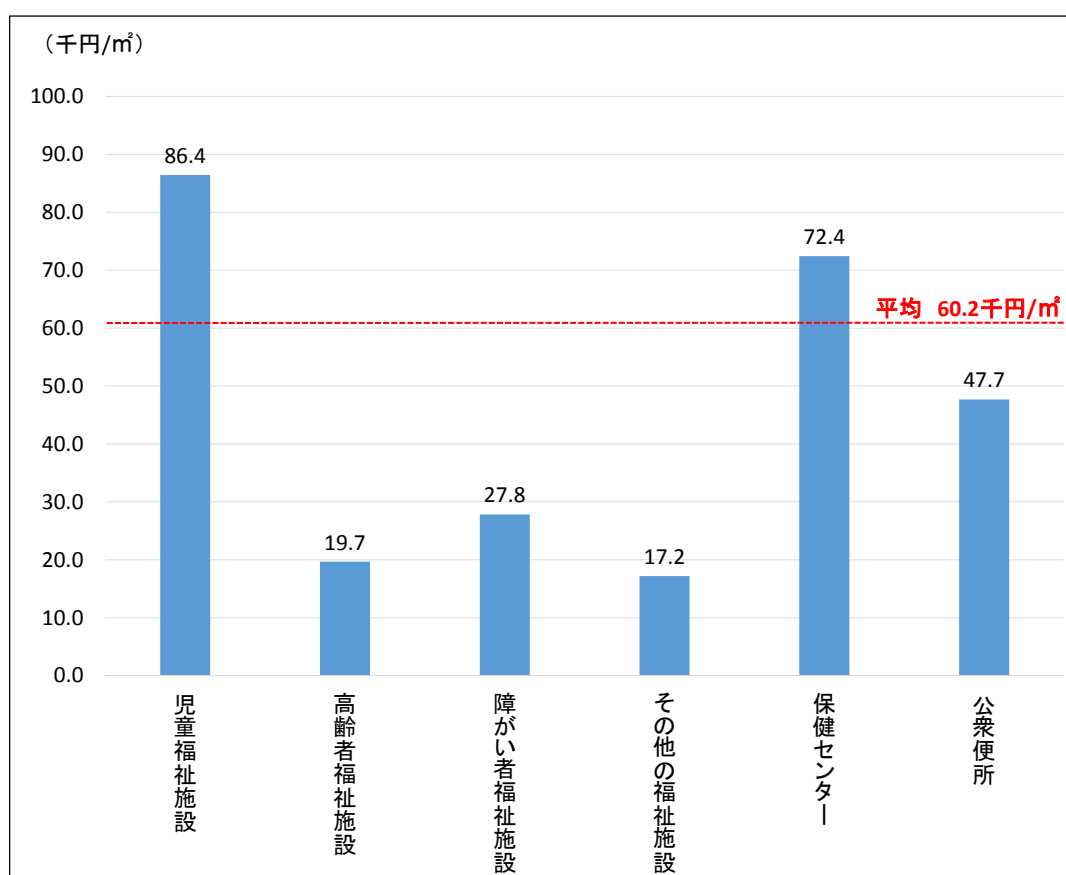


図 3-106 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト



※武里南保育所は平成27年4月開所のため、対象外としています。

図 3-107 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト（児童福祉施設 保育所）

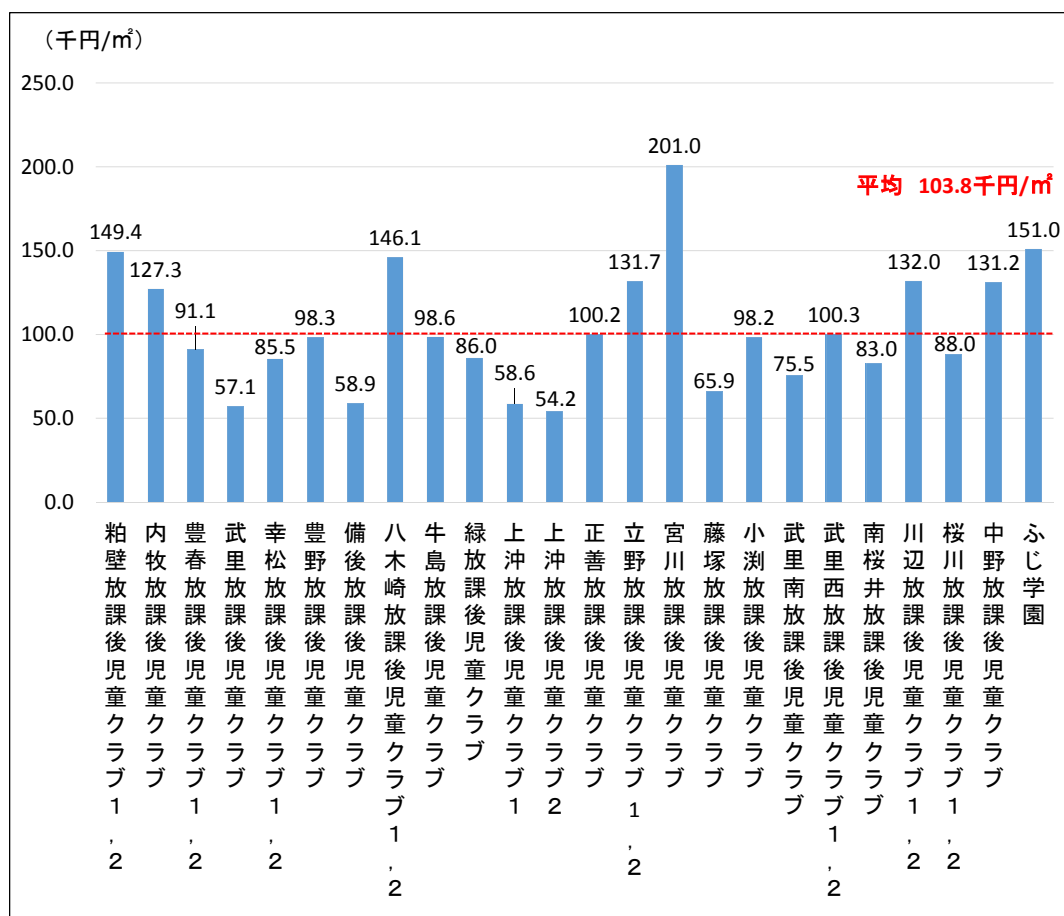


図 3-108 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト（児童福祉施設 児童クラブ等）

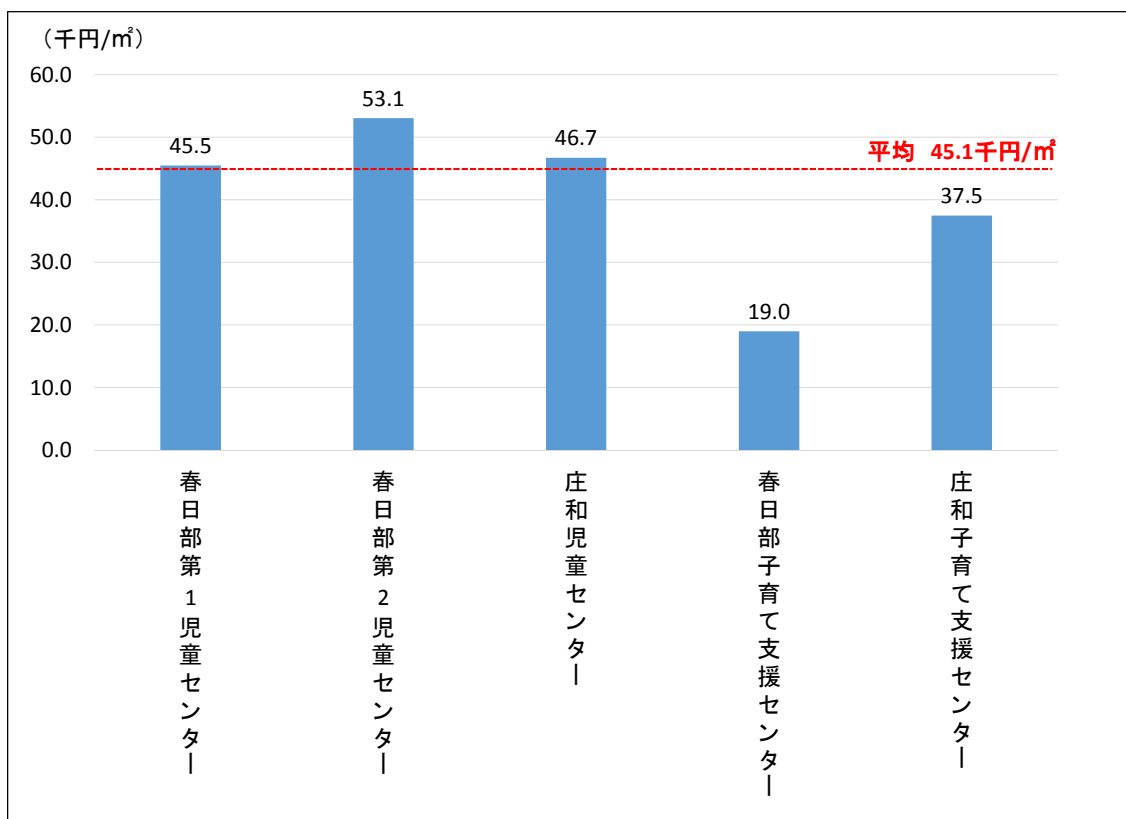


図 3-109 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト
(児童福祉施設 児童センター、子育て支援センター)

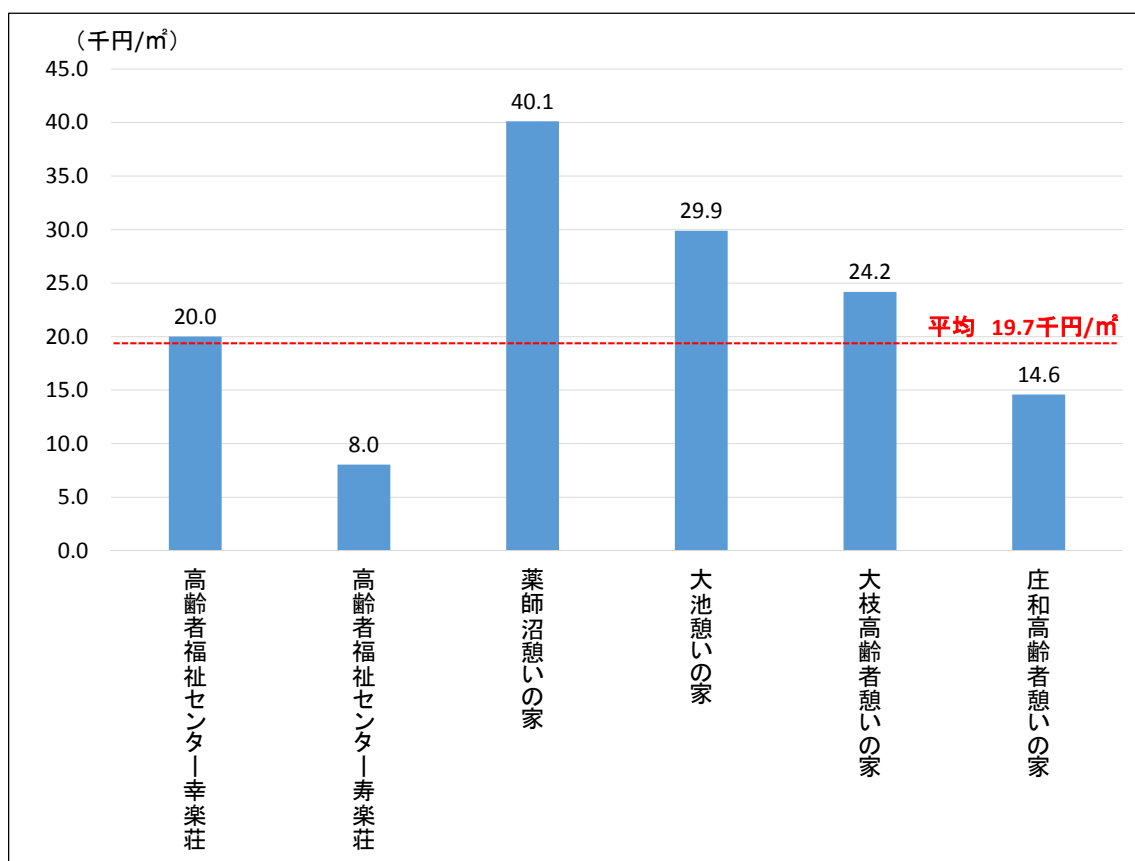
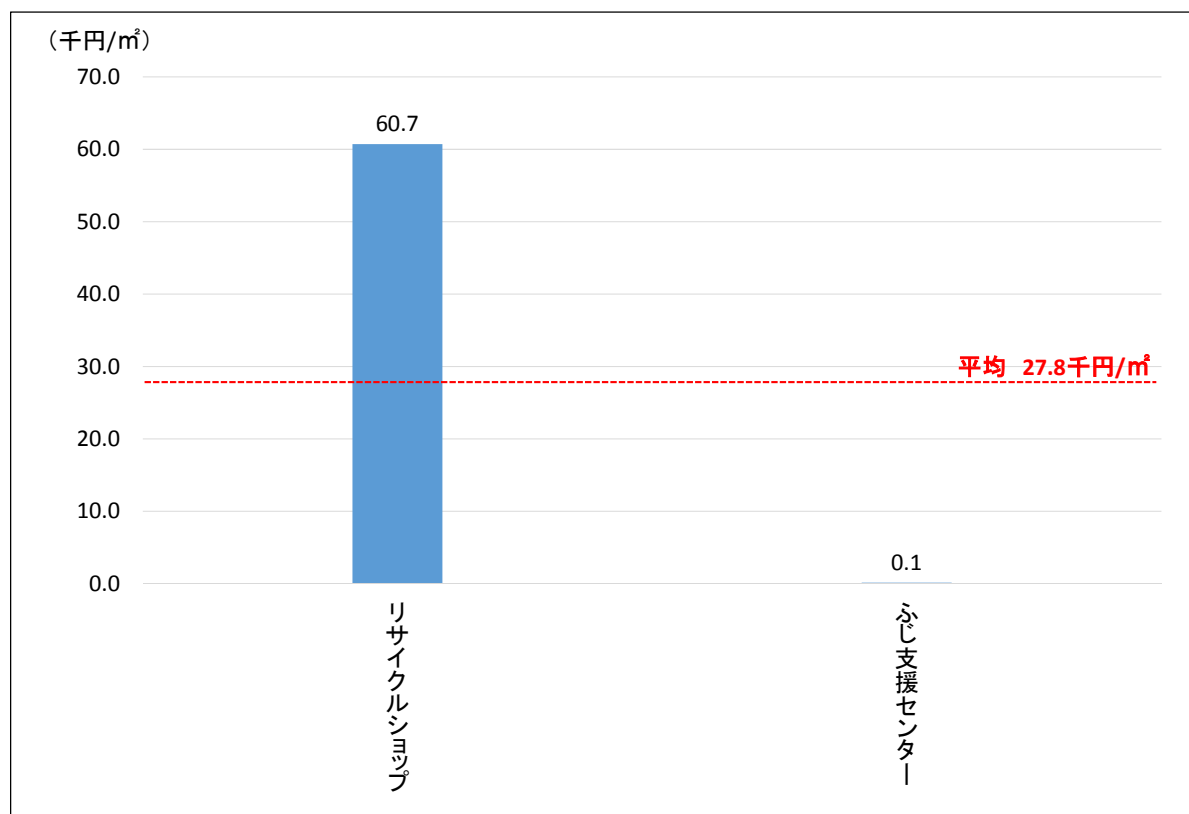


図 3-110 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト (高齢者福祉施設)



※ゆりのき支援センターは市の支出が無いため、対象外としています。
 ※ひまわり園の単位床面積当たりのコストが微小のため、対象外としています。

図 3-111 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト（障がい者福祉施設）

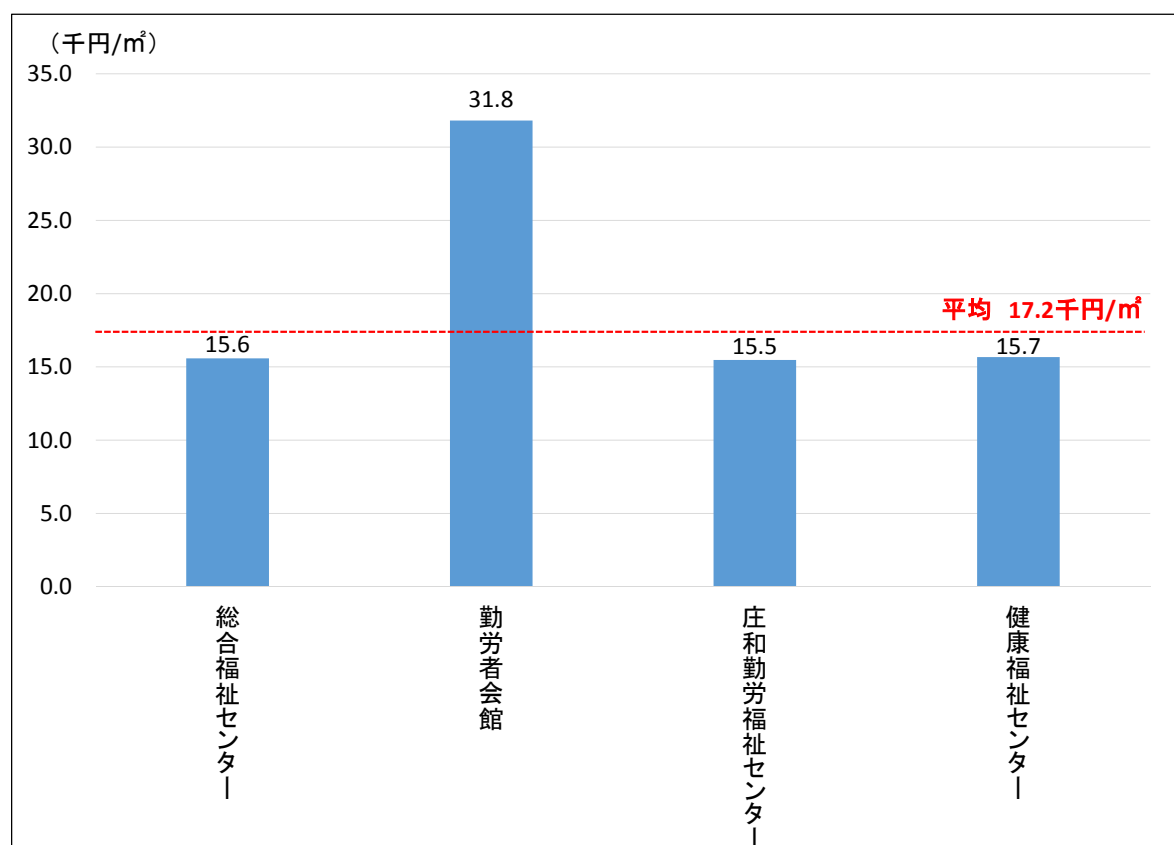


図 3-112 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト（その他の福祉施設）

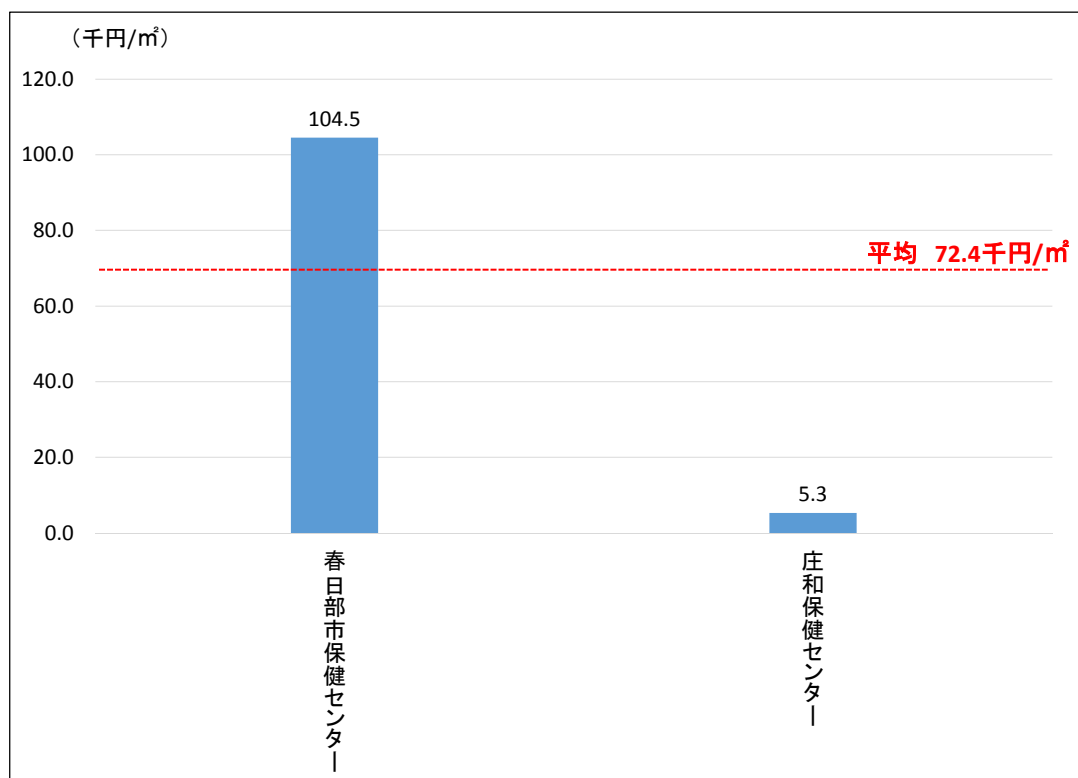


図 3-113 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト（保健センター）

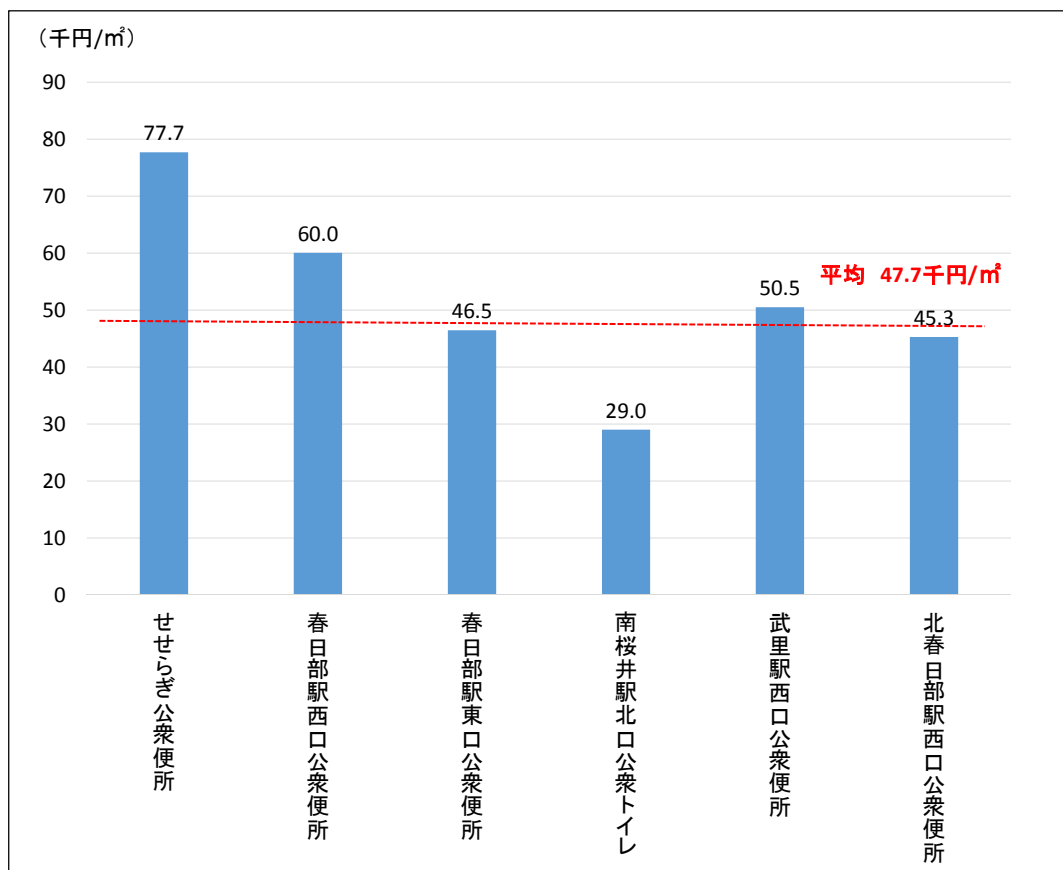


図 3-114 保健福祉系施設の単位床面積当たりのコスト（公衆便所）

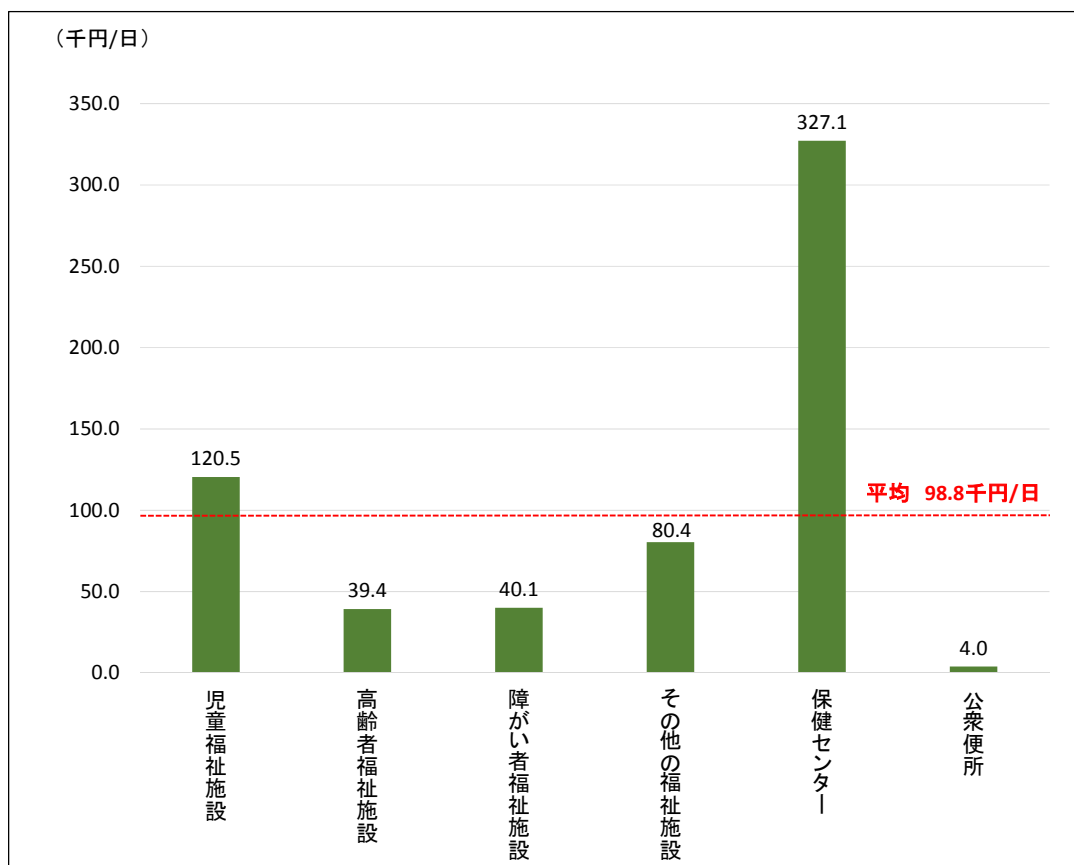
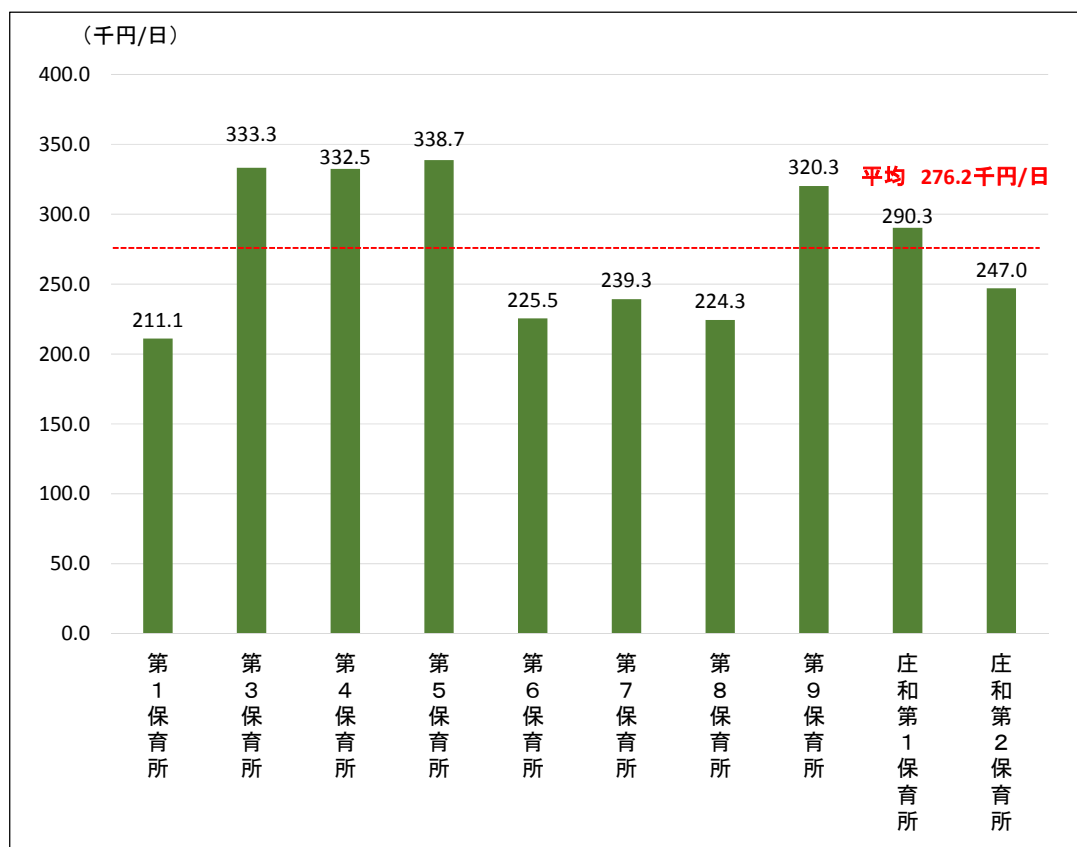


図 3-115 保健福祉系施設の日当たりのコスト



※武里南保育所は平成27年4月開所のため、対象外としています。

図 3-116 保健福祉系施設の日当たりのコスト (児童福祉施設 保育所)

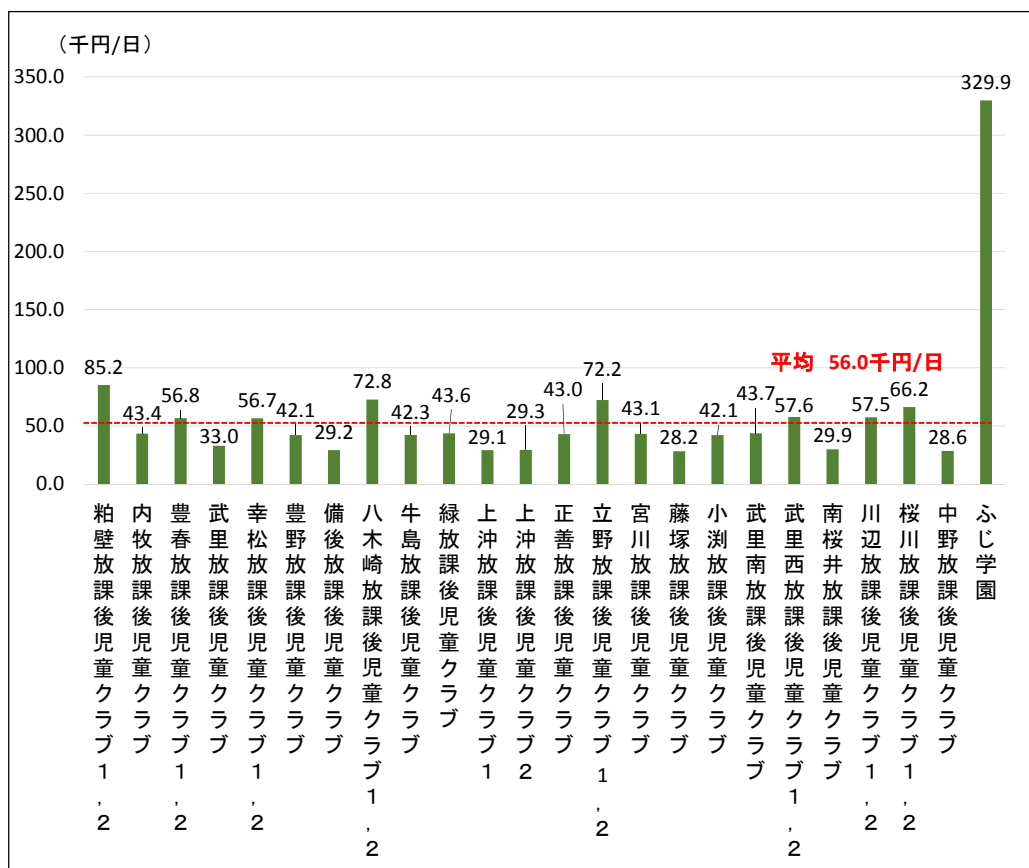


図 3-117 保健福祉系施設の一日当たりのコスト（児童福祉施設 児童クラブ等）

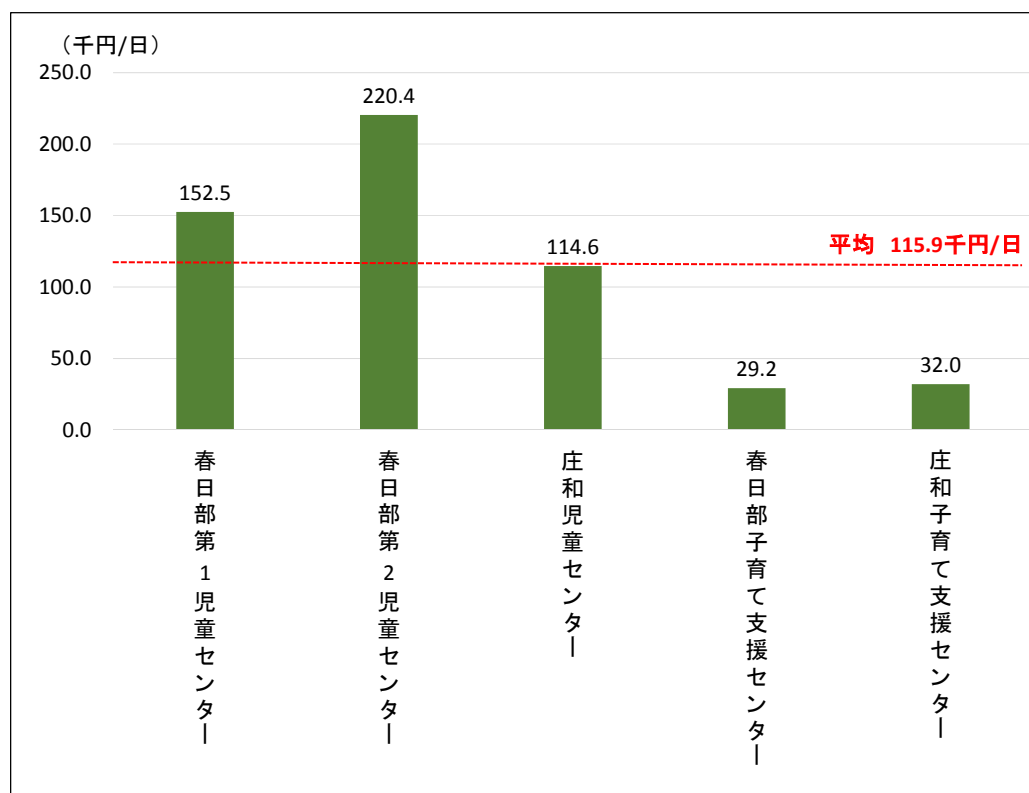


図 3-118 保健福祉系施設の一日当たりのコスト
（児童福祉施設 児童センター、子育て支援センター）

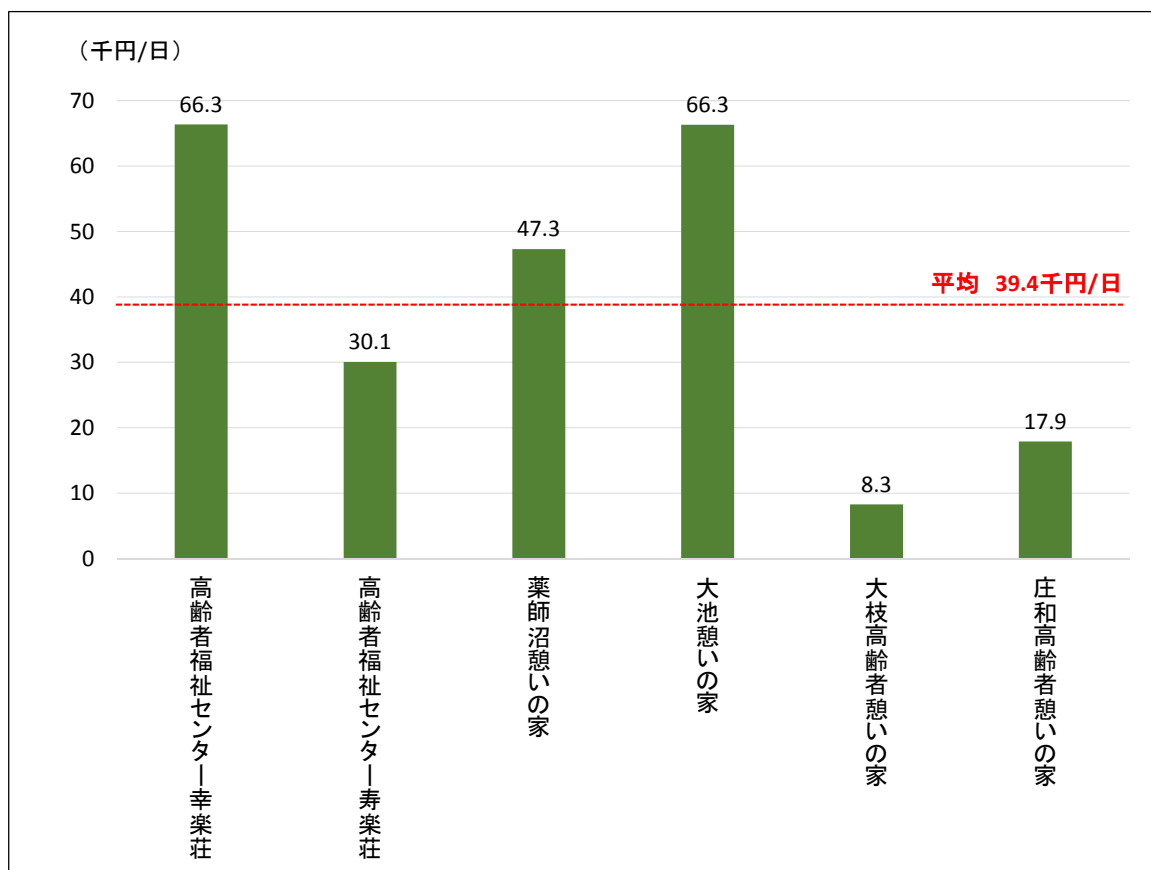
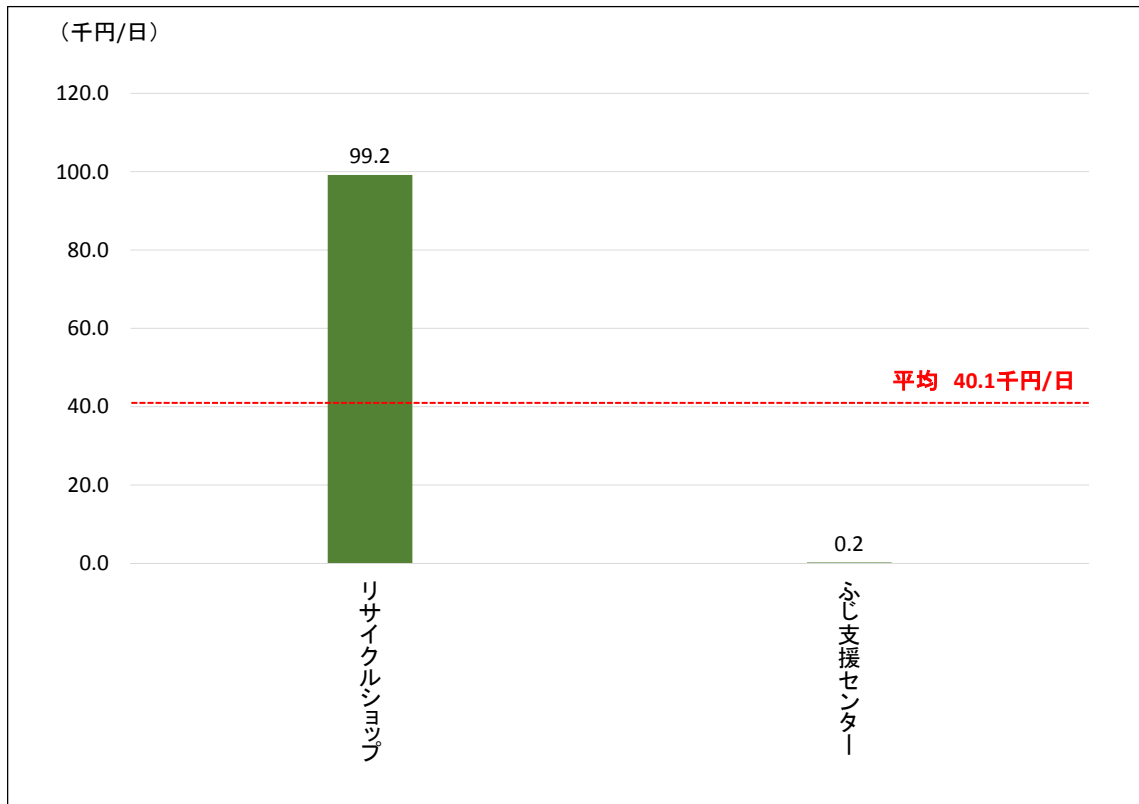


図 3-119 保健福祉系施設の一日当たりのコスト（高齢者福祉施設）



※ゆりのき支援センターは市の支出が無いため、対象外としています。
 ※ひまわり園の一日当たりのコストは微小のため、対象外としています。

図 3-120 保健福祉系施設の一日当たりのコスト（障がい者福祉施設）

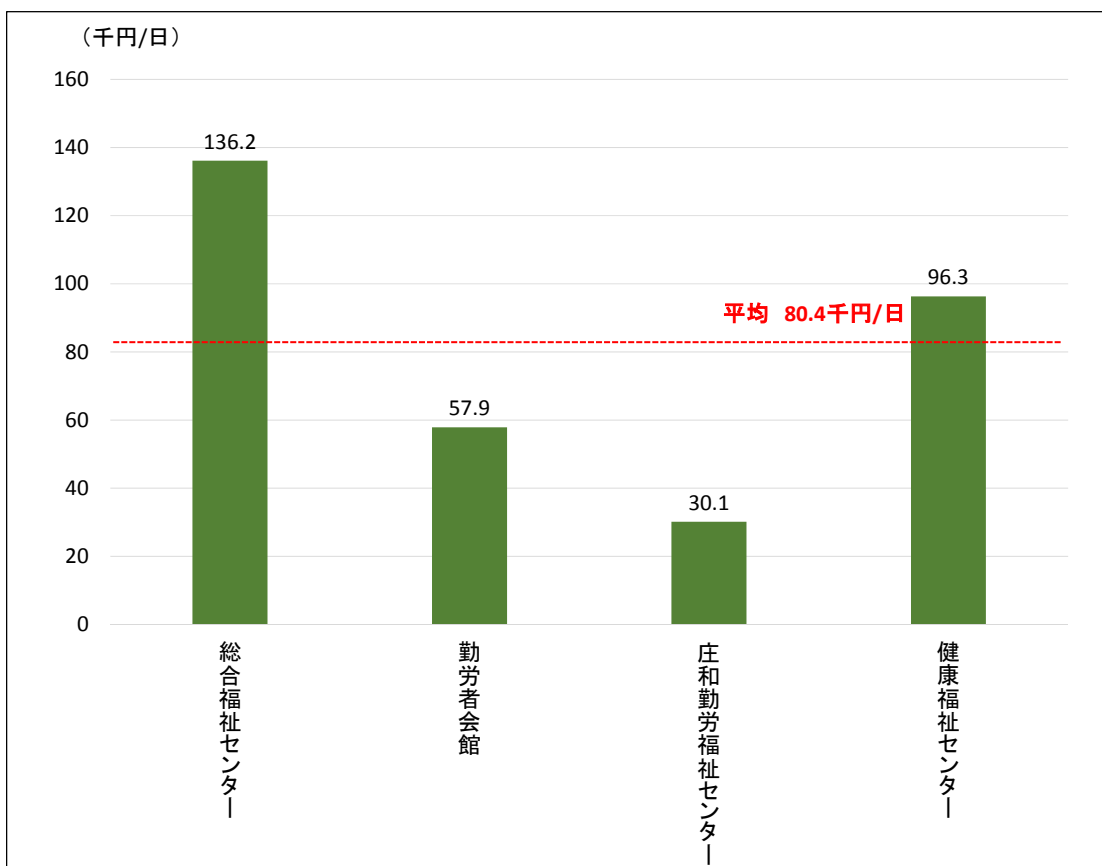


図 3-121 保健福祉系施設の日当たりのコスト（その他の福祉施設）

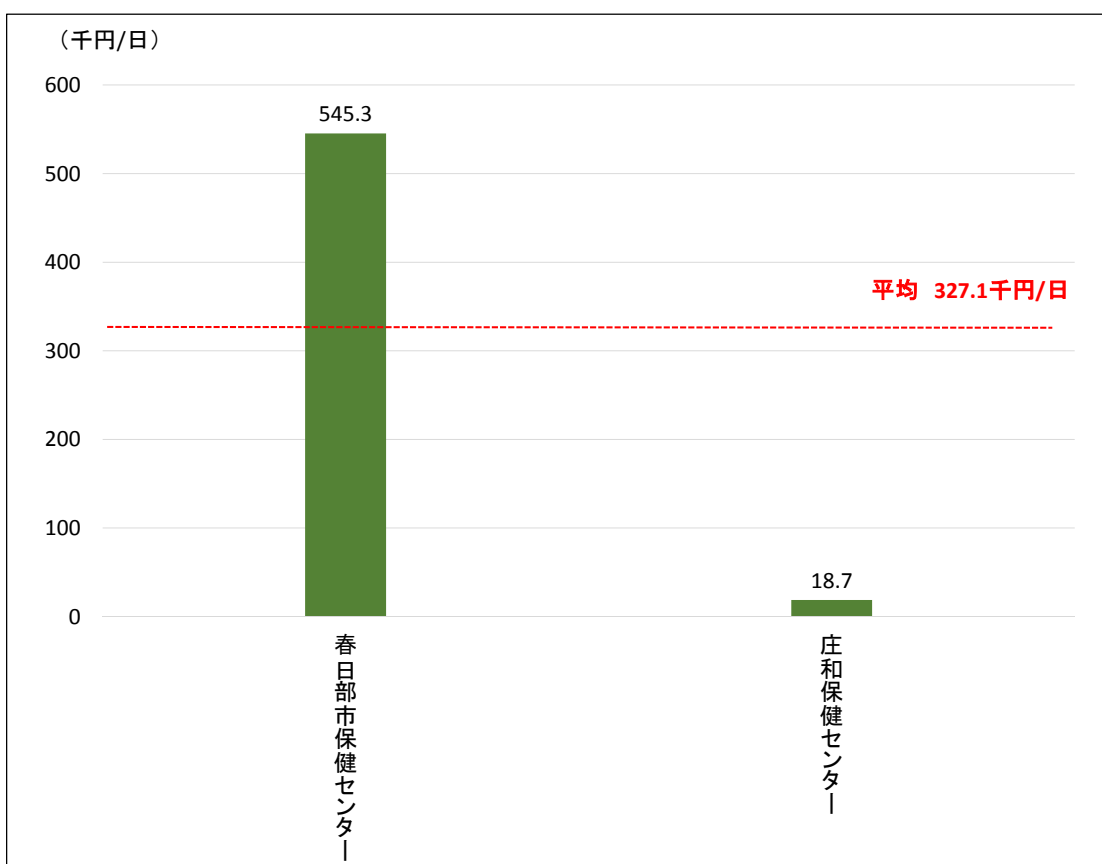


図 3-122 保健福祉系施設の日当たりのコスト（保健センター）

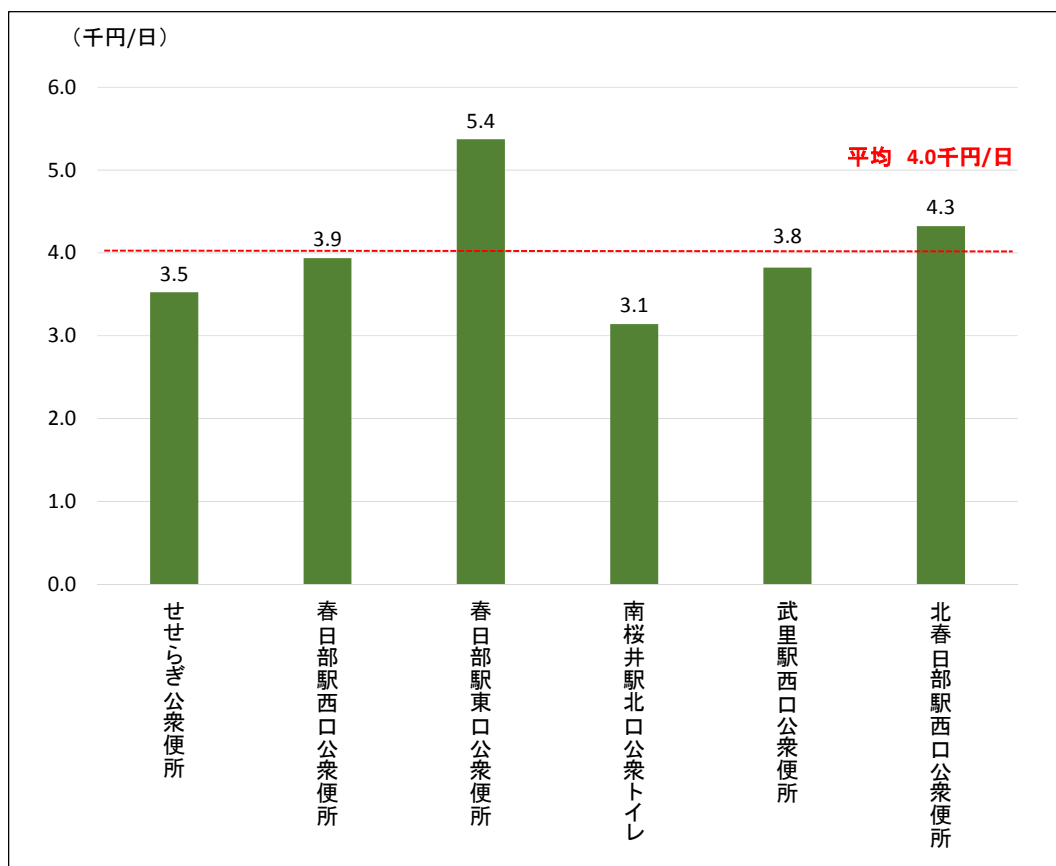
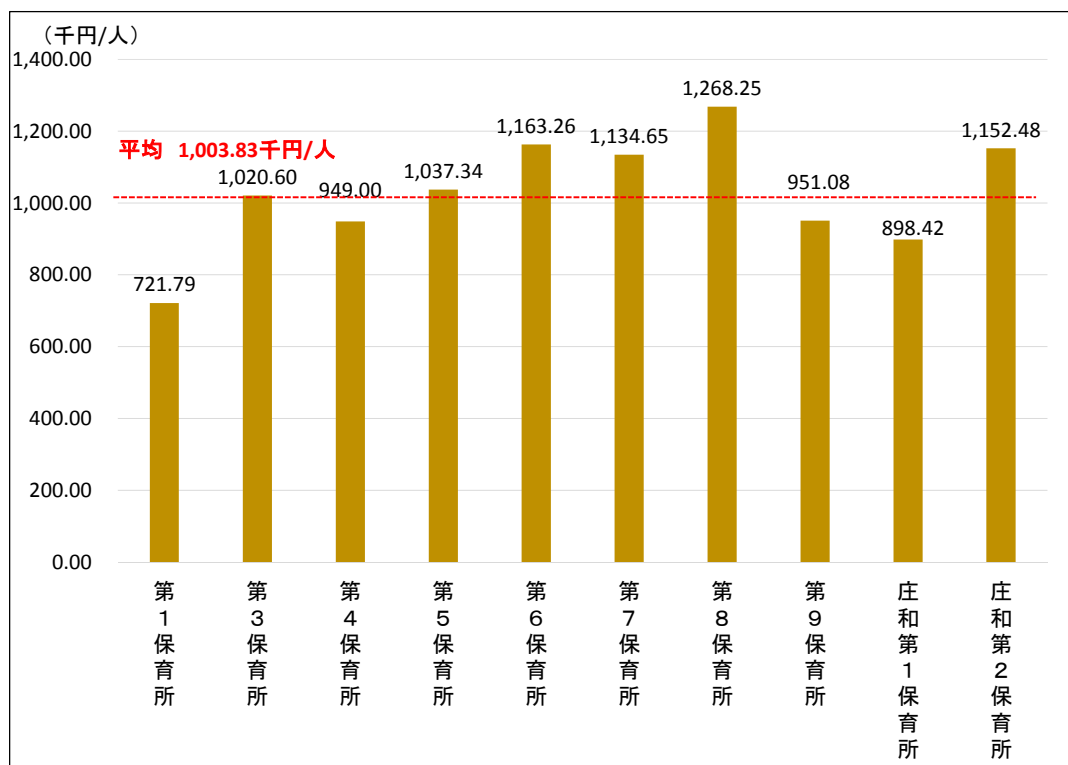


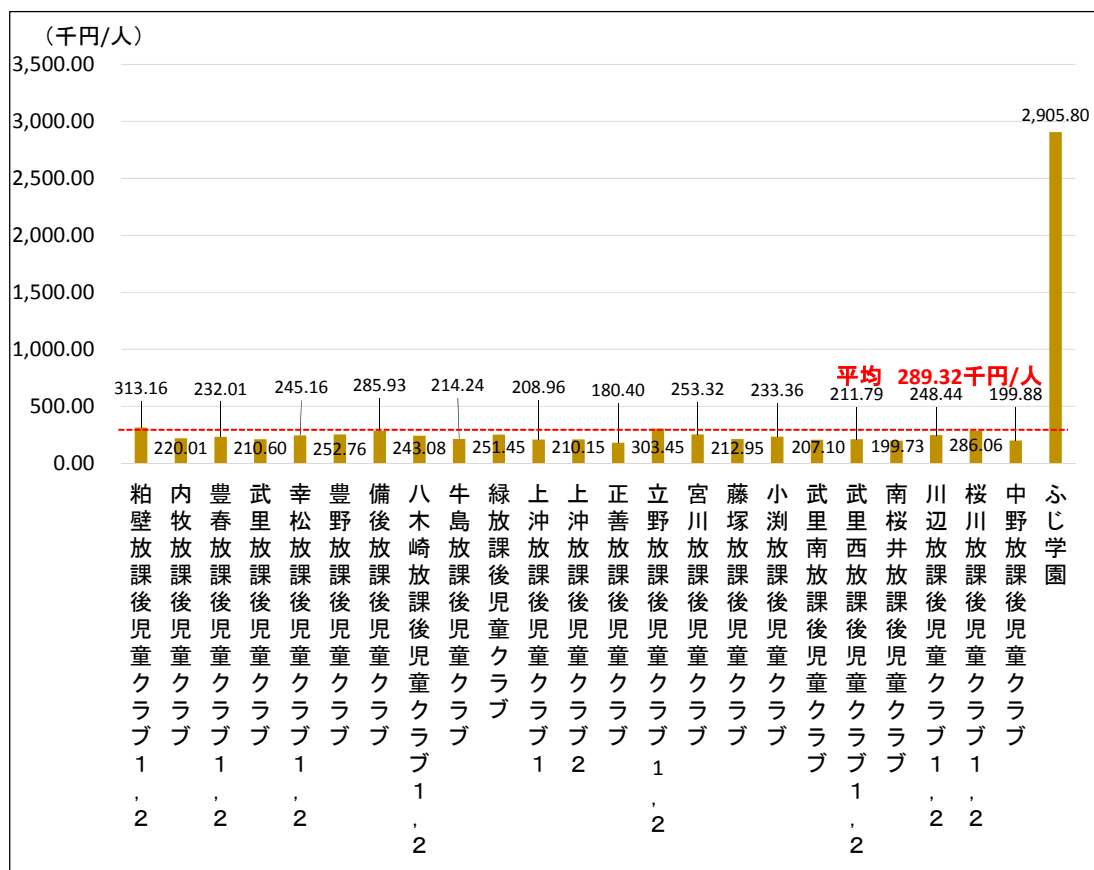
図 3-123 保健福祉系施設の日当たりのコスト（公衆便所）



※保育所の利用者数は児童数を計上しています。

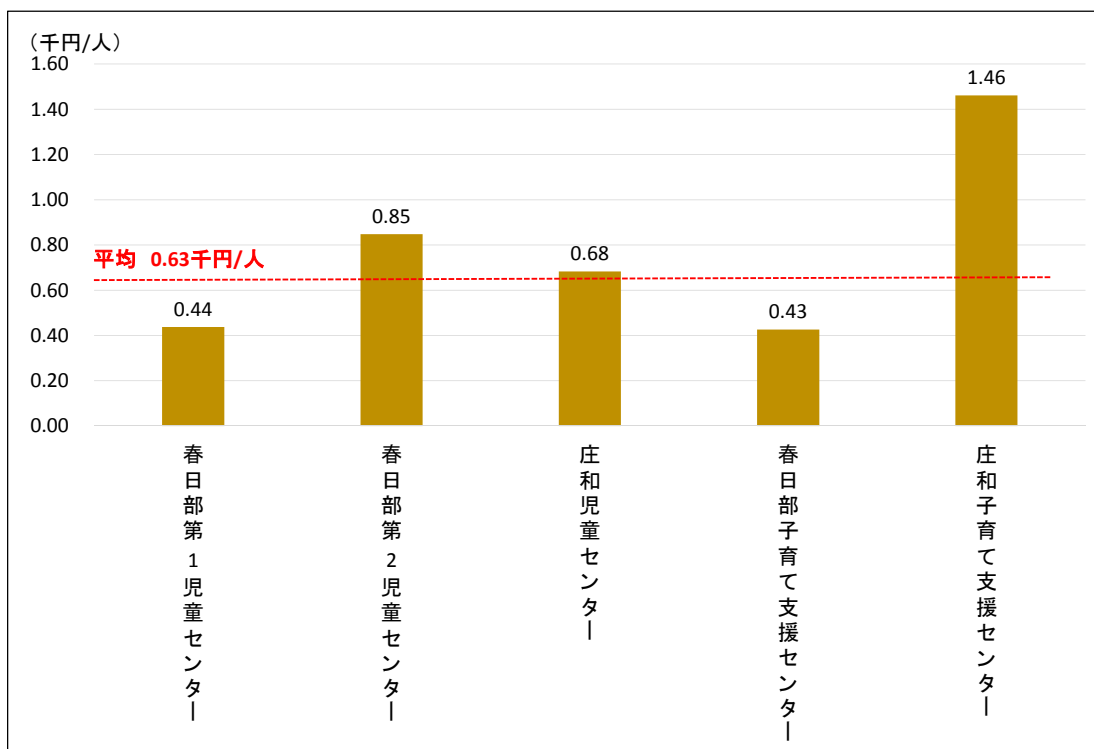
※武里南保育所は平成27年4月開所のため、対象外としています。

図 3-124 保健福祉系施設の利用者一人当たりのコスト（児童福祉施設 保育所）



※児童クラブの利用者数は児童数、ふじ学園の利用者は通所者数を計上しています。

図 3-125 保健福祉系施設の利用者一人当たりのコスト
(児童福祉施設 児童クラブ等)



※児童センター、子育て支援センターの利用者は年間利用者数を計上しています。

図 3-126 保健福祉系施設の利用者一人当たりのコスト
(児童福祉施設 児童センター、子育て支援センター)

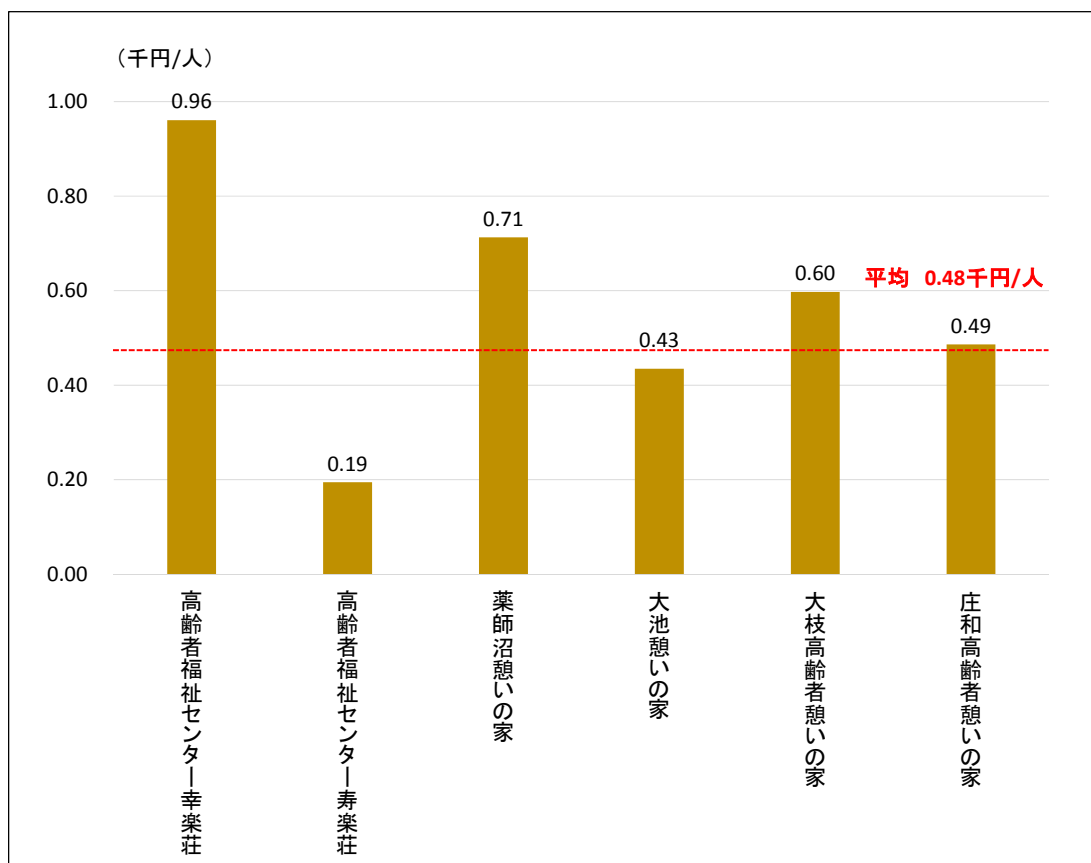
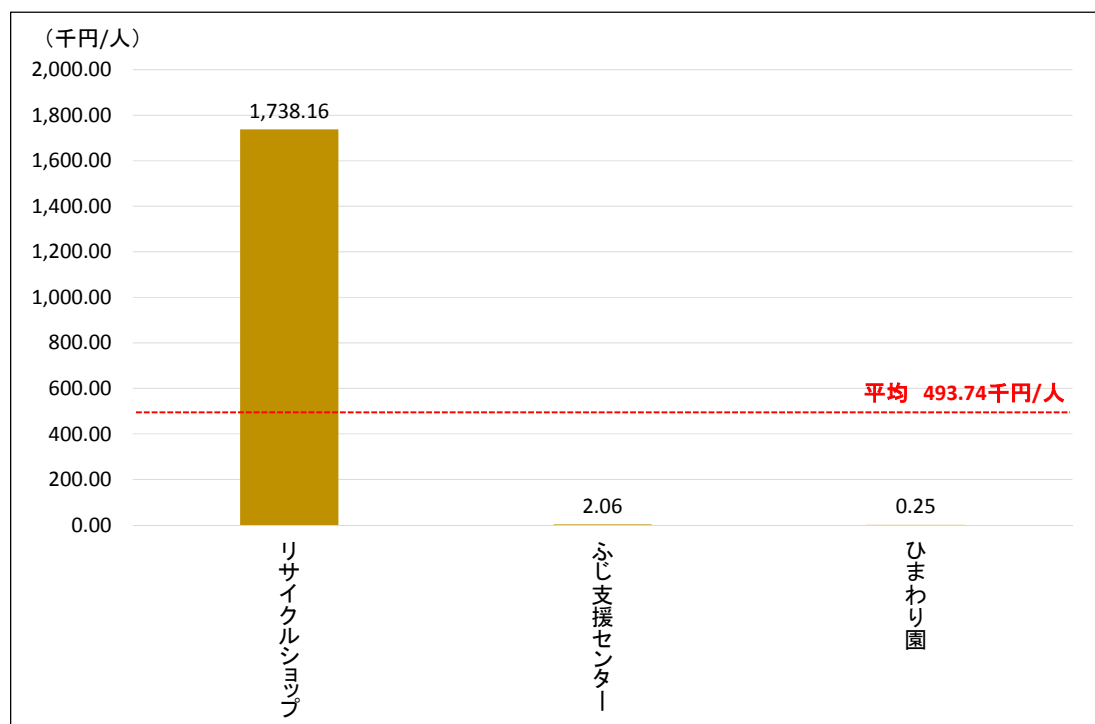
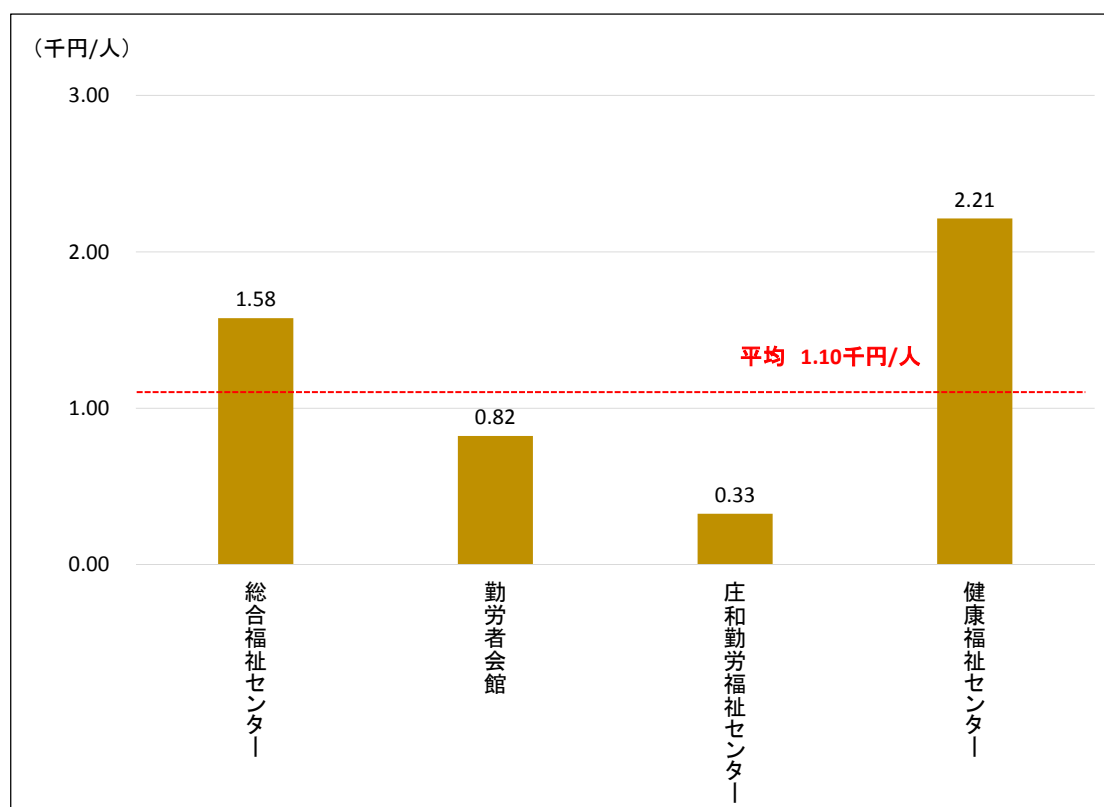


図 3-127 保健福祉系施設の利用者一人当たりのコスト（高齢者福祉施設）



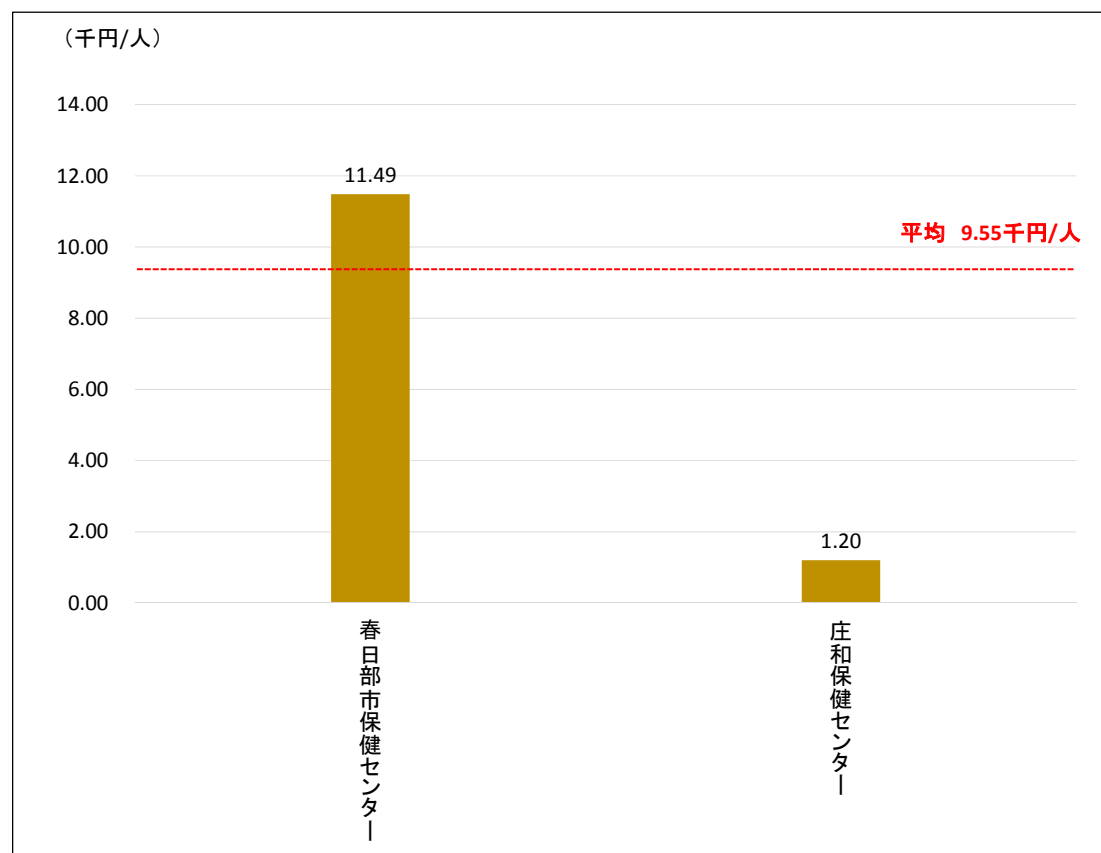
※障がい者福祉施設の利用者は通園者数を計上しています。

図 3-128 保健福祉系施設の利用者一人当たりのコスト（障がい者福祉施設）



※その他の福祉施設の利用者は年間利用者数を計上しています。

図 3-129 保健福祉系施設の利用者一人当たりのコスト（その他の福祉施設）



※保健センターの利用者は年間利用者数を計上しています。

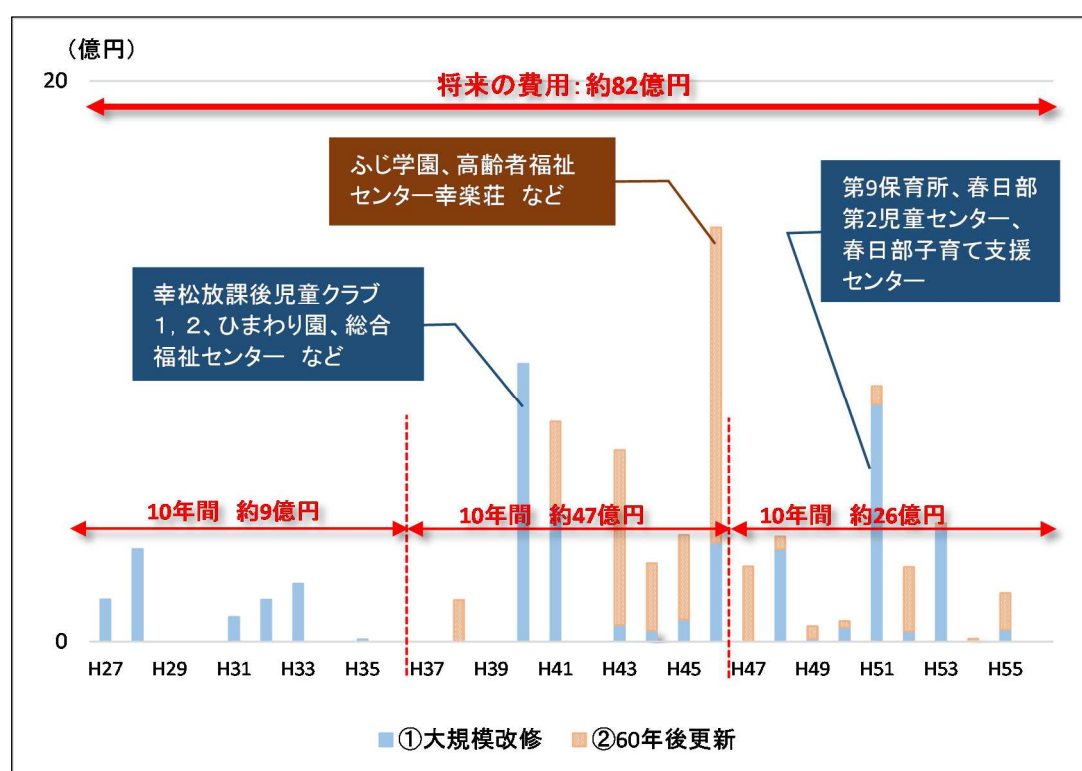
図 3-130 保健福祉系施設の利用者一人当たりのコスト（保健センター）

vi) 更新等費用の推計

保健福祉系施設では、平成 37 年から平成 46 年までの 10 年間に幸松放課後児童クラブ 1、2、ひまわり園、総合福祉センター等の大規模改修及び、ふじ学園、高齢者福祉センター幸楽荘等の更新等により約 47 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間では、第 9 保育所、春日部第 2 児童センター、春日部子育て支援センター等の大規模改修等により約 26 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間で保健福祉系施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 82 億円と想定されます。



※この更新等費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。（一定の試算条件についてはP39参照）従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期（建設後30年）を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後60年が経過した後に更新（建替え）を行う想定として算出しています。

図 3-131 保健福祉系施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vii) 施設のパターン

① 児童福祉施設

児童福祉施設のうち、保育所は旧耐震基準の施設が多いため、耐震性が確保されておらず、老朽化が進行しているFパターンが多くなっています。

その他の児童福祉施設はバリアフリー、省エネルギー対策が必要なBパターン及び老朽化が進行しているEパターンが多くなっています。

表 3-111 施設のパターン（児童福祉施設 保育所）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー									
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水											
第1保育所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
第3保育所	Ⅲ	Ⅲ	I	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
第4保育所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
第5保育所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
第6保育所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
第7保育所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
第8保育所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
第9保育所	I	I	I	I	Ⅱ	I	I	I	Ⅱ	I	I	I	Ⅱ	I	I	Ⅱ	B	
庄和第1保育所	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	A	
庄和第2保育所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F	

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※武里南保育所は平成 27 年 4 月開所のため、対象外としています。

表 3-112 施設のパターン（児童福祉施設 児童クラブ等）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	冷暖房設備	給排水	バリアフリー	省エネルギー	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー																	
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水																			
粕壁放課後児童クラブ1, 2	I	I	I	I	I	II	I	II	III	I	I	I	I	I	II	III	III	III	B							
内牧放課後児童クラブ	I	II	I	I	I	I	I	II	III	I	II	I	I	I	II	III	III	III	B							
豊春放課後児童クラブ1, 2	I	II	I	I	I	I	I	II	III	I	II	I	I	I	II	III	III	III	B							
武里放課後児童クラブ	I	I	I	I	I	I	I	II	III	I	I	I	I	I	II	III	III	III	B							
幸松放課後児童クラブ1, 2	I	II	I	I	II	I	I	III	III	I	II	I	II	I	III	III	III	III	B							
豊野放課後児童クラブ	II	III	III	III	III	III	III	II	III	II	III	III	III	III	II	III	III	III	E							
備後放課後児童クラブ	I	I	I	I	I	I	I	II	III	I	I	I	I	I	II	III	III	III	B							
八木崎放課後児童クラブ1, 2	I	II	I	I	II	I	I	III	III	I	II	I	II	I	III	III	III	III	B							
牛島放課後児童クラブ	II	III	III	III	III	III	III	II	III	II	III	III	III	III	II	III	III	III	E							
緑放課後児童クラブ	I	I	I	I	II	I	I	III	III	I	I	I	II	I	III	III	III	III	B							
上沖放課後児童クラブ1	I	II	I	II	I	I	I	III	III	I	II	I	I	I	III	III	III	III	B							
上沖放課後児童クラブ2	I	I	I	II	I	I	I	II	II	I	I	I	I	I	II	II	II	II	B							
正善放課後児童クラブ	I	III	III	III	III	III	III	II	III	I	III	III	III	III	II	III	III	III	E							
立野放課後児童クラブ1, 2	I	II	I	I	I	I	I	III	III	I	II	I	I	I	III	III	III	III	B							
宮川放課後児童クラブ	I	III	III	III	III	III	III	III	III	I	III	III	III	III	III	III	III	III	E							
藤塚放課後児童クラブ	II	III	III	III	III	III	III	II	III	II	III	III	III	III	II	III	III	III	E							
小淵放課後児童クラブ	II	III	I	I	III	III	III	II	III	II	III	I	III	III	II	III	III	III	E							
武里南放課後児童クラブ	I	I	I	I	I	I	I	II	III	I	I	I	I	I	II	III	III	III	B							
武里西放課後児童クラブ1, 2	I	I	I	I	I	I	I	II	III	I	I	I	I	I	II	III	III	III	B							
南桜井放課後児童クラブ	I	I	I	I	I	II	I	II	III	I	I	I	I	I	II	III	III	III	B							
川辺放課後児童クラブ1, 2	I	III	III	III	III	I	III	II	III	I	III	III	III	III	II	II	III	III	E							
桜川放課後児童クラブ1, 2	I	I	I	I	I	I	I	II	III	I	I	I	I	I	II	III	III	III	B							
中野放課後児童クラブ	II	III	I	I	III	III	III	II	III	II	III	I	III	III	II	III	III	III	E							
ふじ学園	III	III	III	II	II	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	F							

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※学校の校舎内に入っている施設については、学校のパターンにより判断しています。

表 3-113 施設のパターン（児童福祉施設 児童センター、子育て支援センター）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
春日部第1児童センター	I	I	II	II	I	I	I	I	I	I	I	II	I	I	I	I	A
春日部第2児童センター	I	I	I	I	II	I	I	I	II	I	I	I	II	I	I	II	B
庄和児童センター	I	II	II	III	I	III	II	II	I	I	II	II	I	III	II	I	C
春日部子育て支援センター	I	I	I	I	II	I	I	I	II	I	I	I	II	I	I	II	B
庄和子育て支援センター	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	A

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

② 高齢者福祉施設

高齢者福祉施設は、耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから、F パターンの施設が半数を占めています。

表 3-114 施設のパターン（高齢者福祉施設）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
高齢者福祉センター幸楽荘	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
高齢者福祉センター寿楽荘	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	D
薬師沼憩いの家	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	B
大池憩いの家	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	B
大枝高齢者憩いの家	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
庄和高齢者憩いの家	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

③ 障がい者福祉施設

リサイクルショップは耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから、Fパターンとなっています。

表 3-115 施設のパターン（障がい者福祉施設）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
リサイクルショップ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
ふじ支援センター	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	E
ゆりのき支援センター	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	B
ひまわり園	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

④ その他の福祉施設

勤労者会館は老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-116 施設のパターン（その他の福祉施設）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
総合福祉センター	I	II	I	II	I	I	II	I	I	I	II	II	I	I	I	I	A
庄和勤労福祉センター	I	II	II	III	II	III	II	III	III	I	II	II	II	III	III	III	C
勤労者会館	I	III	I	II	II	I	I	III	II	I	III	I	II	I	III	II	E
健康福祉センター	I	II	II	II	I	II	I	II	I	I	II	II	I	II	II	I	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

⑤ 保健センター

保健センターのうち、庄和保健センターの旧館については老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-117 施設のパターン（保健センター）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
春日部市保健センター	I	I	I	I	II	I	I	I	I	I	I	I	II	I	I	I	A
庄和保健センター	II	III	II	III	I	I	I	III	II	II	III	II	I	I	III	II	E

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

⑥ 公衆便所

公衆便所は、B～Eパターンとなっています。

表 3-118 施設のパターン（公衆便所）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
武里駅西口公衆便所	I	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	I	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	E
春日部駅東口公衆便所	I	I	I	I			I	Ⅱ	I	I	I			I	Ⅱ	I	B
せせらぎ公衆便所	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	D
南桜井駅北口公衆トイレ	I	I	I	Ⅱ			I	Ⅱ	Ⅱ	I	I	I		I	Ⅱ	Ⅱ	B
北春日部駅西口公衆便所	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	D
春日部駅西口公衆便所	I	Ⅲ	I	I			I	Ⅲ	I	I	Ⅲ	I		I	Ⅲ	I	E

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※法令上の点検が不要な施設は、指摘事項を除いてパターンを判断しています。

※冷暖房の設置の必要性が低い施設は、冷暖房設備を除いてパターンを判断しています。

viii) 保健福祉系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・保健福祉系施設では、24 施設が旧耐震基準の建築物で 33 年以上経過しています。これらの中には、防災拠点や避難場所などの重要な役割が付与されている施設もあることから、施設の安全性を確保するための対応が必要となっています。
- ・利用状況では、児童福祉施設の春日部第1児童センターが年間約12万人に利用されているなど、多くの市民に利用されている施設が見られますが、今後の少子高齢化の進行や地区ごとの人口動向等を踏まえた施設のあり方について検討していく必要があります。
- ・単位床面積当たりのコストと一日当たりのコストは、ともに児童福祉施設、保健センターが高くなっています。また、障がい者福祉施設の中ではリサイクルショップが単位床面積当たりのコスト、一日当たりのコスト、一人当たりのコストがいずれも高くなっています。これらは、保健福祉の効率や合理化が比較的困難と思われる分野ですが、利用方法や運営方法の見直しなどにより、段階的な改善を検討する必要があります。



【今後の方向性】

- 施設の利用状況や今後の各地区の人口動向等を考慮し、必要に応じて施設の適正配置や集約化・複合化等を検討します。
- 長寿命化を図る必要がある施設については老朽化への対応を検討します。
- 民間企業との連携等により、効率的な施設運営を検討します。

表 3-119 保健福祉系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
62	20.9%	31,545	6.3%	29 46.8%	33 53.2%	0 0.0%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
27 43.5%	35 56.5%	-	1,810,008	60.2	-	82

※2段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

※利用者数および利用者一人当たりのコストについては、各施設での利用者の計上方法が異なるため、「-」で表記しています。

(7) 医療系施設

i) 概要

医療系施設の分類は、病院としています。

病院は市立病院があり、埼玉県東部保健医療圏で一般病床 350 床を有する地域の中核的医療機関として、地域医療の向上に貢献している施設となっています。市の直営による運営となっており、単独施設となっています。

表 3-120 医療系施設の概要

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態
病院	市立病院	中央7-2-1	直営	単独施設

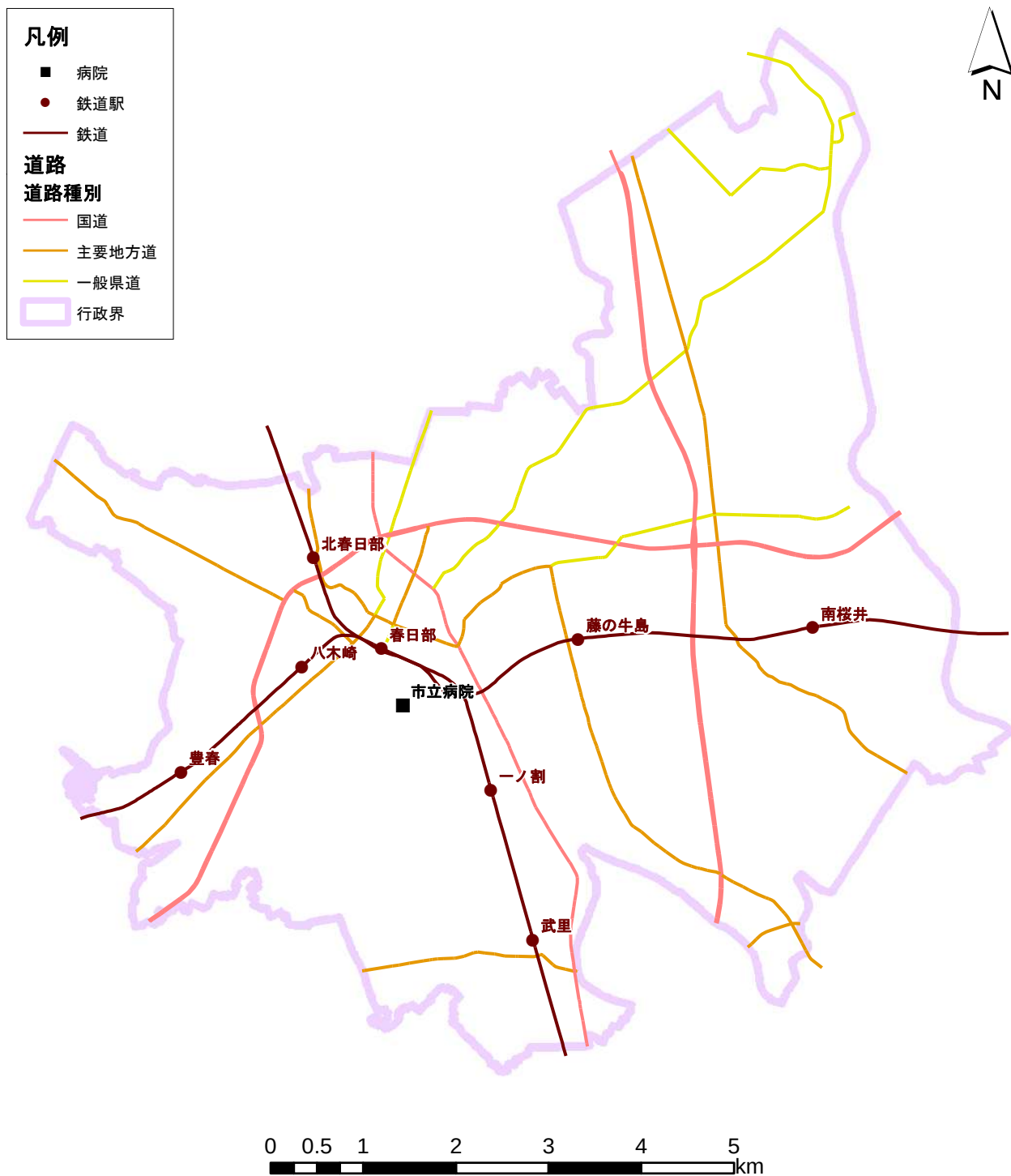


図 3-132 医療系施設位置図

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

医療系施設（病院）の延床面積は、20,071 ㎡となっています。その中でも、市立病院（病棟）が 81.6%を占めています。

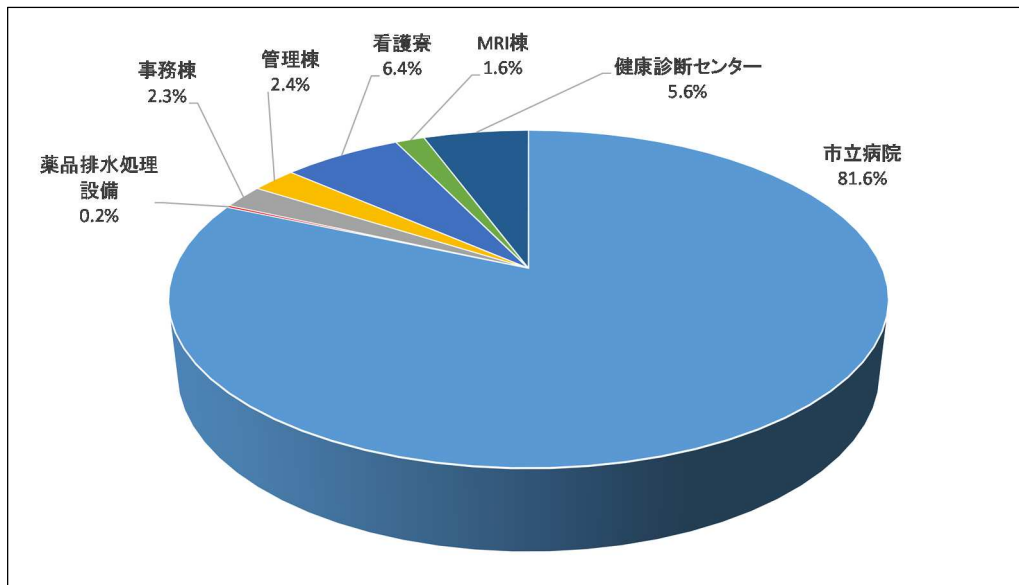


図 3-133 医療施設の延床面積の割合

表 3-121 医療系施設の延床面積の状況

分類	棟名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
病院	市立病院	16,371	81.6
	薬品排水処理設備	41	0.2
	事務棟	451	2.3
	管理棟	481	2.4
	看護寮	1,281	6.4
	MRI棟	313	1.6
	健康診断センター	1,132	5.6
合計		20,071	100.0

ii ー2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

医療系施設を建築年でみると、旧耐震基準で建築後 46 年を経過しており、1986 年に東棟が増築されていますが、老朽化、狭隘化が進んでいるため、新築移転することとしています。

建物構造は、鉄筋コンクリート造、鉄骨造となっています。

表 3-122 医療系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	棟名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
病院	市立病院	昭44	46	RC	－	－	有
	薬品排水処理設備	昭61	29	RC	－	－	無
	事務棟	昭44	46	RC	－	－	有
	管理棟	昭49	41	RC	－	－	有
	看護寮	昭44	46	RC	－	－	有
	MRI棟	平06	21	S	－	－	無
	健康診断センター	昭49	41	RC	－	－	有
平均		－	39	－	－	－	－

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、

CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、

△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

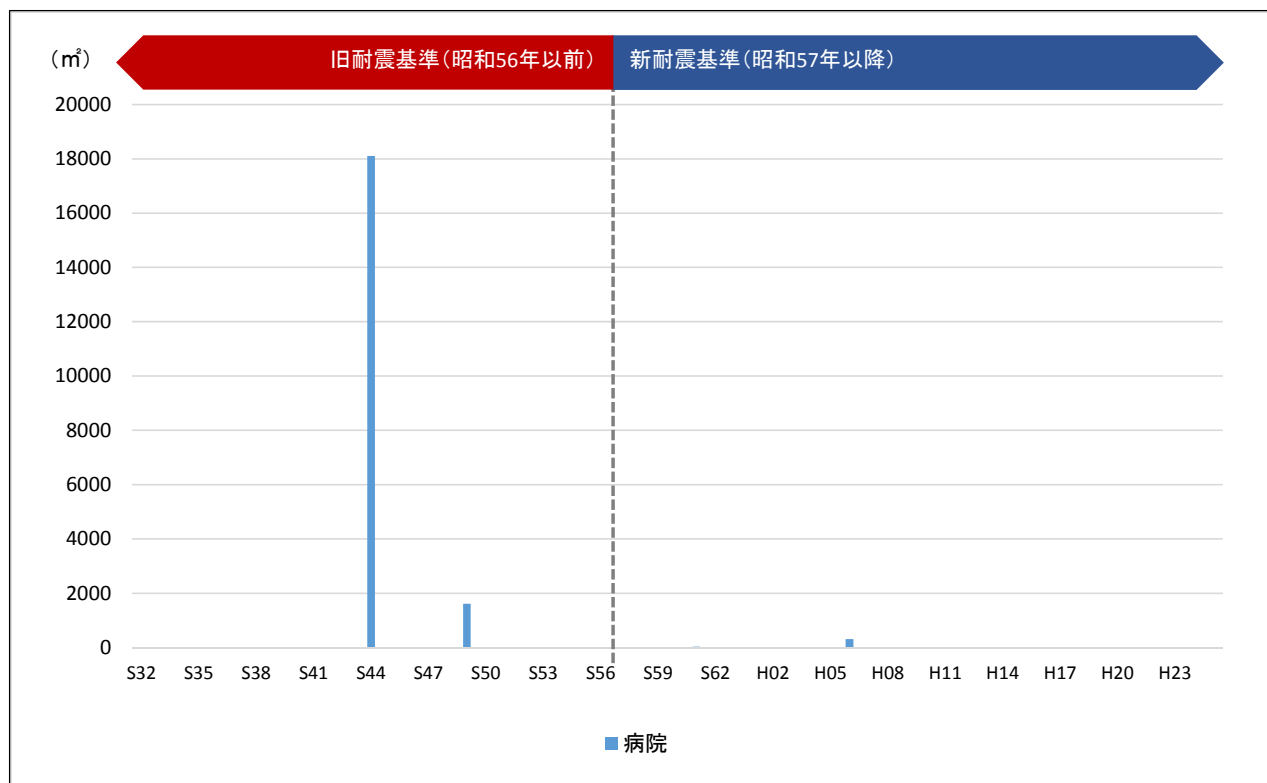


図 3-134 医療系施設の建築年別の延床面積

iii) 利用状況

医療系施設の利用状況をみると、平成 25 年度では年間約 24 万 5,400 人に利用されています。また、平成 23 年度からの 3 か年の平均利用者数は約 24 万 4,200 人となっています。

表 3-123 医療系施設の利用者数の推移

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
病院	市立病院	239,229	247,870	245,454	244,184

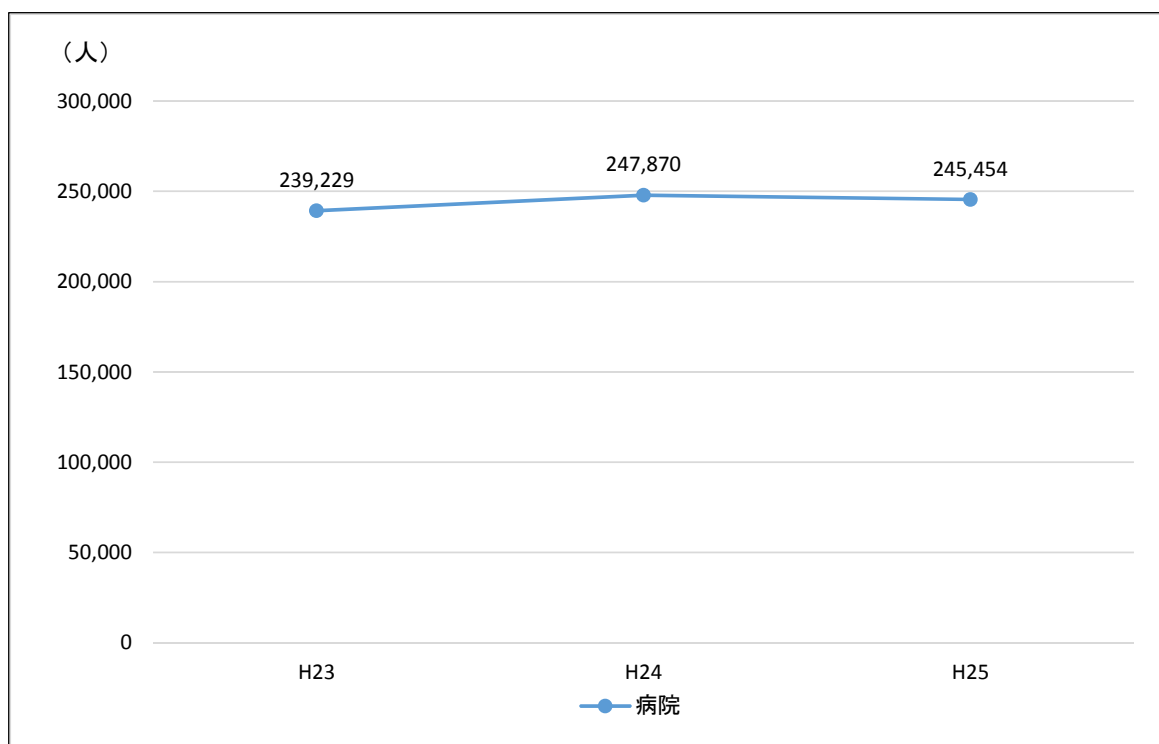


図 3-135 医療系施設の利用者数の推移

iv) 運営状況

医療系施設の運用状況をみると、職員数は 423 人となっています。

表 3-124 医療系施設の運営状況

分類	名称	年間開館 日数 (日)	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
			職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
病院	市立病院	365	405.0	18.0	423.0	0.0	0.0	0.0

※職員数(直営)及び(指定管理者)の値は平成 25 年度時点のものです。

v) コスト状況

医療系施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは約 71 億 2,600 万円となっています。また、単位床面積当たりのコストは約 35 万 5,100 円/㎡、一日当たりのコストは約 1,952 万 3,700 円/日、利用者一人当たりのコストは約 2 万 9,030 円/人となっています。

表 3-125 医療系施設のコスト状況

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
病院	市立病院	7,126,155	355.1	19,523.7	29.03
			平均		

vi) 更新等費用の推計

現在、平成 28 年開院に向けて新病院の建設が進められており、今後 30 年では更新等の費用は発生しません。ただし、医療設備に関連したコストが別途想定されます。

vii) 施設のパターン

耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから、F パターンとなっています。

表 3-126 施設のパターン

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防炎性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
市立病院	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防炎性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	F

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※複数棟から構成されている施設については、主たる建築物により判断しています。

viii) 医療系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・埼玉県東部保健医療圏で地域の中核的医療機関として、地域医療の向上に貢献している施設となっています。
- ・現在、平成 28 年開院に向けて新病院建設が進められています。今後はさらに長期的展望に立ち、老朽化に対する早めの対応が求められます。



【今後の方向性】

- 地域の中核的医療機関として適正規模で再整備を推進します。
- 計画的な長寿命化、維持補修の平準化を図り、予防保全方法など老朽化への対応を検討します。
- 長期的費用の縮減と平準化を進めるとともに、民間活力の導入など施設の管理・運営について検討します。

表 3-127 医療系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
1	0.3%	20,071	4.0%	1	0	0
				100.0%	0.0%	0.0%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
1	0	245	7,126,155	355.1	29.03	-
100.0%	0.0%					

※ 2 段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

(8) 商工業・交通施設

i) 概要

商工業・交通施設の分類は、商工業施設、交通施設に分類しています。

商工業施設は、道の駅「庄和」、物産展示場、商工振興センターなどの施設となっています。また、旧庄和第一児童館は大風などの保管場所となっています。

道の駅「庄和」、商工振興センターは、指定管理者による運営となっています。

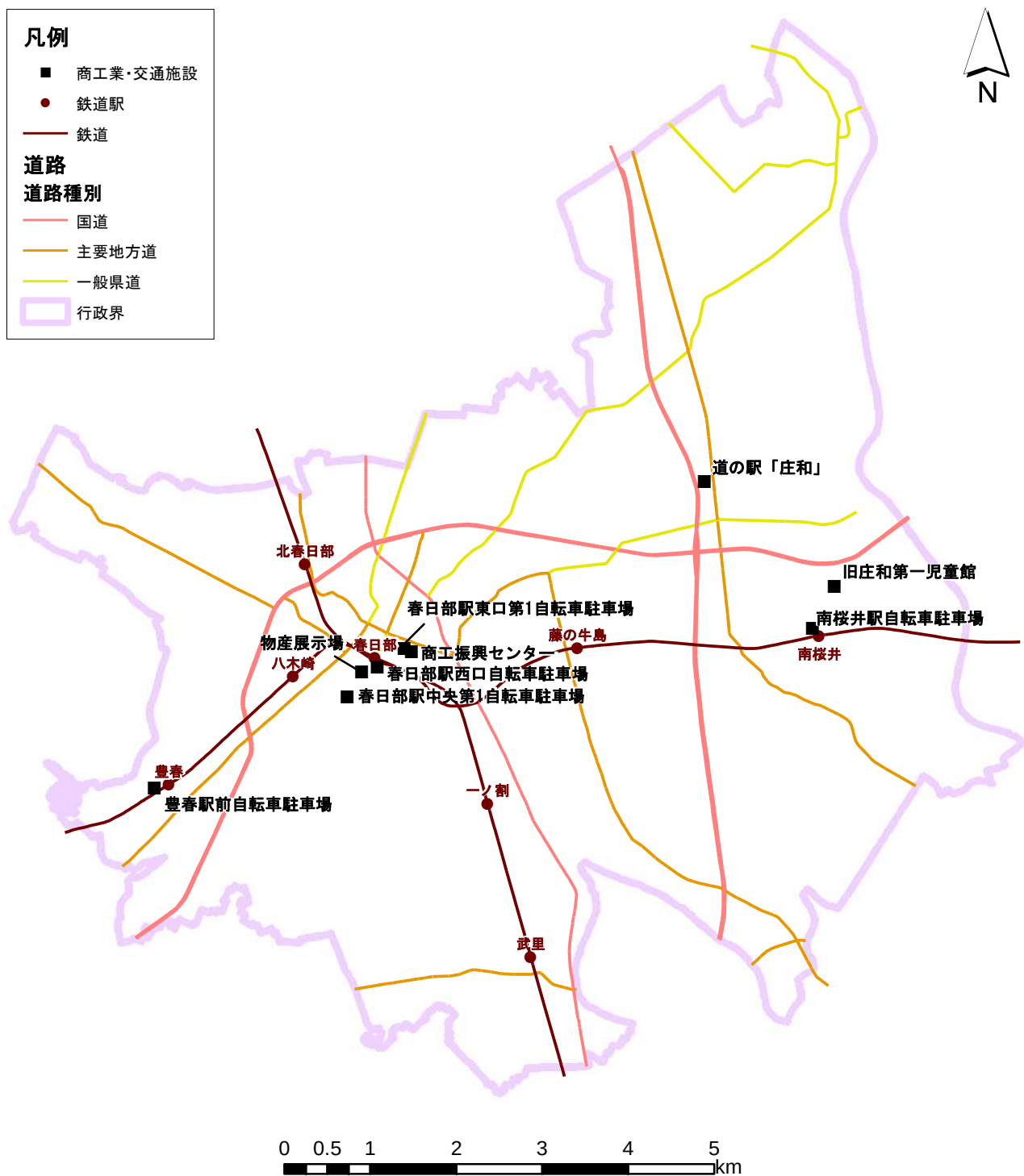
交通施設は、自転車駐車場の施設となっています。春日部駅東口第1自転車駐車場は、閉鎖中となっています。自転車駐車場は、全て市による運営となっています。

表 3-128 商工業・交通施設の概要

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態		貸出対象 室数 (室)
商工業施設	道の駅「庄和」	上柳995	指定管理者	単独施設		1
	物産展示場	中央1-1-19	貸付	単独施設		-
	商工振興センター	粕壁東1-20-28	指定管理者	単独施設		9
	旧庄和第一児童館	西金野井260	直営	単独施設		-
交通施設	春日部駅西口自転車駐車場	中央1-42	直営	単独施設		-
	春日部駅中央第1自転車駐車場	中央2-30-2	直営	単独施設		-
	春日部駅東口第1自転車駐車場	粕壁東1-4392	閉鎖中	単独施設		-
	南桜井駅自転車駐車場	大倉496-463	直営	複合施設	南桜井駅北口公衆トイレ	-
	豊春駅前自転車駐車場	上蛭田128-2	直営	単独施設		-
商工業施設	小計	-	-	-	-	10
交通施設	小計	-	-	-	-	-
合計		-	-	-	-	10

※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中

※南桜井駅自転車駐車場は平成25年4月開所



※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中
 ※南桜井駅自転車駐車場は平成25年4月開所

図 3-136 商工業・交通施設位置図

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

商工業施設の延床面積は、4施設合わせると 5,028 m²であり、商工業・交通施設全体の 47.3%を占めています。そのうち商工振興センターが 3,272 m²で商工業・交通施設全体の 30.8%を占めています。

交通施設の延床面積は、5施設合わせると 5,593 m²であり、商工業・交通施設全体の 52.7%を占めています。そのうち春日部駅西口自転車駐車場が 1,985 m²で商工業・交通施設全体の 18.7%を占めています。

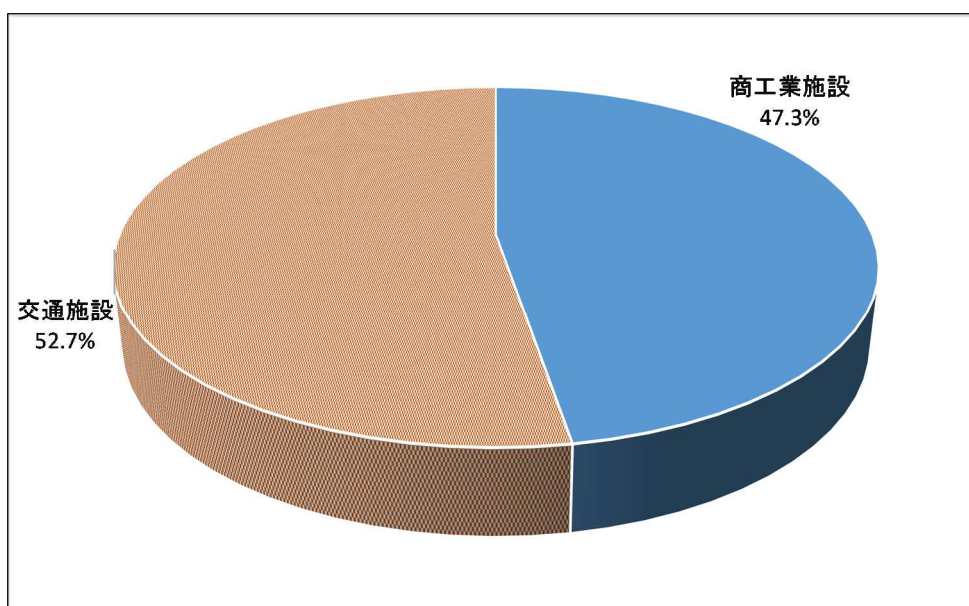


図 3-137 商工業・交通施設の延床面積の割合

表 3-129 商工業・交通施設の延床面積の状況

分類	名称	延床面積	
		(m ²)	(%)
商工業施設	道の駅「庄和」	1,458	13.7
	物産展示場	22	0.2
	商工振興センター	3,272	30.8
	旧庄和第一児童館	276	2.6
交通施設	春日部駅西口自転車駐車場	1,985	18.7
	春日部駅中央第1自転車駐車場	1,542	14.5
	春日部駅東口第1自転車駐車場	824	7.8
	南桜井駅自転車駐車場	777	7.3
	豊春駅前自転車駐車場	465	4.4
商工業施設	小計	5,028	47.3
交通施設	小計	5,593	52.7
合計		10,622	100.0

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

商工業・交通施設の建築年をみると、商工振興センターと旧庄和第一児童館は、旧耐震基準の建築物を有している施設となっていますが、それ以外の施設は全て新耐震基準の建築物となっています。

表 3-130 商工業・交通施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
商工業施設	道の駅「庄和」	平17	10	S	-	-	無
	物産展示場	昭59	31	S	-	-	無
	商工振興センター	昭55	35	RC 一部S	-	-	有
	旧庄和第一児童館	昭55	35	S	-	-	有
交通施設	春日部駅西口自転車駐車場	平03	24	S	-	-	無
	春日部駅中央第1自転車駐車場	平06	21	S	-	-	無
	春日部駅東口第1自転車駐車場	平02	25	RC	-	-	無
	南桜井駅自転車駐車場	平25	2	S	-	-	無
	豊春駅前自転車駐車場	昭62	28	S	-	-	無
商工業施設	平均		28	-	-	-	-
交通施設	平均		20	-	-	-	-
平均			23	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

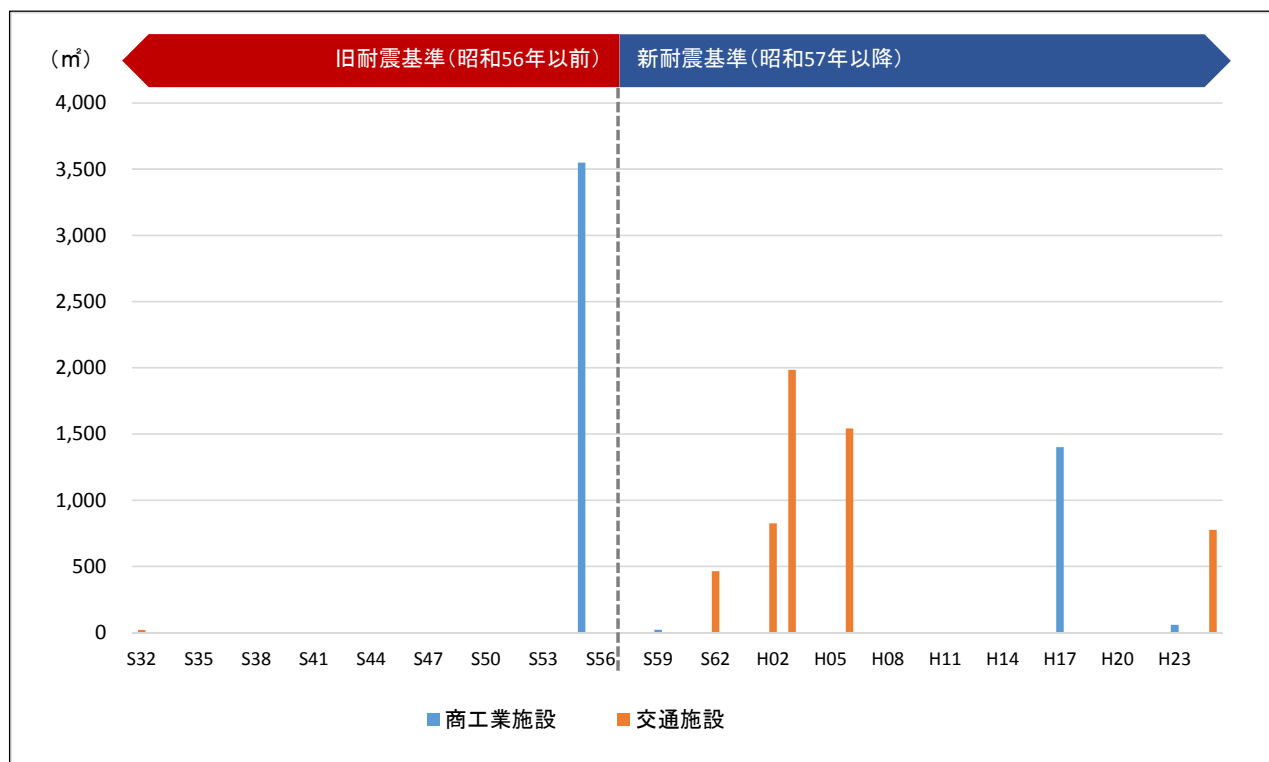
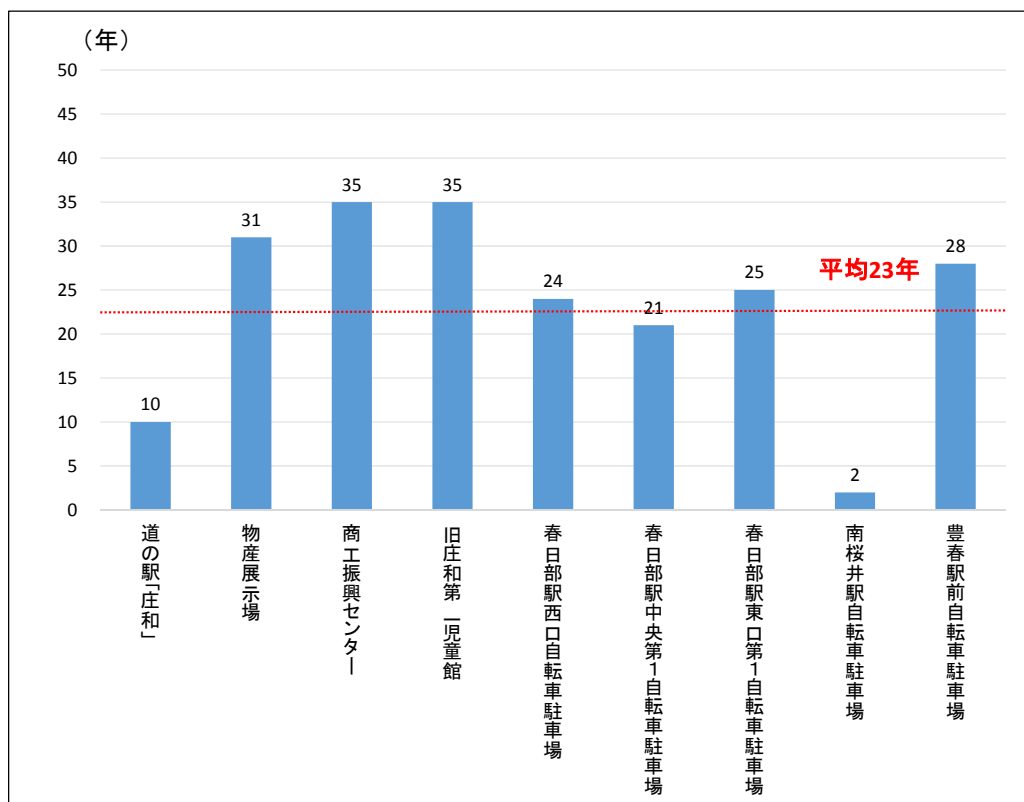


図 3-138 商工業・交通施設の建築年別の延床面積



※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中のため、対象外としています。

図 3-139 商工業・交通施設の建築物の経過年数

iii) 利用状況

商工業・交通施設の平成 25 年度の利用者数（交通施設の定期利用者数を除く）は、約 83 万 9,600 人となっています。

商工業施設の利用状況をみると、平成 25 年度では約 77 万 8,900 人に利用されています。平成 23 年度からの 3 か年の平均利用者数は約 81 万 5,700 人となっています。

交通施設の利用状況をみると、平成 25 年度の一時利用者数は約 6 万 700 人となっています。

表 3-131 商工業・交通施設の利用者数の推移（商工業施設）

分類	名称	利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
商工業施設	道の駅「庄和」	690,968	669,643	642,092	667,568
	物産展示場	—	—	—	—
	商工振興センター	136,216	171,380	136,825	148,140
	旧庄和第一児童館	—	—	—	—
合計		827,184	841,023	778,917	815,708

※物産展示場は展示スペースのみのため、「—」で表記しています。

※旧庄和第一児童館は本来の目的で使用されなくなった施設のため、「—」で表記しています。

表 3-132 商工業・交通施設の利用者数の推移（交通施設 一時利用者数）

分類	名称	一時利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
交通施設	春日部駅西口自転車駐車場	49,853	45,726	44,875	46,818
	春日部駅中央第1自転車駐車場	330	330	330	330
	春日部駅東口第1自転車駐車場	—	—	—	—
	南桜井駅自転車駐車場	—	—	14,868	—
	豊春駅前自転車駐車場	936	814	622	791
合計		51,119	46,870	60,695	—

※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中のため、「—」で表記しています。

※南桜井駅自転車駐車場は平成 25 年 4 月開所のため、平成 23 年度、平成 24 年度、3 か年平均を「—」で表記しています。

※合計の 3 か年平均は除外している施設があるため、「—」で表記しています。

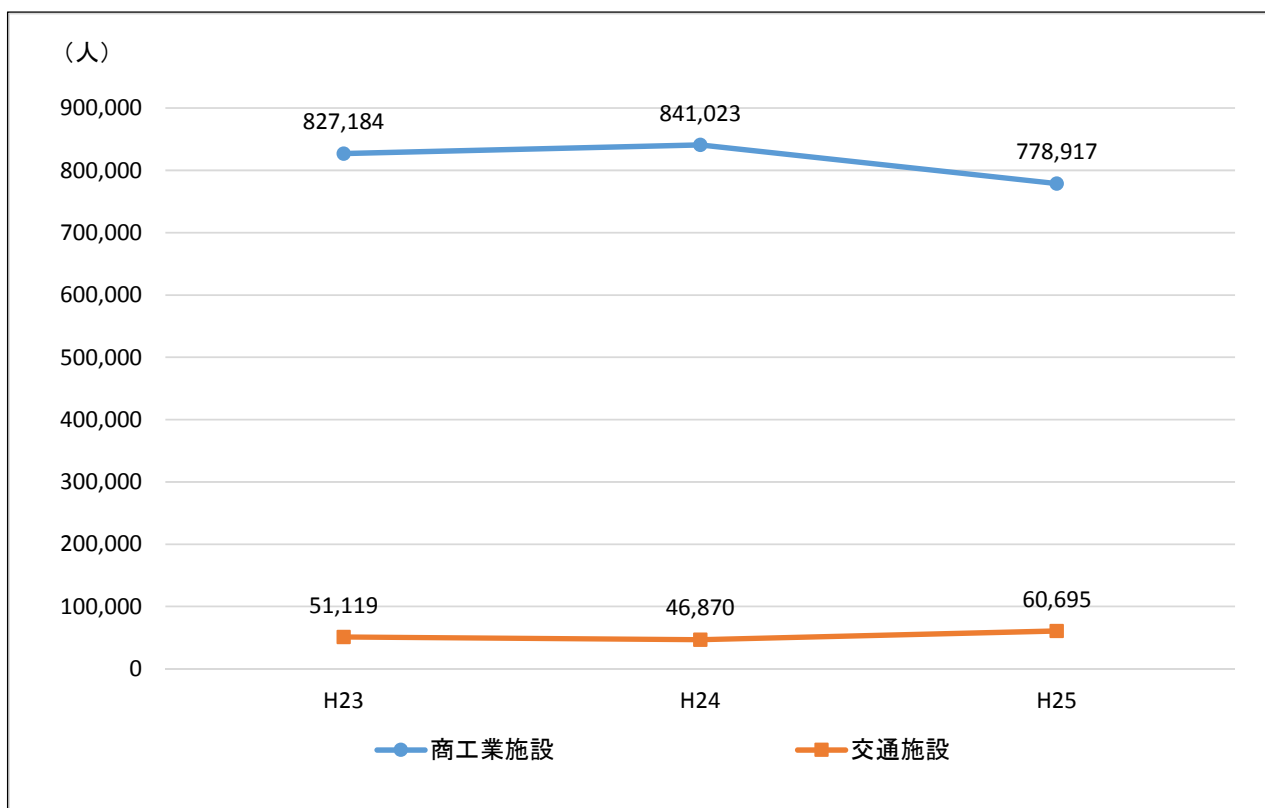
表 3-133 商工業・交通施設の利用者数の推移（交通施設 定期利用者数）

分類	名称	定期利用者数			
		H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	3カ年平均 (人)
交通施設	春日部駅西口自転車駐車場	1,499	1,510	1,376	1,462
	春日部駅中央第1自転車駐車場	—	—	—	—
	春日部駅東口第1自転車駐車場	—	—	—	—
	南桜井駅自転車駐車場	—	—	570	—
	豊春駅前自転車駐車場	56	50	48	51
合計		1,555	1,560	1,994	—

※春日部駅中央第1自転車駐車場は無料施設で定期利用がないため、「—」で表記しています。

※南桜井駅自転車駐車場は平成 25 年 4 月開所のため、平成 23 年度、平成 24 年度を「—」で表記しています。

※合計の 3 か年平均は除外している施設があるため、「—」で表記しています。



※交通施設については、一時利用者数を用いています。

図 3-140 商工業・交通施設の利用者数の推移

iv) 運営状況

商工業・交通施設の運営状況をみると、職員数は、直営が 1.9 人、指定管理者が 13 人となっています。

表 3-134 商工業・交通施設の運営状況

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
商工業施設	道の駅「庄和」	361	8:00	19:00	11時間00分	0.0	0.0	0.0	4.0	3.0	7.0
	物産展示場	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工振興センター	359	9:00	21:30	12時間30分	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	6.0
	旧庄和第一児童館	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交通施設	春日部駅西口自転車駐車場	365	0:00	24:00	24時間00分	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	春日部駅中央第1自転車駐車場	365	0:00	24:00	24時間00分	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	春日部駅東口第1自転車駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南桜井駅自転車駐車場	365	0:00	24:00	24時間00分	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	豊春駅前自転車駐車場	365	0:00	24:00	24時間00分	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
商工業施設	小計	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	10.0	3.0	13.0
交通施設	小計	-	-	-	-	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0
合計		-	-	-	-	1.9	0.0	1.9	10.0	3.0	13.0

※職員数(直営)及び(指定管理者)の値は平成25年度時点のものです。
 ※物産展示場は展示スペースのため、「-」で表記しています。
 ※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中のため、「-」で表記しています。

v) コスト状況

商工業・交通施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは約 1 億 700 万円となっています。

商工業施設の単位床面積当たりのコストは約 1 万 3,700 円/㎡となっています。

交通施設の単位床面積当たりのコストは約 1 万 2,100 円/㎡、一日当たりのコストは約 3 万 9,400 円/日となっています。

表 3-135 商工業・交通施設のコスト状況

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
	物産展示場	41	1.9	—	—
	商工振興センター	48,780	14.9	135.9	0.36
	旧庄和第一児童館	260	0.9	—	—
交通施設	春日部駅西口自転車駐車場	35,298	17.8	96.7	0.79
	春日部駅中央第1自転車駐車場	1,199	0.8	3.3	3.63
	南桜井駅自転車駐車場	18,048	23.2	49.4	1.21
	豊春駅前自転車駐車場	2,982	6.4	8.2	4.79
商工業施設	小計	49,081	13.7	—	—
交通施設	小計	57,528	12.1	39.4	0.95
合計		106,609	12.8	—	—
			平均		

※交通施設の利用者一人当たりのコストは、一時利用者数を用いて算出しています。

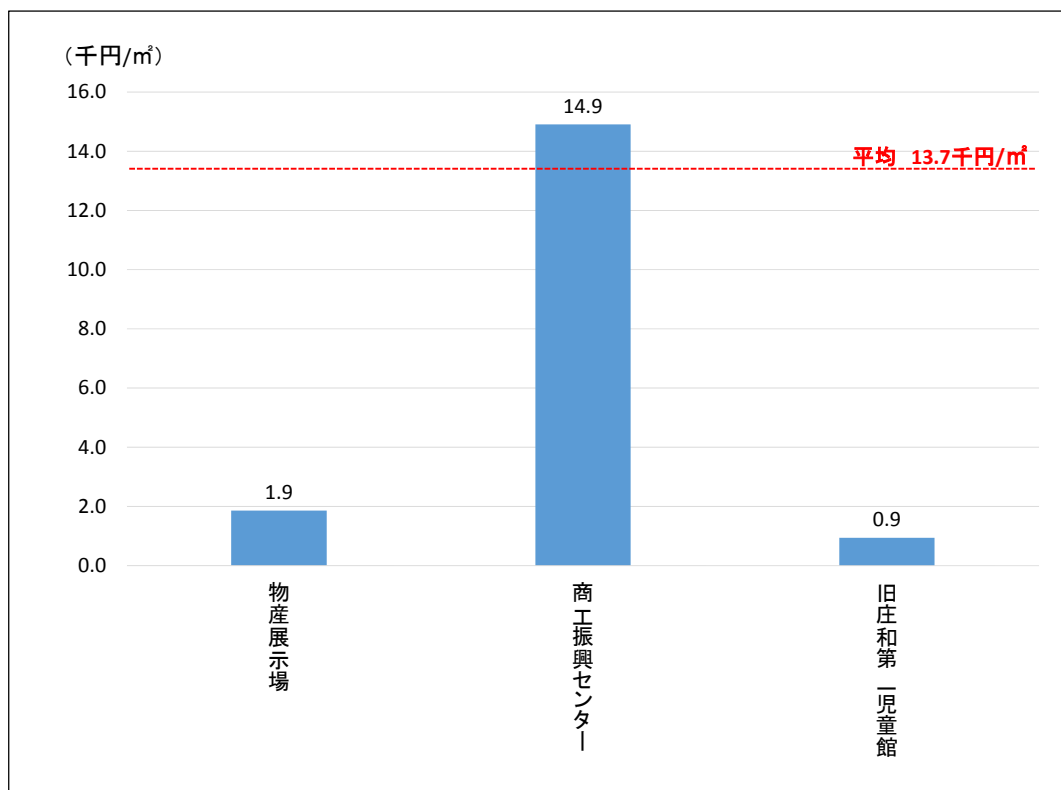
※道の駅「庄和」は市の支出が無いため、対象外としています。

※物産展示場は展示スペースのみのため、「—」で表記しています。

※旧庄和第一児童館は本来の目的で使用されなくなった施設のため、「—」で表記しています。

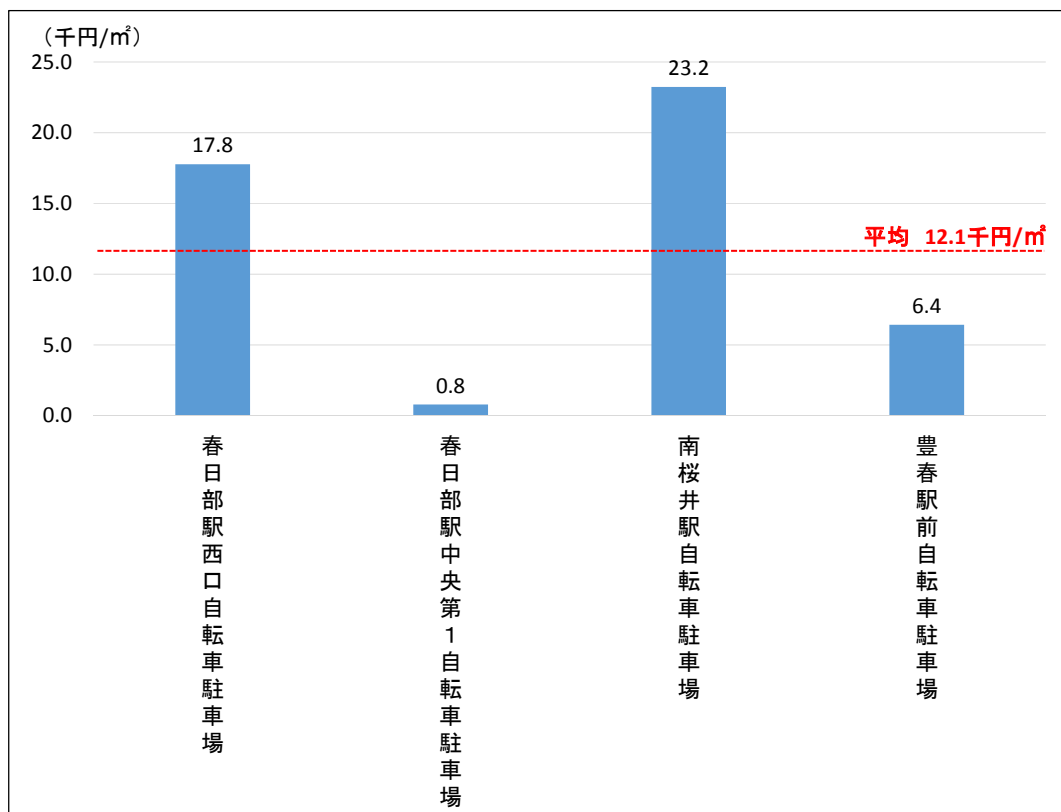
※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中のため、対象外としています。

※合計の3か年平均は除外している施設があるため、「—」で表記しています。



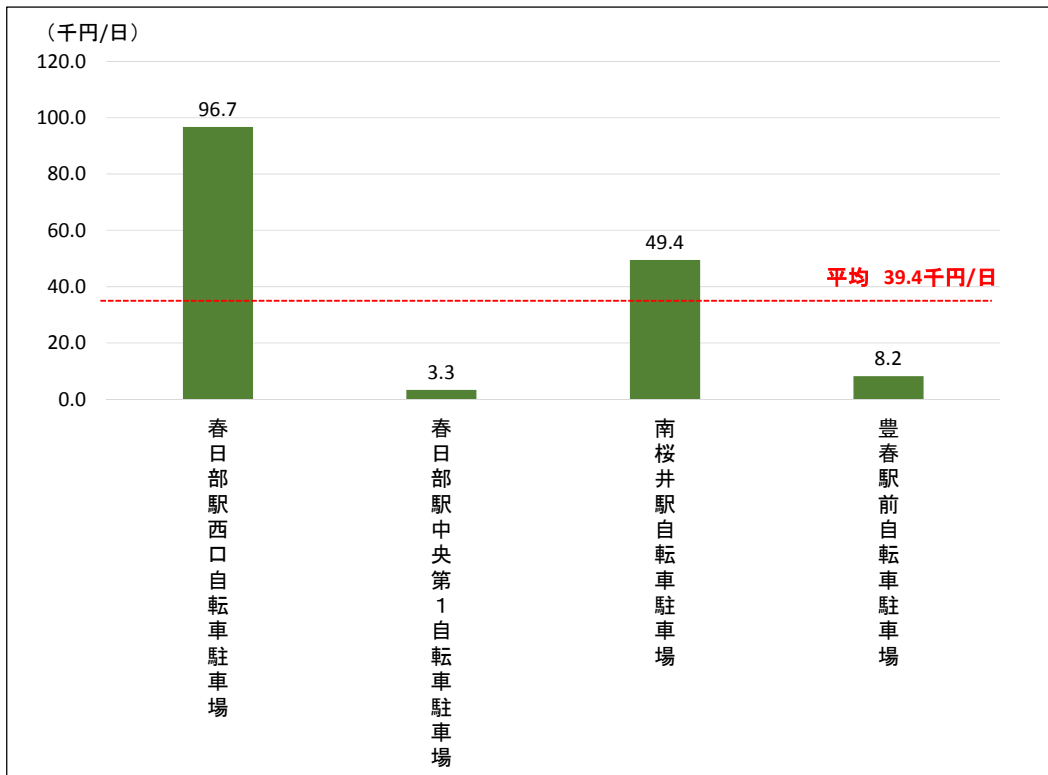
※道の駅「庄和」は市の支出が無いため、対象外としています。

図 3-141 商工業・交通施設の単位床面積当たりのコスト（商工業施設）



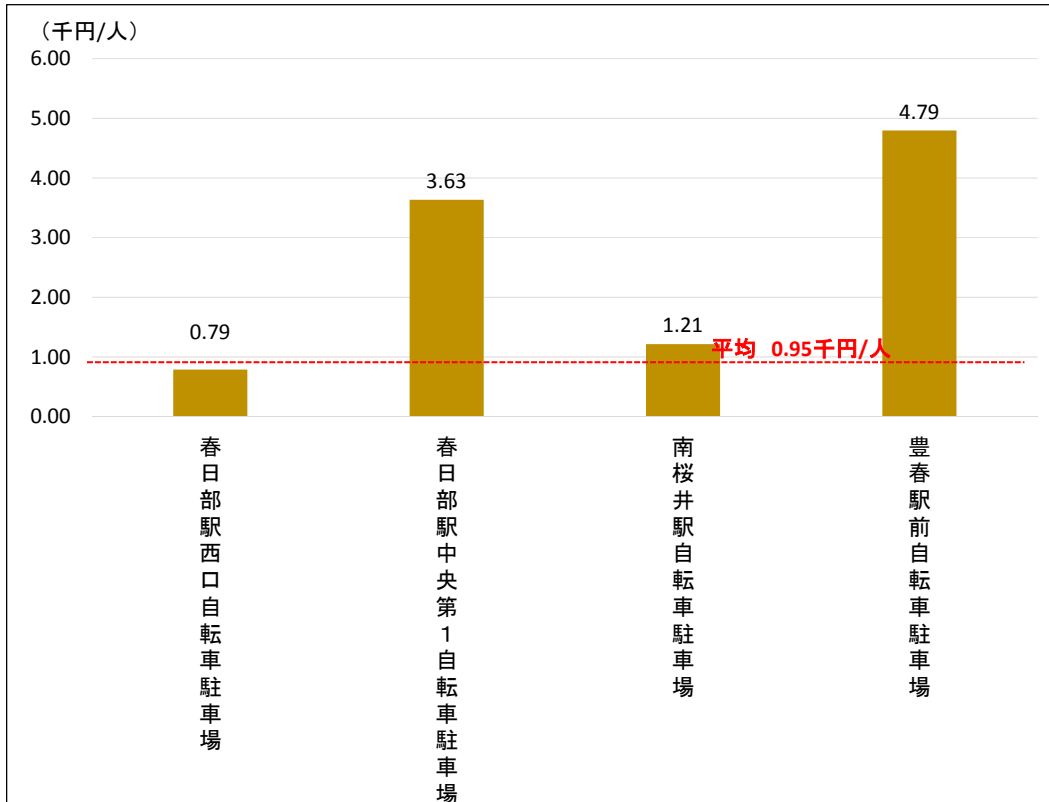
※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中のため、対象外としています。

図 3-142 商工業・交通施設の単位床面積当たりのコスト（交通施設）



※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中のため、対象外としています。

図 3-143 商工業・交通施設の日当たりのコスト（交通施設）



※交通施設の利用者一人当たりのコストは、一時利用者数を用いて算出しています。

※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中のため、対象外としています。

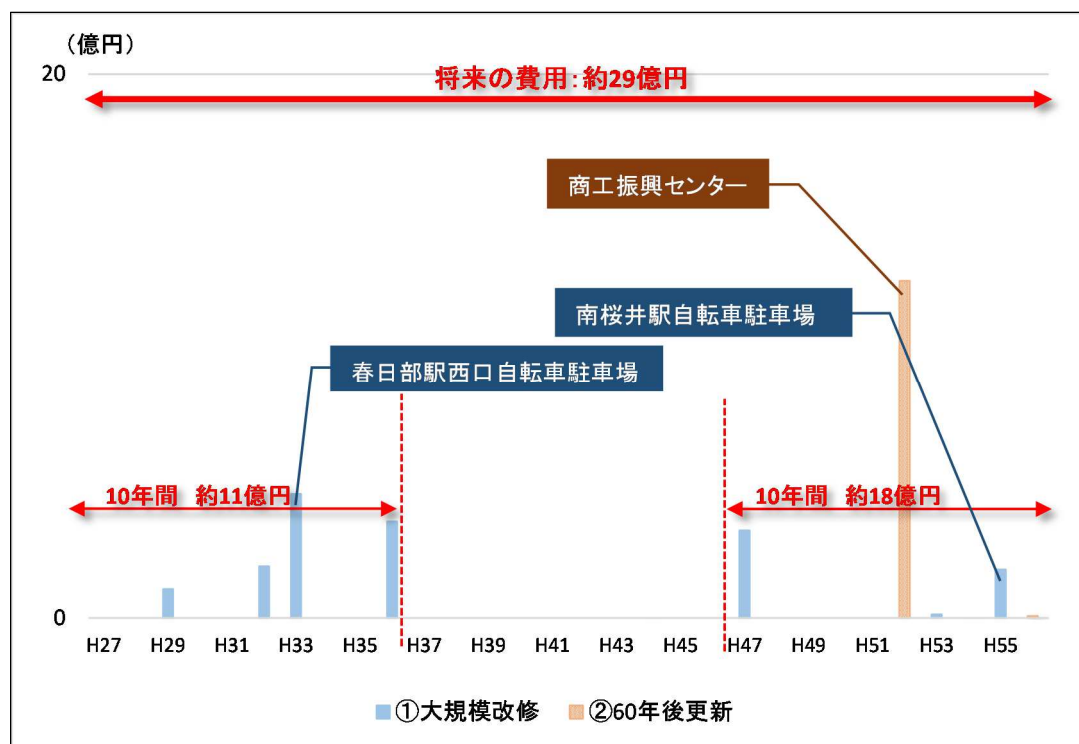
図 3-144 商工業・交通施設の利用者一人当たりのコスト（交通施設）

vi) 更新等費用の推計

商工業・交通施設では、平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間に春日部駅西口自転車駐車場等の大規模改修により約 11 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間では、南桜井駅自転車駐車場の大規模改修、及び庄和振興センターなどの更新等により、約 18 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間で商工業・交通施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 29 億円と想定されます。



※この更新等費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。（一定の試算条件についてはP39 参照）従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期（建設後 30 年）を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後 60 年が経過した後に更新（建替え）を行う想定として算出しています。

図 3-145 商工業・交通施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vii) 施設のパターン

①商業施設

物産展示場は老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-136 施設のパターン（商業施設）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
道の駅「庄和」	I	I	I	I	I	I	I	I	III
物産展示場	I	III	III	III					

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※法令上の点検が不要な施設は、指摘事項を除いてパターンを判断しています。

※冷暖房・給排水の設置の必要性が低い施設は、冷暖房設備、給排水を除いてパターンを判断しています。

※基本的には一般利用がない施設は、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

※省エネルギー化対策の設置の必要性が低い施設は、省エネルギーを除いてパターンを判断しています。

②商工センター

老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-137 施設のパターン（商工センター）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
商工振興センター	I	III	III	III	I	III	III	III	I

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※旧庄和第一児童館は、本来の目的で使用されなくなった施設のため、対象外としています。

③駐輪場

4 施設中 2 施設は外側の修繕が必要なDパターンとなっています。

表 3-138 施設のパターン（駐輪場）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
豊春駅前自転車駐車場	I	II	III	III					III
春日部駅中央第1自転車駐車場	I	II		III					III
南桜井駅自転車駐車場	I	I	I	II	I				II
春日部駅西口自転車駐車場	I	II	II	II	II				III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※春日部東口第1自転車駐車場は閉鎖中のため、対象外としています。

※外壁がない施設は、外壁を除いてパターンを判断しています。

※法令上の点検が不要な施設は、指摘事項を除いてパターンを判断しています。

※冷暖房・給排水の設置の必要性が低い施設は、冷暖房設備、給排水を除いてパターンを判断しています。

※施設の特徴から、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

viii) 商工業・交通施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・商工業施設では、商工振興センターと旧庄和第一児童館の2施設が旧耐震基準となっています。また、建築後30年以上が経過していることから、施設の老朽化への適切な対応が必要となっています。
- ・道の駅「庄和」は平成23年度から平成25年度までの3年間で利用者が約5万人減少しています。国道4号の全線拡幅の完了後は需要増が見込まれるため、利用者の増加に向けた取組が必要となっています。
- ・交通施設は、現在閉鎖中となっている春日部駅東口第1自転車駐車場の有効活用が課題となっています。
- ・旧庄和第一児童館は、大扉などの保管場所となっていますが、他施設の空きスペース活用などによる土地・建物の効率的な活用を検討する必要があります。



【今後の方向性】

- 施設の利用状況や交通量、駅利用動向等を考慮し、適正配置や利便性の向上を検討します。
- 長寿命化、維持補修の平準化を図る必要がある施設については、予防保全方法など老朽化への対応を検討します。
- 有効活用されていない施設については、効率的な活用を検討します。

表 3-139 商工業・交通施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
9	3.0%	10,622	2.1%	5	2	2
				55.6%	22.2%	22.2%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
3	6	-	106,609	12.8	-	29
33.3%	66.7%					

※2段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

※利用者数および利用者一人当たりのコストについては、各施設での利用者の計上方法が異なるため「-」で表記しています。

(9) 行政系施設

i) 概要

行政系施設の分類は、庁舎、保安防災施設、防災施設、その他に分類しています。

庁舎は、市役所等の4施設、保安防災施設は消防本部等の22施設、防災施設は防災センター等の5施設、その他が14施設です。

運営形態は、直営が31施設、貸付が10施設、目的外使用が4施設となっています。

施設形態は、庄和総合支所、武里出張所、消防本部・春日部消防署、及び防災施設が複合施設となっていますが、その他は単独施設です。

市役所の現本庁舎は、耐震化を図るため移転建替えが検討されています。

表 3-140 行政系施設の概要（庁舎）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態		貸出対象 室数 (室)
庁舎	市役所	中央6-2	直営	単独施設		-
	市役所第三別館	中央6-6-10	直営	単独施設		-
	庄和総合支所	金崎839-1	直営	複合施設	庄和児童センターなど	3
	武里出張所	大枝89 7-4	直営	複合施設	健康福祉センター	-

表 3-141 行政系施設の概要（保安防災施設）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
保安防災施設	消防本部・春日部消防署	谷原新田2097-1	直営	複合施設	防災センターなど
	春日部消防署東分署	粕壁東1-25-14	直営	単独施設	
	春日部消防署武里分署	備後西5-5-5	直営	単独施設	
	春日部消防署浜川戸分署	浜川戸2-16-3	直営	単独施設	
	春日部消防署豊野分署	藤塚103	直営	単独施設	
	春日部消防署幸松分署	樋籠994	直営	単独施設	
	春日部消防署備後分署	備後東5-14-33	直営	単独施設	
	庄和消防署	金崎914	直営	単独施設	
	春日部消防団第1分団	粕壁東2-144-1	直営	単独施設	
	春日部消防団第2分団	粕壁1-1-5	直営	単独施設	
	春日部消防団第3分団	粕壁6742-1	直営	単独施設	
	春日部消防団第4分団	内牧4398	直営	単独施設	
	春日部消防団第5分団	小淵135-7	直営	単独施設	
	春日部消防団第6分団	豊野町1-26-6	直営	単独施設	
	春日部消防団第7分団	備後西5-5-5	直営	単独施設	
	春日部消防団第8分団	道順川戸66-4	直営	単独施設	
	庄和消防団第1分団	西宝珠花651-1	直営	単独施設	
	庄和消防団第2分団	櫛29-7	直営	単独施設	
	庄和消防団第3分団	上柳5-4	直営	単独施設	
	庄和消防団第4分団	米崎88-1	直営	単独施設	
	庄和消防団第5分団	倉常629	直営	単独施設	
	庄和消防団第6分団	米島962-138	直営	単独施設	

表 3-142 行政系施設の概要（防災施設）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
防災施設	防災センター	谷原新田2097-1	直営	複合施設	消防本部など
	防災備蓄倉庫(消防本部)	谷原新田2097-1	直営	複合施設	消防本部など
	防災備蓄倉庫(藤塚小)	藤塚82-2	直営	複合施設	藤塚小学校など
	防災備蓄倉庫(小淵小)	小淵905-1	直営	複合施設	小淵小学校など
	防災備蓄倉庫(東中)	樋堀181-1	直営	複合施設	東中学校

表 3-143 行政系施設の概要（その他）

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態	
その他	旧庁舎	上柳5-4	目的外使用	単独施設	
	旧沼端小	大場128-1	目的外使用	単独施設	
	旧庄和第一保育所	西金野井256-2	目的外使用	単独施設	
	ワークプラザ	浜川戸2-9-1	貸付	単独施設	
	新生地区集会所	米島962-22	貸付	単独施設	
	西宝珠花集会所	西宝珠花690	貸付	単独施設	
	北部新宿区集会所	西金野井1692-5	貸付	単独施設	
	幸松排水機場管理事務所	新川335	貸付	単独施設	
	豊野工業団地行きバス乗務員休憩所	豊野町2-19-3	貸付	単独施設	
	旧庄和町消防団第1分団車庫	西宝珠花690	貸付	単独施設	
	旧牛島土地区画整理事務所	牛島1510-13	貸付	単独施設	
	中野土地区画整理事務所	武里中野385-1	貸付	単独施設	
	銚子口土地区画整理事務所	銚子口1161-1	貸付	単独施設	
	春日部駅東口再開発事務所	粕壁2-5-6	目的外使用	単独施設	

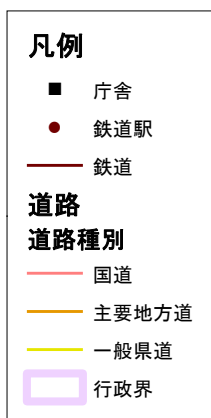


図 3-146 行政系施設位置図 (庁舎)

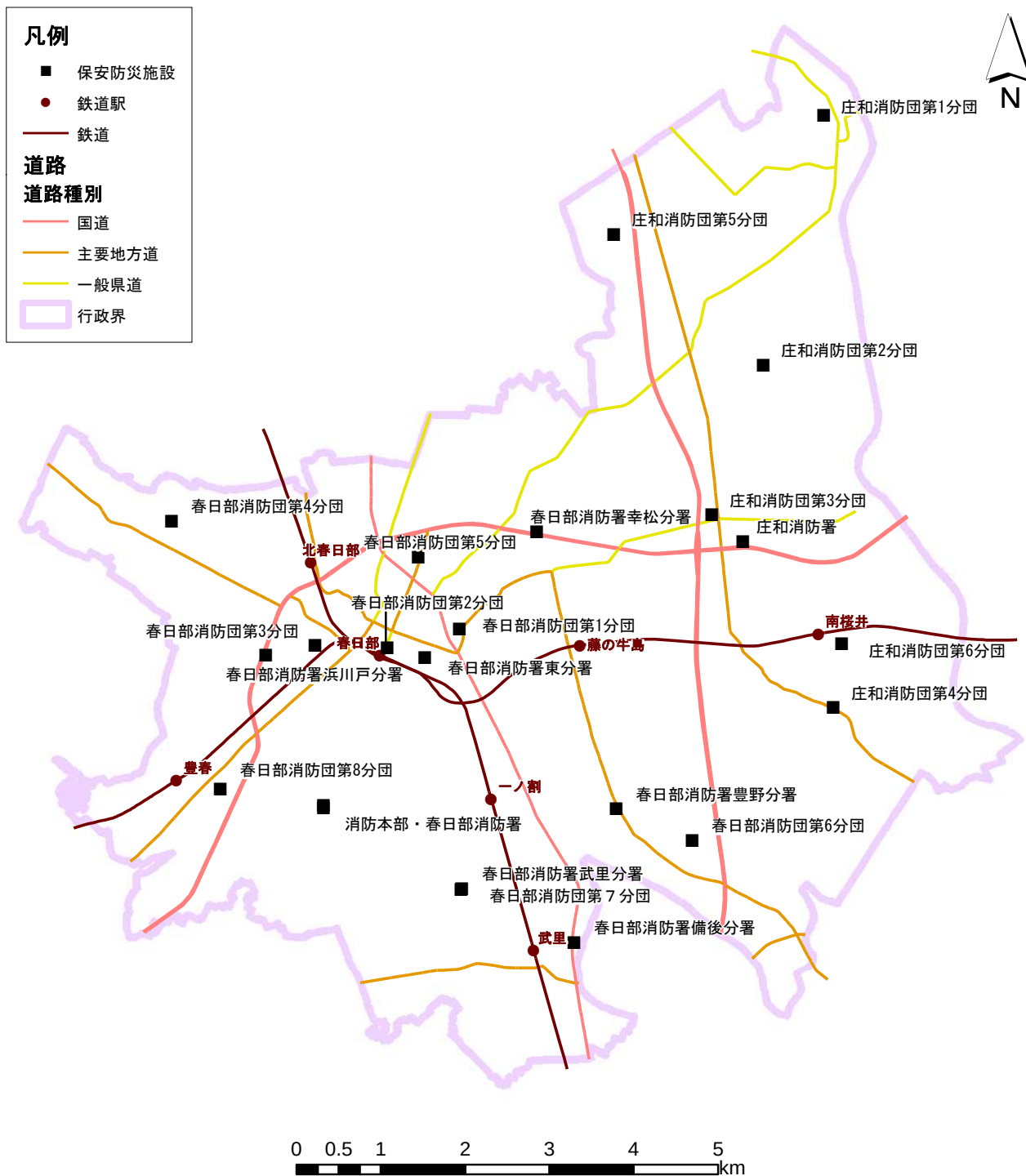


図 3-147 行政系施設位置図（保安防災施設）

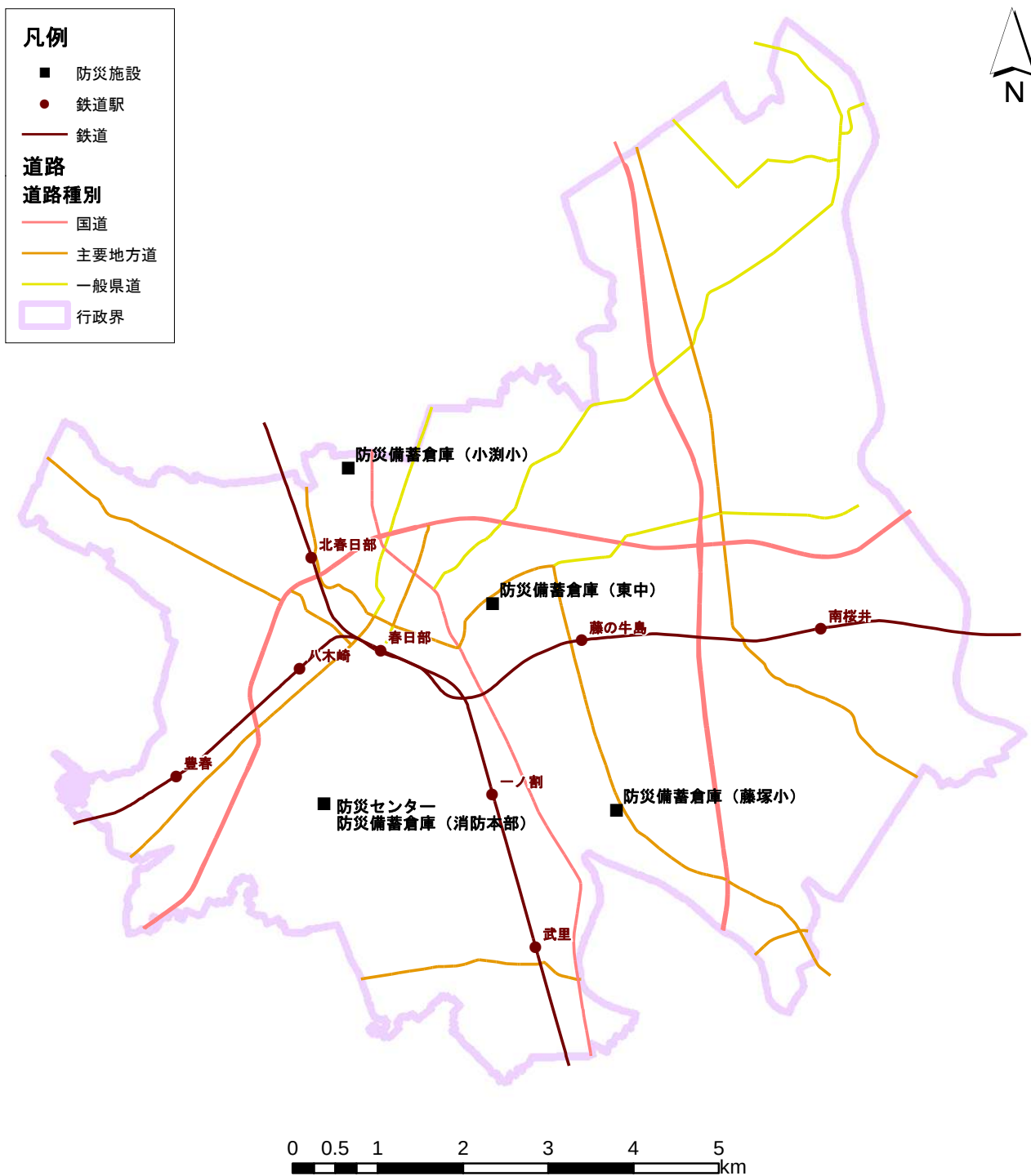


図 3-148 行政系施設位置図（防災施設）

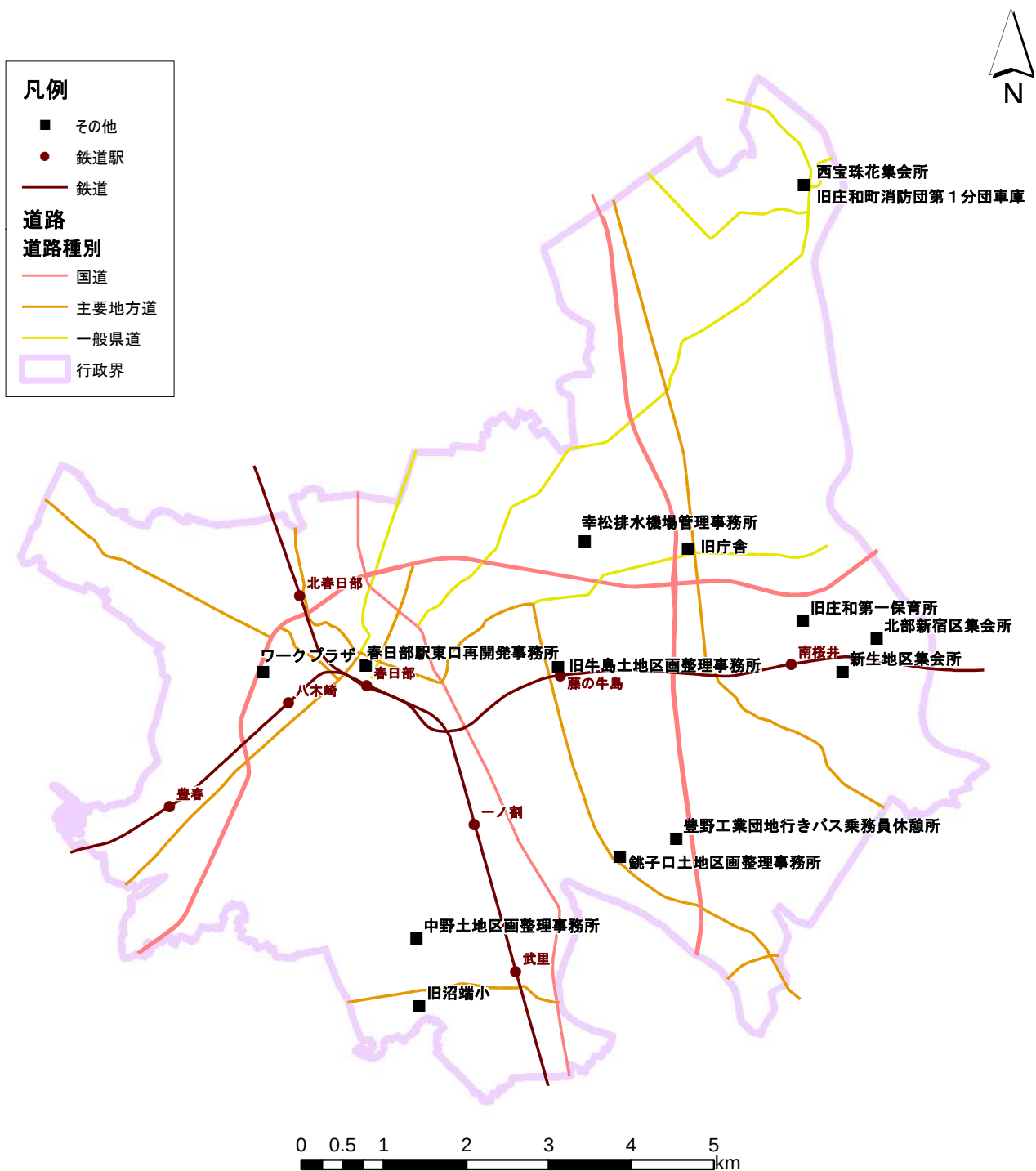


図 3-149 行政系施設位置図（その他）

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

行政系施設の延床面積では、庁舎が最も大きく 48.9% (20,545 ㎡) を占めており、次いで保安防災施設の 24.8% (10,409 ㎡)、その他の 24.1% (10,142 ㎡)、防災施設の 2.3% (956 ㎡) となっています。

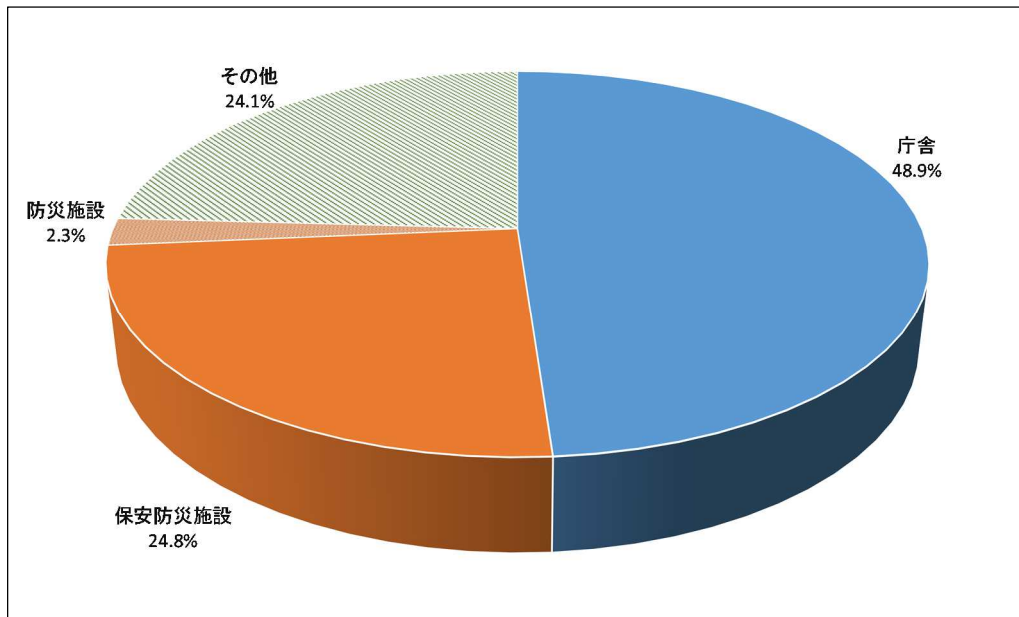


図 3-150 行政系施設の延床面積の割合

表 3-144 行政系施設の延床面積の状況（庁舎）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
庁舎	市役所	13,773	32.8
	市役所第三別館	1,009	2.4
	庄和総合支所	5,499	13.1
	武里出張所	264	0.6
合計		20,545	48.9

表 3-145 行政系施設の延床面積の状況（保安防災施設）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
保安防災施設	消防本部・春日部消防署	4,875	11.6
	春日部消防署東分署	622	1.5
	春日部消防署武里分署	358	0.9
	春日部消防署浜川戸分署	495	1.2
	春日部消防署豊野分署	515	1.2
	春日部消防署幸松分署	557	1.3
	春日部消防署備後分署	340	0.8
	庄和消防署	1,598	3.8
	春日部消防団第1分団	52	0.1
	春日部消防団第2分団	80	0.2
	春日部消防団第3分団	64	0.2
	春日部消防団第4分団	81	0.2
	春日部消防団第5分団	75	0.2
	春日部消防団第6分団	81	0.2
	春日部消防団第7分団	72	0.2
	春日部消防団第8分団	81	0.2
	庄和消防団第1分団	92	0.2
	庄和消防団第2分団	68	0.2
	庄和消防団第3分団	52	0.1
	庄和消防団第4分団	67	0.2
	庄和消防団第5分団	82	0.2
	庄和消防団第6分団	100	0.2
	合計	10,409	24.8

表 3-146 行政系施設の延床面積の状況（防災施設）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
防災施設	防災センター	213	0.5
	防災備蓄倉庫(消防本部)	555	1.3
	防災備蓄倉庫(藤塚小)	63	0.2
	防災備蓄倉庫(小淵小)	63	0.2
	防災備蓄倉庫(東中)	63	0.2
	合計	956	2.3

表 3-147 行政系施設の延床面積の状況（その他）

分類	名称	延床面積	
		(㎡)	(%)
その他	旧庁舎	1,603	3.8
	旧沼端小	7,182	17.1
	旧庄和第一保育所	496	1.2
	ワークプラザ	50	0.1
	新生地区集会所	99	0.2
	西宝珠花集会所	120	0.3
	北部新宿区集会所	49	0.1
	幸松排水機場管理事務所	67	0.2
	豊野工業団地行きバス乗務員休憩所	10	0.0
	旧庄和町消防団第1分団車庫	40	0.1
	旧牛島土地区画整理事務所	116	0.3
	中野土地区画整理事務所	116	0.3
	銚子口土地区画整理事務所	116	0.3
	春日部駅東口再開発事務所	80	0.2
	合計	10,142	24.1

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

行政系施設のうち、最も建築年が古いものは市役所の現本庁舎で、建築後 45 年を経過しています。また、他にも建築後 30 年を超える施設があり、当初整備された目的以外で利用されている施設も多くみられます。

建物構造は、庁舎、保安防災施設、防災施設は鉄筋コンクリート造、若しくは鉄骨造ですが、その他施設は木造の施設も多くなっています。

市役所が防災中枢拠点に指定されている他、消防本部、防災センターが防災中枢拠点代替施設、庄和総合支所が防災地区拠点に指定されており、防災上重要な施設となっています。

保安防災施設は、地域防災計画、耐震改修促進法等に位置づけがあり、消防活動拠点となっています。

表 3-148 行政系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（庁舎）

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
庁舎	市役所	昭45	45	RC、S	☆	－	有
	市役所第三別館	昭50	40	RC	－	－	有
	庄和総合支所	平03	24	RC、RC 一部SRC	◎	－	無
	武里出張所	平11	16	RC 一部SRC	－	○	無
	平均	－	31	－	－	－	－

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

表 3-149 行政系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（保安防災施設）

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
保安防災施設	消防本部・春日部消防署	平04	23	RC	★	－	無
	春日部消防署東分署	平07	20	S	△	－	無
	春日部消防署武里分署	昭46	44	RC	△	－	有
	春日部消防署浜川戸分署	昭50	40	RC	△	－	有
	春日部消防署豊野分署	昭52	38	RC	△	－	有
	春日部消防署幸松分署	昭60	30	RC	△	－	無
	春日部消防署備後分署	平09	18	S	△	－	無
	庄和消防署	昭54	36	RC、S	△	－	有
	春日部消防団第1分団	昭61	29	S	△	－	無
	春日部消防団第2分団	平11	16	S	△	－	無
	春日部消防団第3分団	平16	11	S	△	－	無
	春日部消防団第4分団	平19	8	S	△	－	無
	春日部消防団第5分団	平07	20	S	△	－	無
	春日部消防団第6分団	平17	10	S	△	－	無
	春日部消防団第7分団	平02	25	S	△	－	無
	春日部消防団第8分団	平12	15	S	△	－	無
	庄和消防団第1分団	平08	19	RC	△	－	無
	庄和消防団第2分団	平02	25	S	△	－	無
	庄和消防団第3分団	昭58	32	S	△	－	無
	庄和消防団第4分団	昭61	29	S	△	－	無
	庄和消防団第5分団	平07	20	S	△	－	無
	庄和消防団第6分団	平10	17	S	△	－	無
平均		－	24	－	－	－	－

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

表 3-150 行政系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（防災施設）

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
防災施設	防災センター	平04	23	RC	★	－	無
	防災備蓄倉庫(消防本部)	平04	23	RC	★	－	無
	防災備蓄倉庫(藤塚小)	昭54	36	RC	－	○	有
	防災備蓄倉庫(小淵小)	昭55	35	RC	－	○	有
	防災備蓄倉庫(東中)	平24	3	RC	○	○	無
平均		－	24	－	－	－	－

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

表 3-151 行政系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況（その他）

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
その他	旧庁舎	昭39	51	RC、S、W	-	-	有
	旧沼端小	昭51	39	RC、S	-	-	有
	旧庄和第一保育所	昭47	43	W	-	-	有
	ワークプラザ	平04	23	S	-	-	無
	新生地区集会所	昭49	41	W	-	-	有
	西宝珠花集会所	昭52	38	W	-	-	有
	北部新宿区集会所	平03	24	S	-	-	無
	幸松排水機場管理事務所	平02	25	W	-	-	無
	豊野工業団地行きバス乗務員休憩所	平17	10	S	-	-	無
	旧庄和町消防団第1分団車庫	昭52	38	S	-	-	有
	旧牛島土地区画整理事務所	平04	23	W	-	-	無
	中野土地区画整理事務所	平04	23	W	-	-	無
	銚子口土地区画整理事務所	平04	23	W	-	-	無
	春日部駅東口再開発事務所	平02	25	S	-	-	無
平均		-	30	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造
 防災拠点：☆防災中樞拠点、★防災中樞拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず
 避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず
 ※旧沼端小は、平成27年3月に避難場所の指定が解除されました。

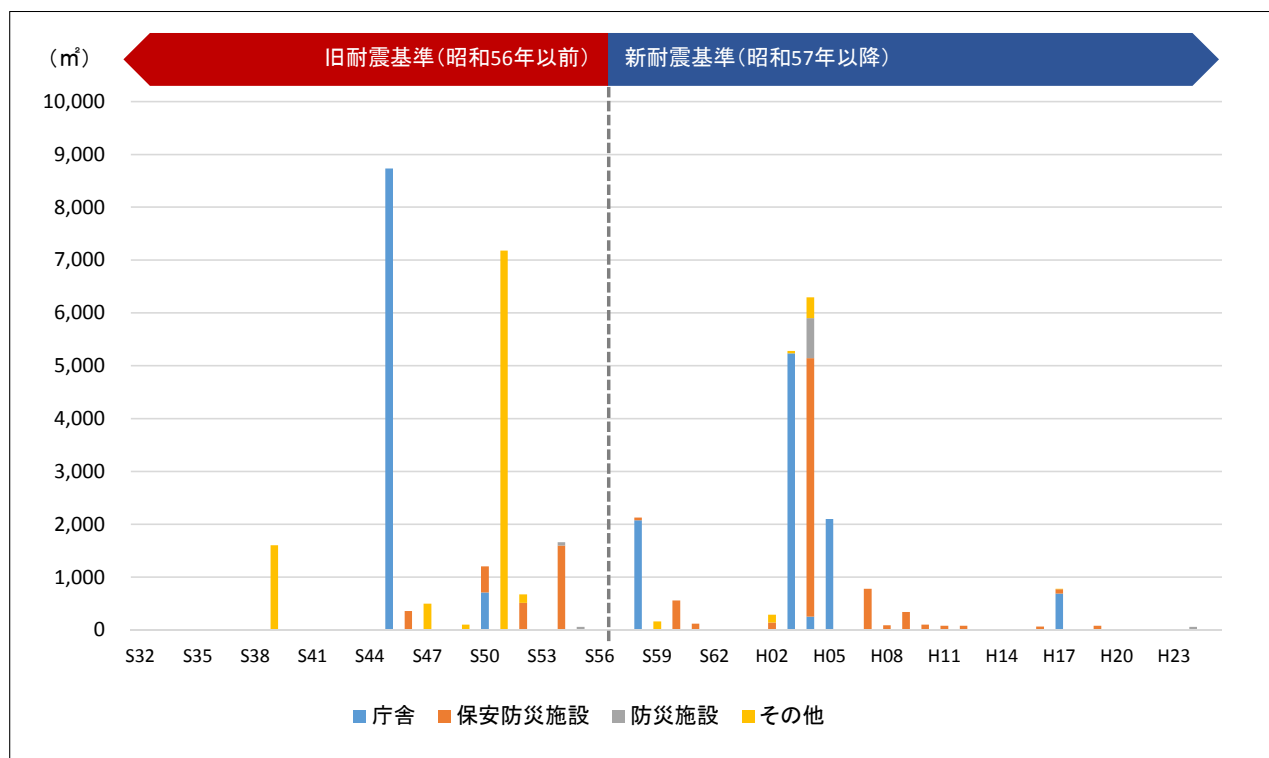


図 3-151 行政系施設の建築年別の延床面積

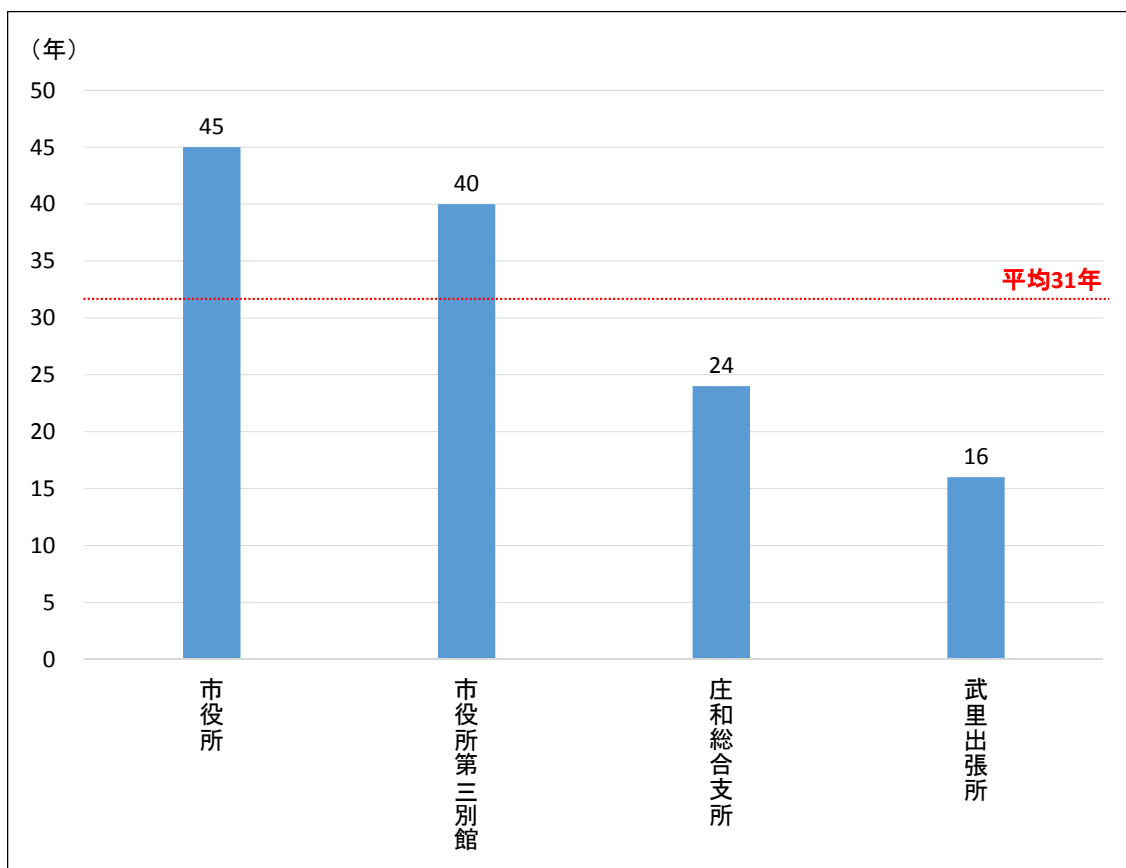


図 3-152 行政系施設の建築物の経過年数（庁舎）

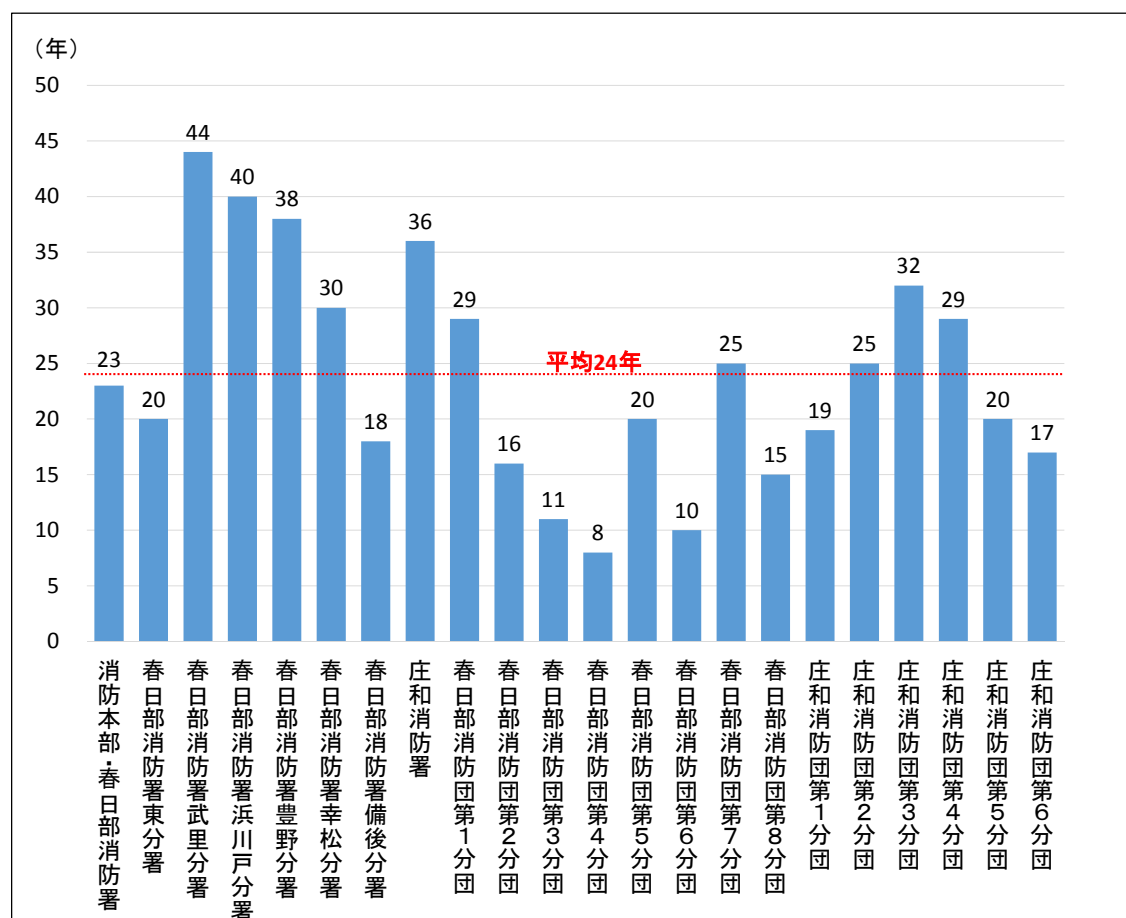


図 3-153 行政系施設の建築物の経過年数（保安防災施設）

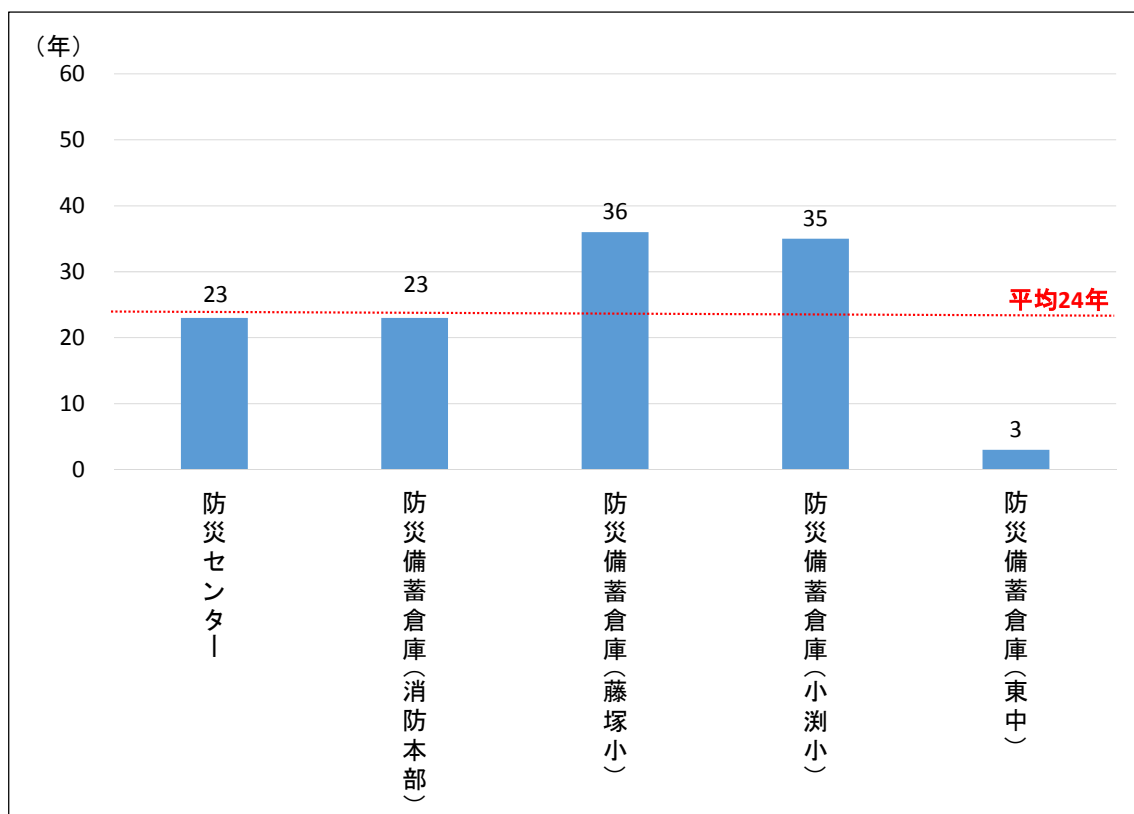


図 3-154 行政系施設の建築物の経過年数（防災施設）

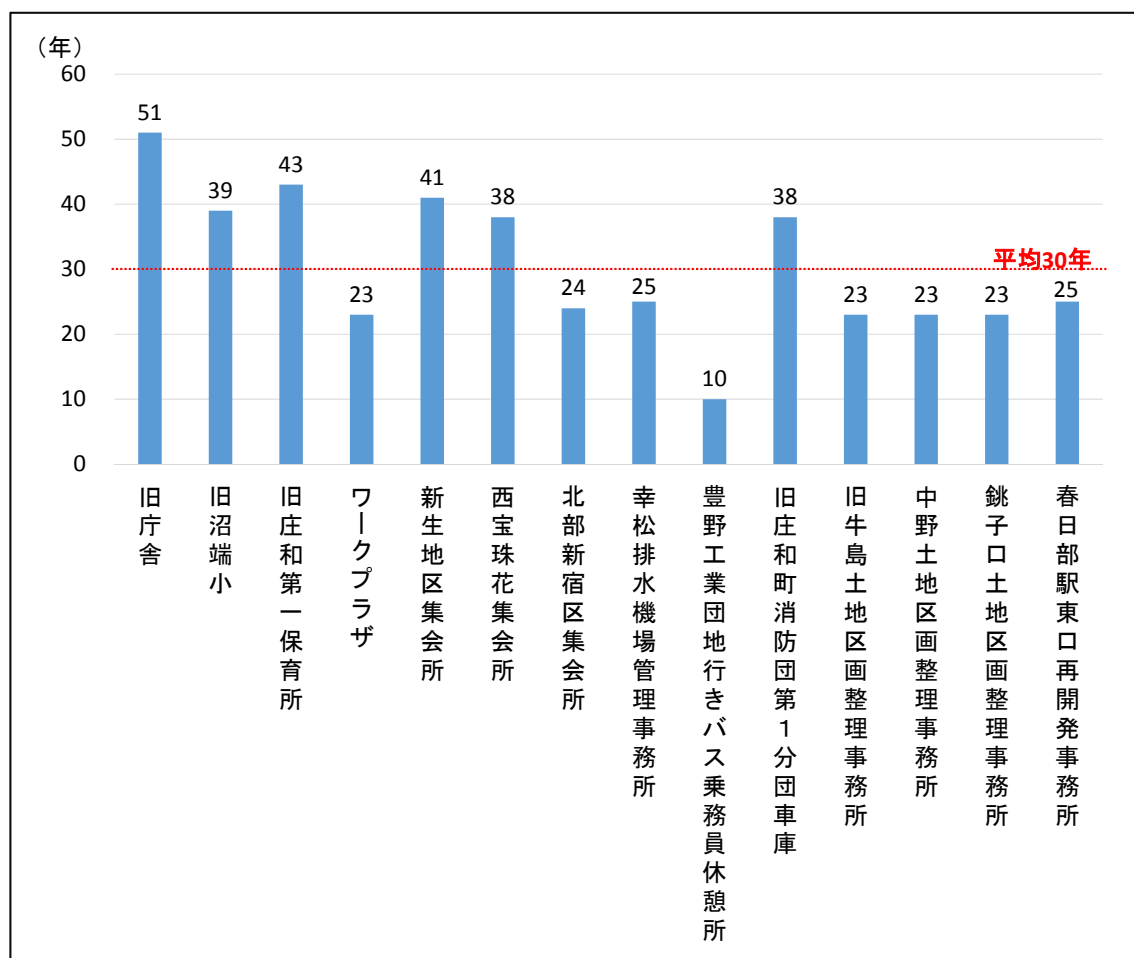


図 3-155 行政系施設の建築物の経過年数（その他）

iii) 運営状況

防災センターを除いた保安防災施設、防災施設は、24 時間体制で消防活動を行うため利用可能時間が 24 時間となっています。

表 3-152 行政系施設の運営状況（庁舎）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
庁舎	市役所	365	8:30	17:15	8時間45分	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0
	市役所第三別館	365	8:30	17:15	8時間45分	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
	庄和総合支所	365	8:30	21:30	13時間00分	1.0	0.2	1.2	0.0	0.0	0.0
	武里出張所	248	8:30	17:15	8時間45分	4.0	1.0	5.0	0.0	0.0	0.0
合計		1,343	-	-	-	7.8	1.2	9.0	0.0	0.0	0.0

※職員数（直営）及び（指定管理者）の値は平成 25 年度時点のものです。

※市役所、市役所第三別館、庄和総合支所の職員数は施設の維持管理に関わった職員数であり、窓口受付業務などの人数は含みません。

表 3-153 行政系施設の運営状況（保安防災施設）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
保安防災施設	消防本部・春日部消防署	365	0:00	24:00	24時間00分	89.0	0.0	89.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防署東分署	365	0:00	24:00	24時間00分	30.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防署武里分署	365	0:00	24:00	24時間00分	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防署浜川戸分署	365	0:00	24:00	24時間00分	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防署豊野分署	365	0:00	24:00	24時間00分	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防署幸松分署	365	0:00	24:00	24時間00分	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防署備後分署	365	0:00	24:00	24時間00分	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	庄和消防署	365	0:00	24:00	24時間00分	42.0	0.0	42.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防団第1分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防団第2分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防団第3分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防団第4分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防団第5分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防団第6分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防団第7分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	春日部消防団第8分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	庄和消防団第1分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	庄和消防団第2分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	庄和消防団第3分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	庄和消防団第4分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	庄和消防団第5分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	庄和消防団第6分団	365	0:00	24:00	24時間00分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		8,030	-	-	-	261.0	0.0	261.0	0.0	0.0	0.0

※職員数（直営）及び（指定管理者）の値は平成 25 年度時点のものです。

表 3-154 行政系施設の運営状況（防災施設）

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
防災施設	防災センター	290	9:00	16:30	7時間30分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	防災備蓄倉庫(消防本部)	365	0:00	24:00	24時間00分	-	-	-	-	-	-
	防災備蓄倉庫(藤塚小)	365	0:00	24:00	24時間00分	-	-	-	-	-	-
	防災備蓄倉庫(小淵小)	365	0:00	24:00	24時間00分	-	-	-	-	-	-
	防災備蓄倉庫(東中)	365	0:00	24:00	24時間00分	-	-	-	-	-	-
合計		1,750	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※職員数（直営）及び（指定管理者）の値は平成 25 年度時点のものです。

iv) コスト状況

行政系施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは、庁舎で約 1 億 6,000 万円、保安防災施設で約 19 億 500 万円、防災施設で約 600 万円となっています。

庁舎の単位床面積当たりのコストは、平均で約 7,800 円/㎡となっています。

保安防災施設の単位床面積当たりのコストは、平均で約 18 万 3,000 円/㎡となっています。

防災施設の単位床面積当たりのコストは、平均で約 7,500 円/㎡となっています。

表 3-155 行政系施設のコスト状況（全体）

分類	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)
庁舎	159,902	7.8	119.1
保安防災施設	1,904,562	183.0	237.2
防災施設	5,746	7.5	8.8
合計	2,070,210	65.3	206.4
平均			

表 3-156 行政系施設のコスト状況（庁舎）

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)	一日当たりの コスト H25 (千円/日)
庁舎	市役所	106,994	7.8	293.1
	市役所第三別館	4,801	4.8	13.2
	庄和総合支所	44,369	8.1	121.6
	武里出張所	3,737	14.2	15.1
合計		159,902	7.8	119.1
平均				

表 3-157 行政系施設のコスト状況（保安防災施設）

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト	単位床面積 当たりのコスト	一日当たりの コスト
		H25 (千円)	H25 (千円/㎡)	H25 (千円/日)
保安防災施設	消防本部・春日部消防署	845,438	173.4	2,316.3
	春日部消防署東分署	178,097	286.2	487.9
	春日部消防署武里分署	119,850	334.5	328.4
	春日部消防署浜川戸分署	119,450	241.4	327.3
	春日部消防署豊野分署	119,599	232.3	327.7
	春日部消防署幸松分署	120,252	215.8	329.5
	春日部消防署備後分署	120,976	355.6	331.4
	庄和消防署	238,876	149.5	654.5
	春日部消防団第1分団	3,182	60.8	8.7
	春日部消防団第2分団	2,941	36.6	8.1
	春日部消防団第3分団	3,029	47.0	8.3
	春日部消防団第4分団	3,033	37.6	8.3
	春日部消防団第5分団	2,927	39.1	8.0
	春日部消防団第6分団	3,133	38.8	8.6
	春日部消防団第7分団	3,069	42.4	8.4
	春日部消防団第8分団	3,029	37.6	8.3
	庄和消防団第1分団	2,970	32.2	8.1
	庄和消防団第2分団	2,940	43.0	8.1
	庄和消防団第3分団	2,906	55.4	8.0
	庄和消防団第4分団	2,945	44.2	8.1
	庄和消防団第5分団	2,959	35.9	8.1
	庄和消防団第6分団	2,962	29.6	8.1
合計		1,904,562	183.0	237.2
			平均	

表 3-158 行政系施設のコスト状況（防災施設）

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト	単位床面積 当たりのコスト	一日当たりの コスト
		H25 (千円)	H25 (千円/㎡)	H25 (千円/日)
防災施設	防災センター	1,940	9.1	6.7
	防災備蓄倉庫(消防本部)	3,806	6.9	10.4
合計		5,746	7.5	8.8
			平均	

※学校の防災備蓄倉庫は、学校敷地内にある施設のため、対象外としています。

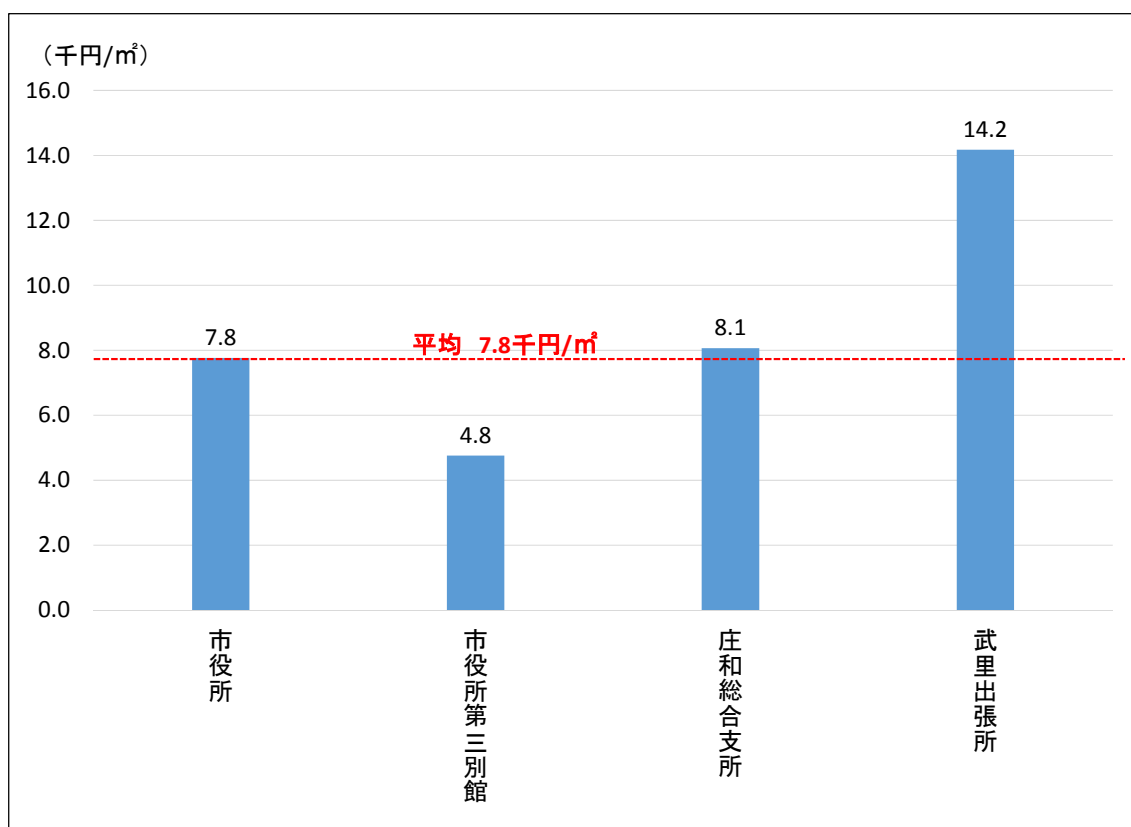


図 3-156 行政系施設の単位床面積当たりのコスト（庁舎）

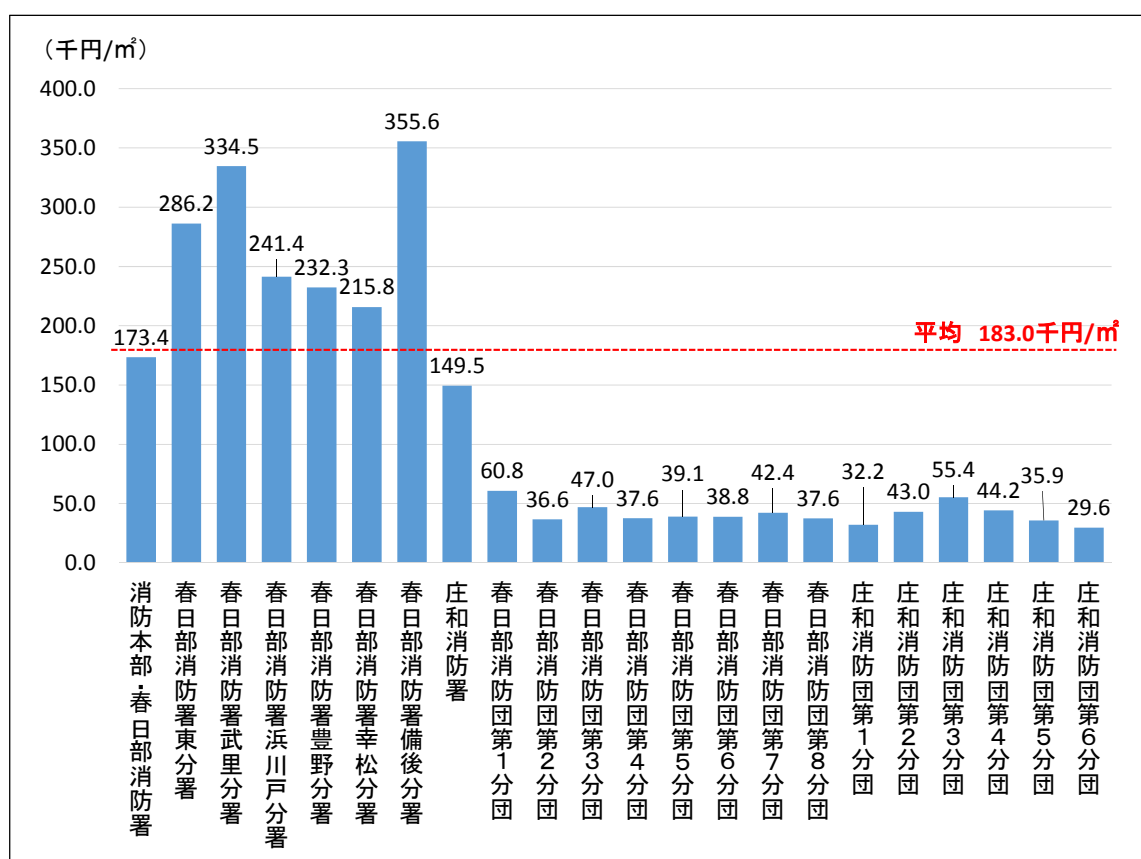


図 3-157 行政系施設の単位床面積当たりのコスト（保安防災施設）

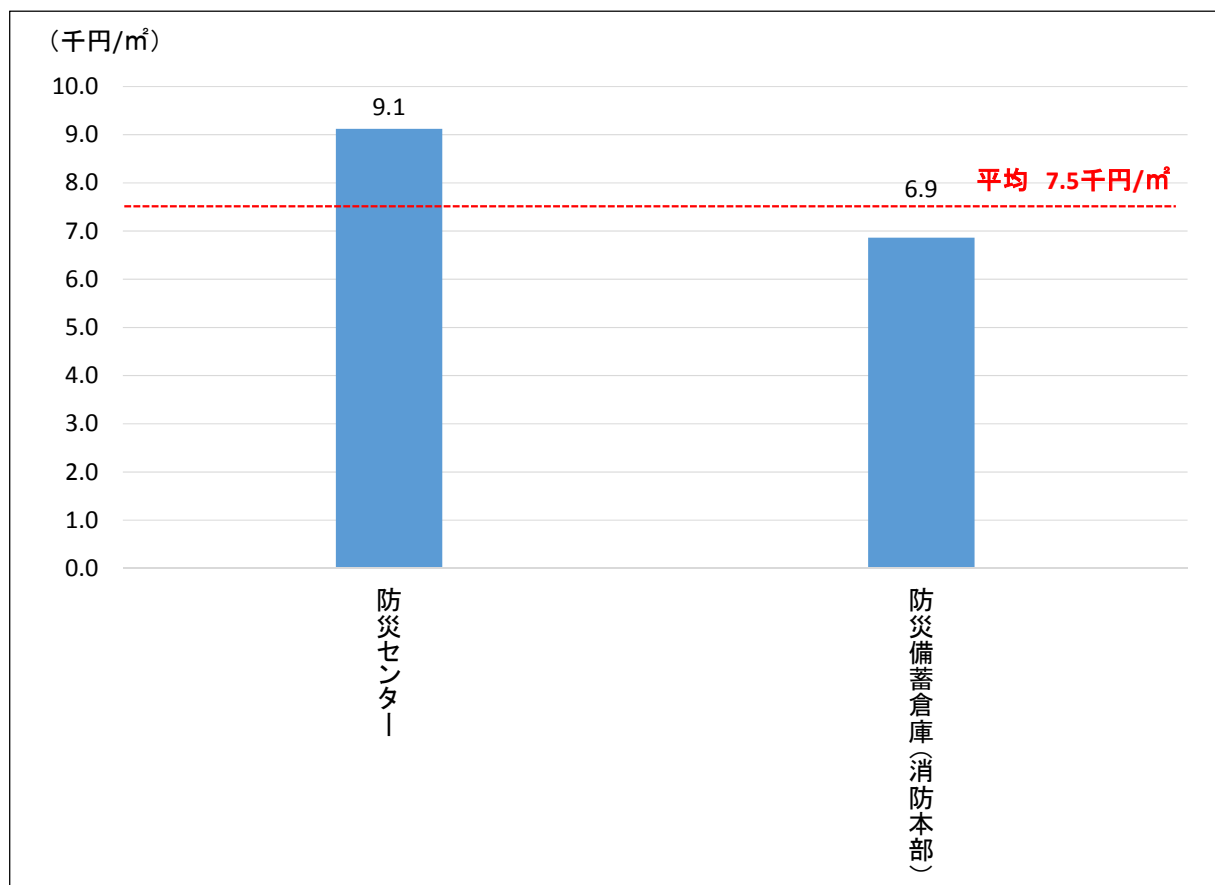


図 3-158 行政系施設の単位床面積当たりのコスト（防災施設）

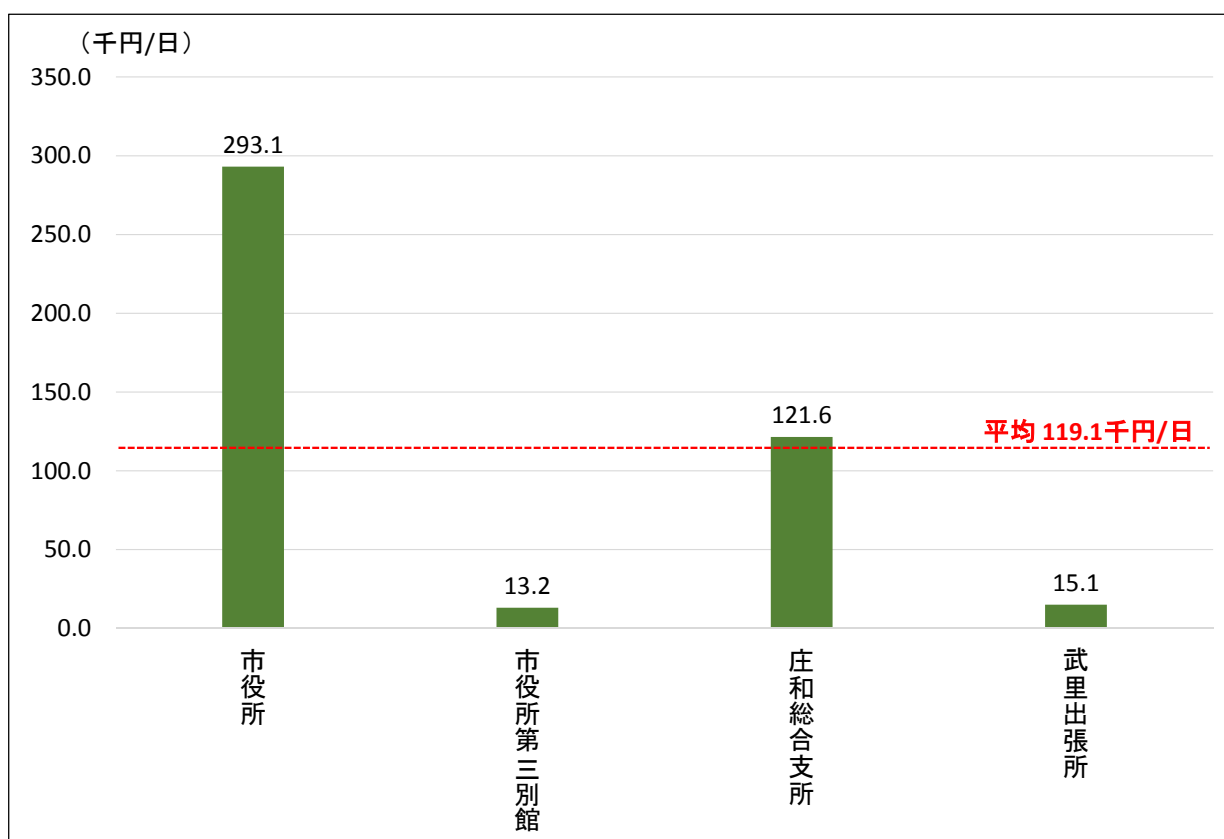


図 3-159 行政系施設の日当たりのコスト（庁舎）

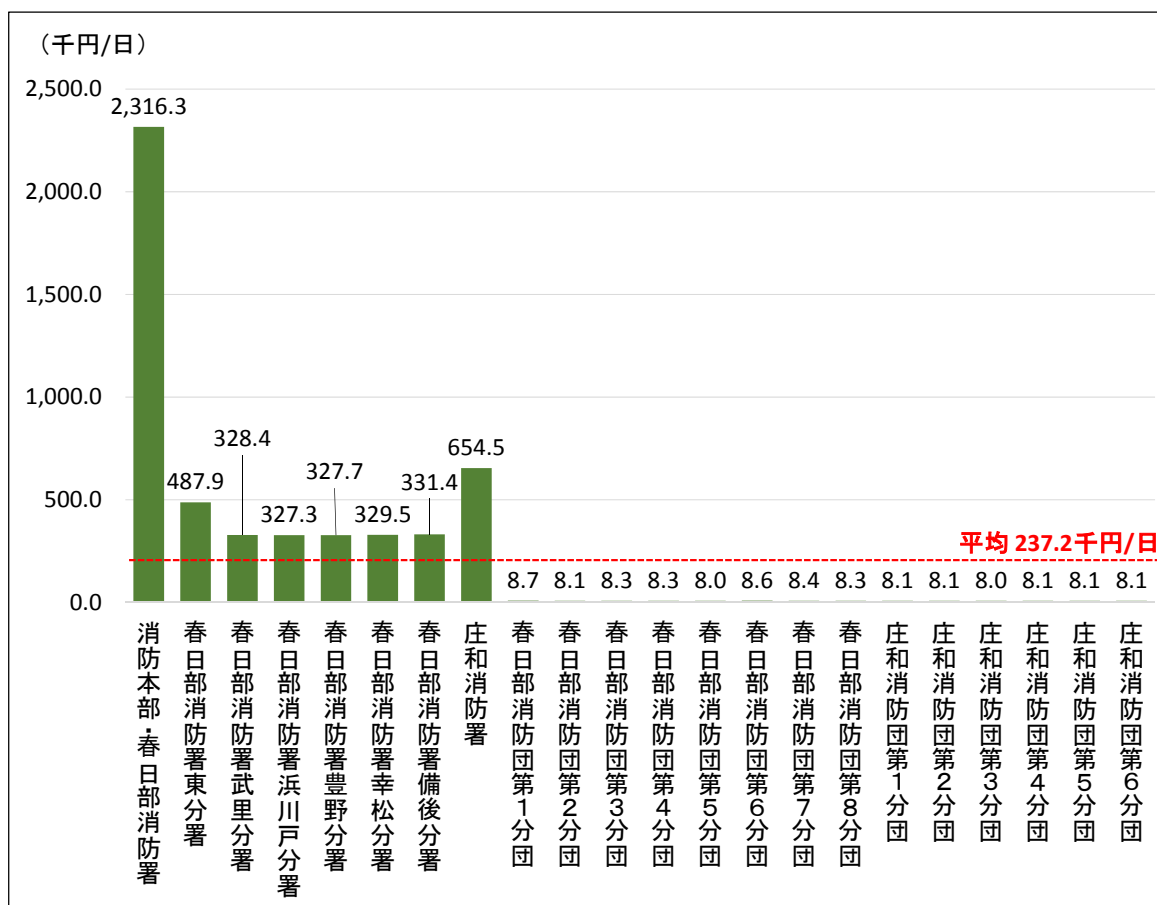


図 3-160 行政系施設の日当たりのコスト（保安防災施設）

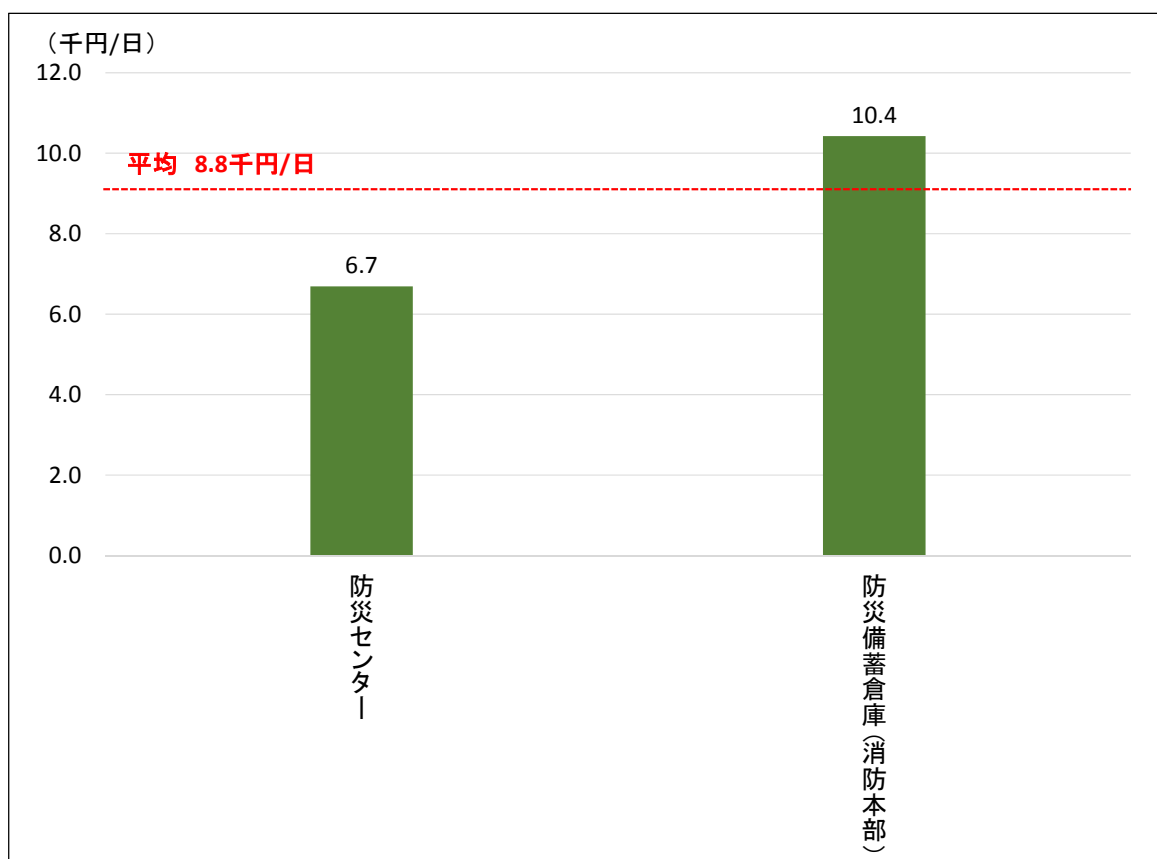


図 3-161 行政系施設の日当たりのコスト（防災施設）

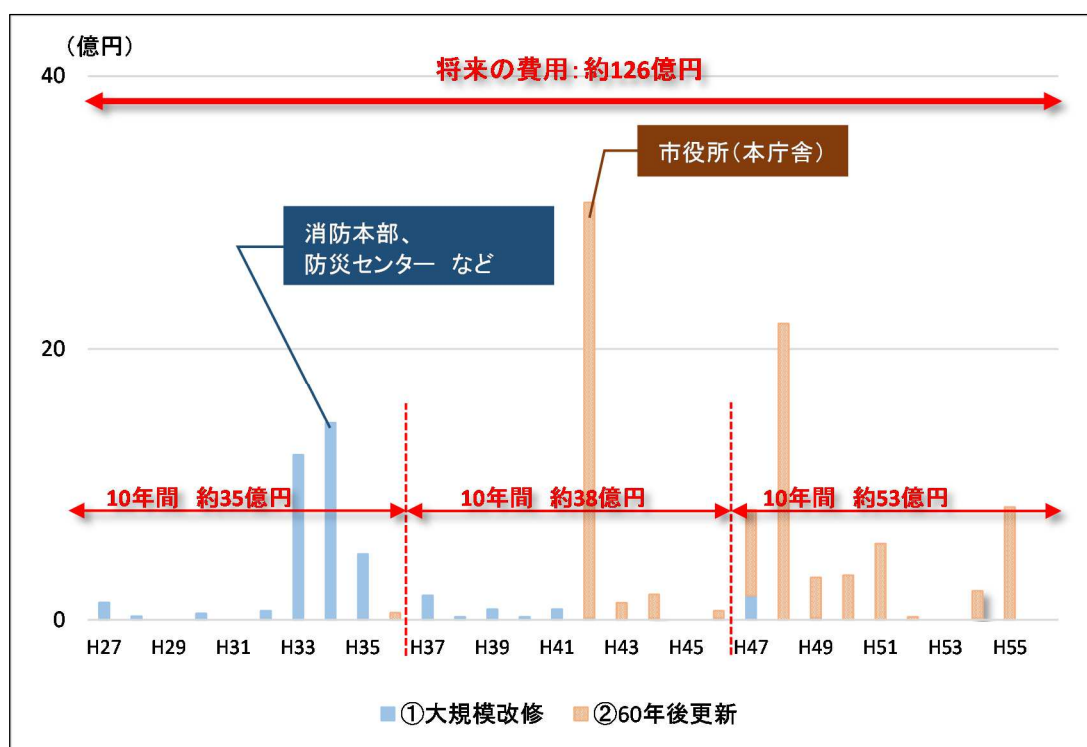
v) 更新等費用の推計

行政系施設では、平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間に消防本部、防災センター一等の大規模改修により約 35 億円の費用がかかることが想定されます。

また、平成 37 年から平成 46 年までの 10 年間では、市役所（本庁舎）の更新等により約 38 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間に約 53 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間で行政系施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 126 億円と想定されます。



※この更新等費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。（一定の試算条件についてはP39 参照）従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期（建設後 30 年）を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後 60 年が経過した後に更新（建替え）を行う想定として算出しています。

図 3-162 行政系施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vi) 施設のパターン

① 庁舎

市役所及び市役所第三別館は、耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから、Fパターンとなっています。

表 3-159 施設のパターン（庁舎）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
市役所	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ
市役所第三別館	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
庄和総合支所	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
武里出張所	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	C
Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	B

※パターンの分類については、11 ページを参照 11 ページに掲載しています。

※庄和総合支所は、書庫も含めて判断しています。

② 保安防災施設

保安防災施設は、春日部消防署武里分署、同浜川戸分署、同豊野分署、庄和消防署の4施設が、耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから、Fパターンとなっています。その他は省エネルギー対策が必要なBパターンが多くなっています。

表 3-160 施設のパターン（保安防災施設）

施設名	安全性					機能性			環境性	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー								
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水										
消防本部・春日部消防署	I	II	II	II	II	III	III		II	I	II	II	II	III		II	C
春日部消防署東分署	I	II	II	II	I	I	II		III	I	II	II	I	I		III	B
春日部消防署武里分署	III	III	III	III	I	III	II		III	III	III	III	I	III		III	F
春日部消防署浜川戸分署	III	III	III	II	I	III	III		III	III	III	III	II	I		III	F
春日部消防署豊野分署	III	III	III	II	I	III	III		III	III	III	III	II	I		III	F
春日部消防署幸松分署	I	II	II	III	I	III	III		III	I	II	II	I	III		III	C
春日部消防署備後分署	I	II	II	II	I	II	I		III	I	II	II	I	II		III	B
庄和消防署	III	III	III	II	I	III	III		III	III	III	III	II	I		III	F
春日部消防団第1分団	I	II	II	III		II	II		III	I	II	II		II		III	B
春日部消防団第2分団	I	II	I	I		I	I		III	I	II	I		I		III	B
春日部消防団第3分団	I	I	I	I		I	I		III	I	I	I		I		III	B
春日部消防団第4分団	I	I	I	I		I	I		III	I	I	I		I		III	B
春日部消防団第5分団	I	II	I	II		I	I		III	I	II	I		I		III	B
春日部消防団第6分団	I	I	I	I		I	I		III	I	I	I		I		III	B
春日部消防団第7分団	I	II	II	II		II	I		III	I	II	II		II		III	B
春日部消防団第8分団	I	I	I	I		I	I		III	I	I	I		I		III	B
庄和消防団第1分団	I	II	I	II		III	I		III	I	II	I		II		III	B
庄和消防団第2分団	I	II	I	II		II	I		III	I	II	I		II		III	B
庄和消防団第3分団	I	III	II	III		II	II		III	I	III	II		II		III	E
庄和消防団第4分団	I	II	II	II		II	II		III	I	II	II		II		III	B
庄和消防団第5分団	I	II	II	II		I	I		III	I	II	II		I		III	B
庄和消防団第6分団	I	II	II	I		I	I		III	I	II	I		I		III	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※法令上の点検が不要な施設は、指摘事項を除いてパターンを判断しています。

※基本的に一般利用のない関係者が使用する施設については、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

③ 防災施設

防災施設は、小渕小と藤塚小の防災備蓄倉庫が、老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-161 施設のパターン（防災施設）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
防災センター	I	II	II	II	II	III	III	I	II
防災備蓄倉庫(消防本部)	I	II	II	II		III	III		II
防災備蓄倉庫(藤塚小)	II	III	III	III		III	III		III
防災備蓄倉庫(小渕小)	II	III	I	I		III	III		III
防災備蓄倉庫(東中)	I	I	I	I		I	I		I

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
I	II	II	II	III	I	II	C
I	II	II		III		II	C
II	III	III		III		III	E
II	III	I		III		III	E
I	I	I		I		I	A

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※防災センターについては、消防本部・春日部消防署より判断しています。

※法令上の点検が不要な施設は、指摘事項を除いてパターンを判断しています。

※基本的に一般利用のない関係者が使用する施設については、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

vii) 行政系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・市役所の現本庁舎は、建築後 45 年が経過し、旧耐震基準の建築物であり、十分な耐震性能が確保されていません。
 - ・建物構造は、庁舎、保安防災施設、防災施設を除く施設は木造の施設も多く、また、消防分署については耐震性を保有していない施設があり、これら施設は防災中枢拠点、防災中枢拠点代替施設、防災地区拠点、地区拠点避難場所に指定されていることから、早期の改修による安全性の確保が必要となっています。
- その他の施設は、当初の利用目的以外で活用されている施設があり、施設のあり方についての検討が必要です。
- ・単位床面積当たりのコストは、庁舎では武里出張所、保安防災施設では春日部消防署備後分署、春日部消防署武里分署、また、防災施設では防災センターが多く、一日当たりのコストは庁舎では市役所、保安防災施設では消防本部・春日部消防署が多くなっています。これらは維持管理・運営にかかるコストの縮減について検討していく必要があります。



【今後の方向性】

- 市役所の現本庁舎は、移転建替えが検討されています。
- 耐震性を保有していない施設については、安全性の確保に向けた改修や類似施設との統合等を検討します。
- 長寿命化を図る必要がある施設については予防保全等の取り組みを検討します。
- その他の施設は各施設の利用状況を精査し、利用状況に応じて用途廃止等を検討します。

表 3-162 行政系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
45	15.2%	42,053	8.4%	31 68.9%	0 0.0%	14 31.1%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
16 35.6%	29 64.4%	-	2,070,210	65.3	-	126

※2段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

※利用者数および利用者一人当たりのコストについては、各施設での利用者の計上方法が異なるため、「-」で表記しています。

(10) 住宅系施設

i) 概要

住宅系施設の分類は、市営住宅としています。

市営住宅は、15 施設あり、すべての住宅は市の直営による運営となっており、単独施設となっています。

表 3-163 住宅系施設の概要

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態
市営住宅	藤塚第一住宅	藤塚657	直営	単独施設
	藤塚第二住宅	藤塚644	直営	単独施設
	藤塚第三住宅	藤塚432	直営	単独施設
	牛島住宅	牛島844	直営	単独施設
	大池住宅	南4-13	直営	単独施設
	備後住宅	備後東6-15	直営	単独施設
	花積住宅	花積160	直営	単独施設
	上蛭田第二住宅	上蛭田100	直営	単独施設
	緑町住宅	緑町4-13-3	直営	単独施設
	藤塚根郷住宅	藤塚546-1	直営	単独施設
	東中野住宅	東中野1319、東中野1193	直営	単独施設
	新宿新田住宅	新宿新田351-1	直営	単独施設
	平松谷住宅	金崎1274-17	直営	単独施設
	西金野井住宅	西金野井31、47-1	直営	単独施設
	西宝珠花北住宅	西宝珠花8-2	直営	単独施設

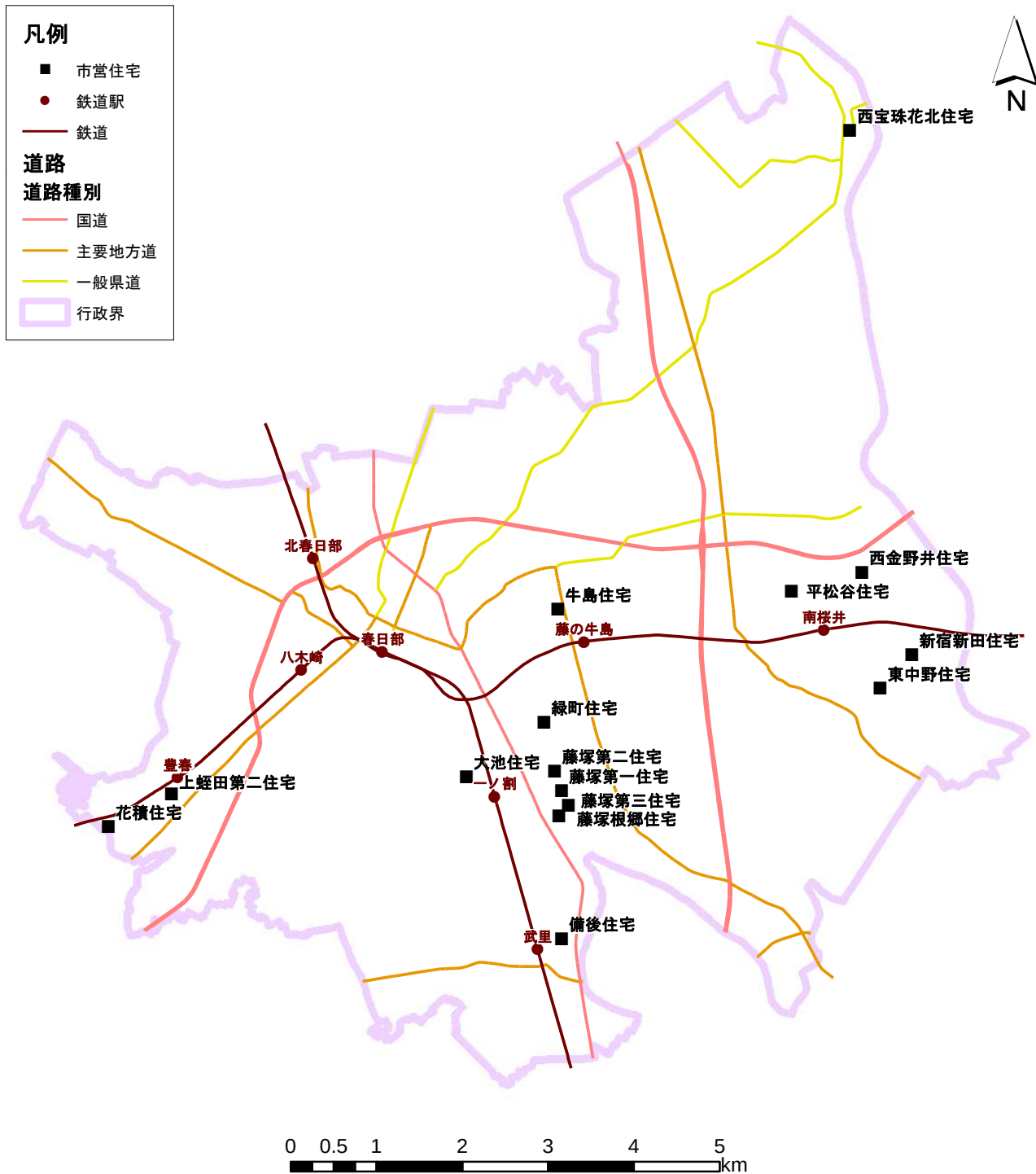


図 3-163 住宅系施設位置図

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

住宅系施設の延床面積では、緑町住宅が最も大きく 33.7% (8,245 m²) を占めており、次いで西金野井住宅の 16.6% (4,069 m²)、藤塚根郷住宅の 14.6% (3,576 m²) となっています。

表 3-164 住宅系施設の延床面積の状況

分類	名称	延床面積	
		(m ²)	(%)
市営住宅	藤塚第一住宅	323	1.3
	藤塚第二住宅	382	1.6
	藤塚第三住宅	434	1.8
	牛島住宅	132	0.5
	大池住宅	478	2.0
	備後住宅	278	1.1
	花積住宅	628	2.6
	上蛭田第二住宅	2,037	8.3
	緑町住宅	8,245	33.7
	藤塚根郷住宅	3,576	14.6
	東中野住宅	874	3.6
	新宿新田住宅	1,417	5.8
	平松谷住宅	625	2.6
	西金野井住宅	4,069	16.6
	西宝珠花北住宅	983	4.0
合計		24,480	100.0

ii ー2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

住宅系施設を建築年別にみると、11 施設が旧耐震基準の建築物を有しており、平均の経過年数は 45 年となっています。

表 3-165 住宅系施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
市営住宅	藤塚第一住宅	昭32	58	W	-	-	有
	藤塚第二住宅	昭32	58	W	-	-	有
	藤塚第三住宅	昭35	55	W	-	-	有
	牛島住宅	昭33	57	W	-	-	有
	大池住宅	昭35	55	CB、W	-	-	有
	備後住宅	昭38	52	W	-	-	有
	花積住宅	昭39	51	RC	-	-	有
	上蛭田第二住宅	昭43	47	RC	-	-	有
	緑町住宅	昭59	31	RC、S	-	-	無
	藤塚根郷住宅	平06	21	RC、S	-	-	無
	東中野住宅	昭41	49	RC、W	-	-	有
	新宿新田住宅	昭42	48	RC	-	-	有
	平松谷住宅	昭47	43	RC	-	-	有
	西金野井住宅	昭60	30	RC	-	-	無
	西宝珠花北住宅	平05	22	RC、W	-	-	無
	平均	-	45	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中核拠点、★防災中核拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

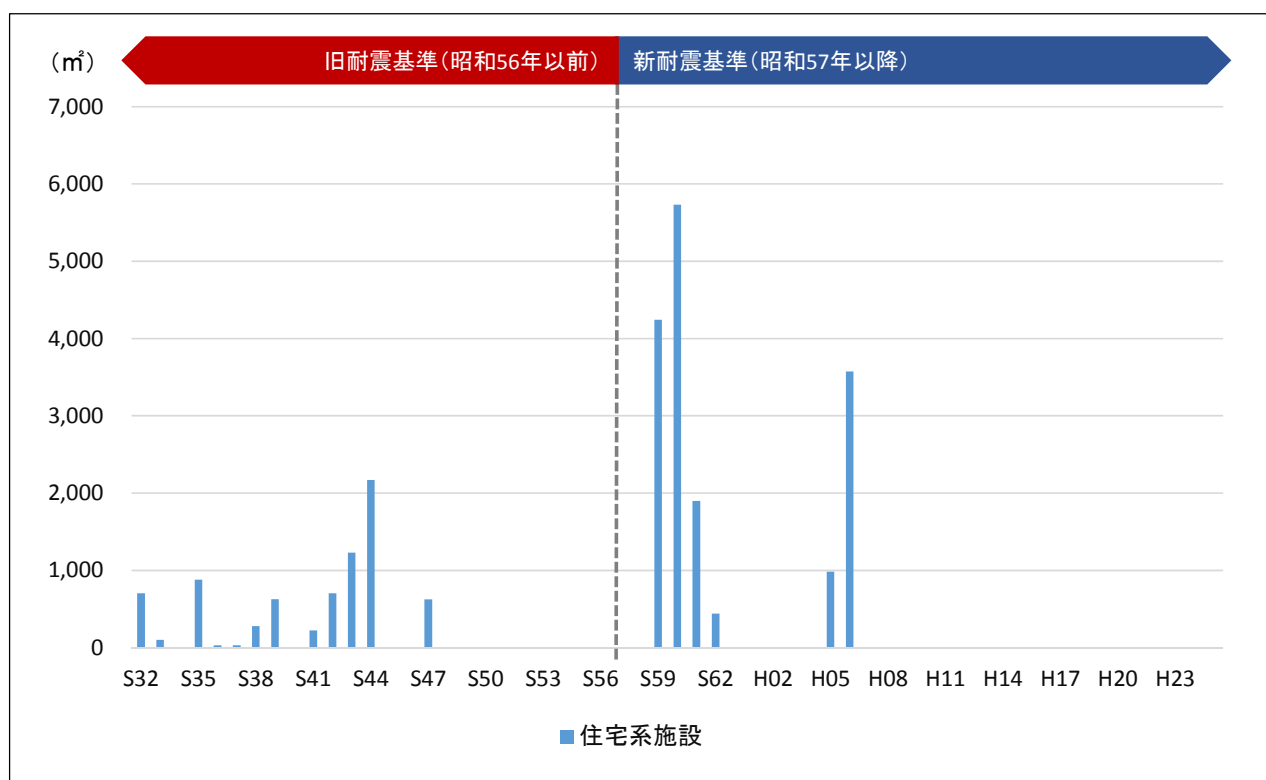


図 3-164 住宅系施設の建築年別の延床面積

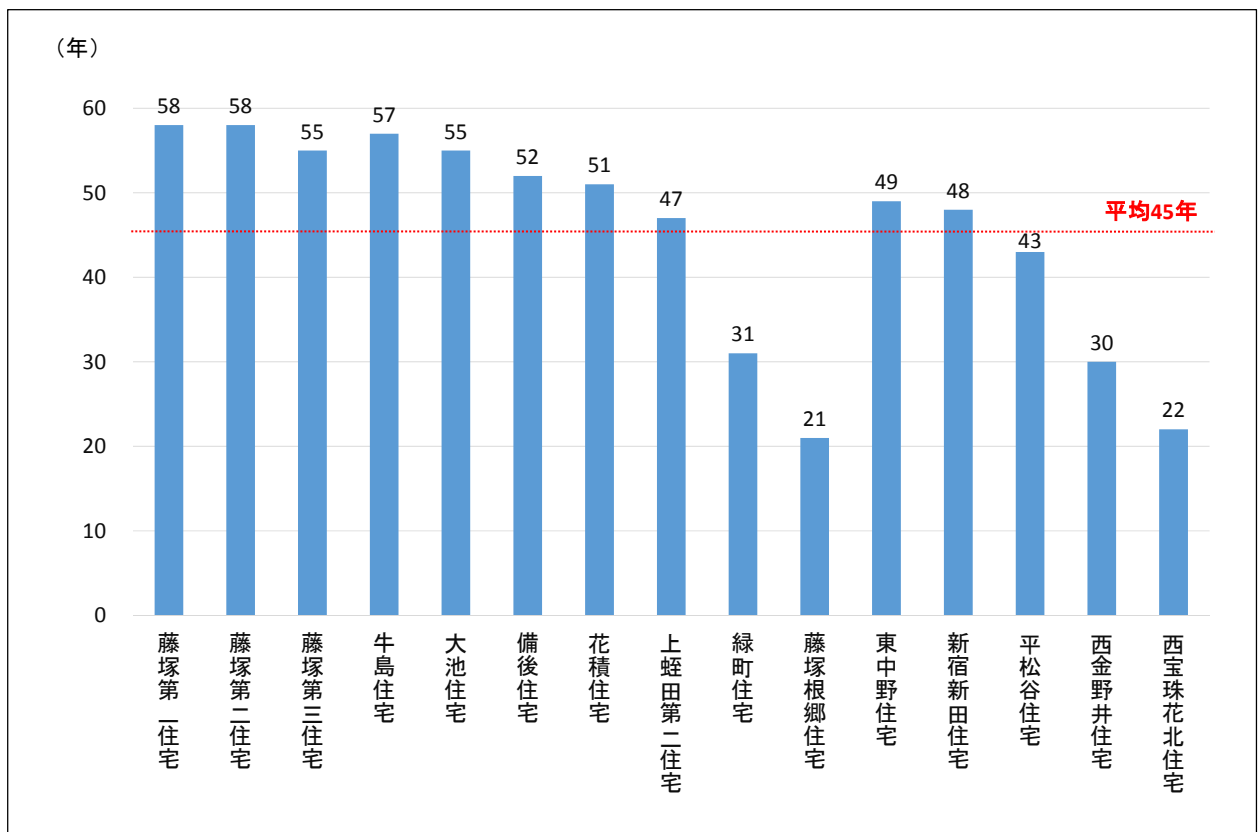


図 3-165 住宅系施設の経過年数

iii) 利用状況

住宅系施設の入居戸数をみると、平成 25 年度は 420 戸であり、平成 23 年度からの 3 か年の平均入居戸数は約 425 戸となっています。

施設別にみると、平成 25 年度の入居戸数が最も多いのは、緑町住宅で 114 戸、次いで、上蛭田第二住宅の 52 戸、藤塚根郷住宅の 49 戸の順となっています。

表 3-166 住宅系施設の入居戸数の推移

分類	名称	入居戸数			
		H23 (戸)	H24 (戸)	H25 (戸)	3カ年平均 (戸)
市営住宅	藤塚第一住宅	12	11	10	11
	藤塚第二住宅	11	11	11	11
	藤塚第三住宅	12	13	13	13
	牛島住宅	5	5	5	5
	大池住宅	11	10	9	10
	備後住宅	8	8	8	8
	花積住宅	20	20	19	20
	上蛭田第二住宅	52	52	52	52
	緑町住宅	115	114	114	114
	藤塚根郷住宅	49	50	49	49
	東中野住宅	23	22	22	22
	新宿新田住宅	36	38	37	37
	平松谷住宅	12	13	13	13
	西金野井住宅	51	49	47	49
	西宝珠花北住宅	12	11	11	11
合計		429	427	420	425

iv) コスト状況

住宅系施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは約 4,600 万円となっています。

住宅系施設の単位床面積当たりのコストは約 1,900 円/㎡、入居戸数一戸当たりのコストは約 10 万 8,840 円/戸となっています。

表 3-167 住宅系施設のコスト状況

分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト	単位床面積 当たりのコスト	入居戸数一戸 当たりのコスト
		H25 (千円)	H25 (千円/㎡)	H25 (千円/戸)
市営住宅	藤塚第一住宅	287	0.9	28.71
	藤塚第二住宅	38	0.1	3.49
	藤塚第三住宅	117	0.3	8.97
	牛島住宅	1,039	7.9	207.83
	大池住宅	810	1.7	89.96
	備後住宅	343	1.2	42.84
	花積住宅	926	1.5	48.72
	上蛭田第二住宅	9,675	4.7	186.06
	緑町住宅	10,649	1.3	93.42
	藤塚根郷住宅	6,528	1.8	133.22
	東中野住宅	1,352	1.5	61.44
	新宿新田住宅	1,343	0.9	36.31
	平松谷住宅	303	0.5	23.34
	西金野井住宅	6,704	1.6	142.63
	西宝珠花北住宅	5,598	5.7	508.94
合計		45,712	1.9	108.84

平均

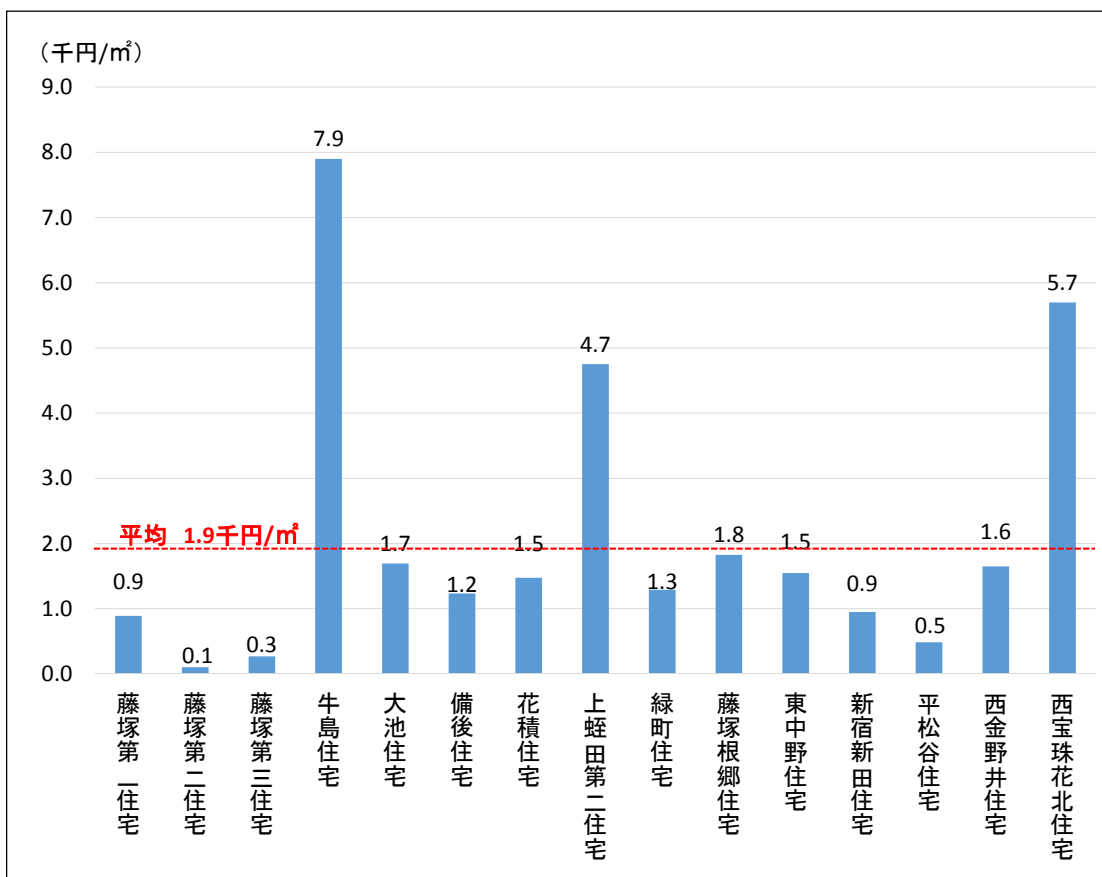


図 3-166 住宅系施設の単位床面積当たりのコスト

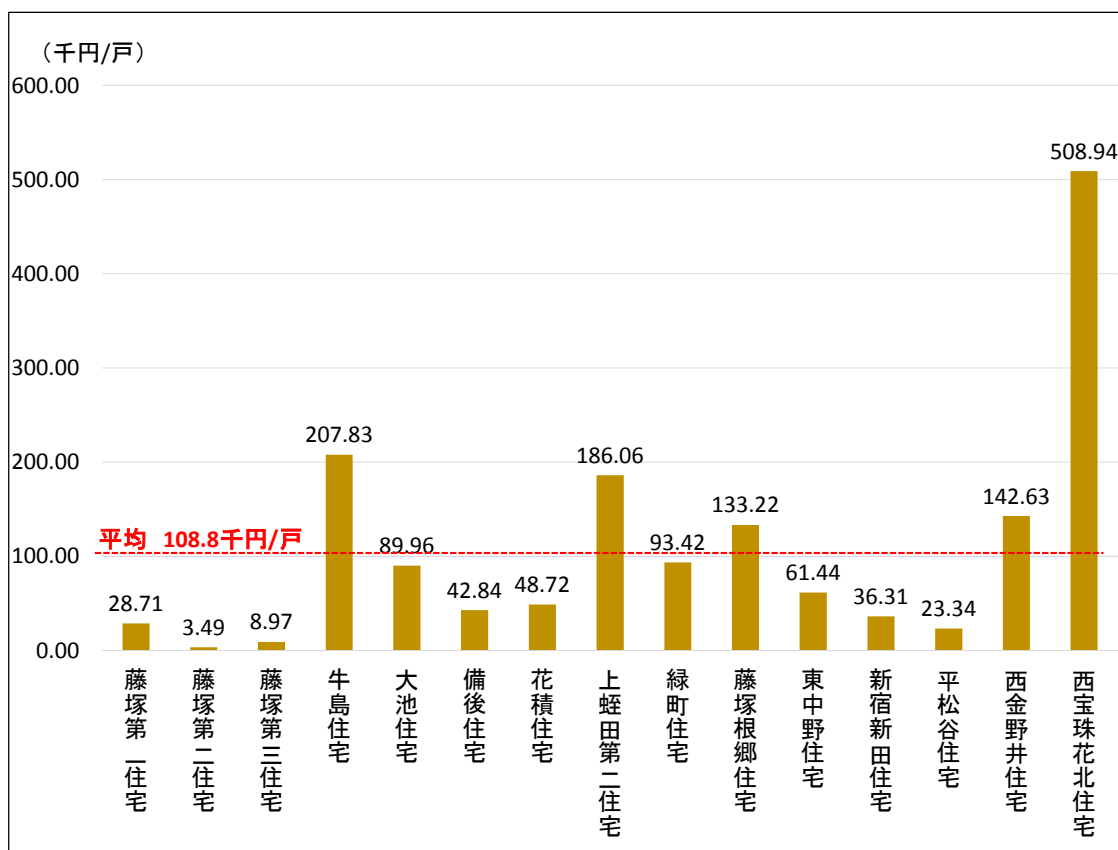


図 3-167 入居戸数一戸当たりのコスト

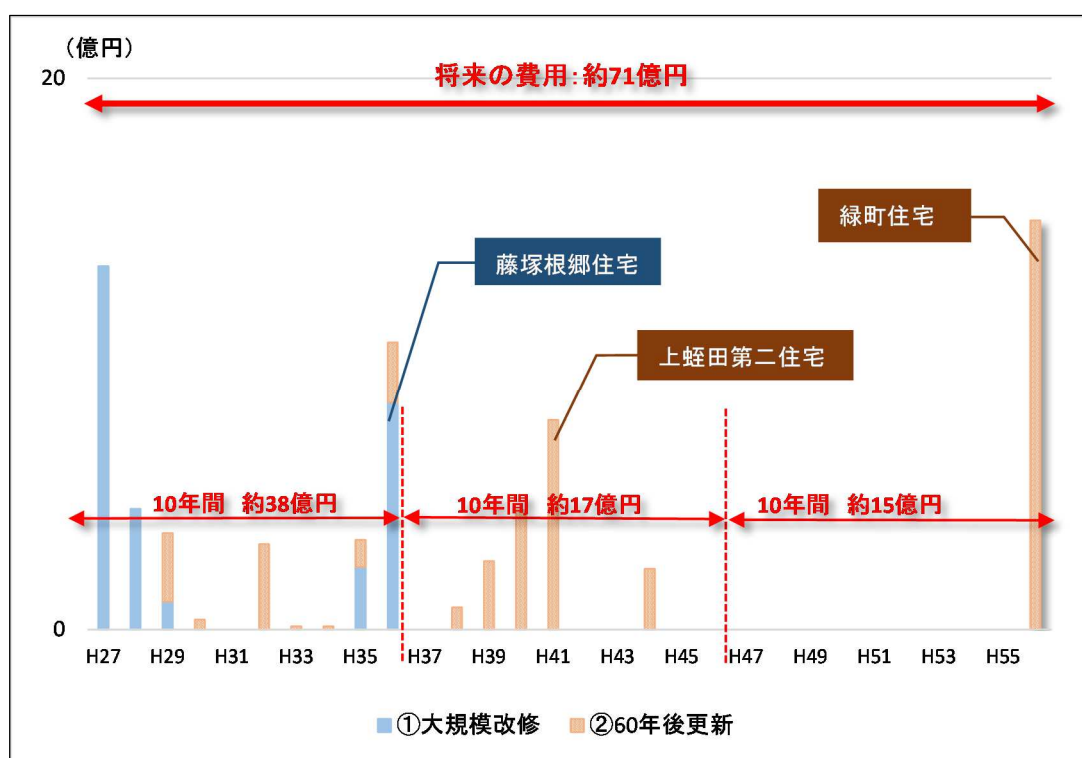
v) 更新等費用の推計

住宅系施設では、平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間に藤塚根郷住宅の大規模改修等により約 38 億円の費用がかかることが想定されます。

また、平成 37 年から平成 46 年までの 10 年間では、上蛭田第二住宅などの更新等により約 17 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間に緑町住宅の更新等により約 15 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間で住宅系施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 71 億円と想定されます。



※この更新等費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。(一定の試算条件についてはP39 参照) 従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期(建設後 30 年)を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後 60 年が経過した後に更新(建替え)を行う想定として算出しています。

図 3-168 改修・更新等にかかる費用の推計

vi) 施設のパターン

15 施設中、10 施設は耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから、F パターンとなっています。

表 3-168 施設のパターン（市営住宅）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
藤塚第一住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ			Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
藤塚第二住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ			Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
藤塚第三住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ			Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
牛島住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
大池住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
備後住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
花積住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
上蛭田第二住宅	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
緑町住宅	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
藤塚根郷住宅	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ		Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
東中野住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
新宿新田住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
平松谷住宅	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
西金野井住宅	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ
西宝珠花北住宅	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ		Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ		Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ		Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	E
Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	E
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	D
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	F
Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	B
Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	B

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※法令上の点検が不要な施設は、指摘事項を除いてパターンを判断しています。

※本市で冷暖房の設置は行っていないので、冷暖房設備を除いてパターンを判断しています。

vii) 住宅系施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・住宅系施設では、最も新しいものでも平成 6 年に建築された藤塚根郷住宅となっており、すべての住宅が 20 年以上経過しています。また、昭和 30 年代、40 年代に建築された木造住宅が残されており、老朽化への対応が必要となっています。
- ・旧耐震基準の住棟については、入居者の安全性の確保に向けた施策が必要となっています。
- ・単位床面積当たりのコストは牛島住宅、西宝珠花北住宅、上蛭田第二住宅が平均値を大きく上回っています。また、入居一戸当たりコストは、西宝珠花北住宅が平均値を大きく上回っています。いずれも入居戸数と住宅延床面積の規模の違いによりコストの差が生じていますが、平均値を大きく上回る施設については、維持管理・運営コストの見直しが必要となっています。
- ・今後も入居者の高齢化や需要変動、生活様式の変化に対応した設備面の変更など長寿命化への対応が必要となります。



【今後の方向性】

○住宅系施設の長寿命化については、他の公共施設の再配置の方針を横断的視点による公共施設マネジメントに位置付けたうえで、入居者の高齢化や需要変動、生活様式の変化などに対応した市営住宅長寿命化計画に示されている方針に基づき、維持管理・改善事業を実施し、長寿命化や借り上げなどを継続して実施することとなります。

表 3-169 住宅系施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
15	5.1%	24,480	4.9%	15	0	0
				100.0%	0.0%	0.0%

築年数		入居戸数 H25 (戸)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	入居戸数当り (千円/戸)	
13	2	420	45,712	1.9	108.84	71
86.7%	13.3%					

※ 2 段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

(11) 環境施設

i) 概要

環境施設は、環境センター、クリーンセンター、資源選別センター、最終処分場、清掃事務所、植木剪定枝葉チップ化施設に分類しています。

環境センターは、ごみ処理施設、し尿処理施設となっています。

クリーンセンターは、不燃ごみ・粗大ごみを破碎・選別している施設となっています。

資源選別センターは、資源物(びん・かん・ペットボトル)、有害危険ごみ(乾電池、蛍光灯、スプレー缶、体温計など)を選別・中間処理している施設となっています。

最終処分場は、市の可燃ごみ焼却施設から排出された焼却灰を埋め立てし、浸出水を処分するための施設となっています。

清掃事務所は、環境センターの管理を行っている施設となっています。

なお、クリーンセンター庄和(塵芥処理施設)及び植木剪定枝葉チップ化施設は、現在休止中となっています。

表 3-170 環境施設の概要

分類	名称	所在地	運営形態	施設形態
環境センター	ごみ処理施設	豊野町3-6	直営	単独施設
	し尿処理施設	豊野町3-6	直営	単独施設
クリーンセンター	クリーンセンター(選別棟)	豊野町3-8-2	直営	単独施設
	クリーンセンター(破碎棟)	豊野町3-8-2	直営	単独施設
	クリーンセンター庄和(塵芥処理施設)	東中野848-1	休止中	単独施設
資源選別センター	資源選別センター	豊野町3-8-2	直営	単独施設
	資源選別センター庄和	東中野835-1	直営	単独施設
最終処分場	最終処分場	東中野995-1	直営	単独施設
清掃事務所	清掃事務所	豊野町3-6	直営	単独施設
植木剪定枝葉チップ化施設	植木剪定枝葉チップ化施設	豊野町3-8-4	休止中	単独施設

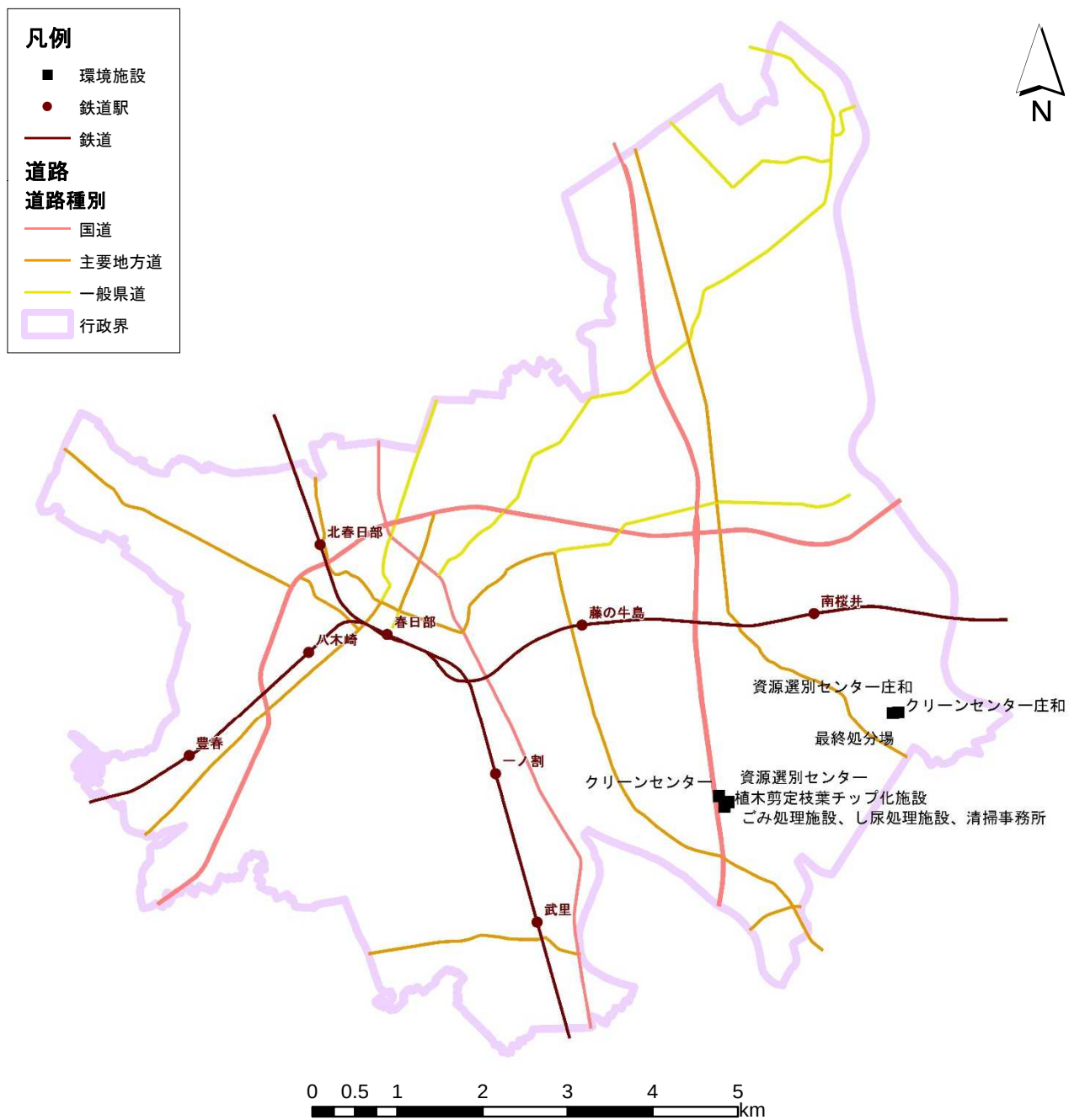


図 3-169 環境施設位置図

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

環境センターの延床面積は、ごみ処理施設とし尿処理施設を合わせると16,947 m²あります。

クリーンセンターの延床面積は、クリーンセンターとクリーンセンター庄和を合わせると2,563 m²あります。

資源選別センターの延床面積は、資源選別センターと資源選別センター庄和を合わせると2,636 m²あります。

最終処分場、清掃事務所、植木剪定枝葉チップ化施設はそれぞれ1施設で、最終処分場が566 m²、清掃事務所が793 m²、植木剪定枝葉チップ化施設が117 m²となっています。

表 3-171 環境施設の延床面積の状況

分類	名称	延床面積	
		(m ²)	(%)
環境センター	ごみ処理施設	14,106	59.7
	し尿処理施設	2,841	12.0
クリーンセンター	クリーンセンター	1,335	5.7
	クリーンセンター庄和(塵芥処理施設)	1,228	5.2
資源選別センター	資源選別センター	1,725	7.3
	資源選別センター庄和	911	3.9
最終処分場	最終処分場	566	2.4
清掃事務所	清掃事務所	793	3.4
植木剪定枝葉チップ化施設	植木剪定枝葉チップ化施設	117	0.5
環境センター	小計	16,947	71.7
クリーンセンター	小計	2,563	10.9
資源選別センター	小計	2,636	11.2
最終処分場	小計	566	2.4
清掃事務所	小計	793	3.4
植木剪定枝葉チップ化施設	小計	117	0.5
合計		23,621	100.0

ii ー2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

環境施設を建築年でみると、環境センターのごみ処理施設（旧焼却施設）と、し尿処理施設が旧耐震基準の建築物を有しており、建設後 39 年が経過しています。

表 3-172 環境施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
環境センター	ごみ処理施設	昭51	39	RC、RC S、S、S CB、SRC	-	-	有
	し尿処理施設	昭51	39	RC、RC S	-	-	有
クリーンセンター	クリーンセンター(選別棟)	平04	23	S	-	-	無
	クリーンセンター(破碎棟)	平04	23	S	-	-	無
	クリーンセンター庄和(塵芥処理施設)	平元	26	RC S	-	-	無
資源選別センター	資源選別センター	平06	21	S	-	-	無
	資源選別センター庄和	平08	19	S	-	-	無
最終処分場	最終処分場	昭57	33	RC、RC S、S	-	-	無
清掃事務所	清掃事務所	平元	26	RC	-	-	無
植木剪定枝葉チップ化施設	植木剪定枝葉チップ化施設	平14	13	S	-	-	無
環境センター	平均	-	39	-	-	-	-
クリーンセンター	平均	-	24	-	-	-	-
資源選別センター	平均	-	20	-	-	-	-
最終処分場	平均	-	33	-	-	-	-
清掃事務所	平均	-	26	-	-	-	-
植木剪定枝葉チップ化施設	平均	-	13	-	-	-	-
平均		-	26	-	-	-	-

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、－該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、－該当せず

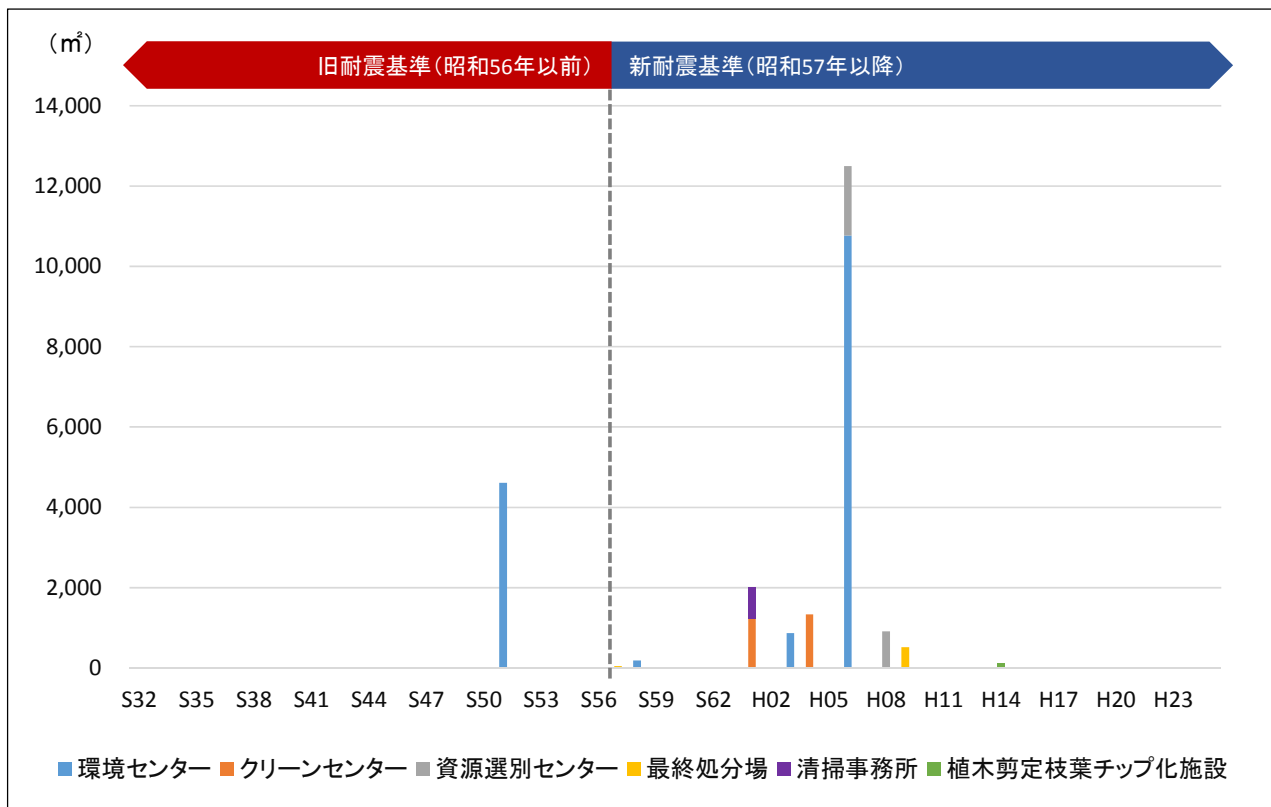


図 3-170 環境施設の建築年別の延床面積

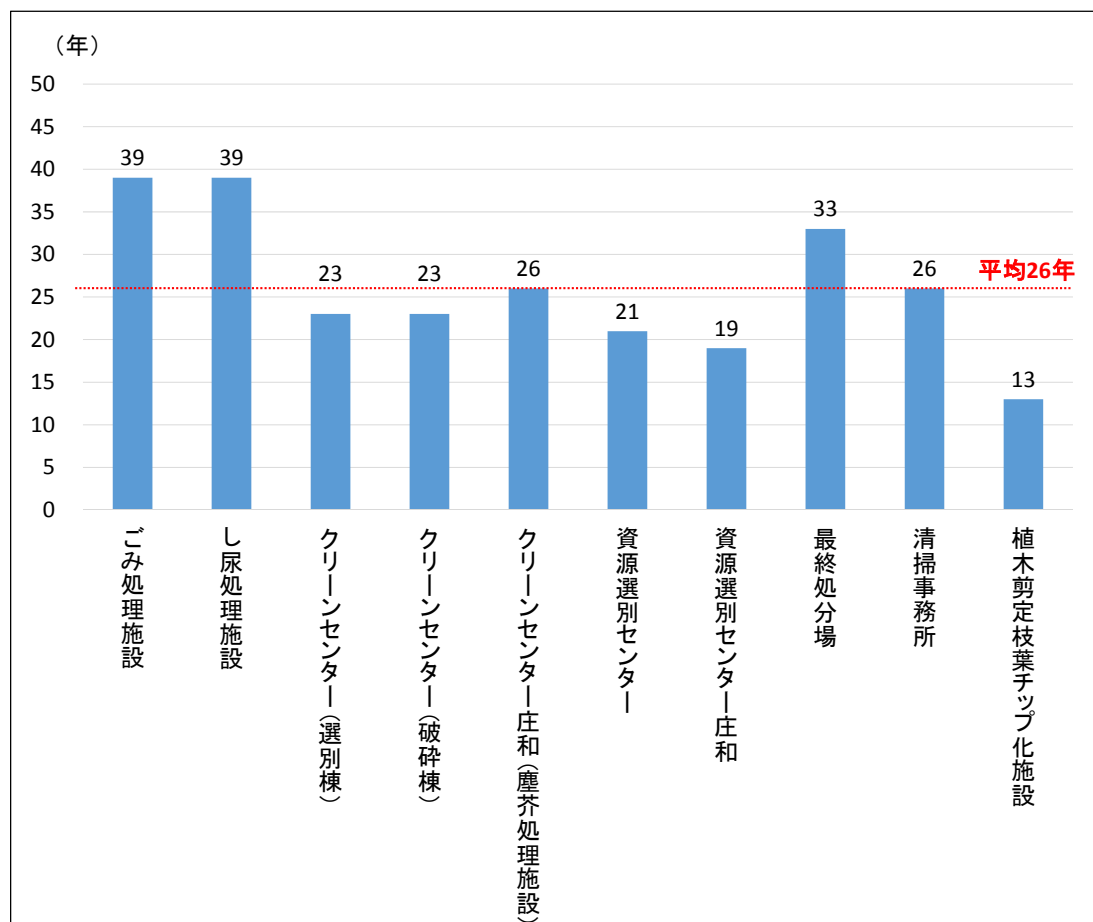


図 3-171 環境施設の経過年数

iii) 利用状況

し尿処理施設は、平成 25 年度では 22,802t 搬入されており、平成 23 年度以降減少傾向となっています。

クリーンセンターの不燃ごみは、平成 25 年度では 2,994t 搬入されており、平成 23 年度以降減少傾向となっています。

表 3-173 搬入量等の推移

分類	名称	ごみの搬入量		
		H23	H24	H25
ごみ処理施設	可燃ごみ(t)	72,998	71,008	71,189
し尿処理施設	生し尿、浄化槽汚泥(t)	23,977	23,768	22,802
クリーンセンター	不燃ごみ(t)	3,622	3,303	2,994
	粗大ごみ(t)	1,164	1,046	1,105
クリーンセンター庄和	—	—	—	—
資源選別センター	資源物(t)	2,613	2,507	2,448
資源選別センター庄和	資源物(t)	389	392	394
最終処分場	焼却灰(t)	5,045	—	—

※ごみの搬入量：決算付属資料に記載されている数値です。

※クリーンセンター庄和は休止中のため、「—」で表記しています。

※最終処分場は、平成 23 年度で埋め立てが完了したため、平成 24 年度、平成 25 年度のごみの搬入量を「—」で表記しています。

iv) コスト状況

環境施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは約 13 億 9,700 万円となっています。

環境施設の単位床面積当たりのコストは、平均約 6 万 2,700 円/㎡となっており、ごみ処理施設、クリーンセンター、資源選別センター、最終処分場は平均値を上回っています。

表 3-174 環境施設のコスト状況

分類	名称	施設の維持管理・運営にかかるコスト H25 (千円)	単位床面積 当たりのコスト H25 (千円/㎡)
環境センター	ごみ処理施設	943,617	66.9
	し尿処理施設	96,596	34.0
クリーンセンター	クリーンセンター(選別棟、破碎棟)	127,545	95.5
資源選別センター	資源選別センター	112,001	64.9
	資源選別センター庄和	47,769	52.4
最終処分場	最終処分場	39,946	70.6
清掃事務所	清掃事務所	29,044	36.6
環境センター	小計	1,040,213	61.4
クリーンセンター	小計	127,545	95.5
資源選別センター	小計	159,770	60.6
最終処分場	小計	39,946	70.6
清掃事務所	小計	29,044	36.6
合計		1,396,517	62.7

平均

※クリーンセンター庄和（塵芥処理施設）、植木剪定枝葉チップ化施設は、休止中のため、対象外としています。

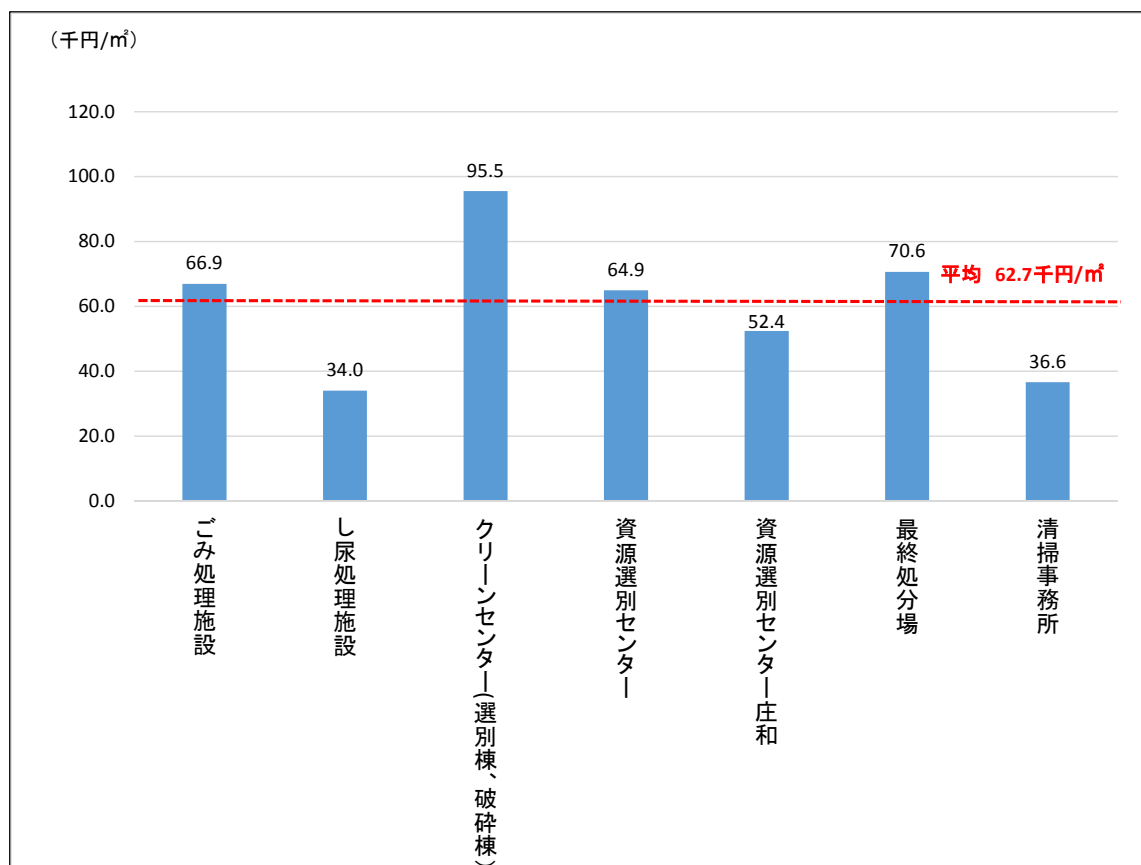


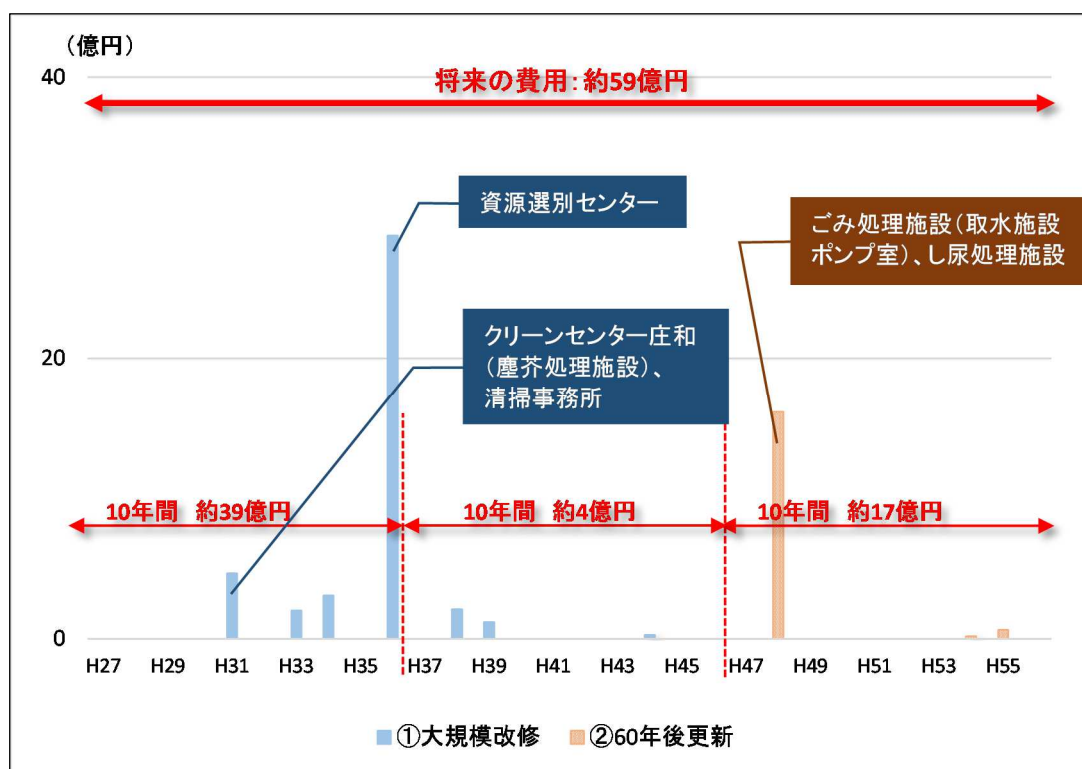
図 3-172 環境施設の単位床面積当たりのコスト

v) 更新等費用の推計

環境施設では、平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間にクリーンセンター庄和(塵芥処理施設)、清掃事務所、資源選別センター等の大規模改修により約 39 億円の費用がかかることが想定されます。

さらに、平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間では、ごみ処理施設(取水施設ポンプ室)、し尿処理施設の更新等により約 17 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間で環境施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 59 億円と想定されます。さらに、建物の更新等の費用以外にプラント設備にかかるコストが想定されます。



※この更新等費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。(一定の試算条件についてはP39参照)従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期(建設後30年)を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後60年が経過した後に更新(建替え)を行う想定として算出しています。

図 3-173 環境施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vi) 施設のパターン

①ごみ処理施設

老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-175 施設のパターン（ごみ処理施設）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
ごみ処理施設	I	III	II	II	I	III	III		I

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※基本的には一般利用がない施設は、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

②し尿処理施設

耐震性が確保されておらず、老朽化が進行していることから、Fパターンとなっています。

表 3-176 施設のパターン（し尿処理施設）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
し尿処理施設	III	III	III	III	I		III		III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※基本的には一般利用がない施設は、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

③クリーンセンター

全ての施設が、外側の修繕が必要なDパターンとなっています。

表 3-177 施設性能分析結果（クリーンセンター）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
クリーンセンター(選別棟)	I	II	III	III	I	I	I		III
クリーンセンター(破砕棟)	I	II	III	III	I	I	I		III
クリーンセンター庄和(塵芥処理施設)	I	II	III	III	I	I	III		III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※基本的には一般利用がない施設は、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

④資源選別センター

資源選別センターは内側の改善等が必要なCパターン、資源選別センター庄和は外側の修繕が必要Dパターンとなっています。

表 3-178 施設のパターン（資源選別センター）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
資源選別センター	I	II	III	I	III	I	I		III
資源選別センター庄和	I	II	III	III	I	III	III		III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※基本的には一般利用がない施設は、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

⑤最終処分場

老朽化が進行していることから、Eパターンとなっています。

表 3-179 施設性能分析結果（最終処分場）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
最終処分場	I	III	III	III	I	III	I		III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※基本的には一般利用がない施設は、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

⑥清掃事務所

外側の修繕が必要なDパターンとなっています。

表 3-180 施設のパターン（清掃事務所）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
清掃事務所	I	II	III	III	III	III	III		III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

※基本的には一般利用がない施設は、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

⑦植木剪定枝葉チップ化施設

内側の修繕が必要なCパターンとなっています。

表 3-181 施設のパターン（植木剪定枝葉チップ化施設）

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
植木剪定枝葉チップ化施設	I	I	I	I	III				III

耐震性	老朽化	外側の構造の劣化	防災性	設備の劣化	バリアフリー	省エネルギー	パターン
I	I	I	III			III	C

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。
※冷暖房・給排水の設置の必要性が低い施設は、冷暖房設備、給排水を除いてパターンを判断しています。
※基本的には一般利用がない施設は、バリアフリーを除いてパターンを判断しています。

vii) 環境施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・環境施設では、環境センターのごみ処理施設とし尿処理施設が旧耐震基準となっています。また、最終処分場も建築後 30 年以上が経過しており、施設の老朽化への適切な対応が必要となっています。
- ・更新等費用の推計では、今後 30 年間で環境施設の大規模改修・更新等にかかる費用は約 59 億円と想定され、さらに建物の更新等費用以外にプラント設備のためのコストが発生することが想定されます。そのため維持管理にかかる費用を抑制し、更新等費用の平準化を図っていくことが求められます。



【今後の方向性】

- 機能の複合化等による効率的な施設配置や施設総量の適正化を検討します。
- 長寿命化、維持補修の平準化を図る必要がある施設については、予防保全方法など老朽化への対応を検討します。
- 環境センターのごみ処理施設とし尿処理施設は、施設の利用状況や今後の各地区の人口動向等を考慮し、長期的費用縮減化、維持管理費用の適正化とともに民活導入を検討します。

表 3-182 環境施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
10	3.4%	23,621	4.7%	8 80.0%	0 0.0%	2 20.0%

築年数		利用者数 H25 (千人)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	利用者1人当り (千円/人)	
3 30.0%	7 70.0%	—	1,396,517	62.7	—	59

※2段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

※利用者数および利用者一人当たりのコストについては、各施設での利用者の計上方法が異なるため、「—」で表記しています。

(12) 一部事務組合施設

i) 概要

本市では一部事務組合施設を有しています。

一部事務組合施設は、火葬場で、春日部市・蓮田市・白岡市・杉戸町の3市1町で組織された埼葛斎場組合が運営している施設となっています。

表 3-183 一部事務組合施設の概要

分類	名称	所在地	延床面積 (㎡)	運営形態	施設形態
一部事務組合施設	埼葛斎場組合	内牧1431	4,785	直営	単独施設

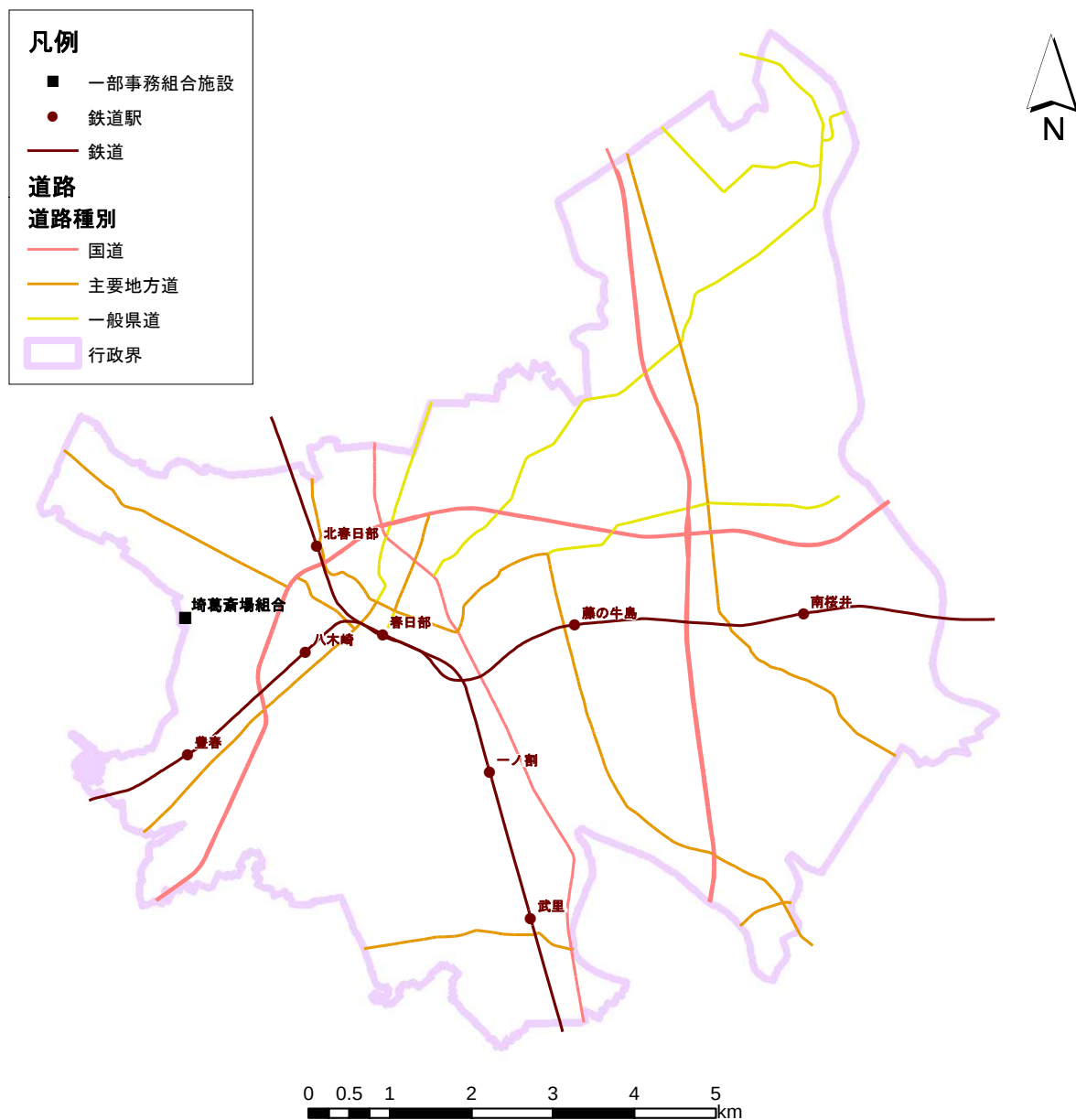


図 3-174 一部事務組合施設位置図

ii) 建物状況

ii-1) 延床面積の状況

一部事務組合施設の延床面積は、4,785 m²となっています。

表 3-184 一部事務組合施設の延床面積の状況

分類	名称	延床面積	
		(m ²)	(%)
一部事務組合施設	埼葛斎場組合	4,785	100.0

ii-2) 建築年、建物構造、防災拠点等の状況

一部事務組合施設は、平成 19 年（2007 年）に建設された比較的新しい施設であり、新耐震基準に適合した施設となっています。

表 3-185 一部事務組合施設の建築年、建物構造、防災拠点等の状況

分類	名称	建築年 (年)	経過年 (年)	建物構造	防災拠点	避難場所	旧耐震基準 の建築物の 有無
一部事務組合施設	埼葛斎場組合	平19	8	RC、S	—	—	無

建物構造：RC：鉄筋コンクリート造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造、CB：コンクリートブロック造

防災拠点：☆防災中枢拠点、★防災中枢拠点代替施設、◎防災地区拠点、○地区拠点避難場所、△消防活動拠点、—該当せず

避難場所：◎広域避難場所、○指定避難場所、—該当せず

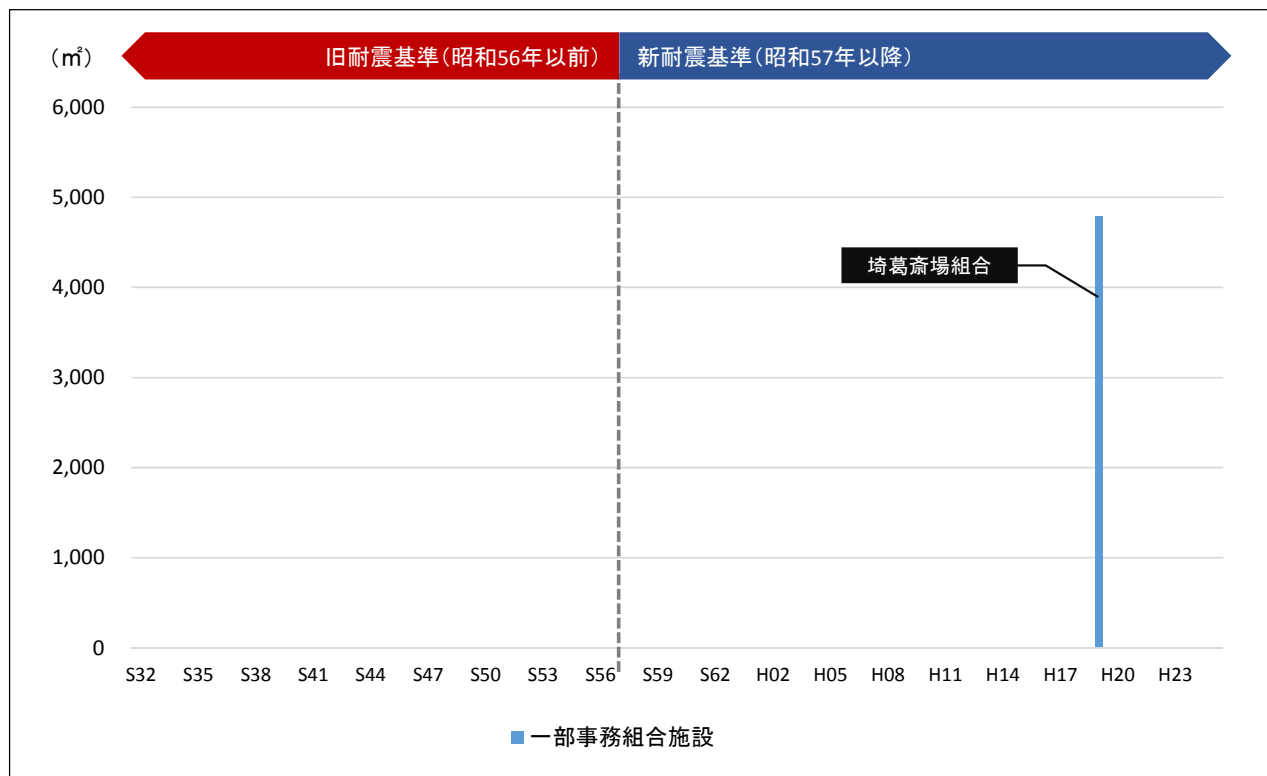


図 3-175 一部事務組合施設の建築年別の延床面積

iii) 利用状況

一部事務組合施設の利用状況をみると、平成 23 年度は 3,607 件、平成 24 年度は 3,699 件、平成 25 年度は 3,702 件と微増傾向を示しています。

表 3-186 一部事務組合施設の火葬件数の推移

分類	名称	火葬件数			
		H23 (件)	H24 (件)	H25 (件)	3ヵ年平均 (件)
一部事務組合施設	埼葛斎場組合	3,607	3,699	3,702	3,669

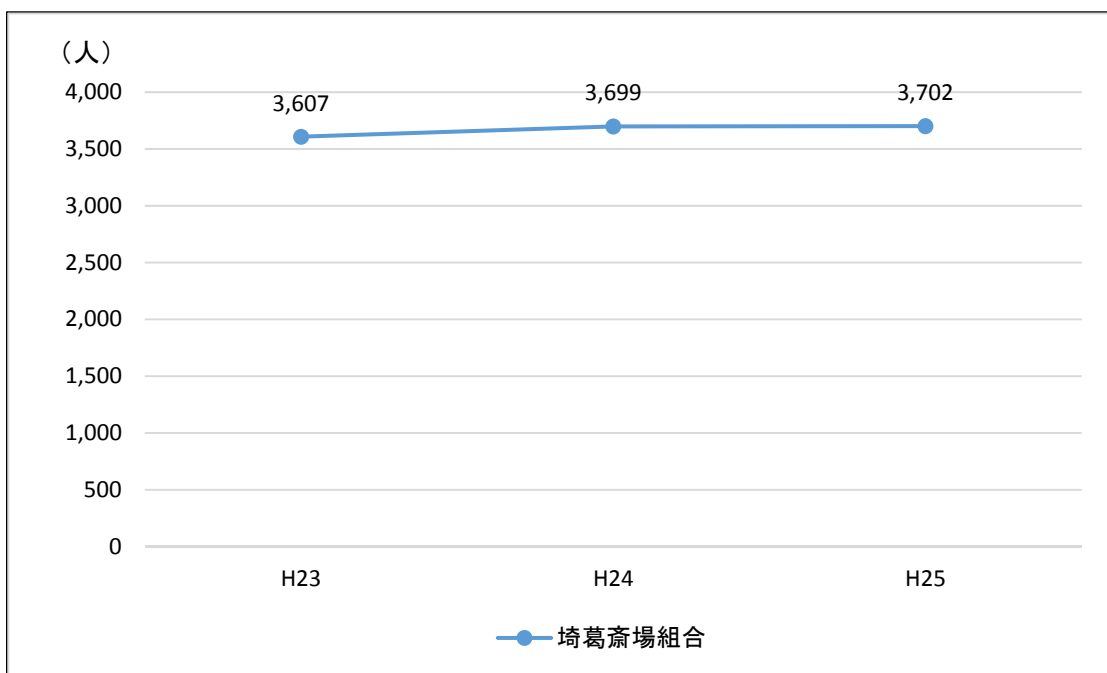


図 3-176 一部事務組合施設の火葬件数の推移

iv) 運営状況

一部事務組合施設の一日当たりの利用可能時間をみると、9：00～17：00 までの 8 時間 00 分となっています。また、職員数は、10 人となっています。

表 3-187 一部事務組合施設の運営状況

分類	名称	年間開館 日数 (日)	利用可能 開始時刻	利用可能 終了時刻	利用可能 時間	職員数(直営)			職員数(指定管理者)		
						職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)	職員 (人)	その他 (人)	合計 (人)
一部事務組合施設	埼葛斎場組合	302	9:00	17:00	8時間00分	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0

※職員数(直営)及び(指定管理者)の値は平成 25 年度時点のものです。

v) コスト状況

一部事務組合施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは約 4 億 3,700 万円となっています。

単位床面積当たりのコストは約 9 万 1,300 円/㎡、一日当たりのコストは、約 144 万 5,800 円/日、利用件数一件当たりのコストは約 11 万 7,950 円/件となっています。

表 3-188 一部事務組合施設のコスト状況

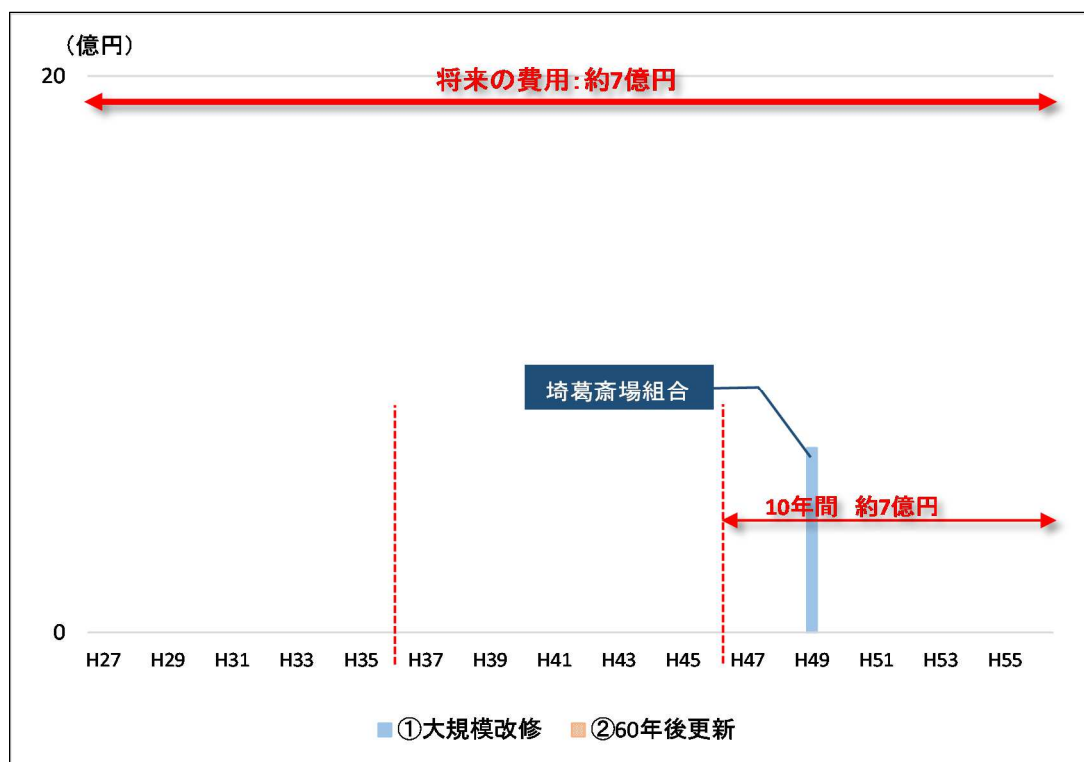
分類	名称	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト	単位床面積 当たりのコスト	一日当たりの コスト	火葬一件 当たりのコスト
		H25 (千円)	H25 (千円/㎡)	H25 (千円/日)	H25 (千円/件)
一部事務組合施設	埼葛斎場組合	436,646	91.3	1,445.8	117.95
		平均			

vi) 更新等費用の推計

一部事務組合施設は、比較的新しい施設であるため、はじめの 20 年間は更新等の費用がかからないことから、当面の間は修繕等の維持管理費の発生が想定されます。

その後の平成 47 年から平成 56 年までの 10 年間で、埼葛斎場組合の大規模改修により約 7 億円の費用がかかることが想定されます。

今後 30 年間で一部事務組合施設の大規模改修にかかる費用は約 7 億円と想定されます。



※この更新等費用の推計は、現在の施設を今後も維持し続けた場合に必要となる費用を、一定の試算条件に基づき算出した白書独自の推計値です。(一定の試算条件については P39 参照) 従って、各個別計画等における建替え予定費や、建替え時期などとは異なります。なお、現時点で大規模改修の時期(建設後 30 年)を経過している建物については、今後の方針が定まっていないことから、現段階では、大規模改修は行わずに建設後 60 年が経過した後に更新(建替え)を行う想定として算出しています。

図 3-177 一部事務組合施設の改修・更新等にかかる費用の推計

vii) 施設のパターン

バリアフリー、省エネルギー対策が必要なBパターンとなっています。

表 3-189 施設のパターン

施設名	安全性					機能性			環境性
	耐震性	老朽化	外側の構造の劣化		防災性	設備の劣化		バリアフリー	省エネルギー
			外壁	屋根・屋上		冷暖房設備	給排水		
埼葛斎場組合	I	I	I	III	I	I	I	II	III

※パターンの分類については、11 ページに掲載しています。

viii) 一部事務組合施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・平成 19 年（2007 年）に建設された比較的新しい施設で、耐震基準に適合した施設となっています。従って、当面の間は修繕等の維持管理費用はかかりますが、更新等の費用は発生しません。また、建物構造が鉄筋コンクリート造、鉄骨造の建築物であることから、今後 40 年から 60 年先に向けて施設の長寿命化や維持費用の平準化を現段階から検討しておく必要があります。
- ・今後の火葬件数は、高齢化社会の進行に伴い増加するものと推測されます。そのため、長期的観点で利用状況等を考慮し、今後の施設のあり方を検討していく必要があります。

【今後の方向性】

- 機能の複合化等による効率的な施設配置や施設総量の適正化を検討します。
- 施設の維持管理は、補修が必要な個所に対する局部的補修が主となりますが、予防的な補修の実施や維持補修作業（作業費）の平準化を図るなどにより、老朽化への対応を検討します。
- 長期的費用の縮減と平準化を進めるとともに、民間活力の導入など施設の管理・運営について検討します。

表 3-190 一部事務組合施設状況のまとめ

施設数		延床面積		運営形態		
施設数	全体に占める割合	面積(㎡)	全体に占める割合	直営	指定管理	その他
1	0.3%	4,785	1.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

築年数		火葬件数 H25 (件)	管理運営にかかるコスト			LCC (億円)
30年以上	30年未満		総額 (千円)	㎡当り (千円/㎡)	件数当り (千円/件)	
0 0.0%	1 100.0%	3,702	436,646	91.3	117.95	7

※ 2 段書きの場合は、上段：施設数、下段：構成比

(13) 大規模公園

i) 概要

大規模公園は、総合公園、地区公園に分類しています。

大規模公園の計画面積の合計は 401,102 m²で、そのうち整備済面積が 352,681 m²となっており、東京ドーム (46,755 m²) の約 7.5 個分の広さとなっています。

総合公園には内牧公園、庄和総合公園があり、休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用を目的とする施設となっています。

内牧公園の計画面積は 114,000 m²であり、そのうち 26,096 m²が未整備であり、整備率は 77.1%となっています。

庄和総合公園の計画面積は、149,000 m²であり、そのうち 6,012 m²が暫定整備、2,567 m²が未整備であり、整備率は 94.2%となっています。地区公園には大沼公園、牛島公園があり、徒歩圏内に居住する者の利用を目的とする施設となっています。

大沼公園の計画面積は、81,102 m²であり、全て整備済みとなっています。

牛島公園の計画面積は、57,000 m²となっています。計画面積のうち、13,746 m²が未整備であり、整備率は 75.9%となっています。

表 3-191 大規模公園の概要

大規模公園	公園種別	計画面積 (m ²)			整備率 (%)	開設年月日
			うち、暫定整備面積 (m ²)	うち、未整備面積 (m ²)	うち、整備済面積 (m ²)	
内牧公園	総合公園	114,000		26,096	87,904	77.1
庄和総合公園	総合公園	149,000	6,012	2,567	140,421	94.2
大沼公園	地区公園	81,102			81,102	100.0
牛島公園	地区公園	57,000		13,746	43,254	75.9
合計		401,102	6,012	42,409	352,681	87.9
						平均

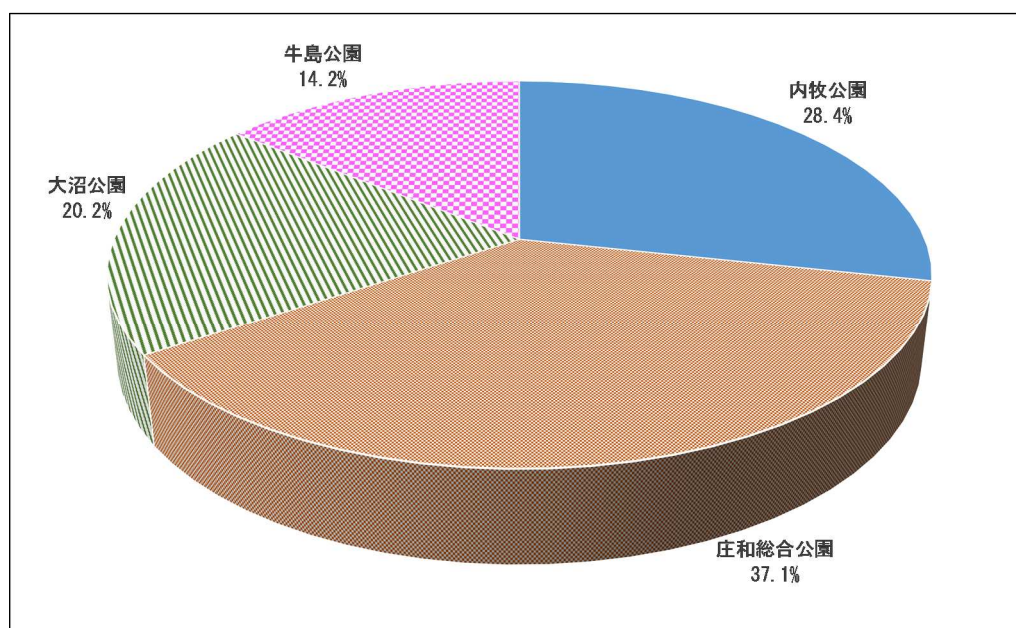


図 3-178 各大規模公園の計画面積が占める割合

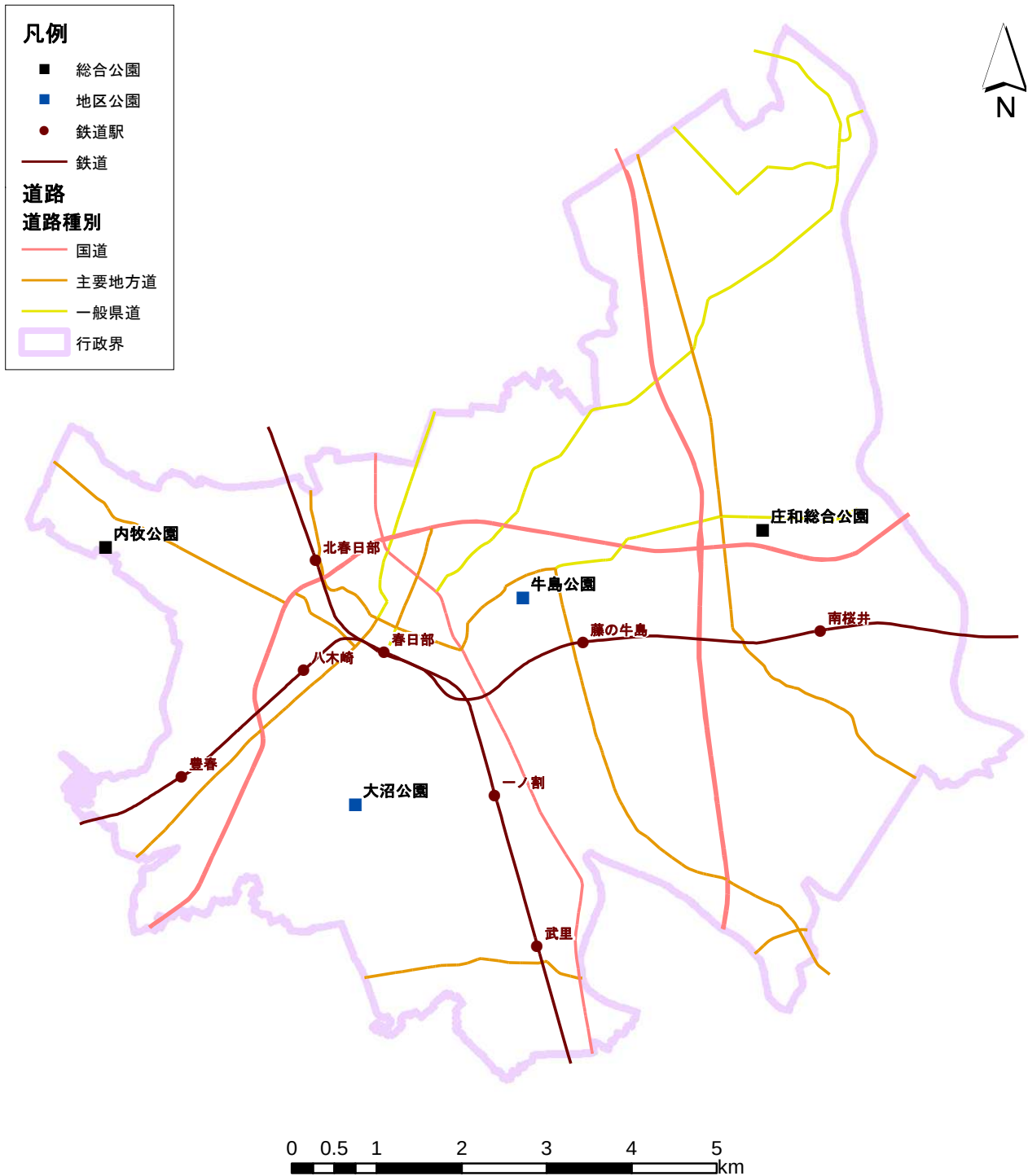


図 3-179 大規模公園位置図

ii) 大規模公園の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・総合公園、地区公園は、都市内の緑景観地や指定避難場所として重要な機能を有しています。今後は、これら機能の維持を図るとともに、人口減少や少子高齢化に伴う市民ニーズの変化にも対応していく必要があります。
- ・老朽化の著しい大規模公園は長寿命化計画で示されている方針に基づき対応を検討していく必要があります。また、社会構造の変化、経済状況や社会情勢に応じた検討を、「公園施設長寿命化計画」で図る必要があります。



【今後の方向性】

- 今後は施設の利用状況や各地区の人口動向等を考慮し、予防保全などによる老朽化への対応を図るとともに総量の適正化を検討します。
- 公園施設長寿命化計画との整合を図り、長期的費用の縮減と平準化や維持管理費用の適正化等について検討します。

(14) 屋外スポーツ施設

i) 概要

屋外スポーツ施設は、野球場、グラウンド、テニスコートに分類しています。

野球場には、大沼野球場、南栄町グラウンド（軟式野球グラウンド）、谷原グラウンド（軟式少年野球兼ソフトボール場）、牛島野球場、庄和球場があり、硬式野球、軟式野球、ソフトボールなどに利用されている施設で、すべて有料となっています。

グラウンドには、大沼運動公園グラウンド（陸上競技場兼サッカー場兼ラグビー場）、牛島多目的グラウンド、谷原中西側グラウンド、中野グラウンド、内牧グラウンド、首都圏外郭放水路多目的広場、金崎グラウンド、禿地グラウンド、豊野グラウンドがあり、サッカー、グラウンドゴルフ、ゲートボールなどに利用されている施設です。

大沼運動公園グラウンドの施設利用料は有料となっていますが、その他のグラウンドは全て無料となっています。

テニスコートには、大沼運動公園グラウンド（テニスコート）、立沼テニス場、庄和テニスコート、谷原中西側テニスコート、豊野テニスコートがあり、硬式テニス、軟式テニスなどに利用されている施設です。

谷原中西側テニスコート、豊野テニスコートの施設利用料は無料となっていますが、その他のテニスコートは全て有料となっています。

表 3-192 野球場の概要

野球場	利用可能時間	閉場日	施設利用料	用途	設備
大沼野球場	(4月～11月) 9:00～21:00 (12月～3月) 9:00～17:00	12月30日～1月3日	有料	軟式野球場 ソフトボール	スタンド 照明設備
南栄町グラウンド	9:00～21:00	12月30日～1月3日	有料	軟式野球場 ソフトボール	照明設備
谷原グラウンド	9:00～17:00	12月30日～1月3日	有料	軟式少年野球 ソフトボール	
牛島野球場	9:00～21:00	12月30日～3月31日	有料	硬式野球 軟式野球	スコアボード 放送設備 スタンド 照明設備
庄和球場	9:00～17:00	12月30日～3月31日	有料	硬式野球 軟式野球	スコアボード 放送設備 スタンド

表 3-193 グラウンドの概要

グラウンド	利用可能時間	完成年	施設利用料	施設内容
大沼運動公園グラウンド	(4月～11月)9:00～21:00 (12月～3月)9:00～17:00		有料	陸上競技場
牛島多目的グラウンド	9:00～17:00	平成元年	無料	多目的グラウンド
谷原中西側グラウンド	9:00～17:00	平成13年(暫定施設)	無料	多目的グラウンド
中野グラウンド	9:00～17:00	平成7年(暫定施設)	無料	多目的グラウンド
内牧グラウンド	9:00～17:00	平成3年(改修)	無料	多目的グラウンド
首都圏外郭放水路多目的広場	9:00～17:00	平成15年	無料	多目的グラウンド
金崎グラウンド	9:00～17:00		無料	多目的グラウンド
禿地グラウンド	9:00～17:00		無料	多目的グラウンド
豊野グラウンド	9:00～17:00		無料	多目的グラウンド

表 3-194 テニスコートの概要

テニスコート	利用可能時間	閉場日	施設利用料	設備	
大沼運動公園グラウンド	(4月～11月)7:00～19:00 (12月～3月)9:00～17:00 共用テニスコートE 9:00～17:00	12月30日～1月3日	有料	共用砂入り人工芝コート	5面
				軟式クレーコート	2面
立沼テニス場	9:00～17:00	12月30日～1月3日	有料	硬式ハードコート	2面
庄和テニスコート	(4月～11月)7:00～21:00 (12月～3月)9:00～21:00	12月29日～1月3日	有料	共用芝入り人工芝コート 夜間照明	4面
谷原中西側テニスコート	9:00～17:00	12月29日～1月3日	無料	共用クレーコート	8面
豊野テニスコート	9:00～17:00	毎週月曜日、祝日(月曜日が祝日の場合は翌日の火曜日も休み) 12月29日～翌年1月3日	無料	硬式クレーコート	1面
				軟式クレーコート	1面

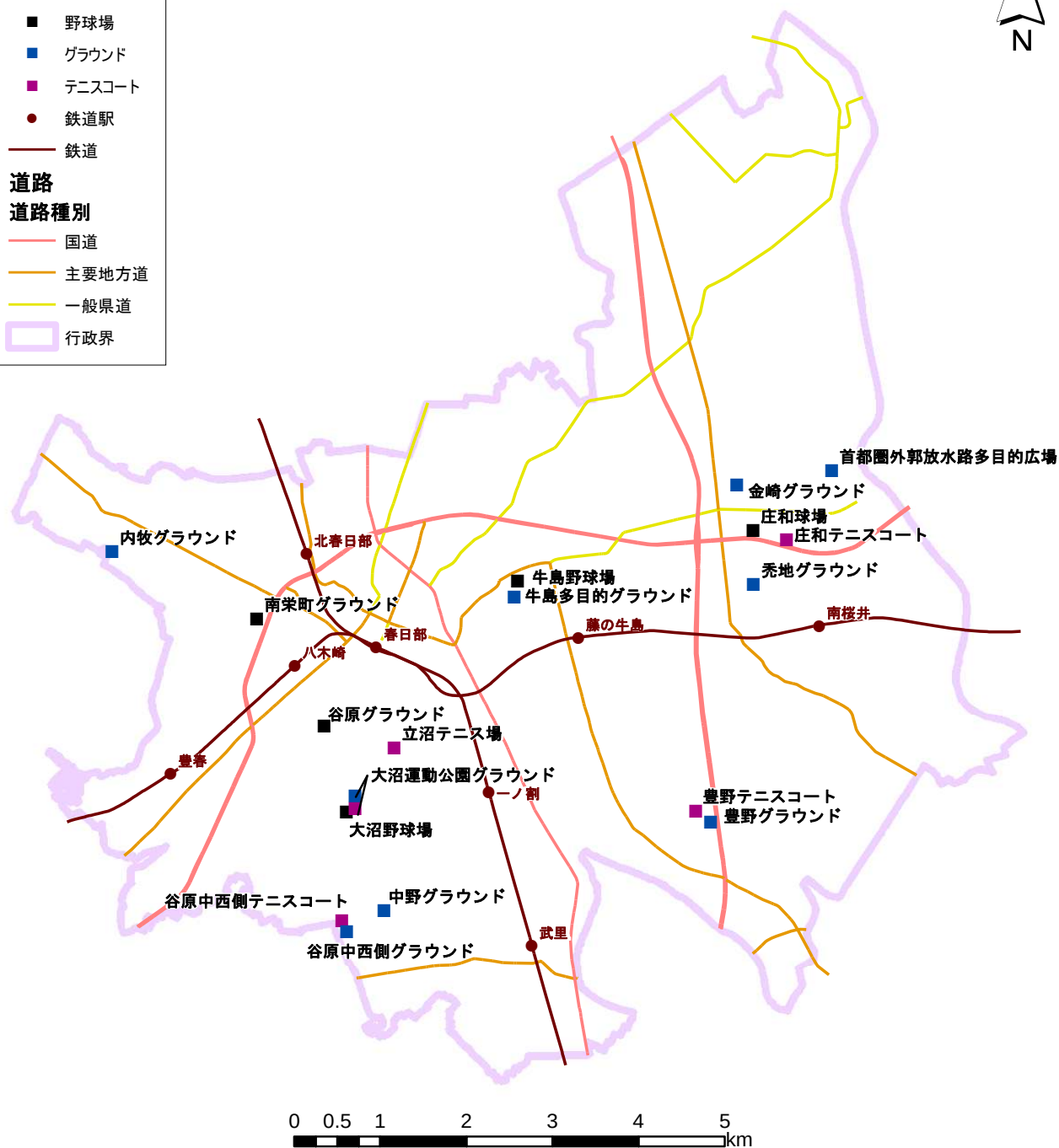
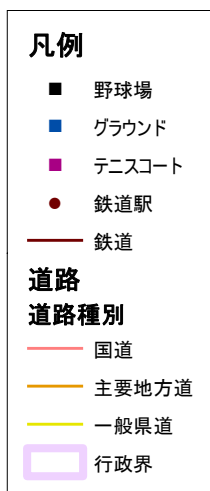


図 3-180 屋外スポーツ施設位置図

ii) 利用状況

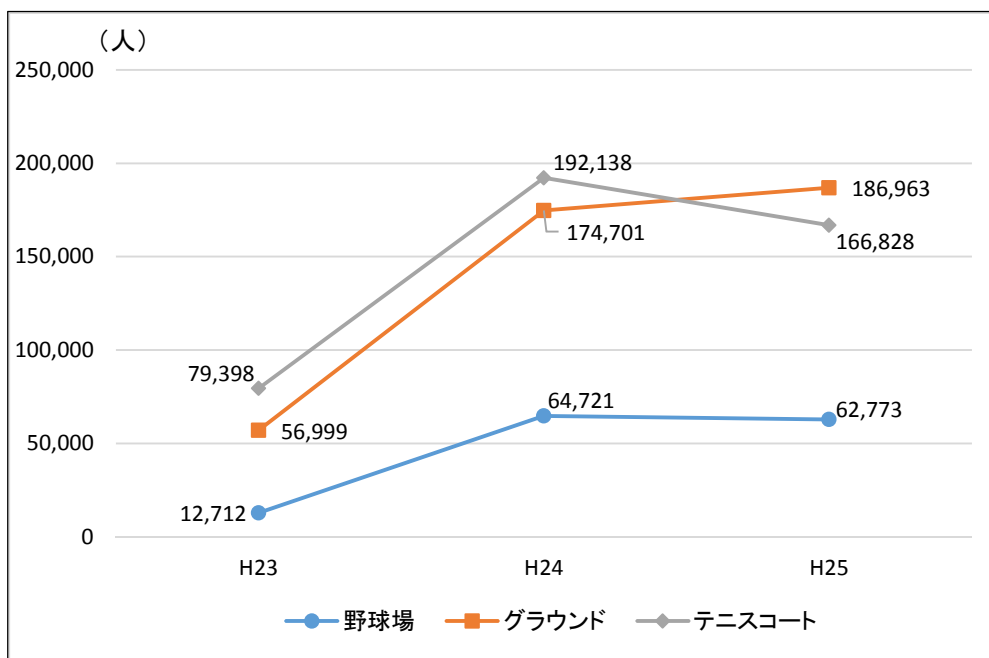
屋外スポーツ施設の利用状況をみると、平成 25 年度では年間約 41 万 6,600 人に利用されています。また、平成 24 年度からの 2 か年の平均利用者数は約 42 万 4,100 人となっています。

表 3-195 屋外スポーツ施設の利用者数の推移

屋外スポーツ施設	利用者数			
	H23 (人)	H24 (人)	H25 (人)	平均 (人)
野球場	12,712	64,721	62,773	63,747
グラウンド	56,999	174,701	186,963	180,832
テニスコート	79,398	192,138	166,828	179,483
合計	149,109	431,560	416,564	424,062

※平成 23 年度については 11 月以降の利用者数であるため、平均利用者数は、平成 24 年度、25 年度の 2 時点の平均としています。

※グラウンドの利用者は豊野グラウンド及び、国土交通省から借り受けている江戸川河川敷グラウンドを含んでいます。



※平成 23 年度における利用者数は、11 月以降の利用者数

図 3-181 屋外スポーツ施設の利用者数の推移

iii) コスト状況

屋外スポーツ施設の平成 25 年度の施設の維持管理・運営にかかるコストは、有料施設で約 1 億 600 万円、無料施設で約 1,900 万円かかっています。

屋外スポーツ施設の利用者一人当たりのコストは、有料施設は約 560 円/人、無料施設では約 80 円/人となっています。

表 3-196 屋外スポーツ施設のコスト状況

分類	区分	施設の維持管理・ 運営にかかるコスト H25 (千円)	利用者数 H25 (人)	利用者一人 当たりのコスト H25 (千円/人)
屋外スポーツ施設	有料施設	106,150	190,965	0.56
	無料施設	18,681	225,599	0.08
合計		124,830	416,564	0.30
				平均

※有料施設の維持管理・運営にかかるコスト：指定管理者と市の支出額の合計

※無料施設の維持管理・運営にかかるコスト：市の支出額の合計

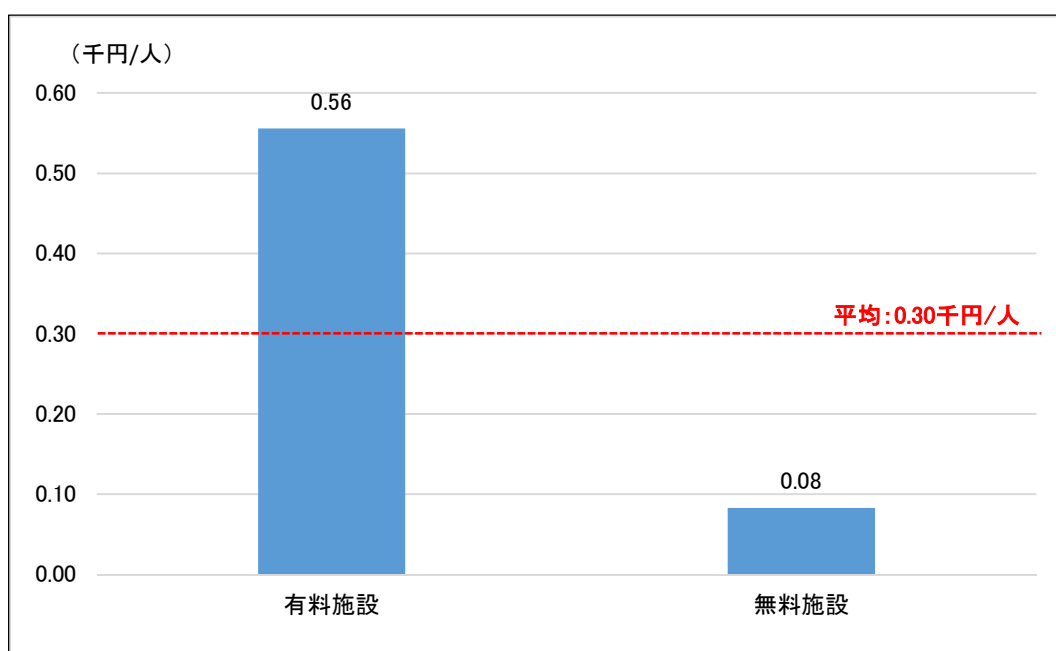


図 3-182 屋外スポーツ施設の利用者一人当たりのコスト

iv) 屋外スポーツ施設の課題と今後の方向性

【課 題】

・屋外スポーツ施設のグラウンド利用者は増加し、テニスコートや野球場の利用者は減少しています。それに加えて、一人当たりのコストは有料施設（大沼運動公園グラウンド）が約 560 円／人と平均（300 円／人）より多く、無料施設は約 80 円／人となっています。このことから、有料施設における今後の集客方法や利用者サービス、利便性の向上等の検討や施設の運営方法の見直しなどの改善が必要となっています。



【今後の方向性】

- 今後は施設の利用状況や各地区の人口動向等を考慮し、長寿命化、維持補修の平準化を図る必要があり、予防保全などによる老朽化への対応を検討します。
- 長期的費用の縮減と平準化を進めるとともに、民間活力の導入等による効率的な施設の管理・運営について検討します。

(15) 交通施設

i) 概要

交通施設は、自動車駐車場、自転車駐車場に分類しています。

自動車駐車場には、武里駅西口自動車駐車場、粕壁二丁目自動車駐車場があり、利用可能台数は、それぞれ14台、11台となっています。

自動車駐車場の施設利用料は全て有料となっています。

自転車駐車場には、春日部駅南自転車駐車場、春日部駅東口第2自転車駐車場、南桜井駅西側自転車駐車場、武里駅第1仮設自転車置場、せんげん台駅仮設自転車置場があります。

借地の一ノ割駅第3仮設自転車置場、一ノ割駅第4仮設自転車置場、八木崎駅仮設自転車置場は対象から除いています。

自転車駐車場の施設利用料は、南桜井駅西側自転車駐車場のみ有料となっており、他施設は無料となっています。

表 3-197 交通施設（自動車駐車場）の概要

自動車駐車場	利用可能台数	施設利用料
武里駅西口自動車駐車場	14台	30分100円 最初の30分無料
粕壁二丁目自動車駐車場	11台	30分100円 最初の30分無料

表 3-198 交通施設（自転車駐車場）の概要

自転車駐車場	施設利用料
春日部駅南自転車駐車場	無料
春日部駅東口第2自転車駐車場	無料
南桜井駅西側自転車駐車場	有料(年間6,000円)
武里駅第1仮設自転車置場	無料
せんげん台駅仮設自転車置場	無料

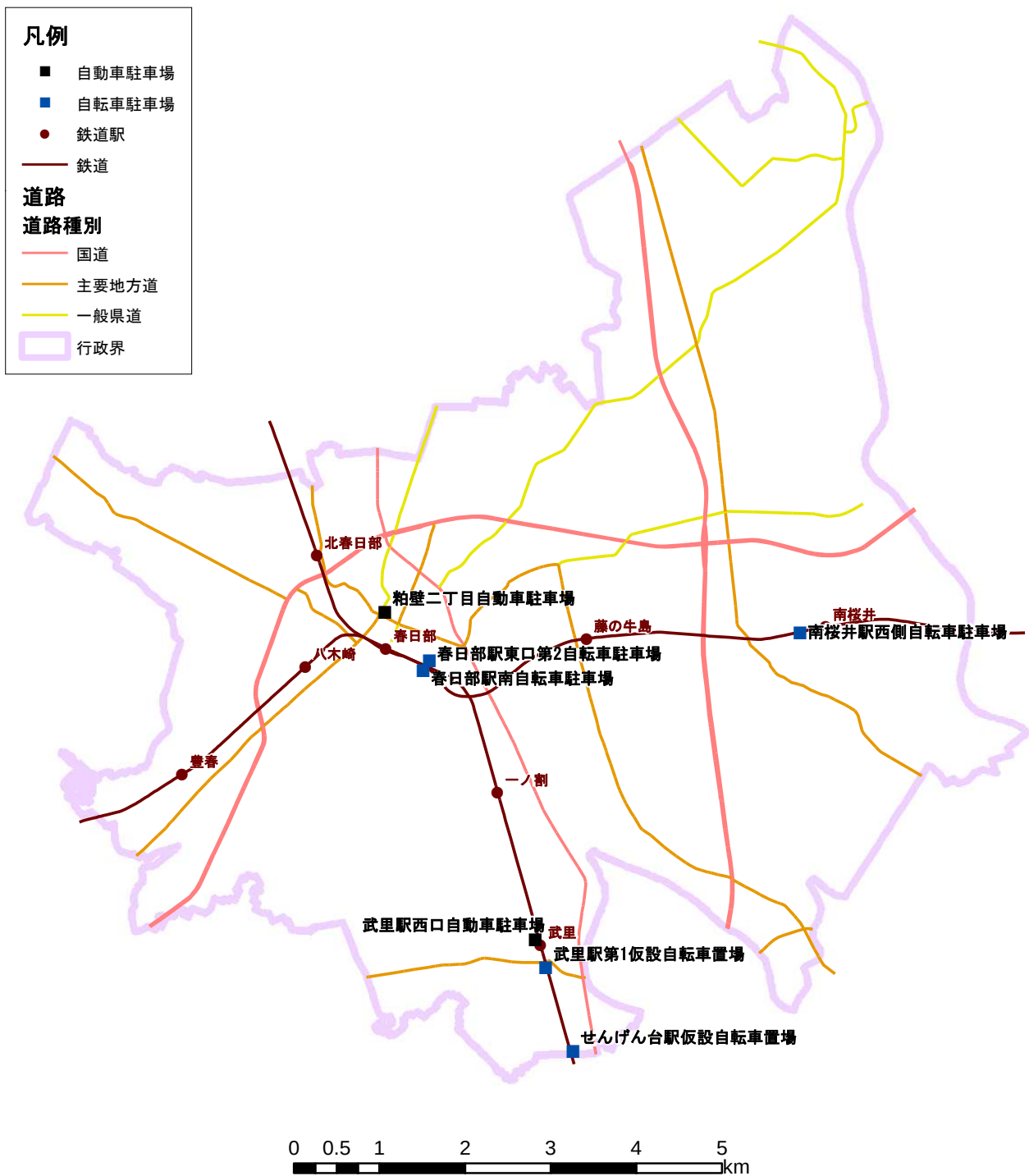


図 3-183 交通施設位置図

ii) 利用状況

自動車駐車場の利用状況をみると、平成 25 年度では年間約 2 万 2,000 台利用されています。平成 23 年度からの 3 か年の平均利用者数は約 2 万 2,000 台となっています。

表 3-199 交通施設（自動車駐車場）の利用者数の推移

自動車駐車場	年間有料駐車台数			
	H23 (台)	H24 (台)	H25 (台)	3カ年平均 (台)
武里駅西口自動車駐車場	14,732	12,822	13,269	13,608
粕壁二丁目自動車駐車場	8,431	8,349	8,472	8,417
合計	23,163	21,171	21,741	22,025

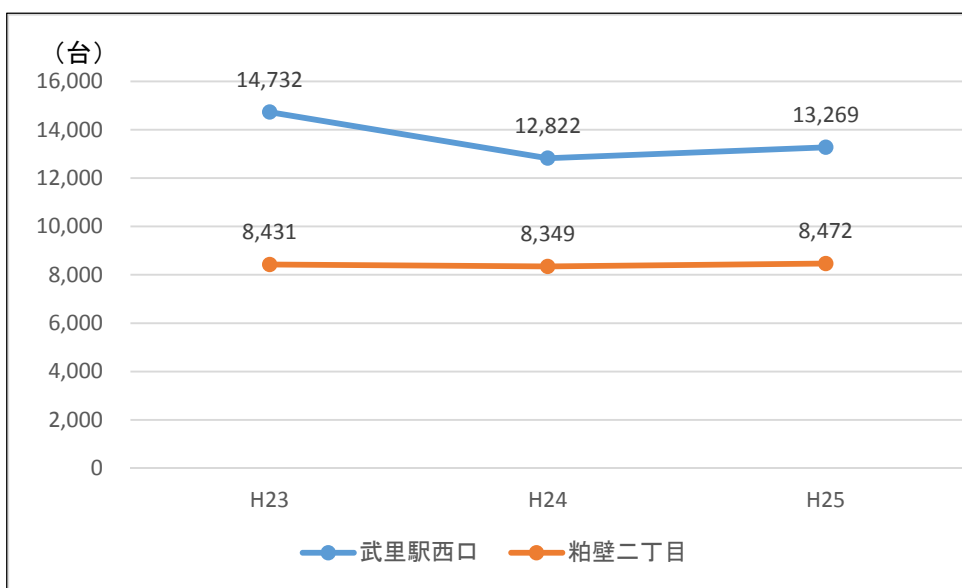


図 3-184 交通施設の利用者数の推移

iii) 交通施設の課題と今後の方向性

【課 題】

- ・自動車駐車場 2 か所（利用可能台数は、14 台、11 台の計 25 台、施設利用料は全て有料）、自転車駐車場 5 か所（南桜井駅西側自転車駐車場のみ有料）であり、施設の老朽化に対する応急的な修繕から、予防的な早めの対応が必要です。



【今後の方向性】

- 今後は、施設の利用状況や各地区の人口動向等を考慮し、長寿命化、維持補修の平準化を図る必要があり、予防保全方法など老朽化への対応や施設の集約を検討します。
- 長期的費用縮減や平準化、維持管理費用の適正化、民活導入を検討します。

3.3. インフラ系施設の状況

(1) 道路・橋りょう

i) 概要

道路は、「一般道路」と「自転車歩行者道」に分類されており、一般道路の実延長は約 1,048km、道路面積（道路部面積）は約 567.4 万㎡となっています。また、自転車歩行者道は実延長が約 3.6km、道路面積（有効幅員）が約 1 万㎡となっています。

橋りょうは、総数が 601 橋であり、延長が約 3.9km、面積が約 2.7 万㎡となっています。

その他として、事務所、付帯施設があり、2 棟で約 179 ㎡となっています。

表 3-200 道路・橋りょうの施設数

分類		施設数等	
道路	一般道路	実延長	1,047.78 km
		道路面積(道路部)	5,673,940 ㎡
	自転車歩行者道	実延長	3.64 km
		道路面積(有効幅員)	10,996 ㎡
橋りょう	橋りょう	601 橋	3.94 km
			27,296 ㎡
その他	事務所、付帯建築物等	2 棟	178.9 ㎡

ii) 市道の区分別内訳

市道の区分別の内訳は、1 級幹線道路が 53 路線、約 74km、2 級幹線道路が 78 路線、約 80 km、その他の道路が 4,749 路線、約 893km となっています。また、自転車歩行者道は 16 路線、約 4km となっています。

表 3-201 市道区分別内訳

区分	路線数	実延長 (km)	実面積 (㎡)
1 級幹線道路	53	74.38	803,415
2 級幹線道路	78	80.10	529,372
その他の道路	4,749	893.30	4,341,153
計	4,880	1,047.78	5,673,940
自転車歩行者道	16	3.64	10,996
合計	4,896	1,051.42	5,684,936

iii) 市道の改良状況

市道総延長のうち、規格改良済延長は約 661km であり、改良率は 62.9%となっています。

表 3-202 市道の改良状況

区分	延長 (km)
規格改良済延長	661.37
未改良延長	390.05
計	1,051.42
改良率	62.9%

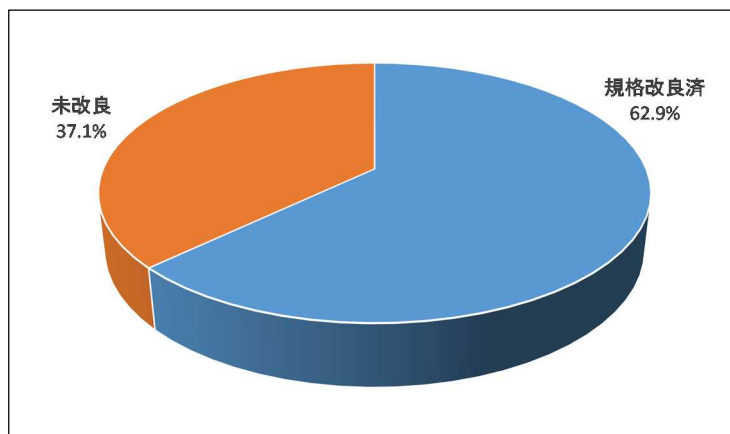


図 3-185 市道の改良状況

iv) 市道の舗装状況

市道総延長のうち、舗装済延長は約 884km であり、改良率は 84.1%となっています。

表 3-203 市道の舗装状況

区分	延長 (km)
舗装済延長	884.17
未舗装延長	167.25
計	1,051.42
改良率	84.1%

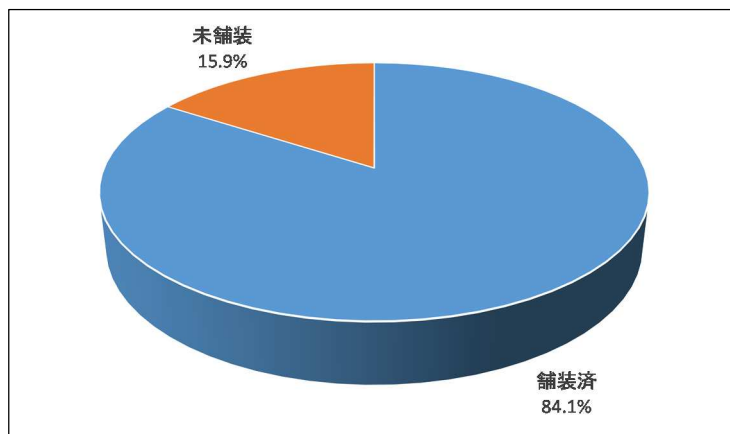


図 3-186 市道の舗装状況

v) 橋りょうの長さ区分別内訳

橋りょうの長さ区分は約 95%に相当する 569 橋が 15m 未満となっています。

表 3-204 橋りょうの長さ区分別内訳

長さ区分	施設数等	
15m未満	569	橋
15m以上	32	橋
計	601	橋

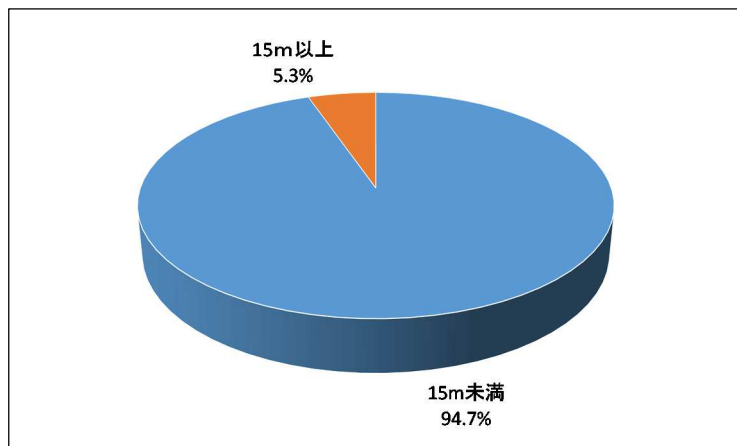


図 3-187 橋りょうの長さ区分別内訳

vi) 橋りょうの構造区分別内訳

橋りょうの構造区分では、最も比率が高いのはRC橋で、全体の約50%を占めています。以下、鋼橋が約30%、PC橋が約20%なっています。

表 3-205 橋りょうの構造区分別内訳

構造区分	施設数等	橋数
PC橋	5,504 m ²	48橋
RC橋	14,454 m ²	507橋
鋼橋	7,338 m ²	46橋
計	27,296 m ²	601橋

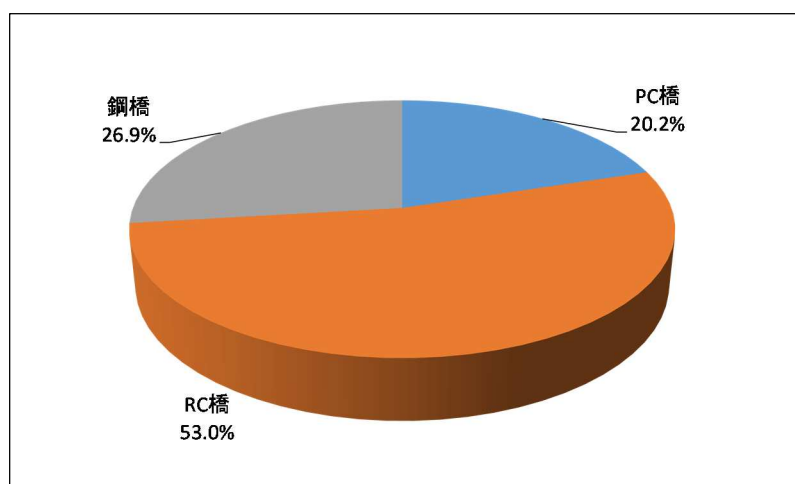
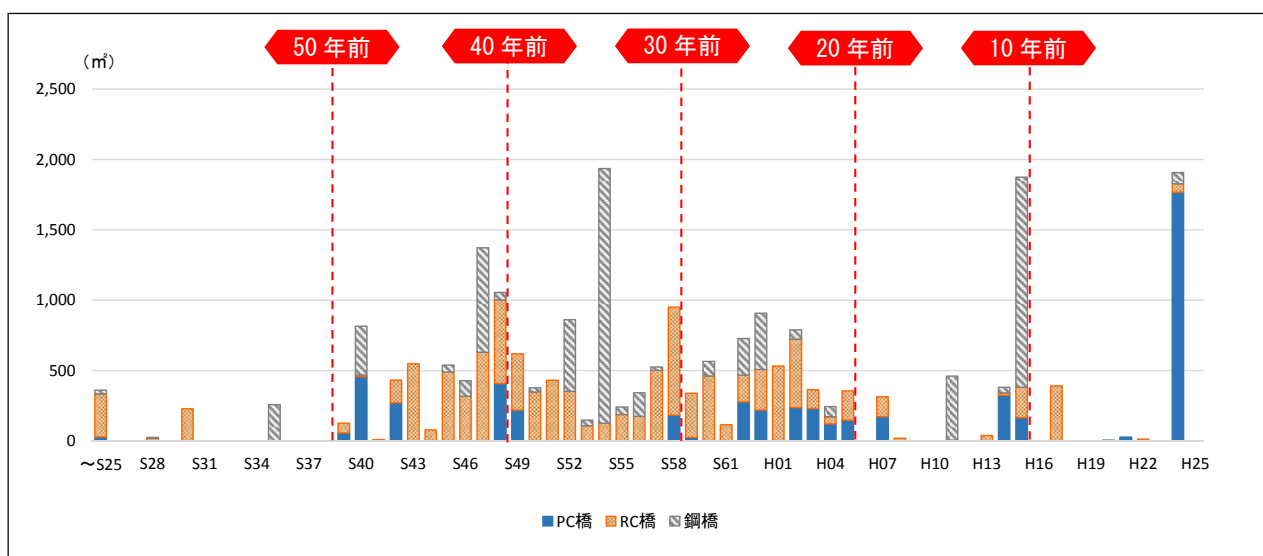


図 3-188 橋りょうの構造区分別内訳

vii) 橋りょうの建設年次別内訳

橋りょうの建設は、今から40年前に当たる、昭和40年代中期から平成初期にかけての期間に、多く建設されています。



(注) 年度が不明な 4,199 m²は除いています。

図 3-189 橋りょうの建設年次別・構造区分別面積

viii) 投資的経費の状況

平成 21 年から平成 25 年までの、道路の投資的経費の推移をみると、平成 21 年は 2 億円を超えていましたが、平成 23 年以降は約 1 億 6,700 万円前後で推移しています。

橋りょうの投資的経費は、平成 25 年において既存更新分として、約 7,000 万円が計上されています。

表 3-206 道路の投資的経費の内訳と推移

	投資的経費(千円)			
	既存更新分	新規整備分	用地取得分	計
平成21年度	35,133	116,442	109,169	260,744
平成22年度	16,968	4,687	79,281	100,936
平成23年度	63,376	43,758	59,412	166,546
平成24年度	21,392	38,687	106,922	167,001
平成25年度	43,838	27,164	96,734	167,736

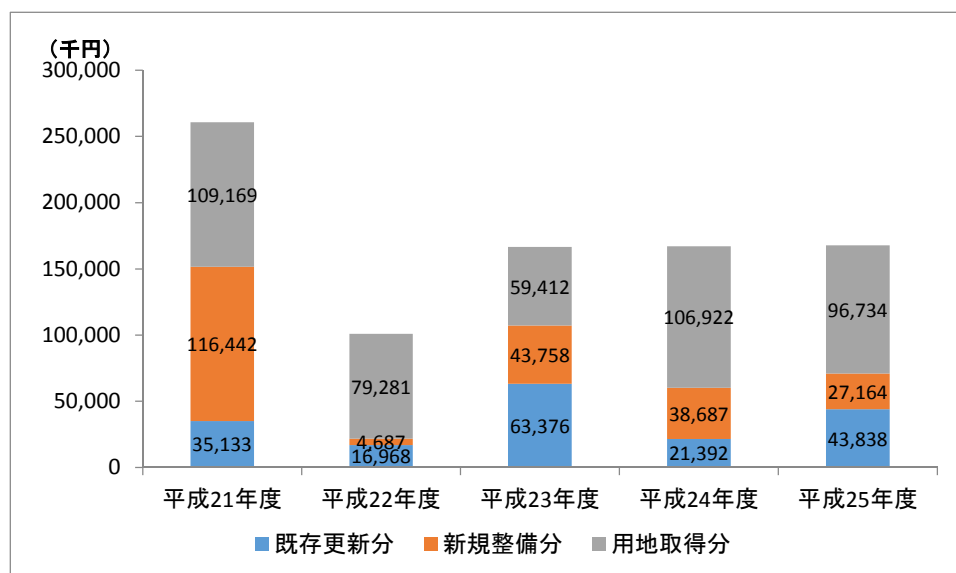


図 3-190 道路の投資的経費の推移

表 3-207 橋りょうの投資的経費

	投資的経費(千円)			
	既存更新分	新規整備分	用地取得分	計
平成21年度	0	0	0	0
平成22年度	0	0	0	0
平成23年度	0	0	0	0
平成24年度	0	0	0	0
平成25年度	73,477	0	0	73,477

ix) 道路・橋りょうの課題と今後の方向性

【課題】

- ・道路・橋りょうの建設は、今から 40 年前の、昭和 40 年代中期から平成初期にかけての期間に、多く建設されています。国土交通省の資料（建設年代別の道路橋寿命の推定結果）によると、平均で耐用年数は 70 年とあり、本市の橋りょうは 50 年経過が多いことから、大規模改修・更新等費用がかかることが想定されます。
- ・老朽化の著しい橋りょうは「橋りょう長寿命化修繕計画」で示されている方針に基づき対応を検討していく必要があります。また、社会構造の変化、経済状況や社会情勢に応じた検討も必要です。



【今後の方向性】

- 社会構造の変化を踏まえた適正な供給を検討します。
- 道路未整備都市計画道路については機能特性や利用者ニーズにより整備の優先度を検討します。また、計画的な予防メンテナンスサイクルの確立を、検討します。財政負担の軽減化を図るための維持管理費用の適正化、民活導入を検討します。
- 橋りょうは、定期点検の結果を踏まえ長寿命化、維持補修の平準化を検討します。
- 「橋りょう長寿命化修繕計画」との整合や必要に応じた見直しを検討します。また、「橋りょう長寿命化修繕計画」の対象に無い施設については定期点検により維持管理を検討します。

(2) 河川

i) 概要

河川は、「河川」と「施設」に分類されており、河川には「準用河川」と「普通河川」があります。準用河川は9河川、約30kmであり、普通河川は約942kmです。

施設は、「ポンプ場・排水機場・調整池等」が60施設、「事務所、付帯建築物」が9棟、約1,500 m²、「揚排水機場」が2施設、「事務所、付帯建築物等」が2棟、約290 m²となっています。

表 3-208 河川施設の内訳

分類		該当施設	施設数等	
河川	準用河川	安之堀川、中之堀川、備後川、幸松川、動渕堀川、旧古隅田川、庄内領恵水路、18号水路、打田落し	9 河川	29.65 km
	普通河川(水路)			942.33 km
施設	ポンプ場・排水機場・調整池等	粕壁ポンプ場、緑町ポンプ場、備後ポンプ場 など		60 施設
	事務所、付帯建築物等	粕壁ポンプ場:管理棟、緑町ポンプ場:管理棟、備後ポンプ場:管理棟、藤塚ポンプ場:管理棟、赤沼ポンプ場:管理棟・事務所、旧倉松川排水機場:管理棟、水角排水機場:管理棟、旧倉松第二調節池:管理棟	9 棟	1,545.88 m ²
	揚排水機場	飯沼赤崎揚水機場、幸松排水機場		2 施設
	事務所、付帯建築物等	飯沼赤崎揚水機場:機械室、幸松排水機場:ポンプ室	2 棟	293.00 m ²

ii) 河川の課題と今後の方向性

【課題】

- ・各揚排水機場は建築後 30 年を経過し老朽化や劣化が著しい状況です。また近年に多い台風やゲリラ豪雨等への対処では、河川・水路施設の導水機能に加え、さらに保水・遊水機能の向上が必要となり、関係する施設の維持管理を継続して行うことが求められます。
- ・老朽化の著しい河川は、長寿命化や維持補修の平準化を検討し、さらに流域の社会構造の変化、経済状況や社会情勢に応じた維持管理計画を検討する必要があります。



【今後の方向性】

- 近年、頻発する台風やゲリラ豪雨等に備え、適正な維持や更新を検討します。
- 長寿命化、維持補修の平準化を図る必要がある施設については、予防保全方法など老朽化への対応を検討します。
- 財政負担の軽減化を図るための維持管理費用の適正化を検討します。

(3) 上水道施設

i) 概要

上水道施設は、「配水管・送水管・導水管」「浄水場」「配水池」「混和池、着水井等」「事務所、付帯建築物」に分類されています。

配水管・送水管・導水管の延長は約 844km であり、浄水場は 5 施設、配水池は 13 施設あり、容量は 56,000 m³、混和池、着水井等は 8 施設、事務所、付帯建築物等は 19 棟、5,172 m²となっています。

表 3-209 上水道施設の内訳

分類	該当施設	施設数等
配水管・送水管・導水管		844.2 km
浄水場	東部浄水場、南部浄水場、西部浄水場、北部浄水場、庄和浄水場	5 施設
配水池	東部浄水場: No1 配水池、No2 配水池 南部浄水場: No1 配水池、No2 配水池 西部浄水場: No1 配水池、No2 配水池、No3 配水池 北部浄水場: No1 配水池、No2 配水池、No3 配水池 庄和浄水場: No1 配水池、No2 配水池、No3 配水池	13 施設 56,000 m ³
混和池、着水井等	東部浄水場: 混和池・着水井 南部浄水場: 混和池、着水井 西部浄水場: 第1・2流量計室、第3流量計室 北部浄水場: 混和池、着水井 庄和浄水場: 混和池・着水井	8 施設
事務所、付帯建築物等	東部浄水場: 自家発電機室、滅菌室、管理棟 南部浄水場: 滅菌室、電気室第2、管理棟 西部浄水場: 自家発電機室、管理棟、滅菌室 北部浄水場: 滅菌室、自家発電機室、管理棟 庄和浄水場: 自家発電室・操作室、電気室、水道部事務所 東部浄水場系中継加圧ポンプ場、水道施設保守管理事務所、資材倉庫 (西部浄水場)、資材倉庫(東部浄水場)	19 棟 5,172 m ²

ii) 年次別整備延長

年次別の整備延長をみると、昭和 40 年代～50 年代（概ね 30～40 年前）の整備量が最も大きく、以降は減少している傾向にあります。

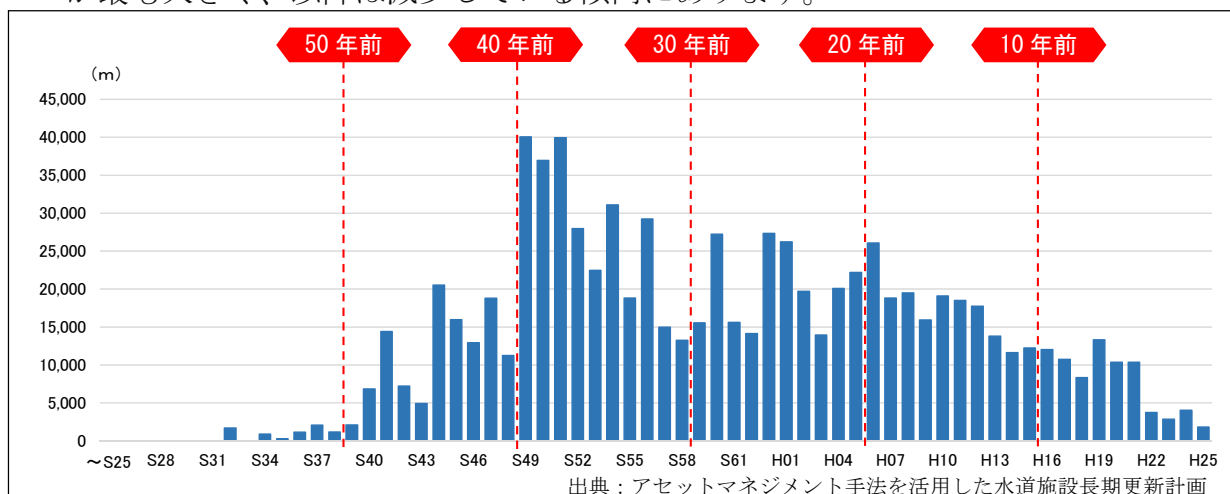


図 3-191 上水道の累計延長

iii) 投資的経費の状況

平成 21 年度から平成 25 年度までの上水道の投資的経費の推移をみると、平成 24 年度までは約 5 億 3,000 万円から約 7 億 5,000 万円程度で推移していましたが、平成 25 年度には約 4 億 1,900 万円まで減少しています。

表 3-210 投資的経費の推移

	投資的経費(千円)			
	既存更新分	新規整備分	用地取得分	計
平成21年度	433,744	100,457	0	534,201
平成22年度	345,394	244,170	0	589,564
平成23年度	366,684	347,078	0	713,762
平成24年度	544,800	205,410	0	750,210
平成25年度	354,930	64,390	0	419,320

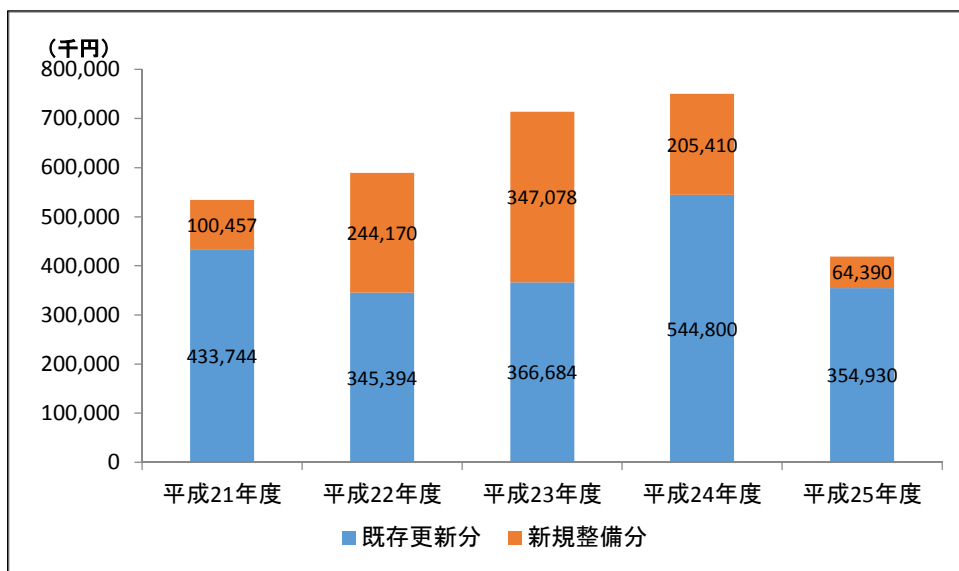


図 3-192 投資的経費の推移

iv) 上水道施設の課題と今後の方向性

【課題】

- ・年次別の整備延長をみると、昭和 40 年代～50 年代（概ね 30～40 年前）の整備量が最も大きく、以降は減少している傾向にあります。今後、土木構造物の法定耐用年数 60 年に対し、これらの施設の維持管理を継続して行うことが求められ、上水道施設、浄水施設や配水池などの耐震補強を必要とします。
- ・老朽化の著しい上水道施設は、アセットマネジメント手法を活用した水道施設長期更新計画で示されている方針に基づき、対応を検討していく必要があります。



【今後の方向性】

- 少子高齢化による生活様式の著しい変化や、水需要、水質に関する要請など市民ニーズが多様化する中で、適正な修繕や更新を検討します。
- 「アセットマネジメント手法を活用した水道施設長期更新計画」との整合を図り、必要に応じ見直しを検討します。

(4) 下水道施設

i) 概要

下水道は、「管路」「ポンプ施設」「事務所、付帯建築物等」に分類されています。

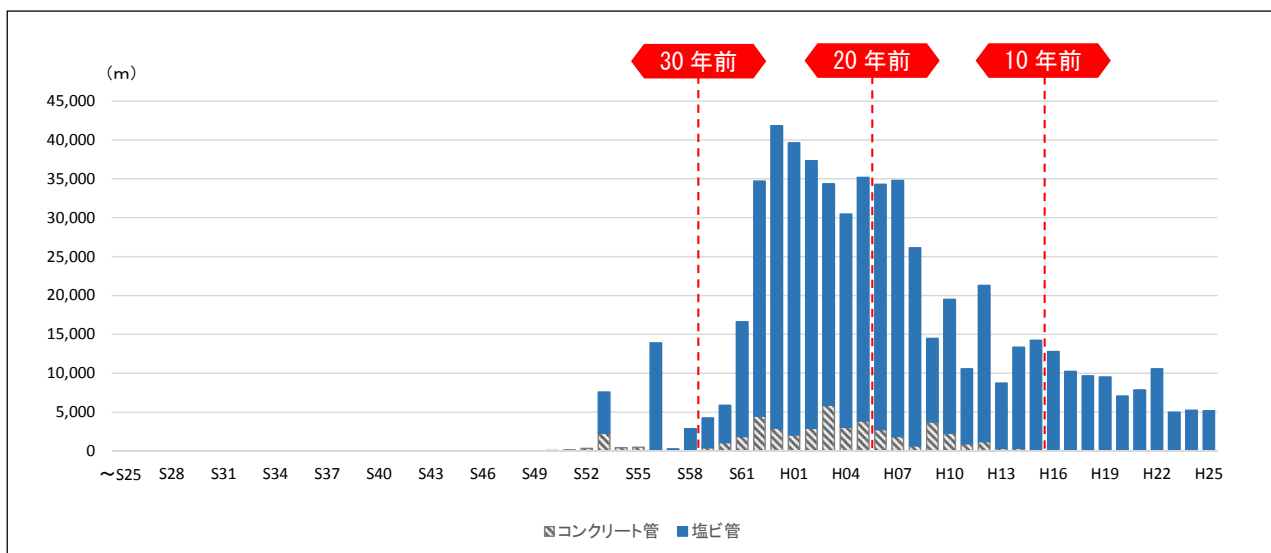
管路の延長は約 606km、ポンプ施設は 2 施設、事務所、付帯建築物等は 5 棟、約 1,743 m²となっています。

表 3-211 下水道施設の内訳

分類	該当施設	施設数等
管路		605.9 km
ポンプ施設	銚子口中継ポンプ場、庄和中継ポンプ場	2 施設
事務所、付帯建築物等	銚子口中継ポンプ場ポンプ室他、旧汚水処理場用地米島ニュータウン機械室、旧汚水処理場用地サニータウン機械室、旧汚水処理場用地三井南桜井団地機械室、庄和中継ポンプ場ポンプ室他	5 棟 1,742.5 m ²

ii) 年次別整備延長

年次別の整備延長をみると、昭和 62 年～平成 7 年までの間に整備量が多くなっています。



(注) 年度が不明な 18,792m は除いています。

図 3-193 下水道の管種別延長

iii) 投資的経費の状況

下水道の投資的経費はすべて新規整備分となっており、平成 21 年度には約 7 億 7,700 万円でしたが、平成 25 年度では約 3 億 6,000 万円程度まで減少しています。

表 3-212 投資的経費の推移

	投資的経費(千円)			
	既存更新分	新規整備分	用地取得分	計
平成21年度	0	777,473	0	777,473
平成22年度	0	674,286	0	674,286
平成23年度	0	418,663	0	418,663
平成24年度	0	326,647	0	326,647
平成25年度	0	359,842	0	359,842

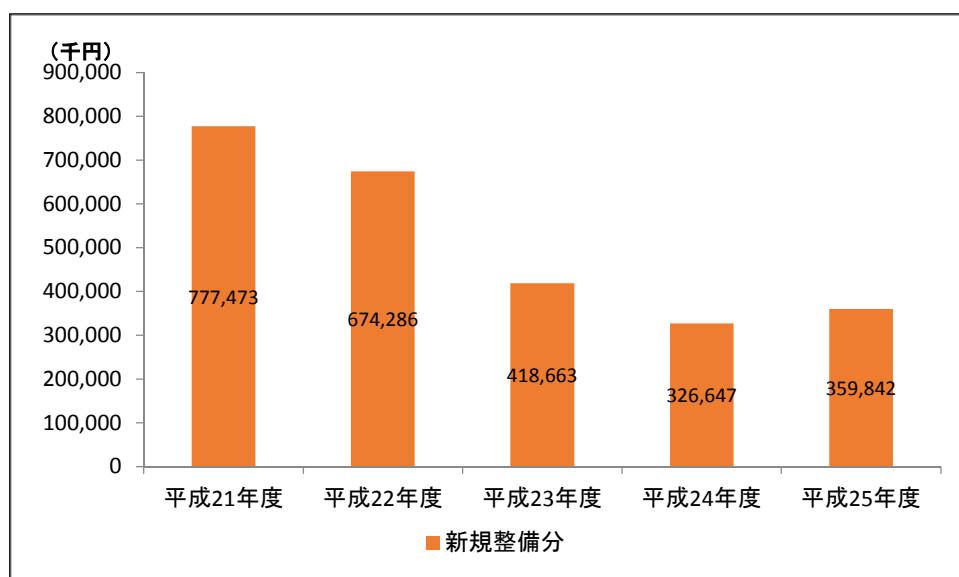


図 3-194 投資的経費の推移

iv) 下水道施設の課題と今後の方向性

【課題】

- ・年次別の整備延長をみると、昭和 63 年度の整備量が最も多く、以降は減少している傾向にあります。下水管路施設の標準的な耐用年数 50 年に対し、本市の下水道施設が、古いものでは 40 年を経過しつつあることから、今後、大規模改修・更新等費用がかかることが想定され、これらの施設の維持管理を継続して行うことが求められます。
- ・下水道施設は敷設の履歴や地域状況から継続的・段階的に長寿命化や維持補修の平準化を検討する必要があります。



【今後の方向性】

- 長寿命化、維持補修の平準化を図る必要がある施設については、予防保全方法など老朽化への対応を検討します。
- 財政負担の軽減化を図るため、維持管理費用の適正化を検討します。

(5) 公園

i) 概要

公園は、「公園」と「公園施設」に分類されています。「公園」のうち、「近隣公園」は14施設、約18万㎡、「街区公園」は197施設、約20万㎡、「その他の公園」は65施設、約4万㎡、「緑地・緑道、ちびっこ広場、運動広場、遊水地広場」は101施設、約28万㎡となっています。

「公園施設」のうち、「便所」は68棟、事務所、付帯建築物等は1棟、その他は1施設となっています。

表 3-213 公園施設の内訳

分類	分類	該当施設	施設数等
公園	近隣公園	一の割公園、牛島古川公園(第Ⅱ期)、内牧黒沼公園、大池親水公園、大枝公園、大風公園、川久保公園、旧倉松公園、豊野町第1公園、八幡公園、東中野公園、南栄町第1近隣公園、薬師沼親水公園、谷原第1公園	14 施設 175,024 ㎡
	街区公園	牛島古川公園、深町公園、中央町第4公園 など	197 施設 203,654 ㎡
	その他の公園	一の割三丁目公園、大衾公園 など	65 施設 41,920 ㎡
	緑地・緑道、ちびっこ広場、運動広場、遊水地広場	内牧黒沼緑道、上蛭田ふれあい公園、備後運動広場、高島屋住宅内遊水池広場 など	101 施設 284,893 ㎡
公園施設	便所	内牧公園、庄和総合公園、一の割公園 など	68 棟
	事務所、付帯建築物等	東中野公園(倉庫)	1 棟 38.88 ㎡
	その他	古利根公園橋	1 施設

ii) 公園の課題と今後の方向性

【課題】

- ・各施設の機能や広域避難場所指定、市民利用状況から、施設の優先整備や機能の重要度を検討し、今後の施設整備方法を行政と利用者（市民など）で共通認識しておく必要があります。また、定期的な点検により劣化進行等の状態を把握します。市民などが維持管理に参加しやすい様に、これら情報は利用者（市民など）にも公開することが必要です。
- ・公園施設周辺の住民利用や利便性の向上、公園内施設は多世代が集える拠点とし、地域の活性化誘導を可能とする施設整備が求められます。



【今後の方向性】

- 老朽化の著しい公園は長寿命化計画で示されている方針に基づき対応を検討していきます。また、社会構造の変化などに応じて「公園施設長寿命化計画」を見直します。
- 「公園施設長寿命化計画」の対象に無い施設で、長寿命化、維持補修の平準化の必要な施設については、予防保全方法など老朽化への対応を検討します。また維持管理費用の適正化を検討します。
- 利用者（市民など）が行政との協働管理に参加しやすい様に、協定、規約などの取組を検討します。